

# FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス



CA92344-0529-22

# はじめに

本書は、MMB、UEFIの機能の詳細など、運用のさいに必要な操作や設定方法について説明しています。本書は、シス テム管理者を対象に書かれています。 なお、各種基準、規格への適合状況や安全上のご注意などは、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ安全にご使用いただくために』 (CA92344-0523) を参照してください。

#### 本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

第1章 MMBのWeb-UI (Webユーザーインターフェース) 操作

MMB の Web-UI を使って PRIMEQUEST 2000 シリーズを管理/運用するためのメニューの一覧と、 操作方法について説明しています。

第2章 MMBのCLI (コマンドラインインターフェース) 操作

MMB が提供する CLI (Command Line Interface) について説明しています。

第3章 UEFIのメニュー操作

UEFI のメニュー操作について説明します。

第4章 UEFIのコマンド操作

UEFI のコマンド操作について説明します。

第5章 Dynamic Reconfiguration 操作

Dynamic Reconfiguration の操作について説明しています。

第6章 sadump 環境の設定

sadump 環境の設定方法について説明します。

付録 A 設定項目の一覧

各画面の設定項目の一覧を示しています。

#### 改版履歴表

版数	日付	変更箇所(変更種別)	変更内容
01	2014-08-12	全体	- マニュアルコード変更にあたり版数を1に初期化
			- 拡張パーティションに関する記述を追記
02	2014-10-07	3章	- Secure Boot に関する記述を追加
03	2015-02-03	3章	- PSU UPS 冗長構成に関する記述を追加
04	2015-05-01	全体	- Extended Socket に関する記述を追加
			- PRIMEQUEST 2400S2Lite/2400S2/2400E2/
			2400L2/2800E2/2800L2 モデルに関する記述を追加
05	2015-09-29	1章、2章	-LDAP に関する記述を追加
		1章	-SSD Life Cycle Management に関する記述を追加
06	2015-10-30	全体	-Memory Scale-up Board に関する記述を追加
		1章	-LDAP(Novell eDirectory/OpenLDAP/OpenDS/Open DJ)
			に関する記述を追加
07	2016-01-29	1章	-Alarm Email のメッセージフォーマットに関する記述を
			追加
08	2016-05-30	全体	- PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/2400E3/
			2400L3/2800E3/2800L3 モデルに関する記述を追加
09	2016-07-26	1章、3章	-SUSE Linux に関する記述を追加
10	2010 11 20	1 音 2 音	- 「Management」AN Dert (opfiguration)画面に関する
10	2016-11-28		- [Management LAN Fort configuration] 画面に属する 記述を追加
			- [Date/Time]画面に関する注意を追加
			- 管理 LAN インターフェース経由でのアクセスに関する
			備考の追加
11	2017-01-16	3章	- VMware vSphere 6.5 に関する記述を追加
12	2017-02-08	全体	- Windows Server 2016 に関する記述を追加
13	2017-08-08	1章	- NTP 機能に関する注意を追加
		1章、2章	- MMB reset 後の注意を追加
		3章	- Active Processor Cores の設定に関する記述を追加
14	2018-09-04	全体	- SUSE Linux Enterprise Server 15 に関する記述を追加
		全体	- テフォルト値を修止(VI-d, Uncore Frequency Override,
			larget Port)
15	2019-03-05	1章	- Partition Event Log に関する記述を追加
		3章	- PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/2400E3/2400L3/
		付録 A.2	2800E3/2800L3 モデルに x2APIC Mode 設定を追加

16	2019-06-13	全体	- Windows Server 2019 に関する記述を追加
17	2019-10-29	1 章、付録 A.4	- Video Redirection(HTML5)に関する記述を追加
18	2020-03-24	1章	- SB メニュー(DIMMs Data Rate)に関する記述を追加
		1章	- [Add User]/[Edit User] 画面のパスワードルールを修正
		1 章、付録 A.4	- Access Control 画面、Add Filter 画面に関する記述を追 加
19	2020-04-28	全体	- VMware vSphere 7 に関する記述を追加
20	2020-09-29	1章	- Reserved SBの設定に関する注意事項を追加
		1章、付録 A.1	- SNMP Trap 設定に関する注意事項を追加
		1章	- SSH メニュー記述を修正
		2章	- ssh_key 関連コマンド記述を修正
21	2021-02-24	全体	- 設定項目に関する説明を追加
		1章	- System Progress の備考の記述を修正
		1章	- Video Redirection、Virtual Media、Common Name、 MMB IP Address の注意事項を追加
		1章	- LDAP SSL、Alarm E-Mail 項目表示の記述を追加
		1章	- Engine ID の記述を修正
		2章	- set timezone、set special_account の記述を修正
22	2021-10-26	2章	- MMB CLI コマンドを追加
		1章、2章、付録 A.1	- 誤記修正
		3 章、付録 A.2	- デフォルト値を修正(Target Port)

#### 製品の使用環境

本製品は電子計算機室での使用を前提とした電子計算機です。なお、使用環境の詳細については、以下のマニュアルを 参照してください。

『PRIMEQUEST 2000 シリーズ設置マニュアル』(CA92344-0525)

#### 安全上の注意事項

#### 警告表示

このマニュアルでは、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。

⚠警告

「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。

「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自 身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

#### 重要

「重要」とは、効果的な使い方など、使用者にとって価値のある情報であることを示しています。

#### 本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えています。さら に、通常の記述行からは、前後1行ずつ空けています。

### ∧ 警告

本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様 は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け/取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜差し
- メンテナンス(修理と定期的な診断と保守)
- また、重要な警告表示は「重要警告事項の一覧」としてまとめて記載しています。

#### 重要警告事項の一覧

本マニュアル中に記載している重要な警告事項は以下のとおりです。

▲ 注意 正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の障害を負うことがあり得ることと、当該製品自身また はその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

作業区分	警告事項	記載箇所
通常操作	(データ破壊)	6.6 ダンプデバイス
	ダンプデバイスを選択するさい、ディスクの選択が正しいか、再確認してください。	選択メニュー
	選択を誤ったまま実行すると、データが破壊されます。	

#### 警告ラベル

当製品には以下のようにラベルが貼付してあります。以下のラベルは当製品の使用者を対象としています。

ラベルは絶対にはがさないでください。

警告ラベル位置(本体装置上面)







警告ラベル位置(本体装置左側面)



▲ ▲ 注意 CAUTION ATTENTION	注意 CAUTION ATTENTION	🛕 注意 CAUTION ATTENTION
内部には高電圧部分があり、感電する恐れがあります。 保守担当者以外の方は内部に触れないでください。	本機器を搭載する前に、設置マニュアルを見てください。	保守時は静電気を除去すること。
HAZARDOUS VOLTAGE.	SEE INSTALLATION INSTRUCTIONS BEFORE	ELECTROSTATIC SENSITIVE DEVICES.
教育内有高电压部分,有引起触电的危险。	请务必先阅读本装置安装手册之后,再进行机器的安装。	维护保养时必须采取防费电措施。
梁保养担当者之外,请勿撒获染重肖郎。 TENSIONS DANGEREUSES。 SEUL UN INGÉNIEUR PEUT VÉRIFIER L'INTÉRIEUR.	VOIR LE MANUEL D'INSTRUCTIONS AVANT D'INSTALLER CET UNITÉ.	CIRCUITS SENSIBLES A L'ELECTRICITÉ STATIQUE.
		ð:

警告ラベル位置(PCI ボックス)



#### 製品取扱い上の注意事項

#### 本製品について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

#### 添付品の保管について

添付品はサーバの運用上必要になりますので、大切に保管してください。

#### オプション製品の増設

PRIMEQUEST 2000 シリーズを安定してご使用いただくために、オプション製品の増設時には弊社指定のオプション製品をご使用ください。

弊社指定以外のオプション製品をご使用いただく場合、PRIMEQUEST 2000 シリーズの動作保証は一切いたしかね ますので、ご注意ください。

#### 本製品の輸出または提供について

本製品を輸出又は提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、 必要な手続きをおとりください。

#### メンテナンス



本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様 は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け/取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜差し
- メンテナンス(修理と定期的な診断と保守)

#### ⚠注意

製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は 絶対に作業しないようにお願いします。故障の原因となるおそれがあります。

- お客様のお手元に届いたオプションアダプターなどの開梱

#### 本製品の改造/再生

### ⚠注意

本製品に改造を加えたり、本製品の中古品を富士通に無断でオーバーホールなどによって再生したり して使用する場合、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

#### ご不要になったときの廃棄・リサイクル

法人、企業のお客様へ当社では、法人のお客様から排出される富士通製 ICT 製品を回収・リサイクル(有償)し、資源の有効利用に積極的に取り組んでいます。詳細は、当社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法、コンデンサ製品の PCB」(https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/)をご覧ください。

#### 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

本機器を使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク内のデータを第三者に読み取られ、予期しな い用途に利用されるおそれがあります。機密情報や重要なデータの流出を防ぐためには、本機器を廃棄・譲渡する さいに、ハードディスク上のすべてのデータを消去することが必要となります。ところが、ハードディスク上のデ ータを消去するというのは、それほど容易なことではありません。ハードディスクを初期化(フォーマット)した り、OS 上からファイルを削除したりする操作をしただけでは、一見データが消去されたように見えますが、ただ単 に OS 上でそれらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけあり、悪意を持った第三者によってデータが復元さ れるおそれがあります。従って、お客様の機密情報や重要なデータをハードディスク上に保存していた場合には、 上に挙げるような操作をするだけでなく、データ消去のサービスを利用するなどして、これらのデータを完全に消 去し、復元されないようにすることをお勧めします。お客様が、廃棄・譲渡等を行うさいに、ハードディスク上の 重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の 責任において消去することが非常に重要となります。

なお、ソフトウェア使用許諾(ライセンス)契約により、ソフトウェア(OS やアプリケーション・ソフトウェア) の第三者への譲渡が制限されている場合、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくサーバなどを譲渡 すると、契約違反となる可能性があるため、そうした観点からも十分な確認を行う必要があります。

弊社では、お客様の機密情報や重要なデータの漏洩を防止するため、お客様が本機器を廃棄・譲渡するさいにハー ドディスク上のデータやソフトウェアを消去するサービスを提供しておりますので、是非ご利用ください。

- データ消去サービス

弊社の専門スタッフがお客様のもとにお伺いし、短時間で、磁気ディスクおよび磁気テープ媒体上のデータなどを 消去するサービスです。

詳しくは、データ消去サービス(https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/h-elimination/)をご覧ください。

#### サポート&サービス

#### ■ SupportDesk について(有償)

システムの安定稼動に向け、保守・運用支援サービス「SupportDesk」のご契約をお勧めします。ご契約により、ハードウェア障害時の当日訪問修理対応、定期点検、障害予兆/異常情報のリモート通報、電話によるハ ードウェア/ソフトウェアの問題解決支援、お客様専用ホームページでの運用支援情報提供などのサービスが 利用できます。詳しくは、SupportDesk 紹介ページ「製品サポート」

(https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/)を参照してください。

#### ■ 製品・サービスに関するお問い合わせ

製品の使用方法や技術的なお問い合わせ、ご相談については、製品を購入されたさいの販売会社、または弊社 担当営業員・システムエンジニア(SE)にご連絡ください。PRIMEQUEST 2000 シリーズに関するお問い合わ せ先がご不明なときやお困りのときには、「富士通コンタクトライン」にご相談ください。

#### ■ 富士通コンタクトライン

- 電話によるお問い合わせ

電話:0120-933-200(通話料無料)

受付時間 9:00~12:00 および 13:00~17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く) 富士通コンタクトラインでは、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、 お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

- Web によるお問い合わせ

Web によるお問い合わせも承っております。詳細については、富士通ホームページをご覧ください。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/contact/

#### ■ 保証について

保証期間中に故障が発生した場合には、保証書に記載の内容に基づき無償修理いたします。詳細については、 保証書をご覧ください。

#### ■ 修理ご依頼の前に

本体装置に異常が発生した場合は、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-0527)の 「11.2 トラブル対応」を参照して、内容をご確認ください。それでも解決できない異常については、修理相 談窓口または担当営業員に連絡してください。

ご連絡の際は、本体装置前面部右側にある貼付ラベルに記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。また、事前に『PRIMEQUEST 2000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-0527)の「11.2 トラブル対応」をご覧いただき、必要事項を確認してください。お客様が退避したシステム設定情報は、保守時に使用します。

#### マニュアルについて

#### このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前 に、このマニュアルを熟読し理解したうえで当製品を使用してください。また、このマニュアルは大切に保管して ください。富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細 心の注意を払っています。本製品を使用するさいは、マニュアルの説明に従ってください。

本ドキュメントを輸出又は提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

#### PRIMEQUEST 2000 シリーズのマニュアル体系

PRIMEQUEST 2000 シリーズをご利用いただくためのマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。 マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。

日本語版マニュアル:

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/catalog/manual/2000/ 英語版マニュアル:

https://support.ts.fujitsu.com

タイトル	説明	マニュアルコード
PRIMEQUEST 2000 シリーズ はじめにお読みください	PRIMEQUEST 2000 シリーズの開梱後、参照すべきマニ ュアルおよび重要な情報へのアクセス方法について説明 しています。(製品添付マニュアル)	CA92344-0522
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 安全にご使用いただくために	PRIMEQUEST 2000 シリーズを安全にご使用いただくた めの重要な情報について説明しています。	CA92344-0523
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 製品概説	PRIMEQUEST 2000 シリーズの機能や特長について説明 しています。	CA92344-0524
SPARC M10 システム/SPARC Enterprise/PRIMEQUEST 共通設置計画マニュアル	SPARC M10 システム/SPARC Enterprise および PRIMEQUEST を設置するための、設置計画および設備計 画に必要な事項や考え方を説明しています。	С120-Н007
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 設置マニュアル	PRIMEQUEST 2000 シリーズを設置するための仕様や設 置場所の要件について説明しています。	CA92344-0525
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 導入マニュアル	導入のための準備や初期設定、ソフトウェアのインスト ールなど、PRIMEQUEST 2000 シリーズのセットアップ について説明しています。	CA92344-0526
PRIMEQUEST 2000 シリーズ ユーザーインターフェース操作 説明書	PRIMEQUEST 2000 シリーズを適切に運用するための Web-UI および UEFI の操作方法について説明していま す。	CA92344-0528
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 運用管理マニュアル	システムを運用・管理するさいに必要なツール・ソフト ウェアの利用方法、および保守(コンポーネントの交 換、異常通知)の方法について説明しています。	CA92344-0527
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス	MMB、UEFIの機能の詳細など、運用の際に必要な操作 や設定方法について説明しています。	CA92344-0529
PRIMEQUEST 2000 シリーズ メッセージリファレンス	運用中にトラブルが発生したときのメッセージとその対 処方法について説明しています。	CA92344-0530
PRIMEQUEST 2000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル	REMCS サービスの導入と操作について説明しています。	CA92344-0532
PRIMEQUEST 2000 シリーズ 用語集・略語集	PRIMEQUEST 2000 シリーズに関する用語および略語に ついて説明しています。	CA92344-0531

#### 関連するマニュアル

PRIMEQUEST 2000 シリーズに関連するマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。 関連するマニ ュアルは以下のサイトから閲覧できます。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/

最新の ServerView Suite マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/catalog/manual/svs/

タイトル	説明
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat	Red Hat 社から公開されている RHEL 向けマニュアルを補足する
Enterprise Linux 7 編(SupportDesk サー	マニュアルです。RHEL システムの設計、導入、運用、保守に関
ビスご契約者様向け)	する技術情報および参考と、SupportDesk サービスで提供される
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat	ツールの導入、運用情報および参考となる考え方を提供します。
Enterprise Linux 6 編(SupportDesk サー	SupportDesk サービスを契約されたお客様に提供されます。
ビスご契約者様向け)	本書では、Red Hat Enterprise Linux7 編および Red Hat
	Enterprise Linux6 編を総称して「Linux ユーザーズマニュア
	ル」と表記しています
ServerView Suite ServerView Operations	Windows 環境での ServerView Operations Manager のインスト
Manager Quick Installation(Windows)	ールと起動方法について説明しています。
ServerView Suite ServerView Operations	Linux 環境での ServerView Operations Manager のインストール
Manager Quick Installation(Linux)	と起動方法について説明しています。
ServerView Suite ServerView Installation	ServerView Installation Manager を使ったインストールについ
Manager	て説明しています。
ServerView Suite ServerView Operations	ServerView Operations Manager によるサーバ監視の概要と、
Manager Server Management	ServerView Operations Manager のユーザーインターフェース
	について説明しています。
ServerView Suite ServerView RAID	ServerView RAID Manager による RAID 管理について説明してい
Management User Manual	ます。
ServerView Suite Basic Concepts	ServerView Suite の基本的な概念について説明しています
ServerView Operations Manager	ServerView Linux エージェントのインストール、および
Installation ServerView Agents for Linux	ServerView Linux エージェントのアップデートインストールにつ
	いて記載しています。
ServerView Operations Manager	ServerView Windows エージェントのインストール、および
Installation ServerView Agents for	ServerView Windows エージェントのアップデートインストール
Windows	について記載しています。
ServerView Mission Critical Option ユー	PRIMEQUEST 固有に必要な機能(クラスタ連携)をサポートする
ザマニュアル	にあたって、必要な ServerView Mission Critical Option
	(SVmco)について説明しています。
	ServerView Suite マニュアルのサイト
	(https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/pri
	mequest/products/2000/catalog/manual/svs/)
ServerView RAID Manager VMware	VMware vSphere ESXi 7 サーバで、ServerView RAID Manager
vSphere ESXi 7 インストールガイド	を使用するためのインストールと設定について説明しています。

タイトル	説明
ServerView RAID Manager VMware	VMware vSphere ESXi 6 サーバで、ServerView RAID Manager
vSphere ESXi 6 インストールガイド	を使用するためのインストールと設定について説明しています。
ServerView RAID Manager VMware	VMware vSphere ESXi 5 サーバで、ServerView RAID Manager
vSphere ESXi 5 インストールガイド	を使用するためのインストールと設定について説明しています。
Modular RAID コントローラ	SAS アレイコントローラ
LSI MegaRAID SAS 2.0 Software	RAID Ctrl SAS 6Gb 1GB (D3116C)
LSI MegaRAID SAS 2.0 Device Driver	MegaRAID SAS 9286CV-8e
Installation	を使用するための技術情報を提供します。PRIMERGY サイト
MenaRAID SAS ユーザーズガイド追補版	(https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/pri
	mergy/manual/)
Modular RAID コントローラ-	SAS アレイコントローラ
LSI MegaRAID SAS 12G Software	PRAID EP400i / EP420i (D3216)
	PRAID EP420e
LSI MegaRAID SAS 3.0 Device Driver	を使用するための技術情報を提供します。PRIMERGY サイト
Installation	(https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/pri
	mergy/manual/)

#### 略称

本書では、製品名を以下のように表記しています。

正式名	略称
Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Standard	Windows, Windows Server 2019
Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Standard	Windows, Windows Server 2016
Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 R2 Standard	Windows, Windows Server 2012 R2
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 R2 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 Standard	Windows, Windows Server 2012
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Standard	Windows, Windows Server 2008 R2
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Enterprise	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Datacenter	
Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 7 (for Intel64)	Linux RHEL7, RHEL7.x, RHEL
Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 6 (for Intel64)	Linux RHEL6, RHEL6.x, RHEL
VMware vSphere (R) 7	VMware, vSphere 7.x, VMware 7, VMware 7.x
VMware (R) ESXi (R) 7	ESX, ESX 7, ESX 7.x
VMware vSphere(R)6	VMware, vSphere 6.x, VMware 6, VMware 6.x
VMware (R) ESXi (R) 6	ESX, ESX 6, ESX 6.x
VMware vSphere (R) 5	VMware, vSphere 5.x, VMware 5, VMware 5.x
VMware (R) ESXi (R) 5	ESX, ESX 5, ESX 5.x
SUSE ( R ) Linux Enterprise Server ( R ) 15	SLES, SLES 15
SUSE ( R ) Linux Enterprise Server ( R ) 12	SLES, SLES 12
SUSE ( R ) Linux Enterprise Server ( R ) 11	SLES, SLES 11

#### 商標一覧

- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、BitLocker は、米国 Microsoft Corporation の米国お よびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。
- Red Hat は米国およびそのほかの国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Intel vPro、vPro Inside、Celeron、Celeron Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Ultrabook は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Ethernet は、富士ゼロックス社、および米国その他の国におけるゼロックス社の登録商標です。
- VMware および VMware の製品名は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。
- Xen は米国およびその他の国における Citrix Systems, Inc.またはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、(R))を付記しておりません。

#### 表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
ſJ	参照するマニュアルの書名を示します。	『PRIMEQUEST 2000 シリーズ導入マニュア
		ル』(CA92344-0526)を参照してください。
Γ	参照する章、節、項を示します。	「1.4.1 [User List] 画面」を参照してくださ
		い。
[]	画面名、画面のボタン名、タブ名、ドロッ	[OK] ボタンをクリックしてください。
	プダウンメニューを示すときに使います。	

#### CLI(コマンドラインインターフェース)の表記

コマンドの記載形式は以下のとおりです。

#### ■ 入力形式

コマンドの入力形式は以下のように記載しています。

- 値を入力する変数は<>で囲んで記載
- 省略可能な要素は[]で囲んで記載
- 省略可能なキーワードの選択肢は、まとめて[]で囲み、|で区切り記載
- 定義が必須なキーワードの選択肢は、まとめて{}で囲み、|で区切り記載

なお、コマンドの入力形式は枠内に記載しています。

#### 備考

PDF 形式のマニュアルでは、コマンド出力(例を含む)において、改行を表す記号(行末の)以外の箇所でも 改行されている箇所があります。

#### 表記に関する注意事項

本マニュアルに関するご意見、ご要望または内容に不明瞭な部分がございましたら、下記ウェブサイトに具体的な内容を記入のうえ送付してください。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/contact/

- 本書は、予告なしに変更されることがあります。
- 本書では、「マネジメントボード(Management Board)」および「MMB ファームウェア」を、「MMB」 と表記しています。
- 本書では、IOU\_10GbE と IOU\_1GbE を合わせて「IOU」と表記しています。
- 本書に掲載している画面は、実際の装置の画面と一部異なることがあります。
- 本書の画面の IP アドレス、構成情報等は表示例であり、実際の運用では異なります。
- 本書 PDF は、Adobe(R) Reader(R)で「100%表示」「単一ページ」で表示することを前提として作成 しています。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。

Copyright 2014-2021 FUJITSU LIMITED

# 目 次

はじめに		i
目 次		xv
図表目次		xxvii
第1章 1	MMB の Web-UI (Web ユーザーインターフェース) 操作	1
1.1 We	b-UIのメニュー一覧	1
1.1.1	Web-UIのメニュー一覧(Administrator)	2
1.1.2	Web-UI のメニュー一覧(Operator)	5
1.1.3	Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator)	8
1.1.4	Web-UI のメニュー一覧(User)	12
1.1.5	Web-UI のメニュー一覧(CE)	16
1.1.6	保守モード時の Web-UI メニュー	20
1.1.7	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Administrator)	21
1.1.8	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Operator)	23
1.1.9	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)	25
1.1.10	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(User)	27
1.1.11	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(CE)	29
1.1.12	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)	31
1.2 [Sy	rstem]メニュー	34
1.2.1	[System Status] 画面	34
1.2.2	[System Event Log] 画面	36
1.2.3	[Operation Log] 画面	42
1.2.4	[Partition Event Log] 画面	46
1.2.5	[System Information] 画面	50
1.2.6	[Firmware Information] 画面	52
1.2.7	[System Setup] 画面	55
1.2.8	[System Power Control] 画面	59
1.2.9	[LEDs] 画面	62
1.2.10	[Power Supply] 画面	64
1.2.11	[Fans] 画面	67
1.2.12	[Temperature] 画面	70
1.2.13	[SB] メニュー	72
1.2.14	[IOU] メニュー	90
1.2.15	[DU] メニュー	96

1.2.16	[PCI_Box] メニュー	101
1.2.17	[OPL] 画面	108
1.2.18	[MMB] メニュー	110
1.2.19	[Disk Enclosure]メニュー	114
1.3 [Par	rtition] メニュー	119
1.3.1	[Power Control] 画面	119
1.3.2	[Schedule] メニュー	129
1.3.2.	.1 [Schedule Control] 画面	129
1.3.2.	.2 [Schedule List] 画面	131
1.3.2.	.3 [Add Schedule] 画面/[Edit Schedule] 画面	134
1.3.3	[Console Redirection Setup] 画面	137
1.3.3.	.1 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面	137
1.3.3.	.2 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面	141
1.3.4	[Partition Configuration] 画面	145
1.3.4.	.1 [Set Partition Name] ボタン	149
1.3.4.	.2 [Add SB/IOU to Partition] または	
[Add	SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面	149
1.3.4.	3 [Remove SB/IOU from Partition] または	
[Remo	ove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition]画面	153
1.3.4.	.4 [Partition Home] 画面	156
1.3.5	[Partition #x Extended Partitioning Configuration] $\rtimes = = = = \dots$	158
1.3.5.	.1 [SB]画面	158
1.3.5.	.2 [IOU]画面	163
1.3.5.	.3 [PCI Box]画面	165
1.3.6	[Extended Socket Configuration] 画面	168
1.3.7	[Reserved SB Configuration] 画面	171
1.3.8	[Power Management Setup] 画面	175
1.3.9	[Partition#x] メニュー	178
1.3.9.	.1 [Information] 画面	178
1.3.9.	.2 [ASR Control] 画面	181
1.3.9.	.3 [Console Redirection] 画面	184
1.3.9.	.4 [Mode] 画面	
1.3.9.	.5  [SSD Life Cycle Management ] 画面	198
1.4 [Use	er Administration] メニュー	200
1.4.1	[User List] 画面	200
1.4.1.	.1 [Add User] 画面	202
1.4.1.	.2 [Edit User] 画面	203
1.4.1.	3 [Remove User] ボタン	205
1.4.2	[Change Password] 画面	206

1.4.3 [Who] 画面	208
1.4.4 [LDAP Configuration] 画面	210
1.4.4.1 [Directory Service Configuration] 画面	210
1.4.4.2 [LDAP User Group List] 画面	217
1.4.4.3   [Add LDAP User Group] 画面	219
1.4.4.4   [Edit LDAP User Group] 画面	222
1.4.4.5 [Remove Group] ボタン	222
1.5 [Network Configuration]メニュー	223
1.5.1 [Date/Time] 画面	223
1.5.2 [Network Interface] メニュー	227
1.5.2.1 [IPv4 Interface] 画面	227
1.5.2.2 [IPv6 Interface] 画面	233
1.5.3 [Management LAN Port Configuration] 画面	238
1.5.4 [Network Protocols] 画面	244
1.5.5 [Refresh Rate] 画面	248
1.5.6 [SNMP Configuration]メニュー	250
1.5.6.1 [SNMP Community] 画面	250
1.5.6.2 [SNMP Trap] 画面	253
1.5.6.3 [SNMP v3 Configuration] 画面	256
1.5.7 [SSL] メニュー	259
1.5.7.1 [Create CSR] 画面	259
1.5.7.2 [Export Key/CSR] 画面	261
1.5.7.3 [Import Certificate] 画面	263
1.5.7.4  [Create Selfsigned Certificate] 画面	265
1.5.8 [SSH] メニュー	267
1.5.9  [Remote Server Management] 画面	269
1.5.10 [Access Control] 画面	274
1.5.11 [Alarm E-Mail] 画面	
1.6 [Maintenance] メニュー	287
1.6.1 [Firmware Update] メニュー	287
1.6.1.1 [Unified Firmware Update] 画面	287
1.6.2 [Backup/RestoreConfiguration] メニュー	290
1.6.2.1 [Backup/Restore MMB Configuration] 画面	290
1.6.2.2 [Backup BIOS Configuration] 画面	292
1.6.2.3 [Restore BIOS Configuration] 画面	293
1.6.3 [Maintenance Wizard] 画面	296
1.6.4 [REMCS] メニュー	296
第2章 MMBのCLI (コマンドラインインターフェース) 操作	
2.1 CLIの基本操作	

2.1.1	シリアルインターフェース経由でのアクセス	297
2.1.2	管理 LAN インターフェース経由でのアクセス	298
2.1.3	CLI のコマンド一覧	298
2.2 設定	ミ用コマンド	
2.2.1	add partition	
2.2.2	clear access_control	
2.2.3	clear ssh_key	
2.2.4	console	
2.2.5	download ssh_key	
2.2.6	power off	
2.2.7	power on	
2.2.8	sadump	
2.2.9	reset	
2.2.10	nmi	
2.2.11	remove partition	340
2.2.12	set active_mmb	342
2.2.13	set date	
2.2.14	set partition dynamic_reconfiguration	
2.2.15	set gateway	345
2.2.16	set gateway_ipv6	346
2.2.17	set hostname	
2.2.18	set http	
2.2.19	set http_port	
2.2.20	set https	349
2.2.21	set https_port	349
2.2.22	set legacy_tls	350
2.2.23	set ip	351
2.2.24	set ipv6	352
2.2.25	set maintenance_ip	353
2.2.26	set partition home	355
2.2.27	set partition lan_device_mode	356
2.2.28	set partition memory_mirror_ras_mode	358
2.2.29	set partition memory_operation_mode	359
2.2.30	set partition name	
2.2.31	set partition pci_address_mode	
2.2.32	set partition pci_express_mode	
2.2.33	set ssh	
2.2.34	set ssh_port	
2.2.35	set telnet	

2.2.36	set telnet_port	.366
2.2.37	set timezone	.367
2.2.38	set partition extended_partitioning_mode	.373
2.2.39	set partition dimm_excl_mode	.375
2.2.40	set partition skt_binding_mode	.376
2.2.41	add extended_partition sb	.378
2.2.42	add extended_partition iou	.380
2.2.43	add extended_partition pcibox	.382
2.2.44	remove extended_partition sb	.383
2.2.45	remove extended_partition iou	.385
2.2.46	remove extended_partition pcibox	.387
2.2.47	hotadd partition	.388
2.2.48	hotremove partition	.390
2.2.49	pciinfo partition	.392
2.2.50	set partition extended_socket_mode	.393
2.2.51	set partition extended_socket_zone	.395
2.2.52	set partition memory_sparing_mode	.396
2.2.53	create raid logical_drive	.398
2.2.54	delete raid logical_drive	.401
2.2.55	modify raid logical_drive_policy	.402
2.2.56	modify raid logical_drive	.404
2.2.57	create raid global_hotspare	.405
2.2.58	create raid dedicated_hotspare	.406
2.2.59	delete raid hotspare	.407
2.2.60	start raid locate_pd	.408
2.2.61	stop raid locate_pd	.409
2.2.62	start raid locate_ld	.410
2.2.63	stop raid locate_ld	.411
2.2.64	start raid locate_encl	.412
2.2.65	stop raid locate_encl	.413
2.2.66	start raid rebuild	.414
2.2.67	cancel raid rebuild	.415
2.2.68	start raid copyback	.416
2.2.69	cancel raid copyback	.417
2.2.70	start raid mdc	.418
2.2.71	cancel raid mdc	.419
2.2.72	start raid patrol	.420
2.2.73	cancel raid patrol	.421
2.2.74	make raid online	.422

.2.75	make raid offline	423
.2.76	replace raid missing_drive	424
.2.77	set mmbcontrol reset	425
.2.78	set mmbcontrol switch_over	426
.2.79	set special_account	427
.2.80	set partition pci_ecrc_mode	429
.2.81	set sysconf power_feed_mode	431
.2.82	set sysconf power_restoration_policy	432
.2.83	set sysconf power_on_delay	433
.2.84	set sysconf altitude	434
.2.85	set sysconf psu_redundant_mode	435
.2.86	set sysconf system_guid_format	436
.2.87	set reserved_sb	437
.2.88	add user	439
.2.89	set snmp sys_location	441
.2.90	set snmp sys_contact	442
.2.91	set snmp community	443
.2.92	set snmp trap	444
.2.93	set snmp test_trap	445
表示	利コマンド	446
.3.1	show access_control	448
.3.2	show active_mmb	449
.3.3	show date	449
.3.4	show exit_code	450
.3.5	show partition configuration	451
.3.6	show partition dynamic_reconfiguration	453
.3.7	show partition home	454
.3.8	show partition lan_device_mode	455
.3.9	show partition name	456
.3.10	show partition memory_mirror_ras_mode	457
.3.11	show partition memory_operation_mode	458
.3.12	show partition pci_address_mode	459
.3.13	show timezone	460
.3.14	show gateway	460
.3.15	show gateway_ipv6	461
.3.16	show http	461
.3.17	show http_port	462
2 10	show https	462
.5.10	show https://	
	.2.76 .2.77 .2.78 .2.79 .2.80 .2.81 .2.82 .2.83 .2.84 .2.85 .2.86 .2.87 .2.88 .2.90 .2.91 .2.92 .2.93 .2.90 .2.91 .2.92 .2.93 .3.1 .3.2 .3.4 .3.5 .3.6 .3.7 .3.8 .3.7 .3.8 .3.9 .3.10 .3.11 .3.12 .3.13 .3.14 .3.15 .3.16 .3.17	2.76 replace raid missing_drive   2.77 set mmbcontrol reset   2.78 set mmbcontrol switch_over   2.79 set special_account   2.80 set partition pci_ecrc_mode.   2.81 set sysconf power_feed_mode   2.82 set sysconf power_on_delay   2.83 set sysconf power_on_delay   2.84 set sysconf power_on_delay   2.85 set sysconf system_guid_format   2.86 set sysconf system_guid_format   2.87 set reserved_sb   2.88 add user   2.89 set smp sys_location   2.90 set smp sys_contact   2.91 set smp community   2.92 set smp trap   2.93 set snmp trap   2.94 set solution configuration   3.1 show active_mmb   3.3 show watit_code   3.4 show partition name

2.3.20	show legacy_tls	463
2.3.21	show ip	464
2.3.22	show ipv6	465
2.3.23	show hostname	465
2.3.24	show maintenance_ip	466
2.3.25	show ssh	466
2.3.26	show ssh_port	467
2.3.27	show telnet	467
2.3.28	show telnet_port	468
2.3.29	show network	469
2.3.30	show ntpq	470
2.3.31	who	473
2.3.32	help	474
2.3.33	netck traceroute	475
2.3.34	netck arptbl	476
2.3.35	netck arping	477
2.3.36	netck ifconfig	478
2.3.37	netck stat	479
2.3.38	show dynamic_reconfiguration status	480
2.3.39	show partition extended_partitioning_mode	481
2.3.40	show partition dimm_excl_mode	482
2.3.41	show partition skt_binding_mode	483
2.3.42	show extended_partition configuration	484
2.3.43	show partition status	486
2.3.44	show partition extended_socket_mode	489
2.3.45	show partition extended_socket_zone	490
2.3.46	show partition memory_sparing_mode	491
2.3.47	show raid adapter	492
2.3.48	show raid disk_enclosure	494
2.3.49	show raid physical_drive	496
2.3.50	show raid physical_drive_count	497
2.3.51	show raid logical_drive	498
2.3.52	show raid logical_drive_count	499
2.3.53	show raid bbu	500
2.3.54	show special_account	501
2.3.55	show partition pci_ecrc_mode	502
2.3.56	show partition pci_express_mode	503
2.3.57	show firmware_version	504
2.3.58	show sysconf power_feed_mode	506

2.3.59	show sysconf power_restoration_policy	507
2.3.60	show sysconf power_on_delay	508
2.3.61	show sysconf altitude	509
2.3.62	show sysconf psu_redundant_mode	510
2.3.63	show sysconf system_guid_format	511
2.3.64	show sysconf input_voltage	512
2.3.65	show reserved_sb	513
2.3.66	show user_list	514
2.3.67	show snmp sys_location	515
2.3.68	show snmp sys_contact	515
2.3.69	show snmp community	516
2.3.70	show snmp trap	517
2.4 アッ	プデート用コマンド	518
2.4.1	update ALL	519
2.4.2	show update_status	521
2.5 その	他のコマンド	522
2.5.1	exit	522
2.5.2	passwd	523
2.5.3	ping	524
笙 3 音 □	FFI のメニュー操作	525
31 Boo	t Manager フロントページ	525
3.1 000	mnager シロント 、 ン	526
3.2 [(0	回回版场	527
3.2 [Col 3.3 [Ro	$\frac{1}{2} = \frac{1}{2}$	527
טטן 2.5 2.2 1	$\vec{J} = k \pi^2 \hat{J}_{2} \hat{J}_{2}$	578
י.כ.ר ג ג	ノーティッション	520 <u>5</u> 20
יריר זידי גידי	しけのシート 1/ガシーBIOSのブート仕様について	520
7.2.7	ブート処理	521
3/ [Do	vice Manager] X⁻⊐−	536
3.4 [De 3.4 1	[System Information] $\times \neg \neg$	528
3.4.7	[I AN Remote Boot Configuration] $X^- \gamma -$	5/0
343	[CPI] (onfiguration] $X^- \neg -$	5/ <sub>1</sub> 7
344	[PCI Subsystem (onfiguration] $X = \pi$	556
ייייר א א ג	1 [OpPOM Scap (opfiquation] $X = \gamma - \gamma$	550
3.4.4	$\frac{1}{2}  [VO \text{ Space Assignment Configuration}] \times \frac{1}{2} = -$	569
י+.4. ג ג ג	$\sum [100 \text{ space assignment configuration}] = 1$	571 - S
ן.4. גע גע	$1 \qquad [M\Delta C \text{ Selection}] \times \neg -$	۰۰۰۰۰۰ ۲۸۱ ۲۶۶
ן, ב ג אין, ב	$2  [\text{Attempt Configuration}] \times \neg -$	
).4.). )/. [	2 [Attempt configuration] $\wedge - \neg -$	۵٬۲
5.4.5.	י הרובונה אוובווווגואשלישה אוובוווגאשיייייייייייייייייייייייייייייייייי	

3.4.5.4 [Change Attempt Order]メニュー	
3.4.6 [Memory Configuration] メニュー	587
3.4.7 [USB Configuration]メニュー	
3.4.8 [Security Configuration]メニュー	593
3.4.9 [Security Configuration2]メニュー	596
3.4.10 [Secure Boot Configuration]メニュー	
3.4.10.1 [Key Management]メニュー	597
3.4.10.2 [PK Options]メニュー	
3.4.10.3 [Save PK file]メニュー	
3.4.10.4 [KEK Options]メニュー	
3.4.10.5 [Enroll KEK]メニュー	
3.4.10.6 [Delete KEK]メニュー	
3.4.10.7 [DB Options]メニュー	
3.4.10.8 [Enroll Signature]メニュー	600
3.4.10.9 [Delete Signature]メニュー	600
3.4.10.10 [DBX Options]メニュー	600
3.4.10.11 [Enroll Signature]メニュー	601
3.4.10.12 [Delete Signature]メニュー	601
3.4.10.13 [DBT Options]メニュー	601
3.4.10.14 [Enroll Signature]メニュー	602
3.4.10.15 [Delete Signature]メニュー	602
3.4.11 [Address Range Mirroring Configuration]メニュー	602
3.5 [Boot Maintenance Manager] メニュー	605
3.5.1 [Boot Mode] メニュー	607
3.5.2 [Boot Options] メニュー	609
3.5.3 [Boot From File] メニュー	650
3.5.4 [Boot From DVD/CD] メニュー	654
3.5.5 [Set Boot Delay Time] メニュー	655
3.6 デバイスパス	658
3.6.1 デバイスパスのパラメーター	658
3.6.2 デバイスパスの識別	659
第4章 UEFIのコマンド操作	
4.1 UEFI シェルと UEFI コマンド	662
4.1.1 自動起動ファイル	
4.1.2 UEFI シェルのコマンドシンタックス	
4.1.3 出力リダイレクション	
4.1.4 UEFI シェルコマンド一覧	
第5章 Dynamic Reconfiguration 操作	

5.1 DF	R のコマンド操作	666
5.1.1	dr コマンド (共通部)	666
5.1.	.1.1 書式	666
5.1.	.1.2 説明	666
5.1.	.1.3 オプション	666
5.1.	.1.4 終了コード	666
5.1.2	デバイスのホットアッド・ホットリムーブ操作(add/rm サブコマンド)	667
5.1.	.2.1 書式	667
5.1.	.2.2 説明	667
5.1.	.2.3 オプション	667
5.1.	.2.4 例	667
5.1.3	スロットの状態表示(stat サブコマンド)	668
5.1.	.3.1 書式	668
5.1.	.3.2 説明	668
5.1.	.3.3 オプション	668
5.1.	.3.4 例	668
5.1.4	デバイス配下の資源表示(show サブコマンド)	669
5.1.	.4.1 書式	669
5.1.	.4.2 説明	669
5.1.	.4.3 オプション	669
5.1.	.4.4 例	669
5.1.5	情報収集(report サブコマンド)	670
5.1.	.5.1 書式	670
5.1.	.5.2 説明	670
5.1.	.5.3 オプション	670
5.1.	.5.4 例	670
5.2 木	τットプラグ連携機能	671
5.2.1	連携機能概要	671
5.2.2	連携プログラム実行タイミング	671
5.2.3	連携プログラムのタイムアウト	672
5.2.4	連携プログラムの格納ディレクトリ	672
5.2.5	連携プログラムの命名規約	673
5.2.6	連携プログラムの設定ファイル記述方法	674
5.2.7	連携プログラムの権限	675
5.2.8	連携プログラムへ渡される引数	675
5.2.9	連携プログラムの終了ステータス	677
5.2.10	0 連携プログラムの出力	677
5.2.11	1 連携プログラムを実行する処理の流れ	678
第6章	sadump 環境の設定	

6.1	sadump 環境設定のメニュー構成	
6.1	1.1   画面構成	687
6.2	メインメニュー	688
6.3	sadump セットアップメニュー	
6.4	ダンプデバイスメンテナンスメニュー	691
6.5	ダンプデバイス構築メニュー	692
6.6	ダンプデバイス選択メニュー	
6.7	ダンプデバイス設定メニュー	694
6.8	ダンプデバイス一覧メニュー	696
6.9	破棄ダンプデバイス選択メニュー	697
6.10	マルチダンプデバイス選択メニュー	698
6.11	マルチダンプデバイス確認メニュー	
付録 A	設定項目の一覧	
A.1	MMB Web-UI の設定項目	700
A.1	1.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	701
A.1	I.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目	702
A.1	1.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	702
A.1	.4 [System Information] 画面の設定項目	703
A.1	I.5 [System Setup] 画面の設定項目	704
A.1	I.6 [System Power Control] 画面の設定項目	705
A.1	1.7 [Power Control] 画面の設定項目	705
A.1	I.8 [Schedule Control]画面の設定項目	705
A.1	I.9 [Add Schedule]/[Edit Schedule] 画面の設定項目	706
A.1	1.10 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	707
A.1	1.11 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	707
A.1	I.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目	707
A.1	1.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目	708
A.1	1.14 [ASR Control] 画面の設定項目	709
A.1	I.15 [Console Redirection] 画面の設定項目	709
A.1	I.16 [Mode] 画面の設定項目	710
A.1	1.17 [Add User]/[Edit User] 画面の設定項目	711
A.1	I.18 [Change Password] 画面の設定項目	712
A.1	1.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目	713
A.1	1.20 [Date/Time] 画面の設定項目	715
A.1	1.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目	716
A.1	1.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目	720
A.1	1.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目	721
A.1	1.24 [Network Protocols] 画面の設定項目	722
A.1	1.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目	724

A.1.26	[SNMP Community] 画面の設定項目724
A.1.27	[SNMP Trap] 画面の設定項目725
A.1.28	[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目726
A.1.29	[Create CSR] 画面の設定項目726
A.1.30	[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目727
A.1.31	[Edit User] 画面の設定項目727
A.1.32	[Add Filter]/[Edit Filter] 画面の設定項目728
A.1.33	[Alarm E-Mail] 画面の設定項目729
A.1.34	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目729
A.2 UEF	1の設定項目
A.2.1	[LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目731
A.2.2	[CPU Configuration] 画面の設定項目732
A.2.3	[PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目736
A.2.3	.1 [OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目737
A.2.3	.2 [I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目741
A.2.4	[iSCSI Configuration] 画面の設定項目741
A.2.4	.1 [Attempt Configuration] 画面の設定項目742
A.2.5	[Memory Configuration] 画面の設定項目744
A.2.6	[USB Configuration] 画面の設定項目746
A.2.7	[Security Configuration] 画面の設定項目746
A.3 ビラ	デオリダイレクションの設定項目747
A.3.1	[Video] 画面の設定項目
A.3.2	[Keyboard] 画面の設定項目748
A.3.3	[Mouse] 画面の設定項目749
A.3.4	[Options] 画面の設定項目749
A.4 ビラ	デオリダイレクション(HTML5)の設定項目750
A.4.1	[Video] 画面の設定項目
A.4.2	[Mouse] 画面の設定項目751
A.4.3	[Options] 画面の設定項目751
A.4.4	[Keyboard] 画面の設定項目752
A.4.5	[Video Record] 画面の設定項目752
A.5 UEF	〒の推奨設定

# 図表目次

### 図目次

図 1.1	[System Status] 画面	4
図 1.2	[System Event Log] 画面	6
図 1.3	[System Event Log (Collect)] 画面	8
図 1.4	[System Event Log Filtering Condition] 画面	9
図 1.5	[Operation Log] 画面	2
図 1.6	[Operation Log Filtering Condition] 画面	3
図 1.7	[Partition Event Log] 画面	6
図 1.8	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面	8
図 1.9	[System Information] 画面	0
図 1.10	[Firmware Information] 画面	2
図 1.11	[System Setup] 画面	5
図 1.12	[System Power Control] 画面	9
図 1.13	[LEDs] 画面62	2
図 1.14	[Power Supply] 画面	4
図 1.15	[Fans] 画面(1)6]	7
図 1.16	[Fans] 画面(2)68	8
図 1.17	[Temperature] 画面7(	0
図 1.18	[SB#x] 画面(1)	2
図 1.19	[SB#x] 画面(2)	3
図 1.20	[SB#x] 画面(3)	3
図 1.21	[SB#x] 画面(4)	4
図 1.22	[SB#x] 画面(5)	4
図 1.23	[SB#x] 画面(6)	5
図 1.24	[Memory Scale-up Board] 画面(1)	6
図 1.25	[Memory Scale-up Board] 画面(2)	6
図 1.26	[Memory Scale-up Board] 画面(3)77	7
図 1.27	[Memory Scale-up Board] 画面(4)77	7
図 1.28	[Memory Scale-up Board] 画面(5)	8
図 1.29	[SB#x Status Clear] 画面(メッセージ表示)88	8
図 1.30	[SB#x] 画面(CPU/DIMM なしの場合)89	9
図 1.31	[IOU#x] 画面(1)90	0

図 1.32	[IOU#x] 画面(2)	91
図 1.33	[IOU#x] 画面(3)	91
図 1.34	[DU#x] 画面(1)	96
図 1.35	[DU#x] 画面(2)	97
図 1.36	[PCI_Box] 画面(1)	101
図 1.37	[PCI_Box#x] 画面(2)	102
図 1.38	[PCI_Box#x] 画面(3)	102
図 1.39	[PCI_Box#x] 画面(4)	103
図 1.40	[OPL] 画面	108
図 1.41	[MMB#x] 画面	
図 1.42	Disk Enclosure 画面(1)	114
図 1.43	Disk Enclosure 画面(2)	115
図 1.44	[Power Control] 画面	120
図 1.45	[Power Control] 画面	120
図 1.46	[Power Control] 画面(グレーアウト表示)	121
図 1.47	[Power Control] 画面(グレーアウト表示)	121
図 1.48	[Power Control] 画面のエラー表示	127
図 1.49	[Schedule Control] 画面	129
図 1.50	[Schedule List] 画面	
図 1.51	[Add Schedule] 画面	
図 1.52	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面	137
図 1.53	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面	138
図 1.54	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面	141
図 1.55	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面	142
図 1.56	[Partition Configuration] 画面	145
図 1.57	[Partition Configuration] 画面	146
図 1.58	[Add SB/IOU to Partition] 画面	149
図 1.59	[Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面	150
図 1.60	[Remove SB/IOU from Partition] 画面	153
図 1.61	[Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面	154
図 1.62	[Partition Home] 画面	156
図 1.63	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面(1)	158
図 1.64	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面(2)	159
図 1.65	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] no Extended Partitioning 画面	162
図 1.66	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources]	163
図 1.67	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] no Extended Partitioning 画面	164
図 1.68	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面	165

図 1.69	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] no Extended Partitioning 画面	166
図 1.70	[Extended Socket Configuration] 画面	168
図 1.71	[Extended Socket Configuration] 画面のエラー表示	169
図 1.72	[Reserved SB Configuration] 画面	171
図 1.73	[Power Management Setup] 画面	175
図 1.74	[Information] 画面	178
図 1.75	[Information] Extended Partitioning 画面	179
図 1.76	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面	181
図 1.77	[Console Redirection] 画面(BC19071、BB19071、BA19071 以降)	184
図 1.78	[Console Redirection] 画面(BC19051、BB19051、BA19051 以前)	186
図 1.79	[Mode] 画面 (PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S )	188
図 1.80	[Mode] 画面(2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L)(1)	189
図 1.81	[Mode] 画面(2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L)(2)	190
図 1.82	[Mode] 画面 (PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3)	191
図 1.83	[Mode] 画面(拡張パーティション)	192
図 1.84	[SSD Life Cycle Management ] 画面	198
図 1.85	[User List] 画面	200
図 1.86	[Add User] 画面	202
図 1.87	[Edit User] 画面	203
図 1.88	[Change Password] 画面	206
図 1.89	[Who] 画面	208
図 1.90	[Directory Service Configuration] 画面(1/2)	210
図 1.91	[Directory Service Configuration] 画面(2/2)	211
図 1.92	[LDAP User Group List] 画面	217
図 1.93	[Add LDAP User Group List] 画面	219
図 1.94	[Edit LDAP User Group] 画面	222
図 1.95	[Date/Time] 画面	223
図 1.96	[IPv4 Interface] 画面(1)	227
図 1.97	[IPv4 Interface] 画面(2)	228
図 1.98	[IPv6 Interface] 画面(1)	233
図 1.99	[IPv6 Interface] 画面(2)	234
図 1.100	[Management LAN Port Configuration] 画面	238
図 1.101	[Network Protocols] 画面	244
図 1.102	[Refresh Rate] 画面	248
図 1.103	[SNMP Community] 画面	250
図 1.104	[SNMPTrap] 画面	253
図 1.105	[SNMP v3 Configuration] 画面	256

図 1.106	[Create CSR] 画面	259
図 1.107	確認ダイアログボックス	261
図 1.108	[Export Key/CSR] 画面	262
図 1.109	[Import Certificate] 画面	263
図 1.110	[Create Selfsigned Certificate] 画面	265
図 1.111	[Create SSH Server Key] 画面	267
図 1.112	[Remote Server Management] 画面	269
図 1.113	[Edit User] 画面	271
図 1.114	[Access Control] 画面	274
図 1.115	[Add Filter] 画面	277
図 1.116	[Alarm E-Mail] 画面	280
図 1.117	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面	. 284
図 1.118	[Unified Firmware Update] 画面	287
図 1.119	[Backup/Restore MMB Configuration] 画面	. 290
図 1.120	[Backup BIOS Configuration] 画面	292
図 1.121	[Restore BIOS Configuration] 画面(1)	. 293
図 1.122	[Restore BIOS Configuration] 画面(2)	. 294
図 3.1 B	oot Manager フロントページ表示例	. 525
図 3.2 B	oot Manager フロントページの画面領域	. 526
図 3.3 [	Boot Manager] メニューの表示例	527
図 3.4 B	oot Manager のブートオプション	529
図 3.5 L	egacy Boot オプションの実行	530
図 3.6 [	3oot Manager] メニューの表示例	. 535
図 3.7 [	Device Manager] メニューの表示例	536
図 3.8 [9	System Information]メニューの表示例	. 538
図 3.9 [	AN Remote Boot Configuration] メニューの表示例	. 541
図 3.10	PXE/iSCSI ブート Enable 設定の操作画面	543
図 3.11	[Boot Manager] メニューの表示例	544
図 3.12	[MAC Selection] の表示例	545
図 3.13	[Set Legacy NET Drive Order] メニューの表示例	. 546
図 3.14	[CPU Configuration] メニューの表示例	547
図 3.15	[CPU Configuration] メニューの表示例(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	
2400	E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2の場合)	. 548
図 3.16	[PCI Subsystem Configuration]メニューの表示例	. 556
図 3.17	[IOU OpROM Scan Configuration]メニューの表示例	. 559
図 3.18	[I/O Space Assignment Configuration] メニューの表示例	. 569
図 3.19	[iSCSI Configuration] メニュー画面表示例	571

図 3.20	iSCSI 環境設定操作画面(1)	. 573
図 3.21	iSCSI 環境設定 操作画面(2) [MAC Selection]メニュー	. 574
図 3.22	iSCSI 環境設定操作画面(3) [Attempt Configuration]メニュー	. 575
図 3.23	[MAC Selection] メニュー表示例	. 576
図 3.24	[Attempt Configuration]メニューの表示例	. 578
図 3.25	[Delete Attempts]メニューの表示例	. 583
図 3.26	[Change Attempt Order]メニューの表示例	. 585
図 3.27	[Memory Configuration] メニュー画面表示例	. 587
図 3.28	[USB Configuration]メニューの表示例	. 590
図 3.29	[Security Configuration]メニューの表示例	. 593
図 3.30	[Boot Maintenance Manager] メニュー	.605
図 3.31	[Boot Mode]メニューの表示例	.607
図 3.32	[Boot Options] メニュー	.609
図 3.33	[Boot Manager] メニューの表示例	.610
図 3.34	[Add Boot Option] メニューの表示例	.611
図 3.35	デバイス一覧	.612
図 3.36	ファイル選択画面の表示例	.613
図 3.37	Windows Server 2012 インストール済みディスクの画面	.615
図 3.38	ブートオプション名称変更画面の表示例	.616
図 3.39	[Boot Manager] メニューの表示例	.617
図 3.40	[Delete Boot Option] メニューの表示例	.618
図 3.41	ブートオプションの削除画面(1)	.619
図 3.42	ブートオプションの削除画面(2)	.620
図 3.43	[Change Boot Order] メニュー	.621
図 3.44	優先順位の変更画面(Change Boot Order) (1)	.623
図 3.45	優先順位の変更画面(Change Boot Order) (2)	.624
図 3.46	優先順位の設定変更後の画面(Change Boot Order) (3)	.625
図 3.47	[Set Legacy Floppy Drive Order]メニューの表示例	.626
図 3.48	優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (1)	. 628
図 3.49	優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (2)	.629
図 3.50	優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (3)	. 630
図 3.51	優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (4)	. 631
図 3.52	[Set Legacy HardDisk Drive Order] メニューの表示例	.632
図 3.53	優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (1)	.634
図 3.54	優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (2)	.635
図 3.55	優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (3)	.636
図 3.56	優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (4)	.637

図 3.57	[Set Legacy CD-ROM Drive Order] メニューの表示例	638
図 3.58	優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (1)	640
図 3.59	優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (2)	641
図 3.60	優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (3)	642
図 3.61	優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (4)	643
図 3.62	[Set Legacy NET Drive Order] メニューの表示例	644
図 3.63	優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (1)	646
図 3.64	優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (2)	647
図 3.65	優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (3)	648
図 3.66	優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (4)	649
図 3.67	[Boot From File] メニューの表示例	650
図 3.68	ブートファイルの指定(1)	651
図 3.69	ブートファイルの指定(2)	652
図 3.70	ブートファイルの指定(3)	653
図 3.71	Boot From DVD/CD メッセージ	654
図 3.72	ロゴ画面	655
図 3.73	[Set Boot Delay Time] メニュー表示例	656
図 3.74	SB 内蔵 SAS ディスクの特定	659
図 3.75	DU#0 内の SAS ディスクの特定	659
図 3.76	Fibre カードからのディスクの特定	660
図 3.77	GigaLAN の特定	661
図 4.1	UEFI Shell 起動直後の画面表示例	662
図 5.1	SB 追加処理開始	678
図 5.2	SB 削除処理開始	679
図 5.3	IOU 追加処理開始	.680
図 5.4	IOU 削除処理開始	680
図 5.5	逮携プログラムの昇順実行 <i>(1/2)</i>	.681
図 5.6	連携プログラムの昇順実行(2/2)	682
図 6.1	sadump 環境設定のメニュー構成(1)	684
図 6.2	sadump 環境設定のメニュー構成(2)	685
図 6.3	sadump 環境設定のメニュー構成(3)	686
図 6.4	sadump 環境設定の画面構成	687
図 6.5	メインメニュー	688
図 6.6	sadump セットアップメニュー	689
図 6.7	ダンプデバイスメンテナンスメニュー	691
図 6.8	ダンプデバイス構築メニュー	692
図 6.9	ダンプデバイス選択メニュー	693

図 6.10	ダンプデバイス設定メニュー	694
図 6.11	ダンプデバイス一覧メニュー	696
図 6.12	破棄ダンプデバイス選択メニュー	697
図 6.13	マルチダンプデバイス選択メニュー	698
図 6.14	マルチダンプデバイス確認メニュー	699

## 表目次

表 1.1	ユーザー権限	1
表 1.2	Web-UIのメニュー一覧(Administrator)	2
表 1.3	Web-UIのメニュー一覧(Operator)	5
表 1.4	Web-UIのメニュー一覧(Partition Operator)	8
表 1.5	Web-UIのメニュー一覧(User)	.12
表 1.6	Web-UI のメニュー一覧(CE)	. 16
表 1.7	保守モードの種類	. 20
表 1.8	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(Administrator)	.21
表 1.9	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(Operator)	.23
表 1.10	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)	.25
表 1.11	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(User)	. 27
表 1.12	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(CE)	. 29
表 1.13	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)	. 31
表 1.14	ユニットの状態とアイコン	. 35
表 1.15	[System Status] 画面の表示項目	. 35
表 1.16	[System Event Log] 画面の表示項目	. 37
表 1.17	[System Event Log] 画面のボタン	. 37
表 1.18	[System Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	. 40
表 1.19	[System Event Log Filtering Condition] 画面のボタン	. 41
表 1.20	[Operation Log] 画面の表示項目	. 42
表 1.21	[Operation Log] 画面のボタン	. 43
表 1.22	[Operation Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	. 44
表 1.23	[Operation Log Filtering Condition] 画面のボタン	. 44
表 1.24	[Partition Event Log] 画面の表示項目	. 46
表 1.25	[Partition Event Log] 画面のボタン	. 47
表 1.26	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	. 48
表 1.27	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面のボタン	. 49
表 1.28	[System Information] 画面の表示・設定項目	. 51
表 1.29	[System Information] 画面のボタン	. 51
表 1.30	[Firmware Information] 画面の表示項目	. 53
表 1.31	[System Setup] 画面の表示・設定項目	. 56
表 1.32	[System Setup] 画面のボタン	. 58
表 1.33	[System Power Control] 画面の表示・設定項目	. 60
表 1.34	[System Power Control] 画面のボタン	. 60
表 1.35	[LEDs] 画面の表示・設定項目	. 62

表 1.36	[LEDs] 画面のボタン63	
表 1.37	[Power Supply] 画面の表示項目	
表 1.38	[Power Supply] 画面のボタン	
表 1.39	[Fans] 画面の表示項目	
表 1.40	[Fans] 画面のボタン69	
表 1.41	[Temperature] 画面の表示項目71	
表 1.42	[SB#x] 画面の表示・設定項目(1/2)79	
表 1.43	[SB#x] 画面の表示・設定項目(2/2)84	
表 1.44	[SB#x] 画面のボタン	
表 1.45	[IOU#x] 画面の表示・設定項目	
表 1.46	[IOU#x] 画面のボタン	
表 1.47	[DU#x] 画面の表示・設定項目	
表 1.48	[DU#x] 画面のボタン100	
表 1.49	[PCI_Box#x] 画面の表示項目104	
表 1.50	[PCI_Box#x] 画面のボタン107	
表 1.51	[OPL] 画面の表示項目109	
表 1.52	[OPL] 画面のボタン109	
表 1.53	[MMB#x] 画面の表示・設定項目111	
表 1.54	[MMB#x] 画面のボタン112	
表 1.55	[Disk Enclosure#x] 画面の表示・設定項目116	
表 1.56	[Power Control] 画面の表示・設定項目123	
表 1.57	[Power Control] 画面のボタン126	
表 1.58	[Schedule Control] 画面の表示・設定項目130	
表 1.59	[Schedule Control] 画面のボタン130	
表 1.60	[Schedule List] 画面の表示・設定項目132	
表 1.61	[Schedule List] 画面のボタン132	
表 1.62	[Add Schedule] 画面の表示・設定項目135	
表 1.63	[Add Schedule] 画面のボタン136	
表 1.64	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目139	
表 1.65	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面のボタン139	
表 1.66	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目143	
表 1.67	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面のボタン143	
表 1.68	[Partition Configuration] 画面の表示・設定項目147	
表 1.69	[Partition Configuration] 画面のボタン147	
表 1.70	[Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目151	
表 1.71	[Remove SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目154	
表 1.72	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面の表示・設定項目	
表 1.73	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] 画面の表示・設定項目	164
---------	---	-----
表 1.74	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面の表示・設定項目	166
表 1.75	[Extended Socket Configuration] 画面の表示・設定項目	169
表 1.76	[Extended Socket Configuration] 画面のボタン	170
表 1.77	[Reserved SB Configuration] 画面の表示・設定項目	173
表 1.78	[Reserved SB Configuration] 画面のボタン	173
表 1.79	[Power Management Setup] 画面の表示・設定項目	176
表 1.80	[Power Management Setup] 画面のボタン	176
表 1.81	[Information] 画面の表示項目	180
表 1.82	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面の表示・設定項目	182
表 1.83	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面のボタン	183
表 1.84	[Console Redirection] 画面の表示項目(BC19071、BB19071、BA19071 以降)	185
表 1.85	[Console Redirection] 画面のボタン(BC19071、BB19071、BA19071 以降)	185
表 1.86	[Console Redirection] 画面の表示項目(BC19051、BB19051、BA19051 以前)	187
表 1.87	[Console Redirection] 画面のボタン(BC19051、BB19051、BA19051 以前)	187
表 1.88	[Mode] 画面の表示・設定項目	193
表 1.89	パーティションの状態による TPM 項目の表示/非表示	196
表 1.90	[SSD Life Cycle Management] 画面の表示項目	199
表 1.91	[User List] 画面の表示項目	201
表 1.92	[User List] 画面のボタン	201
表 1.93	[Add User]/[Edit User] 画面の表示・設定項目	204
表 1.94	[Add User]/[Edit User] 画面のボタン	204
表 1.95	[Change Password] 画面のボタン	206
表 1.96	[Who] 画面の表示項目	208
表 1.97	[Directory Service Configuration] 画面の表示・設定項目	212
表 1.98	[Directory Service Configuration] 画面のボタン	216
表 1.99	[LDAP User Group List] 画面の表示項目	218
表 1.100	[LDAP User Group List] 画面のボタン	218
表 1.101	[Add LDAPUser Group]/[Edit LDAPUser Group] 画面の表示・設定項目	220
表 1.102	[Add LDAPUser Group]/[Edit LDAPUser Group] 画面のボタン	220
表 1.103	[Date/Time] 画面の表示・設定項目	224
表 1.104	[Date/Time] 画面のボタン	225
表 1.105	[IPv4 Interface] 画面の表示・設定項目	229
表 1.106	[IPv4 Interface] 画面のボタン	232
表 1.107	[IPv6 Interface] 画面の表示・設定項目	235
表 1.108	[IPv6 Interface] 画面のボタン	237
表 1.109	[Management LAN Port Configuration] 画面の表示・設定項目	239

表 1.110	[Management LAN Port Configuration] 画面のボタン	.240
表 1.111	[Network Protocols] 画面の表示・設定項目	. 245
表 1.112	[Network Protocols] 画面のボタン	.246
表 1.113	[Refresh Rate] 画面の表示・設定項目	.248
表 1.114	[Refresh Rate] 画面のボタン	.249
表 1.115	[SNMP Community] 画面の表示・設定項目	.251
表 1.116	[SNMP Community] 画面のボタン	.251
表 1.117	[SNMP Trap] 画面の表示・設定項目	.254
表 1.118	[SNMPTrap] 画面のボタン	.255
表 1.119	[SNMP v3 Configuration] 画面の表示・設定項目	.257
表 1.120	[SNMP v3 Configuration] 画面のボタン	.258
表 1.121	[Create CSR] 画面の表示・設定項目	.260
表 1.122	[Create CSR] 画面のボタン	.260
表 1.123	[Export Key/CSR] 画面のボタン	.262
表 1.124	[Import Certificate] 画面のボタン	.263
表 1.125	[Create Selfsigned Certificate] 画面の表示項目	.265
表 1.126	[Create Selfsigned Certificate] 画面のボタン	. 265
表 1.127	[Create SSH Server Key] 画面のボタン	.267
表 1.128	[Remote Server Management] 画面の表示・設定項目	. 270
表 1.129	[Remote Server Management] 画面のボタン	.270
表 1.130	[Edit User] 画面の表示・設定項目	.272
表 1.131	[Edit User] 画面のボタン	.272
表 1.132	[Access Control] 画面の表示・設定項目	. 275
表 1.133	[Access Control] 画面のボタン	. 275
表 1.134	[Add Filter] 画面の表示・設定項目	.278
表 1.135	[Add Filter] 画面のボタン	.278
表 1.136	[Alarm E-Mail] 画面の表示・設定項目	. 282
表 1.137	[Alarm E-Mail] 画面のボタン	. 283
表 1.138	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	. 285
表 1.139	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面のボタン	. 286
表 1.140	[Backup BIOS Configuration] 画面のボタン	. 292
表 1.141	[Restore BIOS Configuration] 画面(2) の表示・設定項目	. 294
表 1.142	[Restore BIOS Configuration] 画面(2) のボタン	. 294
表2.1 タ	ーミナルソフトウェアの設定値	. 297
表 2.2 M	MB CLI コマンド一覧(Administrator) (1/2)	. 299
表 2.3 M	MB CLI コマンド一覧(Administrator) (2/2)	. 301
表 2.4 M	MB CLI コマンド一覧(Operator) (1/2)	. 304

表 2.5	MMB CLI コマンド一覧(Operator) (2/2)	. 306
表 2.6	MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (1/2)	. 309
表 2.7	MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (2/2)	. 312
表 2.8	MMB CLI コマンド一覧(User) (1/2)	. 314
表 2.9	MMB CLI コマンド一覧(User) (2/2)	.316
表 2.10	MMB CLI コマンド一覧(CE) (1/2)	. 319
表 2.11	MMB CLI コマンド一覧(CE) (2/2)	. 321
表 2.12	パラメーターの指定範囲	. 324
表 2.13	show ntpq の出力項目	. 471
表 3.1 >	<ニュー選択部の表示内容	. 526
表 3.2	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 527
表 3.3	Virtual Media を接続した場合の、ブートオーダーの初期状態	. 528
表 3.4	UEFIのブート仕様とレガシーBIOSのブート仕様での起動の流れ	. 531
表 3.5	Windows Server 2008 R2 のブート成功	. 532
表 3.6	Windows Server 2008 R2 のブート失敗(EFI USB Device の UEFI ブート成功)	. 532
表 3.7	Windows Boot Manager, EFI USB Device, EFI Network Device に失敗し、レガシーの HDD からのブー	・トに
成功	りした場合	. 533
表 3.8	UEFI Aware OS ブート、レガシーOS ブートに失敗し、UEFI Shell 起動に成功した場合	. 533
表 3.9	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 535
表 3.10	メニュー選択部の表示内容	. 537
表 3.11	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 537
表 3.12	システム情報表示部の表示内容	. 539
表 3.13	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 539
表 3.14	[LAN Remote Boot Configuration] メニューの反映	. 540
表 3.15	メニュー選択部の表示内容	. 542
表 3.16	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 542
表 3.17	メニュー選択部の表示内容	. 549
表 3.18	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 555
表 3.19	メニュー選択部の表示内容	. 557
表 3.20	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 558
表 3.21	メニュー選択部の表示内容(1/2)	. 559
表 3.22	メニュー選択部の表示内容(2/2)	. 563
表 3.23	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 568
表 3.24	メニュー選択部の表示内容	. 570
表 3.25	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 570
表 3.26	メニュー選択部の表示内容	. 572
表 3.27	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 572

表 3.28	メニュー選択部の表示内容	. 576
表 3.29	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 577
表 3.30	メニュー選択部の表示内容	. 579
表 3.31	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 582
表 3.32	メニュー選択部の表示内容	. 584
表 3.33	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 584
表 3.34	メニュー選択部の表示内容	. 585
表 3.35	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 586
表 3.36	メニュー選択部の表示内容	. 588
表 3.37	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 589
表 3.38	メニュー選択部の表示内容	. 591
表 3.39	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 592
表 3.40	メニュー選択部の表示内容	. 594
表 3.41	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 595
表 3.42	Security Configuration2 の表示内容	. 596
表 3.43	Secure Boot Configuration の表示内容	. 597
表 3.44	Key Management メニューの表示内容	. 597
表 3.45	PK Options メニューの表示内容	. 598
表 3.46	Save PK file メニューの表示内容	. 598
表 3.47	KEK Options メニューの表示内容	. 598
表 3.48	Enroll KEK メニューの表示内容	. 599
表 3.49	Delete KEK メニューの表示内容	. 599
表 3.50	DB Options メニューの表示内容	. 599
表 3.51	Enroll Signature メニューの表示内容	.600
表 3.52	Delete Signature メニューの表示内容	.600
表 3.53	DBX Options メニューの表示内容	.600
表 3.54	Enroll Signature メニューの表示内容	.601
表 3.55	Delete Signature メニューの表示内容	.601
表 3.56	DBT Options メニューの表示内容	.601
表 3.57	Enroll Signature メニューの表示内容	.602
表 3.58	Delete Signature メニューの表示内容	. 602
表 3.59	Address Range Mirroring Configuration メニューの表示内容	. 602
表 3.60	メニュー選択部の表示内容	. 605
表 3.61	操作ヘルプ表示部の表示内容	.606
表 3.62	メニュー選択部の表示内容	. 608
表 3.63	操作ヘルプ表示部の表示内容	. 608
表 3.64	メニュー選択部の表示内容	. 609

表 3.65	操作ヘルプ表示部の表示内容	610
表 3.66	操作ヘルプ表示部の表示内容	611
表 3.67	入力できる文字数、文字種	617
表 3.68	操作ヘルプ表示部の表示内容	619
表 3.69	メニュー選択部の表示内容	622
表 3.70	操作ヘルプ表示部の表示内容	622
表 3.71	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	622
表 3.72	メニュー選択部の表示内容	627
表 3.73	操作ヘルプ表示部の表示内容	627
表 3.74	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	627
表 3.75	メニュー選択部の表示内容	633
表 3.76	操作ヘルプ表示部の表示内容	633
表 3.77	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	633
表 3.78	メニュー選択部の表示内容	639
表 3.79	操作ヘルプ表示部の表示内容	639
表 3.80	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	639
表 3.81	メニュー選択部の表示内容	644
表 3.82	操作ヘルプ表示部の表示内容	645
表 3.83	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	645
表 3.84	操作ヘルプ表示部の表示内容	650
表 3.85	メニュー選択ヘルプ表示部の表示内容	656
表 3.86	操作ヘルプ表示部の表示内容	656
表 3.87	ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容	657
表 3.88	デバイスパスのパラメーター	658
表 4.1	UEFI シェルのワイルドカード	663
表 4.2	出力リダイレクション	664
表 4.3	UEFI シェルコマンド一覧	665
表 6.1	メインメニューのメニュー項目	688
表 6.2	メインメニューの操作ヘルプ	688
表 6.3	sadump セットアップメニューのメニュー項目	690
表 6.4	sadump セットアップメニューの操作ヘルプ	690
表 6.5	ダンプデバイスメンテナンスメニューのメニュー項目	691
表 6.6	ダンプデバイスメンテナンスメニューの操作ヘルプ	691
表 6.7	ダンプデバイス構築メニューのメニュー項目	692
表 6.8	ダンプデバイス構築メニューの操作ヘルプ	692
表 6.9	ダンプデバイス選択メニューのメニュー項目	693
表 6.10	ダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ	694

表 6.11	ダンプデバイス設定メニューのメニュー項目	695
表 6.12	ダンプデバイス設定メニューの操作ヘルプ	695
表 6.13	ダンプデバイス一覧メニューのメニュー項目	696
表 6.14	ダンプデバイス一覧メニューの操作ヘルプ	696
表 6.15	破棄ダンプデバイス選択メニューのメニュー項目	697
表 6.16	破棄ダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ	697
表 6.17	マルチダンプデバイス選択メニューのメニュー項目	698
表 6.18	マルチダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ	698
表 6.19	マルチダンプデバイス確認メニューのメニュー項目	699
表 6.20	マルチダンプデバイス確認メニューの操作ヘルプ	699
表 A.1	[System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	701
表 A.2	[Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目	702
表 A.3	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	702
表 A.4	[System Information] 画面の設定項目	703
表 A.5	[System Setup] 画面の設定項目	704
表 A.6	[System Power Control] 画面の設定項目	705
表 A.7	[Power Control] 画面の設定項目	705
表 A.8	[Schedule Control] 画面の設定項目	705
表 A.9	[Add Schedule]/[Edit User] 画面の設定項目	706
表 A.10	[Console Redirection Setup] 画面の設定項目	707
表 A.11	[Pv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	707
表 A.12	[Partition Configuration] 画面の設定項目	707
表 A.13	[Power Management Setup] 画面の設定項目	708
表 A.14	[ASR Control] 画面の設定項目	709
表 A.15	[Console Redirection] 画面の設定項目	709
表 A.16	[Mode] 画面の設定項目	710
表 A.17	[Add User]/[Edit User] 画面の設定項目	711
表 A.18	[Change Password] 画面の設定項目	712
表 A.19	[Directory Service Configuration] 画面の設定項目	713
表 A.20	[Date/Time] 画面の設定項目	715
表 A.21	[IPv4 Interface] 画面の設定項目	716
表 A.22	[IPv6 Interface] 画面の設定項目	720
表 A.23	[Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目	721
表 A.24	[Network Protocols] 画面の設定項目	722
表 A.25	[Refresh Rate] 画面の設定項目	724
表 A.26	[SNMP Community] 画面の設定項目	724
表 A.27	[SNMP Trap] 画面の設定項目	725

表 A.28	[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目	726
表 A.29	[Create CSR] 画面の設定項目	726
表 A.30	[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目	727
表 A.31	[Edit User] 画面の設定項目	727
表 A.32	[Add Filter]/[Edit Filter] 画面の設定項目	728
表 A.33	[Alarm E-Mail] 画面の設定項目	729
表 A.34	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目	729
表 A.35	[LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目	731
表 A.36	[CPU Configuration] 画面の設定項目	732
表 A.37	[PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目	736
表 A.38	[OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目	737
表 A.39	[OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目(続き)	738
表 A.40	[I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目	741
表 A.41	[iSCSI Configuration] 画面の設定項目	741
表 A.42	[Attempt Configuration] 画面の設定項目	742
表 A.43	[Memory Configuration] 画面の設定項目	744
表 A.44	[USB Configuration] 画面の設定項目	746
表 A.45	[Security Configuration] 画面の設定項目	746
表 A.46	[Video] 画面の設定項目	748
表 A.47	[Keyboard] 画面の設定項目	748
表 A.48	[Mouse] 画面の設定項目	749
表 A.49	[Options] 画面の設定項目	749
表 A.50	[Video] 画面の設定項目	. 751
表 A.51	[Mouse] 画面の設定項目	751
表 A.52	[Options] 画面の設定項目	751
表 A.53	[Keyboard] 画面の設定項目	752
表 A.54	[Video Record] 画面の設定項目	752
表 A.55	UEFIの推奨設定	753

# 第1章 MMB の Web-UI (Web ユーザーインタ ーフェース) 操作

本章では、MMBの Web-UI を使って PRIMEQUEST 2000 シリーズを管理/運用するためのメニューの一覧と、操作方法について説明します。

# 1.1 Web-UIのメニュー一覧

MMB Web-UI では、ユーザー権限によって使用できるメニューが異なります。MMB Web-UI メニューを参照/操作するためのユーザー権限を「表 1.1 ユーザー権限」に示します。

権限レベル	説明				
Administrator	すべての操作と参照が許可される。				
	PRIMEQUEST 2000 シリーズの状態の参照、および設定が許可される。				
	ユーザー管理やネットワークの設定変更はできない。 以下の操作ができない。				
Operator	・ [System Power Control] 画面からの電源操作				
operator	・ ファンおよび PSU の Status の変更				
	<ul> <li>パーティションの構成変更</li> </ul>				
	・ Reserved SB の設定				
	Operator の権限を、特定のパーティションだけに制限したアカウント。システムの状				
Partition Operator	態参照は Operator と同様に可能。				
	Operator では可能な SB/IOU のステータスクリアなどの操作はできない。				
llcor	PRIMEQUEST 2000 シリーズの状態の参照だけが許可される。				
USEI	システム構成情報の設定や、パーティションの電源のオン/オフはできない。				
	PRIMEQUEST 2000 シリーズの状態の参照が許可される。				
	電源操作は可能。				

#### 表 1.1 ユーザー権限

Web-UIのメニュー一覧を、ユーザー権限ごとに示します。

- 1.1.1 Web-UIのメニュー一覧(Administrator)
- 1.1.2 Web-UIのメニュー一覧(Operator)
- 1.1.3 Web-UIのメニュー一覧(Partition Operator)
- 1.1.4 Web-UIのメニュー一覧(User)
- 1.1.5 Web-UIのメニュー一覧(CE)

# 1.1.1 Web-UIのメニュー一覧(Administrator)

Administrator 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。 権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象メニューの参照および設定、制御が可能。
- RO:対象メニューの参照のみ可能。
- N/A:対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されない。

### 表 1.2 Web-UIのメニュー一覧(Administrator)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態表示
	System Event Log		RW	System Event Log の表示
	Operation Log		RW	Web-UI、CLI の操作を表示
	Partition Event Log		RW	Partition の通報メッセージを表示
	System Information		RW	システム名、製品名などのシステム 情報の表示
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報の 表示
	System Setup		RW	システムのコンフィグレーション設 定
	System Power Control		RW	電源制御
	LEDs		RW	LED の状態表示
	Power Supply		RW	電源の状態表示
	Fans		RW	ファンの状態表示
	Temperature		RO	PRIMEQUEST 2000 シリーズのシス テム内温度センサーを表示
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up Board
		SB#1	RW	の状態表示。搭載されていない SB
		SB#2	RW	または Memory Scale-up Board の
		SB#3	RW	メニューは表示しない。
	IOU			
		IOU#0	RW	IOU の状態表示。
		IOU#1	RW	搭載されていない IOU のメニューは
		IOU#2	RW	表示しない。
		IOU#3	RW	
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態表示。 搭載されていない
		DU#1	RW	DU のメニューは表示しない。
	PCI_Box			PCI ボックスが1台も接続されてい ない場合は本メニューを表示しな い。
		PCI Box#0	RW	PCI ボックスの状態表示搭載されて
		PCI Box#1	RW	いない PCI ボックスのメニューは表
		PCI Box#2	RW	示しない。
		PCI_Box#3	RW	-
	OPL		RW	
	MMB			
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示す
		MMB#1	RW	ెం.
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が1台も接続されて いない場合は本メニューを表示しな い。
		Disk Enclosure#x	RW	搭載されていない Disk Enclosure の メニューは表示しない。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
Partition			D14/	
	Power Control Schedule		RW	バーティションの電源制御をする。
		Schedule Control	RW	スケジュール運転の設定をする。
		Schedule List	RW	電源オン/オフのスケジュールを設 定する
	Partition		D\//	とする。 Dartition の構成変更
	Configuration		1	Faltition の情况交更
	Dartition#n Extended			「「「「」」」、「」、「」の構成変更を行
	Partition Configuration			
	r artition connyuration			Fytended Partitioning Mode to
				Disable の場合は木メニューを表示
				しない。
		SB	RW	
		IOU#n	RW	
		PCL Box#n	RW	
	Extended Socket		RW	Extended Socket に関する設定を行
	Configuration			う。(Zone 設定)
	Reserved SB		RW	Reserved SB の定義を行う。
	Configuration			
	Console Redirection		RW	Video Redirection, Remote
	Setup			Storage, Text Console Redirection
				の設定
		IPv4 Console	RW	IPv4 用の設定
		<b>Redirection Setup</b>		
		IPv6 Console	RW	IPv6 用の設定
		Redirection Setup		
	Power Management		RW	
	Setup			
	Partition#0			パーティションに属するボードが1
				枚も存在しない場合は本サブメニュ
				ーを表示しない。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種
				情報の表示
		ASR Control	RW	パーティションの自動再起動条件の
				設定
		Console Redirection	RW	パーティションのコンソール出力を
		Mada	DW/	衣示
		mode	KVV	ハーナイションの Mode を設定 9
		SSD Life Cycle	RU.	る。 DCIa SSD card が1枚も塔載されて
		Management	NO	いない場合は本メニューを表示しな
		management		
	Partition#1			Partition#0と同様
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administrati	ON			
	User List		RW	登録されているユーザーアカウント
				の一覧表示、編集、削除をする。
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更
	Who		RO	MMB にログインしているユーザー
				を表示する。
	LDAP Configuration		RM	LDAPに関する設定を行う。
		Directory Service	RW	MIMIB か LUAP 栓田 Cテイレクトリ サービフにマクセフォスための部合
		coninguration		ッーヒスにアクセス9つにのの設定 を行う。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
		LDAP User Group List	RW	登録されている LDAP User Group
				の一覧表示、編集、削除を行う。
Network Configur	ation	1		
	Date/Time		RW	
	Network Interface			
		IPv4 Interface	RW	IPv4 用の IP Address などを設定す る。
		IPv6 Interface	RW	IPv6 用の IP Address などを設定す る。
	Management LAN Port Configuration		RW	MMB HUB の Port LAN を設定す る。
	Network Protocols		RW	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定 する。
	SNMP Configuration		RW	
		Community	RW	
		Тгар	RW	
		SNMPv3	RW	
		Configuration		
	SSL			
		Create CSR	RW	秘密鍵と CSR を作成する。
		Export Key/CSR	RW	秘密鍵/CSR の取出し
		, ,		
		Import Costificato		訂明書な ノンフト ルオス
				証明者で1 ノストール9 る。 白コ要々」た訂明書を佐式する
			KVV	日口者石しに証明者で1F成9る。
	ссп	Certificate		
		SSH Sorvor Kov	D\//	SSH サーバのプライベートキーを作
		JJH Jerver Key		成する。
	Remote Server		RW	
	Management			
	Access Control		RW	接続を許可する IP フィルタリングの 設定をする。
	Alarm E-mail		RW	
Maintenance	l			
	Firmware Update			
		Unified Firmware	RW	一括アップデート
		Update		
	Backup/Restore			設定情報の退避/復元をする。
	Configuration			
		Backup/Restore	RW	
		MMB Configuration		
		Backup BIOS	RW	
			<b></b>	
		Restore BIOS	RW	
	Madahar Matt	Configuration	D144	
	Maintenance Wizard		KW	リィサート形式で保守をする。
	KEMICS	DEMCC		
		KEIVILS	KW	
		Detall Setup	KW	

# 1.1.2 Web-UIのメニュー一覧(Operator)

Operator 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。 権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象メニューの参照および設定、制御が可能。
- RO:対象メニューの参照のみ可能。
- N/A:対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されない。

### 表 1.3 Web-UIのメニュー一覧(Operator)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態表示
	System Event Log		RO	System Event Log の表示
	Operation Log		RO	Web-UI、CLI の操作を表示
	Partition Event Log		RO	Partition の通報メッセージを表示
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステ
				ム情報の表示
	Firmware		RO	ファームウェアのバージョン情報
	Information			の表示
	System Setup		RO	システムのコンフィグレーション
				設定
	System Power		RO	電源制御
	Control			
	LEDs		RW	LED の状態表示
	Power Supply		RO	電源の状態表示
	Fans		RO	ファンの状態表示
	Temperature		RO	PRIMEQUEST 2000 シリーズのシ
				ステム内温度センサーを表示
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up
		SB#1	RW	Board の状態表示。搭載されてい
		SB#2	RW	ない SB または Memory Scale-up
		SB#3	RW	Board のメニューは表示しない。
	IOU			
		IOU#0	RW	IOU の状態表示。搭載されていな
		IOU#1	RW	い IOU のメニューは表示しない。
		IOU#2	RW	
		IOU#3	RW	
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態表示。搭載されていな
		DU#1	RW	い DU のメニューは表示しない。
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されて
				いない場合は本メニューを表示し
				ない。
		PCI_Box#0	RW	PCI ボックスの状態表示搭載され
		PCI_Box#1	RW	ていない PCI ボックスのメニュー
		PCI_Box#2	RW	は表示しない。
		PCI_Box#3	RW	
	OPL		RW	
	MMB			
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示す
				る。
		IMIMB#1	KW	
	DISK ENCIOSULE			UISK ENCIOSURE か I 台も接続され ていたい想合けたシュートをまこ
				したいない場合は本メニューを表示
				しんし

Navigation Bar	<b>笠1</b> 階層	<b>笹</b> 2 階層	権限	備老
Novigation bai		Disk Enclosure#x	RW	塔載されていない Disk Enclosure
				のメニューは表示しない。
Partition				0)/== 1020000
	Power Control		R/W	パーティションの電源制御をす
	r ower condior			る。
	Schodulo			
	JUIEUUIE	Schedule Control	₽W/	スケジュール運転の設定をする
		Schedule List		「「「」」」、「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、
				電源オングオンのパノンユールを
	Dartition		ΡΩ	Dartition の構成変更
	Configuration		ĸo	「自民日の情况交更
	Dartition#n Extended			
				111日代 フィンヨンの構成支更を 行う
	Configuration			Extended Partitioning Mode th
	connyuration			Disableの場合は木メニューを表
				ここの この
		SB	ΡO	10.000
		1011#n	RO PO	
			PO	
	Extanded Socket			Evtopdod Sockot に関する設定を
				Litelided Socket に関する設定を 行う (Zopo 設定)
			ΡΩ	1」 J。 (ZOTIE 設定) Posonvod SB の定義を行う
	Configuration		ĸo	
	Consolo Podirection		ΡO	Video Padiraction Pamoto
			ĸo	Storage
	Seruh			Text Console Redirection の設定
		IDv/ Consolo	ΡO	
		Podiraction Satur	ĸo	IF V4 model
		IPv6 Consolo	ΡO	IDv6 田の設定
		Podiraction Satur	ĸo	IF VO HOUDER
	Dower Management	Redifection Setup	ΡΩ	
	Sotup		ĸo	
	Partition#0			パーティションに届すろボードが
				1枚も存在しない場合は木サブメ
				「一つ一を表示しない。
		Information	RO	パーティションのステータス、各
			no	種情報の表示
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件
			no	の設定
		Console Redirection	RW	パーティションのコンソール出力
				を表示
		Mode	RW	パーティションの Mode を設定す
				る。
		SSD Life Cycle	RO	PCle SSD card が 1 枚も搭載されて
		Management		いない場合は本メニューを表示し
				ない。
	Partition#1			Partition#0と同様
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration	1			
	User List		N/A	登録されているユーザーアカウン
				トの一覧表示、編集、削除をす
				るං
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更
	Who		RO	MMB にログインしているユーザー
				を表示する。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行う。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
		Directory Service Configuration	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリ サービスにアクセスするための設
				定を行う。
		LDAP User Group List	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行う。
Network Configuration	N			
	Date/Time		RO	
	Network Interface			
		IPv4 Interface	RO	IPv4 用の IP Address などを設定 する。
		IPv6 Interface	RO	IPv6 用の IP Address などを設定 する。
	Management LAN Port Configuration		N/A	MMB HUBの Port VLAN を設定する。
	Network Protocols		RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設 定する。
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Тгар	N/A	
		SNMPv3 Configuration	N/A	
	SSL			
		Create CSR	N/A	秘密鍵と CSR を作成する。
		Export Key/CSR	N/A	秘密鍵/CSR の取出し
		Import Certificate	N/A	証明書をインストールする。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	自己署名した証明書を作成する。
	SSH	SSH Server Key	N/A	SSH サーバのプライベートキーを 作成する。
	Remote Server Management		N/A	
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリング の設定をする。
	Alarm E-mail		N/A	
Maintenance				
	Firmware Update			
		Unified Firmware Update	N/A	一括アップデート
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避/復元をする。
		Backup/Restore MMB Configuration	N/A	
		Backup BIOS Configuration	N/A	
		Restore BIOS	N/A	
	Maintenance Wizard		N/A	ウィザード形式で保守をする。
		REMCS	N/A	
		Detail Setup	N/A	

# 1.1.3 Web-UIのメニュー一覧(Partition Operator)

Partition Operator 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。 権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象メニューの参照および設定、制御が可能。
- RO:対象メニューの参照のみ可能。
- N/A:対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されない。

#### 表 1.4 Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	権限	備考
-			(自パーティ	(他パーティ	
			ション)	ション)	
System		T	1	1	
	System Status		RO	RO	システム全体の状態表示
	System Event Log		RO	RO	System Event Log の表示
	Operation Log		RO	RO	Web-UI、CLI の操作を表示
	Partition Event		RO	RO	Partition の通報メッセージを表 示
	System Information		RO	RO	システム名、製品名などのシステ ム情報の表示
	Firmware Information		RO	RO	ファームウェアのバージョン情報 の表示
	System Setup		RO	RO	システムのコンフィグレーション 設定
	System Power Control		RO	RO	電源制御
	LEDs		RW	RW	LED の状態表示
	Power Supply		RO	RO	電源の状態表示
	Fans		RO	RO	ファンの状態表示
	Temperature		RO	RO	PRIMEQUEST 2000 シリーズの システム内温度センサーを表示
	SB				
		SB#0	RO	RO	SB または Memory Scale-up
		SB#1	RO	RO	, Board の状態表示。
		SB#2	RO	RO	搭載されていない SB または
		SB#3	RO	RO	Memory Scale-up Board のメニ ューは表示しない。
	IOU				
		IOU#0	RO	RO	IOU の状態表示。
		IOU#1	RO	RO	搭載されていない IOU のメニュ
		IOU#2	RO	RO	ーは表示しない。
		IOU#3	RO	RO	
	DU				
		DU#0	RO	RO	DU の状態表示。
		DU#1	RO	RO	搭載されていない DU のメニュー は表示しない。
	PCI_Box				PCI ボックスが 1 台も接続されて いない場合は本メニューを表示し ない。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限 (自パーティ	権限 (他パーティ	備考
			ション)	ション)	
		PCI_Box#0	RO	RO	PCIホックスの状態表示搭載され
		PCI_Box#1	RO	RO	ていない PCI ボックスのメニュー
		PCI_Box#2	RO	RO	は表示しない。
		PCI_Box#3	RO	RO	
	OPL		RO	RO	
	MMB				
		MMB#0	RO	RO	MMB に関する状態と情報を表示
		MMB#1	RO	RO	する。
	Disk Enclosure	Disk Enclosure#x	RO	RO	Disk Enclosure が 1 台も接続さ れていない場合は本メニューを 表示しない。 搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しな い。
Partition					
	Power Control		RW	RO	パーティションの電源制御をす る。
	Schedule				
		Schedule Control	RW	RO	スケジュール運転の設定をす る。
		Schedule List	RW	RO	電源オン/オフのスケジュール を設定する。
	Partition		RO	RO	パーティションの構成変更
	Partition#n Extended Partition Configuration				拡張パーティションの構成変更 を行う。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表 示しない。
		SB	RO	RO	
		IOU#n	RO	RO	
		PCI Box#n	RO	RO	
	Extended Socket Configuration		RW	RO	Extended Socket に関する設定 を行う。(Zone 設定)
	Reserved SB Configuration		RO	RO	Reserved SB を定義する。
	Console Redirection Setup		RO	RO	Video Redirection、 Remote Storage、 Text Console Redirection の設定
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	RO	IPv4 用の設定
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	RO	IPv6 用の設定

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	権限	備考
			(目バーティ	(他バーティ	
	D.		ション)	ション)	
	Power		KO	RO	
	Setup				
	Partition#0				パーティションに属するボード
					が1枚も存在しない場合は本サ
					ブメニューを表示しない。
		Information	RO	N/A	パーティションのステータス、
					各種情報の表示
		ASR Control	RW	N/A	パーティションの自動再起動条
					件の設定
		Console	RW	N/A	パーティションのコンソール出
		Redirection			力を表示
		Mode	RW	N/A	パーティションの Mode を設定
		SSD Life Cycle	RO	RO	PCle SSD card が 1 枚も搭載され
		Management			ていない場合は本メニューを表
					Partition#U と回様
Usor Administrati					
	llcor List		NI/A	NI/A	登録されているユーザーアカウ
			N/A	N/A	
					する。
	Change		RW	N/A	自アカウントのパスワード変更
	Password				
	Who		RO	RO	MMB にログインしているユーザ
					ーを表示する。
	LDAP		N/A	N/A	LDAP に関する設定を行う。
	Configuration				
		Directory Service	N/A	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクト
		Configuration			リサービスにアクセスするため
					の設定を行う。
		LDAP User Group	N/A	N/A	登録されている LDAP User
		List			Groupの一覧表示、編集、削除
					を行う。
Network Configur	ation		DO	<b>D</b> O	
	Date/lime		KO	KO	
	Network				
	intenace	IDv/ Interface	DO	DO	IDy/, 田の ID Addross たどた乳ウ
			ĸŪ	KU	IF V4 HO IF AUULESS ゆこで改正 する。
		IPv6 Interface	۶O	RU	ッシ。 IPv6 田の IP Δddrocc などを設定
			NU	NU	する。
	Management		N/A	N/A	 MMB HUBの Port VI AN を設定
	LAN Port				する。
	Configuration				

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	権限	備考
			(自パーティ	(他パーティ	
			ション)	ション)	
	Network		RO	RO	
	Protocols		DIA	DIA	
	Refresh Rate		RW	RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を 設定する。
	SNMP		N/A	N/A	
	Configuration				
		Community	N/A	N/A	
		Тгар	N/A	N/A	
		SNMPv3	N/A	N/A	
		Configuration			
	SSL				
		Create CSR	N/A	N/A	秘密鍵と CSR を作成する。
		Export Key/CSR	N/A	N/A	秘密鍵/CSR の取出し
		Import	N/A	N/A	証明書をインストールする。
		Certificate			
		Create	N/A	N/A	自己署名した証明書を作成す
		Selfsigned			る。
		Certificate			
	SSH				
		SSH Server Key	N/A	N/A	SSH サーバのプライベートキー
					を作成する。
	Remote Server		N/A	N/A	
	Management				
	Access Control		N/A	N/A	接続を許可する IP フィルタリン グの設定をする。
	Alarm E-mail		N/A	N/A	
Maintenance			T		
	Firmware Undate				
		Unified	N/A	N/A	一括アップデート
		Firmware			
		Update			
	Backup/Restore	- 1			設定情報の退避/復元をする。
	Configuration				
		Backup/Restore	N/A	N/A	
		MMB			
		Configuration			
		Backup BIOS	N/A	N/A	
		Configuration			
		Restore BIOS	N/A	N/A	
		Configuration			
	Maintenance		N/A	N/A	ウィザード形式で保守をする。
	Wizard				
	REMCS				
		REMCS	N/A	N/A	
		Detail Setup	N/A	N/A	

# 1.1.4 Web-UIのメニュー一覧(User)

User 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。 権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象メニューの参照および設定、制御が可能。
- RO:対象メニューの参照のみ可能。
- N/A:対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されない。

表 1.5 Web-UI のメニュー一覧(し	User)
------------------------	-------

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態表示
	System Event Log		RO	System Event Log の表示
	Operation Log		RO	Web-UI、CLI の操作を表示
	Partition Event Log		RO	Partition の通報メッセージを表 示
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステ ム情報の表示
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報 の表示
	System Setup		RO	システムのコンフィグレーション 設定
	System Power Control		RO	電源制御
	LEDs		RW	LED の状態表示
	Power Supply		RO	電源の状態表示
	Fans		RO	ファンの状態表示
	Temperature		RO	PRIMEQUEST 2000 シリーズのシ ステム内温度センサーを表示
	SB			
		SB#0	RO	SB または Memory Scale-up
		SB#1	RO	Board の状態表示。 搭載されてい
		SB#2	RO	はいSBまだはMemory Scale-up
		SB#3	RO	
	IOU			
		IOU#0	RO	IOU の状態表示。搭載されていな
		IOU#1	RO	い100のメニューは表示しない。
		IOU#2	RO	
		IOU#3	RO	
	DU			
		DU#0	RO	DUの状態表示。搭載されていな
		DU#1	RO	い DU のメニューは表示しない。
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されて いない場合は本メニューを表示し ない。
		PCI_Box#0	RO	PCI ボックスの状態表示搭載されて
		PCI_Box#1	RO	いない PCI ボックスのメニューは
		PCI_Box#2	RO	表示しない。
		PCI_Box#3	RO	
	OPL		RO	
	MMB			
		MMB#0	RO	MMB に関する状態と情報を表示す
		MMB#1	RO	る。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が1台も接続され ていない場合は本メニューを表示 しない。
		Disk Enclosure#x	RO	搭載されていない Disk Enclosure
				のメニューは表示しない。
Partition	1			
	Power Control		RO	パーティションの電源制御をす る。 
		Schedule Control	RO	スケジュール運転の設定をする。
		Schedule List	RO	電源オン/オフのスケジュールを 設定する。
	Partition Configuration		RO	Partition の構成変更
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を 行う。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表
		SB	ΡO	小しない。
	Extended Socket Configuration		RO	Extended Socket に関する設定を 行う。(Zone 設定)
	Reserved SB		RO	Reserved SB の定義を行う。
	Configuration		NO	
	Console Redirection Setup		RO	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	IPv4 用の設定
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	IPv6 用の設定
	Power Management Setup		RO	
	Partition#0			パーティションに属するボードが 1枚も存在しない場合は本サブメ ニューを表示しない。
		Information	RO	パーティションのステータス、各 種情報の表示
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件 の設定
		Console Redirection	N/A	パーティションのコンソール出力 を表示
		Mode	RO	パーティションの Mode を設定す る。
		SSD Life Cycle Management	RO	PCle SSD card が 1 枚も搭載されて いない場合は本メニューを表示し ない。
	Partition#1			Partition#0と同様
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration	llearlist		<b>N</b> 1/2	229 キャン・マン・ション ちょう ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ
	USEI LISI		N/A	豆球されているユーリーアガリノトの一覧表示、編集、削除をする。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更
	Who		RO	MMB にログインしているユーザー を表示する。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行う。
		Directory Service Configuration	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリ サービスにアクセスするための設 定を行う。
		LDAP User Group List	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行う。
Network Configuration			DO	
	Date/Inne		KO	
		IPv4 Interface	ΡO	IPv4 用の IP Address などを設定
			ĸo	する。
		IPv6 Interface	RO	IPv6 用の IP Address などを設定 する。
	Management LAN Port Configuration		N/A	MMB HUBの Port VLAN を設定す る。
	Network Protocols		RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設 定する。
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Тгар	N/A	
		SNMPv3	N/A	
		Configuration		
	SSL	Create CCD		秘密独々の日本作式オス
			N/A	他名鍵CUKを1F成9る。 設密数化CDの取出し
		Export Key/CSK	N/A	秘密鍵/CSKの取出し
		Import Certificate	N/A	証明書をインストールする。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	自己署名した証明書を作成する。
	SSH			
		SSH Server Key	N/A	SSH サーバのプライベートキーを 作成する。
	Remote Server Management		N/A	
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリング の設定をする。
	Alarm E-mail		N/A	
Maintenance	-	Ι		
	Firmware Update			LT
		Unified Firmware Update	N/A	
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避/復元をする。
		Backup/Restore MMB Configuration	N/A	
		Backup BIOS	N/A	
		Configuration		
		Restore BIOS Configuration	N/A	
	Maintenance Wizard		N/A	ウィザード形式で保守をする。

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
	REMCS			
		REMCS	N/A	
		Detail Setup	N/A	

# 1.1.5 Web-UIのメニュー一覧(CE)

CE 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。 権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象メニューの参照および設定、制御が可能。
- RO:対象メニューの参照のみ可能。

OPL

MMB

- N/A:対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されない。

	休 1 叱辱	体っ肥屋	1/270	1#+
Navigation Bar	月月 第一第一階層	第2階層	榷限	偏考 偏考
System	System Status		PO	システム全体の状態表示
	System Event Log			System Event Log の表示
				Web-III (IIの操作を表示
	Dartition Event Log			MeD OK CEIの床FF となが Dartition の通報メッセージを表
	Fartition Event Log		KU	示
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステム 情報の表示
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報の 表示
	System Setup		RW	システムのコンフィグレーション設 定
	System Power Control		RO	電源制御
	LEDs		RW	LED の状態表示
	Power Supply		RW	電源の状態表示
	Fans		RW	ファンの状態表示
	Temperature		RO	PRIMEQUEST 2000 シリーズのシス テム内温度センサーを表示
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up Board
		SB#1	RW	の状態表示。搭載されていない SB
		SB#2	RW	または Memory Scale-up Board の
		SB#3	RW	クニューは表示しない。
	IOU			
		IOU#0	RW	IOU の状態表示。搭載されていない
		IOU#1	RW	100のメニューは表示しない。
		10U#2	RW	_
		IOU#3	RW	_
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態表示。搭載されていない
		DU#1	RW	DU のメニューは表示しない。 PCI ボックスが 1 台も接続されてい ない場合は本メニューを表示しな
	PCI_Box			
		PCI Box#0	RW	PCI ボックスの状態表示搭載されて
		PCI Box#1	RW	いない PCI ボックスのメニューは表
		PCI Box#2	RW	示しない。
		PCI Box#3	RW	-
1	1			

#### 表 1.6 Web-UIのメニュー一覧(CE)

RW

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示する。
		MMR#1	D\\/	-
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が1台も接続されて いない場合は本メニューを表示しな い。
		Disk Enclosure#x	RW	搭載されていない Disk Enclosure の メニューは表示しない。
Partition	-			
	Power Control		RO	パーティションの電源制御をする。
	Schedule			
		Schedule Control	RO	スケジュール運転の設定をする。
		Schedule List	RO	電源オン/オフのスケジュールを設 定する。
	Partition		RO	Partitionの構成変更
	Configuration			
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を行う。
				Extended Partitioning Mode か Disable の場合は本メニューを表示 しない。
		SB	RO	
		IOU#n	RO	
		PCL Box#n	RO	
	Extended Socket			Extended Socket に関する設定を行
	Configuration		ĸo	う。(Zone 設定)
	Reserved SB		RO	Reserved SB の定義を行う。
	Configuration			
	Console Redirection		RO	Video Redirection, Remote
	Setup			Storage, Text Console Redirection の設定
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	IPv4 用の設定
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	IPv6 用の設定
	Power Management Setup		RO	
	Partition#0			パーティションに属するボードが1 枚も存在しない場合は本サブメニュ ーを表示しない。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種 情報の表示
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件の 設定
		Console Redirection	RO	パーティションのコンソール出力を 表示
		Mode	RO	パーティションの Mode を設定す る。
		SSD Life Cycle Management	RO	PCle SSD card が 1 枚も搭載されて いない場合は本メニューを表示しな い。
	Partition#1			Partition#0と同様
	Partition#2			
	Partition#3			

Novigation Par	笠1 陛屋	笠つ陛屋	t 左 7日	<b>供</b> 考
	「「「「「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	□	作的	加ち
User Administration				
	User List		N/A	会録されているユーサーアカワント
				の一覧表示、編集、削除を9る
	Change Password		RW	目アカリントのハスワート変更
	Who		RO	MMB にログインしているユーザー
				を表示する。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行う。
		Directory Service	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリ
		Configuration		サービスにアクセスするための設定
		5		を行う。
		LDAP User Group	N/A	登録されている LDAP User Group の
		List		一覧表示、編集、削除を行う。
Network Configuratio	N	l		
	Date/Time		RO	
	Network Interface		110	
	Network interface	IPv/ Interface	DO	IPv/ 田の IP Address などを設定す
		II V4 IIICHOCC	KU	
		IDv6 Interface	DO	し。 IDv6 田の ID Address などを設定す
		II VO IIICEIIace	KU	
	Management I AN Port			る。 MMB HUB の Port VI AN を設定す
			N/A	MMD HOD のFOIL VLAN を設定す
	Notwork Drotocolc		DO	
			RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定
				<i>ସ</i> ବ <sub>ି</sub>
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Тгар	N/A	
		SNMPv3	N/A	
		Configuration	11/7	
	SSI	comgaration		
		Create CSR	N/A	秘密鍵と (SR を作成する。
			IN/A	
		Import Certificate	N/A	
		Create Selfsigned	N/A	自己署名した証明書を作成する。
		Certificate		
	SSH			
		SSH Server Key	N/A	SSH サーバのフライベートキーを作
				成する。
	Remote Server		N/A	
	Management			
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリングの
				設定をする
	Alarm E mail			
			N/A	
Maintenance	<b>F</b> : <b>11 1</b>			
	Firmware Update	11-10-25		
		Unified Firmware	RW	一括アッファート
		update		
	Backup/Restore			設正情報の退避/復元をする。
	Configuration			
		Backup/Restore	RW	
		MMB		
		Backup BIOS	RW	
		Configuration		

Navigation Bar	第1階層	第2階層	権限	備考
		Restore BIOS	RW	
		Configuration		
	Maintenance Wizard		RW	ウィザード形式で保守をする。
	REMCS			
		REMCS	RW	
		Detail Setup	RW	

## 1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー

保守モードが設定されている場合、保守モードを設定したユーザー(以降、保守者と記述) とそれ以外のユーザー(以降、 非保守者と記述) に操作制限が生じる画面があります。以下に、保守モード時の Web-UI 画面について、保守者と非保守 者それぞれの制限を示します。

参考: Maintenance -> Maintenance Wizard の画面から Maintenance Wizard で保守作業を行っている状態を保守モードといいます。

保守モードには、以下の5種類があります。

表 1.7 保守モードの種類

保守モード	説明
Hot System Maintenance	業務を停止することなく実施する、パーティション構成物以
(Target unit not included in a partition)	外の保守操作。
活性作業(システム)	
Hot Partition Maintenance	業務を停止することなく実施する、保守対象のパーティショ
(Target unit in a activated partition)	ンが動作中の保守操作。
活性作業(パーティション)	
Warm System Maintenance	保守の対象パーティション、または保守対象となるユニット
(Target unit in a powered off partition)	が含まれるパーティションの業務を停止して実施する保守操
パーティション停止作業	作保守の対象外となるパーティションの業務は、停止する必
	要はない。
Cold System Maintenance	システムを停止して実施する保守操作。すべての業務が停止
(All partitions powered off, breaker on)	する。
停止作業(スタンバイ)	
Cold System Maintenance	システムを停止し、さらに AC 電源の切断(MMB 電源切断)
(All partitions powered off, breaker off)	をともなう保守操作。すべての業務が停止する。
停止作業(AC オフ)	

以下に保守モード時の Web-UI のメニュー一覧を、ユーザー権限ごとに表示します。

- 1.1.7 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Administrator)
- 1.1.8 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Operator)
- 1.1.9 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)
- 1.1.10 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(User)
- 1.1.11 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(CE)
- 1.1.12 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)

# 1.1.7 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Administrator)

Administrator 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered-off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions are powered-off and turned on their breakers) および Cold System Maintenance (All partitions are powered-off and turned off their breakers)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW:対象画面の参照および設定が可能

RO:対象画面の参照のみ可能

N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない

- \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
- \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
- \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属してい るパーティションは Standby 状態」
- \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

### 表 1.8 保守モード時の Web-UI のメニュー一覧 (Administrator)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power		Hot System	RW	
	Control		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	MMB				
		MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ	
Partition					
	Power Control		Hot System	RW	
			Hot Partition	RW (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
	Partition		Hot System	RW	Free ユニットは交換対
	Configuration				象ユニットである可能
	-				性があるので、Add は
					抑止する。
			Hot Partition	RO (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
		Add SB / IOU to		Partition	
		Partition		Configuration と	
				同じ	
		Remove SB / IOU		Partition	
		from Partition		Configuration と	
				同じ	

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
		Partition Home		Partition	
				Configuration と	
				同じ	
	Partition#n		Hot System	RW	
	Extended		Hot Partition	RO (*1)	
	Partition		Warm System	RW (*1)	
	Configuration		Cold System	RO	
		SB		Partition#n	
				Extended	
		1011#5		Partition#p	
		100#11		Parution#II Extonded	
				Dartition	
				coningulation C 同じ	
		PCL Box#n		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				Configuration &	
				同じ	
	Reserved SB		Hot System	RW	
	Configuration		Hot Partition	RO (*1)	
	-		Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
	Console		Hot System	RW	
	Redirection		Hot Partition	RW (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
Network Configur	ation				
	Network Interface	IPv4 Interface	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
maintenance WIZ	diu Firmwara Usdata				
	riilliwale upuate	Unified Eirmuse	Hot System	DO	
		Undate	Hot Dartition	RO KO	
		ομααιε		RU	
			Cold System	RO	
	Backun/Restore		Cold System		
	Configuration				
		Backup/Restore		RW	[Backup MMB]
		MMB			保守モードには影響さ
		Configuration			れない。
		-			[Restore MMB]
					保守者のみ操作可能
	Maintenance		Hot System	RO	
	Wizard				
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

### 1.1.8 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Operator)

Operator 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。 保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を 参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW:対象画面の参照および設定が可能

- RO:対象画面の参照のみ可能
- N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない
- \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
- \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
- \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属してい るパーティションは Standby 状態」
- \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

### 表 1.9 保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(Operator)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power		Hot System	RO	
	Control		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	MMB				
		MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ	
Partition					
	Power Control		Hot System	RW	
			Hot Partition	RW (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
	Partition		Hot System	RO	Free ユニットは交換対
	Configuration				象ユニットである可能
					性があるので、Add は
					抑止する。
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		Add SB / IOU to		Partition	
		Partition		Configurationと	
				同じ	
		Remove SB / IOU		Partition	
		from Partition		Configurationと	
				同じ	

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
		Partition Home		Partition	
				Configuration と	
				同じ	
	Partition#n		Hot System	RO	
	Extended		Hot Partition	RO	
	Partition		Warm System	RO	
	Configuration		Cold System	RO	
		SB		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				Configuration と	
				同じ	
		IOU#n		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				Configuration と	
				同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				Configuration と	
				同じ	
	Reserved SB		Hot System	RO	
	Configuration		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
	-		Cold System	RO	
	Console		Hot System	RW	
	Redirection		Hot Partition	RW (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
Network Configur	ation	-			1
	Network	IPv4 Interface	Hot System	RO	
	Interface		Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Maintenance Wiz	ard				
	Firmware Update				
		Unified Firmware	Hot System	N/A	
		update	HOT Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	
	Backup/Restore				
	Configuration	De aluca (De aba ca		N1/A	
		Backup/Restore		N/A	[Backup MMB]
		IVIIVID			はすて一トには影響されたい
		conngulation			1 いみし 10 [Doctoro MMD]
					[KESLOIE MMID] 保守者の立場作可能
	Maintonanco		Hot System	NI/A	体 す 自 い の 採 TF リ 能
	Wizard		not system	IN/A	
			Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System		
			COID SYSTELLI	IN/A	

### 1.1.9 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)

Partition Operator 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を参照 してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象画面の参照および設定が可能
- RO:対象画面の参照のみ可能
- N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない
  - \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
  - \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
  - \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属してい るパーティションは Standby 状態」
  - \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

	表 1.10	保守モー	ド時の Web-UI メニュ	ュー一覧(Partition O	perator
--	--------	------	----------------	------------------	---------

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限 (自パーテ ィション)	権限 (他パーテ ィション)	備考
System						
	System Power		Hot System	RO	RO	
	Control		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
	MMB					
		MMB#0	Hot System	RO	RO	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
		MMB#1		MMB#0と同じ		
Partition						
	Power Control		Hot System	RW	RO	
			Hot Partition	RW (*1)	RO	
			Warm System	RW (*1)	RO	
			Cold System	RO	RO	
	Partition Configuration		Hot System	RO	RO	Free ユニットは 交換対象ユニッ
	5					トである可能性
						があるので、
						Add は抑止す
						る。
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
		Add SB / IOU		Partition Confi	guration と同	
		to Partition		じ	-	

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限 (自パーテ ィション)	権限 (他パーテ ィション)	備考
		Remove SB / IOU from Partition		Partition Confi じ	guration と同	
		Partition Home		Partition Confi じ	guration と同	
	Partition#n Extended Partition Configuration		Hot System	RO	RO	
	•		Hot Partition	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
		SB	cold System	Partition#n Ex Partition Confi じ	tended guration と同	
		IOU#n		Partition#n Ex Partition Confi じ	tended guration と同	
		PCI_Box#n		Partition#n Ex Partition Confi じ	tended guration と同	
	Reserved SB		Hot System	RO	RO	
	Configuration		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
	Concolo		Loid System	RU DW	KU N/A	
	Redirection		Hot Partition	RW (*1)	N/A	
	Redirection		Warm System	RW (*1)	N/A	
			Cold System	RO	N/A	
Network Confid	guration	1				
	Network		Hot System	RO	RO	
	Interface		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
Maintonancol	Nizard		Cold System	RO	RO	
	Firmware Update					
	•	Unified	Hot System	N/A	N/A	
		Firmware	Hot Partition	N/A	N/A	
		Update	Warm System	N/A	N/A	
	Backup/ Restore Configuration		Cold System	N/A	<u> </u>	
		Backup/ Restore MMB Configuration		N/A	N/A	[Backup MMB] 保 守モードには影響 されない。 [Restore MMB] 保 守者のみ操作可能
	Maintenance Wizard		Hot System	N/A	N/A	
			Hot Partition	N/A	N/A	
			Warm System	N/A	N/A	
			Cold System	N/A	N/A	

### 1.1.10 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(User)

User 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象画面の参照および設定が可能
- RO:対象画面の参照のみ可能
- N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない
  - \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
  - \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
  - \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属してい るパーティションは Standby 状態」
  - \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

表 1.11	保守モー	ド時の	Web-UIのメニュー	·一覧(User)
--------	------	-----	-------------	-----------

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power		Hot System	RO	
	Control		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	MMB				
		MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ	
Partition					
	Power Control		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Partition		Hot System	RO	Free ユニットは交換対
	Configuration				象ユニットである可能
					性があるので、Add は
					抑止する。
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		Add SB / IOU to		Partition	
		Partition		Configurationと	
				同じ	
		Remove SB / IOU		Partition	
		from Partition		Configurationと	
				同じ	

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
		Partition Home		Partition	
				Configurationと	
				同じ	
	Partition#n		Hot System	RO	
	Extended		Hot Partition	RO	
	Partition		Warm System	RO	
	Configuration		Cold System	RO	
		SB		Partition#n	
				Extended	
		1011#p		Dartition#n	
		100#11		Faturion#11	
				Partition	
				同じ 同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				同じ	
	Reserved SB		Hot System	RO	
	Configuration		Hot Partition	RU RO	
			Warm System	<u>KU</u>	
	Cancala			KU N/A	
	Console		Hot Dastition	N/A	
	Redirection				
			Cold System	N/A N/A	
Network Configur	ation		Colu System	N/A	
Network configur	Network Interface	IPv4 Interface	Hot System	RO	
		in v i incendee	Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Maintenance Wiz	ard				
	Firmware Update				
	•	Unified Firmware	Hot System	N/A	
		Update	Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	
	Backup/Restore				
	Configuration				
		Backup/Restore		N/A	[Backup MMB]
		MMB			保守モードには影響
		Configuration			されない。
					[Restore MMB]
					保守者のみ操作可能
	Maintenance Wizard		Hot System	N/A	
			Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	

### 1.1.11 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(CE)

CE 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW:対象画面の参照および設定が可能
- RO:対象画面の参照のみ可能
- N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない
- \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
- \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
- \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属している パーティションは Standby 状態」
- \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

表 1.12	保守モード時の Web-UI のメニュー・	-覧(CE)
--------	-----------------------	--------

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power		Hot System	RO	
	Control		Hot Partition Warm System Cold System	RO RO RO	
	MMB	MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition Warm System	RO RO RO	
		MMB#1	Cold System	NMB#0と同じ	
Partition			·		
	Power Control		Hot System Hot Partition	RO RO	
			Cold System	RO	
	Partition Configuration		Hot System	RO	Free ユニットは交換 対象ユニットである可 能性があるので、Add は抑止する。
			Hot Partition	RO	
			Warm System Cold System	RO	
		Add SB / IOU to Partition		Partition Configuration と 同じ	
Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限	備考
------------------	-----------------------	--	---------------	-----------------------	------------------------------------
		Remove SB / IOU		Partition	
		nominarcición		に 同じ	
		Partition Home		Partition	
				Configuration と 同じ	
	Partition#n		Hot System	RO	
	Extended		Hot Partition	RO	
	Partition		Warm System	RU	
	conniguration	SB	Colu System	Partition#n	
		50		Extended	
				Partition	
				Configuration と	
				同じ	
		IOU#n		Partition#n	
				Extended	
				Configuration	
		PCI Box#n		Partition#n	
				Extended	
				Partition	
				Configurationと	
	DeservedCD		Hat Couche as	同じ	
	Keserved SB		Hot System	RU RO	
	Configuration		Marm System	RU PO	
			Cold System	RO	
	Console		Hot System	RO	
	Redirection		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Network Configur	ation			<b>D</b> 0	
	Network	IPv4 Interface	Hot System	RO	
	Interrace	IDue Interface		RU RO	
		IPV0 IIIteriate	Cold System	RO	
Maintenance Wiz	ard		cold oystem		1
	Firmware Update				
		Unified Firmware	Hot System	RO	
		Update	Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
	Packup/Destore		Cold System	RO	
	Configuration			D14/	
		Backup/Restore MMB Configuration		RM	[Backup MMB] 保守モードには影響さ れない。
		-			[Restore MMB] 保守者のみ操作可能
	Maintenance Wizard		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

## 1.1.12 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)

保守者 (Administrator 権限または CE 権限) の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。 保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「1.1.6 保守モード時の Web-UI メニュー」を参照し てください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW:対象画面の参照および設定が可能

- RO:対象画面の参照のみ可能
- N/A:対象メニューおよびサブメニューは表示されない
  - \*1:対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能
  - \*2:対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能
  - \*3: 「対象 SB は Home SB、Reserved SB でもない」または、「対象 SB は Home SB で、Power Off 状態、属してい るパーティションは Standby 状態」
  - \*4:「対象パーティションは Standby 状態」

Navigation	第1階層	第2階層	保守モード	権限	権限	備考
Bar				(Administrator)	(CE)	
System						
	System Power		Hot System	RW	RO	
	Control		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RW	RW	
	MMB					
		MMB#0	Hot System	RW	RW	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RW	RW	
		MMB#1		MMB#0 と同じ		
Partition						
	Power Control		Hot System	RW	RO	
			Hot Partition	RW (*1)	RO	
			Warm System	RW	RW (*2)	
			Cold System	RW	RW	
	Partition		Hot System	RW	RO	Free ユニットは
	Configuration					交換対象ユニット
						である可能性があ
						るので、Add は抑
						止する。
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RW	RO	
			Cold System	RW	RO	

#### 表 1.13 保守モード時の Web-UI メニューー覧(保守者)

Navigation Bar	第1階層	第2階層	保守モード	権限 (Administrator)	権限 (CE)	備考
		Add SB / IOU		Partition Configu	ration と同じ	
		to Partition		5		
		Remove SB /		Partition Configu	ration と同じ	
		IOU from				
		Partition				
		Partition		Partition Configu	ration と同じ	
		Home				
	Partition#n		Hot System	RW	RO	
	Extended					
	Partition					
	Configuration					
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RW	RO	
			Cold System	RW	RO	
		SB		Partition#n Exter	nded	
				Partition Configu	ration と同じ	
		IOU#n		Partition#n Exter	nded	
				Partition Configu	ration と同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n Exter	nded	
				Partition Configu	ration と同じ	
	Reserved SB		Hot System	RW	RO	
	Configuration		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RW	RO	
			Cold System	RW	RO	
	Console		Hot System	RW	RO	
	Redirection		Hot Partition	RW (*1)	RO	
			Warm System	RW	RW (*2)	
			Cold System	RW	RW	
Network Config	juration					
	Network		Hot System	RO	RO	
	Interface		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
Maintenance V	Vizard	1				
	Firmware					
	Update					
		Unified	Hot System	RW	RM	
		Firmware	Hot Partition	KO	KO	
		Update	Warm System	RO	RO	
			Cold System	RW	RW	
	Backup/					
	Restore					
	Configuration					

Navigation	第1階層	第2階層	保守モード	権限	権限	備考
Bar				(Administrator)	(CE)	
		Backup/		RW	RW	[Backup MMB]
		Restore MMB				保守モードには影
		Configuration				響されない。
		2				[Restore MMB]
						- 保守者のみ操作可
						能
	Maintenance		Hot System	RW	RW	
	Wizard					
			Hot Partition	RW	RW	
			Warm System	RW	RW	
			Cold System	RW	RW	

# 1.2 [System]メニュー

System メニューでは、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム全体のハードウェアコンポーネントの状態表示や設定ができます。

#### 備考

MMB Web-UI (コンテンツ領域、インフォメーション領域) 上の[Part Number]、[Serial Number] に「Read Error」が 表示されたら、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ運用管理マニュアル」 (CA92344-0527) の「11.2 トラブル対応」を参照 して、内容を確認してください。それでも解決できない異常については、 担当営業員または修理相談窓口に連絡してく ださい。

ご連絡の際は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。

## 1.2.1 [System Status] 画面

[System Status] 画面には、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム全体の状態が表示されます。装置構成によって表示内 容が異なる場合があります。

各ユニットの表示枠(リンク表示)をクリックすると、各ユニットの詳細状態を表す画面が表示されます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2 MCXXXXXXX Normal	\$00E	Active:MMB#0
System Partition User A System >System Status	dministration Network Confi	guration Maintenance		Logout
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	System Stat	<b>US</b> 9 view detailed information a	bout each unit.	(Refresh) (Help
Finnware Information	Power Supply Fa	ns Temperature		
System Setup	OK OF	K OK		
LEDs	SR#0 SR	uit SBall	SB#3	
Power Supply	OK OF	K OK	OK	
Temperature				
D SB	IOU+0 IO	U41 IOU#2	IOU#3	
) IOU	Not-present Of	K OK	Not-present	
J OPL D MMR	DU#0 DU	J#1		
	Not-present No	ot-present		
	OPI			
	OK			
	MMR+0 M	MB#1		
	OK No	xt-present		
	DCL Dawed DC	Denti Del Denti	DCI David	
	Not-present N		Not-present	
	The become and	a present a rea present	a cor present	
	>			

図 1.1 [System Status] 画面

ユニットの状態として表示される内容は、以下のとおりです。

[OK]:障害がなく、正常に動作している状態のユニットです。

[Not-present]:未搭載のユニットです。背景色が灰色で表示されます。

[Warning]:重大ではないが、将来問題が発生するおそれがある状態のユニットです。「 4 」アイコンで表示されて います。

[Failed]:障害が発生しており切離しが必要な状態のユニットです。「 😣 」アイコンで表示されています。

[Degraded]:ユニット内のコンポーネントに障害が発生していても、障害のコンポーネントを切り離して動作ができる状態のユニットです。「4.」アイコンで表示されています。

#### 表 1.14 ユニットの状態とアイコン

状態	表示色	アイコン
Normal (通常状態)	緑色	なし
Warning、Degraded	黄色	黄色三角内に黒色!マーク
Failed	赤色	赤色丸内に白色×マーク

各ユニットは、詳細状態表示画面へリンクしています。ただし、搭載されていないユニットは詳細画面がないため、リンクになっていません。

項目	説明
Power Supply	PSUの状態が表示される。
Fans	ファンの状態が表示される。
Temperature	温度センサーの状態が表示される。
SB#0~SB#3	システムボードの状態が表示される。
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/
	2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2400S Lite/2400S/2400E/2400L の
	場合は SB#0~SB#1 となります。*1
IOU#0~IOU#3	IOU の状態が表示される。PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/
	2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合は IOU#0, IOU#2 となりま
	<b>す</b> 。
DU#0~DU#1	DUの状態が表示される。
OPL	OPL の状態が表示される。
MMB#0~MMB#1	MMBの状態が表示される。
PCI_Box#0~PCI_Box#3	接続されている PCI ボックスの状態が表示される。PRIMEQUEST
	2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合は
	PCI_Box となります。

表 1.15	[System Status] 画面の表示項目
--------	-------------------------

\*1 : PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 の場合、Memory Scale-up Board が使用可能な状態では、SB#0 - SB#3 の状態を表示します。

(1) メニュー操作

[System] - [System Status]

(2) 画面操作

ユニットの詳細状態を確認する場合、該当する各ユニットのリンクをクリックします。
 各ユニットの詳細状態を表示する画面が表示されます。

#### 備考

詳細状態の表示は、直接、[System] のサブメニューから対象ユニットのメニューを選択することもできます。操作について詳しくは、「1.2.9 [LEDs] 画面」~「1.2.16 [PCI\_Box] メニュー」を参照してください。

## 1.2.2 [System Event Log] 画面

[System Event Log] 画面には、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム内で発生したイベントのうち、現在 MMB のシス テムイベントログに保管されている MMB および BMC のイベントが時系列で表示されます。システムイベントログには 最大 32000 のイベントを保管できます。システムイベントログのエントリーがいっぱいになった場合、最も古いイベン トログが削除されて、新たに発生したイベントログがシステムイベントログに保管されます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number Status:	r:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Motional				Active:M	IMB
System >System Event Lop	mostration_Netwo	ek Configuration	Maintenance					Logo
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> </ul>	System	n Event Lo	og					H
Operation Log Destition Front Log	Severity	Date Time	Unit	Source	Event ID	Description	Detail	
3 System Information			Part Number					
Firmware Information	Info	2013-04-12 14:50:31	Partition#2	P#2 Svs Status	- CO6F00FF	Power Off	Detail	
System Secup     System Power Control     TEDs	@Info	2013-04-12 14:49:48	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F08FF	Power Off In Progress	Detail	
Power Supply	Ø Info	2013-04-12 14:47:07	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F03FF	POST	Detail	
<ul> <li>Temperature</li> <li>SB</li> </ul>	Dinfo	2013-04-12 14:47:05	Partition#2	P#2 Svs Status	C06F03FF	POST	Detail	
D IOU D OPL	Dinfo	2013-04-12 14:47:03	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F02FF	Reset	Detail	
- MUMES	Dinfo	2013-04-12 14:46:42	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F01FF	Power On In Progress	Detail	
	Dinfo	2013-04-12 14:28:00	Partition#2	P#2 Svs Status	C06F00FF	Power Off	Detail	2
	Dinfo	2013-04-12 14:27:17	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F08FF	Power Off In Progress	Detail	
	Dinfo	2013-04-12 14:26:38	Partition#2	P#2 Sys Status	C06F03FF	POST	Detail	
	Dinfo	2013-04-12	Partition#2	P#2 Svs Status	C06F03FF	POST	Detail	2

図 1.2 [System Event Log] 画面

[System Event Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。 表示するイベントが 1 つもない場合は、表の代わりに「There are no Event Logs.」のメッセージが表示されます。

項目	説明
Severity	イベント、エラーの重大度が表示される。
	・ Error:ハードウェア故障などの重大な問題
	・ Warning:必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント
	· Info:パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント
	<ul> <li>Monitor: CE 向けに表示されるイベント</li> </ul>
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間がローカルタイムで表示される。
	フォーマット:YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Unit	イベント、エラーが発生したセンサーを所有するユニットが表示される。
	たとえば、SB#0のCPU#0でエラーが発生した場合は、[SB#0]と表示される。 ユニットの特定
	は、センサーの Entity ID から本センサーを保有する FRU を検索し、Entity Association Record
	から親 Entity を検索する。親エントリーの FRU Record 内に記述されている Board/Unit Name
	を表示する。
	各ユニット詳細状態を表示する画面(各ユニットのパーツ番号、シリアル番号が参照できる画面)
	へのリンクがある。
Source	イベント、エラーが発生したセンサーの名前が表示される。
Part Number	システムイベントログに格納されているパーツ番号を表示する。
	格納されていない場合は「-」を表示する。
Event ID	Event の内容を識別するための ID (16 進で 8 桁表示) を表示する。
	Event ID の割当てについて詳しくは、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』
	(CA92344-0530) の「第 2 章 MMB のメッセージ」を参照。
Description	イベント、エラーの内容が表示される。
	備考
	ボードの抜差しに関するイベントについては、ボードのパーツ番号、シリアル番号が表示され
	る。

表 1.16	[System Event Log]	画面の表示項目
--------	--------------------	---------

## 表 1.17 [System Event Log] 画面のボタン

ボタン	説明
Clear All Events	[Clear All Events] ボタンをクリックすると、システムイベントログに保存されているすべて
	のイベントがクリアされる。担当保守員から指示があった場合にのみ使用する。
Download	確認メッセージ表示後、[System Event Log (Collect)] 画面が表示される。
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[System Event Log
	Filtering Condition] 画面が表示される。
Detail	[Detail] ボタンをクリックすると、対応するイベントの詳細が、[System Event Log(Detail)]
	画面に表示される。

(1) メニュー操作

[System] - [System Event Log]

- (2) 画面操作
  - システムイベントログに保存されているイベントデータをダウンロードする場合(事前に採取されたシステムイベントログが存在しない場合)
    - 1. [Download] ボタンをクリックすると[I\_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタンを クリックします。
    - 2. システムイベントログ情報の採取が自動的に開始し、[Progress] 画面が表示されます。
    - [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、採取したイベントデータに対するリンクが日付情報つきで 表示されます。リンクをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ファイル名、パスを指定 し、Web-UI を表示している PC にイベントデータをダウンロードします。
  - システムイベントログに保存されているイベントデータをダウンロードする場合(事前に採取されたシステムイ ベントログが存在する場合)
    - 1. [Download] ボタンをクリックすると[I\_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタン をクリックします。
    - 2. [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、事前に採取されたシステムイベントログ情報へのリンク が表示されます。
    - 3. 最新のシステムイベントログを取得するためには[Collect] ボタンをクリックします。[I\_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。システムイベントログ情報採取中は [Progress] 画面が表示されます。
    - 4. [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、採取したイベントデータに対するリンクが日付情報つき で表示されます。リンクをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ファイル名、パスを指 定し、Web-UI を表示している PC にイベントデータをダウンロードします。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXX JOID10002- Narmal	Active:MMB#0
System Partition User Ac	ministration Network Confi	garation Maintenance	Logent
System System Iver Log  System Status  System Street Log  Operation Log  Partition Event Log  System Information  System Information  System Setup  System Power Control  LEDs  Power Supply  Fun  Temperature  SB  IOU  OPL  MMB	System Eve Please download the Fri. 12 Apr 2013 If you want to updat	nt Log (Collect) e data collected clicking the following. <u>5 15 00:19</u> re the System Event Log, please click on the Collect button.	Неф
8 (111)	2	Collect Cancel	

#### 図 1.3 [System Event Log (Collect)] 画面

- 画面に表示されているイベントを絞り込む場合
  - 1. [Filter] ボタンをクリックします。
    - フィルタ条件を入力するための[System Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
  - [System Event Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
     [System Event Log] 画面に戻り、指定した条件を満たすイベントが表示されます。
- 画面に表示されているイベントの詳細を表示する場合
  - [Detail] ボタンをクリックします。
     イベントの詳細を示す[System Event Log (Detail)] 画面が表示されます。

### ■ [System Event Log Filtering Condition] 画面

[System Event Log] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[System Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[System Event Log Filtering Condition] 画面では、[System Event Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件を設 定できます。

FUI๊เTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUE	ST2800E XX			Active:MMB#0
	Status:	Normal				
System Partition User Ac	Iministration Network	Configuration Maintenance				Logout
>System >System Event Lo	9					
System Status	System	Event Log Filteri	ng Conditi	ion		Help
Overstion Log	System	Event Log Filteri	ng conun	IOII		( <u></u> )
Partition Event Log     System Information     Einnovare Information	Select the filte Note : The fol	ring conditions and click the <i>i</i> lowings are AND conditions.	Apply button to ta	ike effect.		^
System Setup	1)Severity:	Fror Warning VInfo				
System Power Control	2)Partition:	⊙ All				
LEDs	10 Telephone X	O Specified 0 1 2	3			
Power Supply	3)Unit:	⊙ All				
U Fans	A Dordaneous	O Specified PSUs	Fans			
		□ SB#0	SB#1	SB#2	SB#3	
0 IOU		□IOU#0	□ IOU#1	□IOU#2	IOU#3	
O OPL		□DU#0	□ DU#1			
MMB		OPL				
		MMB#0	MMB#1			
		PCI_Box#0	PC1_Box#1	PCI_Box*	#2 PCI_Box#3	
	4)Source:	⊙ All				
		O Specified CPU	DIMM	Chipset		
		Voltage	Temperature	Other		
	5)Sort by D	ate/Time:  New event firs	t Old event fir	st		
	6)Start Date	a/Time: @First event	O Specified Tir	me 2013	1 . 1 0	0 0
	7)End Date	Time: @Last event	O Specified Tir	me 2013	. 1 . 1 0	0 0
	8)Number o	d events to display (Max 3)	000): 100	6040		
			Apply C	ancel Defa	ault Setting	
<	>		Sector Sector		and the second	

## 図 1.4 [System Event Log Filtering Condition] 画面

項目	内容
Severity	チェックボックスから表示する Severity を選択する。複数選択可。
	・ Error:ハードウェア故障などの重大な問題
	・ Warning:必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント
	・ Info:パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント
	<ul> <li>Monitor: CE向けに表示されるイベント</li> </ul>
	デフォルトはすべてオン。
	注意
	[Monitor] チェックボックスは CE 権限でログインしている場合のみ表示される。
Partition	表示するパーティションを選択する。
	ラジオボタンで[All] または [Specified] を選択する。
	・ All: Partition によるフィルタリングをしない。
	· Specified:パーティション単位のフィルタリングが設定可能となる。表示するパーテ
	ィションをオンにする。
	Partition Operator の場合、[All] はグレーアウトされ、選択できない。またパーティション
	のフィルタリングは、管理対象のパーティションのみ選択可能となる。
	デフォルトは、Partition Operator 権限でない場合、[All]、Partition Operator 権限の場合、
	[Specified]で、管理対象のパーティションがオン。
Unit	表示する対象ユニットを選択する。
	ラジオボタンで[All] または [Specified] を選択する。
	・ All:ユニットによるフィルタリングをしない。
	・ Specified:ユニット単位のフィルタリングが設定可能となる。表示する Source をオ
	ンにする。
	デフォルトは All。
Source	表示する対象 Source を選択する。
	ラジオボタンで[All] または [Specified] を選択する。
	・ All:Source によるフィルタリングをしない。
	<ul> <li>Specified : Source 単位のフィルタリングが設定可能となる。表示する Source をオン</li> </ul>
	にする。
	デフォルトは All。
	注意
	"Source:CPU"のユニットで Filter する場合、CPU と Chipset の両方を指定してください。
Sort by Date/Time	新しい順で表示するか、古い順で表示するかをラジオボタンで指定する。
	・ New event first:新しい順にします。
	・ Old event first:古い順にします。
	デフォルトは New event first。
Start Date/Time	最初のイベントから表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定する。
	<ul> <li>First event:最初のイベントにする</li> </ul>
	・ Specified Time:時間指定にする。時間指定の場合は、開始時刻の年月日時分秒を入力
	する。
	デフォルトは First event。

表 1.18 [System Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	内容
End Date/Time	最後のイベントまで表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定する。
	・ Last event:最後のイベントにする。
	・ Specified Time:時間指定にする時間指定の場合は、終了時刻の年月日時分秒を入力す
	る。
	デフォルトは Last event。
Number of events	表示するログの数を指定する。分母部分は、ログされているイベントの総数が表示される。
to display	指定最大値は 3000 件。
	デフォルトは 100 件。

### 表 1.19 [System Event Log Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが [System Event Log] 画面
	に一覧表示される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[System Event Log] 画面に戻る。
Default Setting	選択値をデフォルト値に戻す。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00413	Nothing is selected.
W_00414	Invalid Date Format
W_00426	Invalid values specified.
W_00434	Invalid Time Format
W_00441	Range over error.
I_00417	Are you sure?
I_00468	Are you sure you want to clear the SEL?

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.2.3 [Operation Log] 画面

[Operation Log] 画面には、Web-UI および CLI の設定や操作に関するログを表示します。 各操作ログには、操作元のログイン情報(Web-UI/CLI/RMCP、IP アドレス、アカウント) が含まれます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:		PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX United States of Control of C	-	Active:N	IMB
System Partition User Ad	ministration Network	Configuratio	n Maintenance			Loge
D System Status D System Event Log	Operatio	on Log				(
Operation Log	Date/Time	Operation	1	IP Address	User Name(SessionID)	
Partition Event Log     System Information     Eventsian	2013-04-12 14:49:34	Web-UI	I_10110 Partition#2 : Force Power Off.	10.18.107.164	Administrator(95)	
System Setup     System Power Control	2013-04-12 14:47:59	Web-UI	I_10101 GUI Login.	10.18.107.71	Administrator(11)	
J LEDs D Douver Snewly	2013-04-12 14:46:40	Web-UI	I_10110 Partition#2 : Power On.	10.18.107.164	Administrator(95)	
D Fans	2013-04-12 14:27:05	Web-UI	I_10110 Partition#2 : Force Power Off.	10.18.107.164	Administrator(95)	
■ SB ■ IOU	2013-04-12 14:26:11	Web-UI	I_10110 Partition#2 : Power On.	10.18.107.164	Administrator(95)	
	2013-04-12 14:22:32	Web-UI	I_10110 Partition#0 : Force Power Off.	10.18.107.90	Administrator(83)	
1	2013-04-12 14:10:35	Web-UI	I_10101 GUI Login.	10.18.107.164	Administrator(95)	
	2013-04-12 13:58:15	Web-UI	I_10107 GUI Session Timeout.	10.18.107.164	Administrator(52)	
	2013-04-12 13:52:08	Web-UI	I_10101 GUI Login.	10.18.107.184	Administrator(71)	
	2013-04-12 13:51:22	CLI	I_10138 CLI Logout	10.18.107.164	Administrator(-)	
	2013-04-12 13:51:15	CLI	I_10137 CLI Login.	10.18.107.164	Administrator(-)	
	2013-04-12	I	Fiter	Clear		
e	3		244-24			

回1.J [Uperation rod] 回阻	図 1.5	[Operation Lo	og] 画面
-------------------------	-------	---------------	--------

[Operation Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。

表 1.20	[Operation Loc	1 画面の表示項目
201120	Lobergroup Total and Total	<u>л ша: 2010 ла</u>

項目	説明
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間を Local Time で表示する。
	フォーマット: YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Operation	操作元 (Web-UI、CLI、RMCP) および操作内容を表示する。
IP Address	操作元の IP アドレス(IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス) を表示する。
	シリアルで接続されたコンソール上での CLI 操作の場合は、[Console] と表示される。
	ログイン時に MMB に設定されている DNS からホスト名がわかる場合は、ホスト名が表示
	される。ホスト名がわからない場合は IP アドレスが表示される。
	Web-UI の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となる。
	IPv6 アドレス接続の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となる。
User Name	操作者および Web-UI 操作の場合の Session ID を表示する。
(Session ID)	CLI 又は、RMCP 操作時の Session ID は「-」で表示される。

表 1.21	[Operation Log] 画面のボタン
--------	------------------------

ボタン	説明
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering
	Condition] 画面が表示される。
Clear	[Clear] ボタンをクリックすると、操作ログがすべてクリアされる。

#### (1) メニュー操作

[System] - [Operation Log]

- (2) 画面操作
  - 操作ログをすべてクリアする場合
    - 1. [Clear] ボタンをクリックします。確認用のダイアログボックスが表示されます。
    - 2. 操作ログをクリアする場合は、[OK] ボタンをクリックします。操作ログをクリアしない場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。
  - 画面に表示されている操作ログを絞り込む場合
    - 1. [Filter] ボタンをクリックします。
      - フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
    - [Operation Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
       [Operation Log] 画面に戻り、指定した条件を満たすログが表示されます。

## ■ [Operation Log Filtering Condition] 画面

[Operation Log] 画面で [Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[Operation Log Filtering Condition] 画面では、[Operation Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件を設定できます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111	Active:MMB#1
Sectors Partition User Ac	Matus: Iministration Network Confi	uration Maintenance	Locout
>System >Operation Log			
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> </ul>	Operation 1	og Filtering Condition	Help
Partition Event Log     System Information     Firmware Information     System Setup     Sustem Power Control	Select the filtering co Note : The following	nditions and click the Apply button to take effect. are AND conditions.	
LEDs	1)Operation:		
Power Supply	2)Sect by Date/Ti	peofied @ Web-UI @ CLI @ RMCP	
- Fans	2)Sort by Date/Time	Ordeventurs     Ordeventurs     Ordeventurs     Ordeventurs	
Temperature	A)Eral Date (Time	Official and a specific office and a sp	
IOU	4)End Date/Time	Clast event O specified interest of the second	:0 :0
OPL	5)Number of even	ts to display (Max 1000): 100 / 1000	
MMB			
		Apply Cancel	
(	>		

図 1.6 [Operation Log Filtering Condition] 画面

表 1.22	[Operation Log Filtering	a Condition] 画面の表示・設定項目

項目	説明
Operation	表示する Operation を選択する。
	ラジオボタンで [All] または [Specified] を選択する。
	・ All: Operation によるフィルタリングをしない。
	・ Specified: Operation のフィルタリングが設定可能となる。表示する Operation を
	オンにする。
	デフォルトは All。
Sort by Date/Time	新しい順で表示するか、古い順で表示するかをラジオボタンで指定する。
	・ New event first:新しい順にします。
	・ Old event first:古い順にします。
	デフォルトは New event first。
Start Date/Time	最初のイベントから表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定する。
	· First event:最初のイベントにする。
	<ul> <li>Specified Time:時間指定にする。</li> </ul>
	時間指定の場合は、開始時刻の年月日時分秒を入力する。
	デフォルトは First event。
End Date/Time	最後のイベントまで表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定する。
	・ Last event:最後のイベントにする。
	<ul> <li>Specified Time:時間指定にする。</li> </ul>
	時間指定の場合は、終了時刻の年月日時分秒を入力する。
	デフォルトは Last event。
Number of events	表示するログの数を指定する。
to display	分母部分は、ログされているイベントの総数が表示される。
	指定最大値は 1000 件。デフォルトは 100 件。

## 表 1.23 [Operation Log Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが [Operation Log] 画面に
	一覧表示される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[Operation Log] 画面に戻る。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00413	Nothing is selected.
W_00414	Invalid Date Format
W_00426	Invalid values specified.
W_00434	Invalid Time Format
W_00441	Range over error.
I_00417	Are you sure?

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.2.4 [Partition Event Log] 画面

[Partition Event Log] 画面には、ハード異常情報(REMCS 通報対象メッセージ) が表示されます。 (\*) 最大 1000 のイベントを保管できます。エントリーがいっぱいになった場合、最も古いイベントログが削除されて、 新たに発生したイベントログが保管されます。

\*) ASP/XSP 動作機構のみログします。

INIEQUEST2800E Active:2 XXXXXXX 0000001 mm	MEQUEST280 XXXXXXX 0000001	1	idel: rt Number: rial Number: rtus:	M Pa JJITSU Se Sta
untenance	intenance	iguration	tion Network Conf	Partition User Administra m>Partition Event Log
		ent Lo	artition Eve	em Status em Event Log J
rition No Unit Event ID Description	ition No Un	me	evenity Date/Tip	ration Log
tition#0 Finnware 30500 PXM:D9 0000 0X 00000PX0, time:20131122085700.956	ition#0 Fi	1/15 5	rror 2013/11 05:57:2	tion Event Log em Information E
nizion#0 Finnware 30500 PXM:D9 IGR TX 00000PX0, time:20131122085554.000	bision#0 Fi	1/15 8	rror 2013/11 05:56:12	em Setup E
tition#0 Finnware 30500 PXM:D9 3333 3X 00000PX0, time:20131122085514.961	ttion#0 Fi	1/15 9	rror 2013/11 05:55:3/	em Power Control
tition#0 Finnware 30500 PXM:00 0000 00 00000000, time:20131122085450.954	ttion#0 Fit	1/15 5	rror 2013/11 05:55:1	i E
tition#0 Finnware 30500 PXM:D9 0000 0X 00000PX0, time:20131121203029.536	ition#0 Fi	1/14 3	rror 2013/11 17:30:5	I
tition#3 Finnware 30500 PXM:10 1001 A9 007B0P00, time:20131121185755.873	btion≓3 Fi	1/21 6	rror 2013/11 18:57:5/	Box
tition#2 Finnware 30500 PXM-5X NH33 01 05XX0P00, time:20131121181605.444	ition#2 Fi	1/21 15	rror 2013/11 18:16:0	B
tition#2 Fernware 30500 PXM-5X NH33 01 04XX0P00.	ition≓2 Fi	1/21	2013/11	E

[Partition Event Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。 表示するイベ ントが 1 つもない場合は、表の代わりに「There are no Event Logs.」のメッセージが表示されます。

表 1.24 [Partition Event Log] 画面の表示項目

項目	内容		
Severity	イベント、エラーの重大度が表示される。		
	・ Error:ハードウェア故障などの重大な問題		
	・ Warning:必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント		
	・ information:パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント		
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間が表示される。		
	フォーマット:YYYY-MM-DD HH:MM:SS		
Partition No	パーティション番号が表示される。		
Unit	イベント、エラーが発生したセンサーを所有するユニットが表示される。		
Event ID	Event の内容を識別するための ID (16 進で 8 桁表示) が表示される。Event ID の割当		
	てについて詳しくは、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』		
	(CA92344-0530) の「第 2 章 MMB のメッセージ」を参照。		
Description	イベント、エラーの内容が表示される。		

### 表 1.25 [Partition Event Log] 画面のボタン

ボタン	説明
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Partition Event
	Log Filtering Condition] 画面が表示される。
Clear	[Clear] ボタンをクリックすると、パーティションイベントログをすべて削除してよい
	か、確認メッセージが表示されます。

(1) メニュー操作

[System] - [Partition Event Log]

#### (2) 画面操作

- 画面に表示されているイベントを絞り込む場合
  - [Filter] ボタンをクリックします。
     フィルタ条件を入力するための[Partition Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
  - [Partition Event Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
     [Partition Event Log] 画面に戻ります。指定した条件を満たすイベントが表示されます。
  - パーティションイベントログをすべてクリアする場合
  - 1. [Clear] ボタンをクリックします。
  - 確認用のダイアログボックスが表示されます。 2. パーティションイベントログをクリアする場合は、[OK] ボタンをクリックします。
    - クリアしない場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。

## ■ [Partition Event Log Filtering Condition] 画面

[Partition Event Log] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Partition Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[Partition Event Log Filtering Condition] 画面では、[Partition Event Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件 を設定できます。



### 図 1.8 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面

表 1.26 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Partition	表示するパーティションを選択する。
	ラジオボタンで[All] か[Specified] を選択する。
	・ All: Partition によるフィルタリングをしない。
	· Specified:パーティション単位のフィルタリングが設定可能となる。表示するパ
	ーティションをオンにする。
	Partition Operator の場合、[All] はグレーアウトされ、選択できない。また、パーテ
	ィションのフィルタリングは、管理対象のパーティションのみ選択可能となる。
	デフォルトは、Partition Operator 権限でない場合、[All]、Partition Operator 権限
	の場合、[Specified] で、管理対象のパーティションがオンとなる。
Number of events to	表示するログの数を指定する。
display	分母部分は、ログされているイベントの総数が表示される。
	指定最大値は 1000 件。
	デフォルトは 100 件。

ボタン	説明
АррІу	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが[Partition Event
	Log] 画面に一覧表示される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[Partition Event Log] 画面に戻る。

## 表 1.27 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面のボタン

【メッセージ】

### 本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00413	Nothing is selected.
W_00414	Invalid Date Format
W_00426	Invalid values specified.
W_00434	Invalid Time Format
W_00441	Range over error.
I_00417	Are you sure?
I_00531	Are you sure you want to clear the Partition Event Log?
E_00100	Failed to set the Partition Event Log Clear

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.2.5 [System Information] 画面

[System Information] 画面には、システムの名前や製品の名前などの PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムに関す る情報が表示されます。

また、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム(筐体) に対する名前の設定、および、Asset Tag (財産管理番号) の設定ができます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Warmad	Active:MMB#0
Susteen Partition User Ad	ministration Network Configura	ion Maintenance	Logout
System Status     System Event Log     Operation Log     Partition Event Log	System Inform	<b>mation</b> 1 to apply all changes.	(Help)
<ul> <li>Firmware Information</li> </ul>	System Name	PRIMEQUEST	
System Setup	Product Name	PRIMEQUEST2800E	
System Power Control	Part Number	MCX000000X	
Power Supply	Serial Number	- demographic	
E Fans	Asset Tag		
Temperature     SB     IOU		(Apply) [Cancel]	
ID OPL			
6 mm	2.6		

図 1.9 [System Information] 画面

項目	説明			
System Name	PRIMEQUEST 2000 シリーズのシステム名が表示される。			
	Administrator 権限のユーザーはシステム名を変更できる。最大 64 文字まで入力が可能。			
	備考			
	<ul> <li>入力可能な文字は、英数字、半角スペースと以下の文字である。</li> </ul>			
	! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @ ` [ ] { } : ; * + ? < > . / _			
	ただし、以下の制限がある。			
	・ #と半角スペースは、先頭文字として使用できない。			
	<ul> <li>・ 半角スペースは、最後の文字として使用できない。</li> </ul>			
	デフォルトは、 <primequest +製品シリアル番号="">。[System Name] を空欄にした場合はデ</primequest>			
	フォルトのシステム名となる。			
Product Name	PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの製品名が表示される。			
Part Number	PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの装置型名が表示される。			
Serial Number	PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムのシリアル番号が表示される。			
Asset Tag	財産管理情報 (Asset Tag) が表示される。			
	Administrator 権限のユーザーは、Asset Tag 情報を変更できる。最大 32 文字まで入力が可			
	能。			
	デフォルトは値なし。			

表 1.29	[System Information]	画面のボタン
--------	----------------------	--------

ボタン	説明
Арріу	[System Name] や[Asset Tag] の項目に文字を入力し、[Apply] ボタンをクリックすると、 入力した情報が設定される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[System Name] や[Asset Tag] に入力した情報は設定さ れず元の状態に戻る。

1. メニュー操作

[System] - [System Information]

- (2) 画面操作
  - [System Name] や[Asset Tag] の項目を変更して、[Apply] ボタンをクリックします。 それぞれの情報が設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00431	Invalid character included.
W_00407	Input characters are too long.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.2.6 [Firmware Information] 画面

[Firmware Information] 画面では、適用されているファームウェアの最新総合版数、システム内で稼動しているファ ームウェアのバージョン情報、およびバックアップされているファームウェアのバージョン情報が表示されます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQU MCXXXX 0000000000 Normal	IEST2800E XXX I		Active:MMB#0
System >Firmware Informa	ministration Network Con tion	liguration Maintenan	ce		Logout
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> </ul>	Firmware In	formation			Help
Partition Event Log	Unified Firmware	Version BA13112			
Firmware Information	Current Firmwary	,			
System Semp			active bank		
System Power Control	Unit	Finnware	Version(bank1)	Unified Firmware Version	
D Down Sand			Version(bank2)		
Fine Supply		BMC 0	bank2		
Temperature			0.60F	BA13112	
🗈 SB	OT UN		0.60F		
■ 10U	2Phan		bank2		
🗉 DU		BIOS	90.07	BA13112	
PCI_Box		1200-222	1.12		
🖸 OPI.	SB#1	bank2			
III MMB		0.60F	BA13112		
			0.60F		
		#1 BIOS	bank l		
1.000			1.12	BA13112	1
All stands			05.07		M

## 図 1.10 [Firmware Information] 画面

項目	内容
Unified Firmware Version	適用されている最新のファーム総合版数。
Current Firmware	
Unit	ファームウェアを搭載している対象ユニットが表示される。
	• SB#n
	• MMB#0
	• MMB#1
Firmware	ファームウェアの種類および現状版(Active) が表示される。
	• BMC
	• BIOS
	• MMB
	・ Not-present:ユニットが搭載されていないことを示す。背景色が灰色で表示
	されます。
active bank	現在動作している面(bank1 or bank2) を表示する。
	パーティションの起動・再起動後に最新の Firmware に反映される。
Version(bank1)	bank1 のファームウェアのバージョンが表示される。
	【バージョン表示形式】
	ファームウェアは、バージョン情報を以下の形式で保持している。
	・ Major Version= 1 バイトデータ(Binary 形式)
	・ Minor Version= 1 バイトデータ(BCD 形式)
	このデータを以下のように表示する。
	X.YY
	X は Major Version を 10 進数表示(0~255)
	Y は Minor Version を BCD 形式(2 進化 10 進数) でそのまま 2 桁表示する(00~99)。
Version(bank2)	bank2 のファームウェアのバージョンが表示される。
	【バージョン表示形式】
	bank1 と同様。
Unified Firmware Version	対象ユニットのファームウェアのバージョンを表示する。
	ファームウェアは、バージョン情報を以下の形式で保持している。
	・ モデル識別 XX (BA、BB、BC)
	・ 西暦下 2 桁 YY = 09-99
	・ 月 MM = 01-12
	・ 追番 N = 1-9
	このデータを以下のように表示する。
	XXYYMMN
	例:BA13012
	総合版数が不明の場合は「-」と表示される。

表 1.30	[Firmware Information]	画面の表示項目
--------	------------------------	---------

書き込まれた最新のファームウェアは、システム管理者またはパーティション管理者によってパーティションの起動 / 再起動を実行した後に反映されます。

#### 備考

ファームウェアアップデートの実施後は、速やかにパーティションの起動/再起動をし、ファームウェアに反映させる ことを推奨します。

- (1) メニュー操作[System] [Firmware Information]
- (2) 画面操作なし

## 1.2.7 [System Setup] 画面

[System Setup] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの受電モードや、復電時のアクションなどが設定できます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E Active:MMB#0 MCXXXXXXX 0000000001
Partition User Ad	ministration Network Configuration	Manatemance Logout
System >System Setup     System Status     System Event Log     Operation Log     Partition Event Log     System Information	System Setup Click the Apply Button to apply	all changes.
Einuware Information	Input Voltage	100V
System Setup	Power Feed Mode	Single ⊂ Dual
System Power Costrol LEDs Power Supply Fins Temperature SB	Power Restoration Policy	Always ON - chassis always powers up after AC is restored. Always OFF - chassis remains powered off after AC is restored. Restore - power is returned to the state that was in effect before AC was removed or lost. Schedule Sync - Synchronize with the schedule. Restore
	Partition Power on Delay	0 sec
PCI_Box	Altitude	Alhtuda < 1000m 👻
OPL	PSU Redundant Mode	O Redundant   Non-Redundant
MMB	Reserved SB Force Power Wait	Off 51 min
	System Power Save Control	CEnable Disable
	System Power Saving Three	shold 0 W (0W - 0W)
* (11)	2	Apply] Cancel

## 図 1.11 [System Setup] 画面

項目	内容	
Input Voltage	入力電圧を表示する。	
	· 100V	
	· 200V	
	情報を取得できなかった場合は、200V と表示される。	
Power Feed Mode	PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの電源を一系統受電モードで構成するか、二系統受電	
	モードで構成するかを設定する。	
	・ Single:一系統受電モード	
	・ Dual:二系統受電モード	
	デフォルトは Single。	
Power Restoration	停電後、復電したときのアクションの表示設定をする。	
Policy	・ Always off:復電後、電源オフの状態を維持する。	
	<ul> <li>Always on:停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを 行う。</li> </ul>	
	· Restore:停電した時の状態に戻す。停電時にパーティションが電源オンの状態であっ	
	た場合はパーティションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった	
	場合は、パーティションの電源オフの状態を維持する。	
	· Schedule Sync: 復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパ	
	ーティションの電源オンを行う。	
	(注思) Special 不認定したフケジュールは、地定したロのユ海田となる	
	Special C設定したスクシュールは、相定した自じの週刊となる。 デフォルトは Restore。	
Partition Power On	AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オン	
Delay	を指示するまでの待機時間を設定する。 本項目はスケジュールによる Power On 時も有効	
,	となる。	
	0 ~ 9999 秒の範囲で指定する。	
	デフォルト値は0秒。	
	(注意)	
	Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されない。	
	ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power	
	Un Delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power Un Delay 時間か優先	
Altitudo	され、 スケンユール連転による Power Un Cの Power Un Delay は無視される。	
AIIIIUUE	PRIMEQUEST 2000 クリースクステムが設置されている同度を設定する。	
	$\cdot$ 1000 m <= Altitude < 1500 m	
	$\cdot$ 1500 m <= Altitude < 2000 m	
	$\cdot$ 2000 m <= Altitude	
	デフォルト値は、Altitude < 1000 m。	
	高度条件の設定誤差は±100m まで可能。	

項目	内容
PSU Redundant Mode	PSU を冗長で動作させるかどうかを設定する。
	<ul> <li>Multi-redundant: PSU を複数冗長にします。 ※1</li> </ul>
	・ Redundant: PSU を冗長にします。
	<ul> <li>Non-redundant: PSU を非冗長にします。</li> </ul>
	Power Feed Mode が Single の場合、デフォルトは Non-redundant。
	Power Feed Mode か Dual の場合、Redundant 固定。
	※1・PKIMEQUEST 240053 LI(E/240053/2400E3/2400E3/ 2/0052 Lite/2/0052/2/00E2/2/0012/2/005 Lite/2/005/2/00E/2/00E/2/001 の時のみ表示さ
	240052 EIC/240052/2400E2/2400E2/24005 EIC/24005/2400E/2400E のいろののないで
	また、PSU S 100V を使用していない場合はグレーアウトされる。
Reserved SB Force	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
Power Off Wait	当 SB を含むパーティションに直ちに OS シャットダウンを指示する。OS シャットダウン指
	示により OS がシャットダウンされない場合、パーティションを強制電源オフする。
	この項目は、Reserved SB の切り替え時、OS シャットダウン指示から強制電源オフを開始
	するまでの最大待機時間を設定する。0 ~ 99 分の範囲で指定する。
Suctor Dowor Source	テノオルトは IU 分。 システム会体としての Dower Soving 機能の方効・無効認定を行う
System Power Save	ノスノム主体としての Power Saving 機能の有効・無効設定を11 J。
Control	Lindble Fower Saving を有効にします。
	· Disable Fower Saving を無効にします。
	FOWER Saving 版化は、FSU_F 200V ののクホード9 る。
	ノフオルドは Disable。
	Power Saving 機能を使用する場合は、UEFI メニューからシステム内の主バーティショフを
	・ I Power Technology」を I Energy Efficient」のるいは「Custom」にする。
	・ ICustom」にした場合は、更に「Speed Step」を「Enabled」にする。
	・ [PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 の場合のみ]
	Hardware Controlled Power Management」を「Legacy Mode」にする。
System Power Saving	システム全体の消費電力閾値(Limit値)を設定する。
Threshold	System Power Save Control が Enable の場合、設定することができます。
	System Power Save Control が Disable の場合、この項目はグレーアウト表示します。
	最小値は 3200W。
	最大値はモデルと入力電圧により異なり、以下の値となる。
	■100Vの場合
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/S2 Lite/S Lite ÷ 4080W
	• PRIMEQUEST 2400S3/S2/S : 5440W
	PRIMEQUEST 2400E3/L3/E2/L2/E/L
	- Memory Scale-up Board 非搭載の場合:5440W
	- Memory Scale-up Board を搭載した場合:非サポート
	・ PRIMEQUEST 2800E3/L3/E2/L2/E/L:非サポート
	■200Vの場合
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/S2 Lite/S Lite/S3/S2/S ÷ 5760W
	PRIMEQUEST 2400E3/L3/E2/L2/E/L
	- Memory Scale-up Board 非搭載の場合:5760W
	- Memory Scale-up Board を搭載した場合:8640W
	• PRIMEQUEST 2800E3/L3/E2/L2/E/L : 8640W

### 表 1.32 [System Setup] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Power Feed Mode] または [Power Restore Policy] などの項目を指定し、[Apply] ボタンを
	クリックすると、情報が設定される。
	[Cancel] ボタンをクリックすると、変更または入力された項目が設定されずに元の状態に戻
	る。

### (1) メニュー操作

[System] - [System Setup]

- (2) 画面操作
  - 1. [Power Feed Mode] または [Power Restoration Policy] などの項目を指定し、[Apply] ボタンをクリッ クします。それぞれの情報が設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
E_00100	Failed to set the System Setup
W_00426	Invalid values specified.
E_00098	Failed to get the system configuration.
W_00559	Unable to set Power Save Control because PSU type is not PSU_P.
E_00100	Failed to set the system config.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.2.8 [System Power Control] 画面

[System Power Control] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム全体の電源制御ができます。

#### 備考

- Windows がインストールされているパーティションは、必ず OS のシャットダウンを実行してください。システムの応答がないなどの緊急時には MMB の Power Off (Force Power Off) で電源を切断してください。
- 以下のような状態の場合は、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ運用管理マニュアル』 (CA92344-0527) の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容をご確認ください。それでも解決できない異常については、担当営業員または 修理相談窓口に連絡してください。

ご連絡の際は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。また、障害が復旧するまでの間、パーティションの[Reset]、[Force Power Off] をしないでください。

パーティションの[Power off]、[Reset]、[Force Power Off]、および OS からシャットダウンした場合、長時間たっても処理が終了しない状態で MMB Web-UI 画面で各コンポーネントの状態を表示させると、Part Number、Serial Number が「Read Error」と表示されます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
T	Status:	Normal	
Suction Suction Discr Ad	ontrol	uration Maintenance	Logour
> System > System Power C	onitroi		
System Event Log     Operation Log     Partition Event Log     System Information     Firmw are Information	System Pow Select a power comb	ver Control	Нар
System Setup System Power Control EEDs Power Supply Fans Fans Same	O Power Off all Force Power	partition(s) (all partition(s) will be automatically shutdown) Off	
■ SB#0 ■ SB#1 ■ SB#2 ■ SB#3 ■ IOU ■ OPL ■ OPL			
U MMB		(Apply) Cancel	
<	>		
ページが表示されました		🧐 ローカル イントラネット	🖓 • 🔍 1006 •

### 図 1.12 [System Power Control] 画面

### 表 1.33 [System Power Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Power On all partition(s)	すべてのパーティションの電源がオンになる。
	筐体の電源のみオンになっている状態で選択すると、すべてのパーティションの電源が
	オンになる。
Power Off all partition(s)	すべてのパーティションをシャットダウンし、筐体の電源がオフになる。
(all partition(s) will be	
automatically shutdown)	
Force Power Off	パーティション上で動作している OS がシャットダウンされずに電源がオフになる。

### 表 1.34 [System Power Control] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	ラジオボタンで制御項目を選択し[Apply] ボタンをクリックすると、選択された情報によ
	り電源が制御される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、電源は制御されずに元の状態に戻る。

### (1) メニュー操作

[System] - [System Power Control]

- (2) 画面操作
  - ラジオボタンで電源の制御項目を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
     確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     選択された情報により電源が制御されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
E_00069	Can't control system power under maintenance. Release maintenance mode.
E_00077	Partition#x cannot execute Power On.
E_00078	Partition#x cannot execute Power Off.
E_00100	Failed to set the System Power Control
E_00101	Unable to power on the partition#%aa due to CPU mismatch between SBs.
E_00107	Unable to power on the chassis.
E_00108	Unable to power off the chassis.
E_00109	Unable to force power off.
I_00212	System Power Control cannot be executed because the system is under maintenance.
E_00422	Unable to power on the partition#%aa due to CPU composition abnormal.
E_00482	Unable to power on the partition#%aa due to DIMM composition abnormal.
E_00491	Unable to power on the partition#%aa due to DIMM does not satisfy requirements of
	Mode.
E_00517	Unable to power on the partition#%d due to abnormal SB composition.
W_00587	Unable to execute Power Control because the firmware is updating.
W_00588	Unable to execute command because the power control operating.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照してください。 複数のエラーが発生した場合は、警告ダイアログボックスに複数のエラーメッセージが表示されます。

## 1.2.9 [LEDs] 画面

[LEDs] 画面には、システム内の LED 状態が表示されます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PF M du	Marning	T2800E X	i.	-2	Active:MMB#0
System >LEDs	ministration Network Co	afiguration M	faintenance				Logoui
) System Status ) System Event Log ) Operation Log	LEDs						Refresh He
Partition Event Log	Unit	Power LED	Alarm LED	Location LED			
System Information	System(OPL)	0	•	On Off			
System Setup	SB#0	0	Ö	On Of			
System Power Control	\$B#1	0	0	O On Off			
LEDs	SB#2	õ	0				
Power Supply Fase	SB#3	õ	õ				
Temperature	IOU#0	Not-present					
SB	IOU#1	0	Ö				
SB#0	IOU#2	ŏ	ŏ				
SB#1	IOU#3	Not-present	<u> </u>				
SB#3	MMB#0		0	On Of			
IOU	MMB#1	Not-present					
OPL	PCI Box#0	Not-present					
MMB	PCI_Box#1	Not-present					
	PCI_Box#2	Not-present					
	PCI_Box#3	Not-present					

図 1.13 [LEDs] 画面

搭載されていないユニットに対しては、Not-present と表示され、その行は背景色が灰色で表示されます。 PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/ 24005 Lite/2400S2/2400E2/2400L3/2400L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/

2400S Lite/2400S/2400E/2400Lの場合、以下のユニットが表示されます。

SB : SB#0~SB#1

PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合、以下のユニットが表示されます。

100 : 100#0, 100#2

PCI\_Box : PCI\_Box

表 1.35 [LEDs] 画面の表示・設定項目

項目	内容		
Unit	ユニット名が表示される。		
Power LED	電源状態が表示される。		
Alarm LED	ユニットの Alarm LED の状態を表示する。		
Location LED	ユニットの Location LED の状態を表示/設定する。		

### 表 1.36 [LEDs] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯される。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯される。
Turn off all Location	[Turn off all Location LEDs] ボタンをクリックすると、システム内のすべての[Location
LEDs	LED]が消灯される。

## (1) メニュー操作

[System] - [LEDs]

- (2) 画面操作
  - 1. [Turn off all Location LEDs] ボタンをクリックします。 システム内のすべての[Location LED] が消灯されます。

## 1.2.10 [Power Supply] 画面

[Power Supply] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム内の PSU の状態が表示されます。 各 PSU の Status はいったん異常を検出すると、PSU を交換するか、[Status Clear] ボタンをクリックして異常状態をク リアするまで異常状態が保持されます。

FUJITSU	Part Number: Serial Number: Status:	PRD MC3 0000	MEQUEST2 XXXXXX 000001	800E	-	Active:MMB#
System >Power Supply	nistration Network Cor	nfiguration Mai	ntenance			Logou
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	Power Supp Click the Status Clear	ly button to clear	the status.			Refresh Hel
Firmware Information	System Power St	attus	0	n		
System Setup	Power Supply Re	dundancy	R	edundant		
System Power Control						
Power Supply	PSU PSUFANTI Slot	States	Bosser St	attac Tanie	Part Number	Secial Number
Fans	0	OK	On	PSU S	CA07603-E402	G817L7001505F
Temperature	1	OK	On	PSU S	CA07603-E402	G817L7000505F
8B 1011	2		-	FANU	CA07603-E501	G818L6005H05F
DC	3	Not-present	181	14	Read Error	Read Error
PCI Box	4	Not-present	100	1	Read Error	Read Error
OPL	5	Not-present	100	2		
MMB	Power Consumpt	tion		0	60	
	System Power Co	onsumption(W)	8-	40		

図 1.14 [Power Supply] 画面

項目	内容
System Power Status	PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム(筐体) の電源状態を表示する。
	・ On:オン状態です。
	・ Standby:スタンバイ状態です。
Power Supply	PSU/FANUの冗長状態について表示する。
Redundancy	・ Redundant: PSU が に長である場合。
	・ Non-redundant: Sufficient Resources: PSU の冗長性か失われても、システムを連用
	9 るにのに必要な PSU はのる場合。
	・ Non-redundant: Insufficient Resources: 冗長性を失い、かつ、システムを連用するの
	によりの不定している場合。
	※・DSU Redundancy Mode が Multi-redundant の提合の表示は以下となる
	・ Multi-redundant: PSIIが複数冗長である場合。
	Redundancy Degraded: PSIIの複数冗長は失われたが、一部冗長が残っている場
	合。
	・ Non-redundant: Sufficient Resources: PSU の冗長性が失われても、システムを運用
	するために必要な PSU はある場合。
	・ Non-redundant: Insufficient Resources: 冗長性を失い、かつ、システムを運用するの
	に PSU が不足している場合。
PSU	
PSU/FANU Slot	PSU/FANU を搭載するスロットを表示する。
Status	PSU/FANU の状態を表示する。
	・ OK:PSU は正常です。
	・ Not-present:PSU は搭載されていません。
	<ul> <li>Failed: PSU は異常です。</li> </ul>
	・ AC Lost:PSU は AC 接続されていません。
	・ Configuration error: 搭載 PSU の組み合わせ、搭載位置が誤っています。
	・ - (Type が FANU の場合)
Power Status	PSU/FANUの電源状態オン/オフを表示する。
	・ On: PSU はオン状態です。
	・ Standby: PSU はスタンバイ状態です。
Tues	・ - (Type か FANU の場合) DSU/FANULの種類を実売する
туре	PSUTANUの程規で扱いする ・ DSU D ・ 80DU US DI ATINUM 対応 DSU
	・ PSII S : 80PI IIS SII VER 相当 PSII
	• FANIL : $7\pi^{2}$ $mhore$
	・ -: (Not-present の場合)
	同一筐体内での PSU P/PSU S の混在は不可。
Part Number	 PSU/FANU のパーツ番号を表示する
Serial Number	PSU/FANU のシリアル番号を表示する。
Power Consumption	
System Power	消費電力量を表示する。
Consumption (W/)	

表 1.37 [Power Supply] 画面の表示項目
表 1.38	[Power Supply]	画面のボタン
--------	----------------	--------

ボタン	内容
Status Clear	PSUのエラー状態をクリアする。

(1) メニュー操作

[System] - [Power Supply]

- (2) 画面操作
  - [Status Clear] ボタンをクリックします。
     確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - 2. PSU の状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00029	Status Clear completed.
E_00123	Failed to clear the status.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.2.11 [Fans] 画面

[Fans] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム内のファンの状態表示とファン状態のクリア設定をします。

図 1.15 [Fans] 画面(1)

FUĴĨTSU	Model: PRIMEQUEST2 Part Number: MCXXXXXXX Serial Number: 0000000001 Status: Normal		2800E			Active:MMB#0	
Partition User Ad System >Fans	ministration Network C	onliguration N	faintenance				Logout
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information Firmwate Information	Fans Click the Status Cle Fan Redundanc	ar button to cle	sar the status				Refiesh Hel
System Setup System Power Control			and an off	ALC: N	Fan speed	Threshold(rpm)	
LEDI	PSUFANU SI	E FANM#	Part Number	Sterus	(rpm)	Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
Power Supply				OK		-/17446	9138/-
1-805			CA07603-	OK		-/14420	73447+
Tampagan		T 3 5 75 6110	Parts 1000		- C.L.		
Temperature SR		FANM#0	H402	OK.		-/17446	9138 / -
Temperature SB IOU		FANM#0	H402	OK OK		-/17446 -/14420	9138/- 7344/-
Temperature SB IOU DU	0	FANM#0	H402	OK OK OK		-/17446 -/14420 -/17446	9138/- 7344/- 9138/-
Temperature SB IOU DU PC1_Box	0	FANM#0	H402	OK OK OK		-/17446 -/14420 -/17446 -/14420	91387- 73447- 91387- 73447-
Temperature SB IOU DU PC1_Box OPL	0	FANM#0	H402 CA07603- H402	OK OK OK OK		- / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446	9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / -
Temperature SB IOU DU PC1_Box OPL MMB	0	FANM#0 FANM#1	CA07603- H402	0K 0K 0K 0K 0K		- / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420	9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 7344 / -
Temperature SB IOU DU PCI_Box OPI_ MMB	0	FANM#0 FANM#1	H402 CA07603- H402	0K 0K 0K 0K 0K 0K		- / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446	9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 9138 / -
Temperature SR IOU DU PC1_Box OPL MMB	0	FANM#0 FANM#1	H402 CA07603- H402 CA07603-	0K 0K 0K 0K 0K 0K 0K		- / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420 - / 17446 - / 14420	9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / -
Temperature SB IOU DU PC1_Box OPL MMB	0	FANM#0 FANM#1 FANM#0	H402 CA07603- H402 CA07603- H402	0K 0K 0K 0K 0K 0K 0K		- / 17446 - / 14420 - / 17446	9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 7344 / - 9138 / - 9138 / -



### 図 1.16 [Fans] 画面(2)

各ファンの Status はいったん異常を検出すると、ファンを交換するか、[Status Clear] ボタンをクリックして異常状 態をクリアするまで異常状態が保持されます。

#### 備考

[Status Clear] して再度ファンの回転数異常が検出されると、[Failed] 状態に遷移します。そのため、もともとファン回転数が異常であるファンのステータスをクリアしても、状態は[Failed] のまま変化しない場合があります。

	項目	内容				
Fan Redunda	эпсу	ファンの冗長状態が表示される。				
	1	・ Redundant:ファンが冗長				
		<ul> <li>Non-redundant: Sufficient Resource:ファンの冗長性は失われたが、シス</li> </ul>				
		テムの運転を継続するのに十分なファンがある。				
		・ Non-redundant: Insufficient Resource:ファンが冗長でなくなり、システ				
		ムの運転を継続するために十分なファンがない。				
PSU/FANU SI	ot	FANM が属する PSU or FANU のスロット位置を表示する。				
FANM#		PSU または FANU に搭載される FANM(FAN Module)を表示する。				
Part Number	-	ファンのパーツ番号を表示する。				
Status		各ファンの状態を表示する。				
		<ul> <li>OK:ファンは正常です。</li> </ul>				
		・ Not-present:ファンは実装されていません。				
		・ Warning:ファンは動作継続可能な異常です。				
		・ Failed:ファンは異常です。				
Fan Speed(r	om)	各ファンの回転数(rpm) を表示する。				
Threshold	Warning(Low/	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示する。 (この回転数より低くなるか高く				
(rpm)	High)	なると異常)				
		Warning となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示する。				
	Critical(Low/Hig	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示する。 (この回転数より低くなるか高く				
	h)	なると異常)				
		Critical となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示する。				
Airflow Volur	ne	風量を表示する。				

表 1.39	[Fans] 画面の表示項目
--------	----------------

#### 表 1.40 [Fans] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	ファンの状態をクリアする。

(1) メニュー操作

[System] - [Fans]

- (2) 画面操作
  - [Status Clear] ボタンをクリックします。
     確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - 2. ファンの状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
1 00029	Status Clear completed.
E 00123	Failed to clear the status.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.2.12 [Temperature] 画面

[Temperature] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズシステム内の温度センサーの温度が表示されます。

PRIMEQUEST 240053 Lite/240053/2400E3/2400L3/2400S2 Lite/240052/2400E2/2400L2/ 24005 Lite/2400S/2400E/2400L の場合、以下のユニットが表示されます。

SB:SB#0~SB#1

#### 備考

PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 の場合、Memory Scale-up Board が使用可能な状態では、 SB#0 - SB#3 を表示します。 PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合、以下のユニットが表示されます。 IOU: IOU#0, IOU#2 PCI\_Box: PCI\_Box

FUĴĨTSU	Model: PRD Part Number: MC2 Serial Number: 0000 Status: Nor		RIMEQUEST280 CXXXXXXX 00000001 mmd	0E		Active:MM	B#0
System >Temperature	ministration 1	letwork Configuration N	aintenance			Lo	2001
System Status     System Event Log     Operation Log	Tem	perature				Refresh	Help
Partition Event Log					Threshold		
System Information Firmware Information	Sens	or	Status	Temperature	Warning (Low/High)	Critical (Low/High)	-
System Setup	Inlet	Temp.	OK	- °C	2/38°C	-/-°C	
EEDs Power Supply Fans	Sem	or	Status	Temperature	Threshold Warning (Low/High)	Cuitical (Low High)	-
		CPU#0	OK	- °C	-787°C	-/ \$9°C	
■ 10U		CPU#1	Not-present				
🗉 DU		DIMM#0A0 - 0A3	OK	- °C	-/87°C	-/ 90°C	
PCI_Box		DIMM#0B0 - 0B5	Not-present				
- OPL		DIMM#0C0 - 0C	Not-present				
🗠 MMB	1	DIMM#0D0 - 0D5	Not-present				
		DIMM#1A0 - 1A3	Not-present				
	SB	DIMM#1B0 - 1B5	Not-present				
	1 2022	DIMM#1C0 - 1C:	5 Not-present		-		
		DIMM#1D0 - 1D	Not-present	- 11			
	100	RAID Ctrl Temp.	<b>*</b>		*	-	_
<	>	RAID BBU Temp.				1	M

### 図 1.17 [Temperature] 画面

項	8	内容				
Sensor		各度センサーの種類を表示する。				
Status		各温度センサーの状態を表示する。				
		<ul> <li>OK:温度センサーは正常です。</li> </ul>				
		・ Not-present:温度センサーは実装されていません。				
		・ Warning:温度センサーは動作継続可能な異常です。				
		・ Critical:温度センサーは異常です。				
Temperature		各温度センサーの温度を表示する。				
Threshold	Warning	各温度センサーの温度の下限値と上限値を表示する。 (この温度より低くなるか高くな				
	(Low/High)	ると異常)				
	_	Warning となる温度の下限値と上限値の閾値を表示する。				
	Critical	各温度センサーの温度の下限値と上限値を表示する。 (この温度より低くなるか高くな				
	(Low/High)	ると異常)				
		Critical となる温度の下限値と上限値の閾値を表示する。				

表 1.41	[Temperature]	画面の表示項目
--------	---------------	---------

(1) メニュー操作

[System] - [Temperature]

(2) 画面操作なし

# 1.2.13 [SB] メニュー

[SB] メニューには、SB のユニットごとにメニューがあります。 搭載されていない SB のメニューは表示されません。 画面の形式と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは 1 つのメニューについて説明します。 PRIMEQUEST 2400E3/2400E3/2400E2/2400L2 の場合は Memory Scale-up Board の情報も表示されます。

#### ■ [SB#x] 画面

[SB#x] 画面では、SB#x ボードの状態の表示および設定ができます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number Serial Numb Status:	t: er:	PRIME MCXXX 0000000 Normal	QUEST2800E CXXXX 001		-	Active:MMB#0
Sustem SR SRat	ministration Netv	vork Configurat	ion <u>Mainten</u>	ance			Logout
System Status System Event Log Operation Log Partnion Event Log System Information Ferences of formation	SB#0 Click the Sta	tus Clear button	a to clear the	status.			Refresh Help
System Setup System Power Control LEDs Power Sopply Fans Temperature	Stams Power S Home Part Nus Serial N	tatus aber umber	OK           Standby           Yes           CA07603-D003 A0           PP132500PT				
SB     SB#0     SB#1     SB#2	CPUs	LED	Off On Of		-	B	
□ SB=3 ■ IOU ■ DU	0	OK.	Max Core 15/15	Model Intel® Xeon® E7- 8890V2	C0	CA46100-7441	7C5B277D43A3AB00
PCI_Box     OPL     MMB	1 DIMMs	Not-present					
<	3			Status	Clear		

図 1.18 [SB#x] 画面(1)

FUĴÎTSU	Mo Part Seri Stat	del: t Number: ial Numbe tus:	Б. 1. Г Балан	PRIM MCXI 00000	EQUES XXXXX 00001	T2800E C		Active:MMB#0
>System >SB >SB#0	T III PACIF.	ALC: NO.	CIA COMPLEM	CAL IVERIL	CHARGE			CANNON.
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> <li>Partition Event Log</li> </ul>	s	B#0						Refresh Help
System Information		DIMM#	Status	Size	Rank	Data Rate	Part Number	Serial Number
Firmware Information System Setup		0A0	ок	8GB	1	DDR3-1600	M393B1G70BH0- YK0	85E0526E
J System Power Control		0A1	Not-present					
Duran Samh		0A2	Not-present					
- Faus		0A3	ок	SGB	1	DDR3-1600	M393B1G70BH0- YK0	85E05269
- Temperanze		0A4	Not present.			1		
□ SB#0		0A5	Not-present					
SB#1		0B0	Not-present	-				
□ SB#2		0B1	Not-present					
🖸 SB#3		0B2	Not-present			1		
DIOU		0B3	Not-present					
DU		0B4	Not-present		12.5			1
PCI_Box		0B5	Not-present					
- CPL		0C0	Not-present					
2 MARS		001	Not-present		1.1			

## 図 1.19 [SB#x] 画面(2)

## 図 1.20 [SB#x] 画面(3)

FUJITSU	Model: Part Numbe Serial Numb Status:	r: ·er:	PRE MC 0000	MEQUEST	2800E					Active:MMB#
Partition User A System >SB >SB#0	dministration Net	work Configu	ration Mai	ntenance						Logou
System Status System Event Log	SB#0									Refresh
Operation Log	Mezzani	no								
Partition Event Log	Mezzan	ne# Statu	5							
Farmure Information	0	OK								
System Semp	1	OK								
System Power Control	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									10
EDs	RAID S	lot								
Nower Supply	Power S	Aatus	Sk	Slot Status		Link Wid	th		Seg B	us Dev
Fans	Standby	ii.	OF	OK		Unknown	Unknown Unkn		Unkno	PWn.
lemperature B	RAID C	ard	a to				_			
1 SB#0 2 SB#1	Status	BBU Statu	s Vendor II	Device ID	Physical Driv Count	es Logica Count	d Drives	Serial Nur	nber	Firmware Version
SB#2	100	2	-	14	1	+	_	1		· ·
4 SB#3	-									
00	Physical	Drives	111		120.00		10	1		
	Slot#	Status	X	endor	Model		Capa	city		
WT Box					1					
NCI Box	0	-								
NCI_Box OPL MMB	0	-	2		-		-			
PCI_Box OPL MMB	0 1 2		-		-					

FUĴITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:		PRIME MCXX JC1245	QUEST 2800 XXXXX 0008	E	Active:MM	B#0
System   Partition   User Ac >System >SB >SB#0	iministration Networ	k Configura	ition Mainter	ance		Lo	gout
System Status System Event Log Operation Log	SB#0	rivar				Refresh	Help
System Information	Sensor#	Status	R	AID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count	i n
Firmware Information System Setup	-	-	-			-	
System Power Control	RAID Ac	tion Progra	ess				
LEDs	Drive Typ	e Slo	t#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hhmm:ss)	Ĩ.
Power Supply	-	-0		*			
Temperature	Chinsets						
SB	Chipset		OK				Ê.
SB#0 SB#1	TPM						200
D 88#2	TPM		OK				Ŭ -
IOU	BMC						
DU PCL Par	BMC		OK				Ê –
OPL	Clock						4 12
MMB	Clock		OK				Ē
• MMB	Clock		OK		Status Clear		1

図 1.21 [SB#x] 画面(4)

### 図 1.22 [SB#x] 画面(5)

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX 0000000001 Normal		Active:MMB#
Partition User A System >SB >SB#0	dministration Network Configura	tion Maintenance		Loger
System Status	CD HO			
System Event Log	SB#0			Retrash
Operation Log	Clock			
Partuson Event Log	Clock	OK		11
Fernance Information	And a state of the			
System Setup	Voltage			
System Power Control	Courses.	1 Colleges	Threshold	
LEDs	Sensor	v orage	Warning(Low/High)	Critical(Low High)
Nower Supply	P5VL	4.97 V	4,63/ 5.37 V	3.23/ 6.00 V
iuus.	PLIVL	- V	1.02/1.19 V	0.71/1.32 V
emperature	P1.8VL	1.80 V	1.67/ 1.93 V	1.16/2.17 V
В	P1.5VL	1.50 V	1.39/1.61 V	0.97/ 1.81 V
SBe0	P1 OVL	0.99 V	0.92/1.08 V	0.64/1.21 V
SB#1	P1.8V_CPU	- V	1.67/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V
SB#2	P1.0V JC#0A	- V	0.92/1.08 V	0.65/1.21 V
r obrio	P1 5V_PCH	- V	1 39/1 61 V	0.97/1.80 V
	P1.1V	- V	1.02/1.19 V	0.71/1.32 V
CI Box	P0.9V PCIEX#0	- V	0.83/0.97 V	0.58/1.09 V
NPL.	P1.8V_PCIEX=0	- V	1.67/ 1.93 V	1.17/ 2.17 V
OMB	P0.9V PCIEX#1	- V	0.83/0.97 V	0.58/1.09 V
	P1 8V_PCIEX#1	- V	1.67/1.93 V	1.17/2.17 V
	DISTIN	V	11 18/10 07 17	7.70/14 46 37

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX 0000000001 Normal		Active:MMB#0
Partition User Ac >System >SB >SB#0	ministration Network Configurat	tion Maintenance		Logout
System Status System Event Log	SB#0			Refresh [Help]
Department Log	P1.8V PCIEX#1	- V	1.67/ 1.93 V	1.17/2.17 V
System Information	P12V#0	- V	11.15/12.87 V	7.79/14.45 V
Firmware Information	P5V	- V	4.65/ 5.38 V	3.25/ 6.02 V
System Setup	P3.3V	- V	3.06/3.54 V	2.14/3.98 V
System Power Control	P1.35V CPU#0	- V	1.25/1.45 V	0.87/1.63 V
LEDs	VCC CPU=0	- V	0.55/1.45 V	0.38/1.63 V
Power Sapply	VSA CPU#0	- V	0.65/ 1.29 V	0.45/1.45 V
Fans	VTT CPU#0	- V	0.92/ 1.08 V	0.64/1.21 V
Temperature	VDDQ DIMM#0A	- V	1.25/1.61 V	0.87/1.81 V
CI CRUA	VDDQ DIMM#0B	- V	1.25/ 1.61 V	0.87/1.81 V
	P1.0V JC#0B	- V	0.92/1.08 V	0.64/1.21 V
SR#2	P1 5V JC=0AB	- V	1 39/ 1.61 V	0.97/1.81 V
SB#3	P1.35V JC#0AB	- V	1.25/1.45 V	0.87/1.63 V
100	VDDQ DIMM#0C	- V	1.25/1.61 V	0.87/1.81 V
DC	VDDQ DIMM=0D	- V	1.25/ 1.61 V	0.87/1.81 V
PCLBox	PLOV JC#0C	- V	0.92/1.08 V	0.64/1.21 V
OPL	P1 OV JC#0D	- V	0.92/1.08 V	0.64/1.21 V
MMB	P1.5V JC#0CD	• V	1.39/ 1.61 V	0.97/1.81 V
	P1.35V JC#0CD	- V	1.25/1.45 V	0.87/1.63 V

図 1.23	[SB#x] 画面(6)
--------	--------------

搭載されていない CPU、DIMM の行は、背景色が灰色で表示されます。 設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear Button to clear the status.」のメッセージは表示されません。 RAID Card、Physical Drives、Logical Drives、Action Progress テーブルの各種情報はパーティションの System Progress が EFI、Boot、OS Running の場合に表示を行います。 正しく情報が表示されるまで System Progress が EFI、Boot、OS Running の状態に変化してから最大 1 分かかります。



### 図 1.24 [Memory Scale-up Board] 画面(1)

## 図 1.25 [Memory Scale-up Board] 画面(2)

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2400 MCG2AC111 <u>Warning</u>	E2	Active:MMB#0
System Partition User Add >System >SB >SB#3	<u>ministration</u> <u>Network Co</u>	nfiguration Maintenance		Logout 🗸
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> <li>Partition Event Log</li> <li>System Information</li> </ul>	<b>SB#3</b> 1D4 No 1D5 No	t-present t-present		Refresh Help
<ul> <li>Firmware Information</li> <li>System Setup</li> </ul>	Mezzanine	1		
System Power Control	Mezzanine#	Status		
LEDs     Dower Supply	0	OK		
□ Fans	1	OK		
Temperature	Chinsets			
⊡ SB	Chipset	Warning		
<ul> <li>SB#0</li> <li>SB#1</li> <li>SB#2</li> <li>SB#3</li> </ul>	BMC BMC	OK		
± IOU	Clask			
🗄 DU	Clock	OK		
PCI_Box	CIOCK	OR		
U OPL	Voltage			
I MMB	Sensor	Voltage	Threshold Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
			Status Clear	^
<	>			~

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2400E2 MCG2AC111		Active:MMB#
System   Partition   User Ad	ministration Network Configura	tion Maintenance		Logou
>System >SB >SB#3				
System Status	CTD // 2			
System Event Log	SB#3			Refresh He
Operation Log	Voltage			
Partition Event Log			Threshold	
System Information	Sensor	Voltage	Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
System Setup	P5VL	4.94 V	4.63/ 5.37 V	3.23/ 6.00 V
System Power Control	P1.1VL	- V	1.02/ 1.19 V	0.71/ 1.32 V
LEDs	P1.8VL	1.80 V	1.67/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V
Power Supply	P1.5VL	1.50 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
Fans	P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
Temperature	VDDQ DIMM#1A	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
□ SB	P1.05V JC#0AB	- V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V
□ SB#0	P1.5V PCH	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.80 V
□ SB#1	P1.1V	- V	1.02/ 1.19 V	0.71/ 1.32 V
□ SB#2	P0.9V PCIEX#0	- V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
	P1.8V PCIEX#0	- V	1.67/ 1.93 V	1.17/ 2.17 V
	P0.9V PCIEX#1	- V	0.83/0.97 V	0.58/ 1.09 V
	P1.8V PCIEX#1	- V	1.67/ 1.93 V	1.17/ 2.17 V
OPL	P12V#0	- V	11.15/12.87 V	7.79/14.45 V
	P5V	- V	4.65/ 5.38 V	3.25/ 6.02 V
	P3.3V	- V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V
	D1 25V MSCH0	V	1 25/ 1 45 W	0.87/1.63 V
<	>	S	Status Clear	

## 図 1.26 [Memory Scale-up Board] 画面(3)

## 図 1.27 [Memory Scale-up Board] 画面(4)

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2400E2 MCG2AC111		3	Active:MMB#0
System Partition User Ad	ministration Network Configurati	on <u>Maintenance</u>			Logout 🗸
System Status System Event Log	SB#3				Refresh Help
Operation Log	P3.3V	- V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V	
Partition Event Log     Sustem Information	P1.35V_MSC#0	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	^
Eimware Information	P1.35V_MSC#1	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	
System Setup	VCC_MSC#0	- V	1.39/ 1.97 V	0.97/ 2.21 V	
System Power Control	VTT_MSC#0	- V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V	
LEDs	VDDQ_DIMM#0A	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
Power Supply	VDDQ_DIMM#0B	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
Fans	P1.5V JC#0AB	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V	
Temperature	P1.35V_JC#0AB	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	
⊡ SB	VCC_MSC#1	- V	1.39/ 1.97 V	0.97/ 2.21 V	
⊡ SB#0	VTT_MSC#1	- V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V	
	VDDQ DIMM#1B	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
□ 5B#2 □ SB#3	P1.05V JC#1AB	- V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V	
± IOU	P1.5V JC#1AB	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V	
∃ DU	P1.35V JC#1AB	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	
PCI Box	VDDQ DIMM#0C	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
OPL	VDDQ DIMM#0D	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
± MMB	P1.05V JC#0CD	- V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V	
	P1.5V JC#0CD	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V	~
	DI 2517 ICHOCD	37	1 75/ 1 45 37	0 07/1 62 17	
(	>	5	Status Clear		$\hat{}$

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2400E2 MCG2AC111			Active:MMB#0
System Partition User Ad	ministration Network Configura	tion Maintenance			Logout
	_				
System Status	SR#3				Refresh Help
					Traine Train
Partition Event Log	VDDQ_DIMM#0C	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
System Information	VDDQ_DIMM#0D	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
Firmware Information	P1.05V_JC#0CD	- V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V	
System Setup	P1.5V_JC#0CD	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V	
System Power Control	P1.35V_JC#0CD	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	
LEDs	VDDQ_DIMM#1C	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
Power Supply	VDDQ_DIMM#1D	- V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V	
Fans	P1.05V_JC#1CD	- V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V	
Temperature	P1.5V_JC#1CD	- V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V	
🗉 SB	P1.35V JC#1CD	- V	1.25/ 1.45 V	0.87/ 1.63 V	
□ SB#0	P2.5V DIMM#0AB	- V	2.32/ 2.68 V	1.62/ 3.00 V	
□ SB#1	P2.5V DIMM#1AB	- V	2.32/ 2.68 V	1.62/3.00 V	
□ SB#2	P2.5V DIMM#0CD	- V	2.32/2.68 V	1.62/3.00 V	
⊡ SB#3	P2 5V DIMM#1CD	- V	2 32/ 2 68 V	1 62/ 3 00 V	
± IOU	P12V#1	- V	11 15/12 87 V	7 79/14 45 V	
± DU	P12V#2	- V	11.15/12.87 V	7 79/14 45 V	
D PCI_Box	P12V#2	- V	11.15/12.87 V	7 79/14 45 V	
	D12V#5	V	11.15/12.07 V	7.70/14.45 V	
	P12V#4	- V	11.15/12.00 V	7.79/14.45 V	
	P12V#0F	- v	-/- V	1.19/- V	~
<	>	S	Status Clear		0

## 図 1.28 [Memory Scale-up Board] 画面(5)

項目		内容				
Board Information	1					
Туре	SB の種類を	表示する。ただし、Memory Scale-up Board の場合のみ。				
	Memory Scale-up Board					
Status	SBの状態を表示する。					
	• OK:	SB上に障害がない。				
	• Not-	present:SBは搭載されていない。				
	• Warr	ing:SB 上の電圧センサーなどで Warning を検出した。				
	• Degr	aded:SB上のコンポーネントに障害が発生している。しかし、SBとしては障害				
	コンフ	ポーネントを切り離して動作できる。				
	• Faile	d:SB に障害が発生し SB の切離しが必要、または、切り離されている。				
	• Unsu	pported:MMB がサポートしていない SB である場合。				
Power Status	SB の電源状	態を表示する。				
	• On:	オン状態				
	• Stan	dby:スタンバイ状態				
Home	SB が Hom	e であるかどうかを表示する。				
	• Yes:	Homeである				
	• No:	Homeではない				
Part Number	SB のパーツ	/番号を表示する。 				
Serial Number	SB のシリア	SBのシリアル番号を表示する。				
Location LED	Location L	ED の表示状態を示す。				
	表示状態に	は、以下の2つがある。				
	• On:	点灯中				
	• Off :	消灯中				
	[On]、[Off	] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯/消灯を制御できる。				
CPUs (Memory Scale-u	ip Board の <sup>‡</sup>	易合は表示しない)				
CPU#0	Status	CPUの状態を表示する。				
		・ OK:CPU は正常です。				
CPU#1		・ Not-present:CPU は実装されていません。				
		<ul> <li>Disabled: CPU は搭載されていますが無効です。</li> </ul>				
		・ Warning:CPU は動作継続可能な異常です。				
		・ Failed : CPU は異常です。				
		・ Configuration error: 搭載 CPU の組み合わせ、搭載位置が誤っています。				
		・ Unknown:未サポートの CPU です。				
	Core/	正常なコア数/最大コア数を表示する。				
	Мах Соге	・ コアの縮退状態を表す				
		コア数は、故障コアを除いた数を表示する。 最大コア数には Disable のコア数				
		も含む。				
	Model	CPU の製品名を表示する。				
	Steppina	CPU の版数を表示する。				
	Dart	(PUのパーツ番号を表示する。				
	Number					
	Serial	CPU のシリアル番号を表示する。				
	Number					

### 表 1.42 [SB#x] 画面の表示・設定項目(1/2)

項目		内容
DIMMs		
DIMMs DIMM#0A0 ~ DIMM#1D5	Status	<ul> <li>DIMM の状態を表示する。</li> <li>OK: DIMM は正常です。</li> <li>Not-present: DIMM は実装されていません。</li> <li>Warning: DIMM は動作継続可能な異常です。</li> <li>Uncorrectable error: DIMM は訂正不可能な異常です。</li> <li>Disabled: DIMM は搭載されていますが無効です。</li> <li>Configuration error: 搭載 DIMM の組み合わせ、搭載位置が誤っています。</li> <li>Degraded Configuration: DIMM は一部の機能、コンポーネントを縮退して動作しています。</li> <li>Unknown: 未サポートの DIMM です。</li> </ul>
	Rank	<ul> <li>8GB</li> <li>16GB</li> <li>32GB</li> <li>64GB</li> <li>128GB(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 の場合)</li> <li>DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しない。</li> <li>DIMM の Rank 数(1 または 2 または 4) を表示する。</li> </ul>
	Data Rate Part	<ul> <li>DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しない。</li> <li>DIMM の Data Rate を表示する。</li> <li>DDR3-1066、1333、1600 (PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L の場合)</li> <li>DDR4-1600、1866、2133、2400、2666、2933、3200 (PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 の場合)</li> <li>DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しない。</li> <li>BC19121、BB19101 以前のファームウェア版数の場合、</li> <li>DDR4-2933 の DIMM は、DDR4-2666 で表示されます。</li> <li>DIMM のパーツ番号を表示する。</li> </ul>
	Number Serial	DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しない。 DIMM のシリアル番号を表示する。
	Number	Univini Julius 17. Not-Present、UNKIIUWII の参口は、凹包衣小しない。
Mezzanine	<b>C</b> 1 <b>1</b>	Mozzapipo ボードの仕能を実示する
Mezzanine#0 Mezzanine#1	Status	<ul> <li>OK: Mezzanine 上に障害はありません。</li> <li>OK-present: Mezzanine は搭載されていません。</li> <li>Failed: Mezzanine は異常です。</li> </ul>
RAID Slot (Memory Sca		の場合は表示しない)
Power Status	・ On : オ ・ Standb	アレロホハ島を衣示する。 ン状態です。 yy:スタンバイ状態です。

項目	内容
Slot Status	RAID スロットの状態を表示する。
	・ OK:RAID スロットに搭載されたカードは正常です。
	・ Warning:RAID スロットに搭載されたカードは動作継続可能な異常です。
	・ Not-present:RAID スロットにカードは実装されていません。
	・ Failed:RAIDスロットに搭載されたカードは異常です。
	・ Disabled: RAID スロットに搭載されたカードは搭載されていますが無効です。
Link Width	RAID スロット形式の Link Width を表示する。
	• x1
	• x2
	• x4
	• x8
Seg/Bus/Dev	RAID 装置の Segment#, Bus#, Device#を 10 進数で表示する。
	該当 KAID SIOE を払張ハーテインヨノビ使用している場合は、括弧内に払張ハーテインヨノに 割り光てられた Seementh - Duck - Device+の桂根を追加まテオス
	割り当てりれた Segment#、Dus#、Device#の情報を追加表示する。 表示例: 0/135/0 (0/27/0)
RAID Card (Memory Sc	ale-up Board の場合は表示しない)
BBU Status	RAID BBU(Battery Backup Unit) の状態を表示する。
	・ Online: BBU はオンラインです。
	・ On Battery: RAID コントローラーはバッテリー動作中です。
	・ Charging: BBU は充電中です。
	・ Discharging : BBU は放電中です。
	・ Battery Low :BBU はバッテリ残量が少ないです。
	・ Relearn Required:BBU は診断要求状態です。
	・ Failed: BBU は異常です。
	・ Not-present:BBU は実装されていません。
Vendor ID	RAID Card のベンダ ID を表示する。
Device ID	RAID Card のデバイス ID を表示する。
Physical Drives Count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示する。
Logical Drives Count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示する。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示する。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示する。
Physical Drives (Memo	ory Scale-up Board の場合は表示しない)
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示する。
Status	物理ドライブの状態を表示する。
	・ Operational :物理ドライブは動作中です。
	・ Available:物理ドライブは利用可能です。
	・ Failed:物理ドライブは異常です。
	・ Hot Spare:物理ドライブはホットスペアです。
	・ Rebuilding:物理ドライブはリビルド中です。
	・ SMART err:物理ドライブは故障予測が発生しています。
	・ Shielded:物理ドライブは保護状態です。
	・ Bad Block:物理ドライブは媒体異常です。
	・ Foreign:構成情報が最新でないか、別のアレイコントローラで作成された構成情報で
	す。
	・ Not-present:物理ドライブは実装されていません。
Vendor	物理ドライフのベンター名を表示する。

項目	内容
Model	物理ドライブのモデル名を表示する。
Capacity	物理ドライブの容量を表示する。
Logical Drives (Memo	ry Scale-up Board の場合は表示しない)
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示する。
Status	論理ドライブの状態を表示する。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示する。
Physical Drives	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示する。
assignment	
Missing drives Count	その RAID レベルの論理ドライブを構成するために必要な物理ドライブが欠損している場合、 その欠落している物理ドライブの数を表示する。
RAID Action Progress	Memory Scale-up Board の場合は表示しない)
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示する。
	・ Physical:物理ドライブです。
	・ Logical:論理ドライブです。
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表し、Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表す。
Action	実行中の RAID アクションを表示する。
	• Rebuilding
	物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示す。
	• Copyback Running
	物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示す。
	• MDC Running
	論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示す。
Progress	実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示する。
Estimated time	実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示する。
remaining	
(hh:mm:ss)	
Chipsets	
Chinset	チップセットの状態を表示する。
empsee	・ OK:チップセットは正常です。
	・ Warning:チップセットは動作継続可能な異常です。
	・ Failed:チップセットは異常です。
TPM (Memory Scale-u	p Board の場合は表示しない)
TPM	TPMの状態を表示する。
	・ OK:TPM は正常です。
	・ Warning:TPM は動作継続可能な異常です。
	<ul> <li>Failed: TPM は異常です。</li> </ul>
	注意
	SB が without TPM mode である場合、本フィールドは表示されない。

項目	内容					
BMC						
ВМС	BMCの状態を表示する。					
	・ OK:BMC は正常です。					
	・ Warning:BMC は動作継続可能な異常です。					
	・ Failed:BMCは異常です。					
Clock						
Clock	System Clock の状態を表示する。					
	・ OK:システムクロックは正常です。					
	・ Failed:システムクロックは異常です。					

項目		内容
Voltage		
Sensor (PRIMEQUEST 2400S Lite/	電圧のセンサータイプを表示する。	
2400S/2400E/2400L/2800E/2800	PSVL	
L の場合)	P1.1VL	
	P1.8VL	
	P1.5VL	
	P1.0VL	
	P1.8V_CPU	
	VDDQ_DIMM#1A	
	P1.0V_JC#0A	
	P1.5V_PCH	
	P1.1V	
	P0.9V_PCIEX#0	
	P1.8V_PCIEX#0	
	P0.9V_PCIEX#1	
	P1.8V_PCIEX#1	
	P12V#0	
	אכ בח	
	VSA_CPU#U	
	VDDQ_DIMM#UA	
	VDDQ_DIMM#0B	
	PI.5V_JC#UAB	
	PT.35V_JC#UAB	
	VCC_CPU#1	
	VSA_CPU#T	
	VTT_CPU#1	
	VDDQ_DIMM#1B	
	P1.0V_JC#1A	
	P1.0V_JC#1B	
	P1.5V_JC#1AB	
	P1.35V_JC#1AB	
	VDDQ_DIMM#0C	
	VDDQ DIMM#0D	

表 1.43	[SB#x] 画面の表示	・設定項目(2/2)
--------	--------------	------------

項目	内容
	P1.0V_JC#0C
	P1.0V_JC#0D
	P1.5V_JC#0CD
	P1.35V_JC#0CD
	VDDQ_DIMM#1C
	VDDQ_DIMM#1D
	P1.0V_JC#1C
	P1.0V_JC#1D
	P1.5V_JC#1CD
	P1.35V_JC#1CD

項目	内容
Sensor (PRIMEQUEST	電圧のセンサータイプを表示する。
240053 Lite/ 240053/2400F3/	P5VL
	P1.1VL
2400L3/2800E3/2800L3/	PI.8VL
2400S2 Lite/2400S2/2400E2/	
24001 2/2800F2/28001 2 の場合)	
	P1 5V PCH
	P1.1V
	P0.9V PCIEX#0
	P1.8V PCIEX#0
	P0.9V_PCIEX#1
	P1.8V_PCIEX#1
	P12V#0
	P5V
	P3.3V
	P1.35V_CPU#0 *1
	P1.35V_CPU#1 *1
	P1 5V IC#0AB
	P1.35V IC#0AB
	VCC CPU#1 *1
	VTT CPU#1 *1
	VDDQ_DIMM#1B
	P1.05V_JC#1AB
	P1.5V_JC#1AB
	P1.35V_JC#1AB
	VDDQ_DIMM#0C
	P1.05V JC#1CD
	P1.5V JC#1CD
	P1.35V_JC#1CD
	P2.5V_DIMM#0AB
	P2.5V_DIMM#1AB
	P2.5V_DIMM#0CD
	P2.5V_DIMM#1CD
	P12V#5 D12V/#6
	P12V#4 D12\/#0F
Valtaga	現在の雷圧を表示する。
voitage	きたくまた。それ、それ、そうで、そので、そので、そので、そので、そので、そので、そので、そので、そので、その

項目		内容				
Threshold Warning (Low/High)		Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。				
		閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。				
		電圧は小数点以下 2 桁で表示する。				
Critical (Low/High)		Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。				
		閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。				
		電圧は小数点以下 2 桁で表示する。				

\*1 : Memory Scale-up Board の場合、電圧のセンサータイプ名は表示名を"xxx\_CPU" -> "xxx\_MSC"と表示します。 例. P1.35\_CPU#0 → P1.35\_MSC#0

表 1.44 [SB#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯される。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯される。
Status Clear	SB の状態をクリアする。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
1 00029	Status Clear completed.
E 00048	The specified unit is not installed.
E 00123	Failed to clear the status.
	Tailed to clear the status.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## ■ [SB#x Status Clear] 画面

[SB#x] 画面で[Status Clear] ボタンをクリックすると、どのコンポーネントのエラー状態をクリアするかを指定できます。

SB上で異常が検出されているコンポーネントのエラー状態を解除し、次のリブート時に再度、当該コンポーネントを使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出され場合は、そのコンポーネントのエラー状態が再び記録 されます。

「Clear Status of common parts」のチェックボックスをチェックした場合、CPU/DIMM 以外(Chipset 系)がクリアされます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:		PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX 0000000001 Normal	Active:MMB#0
Partition User Ad	ministration Nerve	ork Configuration	on Maintenance	Logent
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	SB#0 St Click the App	t <b>atus Clea</b> dy Button to app	r oly all chang≠s.	Hap
Finnware Information     System Setup     System Power Control     LEDs	© Clear A O Clear S Clear S CPUs	Al Status Specified Status Status of commo		
Power Supply	CPU#	Status	Status Clear	
C Fun	0	OK		
realperature	1	Not-present		
□ SB#0	DIMMs			
SB#1	DIMM#	Status	Status Clear	
SB#1	0.A.0	OK		
IOU IOU	0A1	Not present		
DU	0A2	Not-present		
PCI_Box	0A3	OK		
OPL OPL	0A4	Not-present		
• MMB	0A5	Not-present		
	0B0	Not-present		
4	3		[Apply] [Cancel]	

図 1.29 [SB#x Status Clear] 画面(メッセージ表示)

(1) メニュー操作

[System] - [SB] - [SB#x] - [Status Clear] ボタン

- (2) 画面操作
  - 1. クリアするコンポーネントを以下のように指定します。
    - すべてのコンポーネントをクリアする場合は、[Clear All Status] をオンにする。
    - コンポーネントのエラー状態を個別にクリアする場合は、[Clear Specified Status] をオンにし、エ ラー状態をクリアするコンポーネントの[Status Clear] チェックボックスをオンにする。
    - 共通部分をクリアする場合は、[Clear Status of common parts] チェックボックスをオンにする。
  - [Apply] ボタンをクリックします。 指定されたコンポーネントがクリア設定されます。

### ■ CPU/DIMM が1つも搭載されていないときの表示

CPU または DIMM が 1 つも搭載されていない場合、当該 SB は縮退しませんが Partition 起動を抑止します。 この時、 CPU または DIMM が 1 つも搭載されていないことを認識し易くするために、以下のように CPU または DIMM の構成表 示の表上に、それぞれ、以下の文を異常条件に該当する場合、赤字、太文字で表示します。

"\*It is necessary to install at least one CPU in SB#x." (CPU の場合) "\*It is necessary to install at least one DIMM set per one DIMM in SB#x." (DIMM の場合)

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number Status:	mber: MCXXXXXX umber: ©Error				Active:MMB#0	
Pathon Use Ad	ministration Netwo	tk Configuration	a Maintenano	e			Logour
System Xan Xabys     System Status     System Event Log     Operation Log     Partition Event Log     System Information     Fermines Information	SB#2 Click the Stat	us Clear button	to clear the st	atus.			Refresh (Help)
System Setup	Status	ormation	OK				
System Power Control	Power St	abas	Standby				
- LEDs	Home	Yes					
Power Supply	Part Num	iber	CA07603-D	107603-D001 A8			
Paris	Serial Nu	mber	PP131302A	.4			
	Location	LED	Off On Off				
□ SB≠0 □ SB≠1	CPUs *It	is necessary t	o iostall at le	ast one CPU in SB#	2.		
□ SB#2 □ SB#3	CPU#	Status	Core / Max Core	Model	Stepping	Part Number	Serial Number
IOU 🗉	0	Not-present					
OPL OPL	1	Not-present					
<ul> <li>MMB</li> </ul>							
	DIMMS	"It is necessar	y to install a	t least one DIMM s	et per one L	DIMM in SB#2.	
	1130/04	1.Status	1 2479	Status	Claar	iter 1.Se	enai Number 1 (2)
< 1	8			Contra			

#### 図 1.30 [SB#x] 画面(CPU/DIMM なしの場合)

## 1.2.14 [IOU] メニュー

[IOU] メニューには、IOU ごとに以下のメニューがあります。

#### ■[I0U#0] ~ [I0U#3]

搭載されていない IOU のメニューは表示されません。 画面と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは 1つのメニューについて説明します。

## ■ [IOU#x] 画面

[IOU#x] 画面では、IOU#x スロットに搭載されている IOU の状態を表示します。また、IOU の設定ができます。

IOU の表示は PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルとそれ以外のモデルで、 PCI\_Box connection の表示形式が異なります。また搭載する IOU の種類によって Voltage の表示内容が異なります。

以下の画面は PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2/2400E/2400L または PRIMEQUEST 2800E3/2800L3/2800E2/2800L2/2800E/2800L モデルに IOU\_1GbE を搭載した場合。

FUĴĨTSU	Model: Part Numb Serial Num Status:	er: ber:	PRIM MCX Norm	EQUEST 2800E3 XXXXXX						Active:MMB#	<sup>#0</sup> ^
System >IOU >IOU#0	ministration Ne	twork Configura	tion Maint	enance						Logo	<u> </u>
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> </ul>	]	IOU#0								Refresh	elp
Partition Event Log	C	lick the Status C	lear button	to clear the status.							^
System Information		Board Inform	ation								
System Setup		Type	ation	IOU 1GbE							
System Power Control		Status		OK							
LEDs		Power Status		On							
Power Supply		Part Number		CA07603-D013 24							
Fans		Serial Numbe	r	PP1324036H							
Temperature     E cp		Location I FI	)	Off On Off							
E ION		Location LEI									
		On board LA	N								
□ IOU#1		LAN#	MAC A	ddress							
□ IOU#2		0	2C:D4:4	4:F1:44:C0							
IOU#3		1	2C:D4:4	4:F1:44:C1							
OPL											
MMB		PCI_Box con	nection								
		PCIC#		Status	(	Connected to					
		PCIC#		Status	F	PCI_Box#		Connector			
		2		Not-connected							
		3		Not-connected							~
						Status Clea	ar				~
<	>										~

### 図 1.31 [IOU#x] 画面(1)



FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUI MCXXXXX Normal	EST 2800E3 XX					Active:MMB#0
>System Partition User Add	ministration Network Configura	hon Maintenance						Logout
<ul> <li>System Status</li> <li>System Event Log</li> <li>Operation Log</li> <li>Partition Event Log</li> </ul>	IOU#0							Refresh Help
System Information	PCIC#	1	Status			Connector		
Firmware Information	0		Not-com	nected				
System Setup System Power Control	PCI-Express	Slots						
LEDs	PCIC#	Power Status	Slot Status	Link Width	n Seg/Bus/De	v Vendor ID	Device ID	
Power Supply     Fore	0	On	OK	x4	0/73/0	8086	1521	
	1	On	OK	x8	0/76/0	10DF	F100	
± SB	2	Standby	OK	Unknown	Unknown	2	20	
□ IOU	3	Standby	Not-present					
<ul> <li>IOU#0</li> <li>IOU#1</li> <li>IOU#2</li> <li>IOU#3</li> </ul>	PCIeSW PCIeSW PCIeSW#0	Status OK						
OPL	PCIeSW#1	OK						
• MMB	Voltage							
	Sensor		Voltage	Tł	reshold	) Critical(Lo	w/High)	
	P1.8VL		1.80 V	1	.67/ 1.93 V	1.16/217	V	~
	D1 0177		1 00 17		02/1 00 17	0 65/ 1 20	17	
					Status Clea	ar		^
<	>							~

## 図 1.33 [IOU#x] 画面(3)

FUjitsu	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E3 mber: MCXXXXXXX umber: Normal							Active:MMB#0
System Partition User Ad >System >IOU >IOU#0	Immistration <u>Network Confi</u>	iguration Mainten	ance						Logout
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	<b>IOU#0</b>	Standby Standby	OK OK Not-present	Unknown	Unknown	-	-		Refresh Help
Firmware Information     System Setup     System Power Control	PCIeSW PCIeSW	Status						]	
<ul> <li>LEDs</li> <li>Power Supply</li> <li>Fans</li> </ul>	PCIeSW PCIeSW	#0 OK #1 OK						]	
Temperature	Voltage								
	Sensor		Voltage	Thre Wan	shold ning(Low/High)	Critical/Low/H	igh)	-	
□ IOU#0	P1.8VL		1.80 V	1.67	/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V	-6-7		
	P1.0VL		1.00 V	0.92	/ 1.08 V	0.65/ 1.20 V		1	
□ IOU#3	P3.3V		3.30 V	3.06	/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V		1	
OPL	P1.8V_P	CIEX#0	1.79 V	1.67	/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V		]	
• MMB	P1.8V_P	CIEX#1	1.79 V	1.67	/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V		1	
	P0.9V_P	CIEX#0	0.90 V	0.83	/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V		]	
	P0.9V_P	CIEX#1	0.89 V	0.83	/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V		]	
									~
					Status Clear				^
<	>								~

項目	内容							
Board Information								
Туре	IOUの種類を表示する。							
	· IOU_10GbE							
	· IOU_1GbE							
Status	IOU の状態を表示する。							
	・ OK : IOUE 上に障害はありません。							
	・ Not-present : IOUE は搭載されていません。							
	・ Warning:IOUE は動作継続可能な異常です。							
	・ Degraded:IOUE は縮退状態です。							
	<ul> <li>Failed: IOUE は異常です。  </li> </ul>							
Power Status								
	・ OII・オン(A思C9)。							
Dart Number	「All のパーツ番号を表示する。							
Serial Number								
Location LED	Location LED の表示状態を示す。							
	表示状態には、以下の2つかめる。							
	$  s_{LC}   [01] , [01] ハランをノリッノ y るここによう C LOLALION LED の黒灯 / 用灯を 判別できる$							
Op hoard I AN	「一世」でする。							
LAN#								
MAC Address	IUU 上に拾載されている UDE に対 9 る MAL アトレスを表示 9 る。							
DCL Day cooperties	MALアトレスか不明な場合は UNKNOWN を衣示する。							
PCI_Box connection								
PCIC#	IOU 上の PCI_BOX 接続用の PCIC#を表示する。							
Status	PCI_Box との接続状態を表示する。							
	・ OK:正しく接続されています。							
	・ Not-connected:接続されていません。							
	Incorrect connection: 接続が誤っています。							
Connected to	$P(I_B_{0X}\#$ 技統先 P(I_B_{0X}\# を 衣示 9 る。 土持续の担合は非星会が広会でまニナわます							
	PRIMEQUEST 240053 LILE/240053/240052 LILE/240052/24005							
	LILE/24003 以外の場合になかする。 Cranation DEXIIの接続先 Connector 番号を表示する							
	LONNECCOF FLXO の反動が Connector 面内を扱いする。 未接続の場合は背呂色が灰色で表示されます。							
	PRIMEQUEST 240053 Lite/240053/240052 Lite/240052/24005							
	1 ite/24005 以外の場合に表示する。							
Connector	PEXUの接続先 Connector 番号を表示する。							
	未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。							
DU connection								
PCIC#	IOU 上の DU 接続用の PCIC#を表示する。							
L								

表 1.45	[IOU#x]	画面の表示・	·設定項目
--------	---------	--------	-------

項目	内容						
Status	DUとの接続状態を表示する。						
	・ OK:正しく接続されています。						
	・ Not-connected : 接続されていません。						
	・ Incorrect connection:接続が誤っています。						
Connector	DU の接続先 Connector 番号を表示する。						
	未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。						
PCI-Express Slots							
PCIC#	PCI-Express スロットの番号を表示する。						
Power Status	PCI-Express スロットの電源状態を表示する。						
	・ On:オン状態です。						
	・ Standby:スタンバイ状態です。						
Slot Status	PCI-Express スロットの状態を表示する。						
	<ul> <li>OK: PCI-Express スロットに搭載されたカードは正常です。</li> </ul>						
	・ Not-present:PCI-Express スロットにカードは実装されていません。						
	<ul> <li>Failed: PCI-Express スロットに搭載されたカードは異常です。</li> </ul>						
	<ul> <li>Disabled: PCI-Express スロットに搭載されたカードは搭載されていますが無効で</li> </ul>						
	す。						
Link Width	PCI-Express スロット形式の Link Width を表示する。						
	• x1						
	· x2						
	• x4						
	• x8						
Seg/Bus/Dev	PCI 装置の Segment#, Bus#, Device#を表示する。						
	該当 PCI-Express Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パー						
	テインヨンに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示する。 まテ例:0/125/0 (0/27/0)						
	Q/N/0/10/10/10/0/27/0) PCNCの場合は、複数の拡張パーティションで共有されているため、どこか1つの拡張						
	パーティション上の Segment#、Bus#、Device#が表示される。						
Vendor ID	PCI Card のベンダーID を表示する。						
Device ID	PCI Card のデバイス ID を表示する。						
PCIeSW							
PCIeSW	PCIeSWの番号を表示する。						
Status	PCIeSW の状態を表示する。						
5.0.05	・ OK:PCleSW は正常です。						
	・ Warning:PCleSW は動作継続可能な異常です。						
	・ Failed:PCIeSW は異常です。						

項目	内容								
Voltage									
Sensor	電圧のセンサータイプを表示する。								
	P1.8VL(*1)								
	P1.0VL(*1)								
	P2.5VL(*2)								
	P1.2VL(*2)								
	P0.8VL(*2)								
	P0.67VL(*2	)							
	P3.3V(*3)								
	P1.8V PCIEX	(#0(*1)							
	P1.8V PCIEX	<pre>X#1(*1)</pre>							
	P1 8V(*2)								
		<pre>&lt;#በ(*3)</pre>							
		(#1(*3)							
	10.54_1012								
	*1: IOU_1GbE、*2: IOU_10GbE、*3: IOU_1GbE/IOU_10GbE 共通								
Voltage	現在の電圧を	表示する。							
Threshold	Warning	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。							
	(Low/High)								
	Critical	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。 閾値が設定されていない場合は「」を表示する。							
	(Low/High)								

\*1: IOU\_1GbE、\*2: IOU\_10GbE、\*3: IOU\_1GbE/IOU\_10GbE 共通

表 1.46 [IOU#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯される。
Off	[Off]ボタンをクリックすると、Location LED が消灯される。
Status Clear	IOU#x のエラー状態をクリアする。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、IOU のエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度 IOU を使用するように 指示できます。リブート時に再度エラーが検出されると、再度 IOU のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [IOU] - [IOU#x]

- (2) 画面操作
  - [Status Clear] ボタンをクリックします。
     確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - 2. IOU のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリック します。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
1 00029	Status Clear completed.
E 00123	Failed to clear the status.
画面で表示されるメッセ·	ージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-

0530)を参照してください。

# 1.2.15 [DU] メニュー

[DU#x] 画面では、PRIMEQUEST 2000 シリーズに搭載されているディスクユニット#x の状態の表示と、ボード状態の 制御ができます。

FUJITSU	Model: Part Number Serial Numb Status:	s er:	PRIMEQUES MCF3AC111 2 Normal			800E					Active:MMI		
Partition User Ad stem >DU >DU=0	ministration Netw	verk Co	ntiguration	Main	tenance						Lo		
stem Status stem Event Log seration Log	DU#0										Refresh		
rition Event Log stem Information	Click the St	tatus Cl	ear button to	clear	the status								
tem Senap	Board I	nform:	ation	K									
tem Power Council	Power	Status	itans On										
	Part N	maber	ber CA07683-1012										
ver Supply	Serial 7	Number	er SQ1210MK00005										
nperature	RAID	ilat											
	RAID	Slot#	Power Stat	Power Status				Link W	Vidth	Sez/	Bus Dev		
	0		On		0	OK		x4		0.67/0			
U#0	1	-	On			OK				037	0		
U=1	RAID	Cand.											
PCL_Box OPL NIMB	Slot	Statu	s BBU S	tatus	Vendor ID	Device ID	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number		Firmware Version		
	0	OK	Not po	eseni	1000	0056	2	1	00000000412329	10	23.9.0-0022		
	1	OK.	Not pr	eseni	1000	005b	2	1	00000000412328	85	23 9.0-0022		
	Physica	l Drive	is.			9	tatus Clear						

# 図 1.34 [DU#x] 画面(1)

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number Status:	Model: Part Number: Serial Number: Status:		RIMEQ ICF3AC	QUEST 2800 C111	E				Active:MMI
Partition User Ad	ministration Netwo	vek Confiș	paration N	d'aintena	ance.					Lor
System Status System Event Log Operation Log	DU#0	Drives								Refresh
artition Event Log	Slot#	Status		Ven	dor	Mode		Capacity	N	RAID Carde
stem Information	0	Operat	ional	SEA	GATE	ST93	00653\$\$	300 GB		1
unvare labocitation	1	Operat	ional	SEA	GATE	ST93	0065355	300 GB		1
stem Person Control	2	Operat	lenoi	FUI	ITSU	MBE:	147RC	146 GB		0
	3	Operat	erational FU		ITSU	MBD2147RC		146 GB		0
wer Supply 18	Logical I	Drives					_			10
mperature	Sensor	Status	(	RAI	D Level	Physical Drives assignment		Missing drives Count		
	0	Operat	ional	1		2,3,			0	
	32	Operat	lional	1		0,1,			0	
DU#0	RAID A	ction Pro	gress							
DI#1	Drive Ty	pe 3	Slot#/Sem	iot#	Action		Progress		Estimated	time remaining (hhmmiss)
I_Box	-		2		1		-		9	
	Voltano									
	Forage			Nak			Threshol	d		
	Sensor	bensor		VORA	uge		Warning	(Low/High)	0	Initical(Low High)
	12V_D0	_SLOTO	)	12.0	0 V 0		-1- V		1	7.60/14.40 V
	12V DU	12V DU SLOTI		12.00 V		-/- V			7 50/14.40 V	

図 1.35 [DU#x] 画面(2)

設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear button to clear the status.」のメ ッセージは表示されません。

RAID Card、Physical Drives、Logical Drives、Action Progress テーブルの各種情報はパーティションの System Progress が EFI、Boot、OS Running の場合に表示を行います。(\*1)

(\*1) 正しく情報が表示されるまで System Progress が EFI、Boot、OS Running の状態に変化してから最大 1 分かかります。

RAID Card および Physical Drives が下記搭載構成の場合、Physical Drive が未実装の場合でも"Not-present"とは表示されず、"-"表示となることがあります。

- 1. DU の RAID Slot#0 のみに RAID Card が搭載されておりかつ、Physical Drive#0 あるいは#1 にディスクが搭載されていない場合
- 2. DU の RAID Slot#1 のみに RAID Card が搭載されておりかつ、Physical Drive#2 あるいは#3 にディスクが搭載されていない場合

項目	内容								
Board Information									
Status	ディスクユニットの状態を表示する。								
	・ OK:DU 上に障害はありません。								
	・ Not-present:DU は搭載されていません。								
	・ Warning:DU は動作継続可能な異常です。								
	・ Degraded:DU は縮退状態です。								
	・ Failed:DU は異常です。								
Power Status	ディスクユニットの電源状態を表示する。								
	・ On:オン状態です。								
	・ Standby:スタンバイ状態です。								
DU Part Number	ディスクユニットのパーツ番号を表示する。								
	※Power OFF 時は常に「-」が表示されます。								
DU Serial Number	ティスクユニットのシリアル番号を表示する。								
	※Power OFF 時は常に  -」 か表示されます。								
RAID Slot									
RAID Slot#	RAID スロット番号を表示する。								
Power Status	RAID スロットの電源状態を表示する。								
	・ On:オン状態です。								
	・ Standby:スタンバイ状態です。								
Slot Status	RAID スロットの状態を表示する。								
	・ OK:RAID スロットに搭載されたカードは正常です。								
	・ Not-present : RAID スロットにカードは実装されていません。								
	<ul> <li>Failed: RAID スロットに搭載されたカードは異常です。</li> </ul>								
	· Degraded:RAIDスロットに搭載されたカードは縮退状態です。								
Link Width	DU/RAID スロット形式の Link Width を表示する。								
	· x1								
	· x2								
	· x4								
Seg/Bus/Dev	DU/KAID 装直の Segment#、Bus#、Device#を 10 進数で衣示 9 る。  該当 PAID Slot を拡張パーティションで使用している提合は、 妊部内に拡張パーティシ								
	aンに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示する。								
	表示例:0/135/0 (0/27/0)								
RAID Card									
Slot#	RAID カードが搭載されているスロット番号を表示する。								
BBU Status	RAID BBU の状態を表示する。								
	・ Online: BBU はオンラインです。								
	・ On Battery:RAID コントローラーはバッテリー動作中です。								
	・ Charging: BBU は充電中です。								
	<ul> <li>Discharging: BBU は放電中です。</li> </ul>								
	・ Battery Low: BBU はバッテリ残量が少ないです。								
	・ Relearn Required:BBU は診断要求状態です。								
	・ Failed: BBU は異常です。								
	・ Not-present: BBU は実装されていません。								
Vendor ID	RAID Card のベンダ ID を表示する。								

表 1.47	[DU#x]	画面の表示	•	設定項目
--------	--------	-------	---	------

項目	内容	
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示する。	
Physical Drives count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示する。	
Logical Drives count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示する。	
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示する。	
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示する。	
Physical Drives		
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示する。	
Status	物理ドライブの状態を表示する。	
	・ Operational :物理ドライブは動作中です。	
	・ Available:物理ドライブは利用可能です。	
	<ul> <li>Failed:物理ドライブは異常です。</li> </ul>	
	<ul> <li>Hot Spare:物理ドライブはホットスペアです。</li> </ul>	
	・ Rebuilding:物理ドライブはリビルド中です。	
	・ SMART err:物理ドライブは故障予測が発生しています。	
	・ Shielded:物理ドライブは保護状態です。	
	・ Bad Block:物理ドライブは媒体異常です。	
	・ Foreign:構成情報が最新でないか、別のアレイコントローラで作成された構成情	
	報です。	
	・ Not-present:物理ドライブは実装されていません。	
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示する。	
Model	物理ドライブのモデル名を表示する。	
Capacity	物理ドライブの容量を表示する。	
RAID Card#	物理ドライブを接続している RAID Card のスロット番号を表示する。	
Logical Drives		
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示する。	
Status	論理ドライブの状態を表示する。	
Raid Level	論理ドライブの RAID レベルを表示する。	
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示する。	
Missing drives count	その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示する。	
RAID Action Progress		
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示する	
	・ Physical:物理ドライブです。	
	・ Logical:論理ドライブです。	
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表し、	
Action	ま行中の RAID アクションを表示する。	
ACTON	· Rebuilding	
	物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示す。	
	· Convback Running	
	物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示す。	
	論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示	

項目	内容		
Progress	実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示する。		
Estimated time remaining	実行中の RAID	アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示する。	
(hh:mm:ss)			
Voltage			
Sensor		電圧のセンサータイプを表示する。	
		12V_DU_SLOT0	
		12V_DU_SLOT1	
Voltage		現在の電圧を表示する。	
Threshold	Warning	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。	
	(Low/High)	閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。	
	Critical	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。	
	(Low/High)	閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。	

#### 表 1.48 [DU#x] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	ディスクユニットのエラー状態をクリアする。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、ディスクユニットのエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度ディスクユニットを使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出される場合は、再度ディスクユニットのエラー 状態が記録されます。

#### (1) メニュー操作

[System] - [DU] - [DU#x]

#### (2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
   確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- 2. ディスクユニットのエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタ ンをクリックします。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
1 00029	Status Clear completed.
E 00123	Failed to clear the status.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.2.16 [PCI\_Box] メニュー

[PCI\_Box#x] 画面には、PRIMEQUEST 2000 シリーズに接続している PCI ボックスの状態が表示されます。 PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S では PCI ボックス搭載数が 1 のため、 「PCI\_Box#0」のような番号表示はされず、「PCI\_Box」と表示されます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIM MCXX 000000	EQUEST2800E XXXXXX 90001		Active:MMB#0	
Partition User Ath System >PCI_Box >PCI_B	ninistration <u>Network C</u> 3ex#0	configuration Mainte	mance		Logout	
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	PCI_Box# Click the Status Cl	) car button to clear th	e status.		(Refresh) (Help	
Firmware Information System Setup	PCI_Box Infor	mation	OK		1	
System Power Control	Downer Status	Downer Status		OK C		
LEDs	Power Smooly	Power States		Reductant		
Power Supply	Em Sneed Mr	For Smart Made		Law		
Funs	IO DSUEm	TO DELLER Snord Made		Low		
Temperature	Exp Patrickery		Pathedart			
SB	Dart Number		CA02608FAXXX			
10U	- ur unor	Part Number		CA07608_D011.08		
	PEXU	Serial Number	PT13050145			
PCI Box=0	Landian LED		0x60x 0x8			
D PCI Box#1	Localon Lato	1				
OPL	Power Supply					
	10 PSU#	Status	Power Status	Part Number	Serial Number	
MMB		1000	6	CA01022-0720/300-	Contraction of the second s	
MMB	0	OK	On	2193-11	EA12397292	

図 1.36 [PCI\_Box] 画面(1)
Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIM MCX 00000	4EQUEST2800E XXXXXX 000001		Active:MMB#0
Administration Network Confi 1 Box#0	garation Main	tenance		Logout
PCI_Box#0				Refresh Help
Fan			Threshold	1
FAN#	Status	Fan speed	Warning Low High)	Critical(Low/High)
IO FAN#0	OK	- rpm	-/8065	1516/-
IO FAN#1	OK	- tpm	-/8065	1516/-
IO PSU#0 FAN	OK	1568 rpm	-/7605	3077/-
IO_PSU#1_FAN	OK	1568 rpm	- / 7605	3077/-
Temperature		4 A.S		
Sensor	Status	Temperature	Threshold	
o calo ca		- carper and c	Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
Inlet Temp.	OK	26°C	2/38°C	-/-°C
Power Consumptio Power Consumptio Airflow Volume Airflow Volume Cable Connection	a (W) 140	∫ Stati	is Clear	]
	Model: Part Numbor: Serial Number: Status: (dministration Network Confi [Box#0 PCI_Box#0 Fan FAN# IO_FAN#0 IO_FAN#1 IO_FAN#1 IO_FAN#1 IO_FAN#1 IO_FSU#0_FAN IO_FSU#1_FAN Temperature Sensor Inlet Temp. Power Consumptio Power Consumptio Airflow Volume Airflow Volume	Model: PRIN Part Numbor: MCX Serial Number: 00000 Status: Network Configuration Main Box#0 PCI_Box#0 Fan FAN# Status 10_FAN#0 OK 10_FAN#1 OK 10_FAN#1 OK 10_PSU#0_FAN OK 10_PSU#0_FAN OK 10_PSU#1_FAN OK 10_PSU#1_FAN OK Temperature Sensor Status Indet Tetup. OK Power Consumption Power Consumption Power Consumption(W) 140 Airflow Volume Airflow Volume(m3/h) 160 Cable Connection	Model: PRIMEQUEST2800E Part Number: MCXXXXXXX Serial Number: 000000001 Status: Normal (description of Network Configuration Maintenance Box#0 PCI_Box#0 Fan FAN# Status Fan speed 10_FAN#0 OK - rpm 10_FAN#1 OK - rpm 10_FAN#1 OK - rpm 10_PSU#0_FAN OK 1568 rpm 10_PSU#1_FAN OK 1568 rpm 10_PSU#1_FAN OK 1568 rpm Temperature Sensor Status Temperature Inlet Temp. OK 26°C Power Consumption Power Consumption(W) 140 Airflow Volume Airflow Volume Airflow Volume Airflow Volume Airflow Volume	Model:       PRIMEQUEST2800E         Part Number:       MCXXXXXXX         Serial Number:       000000001         Status:       Normal         Maintextation       Network Configuration         Maintextation       Network Configuration         Box#0       PCI_Box#0         Fan         FAN#       Status         Fan       - rpm         FAN#1       OK         IO_FAN#1       OK         IO_PSU#0_FAN       OK         IO_PSU#1_FAN       OK         Sensor       Status         Temperature       Marning(Low/High)         Intel Temp.       OK         26°C       2/38°C         Power Consumption       Power Consumption(W)         Power Consumption       Marning(Low/High)         Inflow Volume       Airflow Volume         Airflow Volume       Status Clear

# 図 1.37 [PCI\_Box#x] 画面(2)

# 図 1.38 [PCI\_Box#x] 画面(3)

FUJITSU	Part Number: Serial Number Status:		MCXXXXXXX 0000000001 Normal	800E			Active:MMB#0
Partition User Adm System >PCI Box >PCI I	ninistration Netwo Box#0	ck Configuration	Maintenance				Logout
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log	PCI_Box	x#0 nection					Refresh Heip
System Information	INTE		2	1	Connected to		
Famovare Information	LNKC#		Status		IOU#	PCIC#	1
System Setup	0		OK		0	2	
System Power Control	1		OK.		1	2	
Power Supply	PCI-Expre	ss Slots				and	
Fulls	PCIC#	Power Status	Slot Status	Link Wid	th Seg Bus Dev	Vendor ID	Device ID
cm cm	0	On	OK	xl	0/113/0	12D8	E130
	1	On	OK	x4	0/110/0	12D8	E130
	2	On	OK	xl	0/101/0	12D8	E130
CI Box	3	On .	OK	x1	0/107/0	12D8	E130
PC1_Box#0	4	On	OK	x1	0/104/0	12D8	E130
PCI Box#1	5	On	OK	x1	0/116/0	12D8	E130
OPL	6	Standby	OK	x4	0/28/0	12D8	E130
MMB	7	Standby	OK	x4	0/25/0	12D8	E130
	8	Standoy	OK	x1	0/16/0	12D8	E130
	9	Standoy	OK	x4	0/22/0	8086	1521
	10	Standoy	OK	xl	0/19/0	12D8	E130

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number Status:		PRIMEQU MCXXXX 000000000	EST2800E XXX l		Active:MMB#0
Sustem >PCL Box >PCL	dministration Netwo Boy#0	ek Configuratio	n Maintenario	<u>e</u>		Logou
System Status System Event Log Operation Log	PCI_Bo	x#0	Exception in			(Refresh) (Hel
Partition Event Log	Chinset					
Finnes Information	#	Caip		Status		
System Semp	0	PCIeSW		OK		
System Power Control	1	PCIeSW		OK		
LEDs Power Sapoly	Voltage					
Funs	Vollage				Threshold	
Temperature	Sensor		Voltage		Warning(Low High)	Critical(Low/High)
SB	P3.3V40		3.30 V		3.06/ 3.54 V	2.14/3.98 V
IOU	P1.8V PC	IEX#0	1.80 V		1.67/1.93 V	1.16/2.17 V
DC	P0.9V P0	TEX#0	0.90 V		0.83/0.97 V	0.58/1.09 V
DOL Boxed	P0.9VA 1	CIEX#0	0.90 V		0.83/ 0.97 V	0.58/1.09 V
PCI Bordi	P3 3V#1		3.30 V		3.06/3.54 V	2 14/3 98 V
OPL	P1.SV_PC	IEX#1	1.80 V		1.67/ 1.93 V	1.16/2.17 V
	P0.9V PC	TEX#1	0.90 V		0.83/ 0.97 V	0.58/1.09 V
	P0.9VAJ	CIEX#1	0.90 V		0.83/0.97 V	0.58/1.09 V
	P12V		12.41 V		11.15/12.87 V	7.79/14.45 V

# 図 1.39 [PCI\_Box#x] 画面(4)

耳	Į٤	内容
PCI_Box Infor	nation	
Status		PCI ボックスの状態が表示される。
		・ OK:PCI ボックス上に障害はありません。
		・ Not-present: PCI ボックスは搭載されていません。
		・ Warning:PCI ボックスは動作継続可能な異常です。
		・ Degraded:PCI ボックスは縮退状態です。
		・ Failed : PCI ボックスは異常です。
Power Status		PCI ボックスの電源状態が表示される。
		・ On:オン状態です。
		・ Standby:スタンバイ状態です。
<b>Power Supply</b>	Redundancy	IO_PSU の冗長状態が表示される。
,	,	· Redundant:IO_PSUは冗長です。
Fan Speed Mc	de	<ul> <li>Non-redundant: Sufficient Resources : IO_PSU は冗長ではありません。</li> <li>ファンの回転数の状態が表示される。</li> </ul>
i an speed me		・ Low:ファン回転数が低速モードです。
		・ Normal:ファン回転数が通常モードです。
		・ High:ファン回転数が高速モードです。
		・ Full:ファン回転数が最高速モードです。
	eed Mode	IO PSU Fan Speed Mode が表示される。
10_1 50 1 811 5		- Low:IO PSU ファン回転数が低速モードです。
		Normal:IO PSU ファン回転数が通常モードです。
		- High:IO PSU ファン回転数が高速モードです。
		· Full:IO PSU ファン回転数が最高速モードです。
Fan Redunda	าดง	ーーーー ファンの冗長状態が表示される。
	,	・ Redundant:ファンは冗長です。
		・ Non-Redundant: Sufficient Resources:ファンは冗長ではありません。
Part Number		PCI ボックスのパーツ番号を表示する
PEXU	Part Number	PEXU のパーツ番号を表示する。
	Sorial	 PEXU のシリアル番号を表示する。
	Needlas	
	Number	
Location LED		Location LED の表示状態を示す。
		表示状態には、以下の2つかめる。
		[Un]、[Un] ホタノをクリックすることで、Location LED の点灯/ 消灯を制御できる。
Power Supply		
IO_PSU#		IO_PSU 番号を表示する。
Status		IO_PSU の表示状態を示す。
		・ OK:IO_PSU は正常です。
		・ Not-present:IO_PSU は搭載されていません。
		<ul> <li>Failed: IO_PSU は異常です。</li> </ul>
		・ A/C Lost:IO_PSU は AC 接続されていません。
		・ Configuration error:搭載 IO_PSU の組み合わせ、搭載位置が誤っています。

表 1.49 [PCI\_Box#x] 画面の表示項目

IJ	目	内容			
Power Status		IO_PSU の電源状態を表示する。			
		・ On:オン状態です。			
		· Standby:スタンバイ状態です。			
Part Number		IU_PSU のハーツ番号を表示 9 る。			
Serial Numbe	ſ	IO_PSU のシリアル番号を表示する。			
Fan					
Fan#		ファン番号を表示する。			
Status		ファンの状態を表示する。			
		・ OK:ファンは正常です。			
		・ Not-present:ファンは実装されていません。			
		・ Failed:ファンは異常です。			
Fan speed		ファンの回転数を表示する。			
Threshold		ファンの閾値を表示する。			
Temperature					
Sensor		温度センサーの識別名を表示する。			
Status		温度センサーの状態を表示する。			
Temperature		現在の温度を表示する。			
Threshold		各温度センサーが保持する閾値を表示する。			
		• Warning: Low/High			
		• Critical: Low/High			
Power Consur	nption				
Power Consur	nption	消費電力を表示する。			
Airflow Volum	ne				
Airflow Volume		風量を表示する。			
Cable Connec	tion				
LNKC#		Link Card 番号を表示する。			
Status		ケーブルの接続状態を表示する。			
		<ul> <li>OK:正しく接続されています。</li> </ul>			
		・ Not-connected:接続されていません。			
		・ Incorrect connection:接続が誤っています。			
Connect to	IOU#	接続先 IOU#を表示する。			
		接続していない場合はグレーアウト表示される。			
	PCIC#	接続先 IOU の PCI Slot#を表示する。			
		接続していない場合はグレーアウト表示される。			
PCI -Express S	lots				
PCIC#		PU-txpless スロット 合 与 を 衣 示 9 る。			
Power Status		PCI-Express スロットの電源状態を表示する。			
		・ On:オン状態です。			
		・ Standby:スタンバイ状態です。			

項	间	内容
Slot Status		PCI-Express スロットの状態を表示する。
		<ul> <li>OK: PCI-Express スロットに搭載されたカードは正常です。</li> </ul>
		・ Not-present: PCI-Express スロットにカードは実装されていません。
		<ul> <li>Failed: PCI-Express スロットに搭載されたカードは異常です。</li> </ul>
		<ul> <li>Disabled: PCI-Express スロットに搭載されたカードは搭載されていますが無効で</li> </ul>
Link Width		PCI-Express スロット形式の Link Width を表示する。
		• x1
		• x2
		• x4
		• x8
Seg/Bus/Dev		PCI-Express スロットの Segment#、Bus#、Device#を 10 進数で表示する。
5		該当 PCI-Express Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パー
		ティションに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示する。
		表示例:U/135/0 (U/27/0) DCL Card のがいが、ID ちまニオス
Vendor ID		アにはほのベンターロを表示する。
Device ID		PCI Card のデバイス ID を表示する。
Chipset		
#		チップセット番号を表示する。
Chip		チップセット名を表示する。
		• PCIeSW
Status		チップセットの状態を表示する。
		・ OK:チップセットは正常です。
		・ Warning:チップセットは動作継続可能な異常です。
		・ Failed:チップセットは異常です。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサータイプを表示する。
		P3.3V#0
		P1.8V_PCIEX#0
		P0.9V_PCIEX#0
		P0.9VA_PCIEX#0
		P3.3V#1
		PI.8V_PCIEX#1
		PU.9V_PCIEX#1
		PU.9VA_PUEX#1
voltage		
Infeshold	warning(Low	
	/HIGN)	
	Critical (Low/	
	nign)	國胆小政ルご11 (い)ない場口は   - 」 を衣示9 る。

## 表 1.50 [PCI\_Box#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯される。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯される。
Status Clear	PCI ボックスのエラー状態をクリアする。

#### (1) メニュー操作

[System] - [PCI\_Box] - [PCI\_Box#x]

- (2) 画面操作
  - [Status Clear] ボタンをクリックします。
     PCI ボックスのエラー状態がクリアされます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
1 00029	Status Clear completed.
E 00123	Failed to clear the status.
画面で表示されるメッセ	ージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-

0530)を参照してください。

# 1.2.17 [OPL] 画面

[OPL] 画面では、OPL ボードの状態が表示されます。

2	Model:	図 1.40 [OPL] 画面 PRIMEQUEST 2800E	Active:MMB#0
FUJITSU	Serial Number: Status:	Normal	
>System >OPL	Iministration Network Cor	nfiguration Maintenance	Logout
System Status     System Event Log     Operation Log     Partition Event Log     System Information     Firmware Information	OPL Click the Status Clear b Board Information	nutton to clear the status.	Refresh [Help]
System Setup	Status	OK	
System Power Control	Power Status	On	
LEDs	Part Number	CA07130-TEST	
<ul> <li>Power Supply</li> <li>Fans</li> </ul>	Location LED	Off On Off	
<ul> <li>Temperature</li> <li>SB</li> <li>IOU</li> <li>DU</li> <li>OPL</li> <li>MMB</li> </ul>	5	Status Clear	

設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear button to clear the status.」のメ ッセージは表示されません。

項目	内容
Status	OPL の状態が表示される。
	・ OK:OPL 上に障害はありません。
	・ Not-present:OPL は搭載されていません。
	・ Degraded:OPL は縮退状態です。
	・ Failed: OPL は異常です。
Power Status	OPL の電源状態が表示される。
	・ On:オン状態です。
	・ Standby:スタンバイ状態です。
Part Number	OPL のパーツ番号を表示する。
Location LED	Location LED の表示状態を示す。
	表示状態には、以下の2つがある。
	・ On : 点灯中
	・ Off:消灯中
	[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯/消灯を制御で
	きる。

## 表 1.51 [OPL] 画面の表示項目

## 表 1.52 [OPL] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	OPL のエラー状態をクリアする。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00029	Status Clear completed.
E_00123	Failed to clear the status.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

(1) メニュー操作

[System] - [OPL]

- (2) 画面操作
  - [Status Clear] ボタンをクリックします。
     確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - 2. OPL のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリック します。

# 1.2.18 [MMB] メニュー

[MMB] メニューには、MMB のユニットごとにメニューがあります。

[MMB#0] ~ [MMB#1]

画面と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは1つのメニューについて説明します。

# ■ [MMB#x] 画面

[MMB#x] 画面では、MMB に関する情報の表示、および Location LED の設定ができます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	Model: PRIMEQUEST280 Part Number: MCXXXXXX Serial Number:  Constant Status: Normal		÷	Active:MMB#	
Partition User Ad	Iministration Network Configura	tion Maintenance			Logos	
System Skivils Skivils System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information	MMB#0 Click the Apply Button	to apply all changes.			He	
Finnware Information	Status		OK			
System Setup	Role		Active			
System Power Control	Part Number		CA07603-D051 A1			
LEDs Deven Seconda	Serial Number		PP124403JL			
Fower Suppry	MAC LUN	User port	2C:D4:44F0.8D:F8			
Temperature	MAC Address	Maintenance port	2C:D4:44:F0:13:4A			
SB	Firmware Version		0.08			
SB#0	Location LED		Off On Off			
<ul> <li>SB#1</li> <li>SB#2</li> <li>SB#3</li> </ul>	Reset MMB		Reset the MMB All existing network co You will need to login			
IOU OPL MMB	Switch Over to MIM	B	Switch Over to and All existing network of You will need to login			
MMB=0	Enable Disable		Enable Disable			
	Voltage					
		Land State State	Threshold			
	Sensor	Voltage	Wanning(Low/High)	Critical(Low/High)		
	+3.3VL	3.31 V	3.00/ 3.57 V	2.12/ 3.96 V		
	+1.5VL	1.48 V	1.37/ 1.62 V	0.97/ 1.80 V		
	+1.5VL_C	1.48 V	1.37/ 1.62 V	0.97/ 1.80 V		
	+1.2VL	1.21 V	1.10/ 1.30 V	0.78/1.40 V		
	+1.0VL	1.00 V	0.92/ 1.08 V	0.65/ 1.20 V		
	+0.75VL	0.76 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.90 V		
	+12V_IN	0.00 V	-/12.98 V	-/- V		

図 1.41 [MMB#x] 画面

項目		内容
Status		MMB の状態が表示される。
		・ OK:MMB 上に障害はありません。
		・ Not-present:MMB は搭載されていません。
		・ Warning:MMB は動作継続可能な異常です。
		・ Degraded:MMB は縮退状態です。
		・ Failed: MMB は異常です。
Role		MMB の動作状態が表示される。
		・ Active:MMB は運用状態です。
		<ul> <li>Standby: MMB は待機状態です。</li> </ul>
		<ul> <li>Disabled: MMB は無効です。</li> </ul>
Part Number		MMB のパーツ番号が表示される。
Serial Numbe	ſ	MMB のシリアル番号が表示される。
MAC address	User port	MMB 管理ポートの MAC アドレスが表示される。
		00:00:00:00:00
		備考
		USER Port#0の MAC アドレスのみ表示します。
	Maintenance	MMB ポートの MAC アドレスが表示される。
		00:00:00:00:00
	port	
		備考
		REMOTE と LOCAL の MAC アドレスは共通です。
Firmware Vers	sion	MMB ファームウェアのバージョンが表示される。
Location LED		Location LED の表示状態を示す。
		表示状態には、以下の2つがある。
		・ On:点灯中
		・ Off:消灯中
		   また 「Op] 「Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の占灯 / 尚灯を
		はた、[OII]、[OII] ホランをノラランダることになって Location ELD の点パ/ 府パを 制御できる
		MMBをリヤットする場合、本チェックボックスをオンにする。
Keset MMB		本チェックボックスをオンにした場合、以下の[Switch Over to MMB] は設定できなく
		注意
Switch Over to	MMR	MMBの Active/Standby を切り替えるときに、本チェックボックスをオンにする。
Switch over te		・ 本チェックボックスをオンにした場合、上記の[Reset MMB] は設定できなくなる。
		注意
		2 回以上連続して MMB を切り替える場合は切り替え間隔を 15 分程度開けること。
		備考
		MMB が 2 枚搭載されていない場合、本チェックボックスは表示されない。
Enable/Disabl	e	MMB の Enable/Disable を制御する。
		本項目は Standby MMB でのみ設定可能である。
		注意
		本項目は試験機能である為、運用中の設定は実施しないこと。

# 表 1.53 [MMB#x] 画面の表示・設定項目

	項目	内容				
Voltage						
Sensor		電圧のセンサータイプを表示する。				
		P3.3VL				
		P1.5VL				
		P1.5VL_CPLD				
		P1.2VL				
		P1.0VL				
		P0.75VL				
Voltage		現在の電圧を表示する。				
Threshold	Warning	Warningとなる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。				
	(Low/High)	閾値が設定されていない場合は「−」を表示する。				
	Critical	Criticalとなる電圧の下限値と上限値の閾値を表示する。				
	(Low/High)	閾値が設定されていない場合は「-」を表示する。				

## 表 1.54 [MMB#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯される。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯される。
Арріу	[Apply] ボタンをクリックすると、制御情報が設定される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、情報は設定されず元の状態に戻る。

(1) メニュー操作

[System] - [MMB] - [MMB#x]

- (2) 画面操作
  - MMB の状態を変える情報を指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
     MMB の状態を変更する情報が設定されます。

## 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I 00013	Setting completed.
1 00052	MMB switch processing has started.
1 00095	The standby MMB is rebooting now. Please wait several minutes.
E 00100	Failed to set the LED
E 00125	Failed to switch over to another MMB.
E 00125	Failed to change Enable/Disable status of the MMB.
E 00125	Failed to reset the MMB.
I 00213	%aa cannot be executed because the system is under maintenance.
I 00467	The reboot is done. Login after a while.
W 00413	Nothing is selected.
W 00576	Unable to execute Enable / Disable because the firmware is updating.
W 00576	Unable to execute Switch Over to MMB because the firmware is updating.
W 00576	Unable to execute Reset MMB because the firmware is updating.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.2.19 [Disk Enclosure]メニュー

Disk Enclosure#x ページは PRIMEQUEST 2000 シリーズに接続している Disk Enclosure およびディスクの状態を表示 します。

Disk Enclosure が IOU もしくは PCI-BOX に接続された場合にメニューに表示されます。

## 注意

Disk Enclosure 画面のエラーは System Status 画面には反映されません。

Disk Enclosure が接続された RAID コントローラーに、Logical drive が 1 つも構成されていないと、本画面は、表示されない場合があります。Logical drive を 1 つ以上構築し、画面を参照してください。

0	Model: Part Number:		PH M	AIMEQUEST2 CXXXXXXX	800E				Active:MMB#
FUJIISU	Serial Number	:							
TTO AND TO AND A TO AND A	Status:	0.0	1	Warning					Ŧ
vstem >Disk Enclosure >	>Disk Enclosure#0	K Comp	uration Ivian	itenance					Logo
System Status System Event Log	Dielz F	nelos	uro#0						Refresh He
Operation Log	DISK L	neros	Suleno						
Partition Event Log	Disk En	losure	Information						1
System Information	Status		W	arning					
Firmware Information	Location	1	PC	CI_Box#3-PCIC	2#11-Port#1-	Case	cade#0		
System Setup	Location	LED	0	n Off					0
System Power Control	T								
.EDs	1 empera	ture		1				Thrashold	
Fower Suppry	Sensor			Status	Status		emperature	Warning	Critical
emperature	Sensor			otatas	Status		. emp er une e	(Low/High)	(Low/High)
B	RAID C	trl Temp	).	OK	OK		52 C	-/-	-/-
OU	RAID B	BU Ten	ıp.	Not-present					
DU						21			
PCI_Box	RAID C	ard					1.1.0.1		
OPL	BBU Sta	atus	Vendor ID	Device ID	Physical D	nves	Count	Serial Number	Firmware Version
VIVIB Note Englanma	Not-pre	sent	1000	005b	0	-	0	SV225P2246	23.9.0-0028
Disk Enclosure#0				10000	5	-	*		
- Bisk Enclosuren o	Physical	Drives							
	Slot#	Statu	s	Vendor	Mo	del		Capacity	
	0	Not-	present						
	1	Not-	present						
	2	Not-	present						
	3	Not-	present						
		NT .	100				2		

図 1.42 Disk Enclosure 画面(1)

FUjÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:		PRIMEQ MCXXX	UEST2800I XXXX	E		Active:MMI	
System Partition User Ad System >Disk Enclosure >I	ministration Network Disk Enclosure#0	Configuration	Maintenanco	<u>e</u>			Lo	
System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log	Disk En	nclosure#	0				Refresh	
System Information	Sensor#	Status	RAI	ID Level	Physic	cal Drives assignment	Missing drives Count	
Firmware Information	(7)	20	51	-	-		17.	
System Setup								
System Power Control	RAID Act	tion Progress		T.			i.	
LEDs	Drive Typ	e Slot#/S	ensor#	Action		Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)	
Power Supply	-	4-9				-	-	
Fans	<b>F</b> 1							
Temperature	Expander	# Chatan						
SB	Expander	# Status						
IOU		AU						
DCI Der	PSU							
ODI	PSU#	Status						
MMB	0	OK						
Disk Enclosure	1	OK						
Disk Enclosure#0		a second a						
den Rent vezetetetetetetetetetetetetetetetetetete	Fans							
	FAN#	Status						
	0	OK						
	1	OK						
	2	Failed						
	3	Failed						

図 1.43 Disk Enclosure 画面(2)

RAID Card、Physical Drives、Logical Drives、Action Progress テーブルの各種情報はパーティションの System Progress が EFI、Boot、OS Running の場合に表示を行います。(\*1)

(\*1) 正しく情報が表示されるまで System Progress が EFI、Boot、OS Running の状態に変化してから最大 1 分かかります。

項目	内容
Disk Enclosure Informatio	n
Status	Disk Enclosure の状態を表示する。
	・ OK:ディスクエンクロージャー上に障害はありません。
	・ Warning:ディスクエンクロージャーは動作継続可能な異常です。
	・ Failed:ディスクエンクロージャーは異常です。
Location	Disk Enclosure が接続されている場所を表示する。
Location LED	Disk Enclosure の LED の操作ボタンを表示する。
Temperature	
Sensor	各温度センサーの識別名を表示します。
Status	各温度センサーの状態を表示する。
	<ul> <li>OK:正常です。</li> </ul>
	・ Not-present:搭載されていません。
	・Warning:動作継続可能な異常です。
	・ Critical:異常です。
Temperature	各温度センサーの温度を表示する。
Threshold	各温度センサーが保持する閾値を表示する。
	• Warning: Low/High
	Critical: Low/High
RAID Card	
BBU Status	RAID BBU の状態を表示する。
	・ Online:BBU はオンラインです。
	<ul> <li>On Battery: RAID コントローラーはバッテリー動作中です。</li> </ul>
	<ul> <li>Charging: BBU は充電中です。</li> </ul>
	<ul> <li>Discharging: BBU は放電中です。</li> </ul>
	・ Battery Low:BBU はバッテリー残量が少ないです。
	<ul> <li>Relearn Required: BBU は診断要求状態です。</li> </ul>
	<ul> <li>Failed: BBU は異常です。</li> </ul>
	・ Not-present:BBU は実装されていません。
Vendor ID	RAID Card のベンダーID を表示する。
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示する。
Physical Drives count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示する。
Logical Drives count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示する。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示する。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示する。

# 表 1.55 [Disk Enclosure#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Physical Drives	
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示する。
Status	物理ドライブの状態を表示する。
	・ Operational:物理ドライブは動作中です。
	・ Available:物理ドライブは利用可能です。
	・ Failed:物理ドライブは異常です。
	・ Hot Spare:物理ドライブはホットスペアです。
	・ Rebuilding:物理ドライブはリビルド中です。
	・ SMART err:物理ドライブは故障予測が発生しています。
	・ Shielded:物理ドライブは保護状態です。
	・ BadBlock:物理ドライブは媒体異常です。
	・ Foreign:構成情報が最新でないか、別のアレイコントローラで作成された構成情
	報です。
	<ul> <li>Not-present:物理ドライブは実装されていません。</li> </ul>
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示する。
Model	物理ドライブのモデル名を表示する。
Capacity	物理ドライブの容量を表示する。
Temperature	物理ドライブの温度を表示する。
Logical Drives	
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示する。
Status	論理ドライブの状態を表示する。
Raid Level	論理ドライブの RAID レベルを表示する。
Physical Drives	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示する。
assignment	
Missing drives count	その RAID レベルの論理ドライブを構成するために欠落している物理ドライブの数を表
	示する。
RAID Action Progress	
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示する。
	<ul> <li>Physical:物理ドライブです。</li> </ul>
	・ Logical:論理ドライブです。
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表し、
	Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表す。
Action	実行中の RAID アクションを表示する。
	• Rebuilding
	物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示す。
	• Copyback Running
	物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示す。
	• MDC Running
	論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示
	す。
Progress(%)	実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示する。
Estimated time remaining	実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示する。
(hh:mm:ss)	

項目	内容						
Expander							
Expander#	エキスパンダーの番号を表示する。						
Status	エキスパンダーのステータスを表示する。						
	・ OK:エキスパンダーは正常です。						
	・ Warning:エキスパンダーは動作継続可能な異常です。						
	・ Failed:エキスパンダーは異常です。						
	・ Not-Present:エキスパンダーは搭載されていません。						
PSU							
PSU#	PSUの番号を表示する。						
Status	PSUのステータスを表示する。						
	・ OK:PSU は正常です。						
	・ Warning:PSU は動作継続可能な異常です。						
	・ Failed:PSU は異常です。						
	・ Not-Present:PSU は搭載されていません。						
Fans							
FAN#	ファンの番号を表示する。						
Status	ファンのステータスを表示する。						
	・ OK:ファンは正常です。						
	・ Warning:ファンは動作継続可能な異常です。						
	・ Failed:ファンは異常です。						
	・ Not-Present:ファンは搭載されていません。						

# 1.3 [Partition] メニュー

[Partition] メニューでは、PRIMEQUEST 2000 シリーズのパーティションの状態表示、設定ができます。

# 1.3.1 [Power Control] 画面

[Power Control] 画面では、パーティションの電源制御をします。 この画面では、SB または IOU を持つパーティション のみ表示されます。 モデルにより表示画面および表示条件が異なる。 正確には、以下の条件のどれかを満たすパーティ ションが表示されます。

- (1) 1SB 以上を含むパーティション、または
- (2) 1IOU を含むパーティション、または
- (3) PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場合、上記(1)または(2)を満たす物理パーティション上で拡張パーティションのパーティション番号が割り当てられている

PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場合、物理パーティション の Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合には背景色を灰色で表示し操作ができません。逆に拡張パーティ ションの分割元となる物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Disable 設定の場合には、拡張パーティシ ョンの表示がグレーアウトされ操作ができません。

#### 備考

OS が ACPI (Advanced Configuration and Power Interface)に対応している場合は、Power Off 操作で OS を Shutdown してから電源を Off することができますが、ACPI に対応していない場合は、OS を Shutdown せずに電源 Off することになります。また、OS が ACPI に対応している場合でも OS 上で動作しているアプリケーションが対応してい ない場合は、電源 Off できない場合があります。これは OS およびアプリケーションの仕様によるものですので、詳細に ついては OS またはアプリケーションの仕様書を参照してください。 [PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	mber: MCXXXXXXX iumber: diameter:			-	Active:MMB#0
System Particol User Adu Partition >Power Control Power Control Schedule Console Redirection Setup Partition Configuration	Power Cont Select a Power Cont	ration Mandon trol	e or more partitio	ns, then click the App	ly button to take effect.	Refresh He
Reserved SB Configuration Partition#0 Partition#1	# Partition Nam	e Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay Boot Selector	
	0 hayashi	Standby	Power Off	(Not specified) 💌	No Override V	
	1 take	Standby	Power Off	(Not specified)	No Override	
				(Apply) Can	261	

## 図 1.44 [Power Control] 画面

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lモデルの場合]

FUĴÎTSU	Mode Part I Seria Statu	el: Num I Nu s:	ber: mbe	art.	PRIMEQUE MCF3AC111	ST 2800E I	27	Active:MMB#1	
>Partition >Power Control	THE REAL PROPERTY.	in _x	aten wa	отк стониризакой	Mangemance			Logour	
Power Control      Schedule      Console Redirection Setu      Partition Configuration	I	Pov	ver a Po	<b>Control</b>	on for one or m	ore partitions, then click the Ap	oply button to take et	Refresh Help	
<ul> <li>Partition#1 Extended Part</li> <li>Partition#2 Extended Part</li> <li>Partition#3 Extended Part</li> </ul>	tion C tion C	#	Pø	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay Boot Selector	
Reserved SB Configuration     Power Management Setup	antiguration aeat Setup	1	p	PPAR- <b>INVISIO</b>	Standby	Power Off	(Not specified)	I min	
Partition#2     Partition#3		2	P	PPAR-	Standby	Power Off	(Not specified)	Imin	
Partition#4     Partition#10	4		3	P	PPAR COMPA	On	Extended Partitioning Running	(Not specified)	I 1 min. No Override
		4	2	Antonio and	Standby	Power Off	(Not specified)	No Override	
		10	1		Standby	Power Off	(Not specified)	No Override	
					1	Apply Cance	( <u>,</u>		

図 1.45 [Power Control] 画面

- Partition Operator 権限の場合(管理対象 Partition#0 の場合)

管理対象のパーティションに対してのみ、操作可能です。 管理対象でない場合は、プルダウンメニューと設定項目はグレーアウト表示されます。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST MCXXXXXXX JOID COMP			Active:MMB#0
System Partition User Adm Partition >Power Control	inistration Network Configu	ration			Logout
Power Control Schedule Console Redirection Setup Partition Configuration Parented SB Configuration	Power Cont Select a Power Cont	rol	ns, then click the App	ly button to take effect.	Refresh Hel
Partition#0	# Partition Name	Power Status System Progress	Power Control	Force Power Off Delay	
		Tower chains of semifregress	Tome could	Boot Selector	
	0 hayashi	Standby Power Off	(Not specified)		
				No Overnde	
	1 take	Standby Power Off	(Not specified)		
			(Apply) Can	cel )	

図 1.46 [Power Control] 画面(グレーアウト表示)

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lモデルの場合]

図 1.47 [Power Control] 画面(グレーアウト表示)

FUĴĨTSU	Moo Part Seri Stat	Model: Part Number: Serial Number: Status:			PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111			Active:MMB#1
>Partition >Power Contr	ol	ion N	etw	ork Configuration				Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup		Pov	vei	r Control				Refresh Help
Partition Configuration     Partition#1 Extended I	Partition C	#	P#	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay Boot Selector
<ul> <li>Partition#2 Extended F</li> <li>Partition#3 Extended F</li> <li>Reserved SB Configur</li> </ul>	Partition C Partition C ation	1	P	PPAR COLO	Standby	Power Off	(Not specified)	I I min No Override
<ul> <li>Power Management S</li> <li>Partition#10</li> </ul>	etup	2	P	PPAR-	Standby	Power Off	(Not specified)	
		3	P	PPAR	On	Extended Partitioning Running	(Not specified)	
		4	2		Standby	Power Off	(Not specified)	
		10	1		Standby	Power Off	(Not specified)	
		11	3	Ethings.	On	Boot	(Not specified)	No Override

- [Power Control] のプルダウンメニューからパーティションに対して行う処理を選択し、 [Apply] ボタンを クリックします。 確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- 処理を実行する場合は[OK] ボタンをクリックします。
   キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。
   パーティションが Power On 中、または Power Off 中のため、指定した制御が失敗した場合は、警告ダイアログが表示されます。

パーティションの Power On を指示したときに、パーティション内の SB 間で搭載している CPU が不一致の場合は、警告ダイアログボックスが表示され、Power On 操作はエラーになります。

表 1.56	[Power Control] 画面の表示・設定項目
1.50	

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する。
	[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S/2400E/2400L
	モデルの場合]
	0~1Partition まで存在する。
	[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 モデルの場合]
	0~5Partition まで存在する。
	[PRIMEQUEST 2800E3/2800L3/2800E2/2800L2 モデルの場合]
	0~11Partition まで存在する。
	[PRIMEQUEST 2800E/2800L モデルの場合]
	0~3Partition まで存在する。ただし、SB、IOU が登録されているパーティションのみ表示
	する。
Р#	PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデル
	の場合にのみ表示される。
	Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは分割元の物理パーテ
	ィションであることを示す"P"を表示し,拡張パーティションの場合は分割元の物理パー
	ティション番号を表示する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby

項目	内容
System Progress	パーティションの進行状況が表示される。
	・ Power Off:パーティションは電源が切断されている状態である。
	・ Power On In Progress:パーティション電源投入の進行中である。
	・ Reset:パーティションのリセット開始から OS ブートが完了するまでの状態である。
	・ EFI:UEFI menu 画面を表示した状態である。
	・ Boot: OS ブート中である。
	・ OS Running:OS 稼動状態である。
	・ OS Shutdown: OS シャットダウン中である。
	・ Panic:パニック中である(RHELのみ)。
	・ Power Off In Progress:パーティションの電源切断の進行中である。
	・ Fatal:停止中である。
	・ Dumping:ダンプ出力中である。
	・ Halt : Halt 中である。
	・ Extended Partitioning Running:拡張パーティションのファームウェアが稼動状態で
	ある。
	備考
	<ul> <li>パーティションに SVAS(Server View Agentless Service)/SVAgent(Server View Agent)</li> </ul>
	がインストールされていない場合、実際に OS が動作していても「OS Running」に表示
	が切り替わらず、「Boot」のままとなります。
	また、SVAS が指示する「OS Shutdown」、「Panic」についても SVAS がインストール
	されていない場合は表示されない。
	・ Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、拡張パーティ
	ションのファームウェアの起動が完了するまでは Extended Partitioning Mode が
	Disable 設定の場合と同様な表示を行い、拡張パーティションのファームウェア起動後
	は"Extended Partitioning Running"と表示する。
	・ Linux OS での kdump 時の動作は以下のとおり。
	- RHEL:"Panic"および"Dumping"に遷移する。
	(FJSVfefpc/REMCS Option パッケージがインストールされている場合のみ。
	パッケージがインストールされてない場合は"Panic"および"Dumping"に遷移しない)
	- SLES:"Panic"および"Dumping"に遷移しない。
	・ Windows: "Panic"は表示されない。
Power Control	パーティションに対して指示する電源制御を選択する。
	ただし、すでに電源オンの状態であるパーティションに対しては、[Power On] メニューは
	表示されない。逆にすでに電源オフの状態であるパーティションの場合は、[Power Off]、
	[Reset]、 [NMI]、[Power Cycle] 、[Force Power Off]、[sadump] は表示されない。
	・ Power On:パーティションの電源をオンにする。
	・ Power Off:パーティションの電源をオフにする。
	· OSから見た場合、装置の電源ボタンがオフされた場合と同様に見える。そのため、OS
	が ACPI 対応していれば、OS をシャットダウンした後、電源を切断することも可能であ
	る。詳細は OS の電源仕様(ACPI) を参照。OS が ACPI 対応していない場合は、OS をシャ
	ットダウンせずに電源が切断される。
	・ Power Cycle:パーティションの電源を強制的にオフした後、再度電源をオンにする。
	・ Reset:パーティションをリセットする。
	・ NMI:パーティションに対して NMI 割込みをあげる。
	・ Force Power Off: 強制的に電源をオフにする。
	<ul> <li>sadump:パーティションに対して SADUMP を指示する。</li> </ul>
	・ (Not specified):このパーティションに対して何も指示しない。

項目	内容
Force Power Off	[Power Off] でパーティション上の OS に対するシャットダウン指示がうまく動作せずに電源
Delay	オフが実行されない場合に、強制電源断をするかどうかを指定する。強制電源断をする指定
	にした場合は、指定時間 (1~9 分) が設定可能となる。この指定時間が経過すると強制的に
	パーティションの電源を切断する。
	デフォルトは、チェックボックスがオフ。
Boot Selector	BIOS の Boot Manager の設定を一時的に Override するブートデバイスを指定する。ブート
	するデバイスをプルダウンメニューから選択する。
(PRIMEQUEST	・ No Override:EFI Boot Manager の設定でブートする。
2400S3 Lite/2400S3/	・ Force boot into EFI Boot Manager:EFI Boot Manager で入力待ち状態となる。EFI
2400E3/2400L3/	Boot Manager でブートデバイスを選択してブートする。
2800E3/2800L3/	・ Force Legacy PXE/iSCSI:EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に PXE を試
2400S2 Lite/2400S2/	みる。(BIOS Boot Type: Legacy)
2400E2/2400L2/	・ Force boot from Legacy DVD:EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に
2800E2/2800L2 モデル	System の DVD からブートを試みる。(BIOS Boot Type: Legacy)
の場合	・ Force UEFI PXE/iSCSI:EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に PXE を試み
または、	る。(BIOS Boot Type: UEFI)
PRIMEQUEST	・ Force boot from UEFI DVD:EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に
2400S Lite/2400S/	System の DVD からブートを試みる。(BIOS Boot Type: UEFI)
2400E/2400L/2800E/	
2800L モデルで統合ファ	デフォルトは No Override。
ームウェア版数が	本設定は、設定直後の1回目のパーティションブート時のみに適用される。パーティション
BA15072 以降の場合)	のブート後、本設定は自動的に「No Override」に戻る。そのため、パーティションのブー
	トごとに設定する必要がある。定常的に設定する場合は、UEFIの Boot Manager で設定す
	බං
Boot Selector	BIOS の Boot Manager の設定を一時的に Override するブートデバイスを指定する。ブート
	するデバイスをプルダウンメニューから選択する。
(PRIMEQUEST	・ No Override:EFI Boot Manager の設定でブートする。
2400S Lite/2400S/	・ Force boot into EFI Boot Manager:EFI Boot Manager で入力待ち状態となる。EFI
2400E/2400L/2800E/	Boot Manager でブートデバイスを選択してブートする。
2800L モデルで統合ファ	・ Force PXE/iSCSI:EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に PXE を試みる。
ームウェア版数が	備考
BA15065 以前の場合)	本メニューによりブートするのは Legacy 設定の PXE, iSCSI のみ。
	EFI Aware の PXE, iSCSI はブートしない。
	・ Force boot from DVD: EFI Boot Manager の設定を Override し、強制的に System の
	DVD からブートを試みる。
	備考
	本メニューによりブートするのは Legacy の媒体のみ。EFI Aware の媒体はブートしな
	本設定は、設定直後の1回目のバーティションブート時のみに適用される。パーティション
	のフート後、本設定は目動的に INo Override」に戻る。そのため、パーティションのブー
	トごとに設定する必要がある。定常的に設定する場合は、UEFIの Boot Manager で設定す
	ිං

表 1	1.57	[Power	Control]	画面のボタン
-----	------	--------	----------	--------

ボタン	
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、電源制御項目の情報が設定される。
	確認を促すダイアログボックスが表示されたら、設定内容を確認する。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、パーティションに対する電源制御項目の情報が設定され
	ず元の状態に戻る。

#### 備考

OS が ACPI に対応していれば、上記の電源オフ動作で OS をシャットダウンし、電源をオフにできます。 ACPI に対応していない場合は、OS をシャットダウンせずに電源をオフにすることになります。また、 OS が ACPI に対応していても OS で動作しているアプリケーションが対応していない場合は、電源をオフできない場合があります。これ は OS、およびアプリケーションの仕様によるので、詳細については OS、またはアプリケーションのマニュアルを参照 してください。

## ■ 「エラー表示」

ブート可能なパーティションが1つも構成されていない場合は、以下の画面が表示されます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111	Active:MMB#0
System User Ach >Partition >Power Control	ninestration Network Conf	garation Maintenance	Logont
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup     Partition Configuration     Reserved SB Configuratio	Power Cont	<b>col</b> of option for one or more partitions, then click the Apply button to take effect.	Reliesh Help
→ Partitione?	# Partition Name	Power Status System Progress Power Control Force Power Off Delay Boot Selector	
		There are no partitions configured.	
4	3	[Apply] [Cancel]	

図 1.48 [Power Control] 画面のエラー表示

## (1) メニュー操作

[Partition] - [Power Control]

- (2) 画面操作
  - 各パーティションに対する電源制御項目を[Power Control] のプルダウンリストから選択し、[Apply]ボ タンをクリックします。 設定確認のためのダイアログボックスが表示されます。
  - 2. 設定を実行する場合は[OK] ボタンをクリックします。

## 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00075	Partition#%aa cannot execute sadump
E_00077	Partition#%aa cannot execute Power On.
E_00078	Partition#%aa cannot execute Power Off.
E_00079	Partition#%aa command failed.
E_00080	Partition#%aa cannot execute Power Cycle.
E_00081	Partition#%aa cannot execute Reset.
E_00082	Partition#%aa cannot execute NMI.
E_00084	Partition#%aa cannot execute Force Power Off.
E_00091	Force Power Off Delay setting failed.
E_00101	Unable to power on the partition#%aa due to CPU mismatch between SBs.
I_00214	Unable to Power On the Partition#%aa because this Partition is under maintenance.
I_00222	Unable to %aa the Partition#%aa because this Partition is under maintenance.
E_00422	Unable to power on the partition#%aa due to CPU composition abnormal.
E_00154	Unable to power on due to mismatch between supply voltage and input voltage.
E_00482	Unable to power on the partition#%aa due to DIMM composition abnormal.
E_00491	Unable to power on the partition#%aa due to DIMM does not satisfy requirements of
	Mode.
W_00504	The Power On failed, because of switching the Home SB.
	Please execute it after a while again.
E_00517	Unable to power on the partition#%d due to abnormal SB composition.
E_00543	Unable to power on the partition#%d due to abnormal Extended Partitioning
	composition.
W_00587	Unable to execute Power Control because the firmware is updating.
W_00588	Unable to execute command because the power control operating.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.2 [Schedule] メニュー

[Schedule] メニューには、[Schedule Control]、[Schedule List] の画面があります。ここではこれらの画面と操作について説明します。

#### 注意

以下のように、SEL に記録される時間は、スケジュール運転の予約時間より遅れる場合があります。

- 構成のチェックおよび起動の準備処理を行ったあと、パワーオンが開始するまで時間がかかることがある。この場合、スケジュール運転の予約時間より、SEL表示が6秒から8秒程度遅れる。
- MMB から OS へのシャットダウン指示は、設定時刻から数秒以内に実行されます。しかし、以下の時間が、
   設定および構成などさまざまな条件で変わることがある。
  - MMB から OS に到達するまでの時間
  - ・ OS がシャットダウンを開始し、MMB ヘシャットダウンの開始を SEL に通知するまでの時間
- [Power on Delay] を 0 秒にしてもパワーオン実行開始からリセットまでに、30 秒から 70 秒程度かかることがある。

# 1.3.2.1 [Schedule Control] 画面

[Schedule Control] 画面では、各パーティションに対してスケジュールに関する設定ができます。

モデルにより表示画面が異なります。

PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場合,物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合は背景色が灰色で表示され,スケジュール運転は無効になります。 逆に拡張パーティションの分割元となる物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Disable 設定の場合は拡 張パーティションの背景色が灰色で表示され、スケジュール運転は無効になります。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQU MCXXXX Volume	EST2800E XXX Ф	Active:MMB#0
System Purtonen User A	dministration Network Co	nfiguration Maintenan		Logout
>Partition >Schedule >Sch	edule Control			
Power Control	Sahadula	Control		[Hele]
Schedule Schedule Control	Schedule	Control		map
Schedule List	Edua Eduatio	C	and the state of the state of the	
Console Redirection Set	select schedule	Control for each partit	on then cack the Apply button to take effect.	
Partition Configuration			Number of	
Reserved SB Configurat	ion # Partition 2	Vame Schedule Contro	schedules	
Partition=0	0 hayashi	OOn ⊚Off	0	
Partition#1	1 take	OOn ⊚Off	0	
<	2		(Apply) Cancel	

図 1.49 [Schedule Control] 画面

スケジュール実施時刻に対象パーティションの保守作業(Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance のいずれか)が実施されていた場合には、スケジュールよるパーティションの電源操作はできません。

同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理されます。

Special > Monthly > Weekly > Daily

- ・ Daily: 毎日実行されるスケジュール
- ・ Weekly: 毎週実行されるスケジュール
- ・ Monthly: 毎月実行されるスケジュール
- ・ Special: 毎年、指定した日に実行されるスケジュール

また、同時刻に Power On と Power Off の指定があった場合には、Power Off が優先されます。

Partition Operator の場合は、管理対象のパーティションのみ操作可能です。

Power On Delay 中は Partition は Power On していないため、Schedule Power Off は無視されます。また、Shutdown 要求を OS が受け付けない場合も Power Off を行ないません。

表 1.58	[Schedule Control]	画面の表示・	設定項目
--------	--------------------	--------	------

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する(0~3)。
	ただし、SB/IOU が登録されているパーティションのみ表示する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
Schedule Control	各パーティションに対してスケジュール運転するかどうかを設定する。
	• On
	• Off
	デフォルトは Off。
Number of schedules	設定されているスケジュールの数を表示する。

表 1.59 [Schedule Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定したパーティションに対するスケジュール運転の情
	報が設定される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、パーティションに対するスケジュール運転の情報は設定
	されず元の状態に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Partition] - [Schedule] - [Schedule Control]

#### (2) 画面操作

- 1. 各パーティションに対して、ラジオボタンでスケジュール運転をするかどうかを指定します。
- [Apply] ボタンをクリックします。
   スケジュール運転の指定が適用されます。

# 1.3.2.2 [Schedule List] 画面

[Schedule List] 画面では、各パーティションの電源オン/オフのスケジュールを 1000 件まで登録できます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Numbe Status:	odel: PRIMEQUEST2800E rt Number: MCXXXXXX rial Number: J00005000 atus: Normal		Active:MMB#0				
System Paranon User	Administration Netw	vork Configuration	Mai	ntenano	2			Logou
Power Control     Schedule     Schedule     Schedule Control     Schedule List     Console Redirection S     Partition Configuration	Click Ad	<b>dule List</b> schedule then clicl id button to add a	k the E new s	idit Ren che dule	iove bu	itton to ed	it or remove the schedule.	Hel
Reserved SB Configur	ation	# Partition Name	Type	Pattern	Term	On Time	Off Time	
Partition=0	0.1	0 hayashi		-	1			
Partition#1	0	1 take	•		-			
						Ad	5 Edit Remove Cancel	

図 1.50 [Schedule List] 画面

スケジュールは、パーティション番号順に表示されます。 パーティション内は、期間の開始日の早い順に表示されま す。 パーティションも開始月日も同一である場合は、スケジュールを登録した順に表示されます。

#### 備考

Type が Weekly の場合は、開始日を「1日」として扱います。 Partition Operator の場合は、管理対象のパーティションのみ操作可能です。

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する(0~3)。
	ただし、SB/IOU が登録されているパーティションのみ表示する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
Туре	パーティションに設定されているスケジュールの種類が表示される。
	<ul> <li>Daily:毎日実行する場合に選択</li> </ul>
	・ Weekly:毎週実行する場合に選択
	・ Monthly:毎月実行する場合に選択
	・ Special:毎年特定な日に実行する場合に選択
	同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理される。
	Special > Monthly > Weekly > Daily
Pattern	スケジュールの種類に応じたスケジュールパターンが表示される。
	・ Weekly における曜日(Sun~Sat)
	・ Monthly における期間
	・ Special における指定月日
Term	スケジュールのタイプとパターンに応じたスケジュールの期間が表示される。
	・ Daily:開始月日と終了月日
	・ Weekly:開始月と終了月
	・ Monthly:開始月と終了月
	デフォルトは以下のとおり。
	• Daily:From:Jan / 1 To:Jan / 1
	注・・・1月1日のみ実行されるようになっています。
	• Weekly : From : Jan To : Jan
	注・・・1 月のみ実行されるようになっています。
	Monthly : From : Jan To : Jan
	注・・・1 月のみ実行されるようになっています。
On Time	指定した実行日に電源オンの処理をする場合の時間を表示する。
	時間は 24 時間表示。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で表示。
Off Time	指定した実行日に電源オフの処理をする場合時間を表示する。
	時間は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で表示。

表 1.60 [Schedule List] 画面の表示・設定項目

表 1.61 [Schedule List] 画面のボタン

ボタン	内容
Add	[Add]ボタンをクリックすると、[Add Schedule] 画面が表示され、スケジュールを追加でき
	る。
Edit	[Edit] ボタンをクリックすると、[Edit Schedule] 画面が表示され、スケジュールを変更でき
	る。
Remove	[Remove] ボタンをクリックすると、選択したスケジュールが削除される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、前の画面に戻る。

- (1) メニュー操作[Partition] [Schedule] [Schedule List]
- (2) 画面操作
  - 新規にスケジュールを追加する場合
    - 1. [Add] ボタンをクリックします。
      - [Add/Edit Schedule] 画面が表示されます。
    - 2. [Add/Edit Schedule] 画面で、新規スケジュールを追加します。
  - スケジュールを変更する場合
    - 1. 既存スケジュールをラジオボタンで選択します。
    - [Edit] ボタンをクリックします。
       [Add/Edit Schedule] 画面が表示されます。
    - 3. [Add/Edit Schedule] 画面で、既存スケジュールを変更します。
  - スケジュールを削除する場合
    - 1. スケジュールをラジオボタンで選択します。
    - [Remove] ボタンをクリックします。
       確認のダイアログボックスが表示されます。
    - [OK] ボタンをクリックします。
       スケジュールが削除されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
E_00412	You need an empty entry.
W_00413	Nothing is selected.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.2.3 [Add Schedule] 画面/[Edit Schedule] 画面

[Add Schedule] 画面では、各パーティションの電源オン/オフのスケジュールの新規追加ができます。 [Edit Schedule] 画面では、既存スケジュールの変更ができます。

[Add Schedule] 画面と[Edit Schedule] 画面の画面項目は共通です。 ここでは、[Add Schedule] 画面を使って説明します。

図 1.51 [Add Schedule] 画面

FUjitsu	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Constant Normal	-	Active:MMB#0
System Participal User	dministration Network	Configuration Maintenance		Logout
Power Control     Schedule Science     Schedule Control     Schedule List     Console Redirection Se     Partition Configuration     Reserved SB Configuration	Add Scl Select a parti for Partition	hedule ion and isput a schedule, then click the Apply button to #0: hayashi	talce effect.	Help
Partition=0	Type	Pattern	Term	
Partition=1	() Daily	-	From Jan v 1 v To: Jan v 1 v	
	O Week	iy □Sun □Mon □Tue □Wed □Thu □Fri □S	at From Jan 🛩 To: Jan 💌	
	() Mont	dy From: 1 💌 To: 1 💌	From Jan 🛩 To: Jan 🛩	
	O Speci	al Jan 🛩 1 🛩		
	Off Tr	me Hour: 0 v Min: 0 v me Hour: 0 v Min: 0 v		
<	3	Apply	Cancel	

項目	内容
Partition	スケジュールを追加、または編集するパーティションを選択する。
	デフォルトは、定義されている最も小さい番号のパーティション。
Туре	パーティションに設定するスケジュールの種類を選択する。
	<ul> <li>Daily:毎日実行する場合に選択</li> </ul>
	<ul> <li>Weekly:毎週実行する場合に選択</li> </ul>
	<ul> <li>Monthly:毎月実行する場合に選択</li> </ul>
	・Special:毎年特定な日に実行する場合に選択
	。 (Special の有効範囲は指定日のみとなります)
	同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理される。
	Special > Monthly > Weekly > Daily
	デフォルトは未選択。
Pattern	<ul> <li>スケジュールの種類に応じたスケジュールパターンを指定する。</li> <li>Weekly における曜日(Sun~Sat)</li> <li>Monthly における期間</li> <li>Special における指定月日</li> <li>デフォルトは以下のとおり。</li> <li>曜日:未選択</li> <li>期間: From: 1 To: 1</li> <li>指定月日: Jan / 1</li> </ul>
Term	スケジュールのタイプとパターンに応じたスケジュールの期間を指定する。 ・ Daily:開始月日と終了月日 ・ Weekly:開始月と終了月 ・ Monthly:開始月と終了月 デフォルトは以下のとおり。 ・ Daily:From:Jan / 1 To:Jan / 1 ・ Weekly:From:Jan To:Jan ・ Monthly:From:Jan To:Jan
On Time	指定した実行日に電源オンにするかどうかを設定する。電源オンにする場合は時刻を設定する。 る。 時刻は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で指定。
Off Time	指定した実行日に電源オフにするかどうかを設定する。電源オフにする場合は時刻を設定する。 時刻は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で指定。

# 表 1.62 [Add Schedule] 画面の表示・設定項目

表 1.63	[Add Schedule] 画面のボタン
--------	-----------------------

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、各項目に指定したスケジュール情報がパーティショ
	ンに適用される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、各項目に指定したスケジュール情報は適用されず元
	に戻る。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00414	Invalid Date Format
W_00415	The duplicate On/Off Time is found.
W_00416	Both On/Off Time are disabled.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.3 [Console Redirection Setup] 画面

[Console Redirection Setup] のメニューには、以下の画面があります。

■[IPv4 Console Redirection Setup] 画面

■[IPv6 Console Redirection Setup] 画面

# 1.3.3.1 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面

[IPv4 Console Redirection Setup] 画面では、IPv4 用の Console Redirection Setup ヘアクセスするための IP アドレス の設定、サブネットマスクの設定、ビデオリダイレクション、仮想メディアの有効/無効の設定をします。 モデルにより表示画面が異なります。

Extended Partitioning Modeが Enable 設定の物理パーティションは背景色を緋色で表示し、操作を抑止します。 VGA/USB2/rKVMS が割り当てられていない拡張パーティションは背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST MCXXXXXXX Johnsteine Normal			<b>H</b> 3	Active:MMB#0
>Partition >Console Rec	Administration Network Con direction Setup >IPv4 Console 1	agoration Maintenance Redirection Setup				Logoat
Power Control     Schedule     Console Redirection 5     IPv4 Console Redi     IPv4 Console Redi	Setup IPv4 Cons rection Setu Click the Apply B	ole Redirection Se	etup			Help
<ul> <li>Partition Configuration</li> <li>Reserved SB Configuration</li> </ul>	a # Partition N	ame IP Address	Subnet Mask	Video	Virtual Media	
• Partition#0 • Partition#1	0 hayashi	10 . 24 . 76 . 229	255 . 255 . 255 . 0	© Enable O Disable	Enable     Disable	
	1 take	10 . 24 . 76 . 17	255 , 255 , 255 , 0	© Enable O Disable	Enable     Disable	
			Apply Ca	ncel		

## 図 1.52 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面
[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L モデルの 場合]

FUĴÎTSU	Model Part N Serial Status	: umber: Number: :	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111		· ·		Active:MMB#1
System Paramet User >Partition >Console Red	Administration rection Setup 2	Network Configuration	on Maintenance ction Setup				Logout
Power Control     Schechile     Console Redirection S     IPv4 Console Redir     IPv6 Console Redir     Partition Configuration	etup ection Se ection Se part	Pv4 Console R ik the Apply Button to te: For using Video Re- ition.	Acceleration Setup apply all changes. direction and Virtual Media in )	Extended Partitioning, VGA	USB2/rKVN	IS must be conn	Help
Partition#1 Extended F     Partition#2 Extended F     Partition#3 Extended F	artition C artition C	# Partition Name	IP Address	Subnet Mask	Video Redirection	Virtual Media	
<ul> <li>Reserved SB Configur</li> <li>Power Management S</li> </ul>	ation Stup	1 PPAR CONSID	10 125 51 15	255 255 255 0	O Enable ● Disable	O Enable O Disable	
Partition#1     Partition#2		2 PPAR	<b>10</b> . 125 . 61 . 17	255 255 255 0	O Enable O Disable	O Enable O Disable	
Partition#3     Partition#4     Postition#10		3 PPAR-Department	<b>10</b> 125 61 19	255 . 255 . 255 . 0	O Enable O Disable	O Enable Disable	
Partition#10     Partition#11			10 , 125 , 61 , 23	255 . 255 . 255 . 0	● Enable ○ Disable	● Enable ○ Disable	
		10	10 . 125 . 61 . 25	255 . 255 . 255 . 0	● Enable ○ Disable	Enable O Disable	
				Apply Cancel	• Enable	Enable	1

図 1.53 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する。
	0~11 Partition まで存在する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
IP Address	接続を許可するパーティション側の IP アドレスを入力する。MMB の Web-UI にアクセスす
	るために使用する仮想 IP アドレス(「1.5.2 [Network Interface] メニュー」参照) と同一
	セグメントで、異なる IP アドレスを指定する。
	デフォルトは 0.0.0.0。
Subnet Mask	接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを入力する。
	デフォルトは、255.255.255.255。
Video Redirection	ビデオリダイレクションが使用可能かどうかを設定する。
	・ Enable:ビデオリダイレクションを使用可能にする。
	・ Disable:ビデオリダイレクションを使用不可にする。
	デフォルトは Disable。
	注意
	拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning
	Configuration]→ [SB]で VGA/USB2/rKVMS を割り当て設定する必要があります。
Virtual Media	仮想メディアが使用可能かどうかを設定する。
	・ Enable:仮想メディアを使用可能にする。
	・ Disable:仮想メディアを使用不可にする。
	デフォルトは Disable。
	注意
	仮想メディアを使う場合は、ビデオリダイレクションを Enable に設定する必要があります。
	拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning
	Configuration]→ [SB]で VGA/USB2/rKVMS を割り当て設定する必要があります。

表 1.64	[IPv4 Console Redirection Setup]	画面の表示・	空定項目
1.04	In vaconsole requirection setup		

### 表 1.65 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると指定したパーティションのビデオリダイレクション、
	仮想メディアの設定が適用される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、ビデオリダイレクション、仮想メディアの設定は適
	用されず元の状態に戻る。

### (1) メニュー操作

[Partition] - [Console Redirection Setup] - [IPv4 Console Redirection Setup]

### (2) 画面操作

- 1. IP アドレス、サブネットマスクを入力し、ビデオリダイレクション、仮想メディアを使用するかどうかを 設定します。
- 2. [Apply] ボタンをクリックします。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00432	Invalid IP Address specified.
W_00433	The duplicate IP address was found.
I_00539	The settings for the Console Redirection IP are changed. All existing network
	connections about this settings will be lost. You will need to login again. If you want
	to continue, please click OK button. If not, click Cancel button. Are you sure?
W_00595	It is IP address that duplicates with MMB IP address.
W_00597	A subnet differs from MMB IP address.
	When you change a setup of Console Redirection IP address or you change a subnet,
	please change MMB IP address first.

# 1.3.3.2 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

[IPv6 Console Redirection Setup] 画面では、IPv6 用の Console Redirection LAN ヘアクセスするための IP アドレスの 設定、プレフィックス長の設定、ビデオリダイレクション、仮想メディアの有効/無効の設定をします。

モデルにより表示画面が異なります。

Extended Partitioning Mode が Enable 設定で動いている物理パーティションは背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。

VGA/USB2/rKVMSが割り当てられていない拡張パーティションは背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。 自動設定する場合は[Auto] ボタンをクリックし、IP アドレス、プレフィックス長を自動取得します。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUĴÎTSU	Model Part N Serial Status:	: umber: Number: :	PRIMEQUEST MCXXXXXXX Version		-		Active:MMB#0
System Paraton Use >Partition >Console Re > Power Control Schedule Console Redirection   IPv4 Console Red	Administration direction Setup Setup inection Setu C	Network Configu PV6 Console Red Pv6 Consol	arizen <u>Meinterener</u> irection Setup e <b>Redirection Setup</b> en to apply all changes.				Logoot (Help)
<ul> <li>Partition Configuration</li> <li>Reserved SB Configuration</li> </ul>	n nution	* Partition Name	IP Address	Prefix Length	Video Redirection	Virtual Media	
Partition#0     Partition#1		0 hayashi	2001 2345 6789 12 4500 1009	64	⊙ Enable ○ Disable	Enable     Disable	
		l take	2001:2345:6789::12:4500:100a	64	⊙ Enable ○ Disable	Enable     Disable	
		Automatic Acquisition	Auto				
				Apply Cancel			

図 1.54 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L モデルの 場合]

FUJITSU Se		l: iumber: Number:	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111			Active:MMB
Contract in some of the second	Status		Normal			
artition >Console Redi	irection Setup	>IPv6 Console Redirection	n Setup			Log
Power Control Schedule Console Redirection S IPv4 Console Redir IPv6 Console Redir Partition Configuration	etup ection Se Cli rection Se No par	Pv6 Console Rec ck the Apply Button to app te: For using Video Redire tition.	<b>direction Setup</b> My all changes. ction and Virtual Media in Extended P	Partitioning, VGA/USB2/r	KVMS must	be connected to the
C ALCONOLOGY 1 C. LITCHARTER P.						
Partition#2 Extended F Partition#3 Extended F	Partition C Partition C	# Partition Name	IP Address	Prefix Length	Video Redirection	Virtual Media
Partition#2 Extended F Partition#3 Extended F Reserved SB Configur Power Management So	Partition C Partition C ration etup	# Partition Name 1 PPAR	IP Address	Prefix Length	Video Redirection • Enable • Disable	Virtual Media • Enable • Disable
artition#2 Extended F artition#3 Extended F eserved SB Configur ower Management So artition#1 artition#2	Partition C Partition C ration etup	Partition Name     PPAR     PPAR     PPAR	IP Address	Prefix Length	Video Redirection © Enable © Disable © Disable	Virtual Media © Enable © Disable © Enable © Disable
artition#2 Extended F artition#3 Extended F eserved SB Configur ower Management Se artition#1 artition#2 artition#3 artition#3 artition#4	Partition C Partition C ration etup	<ul> <li>Partition Name</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> </ul>	IP Address	Prefix Length 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Video Redirection Enable Disable Enable Disable Enable Disable	Virtual Media © Enable © Disable © Disable © Enable © Enable © Disable
artition#2 Extended F artition#3 Extended F eserved SB Configur over Management Se artition#1 artition#2 artition#3 artition#4 artition#4 artition#10 artition#11	Partition C Partition C attion C attion etap	<ul> <li>Partition Name</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR-</li> <li>4</li> </ul>	IP Address       Image: state sta	Prefix Length 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Video Redirection © Enable © Disable © Disable © Disable © Enable © Disable	Virtual Media Enable Disable Enable Disable Disable Disable Enable Enable Disable Enable
artition#2 Extended F artition#3 Extended F eserved SB Configur ower Management Se artition#1 artition#2 artition#2 artition#4 artition#10 artition#11	Partition C Partition C ration etup	<ul> <li>Partition Name</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>PPAR</li> <li>10</li> </ul>	IP Address       Image: second se	Prefix Length O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	Video Redirection © Enable © Disable © Disable © Disable © Disable © Disable © Enable © Disable	Virtual Media © Enable © Disable © Disable © Disable © Enable © Enable © Enable © Enable © Disable

### 図 1.55 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する。
	0~11 Partition まで存在する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
IP Address	接続を許可する IPv6 用のグローバルアドレスを入力する。
	自動取得した場合は、取得された IP アドレスが表示される。
Prefix Length	IPv6 用のプレフィックス長を入力する。
	自動取得した場合は、取得されたプレフィックス長が表示される。
Video Redirection	ビデオリダイレクションが使用可能かどうかを設定する。
	・ Enable:ビデオリダイレクションを使用可能にする。
	・ Disable:ビデオリダイレクションを使用不可にする。
	デフォルトは Disable。
	注意
	拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning
	Configuration]→ [SB]で VGA/USB2/rKVMS を割り当て設定する必要があります。
Virtual Media	仮想メディアが使用可能かどうかを設定する。
	・ Enable:仮想メディアを使用可能にする。
	・ Disable:仮想メディアを使用不可にする。
	デフォルトは Disable。
	注意
	仮想メディアを使う場合は、ビデオリダイレクションを Enable に設定する必要があります。
	拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning
	Configuration]→ [SB]で VGA/USB2/rKVMS を割り当て設定する必要があります。
Automatic Acquisition	IPv6 アドレスの自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックする。IP アドレスおよびプ レフィックス長が自動取得され、上書きされる。

表 1.66 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目

### 表 1.67 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Auto	[Auto] ボタンをクリックすると、IP アドレスとプレフィックス長が自動取得されます。
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると指定したパーティションのビデオリダイレクション、仮
	想メディアの設定が適用される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、ビデオリダイレクション、仮想メディアの設定は適
	用されず元の状態に戻る。

### (1) メニュー操作

[Partition] - [Console Redirection Setup] - [IPv6 Console Redirection Setup]

- (2) 画面操作
  - 1. IP アドレス、プレフィックス長を入力し、ビデオリダイレクション、仮想メディアを使用するかどうかを設定します。
  - 2. [Apply] ボタンをクリックします。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00432	Invalid IP Address specified.
W_00433	The duplicate IP address was found.
I_00539	The settings for the Console Redirection IP are changed. All existing network
	connections about this settings will be lost. You will need to login again. If you
	want to continue, please
	click OK button. If not, click Cancel button. Are you sure?
W_00595	It is IP address that duplicates with MMB IP address.
W_00597	A subnet differs from MMB IP address.
	When you change a setup of Console Redirection IP address or you change a subnet,
	please change MMB IP address first.

# 1.3.4 [Partition Configuration] 画面

[Partition Configuration] 画面では、パーティションを構成する SB、IOU の設定ができます。 モデルより表示画面が異なり, PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場合は, 拡張パーティション番号の設定も本画面で行います。

PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合は、Partition は O と 1 のみ表示されます。

### 操作時の注意

- 拡張パーティションの変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

FUjitsu	Model: Part Number: Serial Number Status:	PF M	RIMEQUEST 280 CXXXXXXX	DOE						Active:MMB#0
System Paraton User Adminis	stration Netwo	rk Configuration N	laintenance							Logout
Power Control      Schedule      Console Redirection Setup      Partition Configuration      Reserved SB Configuration	Partitio Select a partit	n Configura ion, then click the A	t <b>tion</b> dd:Remove Unit, S	iet Pr	utiti	on N	anu	e, a	r H	Help
Partner	#	Partition Name	Power Status		SB	1.	4	10	U	-
D Partinon=2	00	P02900#09-P0	Standby	<u>₽</u> . H		-	•	1	2	<u>2</u>
el Partition=1	01	P02800#05-P1	Standby	1	ī	t		•	+	
	02	PQ2800#09 P2	On		I	I			•	
	03	PQ2800#05-P3	On			H				•
	Reserved									
	Note) R H	represents Reserve represents Home S represents Installed Sat	d SB B SB/IOU other that Partition Name	a the	ebo d U b	ve	F	Ram	ibve	Unit Home Cancel

図 1.56 [Partition Configuration] 画面

搭載されていない SB、IOU の列は、背景色が灰色で表示されます。

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lモデルの 場合]

FUĴÎTSU	Mode Part N Serial Status	Iodel: PRIMEQUEST 2800E art Number: MCF3AC111 erial Number: Constants tatus: Normal																Active:MMB				
stem Partner User Adm artition >Partition Configura	nistration tion	n Network	Configuration Mainte	mance																I	logo	
Power Control ichedule Console Redirection Setup IPv4 Console Redirection	F Se Se	<b>Partitio</b> lect a partit	on Configurati	<b>ON</b> Remove Unit, S	et	Partiti	on ]	Nam	e, a	r Ho	me	e but	tton	is to	cos	nfigu	re the	partition	n.		Н	
Model:       Print Number:       Marceland:       Marceland: <th></th> <th></th>																						
artition#1 Extended Partiti	Den C	#	Partition Name	Power Status	0	1 1	3	0	1	2	3 4	4 5	6	7	8 5	10	11					
artition#2 Extended Partiti	On C	• 0																				
eserved SB Configuration	on c	01	PPAR and the	Standby		H	Γ	П	٠		Т											
wer Management Setup		02	PPAR-	Standby		H		П		•		•			T							
rtition#1		03	PPAR	On	-	Ħ	H	H		1	•	1		T	T	t	•					
rtition#2		Reserved																				
rtition#4		Free			•			•				•	•	C								
atition#10 atition#11		Note) R H	represents Reserved S represents Home SB represents Installed SB	B VIOU/Extended	Pa	etition	ing	other	r tha	un th	e al	bov	e					7				
/=	>		Set	Partition Name		Ad	d Ur	it	R	lemo	we	Unit		Ho	me		Cancel	]				

図 1.57 [Partition Configuration] 画面

搭載されていない SB、IOU の列は、背景色が灰色で表示されます。 設定するパーティションを左側のラジオボタンで選択し、設定する処理に対応するボタンを[Add Unit]、[Remove Unit]、[Home] から選びます。

Add Unit, Remove Unit ボタンの「Unit」は、SB, IOU, また PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場合は拡張パーティション意味します。

SB/IOU のリンクをクリックすると、それぞれ[SB#x] 画面、[IOU#x] 画面が表示されます。

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance または Cold System Maintenance) が設定され ている場合、保守モードを設定したユーザー(保守者、Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。保守対象外のパ ーティションを選択すると、メッセージが表示され操作ができません。

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する。
	0~3Partition まで存在する。
	PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの
	場合は拡張パーティションが追加される。
	パーティションに属さない SB/IOU/Extended Partitioning は、以下のように表示する。
	Reserved : Reserved SB
	Free : Free SB/IOU/Extended Partitioning
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示、設定する。
	名前は 16 文字まで入力可能。
	Partition Name には英数字、半角スペース、# (シャープ)、_ (アンダーライン)、- (ハイフ
	ン)を使用できる。
	デフォルトは設定なし。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby
SB	SB がどのパーティションに属しているかを表示する。
IOU	IOU がどのパーティションに属しているかを表示する。
Extended Partitioning	PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの
	場合にのみ表示される。
	拡張パーティションがどのパーティションに属しているかを表示する。

# 表 1.68 [Partition Configuration] 画面の表示・設定項目

# 表 1.69 [Partition Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Set Partition Name	パーティションに名前を設定する。
Add Unit	ユニットを組み込むための[Add Unit] 画面を表示する。
Remove Unit	ユニットを削除するための[Remove Unit] 画面を表示する。
Home	パーティションの Home 設定をするための[Partition Home] 画面を表示する。
Cancel	情報は設定されず、元の状態に戻る。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

メッセージ番号	メッセージ文
I_00217	Unable to set Partition Name of Partition#%aa because this partition is under
	maintenance.
I_00218	Unable to add SB/IOU to Partition#%aa because this partition is under maintenance.
I_00219	Unable to remove SB/IOU from Partition#%aa because this partition is under
	maintenance.
I_00220	Unable to set Home on Partition#%aa because this partition is under maintenance.
I_00427	Select a partition.
I_00429	The partition is not defined.
W_00428	Only the alphanumeric character can be input to Partition Name area.
W_00575	Unable to change partition configuration because this partition is powered on.

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L モデルの 場合]

メッセージ文
Unable to set Partition Name of Partition#%aa because this partition is under
maintenance.
Unable to add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition#%aa because this partition is
under maintenance.
Unable to remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition#%aa because this
partition is under maintenance.
Unable to set Home on Partition#%aa because this partition is under maintenance.
Select a partition.
The partition is not defined.
Only the alphanumeric character can be input to Partition Name area.
Unable to change partition configuration because this partition is powered on.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

[Partition Configuration] 画面での操作方法を以下に説明します。

## 1.3.4.1 [Set Partition Name] ボタン

[Partition Name] の各セルにパーティション名を入力して、[Set Partition Name] ボタンをクリックすると、 各パーティションに対する名前が設定されます。

# 1.3.4.2 [Add SB/IOU to Partition] または [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面

モデルにより表示画面および表示条件が異なります。[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティション を選択して[Add Unit] ボタンをクリックすると、[Add SB/IOU to Partition] 画面または[Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面が表示されます。現在 Free 状態である SB、IOU、Extended Partitioning を選択し、指 定されたパーティションに組み込めます。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:		IMEQUEST F	Active:MMB#0
System Partition User Ad	ministration <u>Network Cor</u>	ifiguration <u>Ma</u>	<u>iintenance</u>	Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup	Add SB/IO	U to Part	lition	Help
Partition Configuration	Select an SB or IOU	I to add to the	partition #0, then click the Apply Button.	
Reserved SB Configuration Power Management Setur	Eree SB/IOU	Status	Note	
Partition#0	○ SB#1	OK	Number of CPUs = 2. Memory = 32 GB	
	○IOU#1	OK	Number of PCI-Express Slots = 3	
<	>		Apply Cancel	

### 図 1.58 [Add SB/IOU to Partition] 画面

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lモデルの 場合]

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQ MCF3AC	UEST 2800E 111	-	Active:MMB#1
System Partners User	Administration Network Confi	guration Maintenar	ice		Logout
>Partition >Partition Cor	diguration				
Power Control  Console Redirection S  IPv4 Console Redir	Add SB/IOU	U/ <b>Extended</b> or Extended Partiti	Partitio	ning to Partition o the partition #3, then click the Apply Button.	Help
Partition Configuration	Free SB/IOU/Es	stended Partitioning	Status	Note	1
<ul> <li>Partition#1 Extended I</li> </ul>	Partition C O SB#0		OK	Number of CPUs = 2, Memory = 64 GB	8
Partition#2 Extended I	O IOU#0	⊖ IOU#0		Number of PCI-Express Slots = 4	
Reserved SB Configure	O Extended Par	titioning#5	OK		
Power Management S	O Extended Par	titioning#6	OK		
Partition#1	O Extended Par	rtitioning#7	OK		
Partition#2	O Extended Par	rtitioning#8	OK		
D Partition#3	O Extended Par	rtitioning#9	OK		
Partition#10 Partition#11	>			Apply Cancel	

図 1.59 [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面

#### 備考

各 Free SB、IOU、Extended Partitioning の表示にはラジオボタンが付いていて、同時に複数選択はできません。 PRIMEQUEST 2800E3/2800L3/2800E2/2800L2/2800E/2800L モデルの場合、搭載 CPU 数が 1 個の SB は、2SB 以上のパ ーティションに組み込まれないようにチェックされます。

- 1SB で 1 パーティションを構成する場合に限り、1SB あたり 1CPU の搭載を許可する。
- 複数 SB で 1 つのパーティションを構成する場合は、1SB あたり 2CPU の搭載が必須となる。

Memory Scale-up Board をパーティションに組み込む場合、1 つ以上の SB をパーティションに組み込む必要があります。

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance、または Cold System Maintenance) が設定さ れている場合、保守モードを設定したユーザー(保守者、または Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。 保守対象外のパーティションの場合は、メッセージが表示され、操作できません。

Dynamic Reconfiguration Mode が有効のパーティションに Memory Scale-up Board を組み込もうとした場合、メッセージダイアログが表示され、操作できません。

### 表 1.70 [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目

項目			内容		
Free SB/IOU	フリーの状態(どのパーティションにも属していない状態) の SB/IOU を表示する。				
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S				
	Lite/2400S/240	Lite/2400S/2400E/2400L/2800E/2800L モデルで利用可能です。			
Free SB/IOU/Extended	フリーの状態(と	ごのパーティショ	ンにも属していない状態) の SB/IOU/Extended		
Partitioning	Partitioningを表示する。				
	PRIMEQUEST 2	400E3/2400L3/2	2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モ		
	デルで利用可能	です。			
Status	SB/IOU/Extended Partitioning の状態を表示する。				
Note	SB の場合	Number of	SB に搭載されている CPU の数を表示する。		
		CPUs	Memory Scale-up Board の場合は表示されません。		
		Метогу	SB に搭載されているメモリ量を表示する。		
	IOU の場合	Number of	IOU の PCI-Express スロット数を表示する。		
		PCI-Express			
		slots			
	Extended	表示なし。			
	Partitioning				
	の場合				

### (1) メニュー操作

- [Partition] [Partition Configuration] [Add Unit] ボタン
- (2) 画面操作
  - パーティションに組み込みたい SB または IOU を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。 確認のダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     SB または IOU が組み込まれます。
  - [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
     [Partition Configuration] 画面に戻ります。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。 [PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

メッセージ番号	メッセージ文
E_00045	Free node doesn't exist.
E_00110	Failed to add the SB or IOU to the partition.
E_00112	Unable to add the specified SB#%aa to the partition due to CPU mismatch between
	SBs.
E_00424	Unable to add the specified SB to the partition due to CPU composition abnormal.
E_00425	Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM composition abnormal.
E_00490	Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM does not satisfy
	requirements of Mode.
W_00505	Unable to set configuration because the power on/off is processing.
	Please execute it after a while again.
E_00519	Unable to add the specified SB to the partition due to SB composition abnormal.
W_00593	Unable to add the specified SB to the partition due to Dynamic Reconfiguration
	Mode.
W_00623	Unable to add SB to the partition because Extended Partitioning doesn't support
	multiple SB configuration except SB#0-1 or SB#2-3.
W_00627	Unable to add SB to the partition because Extended Partitioning doesn't support
	Reserved SB in multiple SB configuration.

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L モデルの 場合]

メッセージ番号	メッセージ文
E_00045	Free node doesn't exist.
E_00110	Failed to add the SB, IOU or Extended Partitioning to the partition.
E_00112	Unable to add the specified SB#%aa to the partition due to CPU mismatch between
	SBs.
E_00424	Unable to add the specified SB to the partition due to CPU composition abnormal.
E_00425	Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM composition abnormal.
E_00490	Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM does not satisfy
	requirements of Mode.
W_00505	Unable to set configuration because the power on/off is processing.
	Please execute it after a while again.
E_00519	Unable to add the specified SB to the partition due to SB composition abnormal.
W_00593	Unable to add the specified SB to the partition due to Dynamic Reconfiguration
	Mode.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照してください。 複数のエラーが検出された場合には、ダイアログボックス内に複数のエラーが表示されます。

# 1.3.4.3 [Remove SB/IOU from Partition] または [Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition]画面

モデルにより表示画面および表示条件が異なります。[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティション を選択し、[Remove Unit] ボタンをクリックすると[Remove SB/IOU from Partition] 画面または[Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面が表示されます。指定されたパーティションから SB、IOU、 Extended Partitioning を選択し、取り外せます。

[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合]

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST MCXXXXXXX		Active:MMB#0
System Paratien User.	Administration Network Cor	figuration Mainte	03000	Logout
Partition >Partition Con     Power Control     Schedule     Console Redirection S     Partition Configuration     Research SB Configuration	Remove S Select an SB or 1	<b>B/IOU fro</b> OU to remove fro	m Partition m the partition ≠0, then click the Apply Button.	(Help)
Partition#0	SBIOU	Status	Note	
Partition=1	O SB#0	OK	Number of CPUs = 2, Memory = Unknown	
	OIOU≠3	OK	Number of PCI-Express Slots = 2	
¢	2		(Apply) Cancel	

### 図 1.60 [Remove SB/IOU from Partition] 画面

[PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lモデルの 場合]

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQU MCF3AC1	EST 2800E 11	Active:MMB#1
System Partners User	Administration Network Confi	guration Maintenand		Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection 5     IPv4 Console Redir     IPv4 Console Redirection 5	Remove SB/ Setup rection Se Select an SB or IOU	IOU/Extend	ed Partitioning from Partition ning to remove from the partition #3, then click the Apply Bu	Help)
<ul> <li>Partition Configuration</li> </ul>	n SB/IOU/Extend	ed Partitioning Statu	i Note	
Partition#1 Extended      Partition#1 Extended	Partition C OSB#3	OK	Number of CPUs = 2, Memory = 64 GB	
Partition#2 Extended     Partition#3 Extended	Partition C OIOU#3	OK	Number of PCI-Express Slots = 4	
Reserved SB Configure	Extended Pa	rtitioning#11 OK		
<ul> <li>Power Management 5</li> <li>Partition#1</li> <li>Partition#2</li> <li>Partition#3</li> <li>Partition#4</li> <li>Partition#10</li> <li>Partition#11</li> </ul>	Setup			
<	>		Apply Cancel	

図 1.61 [Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance、または Cold System Maintenance) が設定されている場合、保守モードを設定したユーザー(保守者、Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。保守対象外の パーティションの場合は、メッセージが表示され、操作できません。

表 1.71	[Remove SB/IOU/Extended Partitioning	g to Partition] 画面の表示	・設定項目
--------	--------------------------------------	-----------------------	-------

項		内容									
目											
SB/IOU	パーティションに	こ属している SB/IOU	」を表示する。								
	PRIMEQUEST 24	00S3 Lite/2400S3/	2400S2 Lite/2400S2/2400S								
	Lite/2400S/2400	)E/2400L/2800E/28	300L モデルで利用可能です。								
SB/IOU/Extended	パーティションに	こ属している SB/IOU	J/Extended Partitioning を表示する。								
Partitioning	PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデル										
	で利用可能です。										
Status	SB/IOU/Extende	d Partitioning の状	態を表示する。								
Note	SB の場合	Number of CPUs	SB に搭載されている CPU の数を表示する。								
			Memory Scale-up Board の場合は表示されません。								
		Memory	SB に搭載されているメモリ量を表示する。								
	IOU の場合	Number of	IOU の PCI-Express スロット数を表示する。								
		PCI-Express slots									
	Extended	表示なし。									
	Partitioning の										
	場合										

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition Configuration] - [Remove Unit] ボタン

- (2) 画面操作
  - パーティションから取り外したい SB または IOU を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。 確認のダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     SB または IOU が取り外されます。
  - [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
     [Partition Configuration] 画面に戻ります。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文					
E_00022	The partition doesn't have a node.					
E_00111	Failed to remove the SB, IOU or Extended Partitioning from the partition.					
W_00505	Unable to set configuration because the power on/off is processing.					
	Please execute it after a while again.					

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.4.4 [Partition Home] 画面

[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティションを選択して[Home] ボタンをクリックすると、 [Partition Home] 画面が表示されます。

図 1.62 [Partition Home] 画面

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System User >Partition >Partition Con	Administration <u>Network Conf</u> Eguration	iguration Maintenance	Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection S     Partation Configuration     Partation State ARR. Con     Reserved SB Configure	Partition H	<b>ome</b> or the partition #3, then click the Apply Button.	Heb
Partition=0     Partition=1     Partition=1     Partition=1     Partition=7     Partition=9     Partition=10     Partition=11	SB ⊕SB#3	OK.	
<	8	[Apply] Cancel]	

1. Home SB にする SB をラジオボタンで選択します。

Home 設定されている SB(Memory Scale-up Board を除く)に限り、未実装の場合、背景色が灰色で表示さ れます。灰色で表示されている行のラジオボタンから灰色で表示されていない行のラジオボタンへの変更は 可能ですが、いったん灰色で表示の行から選択が外れると、再度元のラジオボタンは選択できません。 Home SB 未設定時は、デフォルトとしてパーティションに最初に組み込まれた SB(Memory Scale-up Board を除く)が Home となります。ただし、Home SB が Remove されたり縮退した場合には、最も小さい番号の SB(Memory Scale-up Board を除く)が Home SB になります。

- [Apply] ボタンをクリックします。
   確認ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 処理を継続する場合は[OK] ボタンをクリックします。 キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。
- [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
   [Partition Configuration] 画面に戻ります。
   [Apply] ボタンをクリックしたときに対象パーティションの電源がオンの場合は、[Home] の変更はできません。警告ダイアログボックスが表示されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。								
メッセージ番号	メッセージ番号 メッセージ文							
E_00022	The partition doesn't have a node.							
W_00423	The partition home cannot be changed while the partition is running.							
	Please try to change the partition home after the partition is shutdown.							

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

#### 

この画面は PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 で利用可能です。 [Partition#x Extended Partitioning Configuration] メニューには、[SB]、[IOU]、[PCI\_Box] の画面があります。ここ ではこれらの画面と操作について説明します。

Partition#x Extended Partitioning Configuration メニューは、Partition -> Partition#x -> Mode で物理パーティションの Extended Partitioning Mode を Enable 設定にした場合に表示され、拡張パーティションの構成変更が可能になります。

### 操作時の注意

- Partition の Power On 中の構成変更(設定)は行わないでください。
- 拡張パーティションの変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

### 1.3.5.1 [SB]画面

Partition#x Extended Partitioning Configuration -> SB メニューを選択すると、拡張パーティションに対する SB の資 源割り当て設定画面が表示されます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number Serial Numb Status:	t M ert N	PRIMEQUES MCF3AC111						i de la			Acti	ve:MMB#1
System Paratice User A >Partition >Partition#2 Exto	dministration Netw ended Partition Con	ork Configuration	Maintenance										Logout
Power Control      Schedule      Console Redirection Set      Partition Configuration      Partition#1 Extended Par      Statement Partition#3 Extended Par      Reserved SB Configuration      Power Management Set      Partition#1      Partition#2      Partition#2      Partition#3      Partition#4      Partitio#4      Partitio#4      Partitio#4      Partitio#4      Partiti	entition C printion C printi	aded Partition utition Name, Numb- buttons), or select r dect SKT Binding op ging configurations, or y home SB has the for and USB ports (Port USB2/rKVMS (insec	er of CPU Cr adio buttons vition, check "" lick "Apply" slowing hards #0, #1) parable) ard USB par	gur: of oth SKT I button ware r	ation o (directly or er SB resou Binding" che esources to	f SI by cli rces. eck be be co	3 Resou cleing SKT - To select D xx. onfigured to	+/- bu PEMEM Exter	es attons), N I EXCL o nded Par	femory option, o	GB (direc check the	tty or by clic "Memory EX	Help king CCL" check
Partition#10     Partition#11					CPU	_	Memory	-		Home	SB	SB#2	
- Panakow 1		Partition Name	Power Status	S K T	CORE	D I M M	GB	E X C L	SKT Binding	USB1	VGA/ USB2/ rKVMS	PCI Slot	
<	>				A	pply	Cancel						

図 1.63 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面(1)



図 1.64 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面(2)

Partition Name を入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡張パーティションに対して名前が設定されます。

割り当てたい CPU コア数を直接入力するか、CPU SKT +/- ボタンで CPU コア数をソケット単位で入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡張パーティション に対して割り当てる CPU コア数が設定されます。

拡張パーティションのファームウェアは、拡張パーティションの性能に影響を与えずに共通部の管理を独立して行うために、1コアを占有します。

そのため、拡張パーティションに割り当て可能な CPU コア数は、拡張パーティションの親となる物理パーティションの 全 CPU コア数-1となります。

割り当てたいメモリを GB 単位で直接入力するか、Memory DIMM+/- ボタンで Memory GB 数をメモリグループ(指定 した拡張パーティション内で最大容量の DIMM2 枚分)単位で入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡 張パーティションに対して割り当てるメモリが設定される。

1 つまたは複数の Partition に対して、Memory EXCL チェックボックスにチェックを入れて「Apply」ボタンをクリック すると、チェックを入れた拡張パーティションに対して DIMM を排他的に割り当て、他の拡張パーティションと物理 DIMM を共有しないようになります。排他の単位は、ある CPU ソケット配下の全 DIMM 容量ですが、OS が使用できる のは、GB 単位で指定された容量になります。

SKT Binding チェックボックスにチェックを入れて「Apply」ボタンをクリックすると、チェックを入れた拡張パーティションに対して割り当てる CPU を 2 ソケットに固定し、 コア数とその CPU の配下のメモリを割り当てます。

USB1、VGA/USB2/Remote KVMS、PCI スロットの割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックする と、指定した Partition に対して資源が割り当てられます。

VGA/USB2/rKVMS の変更時、VGA/USB2/rKVMS を割り当てない運用をユーザーに促すためにメッセージダイアログ (I\_00604)を表示します。

CPU CORE、Memory GB は Free が 0 になるとそれ以上割り当てることはできません。

同じ物理パーティション上に複数の拡張パーティションが存在している場合, Power On している拡張パーティションの Partition Name 以外の設定変更はできません。Power On していない拡張パーティションでは設定変更が可能です。 分割元の物理パーティション が保守中には Partition Name 以外の設定変更はできません(エラーメッセージを表示)。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルし、変更内容は破棄されます。

Apply または Cancel ボタンをクリックして、Partition Configuration ページに戻ります。

縮退されている CPU コアおよびメモリ は Free から減らして表示されます。Free の総量を超える資源が縮退された場合、Free は 0 と表記されます。

この場合、資源は若番の拡張パーティションから優先的に割り当てられます。

そのため、老番のパーティションでは設定した資源が割り当てられない可能性があります。

分割元の物理パーティションの Memory Operation Mode を「Normal Mode」または「Performance Mode」にした 状態で拡張パーティションにメモリを割り当てた後、「Partial Mirror Mode」、「Full Mirror Mode」、「Spare Mode」のいずれかに変更した場合も拡張パーティションに割り当てられる Memory が減少し、老番のパーティション では設定した資源が割り当てられない可能性があります。その場合は再設定してください。

動作している Memory Operation Mode によって、Memory DIMM +/- ボタンで自動的に増減するメモリ容量は物理パ ーティション内で最大容量の DIMM2 枚分の容量です。

Memory Operation Mode	Memory の割り当て粒度(※)	備考
Performance Mode	Partition 内で最大容量の DIMM2	割り当て可能な総容量は実際の容量から 2GB 引いた
Normal Mode	枚分の容量	値になる。
(Default)		
Partial Mirror Mode		割り当て可能な総容量は実際の容量のうち Home
		SB に搭載されたメモリ容量の半分に非 HomeSB に
		搭載されたメモリ容量を加え,2GB 引いた値にな
	-	る。
Full Mirror Mode		割り当て可能な総容量は実際の容量の半分から 2GB
		弓いた値になる。
Spare Mode		割り当て可能な総容量は実際の容量の 2/3 から 2GB
		引いた値になる。
		Spare モードで Extended Partitioning を使用する
		場合は全 Channel で同一容量の DIMM を搭載する
		こと。

- Memory EXCL 有効時に DIMM を混載すると端数の DIMM が発生した場合にその DIMM が使用されなくなるため, EXCL 有効時は DIMM を混載しないことを推奨する。

- 拡張パーティションのファームウェアでメモリを 2GB 使用するため, 拡張パーティションに割り当て可能なメ モリの総容量はその分少なくなる。

Address Range Mirror Mode を使用している場合、拡張パーティションのファームウェアは、4GB のメモリを使用するため、パーティションに割り当て可能な Memory の総容量は実際の容量から 4GB 引いた値になります。

表 1.72	[Extended Partitioning	Configuration of SB Resources]	画面の表示・設定項目
	L J		

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示する。
	物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示する。
Partition Name	拡張パーティションに付けた名前を表示、設定する。
	名前は16 文字まで入力可能である。
	Partition Name には英数字、半角スペース、#(シャープ)、_(アンダーライン)、-(ハイフン)
	を使用できる。
	(参考)
	OS 上で設定する Host Name と同じ名前を設定すると分かり易い。
	デフォルト値:Partition Name のデフォルトは設定なし。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby
CPU SKT	拡張パーティションに割り当てる CPU Core を Socket 単位で増減させるボタンを表示する。
	・ "+"は CPU Socket 単位で CPU Core の値を増やす。
	・ "-"は CPU Socket 単位で CPU Core の値を減らす。
CPU CORE	拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示、設定する。
	拡張パーティションのファームウェアが、拡張パーティションの性能に影響を与えることな
	く、共有部の管理を独立して行うには1コアを占有する必要があるため、拡張パーティショ
	ンに割当て可能な LPU の総 Lore 数は トコア少なくなる。
Memory DIMM	拡張ハーティションに割り当てる Memory を DIMM クルーノ単位で増減させるホタノを表
	ハッる ・ "」"は DIMM グループ単位で Momony CB の値を増やす
	- なりMMMシル・シギロC Memory な割り当てているかを表示。設定する。
Memory GB	
Momony EV(1	DIMM 排他割り当てモードを設定する。
MEIHOLY EACL	故障時の影響範囲を一つの Partition に限定するため、拡張パーティションに対して DIMM
	を排他的に割り当てる Option を選択する。本 Option を選択した場合, Memory GB で指定
	された値が DIMM グループ単位の容量に対して少ないときは DIMM グループ単位で切り上げ
	た容量が割り当てられる。但し、OSには指定された容量だけを見せる。
SKT Binding	CPU ソケット固定割り当てモードを設定する。
	LPU Socket 数に応じて課金するライセンス体系のソフトワェアに対応するため、ある 2LPU
	Socket とその配下の DIMM からのみ (PU、Memory 資源を割り当てる(Partition 排他では
	ない)。本 Optionを選択した場合、CPU Core や Memory GB で指定された値が実際の資源を
	上回る場合、実際に存在する資源のみが割り当てられる。
HOME SB (USB1)	Home SBの USB1 (Onboard USB Port #0/1)がどの拡張パーティションに属しているかを表
	示、設定する。 Home SP の VC A/USP2/sV/MS (Ophoard VC A Dest, Ophoard USP Dest#2/2, Demote K/MS)
Home SB	Home SD の VQAVOSD2/IKVMS(ONDOALD VQA POIL, ONDOALD OSD POIL#2/5, Kennole KVMS)
(VGA/USB2/rKVMS)	ルCの11/11次ハーナインヨノに周しているかで衣示、設正9 る。
SB#x (PCI Slot)	SB#x の PCI Slot(SB RAID) がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定する。
Ггее	どの拡張パーティションにも割り当てられていない資源を表します。

Partition->Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示する。

図 1.65 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] no Extended Partitioning 画面

FUJITSU	Model: Part Number Serial Numb	r: N er: II	RIMEQUE ICF3AC111	ST 28	00E				124			Ac	tive:MMB#1
and the second	Status:	N	formal										
System Partners User	Administration Netv	work Configuration	Maintenance										Logout
Partition 2 attractive 2 is      Schedule      Console Redirection S      Partition Configuration      Partition#1 Extended P      Dattition#2 Extended P      I SB      IOU#2      Partition#3 Extended 1	etup Settition C Settition C Settition C Settition C Settition C	ided Partitio y home SB has the fo and USB ports (Port USB2/rKVMS (inse	n Confi slowing hards #0, #1) parable)	gur: ware n	ation o	f SE	Resou	Exter	es ided Par	titioning	L		Help
Reserved SB Configure Power Management Sectors Sectors 10 (1997)	abon	ard VGA port, Onbo	and USB por	ts (Po	(( +2, +3),	Kemo	e KvM an	d Sto	dage.		65	00.00	
Partition#1     Partition#2     Partition#3     Partition#4	2	Partition Name	Power Status	S K T	CORE	D I M M	GB	E X C L	SKT Binding	USB1	VGA/ USB2/ rKVMS	PCI Slot	
Partition=10     Partition=11		The	re are no E	xten	led Parti	tionir	ag partitic	ons o	configu	red.			v

(1) メニュー操作

```
[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [SB] ボタン
```

- (2) 画面操作
  - "Partition Name"の変更、"CPU CORE"、"Memory GB"割り当ての変更、"Memory EXCL"、" SKT Binding"オプションの変更、"USB1"、"VGA/USB2/Remote KVMS"、"PCI Slot"割り当ての変更を行 う場合は、各設定を変更後、[Apply]ボタンをクリックします。 確認のダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     資源の割当が変更されます。
  - [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
     [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面に戻ります。

### 本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00544	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this
	partition is under maintenance.
W_00545	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this
	partition is power on.
W_00589	Unable to change Resources, because this partition is powered on.
I_00604	Setting completed.
	!!! CAUTION!!!
	Assignment of "VGA/USB2/rKVMS" cannot be changed if the Extended Partition is
	powered on.
	Please release "VGA/USB2/rKVMS" after the operation.
	Note:
	"IP Address", "Video Redirection" and "Virtual Media" for all Extended Partitions must
	be enabled in "Partition -> Console Redirection Setup" menu.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

### 1.3.5.2 **[IOU]画面**

Partition#x Extended Partitioning Configuration -> IOU# ページを選択すると、拡張パーティションに対する IOU の 資源割り当て設定画面が表示されます。

FUĴÎTSU	Mod Part Seria State	lel: Number al Numbe as:	:	PRIM MCF3	EQUE:	ST 2800E							22	Active:MMB#1
System Partition Us	er Administrati	on Netw	ork Configuratio	n Mainte	mance									Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection     Partition=1 Extended	i Setup on S d Partition C	Exten	ded Partis	tion C	onfi;	gurati k 'Apply'	on butte	of J	ου	R	esot	irce	l)	Help
SB IOU#1 Partition#2 Extended Partition#3 Extended	d Partition C d Partition C	#	Partition Name	Power Status	CPU Cores	Memory GB	IOU	#1 PCI Slot	PCI Slot	PCI	PCI Slot	Disk Unit		
Reserved SB Config	guration	10		Standby	15	32	0			0	0			
<ul> <li>Power Management</li> <li>Partition#1</li> </ul>	Setup	Free			15	30	۰	0	0	•	•			
Partition#2     Partition#3     Partition#4     Partition#10     Partition#11							-	Apphy	1 C	ancel				
<	>													

### ☑ 1.66 [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources]

IOU\_10GbE の場合は PCI Slot#3 は表示されません。

GbE、PCI Slot#0~3、Disk Unit の割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した Partition に対して資源が割り当てられます。

CPU Cores、Memory GB は表示のみされます。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルします。

PCI Slot#2、#3 に PCI Box を接続するための PCNC が搭載された場合は背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。 Disk Unit が搭載されていない、もしくはカードが搭載されていない場合は背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。 拡張パーティションが Power On 中もしくは分割元の物理パーティションが保守中には設定変更できません(エラーメッ セージを表示)。

IOU のいずれかの資源を割り当てた場合、拡張パーティションにはその IOU の全 PCI Slot を見せますが、ラジオボタン で選択していない PCI Slot は、空き Slot として見えます。

表 1.73	[Extended Partitioning	Configuration of IOU Reso	ources] 画面の表示・設定項目
--------	------------------------	---------------------------	--------------------

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示する。
	物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示する。
Partition Name	拡張パーティションに付けた名前を表示する。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby
CPU CORE	拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示する。
Memory GB	拡張パーティションに何 GB の Memory を割り当てているかを表示する。
IOU#x (GbE)	IOU#x の GbE がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定する。
IOU#x (PCI Slot #y)	IOU#x の PCI Slot#y がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定する。
IOU#x (Disk Unit)	IOU#x の Disk Unit がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定する。

Partition->Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

### 図 1.67 [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] no Extended Partitioning 画面

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111 Normal	Active:MMB#1
System Partition User A >Partition >Partition#1 Ex	dministration Network Cor tended Partition Configuration	digeration Maintenance a >IOU#1	Logout
Power Control     Schedule     Schedule     Console Redirection Se     Partition Configuration     Partition#1 Extended Po	Extended I Select radio button	Partition Configuration of IOU Resources	Help
SB     IOU#1     Partition#2 Extended P:     Partition#3 Extended P:     Reserved SB Configura	etition C # Partitio	n Name Power CPU Cress GB GB GB GB GB GB Slot Slot Slot Slot Unit	
Power Management Set     Partition#1     Partition#2     Partition#3     Partition#4     Partition#10     Partition#11	nıb	There are no Extended Partitioning partitions configured.	
<	>		

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [IOU#] ボタン

- (2) 画面操作
  - 割り当てたい資源のラジオボタンで Partition を選択し「Apply」ボタンをクリックします。
     確認のダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     資源の割当が変更されます。
  - [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
     [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] 画面に戻ります。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文	
I_00544	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this	
	partition is under maintenance.	
W_00545	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this	
	partition is power on.	
W_00589	Unable to change Resources, because this partition is powered on.	
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344· 0530) を参照してください。

### 1.3.5.3 [PCI Box]画面

選択可能な場合に、Partition#x Extended Partitioning Configuration -> PCI Box# ページを選択すると、拡張パーティションに対する PCI Box の資源割り当て設定画面が表示されます。



図 1.68 [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面

PCI Slot の割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した Partition に対して資源が割り当てられます。

IOU の PCI Slot#2、#3 に PCI Box を接続するための PCNC が搭載された場合、PCNC 一枚当たり 6PCI Slot の割り当てが 可能になります。

CPU Cores、Memory GB は表示のみとなります。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルします。

拡張パーティションが Power On 中もしくは分割元の物理パーティションが保守中には設定変更できません(エラーメッ セージを表示)。

PCI Box の PCI Slot を割り当てた場合、拡張パーティションにはその PCI Slot が接続された PCNC の配下の全 PCI Slot を見せますが、ラジオボタンで選択していない PCI Slot は空き Slot として見えます。

表 1.74	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources]	画面の表示・	設定項目
--------	--	--------	------

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示する。
	物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示する。
Partition Name	拡張パーティションに付けた名前を表示する。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	• On
	• Standby
CPU CORE	拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示する。
Memory GB	拡張パーティションに何 GB の Memory を割り当てているかを表示する。
PCI Box#x	PCI Box#x の PCI Slot#y がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定する。
(PCI Slot#y)	

Partition->Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

図 1.69 [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] no Extended Partitioning 画面

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Numbe Status:	n	PRIM MCX	EQUE	ST 2800E XX	5			9 <del>1</del>	Active:MMB#0
System Partition User >Partition >Partition#2 E	Administration Netwo ixtended Partition Conf	ork Configuration iguration >PCI B	Maint ox#3	enance						Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection S     Partition Configuration     Partition#2 Extended 1	Exten	ded Partit	ion C artition,	<b>Confi</b> then clic	gurati	on o	of PC	I Box Re	sources	Help
SB IOU#2 PCI Box#3 Reserved SB Configure	ation #	Partition Name	Power Status	CPU Cores	Memory GB	PCI PCI Slot #6	Box#3 PCI PCI Slot Slot #7 #8	PCI PCI PC Slot Slot Sk #9 #10 #1	CI ot	
Power synamagement S     Partition#0     Partition#1     Partition#2     Partition#3     Partition#5	enup	т	here a	re no l	Extende	d Par	itionin	g partitions	configured.	
<	>									

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [PCI Box#] ボタン

### (2) 画面操作

- 割り当てたい資源のラジオボタンで Partition を選択し「Apply」ボタンをクリックします。
   確認のダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。
   資源の割当が変更されます。
- [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
   [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面に戻ります。

#### 本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00544	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this
	partition is under maintenance.
W_00545	Unable to change Extended Partitioning Configuration to Partition#%aa because this
	partition is power on.
W_00589	Unable to change Resources, because this partition is powered on.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.6 [Extended Socket Configuration] 画面

[Extended Socket Configuration] 画面では、Extended Socket に関する設定ができます。 この画面は PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 で利用可能です。

### 備考

- Extended Socket の変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

FUĴÎTSU	Model Part N Serial Status	l: Jumber Numb :	r: er:		PRIMEQUEST MCG3AC111 <u>Normal</u>	2800E2	Active:MMB#1
System   Partition   User Admini >Partition >Extended Socket Co	istration onfigura	<u>Netv</u> ntion	work	Configuration	<u>Maintenance</u>		Logout
<ul> <li>Power Control</li> <li>Schedule</li> <li>Console Redirection Setup</li> <li>Partition Configuration</li> <li>Partition#1 Extended Partition</li> </ul>	E: Sele	<b>xten</b>	de	d Socket	Configurat the partition, then o	ion lick the Apply Button.	Help
Extended Socket Configuration     Reserved SB Configuration	m	#	P#	Power Status	Extended Socket	Zone# none 0 1 2 3 4 5 6 7	
<ul> <li>Power Management Setup</li> <li>Partition#0</li> </ul>		4	1	On	Disabled	0 0 0 0 0 0 0 0	
Partition#1	l	5	1	On	Disabled		
Partition#2     Partition#3							
+ Partition#4							
Partition#5							
						Apply Cancel	0
>							~

### 図 1.70 [Extended Socket Configuration] 画面

ラジオボタンで Zone の設定変更後、「Apply」ボタンをクリックすると、Zone 設定が反映されます。 本設定は拡張パーティションの電源が On でも変更可能です。

拡張パーティション間の Zone の共有は、分割元が同一の物理パーティションの場合のみ可能でです。設定しようとした Zone が、別の物理パーティションを分割元に持つ拡張パーティションの Zone に既に設定されていた場合、設定変更はできません。

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示する。
	物理パーティション に割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示する。
P#	拡張パーティションの分割元の物理パーティション番号を表示する。この番号が一致する拡
	張パーティション間でのみ、共通の Zone が設定可能。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby
Extended Socket	Extended Socket が有効かどうかを表示する。
	• Enabled
	• Disabled
Zone#	拡張パーティションの Zone を選択する。
	接続先の Zone は PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 の場合は Zone0~3、
	PRIMEQUEST 2800E3/2800L3/2800E2/2800L2 の場合は Zone0~Zone7 まであり、拡張パ
	ーティション毎に、1 個の Zone を選択可能。Zone の選択はラジオボタンで選択する。
	Zone を割り当てない場合は none を選択する。
	デフォルトは none。
	Extended Socket が disable の時はグレーアウトされ、操作できない。

表 1.75	[Extended Socke	et Configuration]	画面の表示・	設定項目
--------	-----------------	-------------------	--------	------

Partition ->Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

# 図 1.71 [Extended Socket Configuration] 画面のエラー表示

	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E2 MCG3AC111	Active:MMB#0
System   Partition   User Admir	istration Network Configuration	a <u>Maintenance</u>	Logout
>Partition >Extended Socket C	onfiguration		~
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup     Partition Configuration     Extended Societ Configuration	Extended Socket	t <b>Configuration</b> r the partition, then click the Apply Button.	Help
<ul> <li>Reserved SB Configuration</li> <li>Power Management Setup</li> <li>Partition#0</li> </ul>	# P# Power Statu	s Extended Socket Zone# none 0 1 2 3 4 5 6 7	
	The	re are no Extended Partitioning partitions configured.	

### 表 1.76 [Extended Socket Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	Extended Socket Configuration の設定を変更する。
Cancel	Extended Socket Configuration の設定は変更されず元の状態に戻る。

### (1) メニュー操作

[Partition] - [Extended Socket Configuration]

### (2) 画面操作

1. Extended Socket Configuration の設定変更を行う項目の設定を行い、 [Apply] ボタンをクリックします。 Zone が設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00598	Unable to change Extended Socket configuration because this zone is already
	connected to other Extended Partitions on another Partition.
画面で表示されるメッセ·	ージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-

0530) を参照してください。

# 1.3.7 [Reserved SB Configuration] 画面

[Reserved SB Configuration] 画面では、パーティションに対して、Reserved SB を設定できます。 Reserved SB とは、パーティションに組み込まれている SB(Memory Scale-up Board を除く)内にハードウェア故障が 発生してその SB を切り離した場合、切り離した SB の代わりに新たにパーティションに組み込まれる SB です。

FUĴÎTSU	Model: Part Numbe Serial Num Status:	Model: PR Part Number: Mi Serial Number: d@ Status: Mi		UEST2800E XXX IO-						Active:MMB#0
System Parmer User A	dministration Net	work Configuration	Maintenan	22						Logout
Power Control     Power Control     Console Redirection Se     Console Redirection Se     Porthics Configuration     Reserved SB Configuration	tion Check	erved SB Cor the check boxes of th	nfigur: : partitions	ation s to register th	e Res	erved	SB, 1	hen cl	ck the Apply button.	(Help
Partition#0     Partition#1		# Partition Nam	Power	Mirror Mod	e SB					
D COLUMNITY		0 hasachi	Status	(setting)	2		2	2		
		1 take	Standby	-						
		2	( stands )	Disable	T	ī		1.		
		3		Disable						
	Re	served						100		
		Free								
<	3					A	pply	Can	*	

### 図 1.72 [Reserved SB Configuration] 画面

搭載されていない SB 又は、Memory Scale-up Board の場合はグレーアウトします。

PRIMEQUEST 2800E3/2800L3/2800E2/2800L2/2800E/2800L の場合は、Reserved SB に設定する際、指定したパーティションに組み込まれている SB の CPU 数を参照して、以下の搭載条件を確認します。

- 1SB で 1 パーティションを構成する場合に限り、1SB あたり 1CPU の搭載を許可する。

- 複数 SB で 1 つのパーティションを構成する場合は、1SB あたり 2CPU の搭載が必須となる。

TPM 機能を使用するパーティションには、Reserved SB の設定は行えません。

Partition に Fixed I/O Mode が指定されている場合も、Reserved SB の設定は行えません。

搭載条件を満たさない場合はメッセージが表示され、Reserved SB 設定はできません。

パーティションに設定されている Memory Operation Mode の要件を満たさない DIMM 構成の SB を、Reserved SB に 設定しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されます。確認のダイアログボックスには、Reserved SB に切 り替わったときに Memory Operation Mode が変更される旨の警告メッセージが表示され、Reserved SB の設定を続け るかどうか確認されます。

1 つのパーティションに複数の Reserved SB が登録されている場合は、SB 番号の小さい順に Reserved SB として機能します。

### ■ Reserved SB 設定の留意事項

[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、存在しないパーティションにも Reserved SB を設定することがで きます。誤設定にご注意ください。Reserved SB が設定したいパーティションに正しく設定できているか確認してくだ さい。

- 例: パーティション#1 に SB および IOU 資源が割り当てられていないケース。
  - [Partition] [Partition Configuration]画面では、下図の通り、パーティション#1 は SB および IOU が割り当 てられておらず、存在していません。

Power Control     Schedule     Console Redirection Setup     Partition Configuration     Extended Socket Configuration	<b>Partitic</b> Select a parti	Partition Configuration Select a partition, then click the Add/Remove Unit, Set Partition Name, or Home buttons to configure the partitio												
Reserved SB Configuration     Power Management Setup     Partition#0	ш	Partition Name	Power Status	S	IOU			Extended Partitioning						
	π			0	1	0	1	2 3	2	3	4	5		
	00	P#0	Standby	Н		٠								
	• 1							-		J				
	Reserved								13					
	Free	6			•	1.1		100	٠	•	•	•		
	Note) R H	represents Reserved represents Home SI represents Installed	l SB B SB/IOU/Extended	Partit	ioning	othei	r tha	in the	abov	e				

・ [Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、次図の通り、SB#0 を存在しないパーティション#1 の Reserved SB として設定できます。

System Partition User Administratio >Partition >Reserved SB Configuration	n <u>Network Conf</u>	guration Maint	enance				
<							
Power Control Schedule Console Redirection Setup Partition Configuration Extended Socket Configuration	Reserve Check the che	<b>d SB Con</b> eck boxes of the	<b>figur</b> a partitions	a <b>tion</b> to register the	Rese	rved	SB, then click the Apply button
Reserved SB Configuration     Power Management Setup	#	Partition Name	Power Status	Mirror Mode (setting)	SB 0	1	
Partition#0	0	P#0	Standby	Disable			
	1			Disable	Y		
	Reserved Free					•	

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示する(0~3)。
	Reserved : Reserved SB
	Free : Free SB
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
Power Status	パーティションの電源状態が表示される。
	· On
	• Standby
Mirror Mode(setting)	パーティションに対する Mirror Mode の設定値を表示する。
	・ Enable:Mirror Mode が設定されている
	・ Disable: Mirror Mode が設定されていない
SB	SB がどのパーティションに属しているかが表示される。
	Reserved SB または Free SB に対応するセルには、対応する行のパーティションにその SB
	を Reserved SB として登録するためのチェックボックスが表示される。

### 表 1.77 [Reserved SB Configuration] 画面の表示・設定項目

### 表 1.78 [Reserved SB Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると Reserved SB として設定される。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、Reserved SB として設定されず元の状態に戻る。

### (1) メニュー操作

[Partition] - [Reserved SB Configuration]

### (2) 画面操作

- 1. Reserved SB の対象とするパーティションのチェックボックスをオンにします。
- 2. [Apply] ボタンをクリックします。
本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00098	Failed to get the Replacement Condition
E_00100	Failed to set the Replacement Condition
E_00113	Unable to register the specified SB#%aa as a Reserved SB due to CPU mismatch
	between SBs.
E_00114	The specified SB#%aa cannot be registered as a Reserved SB.
I_00223	Unable to change the specified SB(s) because the partition including the specified SB(s) is under maintenance.
E_00419	Unable to register the specified SB#%s as a Reserved SB due to unsupported CPU configuration.
E_00420	Unable to register the specified SB#%s as a Reserved SB because the DIMM does not satisfy requirements of Mode.
E_00421	No change.
E_00460	Unable to set the specified SB to the partition due to CPU composition abnormal.
W_00481	Unable to register the specified SB#%s as a Reserved SB due to the home SB is TPM enabled.
W_00492	Unable to register the specified SB#%d as a Reserved SB due to Partition is Fixed I/O Mode.
W_00493	Unable to register the specified SB#%d as a Reserved SB due to abnormal DIMM composition.
1 00494	The DIMM does not satisfy requirements of Mode.
_	If you register the specified SB%s as a Reserved SB, Mode will be disabled when switching to specified SB.
W 00520	Ale you sure to continue?
w_00320	composition.
W_00626	Unable to register Reserved SB because Extended Partitioning doesn't support
	Reserved SB in multiple SB configuration.
W_00628	Since the setting of ASR counter for Partition#%d [Partition >Partition#%d >ASR
	Control >Number of Restart Tries] is zero, Reserved SB doesn't work when error event
	occurs on the SB. Please change the ASR counter for Partition#%d to more than 1 if you
	want to avoid the situation.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照してください。 複数のエラーが検出された場合には、ダイアログボックス内に複数のエラーが表示されます。

# 1.3.8 [Power Management Setup] 画面

[Power Management Setup] 画面では、パーティション単位に Power Saving の設定できます。 Power Saving の設定は、システムとしての Power Save Control が Enable の場合のみ設定が可能となります。 System Power Save Control の設定が Disable の場合、本画面の表示は灰色で表示され設定ができません。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUI MCF3AC11 Normal	EST 2800E			Active:MMB#0
>Partition >Power Managen	ministration <u>Network Configu</u> nent Setup	ration <u>Maintenance</u>				Logout
<ul> <li>Power Control</li> <li>Schedule</li> <li>Console Redirection Setu</li> <li>Partition Configuration</li> </ul>	Power Mana Click the Apply Buttor	<b>gement Setu</b> to apply all changes.	р			(Help)
<ul> <li>Power Management Setu</li> <li>Partition#0</li> </ul>	p # Partition Name	Power Control Status	Power Save Control	Power Save Grace Period	Action reaching Power Save	
	0	Normal	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	0 min	Partition Power Off	
			(	Apply Canc	el	

図 1.73	[Power Management Setup] 🛙	画面
--------	----------------------------	----

項目	内容				
#	パーティションを識別するための番号を表示する(0~3)。				
	ただし、SB/IOU が登録されているパーティションのみ表示する。				
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。				
Power Control Status	各パーティションのパワー制御機能の動作状態を表示する。				
	・ Normal: 通常動作状態。消費電力制限のための動作率抑止機能は働いていないこと				
	を示す。				
	・ Power Saving :動作率抑止中であることを示す。				
Power Save Control	パーティション単位に、Power Saving 機能の有効・無効を設定する。				
	• Enable				
	• Disable				
	System Power Save Control か Enable の時のみ設定が可能でのり、Disable の時は次巴で				
	Extended Partitioning 機能か有効な場合は操作を抑止する。				
	デフォルトは Enable。				
Power Save Grace	パーティション単位に、Limit 閾値を超過した場合のシャットダウン待ち時間を設定する。				
Period	0~99 分の範囲で指定する。				
	パーティションの Power Save Control が Enable 時に有効な項目であり、Disable 時は灰色				
	で表示される。				
	デフォルトは5分。				
Action reaching Power	パーティション単位に Limit 閾値超過待機時間後の動作設定を行う。				
Save	· Continue :稼働中のパーティションを動作継続する。				
	· Partition Power Off :稼働中のパーティションを Power Off する。				
	<ul> <li>Paritition Force Power Off: 稼働中のパーティションを Force Power Off する。</li> </ul>				
	パーティションの Power Save Control が Enable 時に有効な項目であり、Disable 時は灰色				
	で表示される。				
	デフォルトは Partition Power Off。				

表 1.79 [Power Management Setup] 画面の表示・設定項目

#### 表 1.80 [Power Management Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	Power Management Setup を設定を変更する。
Cancel	Power Management Setup の設定は変更されず元の状態に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Partition] - [Power Management Setup]

#### (2) 画面操作

 Power Management Setup の設定変更を行う項目の設定を行い、 [Apply] ボタンをクリックします。 接続が設定されます。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文		
I_00013	Setting completed.		
W_00426	Invalid values specified.		
E_00098	Failed to get Partition Power Management.		
E_00098	Failed to get the system configuration.		
W_00559	Jnable to set Power Save Control because PSU type is not PSU_P.		
W 00560	Unable to set Partition Power Save Control because System Power Save Control is		
E 00100	Failed to set Partition Power Management.		
W_00603	Unable to set Partition Power Save Control because Extended Partitioning Mode is		
	enabled.		

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

# 1.3.9 [Partition#x] メニュー

[Partition#x] メニューには、パーティションに対する以下の設定・表示ができます。

- ステータス表示
- ASR 条件設定
- ビデオリダイレクションの表示
- 各種モード

### 1.3.9.1 [Information] 画面

[Information] 画面には、パーティションのステータス、およびパーティションに関する各種情報が表示されます。 拡張パーティションでは表示画面が異なります。

```
[物理パーティションの場合]
```

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System User Ad	ministration Network Configurati	ion Maintenance	Logour
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup	Information		Refresh Help
Partition Configuration	Partition Name	PQ2800E=07 p0	1
Partition=3 xPAR Configu	Power Status	Os	
Reserved SB Configuration Reserved SB Configuration	System Progress	OS Running	
Teformation	Core / Max Core	30/30	
ASR Control	Physical Memory Size	64GB	
Cossole Redirection Node Particlon#1 Particlon#2 Particlon#2 Particlon#3 Particlon#7 Particlon#10 Particlon#11			

#### 図 1.74 [Information] 画面

#### [拡張パーティションの場合]

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST MCF3AC111	C 2800E	Active:MMB#1
System Partition User >Partition >Partition#10	Administration Network Confi >Information	guration Maintenance		Logent
Power Control     Schedule     Console Redirection 5	Information	i.		Refresh
Partition Configuration	Partition Name			
Partition#1 Extended	Partition C Power Status		Standby	
Partition#2 Extended	Partition System Progress		Power Off	
Partition#5 Extended	Assigned Core /	Requested Core	-/15	
Dower Management S	Assigned Memo	ry Size / Requested Mem	ory Size -/ 32GB	
Partition#1     Partition#2     Partition#3     Partition#4     Partition#4     Partition#10     Information     ASR Control     Console Redirectio	a.			
Mode				
Partition#11	>			

### 図 1.75 [Information] Extended Partitioning 画面

項目	内容
Partition Name	パーティションの名前を表示する。
Power Status	パーティションの電源状態を表示する。
	· On
	• Standby
System Progress	パーティションの進行状況を表示する。
	・ Power Off: パーティションは電源が切断されている状態である。
	・ Power On In Progress: パーティション電源投入の進行中である。
	・ Reset: パーティションのリセット中である。
	・ EFI:UEFI MENU 画面を表示した状態でのる。
	<ul> <li>BOOL: US ノート中でのる。</li> <li>OS Duraning: OS お動状能である。</li> </ul>
	・ US KUIIIIIII · US 修動状態でのる。
	・ US SHULUOWII・US シャットタワン中でのる。 ・ Danie:パニック中である(DHELのみ)
	<ul> <li>Pallet バーシン中でのる(KHELのの)。</li> <li>Dower Off In Progress: パーティションの露頂切断の進行中である</li> </ul>
	Fower on in Flogless: ハーブインヨンの電話の回り定日中でのる。
	・ Dumping:ダンプ出力中である。
	・ Halt : Halt 中である。
	• Stop Error : $\lambda F = 2 = - \overline{c} = - \overline$
	<ul> <li>Extended Partitioning Running: 拡張パーティションのファームウェアが稼動状態で</li> </ul>
	ある。
	備考
	SVAS(Server View Agentless Service)がインストールされていない場合、実際に OS が動作
	していても「OS Running」に表示が切り替わらない。
	また、SAS が指示する「OS Shutdown」、「Panic」についても SVAS がインストールされ
	ていない場合は表示されない。
Core / Max Core	物理パーティションではパーティションに含まれる CPU コア数、Max コア数を表示する。
	コア数は、故障コア、Disabled コアを除いた数を表示する。
(Assigned Core /	Max コア数には Disable コア数も含む。
Requested Core)	
	拡張パーティションでは実際に割り当てられた CPU コア数、Extended Partition
	Configuration 画面で指定した CPU コア 数を表示する。実際に割り当てられた CPU コア 数
	は、払張ハーティションか Power UN されて個か傩定するまでの間は - と表示する。
	<b>#</b>
Dhysical Momory Sizo	相区しているといるなど。
Filysical Memory Size	初達パーティションでは実際に割り当てられたメモリ量 Fytended Dartition
(Assigned Memory	Configuration 画面で指定したメモリ量を表示する。
Size / Requested	Memory FX(L有効時、Assigned Memory Size には、DIMM グループ単位に切り上げられ
Memory Size)	た容量を表示するが、Requested Memory Size がこの値より小さい場合は、OS には
	Requested Memory Size だけを見せる。
	・ 実際に割り当てられたメモリ量は,拡張パーティションが Power On されて値が確定するま
	での間は"-"と表示する。
	備考
	表示される物理メモリ量は、実際に OS が使用できるメモリ量とは異なる。
	縮退している DIMM はメモリ量に含まない。

表 1.81 [Information] 画面の表示項目

- (1) メニュー操作[Partition] [Partition#x] [Information]
- (2) 画面操作なし

### 1.3.9.2 [ASR Control] 画面

[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面では、パーティションの自動再起動を実行する条件が設定できます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUES MCXXXXXX	T 2800E X		Active:MIMB#0
System Parmin User	Administration Network Config ASR Control	paration Maintenance			Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection S     Partition Configuration     Partitions Configuration     Partitions 3 PAR Con	ASR(Autom Click the Apply Butto	atic Server Re n to apply all changes.	start) Cont	rol	[Høb]
Reserved SS Control     Partition     Information     ASR Control     Console Redirection	ASR Number of Resta Action after exce Retry Counter	rt Tries eding Restart tries	5 Stop reboo	ting and Power Off 👱	
Mode     Partition=1     Partition=2     Partition=3     Partition=7	Boot Watchdog Boot Watchdog Timeout time (see Action when wat	onds) chdog expires	O Enable	⊕ Disable	
Partition=10 Partition=11	Software Watche Software Watche Timeout time (see Action when wat	log onds)	O Enable 300	⊗ Disable	
*	3		Appl	/ Cancel	

図 1.76 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面

項目	内容
ASR	
Number of Restart Tries	Boot Watchdog や、SVAS の Software Watchdog によってタイムアウトが発生した場合、 あるいは、ハードウェアエラーが発生し OS がシャットダウンした場合に、パーティションを 自動再起動するリトライ回数を設定する。
	回数は 0~10 回まで設定できる。0 が指定された場合はパーティションを自動再起動させ
	ず、'Action After exceeding Restart tries'で設定した動作が実行される。
	デフォルトは 5 回。
	注意
	· Reserved SB 機能を使用する場合は、1 以上に設定すること。
	· Reserved SB 機能を有効にしていて本設定値を1以上に設定している場合、パーティシ
	ョンの最初の自動再起動時に Reserved SB へ切り替わる。
Action after exceeding	Watchdog Timeout などでリスタートを繰り返し、上記のリトライ回数を超えた場合の動作 を設定する。以下の動作がある。
Restart tries	<ul> <li>Stop rebooting and Power Off: リブート処理を止め、パーティションの電源を切断する。</li> </ul>
	・ Stop rebooting:リブート処理を止め、パーティションを停止する。
	・ Diagnostic Interrupt assert:リブート処理を止め、パーティションに対して NMI 割込
	みを指示する。停止しているパーティションに対して、停止の原因調査のための調査資
	料(ダンプ) 採取を試みる。
	デフォルトは Stop rebooting and Power Off。
Retry Counter	現状のリトライ可能な回数を表示する。
Boot Watchdog	
Boot Watchdog	ServerViewのBoot Watchdog 機能の enable/disable を設定する。
bootheteneog	Enableに設定すると、OSの記動を監視する。OS 起動後に ServerView によって Boot
	Watchdogを停止する。
	デフォルトは Disable。
Timeout time	Boot Watchdog が timeout するまでの時間を設定する。
(seconds)	1~6000の範囲を設定可能。
	デフォルトは 6000 秒(=100 分)。
Action when	Boot Watchdog が timeout した場合に、どういう Action を取るかを設定する。
watchdog expires	Actionには、以下がある。
watchdog expires	• Continue
	• Reset
Caffuna ao Matakada a	
Software watchdog	Convort/ionyの Software Watchdog 機能の oppha/dicable 支部中ナス
Software Watchdog	Serverview の Software Watchdog 機能の enable/disable を設定する。 Enable に設定すると、OS 起動後に ServerView によって OS の運用を監視する。
	デフォルトは Disable。
Timeout time	Software Watchdog が timeout するまでの時間を設定する。
(seconds)	1~6000の範囲を設定可能。
	テノオルトは 300 秒(= 5 分)。

表 1.82 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Action when	Software Watchdog が timeout した場合に、どういう Action を取るかを設定する。
	Action には、以下がある。
watchdog expires	• Continue
	• Reset
	• Power Cycle
	· NMI

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00629	Since the setting of ASR counter [Number of Restart Tries] is zero, Reserved SB
	doesn't work when error event occurs on the SB. Please change the ASR counter to
	more than 1 if you want to avoid the situation.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

#### 表 1.83 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面のボタン

ボタン	内容
АррІу	[Number of Restart Tries] [Action after exceeding Restart tries] が指定されている
	と、これらの情報が設定される。
Cancel	情報は設定されず元の状態に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [ASR Control]

- (2) 画面操作
  - 1. 各項目を設定します。
  - [Apply] ボタンをクリックします。 指定された情報が設定されます。

### 1.3.9.3 [Console Redirection] 画面

[Console Redirection] 画面は、使用可能な場合に選択すると、別ウィンドウに BMC 側の Video Redirection 画面が表示 されます。

Video Redirection(HTML5)は、BC19071、BB19071、BA19071以降のファームウェア版数から利用可能です。

#### [BC19071、BB19071、BA19071以降のファームウェア版数の場合]

[Console Redirection] 画面は、ラジオボタンが選択可能な場合に[Apply] ボタンをクリックすると、別ウィンドウに BMC 側の Video Redirection 画面が表示されます。

[Console Redirection setup] 画面での設定が Disable の場合、ラジオボタンを選択することはできません。

CE Port からの利用時、IPv4/IPv6 一方の[Console Redirection setup]画面で Video Redirection 設定が Enable の場 合、ラジオボタンを選択することができます。

VGA/USB2/rKVMS 資源を割り当てた拡張パーティションでは、拡張パーティションの分割元となる物理パーティションの[Console Redirection setup]設定の IP アドレスを使用します。

#### 図 1.77 [Console Redirection] 画面(BC19071、BB19071、BA19071以降)

System   Partition   User Administration > Partition > Partition #0 > Console R	ation <u>Network Configuration</u> <u>Maintenance</u> edirection		Logout	
<ul> <li>Power Control</li> <li>Schedule</li> <li>Console Redirection Setup</li> <li>Partition Configuration</li> <li>Extended Socket Configuration</li> <li>Reserved SB Configuration</li> <li>Power Management Setup</li> <li>Partition#0</li> <li>Information</li> <li>ASR Control</li> <li>Console Redirection</li> <li>Mode</li> </ul>	Console Redirection Check the operation and click the Apply button. Operation Video Redirection Video Redirection(HTML5)		Help	
Partition#1		Apply Cancel	$\hat{\mathbf{C}}$	
< >			~	

#### 注意

Internet Explorer で Video Redirection を起動する場合は、以下のダイアログボックスで [Ctrl]キーと[Alt]キーを押し ながら[OK]ボタンをクリックします。



[Ctrl]キーと[Alt]キーを押さないで、[OK]ボタンをクリックした場合、以下の画面が表示される場合があります。この 場合は、この画面を閉じてから、再度、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。

XX.XX.XX.XX からのポップアップがブロックされました。	一度のみ許可(A)	このサイトのオプション(0) ▼	×
Firefox の場合はマウスのクリックだけで接続できます。			

CA92344-0529-22

表 1.84	[Console Redirection]	画面の表示項目(BC19071、	BB19071、	BA19071以降)
--------	-----------------------	------------------	----------	------------

項目	内容
Video Redirection	BMC 側の Video Redirection 画面を表示します。 (*1)(*2)
Video Redirection(HTML5)	BMC 側の Video Redirection(HTML5)画面を表示します。 (*1)(*2)

\*1) Console Redirection Setup 画面で Video Redirection が Enable の場合のみ選択可能であり、Disable の場合は ラジオボタンの選択ができません。

\*2) Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、Video Redirection は使用できません。また、VGA/USB2/rKVMS が割り当てられていない拡張パーティションでは、Video Redirection は使用できません。

表 1.85 [Console Redirection] 画面のボタン(BC19071、BB19071、BA19071 以降)

ボタン	内容
Apply	選択した Video Redirection のウィンドウが表示されます。
Cancel	選択した Video Redirection のウィンドウは表示されず元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [Console Redirection]

- (2) 画面操作
  - Video Redirection、または、Video Redirection(HTML5)を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。 確認のダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリック(\*3)します。
     選択した Video Redirection のウィンドウが表示されます。

```
*3) Internet Explorer の場合は、 [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。
```

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00222	Unable to %aa the Partition#%aa because this Partition is under maintenance.
I_00417	Are you sure?
W_00413	Nothing is selected.
W_00472	Unable to get the reserved WEB Session information due to WEB Session Max over.
W_00473	Unable to select radio button due to the Video Redirection option is disabled.
W_00550	Unable to select the option due to this Partition is not connected to VGA/USB2/rKVMS.
W_00551	Unable to select the option due to Extended Partitioning mode of this Partition is
	enabled.

#### [BC19051、BB19051、BA19051以前のファームウェア版数の場合]

[Console Redirection setup]画面での設定が Disable の場合、チェックボックスをオンにできません。 CE Port からの利用時、IPv4/IPv6 一方の[Console Redirection setup]画面で Video Redirection 設定が Enable の場 合、チェックボックスをオンにできます。

図 1.78	[Console Redirection] 画面(BC19051、	BB19051、	BA19051 以前)
--------	-----------------------------------	----------	-------------

FUJITSU System Partition User Admin	Model: Part Number: Serial Number: Status: iistration Network Config	PRIMEQUEST 2800E 1541326007 Normal iration Maintenance	Active:MMB#0
>Partition >Partition#0 >Conso	le Redirection		~
<ul> <li>Power Control</li> <li>Schedule</li> <li>Console Redirection Setup</li> </ul>	Console Redi	rection	Help
<ul> <li>Partition Configuration</li> <li>Reserved SB Configuration</li> </ul>	Check the operation an	d click the Apply button.	
Power Management Setup     Partition#0     Information     ASB Control	Operation Video Redirecti	n	
Console Redirection     Mode			
Partition#1     Partition#2     Partition#3			
		Apply Cancel	0
			<b>@</b> 100% 👻

#### 注意

Internet Explorer でビデオリダイレクションを起動する場合は、[Control]キーを押しながらマウスをクリックします。 また、以下のメッセージが表示された場合も、[Control]キーを押しながらマウスをクリックします。

Internet Explorer のステータスバーに表示されるメッセージ:

[このページのポップアップがブロックされました。ポップアップの表示を許可するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。]

Firefox の場合はマウスのクリックだけで接続できます。

#### 表 1.86 [Console Redirection] 画面の表示項目(BC19051、BB19051、BA19051以前)

項目	内容
Video Redirection	BMC 側の Video Redirection 画面が表示される。
	Console Redirection Setup 画面で Enable の場合のみ選択可能であり、Disable の場合はチ
	ェックボックスをオンにできない。
	Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、Video Redirection
	は使用できない。また、VGA/USB2/rKVMS が割り当てられていない拡張パーティションで
	は、Video Redirection は使用できない。

#### 表 1.87 [Console Redirection] 画面のボタン(BC19051、BB19051、BA19051 以前)

ボタン	内容
Apply	Video Redirection のウインドウが表示されます。
Cancel	Video Redirection のウインドウは表示されず元の状態に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [Console Redirection]

#### (2) 画面操作

- Video Redirection をチェックし、[Apply] ボタンをクリックします。 確認のダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。
   Video Redirection のウィンドウが表示されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00222	Unable to %aa the Partition#%aa because this Partition is under maintenance.
I_00417	Are you sure?
W_00413	Nothing is selected.
W_00472	Unable to get the reserved WEB Session information due to WEB Session Max over.
W_00473	Unable to check the Video Redirection check box due to the Video Redirection option is
	disabled.
W_00541	Nothing is checked.
W_00550	Unable to select the option due to this Partition is not connected to VGA/USB2/rKVMS.
W_00551	Unable to select the option due to Extended Partitioning mode of this Partition is
	enabled.

### 1.3.9.4 [Mode] 画面

[Mode] 画面では、パーティションに対する各種モードを設定できます。設定した値を反映するには、パーティションの 度電源をオンにする必要があります。 モデルにより表示画面および表示条件が異なります。

更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

#### 図 1.79 [Mode] 画面 (PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S)

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST	Active:MMB#1
System Partition User Admin	nistration <u>Network Configuration</u>	<u>Maintenance</u>	Logout
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup     Partition Configuration	Mode Select mode for the partition, th	en click the Apply Button.	Help
<ul> <li>Partition#1 Extended Partition</li> <li>Extended Socket Configurate</li> </ul>	Note : A partition power off/or	is required for the selections to become effective.	
<ul> <li>Reserved SB Configuration</li> <li>Power Management Setup</li> <li>Partition#0</li> <li>Information</li> <li>ASR Control</li> <li>Console Redirection</li> <li>Mode</li> <li>Partition#1</li> </ul>	Memory Operation Mode Memory Mirror RAS Mod PCI Address Mode	current status       Normal Mode         setting <ul> <li>Performance Mode</li> <li>Normal Mode</li> <li>Partial Mirror Mode</li> <li>Full Mirror Mode</li> <li>Spare Mode</li> </ul> le       current status       Mirror Keep Mode         setting <ul> <li>Mirror Keep Mode</li> <li>Capacity Keep Mode</li> <li>Current status</li> <li>PCI Segment Mode</li> </ul>	
	TPM	setting         PCI Bus Mode         PCI Segment Mode           chip status         Enabled           current status         Deactivated           ownership         Yes	
	On board LAN Mode		~
>			~

#### 図 1.80 [Mode] 画面(2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L)(1)

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUES MCG3AC111 Normal	T 2800E2	Active:MMB#1
System   Partition   User Admit	nistration Network Configu	ration Maintenance		Logout 🗸
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup     Partition Configuration     Partition#1 Extended Partitio     Extended Socket Configuration	Mode Select mode for the part Note : A partition powe	ition, then click the Ap off/on is required for	ply Button. the selections to become effective.	Help
Reserved SB Configuration	Extended Partitionin	g Mode setting	Enable  Disable	
Power Management Setup	Memory Operation	Mode current sta	tus Normal Mode	
□ Partition#0		setting	O Performance Mode	
			Normal Mode	
Console Redirection			O Partial Mirror Mode	
Mode			○ Full Mirror Mode	
Partition#1			○ Spare Mode	
Partition#2	Memory Mirror RA	S Mode current sta	tus Mirror Keep Mode	
Partition#3		setting	Mirror Keep Mode Capacity Keep Mode	
Partition#4	PCI Address Mode	current star	us PCI Segment Mode	
Partition#5		setting	PCI Bus Mode  PCI Segment Mode	
	Dynamic Reconfigur	ation current star	tus Enabled	
		setting	Enable      Disable	
	TPM	chip status	Enabled	
		current sta	tus Deactivated	~
		ownership	Yes	~
				~
< >>		ownership	Yes	

#### 図 1.81 [Mode] 画面(2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L)(2)



FUĴITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUES MCG3AC111	T 2800E3		Active:MMB#	1 ^
System   Partition   User Admini	stration Network	k Configuration Maintenance			Logo	ut
>Partition >Partition#1 >Mode						~
Power Control     Schedule     Connote Redirection Setup	N	lode			н	əlp
Console Realifection Setup     Partition Configuration     Extended Socket Configuration     Reserved SB Configuration	m N	elect mode for the partition, then ote : A partition power off/on is	click the Appl required for th	y Button. e selections to become effective.		^
Power Management Setup		Extended Partitioning Mode	setting	O Enable    Disable		
Partition#0		Memory Operation Mode	current status	Normal Mode		
Partition#1 Information ASR Control Console Redirection Mode Partition#2 Partition#2			setting	Performance Mode Normal Mode Partial Mirror Mode Full Mirror Mode Spare Mode Address Range Mirror Mode		
		Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode		
			setting	Mirror Keep Mode Capacity Keep Mode		
		Memory Sparing Mode	current status	1Rank		
			setting	IRank 2Rank Auto		
		PCI Address Mode	current status	PCI Segment Mode		
			setting	○ PCI Bus Mode		
		Dynamic Reconfiguration	current status	Disabled		
			setting	○Enable		
		TPM	chip status	Disabled		
	0	n board LAN Mode				
		IOU#1	current status	Enable(WOL disabled)		
			setting	<ul> <li>Enable(WOL enabled)</li> <li>Enable(WOL disabled)</li> </ul>		
				○ Disable		~
<	>			Apply Cancel		<>

#### 図 1.82 [Mode] 画面 (PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3)

[拡張パーティションの場合]

図 1.83 [Mode] 画面(拡張パーティション)

FUITSU	Model: Pl Part Number: M Serial Number: Status: Network Configuration	RIMEQUEST ICG3AC111 ormal Maintenance	2800E2	Active:MMB#1
>Partition >Partition#5 >Mode				V
Power Control     Schedule     Console Redirection Setup	Mode			Help
<ul> <li>Partition Configuration</li> <li>Partition#1 Extended Partition</li> <li>Extended Socket Configuration</li> </ul>	Select mode for the partition, the Note : A partition power off/on is	n click the Appl s required for the	y Button. e selections to become effective.	^
Reserved SB Configuration	Memory Operation Mode	current status	Normal Mode	
<ul> <li>Power Management Setup</li> <li>Partition#0</li> <li>Partition#1</li> <li>Partition#2</li> <li>Partition#3</li> </ul>		setting	Performance Mode     Normal Mode     Partial Mirror Mode     Full Mirror Mode     Snare Mode	
Partition#4	Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode	
Partition#5		setting	Mirror Keep Mode      Capacity Keep Mode	
Information     ASP Control	PCI Address Mode	current status	PCI Segment Mode	
Console Redirection		setting	○ PCI Bus Mode  ● PCI Segment Mode	
⊡ Mode	TPM	chip status	Enabled	
		current status	Deactivated	
		ownership	Yes	
	Extended Socket	setting	○ Enable	
			Apply Cancel	
				•
				^
< >>				~

Partition の電源がオンのときに[Apply] ボタンをクリックすると、"W\_00487 Unable to change the mode, because this partition is powered on." という警告ダイアログボックスが表示されます。 すでにパーティション電源がオフになっている場合は、このダイアログボックスは表示されず、設定が反映されます。

Extended Partitioning Mode は物理パーティションの電源状態が off の時にしか変更できません。物理パーティション が Power On 時に変更しようとすると、" W\_00552 The Extended Partitioning mode cannot be changed while the PPAR Partition is powered on. Please try to change the Extended Partitioning mode after the PPAR Partition is powered off." という旨の警告 Dialog Box を表示し、設定を抑止します。

Mirror Mode の要件を満たさない DIMM 構成の SB が Reserved SB に設定されているパーティションに対して Mirror Mode を設定しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されます。確認のダイアログボックスには、 Reserved SB に切り替わったときに Mirror Mode が解除される旨の警告メッセージが表示され、設定を続けるかどうか 確認されます。

LAN Device Mode は指定されたパーティションに含まれる IOU 単位に LAN Device Mode を表示する。 設定は IOU 単位に LAN Device Mode をラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックする。 拡張パーティションでは Extended Partitioning Mode および LAN Device Mode の設定項目は表示されず、また全ての Mode 設定は抑止され、 設定変更はできません。

Memory Scale-up Board がパーティションに含まれる場合、Dynamic Reconfiguration Mode を Enable に設定しよう とすると警告 Dialog box を表示し、設定できません。

項目	内容
Extended Partitioning	拡張パーティション機能を有効にするかどうかを設定する。
Mode	・ Enable : 拡張パーティション機能を有効にする
(setting)	・ Disable : 拡張パーティション機能を無効にする
	Extended Partitioning Mode は物理パーティションでのみ表示される。
	Partition が Power Off 時にのみ設定変更が可能。
	Dynamic Reconfiguration が有効な場合は操作を抑止する。
	Power Saving 機能が有効な場合は操作を抑止する。
	デフォルトは Disable。
Memory Operation	現在有効となっている Memory Operation Mode を表示する。
Mode	· Performance Mode : Performance Mode に設定されていることを示す。
(current status)	· Normal Mode : Normal Mode に設定されていることを示す。
	・ Partial Mirror Mode :Partial Mirror Mode に設定されていることを示す
	・ Full Mirror Mode :Full Mirror Mode に設定されていることを示す
	・ Spare Mode :Spare Mode に設定されていることを示す。
	<ul> <li>Address Range Mirror Mode : Address Range Mirror Mode に設定されていることを</li> </ul>
	示す。(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 の場合)
Memory Operation	パーティションに対する Memory Operation Mode を設定する。
Mode	Performance Mode
(setting)	Normal Mode
	Partial Mirror Mode
	Full Mirror Mode
	Spare Mode
	Address Range Mirror Mode(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/
	2400L3/2800E3/2800L3 の場合)
	設定が有効となるのは、パーティションのリブート後である。
	デフォルトは、Normal Mode。
Memory Mirror	現在有効となっている Mirror Mode 時の Memory 動作を表示する。
RAS Mode	・ Mirror Keep Mode :Mirror Mode を維持することを示す。
(current status)	<ul> <li>Capacity Keep Mode :メモリ容量を維持することを示す。</li> </ul>
Memory Mirror	パーティションに対する Mirror Mode 時の Memory 動作を設定する。
RAS Mode	Mirror Keep Mode
(setting)	Capacity Keep Mode
	設定が有効となるのは、パーティションのリブート後である。
	Full Mirror Mode もしくは Partial Mirror Mode 設定時のみ有効な項目であり、それ以外が
	設定されている場合は選択不可となります。
	デフォルトは、Mirror Keep Mode。

表 1.88 [Mode] 画面の表示・設定項目

内容
現在有効となっている Spare Mode 時の Memory 動作を表示する。
・ 1 Rank:最大 1 Rank を Spare Memory に割り当てる。
・ 2 Rank:最大 2Rank を Spare Memory に割り当てる。
・ Auto:自動で Spare Memory を割り当てる。
パーティションに対する Spare Mode 時の Memory 動作を設定する
・ Aulu
設定が有効となるのは、Pallillonの Kebool 夜でのる。
Spare Mode 設定时のの有効な項目でのり、Spare Mode か設定されていない場合は選択不可にする
現在設定されている PCI バス番号割り付けモードを表示する。
PCI Bus Mode
PCI Segment Mode
PCI Address Mode の設定は、以下の条件により決まる。
・ Dynamic Reconfiguration 機能を有効にする場合は Segment Mode に設定しなければ
ならない。
・ OS が Segment Mode に対応していない場合は Bus Mode に設定しなければならない。
・ TXT 機能を使用する際は Bus Mode に設定しなければならない。
なお、OS が Segment Mode に対応している場合は、Bus Mode/Segment Mode 双方の設定
が可能であるが、Segment Mode に設定することを推奨する。
OS が Seament Mode に対応しているかについては「製品概説(CA92344-0524)の付録」
を参照してください。
パーティションに対する PCI バス番号割り付けモードを設定する。
• PCI Bus Mode
• PCI Segment Mode
。 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後である。
デフォルトは PCI Segment Mode。
Dynamic Reconfiguration 機能が有効か無効かを表示する。
• Enable
• Disable

項目	内容
Dynamic	Dynamic Reconfiguration 機能を有効にするかどうかを設定する。
Reconfiguration	・ Enable :Dynamic Reconfiguration 機能を有効にする
(setting)	・ Disable :Dynamic Reconfiguration 機能を無効にする
	設定が有効となるのは、パーティションのリブート後である。
	以下の条件時に設定可能である。
	・ Flexible I/O モードであること
	・ 拡張パーティションでないこと
	· TXT/TPM 機能が無効であること
	デフォルトは Disable。
TPM	TPM 機能が無効か有効かを表示する。
(chip status)	・ Enabled (TPM が有効)
	・ Disabled(TPM が無効)
	備考
	パーティションの Home SB が without TPM mode である場合、本フィールドは表示されな
	い。
	(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3
	は TPM1.2/2.0 をサポートする。)
	(PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/
	2400S Lite/2400S/2400S/2400E/2400L/2800E/2800L
IPM	IPMの状態を表示する。
(current status)	Activated
	• Deactivated
	ハーティンヨノの Home SB か WITHOUT TPM MODE じめる場合、本フィールトは衣示されな
	い。 オフィール ドけ TDM1 2 塔封時のフォーナウス
	本ノイールトは IPMILZ 指戦时のの衣小される。 TDM の武方佐を実テする
(ownorship)	IPM の所有権でながする。
(ownersnip)	
	(の)(7)(行催みび) 備老
	Ming パーティションの Home SB が without TDM mode であろ堤合・木フィールドは表示されな
	本フィールドは TPM1 2 搭載時のみ表示される。
Extended Socket	Fxtended Socket 機能を有効にするかどうかを設定する。
(setting)	<ul> <li>Fnable: Extended Socket 機能を有効にする</li> </ul>
(拡張パーティションの	<ul> <li>Disable : Extended Socket 機能を無効にする</li> </ul>
Mode 画面)	
,	設定が有効となるのは、Partition の Reboot 後である。
	以下条件時に設定可能とする。
	・ Extended Partitioning Mode が Enable であること
	デフォルトは Disable。
On board LAN Mode	
100	パーティションに属している IOU を表示する。
On board LAN Mode	IOU 単位に On board LAN Mode を表示する。
(current status)	・ Enabled(WOL enabled) :AC On 状態で Onboard LAN が使用可能
	・ Enabled (WOL disabled) :パーティション Power On 状態で該当パーティションに含
	まれる Onboard LAN が使用可能
	・ Disabled :常に Onboard LAN が使用不可

項目	内容
On board LAN Mode	IOU 単位に On board LAN Device Mode を設定する。
(setting)	設定する Mode をラジオボタンより選択する。
	• Enabled(WOL enabled)
	Enabled(WOL disabled)
	• Disabled
	デフォルトは Enabled(WOL disabled)。
	On board LAN Mode は物理パーティション(Partition#0~3)でのみ表示される。
	On board LAN Mode を Disable または Enabled(WOL disabled)に設定を変更した後、再び
	Enabled(WOL enabled)とする場合は一度パーティションを起動し、WOLの設定を反映させ
	てください。

#### 表 1.89 パーティションの状態による TPM 項目の表示/非表示

		パ-	ーティションの状態	
		AC on 後で	パーティション	パーティション
		パーティション起動前	起動中	停止中
PRIMEQUEST 2400S3 Lite/	TPM 未実装 SB	~	~	~
2400S3/2400E3/2400L3/		~	^	^
2800E3/2800L3	TPM 実装 SB	×	0	$\bigcirc$
		~	0	0
PRIMEQUEST 2400S2 Lite/	TPM 未実装 SB	~	~	~
2400S2/2400E2/2400L2/		^	^	^
2800E2/2800L2/	TPM 実装 SB			
2400S Lite/2400S/2400S/		$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$
2400E/2400L/2800E/2800L				

○:表示

×:非表示

- (1) メニュー操作[Partition] [Partition#x] [Mode]
- (2) 画面操作
  - それぞれのモードを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
     確認ダイアログボックスが表示されます。
  - 2. [OK] ボタンをクリックします。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00089	Mode setting failed.
E_00090	Power Control [Reset] setting failed.
E_00461	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because the DIMM does
	not satisfy requirements of Mode.
W_00487	Unable to change the mode, because this partition is powered on.
E_00497	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because the CPU
	mismatch between SBs.
E_00498	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because the unsupported
	CPU configuration.
E_00499	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because of abnormal CPU
	composition.
E_00500	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because of abnormal
	DIMM composition.
I_00501	The SB with DIMM that does not satisfy requirements of Mode is registered as a
	Reserved SB. If you register this partition as a Mode, Mode will be disabled when
	switching to Reserved SB. Are you sure to continue?
E_00521	Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because of abnormal SB
	composition.
W_00584	The Dynamic Reconfiguration Mode cannot be changed while the Partition is Extended
	Partitioning Mode.
W_00585	Dynamic Reconfiguration Mode cannot be set to this Partition because of PCI Bus
	Mode.
W_00586	Dynamic Reconfiguration Mode cannot be set to this Partition because of Fixed I/O
	Mode.
E_00594	Dynamic Reconfiguration Mode cannot be changed due to the partition has Memory
	Scale-up Board.
W_00602	Unable to set Extended Partitioning Mode because Partition Power Save Control is
	enabled.
W_00624	Unable to set Extended Partitioning Mode because Extended Partitioning doesn't
	support multiple SB configuration except SB#0-1 or SB#2-3.
W_00625	Unable to set Extended Partitioning Mode because Extended Partitioning doesn't
	support Reserved SB in multiple SB configuration.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

### 1.3.9.5 [SSD Life Cycle Management ] 画面

本機能は、BA15082、BB15082 版以降のファームウェアから利用可能です。

[SSD Life Cycle Management] 画面では、PCI 拡張スロットに搭載されている PCIe-SSD と、SB、DU、Disk Enclosure に搭載されている SAS SSD の書き込みデータ量(write endurance)の情報を表示します。 パーティションに PCIe-SSD もしくは SAS SSD が少なくとも 1 つ以上搭載されており、PCIe SSD もしくは SAS SSD を含 むパーティションが OS Running 状態で ServerView Agentless Service(SVAS)またはクラシック Agent(SVAgent + SVRaid)が稼働中の場合に SSD の書き込みデータ量が表示されます。(\*1) (\*1) 正しく情報が表示されるまでは System Progress が OS Running の状態に変化してから、最大 5 分かかります。

備考

本画面は物理パーティションのみサポートし、拡張パーティションでは本画面は表示されません。 拡張パーティションで SSD の寿命監視を行う場合は、ServerView Agent (SVAgent)と ServerView RAID Manager (SV RAID)をインストールし、SV RAID の機能を使用してください。



#### 図 1.84 [SSD Life Cycle Management] 画面

>

項目	内容
PCIe SSDs	
Unit	PCle SSD カードが属するユニットを表示する。
Slot#	PCIe SSD カードが属する IOU または PCI_Box のスロット位置を表示する。
Capacity	PCIe SSD カードの容量を表示する。
Rated write endurance	PCIe SSD カードに書き込まれたデータ量を表示する。購入時は 0%の状態で表示され、書き込みデータが累積することで値が増加する。100%で書き込み寿命となる。
SAS SSDs	
Unit	SAS SSD が属するユニットを表示する。
Slot#	SAS SSD の搭載スロット位置を表示する。
Capacity	SAS SSD の容量を表示する。
Rated write endurance	SAS SSD に書き込まれたデータ量を表示する。購入時は 0%の状態で表示され、書き込み データが累積することで値が増加する。100%で書き込み寿命となる。

表 1.90	[SSD Life Cycle Management]	画面の表示項目
--------	-----------------------------	---------

# 1.4 [User Administration] メニュー

[User Administration] メニューでは、ユーザーアカウントの管理ができます。

# 1.4.1 [User List] 画面

[User List] 画面では、現在登録されているユーザーアカウントに対する情報が表示されます。この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXX Concernity		-	Active:MMB#0
System Partition Law	Administration Network Config	uration Maintenance			Logout
>User Administration >U	er List				
Change Password Who	User List				Help
	Click the Add Use Select a user, the	r button to add a new user. n click the Edit/Remove User button	to edit or remove	the user.	
	User Name	Ful Name	Privilege	Status	Operable Partition (for Partition Operator)
	OAdministrator	Default Administrator	Admin	Enabled	
			liger Derror	liser Can	

図 1.85 [User List] 画面

Disabled 設定されているユーザーは、灰色で表示されます。

表 1.91	[User List] 画面の表示項目
--------	---------------------

項目	内容
User Name	ユーザー名を表示する。
	ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下とする。
Full Name	ユーザー名に関係する実際の名前などを入力するフィールドとして使用する。32文字以
	т.
Privilege	ユーザーアカウントの権限を表示する。
Status	現在のこのアカウントの状態を表示する。
	• Enabled
	• Disabled
Operable Partition	ユーザーの操作可能なパーティションを表示する。
	Partition Operator 権限のユーザーアカウントの場合にのみ表示される。

表 1.92	[User List] 画面のボタン
--------	--------------------

ボタン	内容
Add User	[Add User] 画面が表示される。
Edit User	[Edit User] 画面が表示される。
Remove User	ユーザーを削除する。
Cancel	指定した情報が設定されず元に戻る。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00031	Same name already exists. User addition failed.
E_00032	No more User addition.
E_00034	Unable to change the status to Disable because the specified user is last
	Administrator.
E_00035	The user is logining. User deletion failed.
I_00041	User addition was completed
I_00042	User information editing was completed.
I_00043	User deletion was completed.
W_00463	Select a User Name.
I_00464	%aa will be removed. Are you sure?
W_00404	Password differs from the re-password.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

### 1.4.1.1 [Add User] 画面

[User List] 画面で[Add User] ボタンをクリックすると、[Add User] 画面が表示されます。 [Add User] 画面では、新規ユーザーを登録できます。 最大 16 ユーザーまで登録できます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX JOINTRAD		-		Active:MMB4
User Administration >U	ser List >Add User	tion <u>Maintenance</u>				Logo
User List Change Password Who	Add User	on to apply all changes.				E
	User Name					
	Password					
	Confirm Passwor	d				
	Privilege	⊛Admin ⊜Ope	rator OUser OC	E OPartition Op	erator	-
	Status	Enabled O Di	sabled			Sector Sector
	Full Name					(optional)
	Operable Partition	in 0	1	2	3	
	(tor Partition op	era(or)				
			Apply Canc	el		

#### 図 1.86 [Add User] 画面

[Add User] 画面の表示・設定項目については、「表 1.93 [Add User]/[Edit User] 画面の表示・設定項目」を参照して ください。

### 1.4.1.2 [Edit User] 画面

[User List] 画面でユーザーを選択し、[Edit User] ボタンをクリックすると、[Edit User] 画面が表示されます。 [Edit User] 画面では、ユーザーアカウントの管理情報を変更できます。 User Name 以外の User の管理情報の変更を行うことができます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Normal				Active:MMB#0
System Partition User	Administration Network Configuratio	n <u>Maintenance</u>				Logout
User List     Change Password     Who	Edit User Click the Apply Button	to apply all changes.				Help
	User Name	Administrator				
	Current Password					
	Password					
	Confirm Password					
	Privilege	⊙Admin OOper	OAdmin ODperator OUser OCE OPartition Operator     OErabled ODisabled			
	Status	⊗Enabled ODis:				
	Full Name	Default Administrator				(optional)
	Operable Partition (for Partition Opera	ator) 0	1	2	3	
	2		Apply Can	31		

図 1.87 [Edit User] 画面

表 1.93	[Add User] /	[Edit User]	画面の表示・	設定項目
--------	--------------	-------------	--------	------

項目	内容
User Name	ユーザー名を設定する。
	入力可能文字数は、3 文字以上 32 文字以下。
	ユーザー名に指定できる文字は以下のとおり。
	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」 (ハイフン) 「_」 (アンダーバー)
	ただし、最初の1文字は[a-z] [A-Z] であること。
Current Password	現在のパスワードを入力する。
Password	パスワードを設定する。
	入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下。
	パスワードに使用できる文字は以下のとおり。
	数字:[0-9]
	文字:[a-z]、[A-Z]
	特殊文字:! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @ `[ ] { } : * ; + ? < . > , / _
	以下のルールでパスワードを設定する。
	・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下。
	・ パスワードの文字は 5 種以上。
	(大文字小文字の同じ文字は 2 種となります)
	(例: aabBcCee なら 6 種となります)
	・ 回文とならないこと。
	(例:madam など)
	・ 類推できるパスワードは設定不可。
	(例:abcdefgh, 12345678 など)
Confirm Password	確認のためパスワードをもう一度入力する。
Privilege	ユーザーアカウントの権限を設定する。
Status	現在のこのアカウントの状態を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
Full Name	ユーザー名に関係する実際の名前などを入力するフィールドとして使用する。
	入力可能文字数は、32 文字以下。
Operable Partition (for	ユーザーの操作可能なパーティションを設定する。
Partition Operator)	[Privilege] で [Partition Operator] を選択した場合にのみ、設定できる。[Privilege] で
	[Partition Operator] 以外を選択した場合は、チェックボックスはグレーアウト表示され
	る。

### 表 1.94 [Add User] / [Edit User] 画面のボタン

ボタン	内容
АррІу	ユーザーアカウントが追加または更新され、[User List] 画面に戻る。
Cancel	ユーザーアカウントは追加または更新されずに、 [User List] 画面に戻る。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00410	%aa will be added. Are you sure?
E_00032	No more User addition.
E_00409	Unable to change the privilege because the specified user is last Administrator.
I_00411	%aa will be changed. Are you sure?
W_00401	Username is too short.
W_00402	Password is too short.
W_00406	Invalid character is included in UserName.
W_00403	Invalid character is included in Password.
W_00462	The specified password is invalid.
W_00405	Invalid character is included in FullName.
W_00407	Input characters are too long.
W_00408	Partitions are not selected.
	Please select at least one partition.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

### 1.4.1.3 [Remove User] ボタン

ユーザーアカウントを削除する場合は、[User List] 画面で[User] を選択し、[Remove User] ボタンをクリックします。 削除を確認するためのダイアログボックスが表示されます。削除する場合は[OK] ボタンをクリックします。キャンセル する場合は[Cancel] ボタンをクリックします。

# 1.4.2 [Change Password] 画面

[Change Password] 画面では、現在ログインしているユーザーのパスワードの変更ができます。

FUIITSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
	Status:	Normal	
System Partition User	Advancements Network Confi	guration Maintenance	Logout
>User Administration >Cl	hange Password		
User List	- CI - D		<b>G</b>
Change Password	Change Pa	ssword	Help
Li who			
	Enter the new Pass	word for "Administrator" in the New Password and Confirm New Password helds.	
	Current Passw	ord	
	New Password	a	
	Coolern New 1	Paramord	
	to committee a rearry		
and the second	0.020	[Apply] [Cancel]	
<	>		

図 1.88 [Change Password] 画面

#### 備考

パスワードは8文字以上を入力する必要があります。8文字以下の場合は、8文字以上入力する必要がある旨のメッセ ージを表示します。また、類推できるパスワードは設定不可です。

表 1.95	[Change Password]	画面のボタン
--------	-------------------	--------

ボタン	内容
Apply	変更したパスワードが登録される。
Cancel	パスワードは変更されず元の状態に戻る。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00012	One or more errors occurred while setting.
E_00018	Information acquisition failed.
E_00036	Changing Password failed.
I_00037	Changing Password completed.
W_00404	Password differs from the re-password.
W_00402	Password is too short.
W_00403	Invalid character is included in Password.
I_00417	Are you sure?
W_00462	The specified password is invalid.
画面で表示されるメッセ·	ージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-

0530)を参照してください。

# 1.4.3 [Who] 画面

[Who] 画面には、 MMB に Serial、Telnet/SSH および Web-UI で接続しているユーザーの一覧が表示できます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXX Permitte Normal			Active:MMB#0
System Partition	Administration Network Configu	ration Maintenance			Logont
>User Administration >W User List Change Password Who	Who				Help
	The following users a	re connected to the MMB now.	1.0	1	
	User Name	Logn lime	By	From	
	root	2013-04-16 13:05:12	Teinet SSH	20000000000	
	root	2013-04-16 13:22:09	Telnet SSH	10000000000	
	Administrator	2013-04-16 13:03:33	WebUI	1000000000	
	Administrator	2013-04-16 13:22:32	WebUI	1040400000	
	Administrator	2013-04-16 14:47:00	WebUI	Advantation of the	
	Administrator	2013-04-16 15:03:44	WebUI	10:00:007:71	
	2				

#### 図 1.89 [Who] 画面

表 1.96 [Who] 画面の表示項目

項目	内容
User Name	Serial ポート、Telnet/SSH、または Web-UI で MMB にログインしているユーザー名を表示
	する。
Login Time	ログインした時間を表示する。
Ву	Web-UI または Telnet/SSH のどちらでログインしているのかを表示する。
	Serial ポートからログインしている場合は「-」 (ハイフン)が表示される。
From	リモートからログインしている場合にリモートホストのホスト名または IP アドレス(IPv4 ア
	ドレスまたは IPv6 アドレス) を表示する。
	ログイン時に MMB に設定されている DNS からホスト名がわかる場合はホスト名が表示さ
	れ、わからない場合は IP アドレスが表示される。
	MMB の Serial ポートからログインしている場合は「-」 (ハイフン) が表示される。
	Web-UI の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となる。

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00098	Failed to get login user information

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。
## 1.4.4 [LDAP Configuration] 画面

LDAP 機能(Active Directory)は、BA15082、BB15082 版以降のファームウェアから利用可能です。

LDAP 機能(Novell eDirectory/OpenLDAP/OpenDS/Open DJ)は、BA15104、BB15104 版以降のファームウェアから利 用可能です。

LDAP 機能(Active Directory)は、BA16036、BB16036 版以降のファームウェアから設定内容が変更となります。詳細 は「表 1.97 [Directory Service Configuration] 画面の表示・設定項目」の説明を参照ください。

## 1.4.4.1 [Directory Service Configuration] 画面

[Directory Service Configuration] 画面では、ディレクトリサービスのディレクトリサービス構成設定やディレクトリ サービスアクセス設定を行います。この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

M FUITSU Sa Sa System Partition User Administration 2 DAP Con 2 User Administration 2 DAP Con	Iodel: PRIMEQ art Number: MCXXX erial Number: atus: Normal arout Network Configuration Maintena figuration >Directory Service Configuration	DUEST 2500E XXXX The second se		Active:MMB#1
User List     Change Password     Who     LDAP Configuration     Directory Service Configurati     LDAP User Group List	Directory Service Co Click the Apply Button to apply all Global Directory Service Config	onfiguration		Help
	LDAP		○Enable	
	LDAP SSL		○Enable	
	Directory Server Type		Active Directory	
		LDAP Server		
	Primary LDAP Server	LDAP Port	389	
		LDAP SSL Port	636	
		LDAP Server		
	Backup LDAP Server	LDAP Port	389	
	-	LDAP SSL Port	636	
	Domain Name			
	Base DN		DC=adfujitsu,DC=co,DC=jp	
	Groups directory as sub-tree fro	om base DN		
	User Search Context			
	LDAP Group Scheme		group	
	LDAP Member Scheme		member	
			L	`
	Apply Cancel Test LDAP			
< 2	>			~

### 図 1.90 [Directory Service Configuration] 画面(1/2)

選択した Directory Server Type の種別によって入力できない項目はグレーで表示されます。

FUITSU	Model: Part Nu Serial N Status: dmmstration	mber: MCXXX iumber: Normal Network Configuration Mainter	QUEST 2800E XXXXX	-		Active:MMB#1
>User Administration >LDA	AP Configurat	ion >Directory Service Configura	tion			~
<ul> <li>User List</li> <li>Change Password</li> </ul>		Directory Service C	onfiguration			Help
🖸 Who		Backup LDAP Server	LDAP Port	389		
LDAP Configuration     Directory Service Con	figuration		LDAP SSL Port	636		^
□ LDAP User Group Lis	st	Domain Name				
-		Base DN		DC=adfu	jitsu,DC=co,DC=jp	
		Groups directory as sub-tree f	Groups directory as sub-tree from base DN			
		User Search Context				
		LDAP Group Scheme	•		group	
		LDAP Member Scheme		member		
	г	)irectory Service Access Confi	guration			
		LDAP Auth UserName	guration			
		LDAP Auth Password	LDAP Auth Password			
		Confirm Password				
		Principal User DN				
		Append Base DN to Principal	Append Base DN to Principal User DN Bind DN		le 💿 Disable	
		Bind DN			cn=adminadmin,ou=1-1,ou=fct,DC=adfujitsu,DC=co,DC=jp	
		Enhanced User Login		Enable	le 🔿 Disable	
		User Login Search Filter		(&(object	tclass=person)(cn=%s))	
<	>		Apply	ancel Test I	DAP	\$ \$

図 1.91 [Directory Service Configuration] 画面(2/2)

選択した Directory Server Type の種別によって入力できない項目はグレーで表示されます。

	項目	内容
Global Dire	ctory Service (	Configuration
LDAP	LDAP の Enabled/Disabled を設定する。	
		デフォルトは Disabled。
		注意
		LDAP が Enabled 時は、MMB へのログインはグローバルユーザ ID のみとなる。
		本項目が Disable の場合、LDAP SSL 以降の項目は使用されません。
LDAP SSL		LDAP サーバとの SSL の Enabled/Disabled を設定する。
		デフォルトは Disabled。
		注意
		本項目を Enable にする場合 LDAP の項目も Enable にする必要があります。
Directory Se	erver Type	LDAP サーバが使用するディレクトリサービスを設定する。
		Active Directory
		Novell eDirectory
		• OpenLDAP
		• Open DS / Open DJ
		デフォルトは Active Directory。
Primary LD	AP Server	プライマリ LDAP サーバを設定する。
LDA	P Server	プライマリ LDAP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を設定する。
		DNS 名は 64 文字以下とする。
LDA	P Port	プライマリ LDAP サーバの LDAP ポートを設定する。
		設定可能なポート番号は、389, 1024~65535
		デフォルトは 389。
LDA	P SSL Port	プライマリ LDAP サーバのセキュアな LDAP ポートを設定する。
		設定可能なポート番号は、636, 1024~65535
		デフォルトは 636。
Backup LDA	AP Server	 バックアップ LDAP サーバを設定する。
LDA	P Server	バックアップ LDAP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を設定する。
		バックアップ LDAP サーバの設定が必要ない場合は LDAP Server の値を入力しない。
		DNS 名は 64 文字以下
LDA	P Port	バックアップ LDAP サーバの LDAP ポートを設定する。
		設定可能なポート番号は、389, 1024~65535
		デフォルトは 389。

表 1.97 [Directory Service Configuration] 画面の表示・設定項目

	項目	内容
	LDAP SSL Port	バックアップ LDAP サーバのセキュアな LDAP ポートを設定する。
		設定可能なポート番号は、636, 1024~65535
		デフォルトは 636。
Doma	in Name	ディレクトリサーバの完全な DNS パス名を設定する。
		DNS 名は 64 文字以下
		Directory Server Type が Active Directory の場合に入力可能。
Base	DN	LDAP ディレクトリツリーの頂点の DN を設定する。
		DNは127文字以下
		Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
Group	s Directory as sub-	Base DN 配下のグループディレクトリを設定する。
tree h	om base DN	
		設定は 64 又字以下
		BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
		<ul> <li>Directory Server Type に Active Directory 友深担して本頂日が主記字の提合。 Directory Conver Type に Active Directory 友深担して本頂日が主記字の提合。 Doce</li> </ul>
		・ Directory Server Type is Active Directory を選択して本項日が未設定の場合、 Dase
LICOT S	Contoxt	
USEL		
		設定は 64 文字以下
		Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
		BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
		・ Directory Server Type に Active Directory 以外を選択した場合、省略不可。
		・ Directory Server Type に Active Directory を選択して本項目が未設定の場合、
		Apply 後に本項目には Base DN の設定値が設定される。
LDAP	Group Scheme	LDAP group のスキームを設定する。
		指定は 64 文字以下
		デフォルトは、groupOfNames。
		Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
		BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
		デフォルトは、Directory Server Type の選択により以下となる。
		・ Active Directory の場合:group
		・ Active Directory 以外の場合:groupOfNames
		Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。

項目	内容
LDAP Member Scheme	LDAP member のスキームを設定する。
	指定は 64 文字以下
	デフォルトは member。
	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
	BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。
Directory Service Access Co	onfiguration
LDAP Auth User Name	LDAP 認証ユーザー名を設定する。
	[0-9], [a-z], [A-Z], 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー), 「.」(ドット)。
	ただし、最初の1文字は[a-z][A-Z]のみ人力可能。
	Disease of a subscription of the subscription of a subscription of the
	Directory Server Type に Active Directory を迭折した場合、入力可能。
LDAP AULII PASSWOIU	LDAP 認証ハスワートを設定する。
	パスワードは 8 文字以上 32 文字以下
	パスワードに使用できる文字は以下
	数字:[0-9]
	文字:[a-z]、[A-Z]
	特殊文字:! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @ `[ ] { } : * ; + ? < . > , /
	以下のルールでパスワードを設定する。
	・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下。
	・ パスワードの文字は 6 種以上。
	(大文字小文字の同じ文字は 2 種となります)
	(例: aabBcCee なら 6 種となります)
	・ 回文とならないこと。
	(例:madam など)
	・ 類推できるパスワードは設定不可。
	(例:abcdefgh, 12345678 など)
Confirm Password	パスワードを確認する。
Principal User DN	プリンシパルユーザーDN を設定する。
	設定は 64 文字以下
	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。

項目	内容
Append Base DN to	プリンシパルユーザーDN にベース DN の追加の有無を設定する。
Principal User DN	このオプションが有効な場合、プリンシパルユーザーDN にベース DN を付加する。
	デフォルトは Disabled。
	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
Bind DN	設定を保存した後、LDAP 認証で使用される Principal User DN を表示する。
Enhanced User Login	拡張ユーザーログインの Enable/Disable を設定する。
	有効にすると、ユーザーがログインする際の柔軟性を拡張するため、ユーザーログイン検
	索フィルタの指定ができる。
	デフォルトは Disabled。
	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
	BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。
User Login Search Filter	ユーザーログイン検索フィルタを設定する。
	標準の検索フィルタ"(&(objectclass=person)(cn=%s))" が表示される。
	ログイン時に、プレースホルダ"%s"は対応するグローバルログインに置き換えられ
	ය.
	"cn="の代わりに別の属性を指定することで、標準フィルタを変更することができる。
	設定は 64 文字以下
	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
	BA16036、BB16036 版以降で以下の設定に変更になる。
	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。

LDAP 機能を有効にする場合は、CLI により Admin 用と CE 用のスペシャルアカウントの作成と、LDAP ユーザーグルー プにて Admin 権限を持つグループを 1 つ、事前に作成する必要があります。 LDAP 機能を有効にした場合、ユーザー認証の参照先が、外部の LDAP サーバのみとなるため、ローカルユーザーID で のログインが不可となり、グローバルユーザーID のみでログイン可能となります。

グローバルユーザーID とは、グローバル・グループに属するユーザーを指します。 ユニバーサル・グループ内でグローバル・グループが含まれる場合も対象となります。

プライマリ LDAP サーバの設定は必須ですが、バックアップ LDAP サーバの設定は省略可能です。

表 1.98 [Directo	ry Service Configuration]	画面のボタン
-----------------	---------------------------	--------

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定される。
Cancel	指定した情報が設定されず元に戻る。
Test LDAP	アクセスデータを、LDAP ディレクトリサーバに送信する。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00426	Invalid values specified.
W_00435	Invalid Port number.
W_00437	The duplicate Port number was found.
I_00013	Setting completed.
W_00401	Username is too short.
W_00402	Password is too short.
W_00403	Invalid character is included in Password.
W_00404	Password differs from the re-password.
W_00406	Invalid character is included in UserName.
W_00407	Input characters are too long.
W_00616	The duplicate LDAP Server was found.
W_00617	LDAP cannot be set, because special account is not made.
W_00618	LDAP cannot be enabled, because LDAP User Group of the Admin privilege is not
	set.
I_00417	Are you sure?
I_00619	The Test LDAP succeeded.
W_00620	The Test LDAP failed.
W_00621	LDAP is disabled.

## 1.4.4.2 [LDAP User Group List] 画面

[LDAP User Group List] 画面では、現在登録されている各 LDAP ユーザーグループの情報を表示します。 この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

### 図 1.92 [LDAP User Group List] 画面

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUES MCD1AC111 Normal	ST 2800L2			Active:MMB#0
>User Administration >LDAP C	Configuration >LDAP User Group	p List				
<ul> <li>User List</li> <li>Change Password</li> <li>Who</li> <li>LDAP Configuration</li> <li>Directory Service Configur</li> <li>LDAP User Group List</li> </ul>	LDAP User Grou Click the Add Group button Select a group, then click th	<b>p List</b> 1 to add a new he Edit/Remov	group. e Group butto	on to edit or re	move the group.	Help
	LDAP User Group Name		Privilege	Status	Operable Partition (for Partition Operator)	
	OMMB_Admin		Admin	Enabled		
			CE	Enabled		

< >

ラジオボタンで Group を選択し、編集を行ないます。

また、Disabled 設定されている Group はグレーで表示されます。

Add Group

Edit Group

Remove Group Cancel

表 1.99 【L	DAP User	Group List]	画面の表示項目
-----------	----------	-------------	---------

項目	内容
LDAP user group name	LDAP ユーザーグループ名を表示する。
	グループ名は3文字以上64文字以下とする。
	グループ名に指定できる文字は以下。
	[0-9], [a-z], [A-Z], 「-」(ハイフン),「_」(アンダーバー),「.」(ドット)。
	ただし、最初の1文字は[a-z][A-Z]のみ入力可能。
Privilege	LDAP ユーザーグループの権限を表示する。
Status	現在のこの LDAP ユーザーグループの状態を表示する。
	• Enabled
	• Disabled
Operable Partition	LDAP ユーザーグループに属するユーザーの操作可能なパーティションを表示する。
(for Partition Operator)	

表 1.100 [LDAP User Group List] 画面のボタン

ボタン	内容
Add Group	[Add Group] 画面が表示される。
Edit Group	[Edit Group] 画面が表示される。
Remove Group	グループを削除する。
Cancel	指定した情報が設定されず元に戻る。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00031	Same name already exists. User addition failed.
E_00032	No more User addition.
E_00034	Unable to change the status to Disable because the specified user is last
	Administrator.
E_00035	The user is logining. User deletion failed.
I_00041	User addition was completed
I_00042	User information editing was completed.
I_00043	User deletion was completed.
W_00463	Select a User Name.
I_00464	%aa will be removed. Are you sure?
W_00404	Password differs from the re-password.

## 1.4.4.3 [Add LDAP User Group] 画面

[LDAP User Group List] 画面で[Add Group]ボタンをクリックし、[Add LDAP User Group]画面を表示します。 [Add LDAP User Group]画面では、新規にユーザーグループを登録することができます。 最大 16 グループまで登録を行うことができます。

FUJITSU System Partition User Admin	Model: Part Number: Serial Number: Status: nishahon <u>Network Configuration</u>	PRIMEQUEST 2800L2 MCD1AC111 Normal Maintenance	Active:MMB#0
<ul> <li>&gt;User Administration &gt;LDAP C</li> <li>User List</li> <li>Change Password</li> <li>Who</li> <li>LDAP Configuration</li> <li>Directory Service Configur</li> <li>LDAP User Group List</li> </ul>	Configuration >Add LDAP User	Group Group pply all changes.	Help
	EDAP User Group Name Privilege Status Operable Partition (for Partition Operator)	MINIB_Admin     X          • Admin     Operator          • Enabled     Disabled          • 1     2     3     4     5     6     7     8     9     10     11	
			-
		Apply Cancel	0

### 図 1.93 [Add LDAP User Group List] 画面

必要事項を入力し、[Apply]ボタンをクリックすると、グループを作成し、[LDAP User Group List]画面に戻ります。 [LDAP User Group List]画面で登録したグループを確認することができます。

[Cancel]ボタンをクリックすると、何もせずに[LDAP User Group List]画面に戻ります。

項目	内容	
LDAP User Group Name	LDAP ユーザーグループ名を設定する。	
	グループ名は3文字以上64文字以下とする。	
	グループ名に指定できる文字は以下。	
	[0-9], [a-z], [A-Z], 「-」(ハイフン),「_」(アンダーバー),「.」(ドット)。	
	ただし、最初の1文字は[a-z][A-Z]のみ入力可能。	
Privilege	グループの権限を設定する。	
Status	現在のこのグループの状態を設定する。	
	• Enabled	
	• Disabled	
Operable Partition (for	グループに属するユーザーの操作可能なパーティションを設定する。	
Partition Operator)	[Privilege] で [Partition Operator] を選択した場合にのみ、設定できる。[Privilege] で	
	[Partition Operator] 以外を選択した場合は、チェックボックスはグレーアウト表示され	
	ය.	

## 表 1.102 [Add LDAP User Group] / [Edit LDAP User Group] 画面のボタン

ボタン	内容
АррІу	グループが追加または更新され、[LDAP User Group List] 画面に戻る。
Cancel	グループは追加または更新されずに、 [LDAP User Group List] 画面に戻る。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00426	Invalid values specified.
W_00407	Input characters are too long.
W_00408	Partitions are not selected.
	Please select at least one partition.
I_00410	%aa will be added. Are you sure?
I_00411	%aa will be changed. Are you sure?
W_00614	Invalid character is included in GroupName.
W_00615	Groupname is too short.
E_00607	Same name already exists. Group addition failed.
E_00609	Unable to change the status to Disable because the specified group is the last
	Administrator.
E_00610	Unable to change the privilege because the specified group is the last
	Administrator.
I_00611	Group addition was completed.
I_00612	Group information editing was completed.

## 1.4.4.4 [Edit LDAP User Group] 画面

[LDAP User Group List] 画面でグループ管理情報を変更したいグループを選択します。[Edit Group]ボタンをクリック し、[Edit LDAP User Group]画面を表示します。

[Edit LDAP User Group] 画面では、LDAP User Group Name 以外のグループ管理情報を変更することができます。

### 図 1.94 [Edit LDAP User Group] 画面

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800L2 MCD1AC111 Normal	Active:MMB#0
>User Administration >LDAP (	Configuration >Edit LDAP User C	<u>Мандаансе</u> Этопр	
<ul> <li>User List</li> <li>Change Password</li> <li>Who</li> <li>LDAP Configuration</li> <li>Directory Service Configuration</li> </ul>	Edit LDAP User ( Click the Apply Button to a	Group oply all changes.	Help
LDAP User Group List	LDAP User Group Name	MMB Admin	
	Privilege	● Admin ○ Operator ○ User ○ CE ○ Partition Operator	
	Status	⊖Enabled	
	Operable Partition (for Partition Operator)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
< >>		Apply Cancel	$\sim$

必要事項を入力し、[Apply]ボタンをクリックすると、グループ管理情報を変更し、[LDAP User Group List]画面に戻り ます。[LDAP User Group List]画面で変更したアカウントを確認することができます。 [Cancel]ボタンをクリックすると、何もせずに[LDAP User Group List]画面に戻ります。

画面の表示・設定項目、画面のボタン、本画面で表示されるメッセージについては 1.4.4.3[Add LDAP User Group] 画 面を参照してください。

### 1.4.4.5 [Remove Group] ボタン

グループを削除する場合は、[LDAP User Group List] 画面でグループを選択し、[Remove Group] ボタンをクリック します。削除を確認するためのダイアログボックスが表示されます。削除する場合は[OK] ボタンをクリックします。キ ャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。

# 1.5 [Network Configuration]メニュー

[Network Configuration] は、Administrator 権限を持つユーザーだけが使用できます。

## 1.5.1 [Date/Time] 画面

[Date/Time] 画面では、MMB の日付と時刻を設定します。

FUJITSU Seria State	el: PRIM Number: MCX d Number:	EQUEST2800E XXXXXX al	Active:MMB#0
System Partition User Administration >Network Configuration >Date/Time	on Network Conferention Main	enance	Logout
Date Time     Network Interface     Management LAN Port Configure     Network Protocols     Refresh Rate	Date/Time Click the Apply Button to apply al	l changes.	(Refresh) (Help)
SNMP Configuration	Date	2013 - 4 - 16	
SSL     SSH     Remote Server Management	Time	Modify the Time 16 29 54	
Access Control	Time zone	Asia 💙 / Tokyo 🛩	
🗩 Alaran E-Mail	NTP	Enable      Disable	
	NTP Time Correction Mode	© Step ○ Slew	
	NTP Server1	66.178.233.4	
	NTP Server2	2001:1010:2020:3030:1111:2222:3333:4444	
	NTP Server3	10.30.20.40	
	Current Sync Status		
		(Apply) Cancel	



表 1.103	[Date/Time]	画面の表示・	設定項目
---------	-------------	--------	------

項目	内容	
Date	日付を表示/設定する。	
	日付だけを指定した場合 ([Modify the Time] チェックボックスがオフの場合)、[Apply] ボ	
	タンがクリックされた時点の時間が指定されたものとして、指定された日付と時間が設定さ	
	れる。たとえば、サマータイム期間外(1月1日13:00現在) からサマータイム期間内(8月1	
	日) に日付変更する場合、8月1日13:00を指定されたものとして処理する。	
Time	[Date/Time] 画面を表示した時点の時刻(時:分:秒) を、24 時間形式で表示する。	
	表示を更新するためには、画面のリロードが必要。	
	また、自動更新を設定している場合は、画面更新時の現在時刻を表示する。	
	時刻を設定する場合は、[Modify the Time] チェックボックスをオンにする。チェックボッ	
	クスをオンにすると、時:分:秒のフィールドが入力可能となる。チェックしていない状態	
	では、時:分:秒フィールドはグレーアウト表示される。	
Time zone	タイムゾーンをプルダウンメニューから選択する。	
NTP	NTP 機能の有効/無効を設定する。	
	• Enable	
	• Disable	
	[Enable] に設定すると、MMB は以下の NTP1~NTP3 に設定されている NTP サーバと時刻	
	を同期させる。	
	Enable 設定直後は NTP Time Correction Mode の設定に関わらず、サーバ側の時刻に同期	
	させる。	
	デフォルトは Disable。	
NTP Time Correction	NTP 時刻修正モードを設定する。	
Mode	([NTP] が[Enable] の場合に有効。[Disable] の場合はグレーアウト表示される。)	
	· [Step] :	
	NTP サーバとの時刻の差が 128msec 未満の場合は、Slew モード(1 秒間に 0.0005 秒ず	
	つ)で時刻を修正する。差が 128msec 以上の場合は、一度に時刻を修正する。	
	差が±1000 秒(16 分 40 秒) 以上ある場合、NTP の機能が停止する。	
	• [Slew]	
	NTP サーバとの時刻差により、以下の動作となる。	
	・ ±600 秒(10 分) 未満の場合、Slew 調整(逆進せずに 1 秒間に最大 0.0005 秒ずつ補	
	正) する。	
	・ ±600 秒(10 分) 以上、±1000 秒(16 分 40 秒) 未満の場合、Step 調整する(この場	
	合、逆進の可能性がある)。	
	・ ±1000 秒(16 分 40 秒) 以上の場合、NTP の機能が停止する。	
	デフォルトは Step。	
NTP 1	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定する。	
	([NTP] が[Enable] の場合に有効。[Disable] の場合はグレーアウト表示される。)	
NTP 2	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定する。	
	([NTP] が[Enable] の場合に有効。[Disable] の場合はグレーアウト表示される。)	
NTP 3	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定する。	
	([NTP] が[Enable] の場合に有効。[Disable] の場合はグレーアウト表示される。)	

項目	内容
Current Sync Status	現在の NTP サーバとの同期状態を表示する。
	・ 同期している場合: IP アドレスと最終同期時刻を以下の形式で表示する。
	xxx.xxx.xxx yyyy-mm-dd -dd:mm:ss
	・ 同期していない場合:「No Sync」と表示する。
	・ ntpd が停止した場合:「Unknown」と表示する。
	備考
	NTP 機能を再開する場合は、NTP を一旦[Disable]に設定し、再度[Enable]に設定する

表 1.104 [Date/Time] 画面のボタン

ボタン	内容	
Apply	指定した情報が設定される。	
Cancel	指定した日付、タイムゾーンなどの情報が設定されず元に戻る。	

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Date/Time]

- (2) 画面操作
  - 日付、タイムゾーンなどを指定して[Apply] ボタンをクリックします。
     日付、タイムゾーンなどが設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文	
I_00013	Setting completed.	
E_00020	The IP address overlaps.	
E_00100	-ailed to set Date/Time information	
W_00414	Invalid Date Format	
W_00434	Invalid Time Format	
W_00433	The duplicate IP address was found.	
W_00432	Invalid IP Address specified.	

#### ■ NTP の時刻同期

NTP クライアントの時刻同期の動作仕様について説明します。

● 時刻同期開始時

MMB の NTP クライアントは動作開始時に NTP サーバとの時刻差に関係なく時刻同期を行います。 MMB の NTP クライアントは、以下のタイミングで動作開始します。

- MMBのNTPサービスを有効にしたタイミング([Network Configuration] [Date/Time] 画面で [NTP]の[Enable] をオンにし、[Apply] ボタンをクリックしたタイミング)
- MMB の NTP サービスが有効のまま、MMB の Reset、MMB の二重化切替え、AC 電源の OFF→ON を行ったタイミング
- 時刻同期中

NTP の時刻調整方法は、NTP の動作モード(Step モード/ Slew モード) により異なります。 Step モードの場合は、同期中の NTP サーバと MMB との時刻差が

- (1) ± 0.128 秒未満である場合、Slew 調整(逆進せずに1秒間に最大 0.0005 秒ずつ補正) します。
- (2) ±0.128 秒以上、± 1000 秒未満である場合、Step 調整します(この場合、逆進の可能性があります)。
- (3) ±1000 秒以上である場合、NTP の機能が停止します。

Slew モードの場合は、 同期中の NTP サーバと MMB との時刻差が

- (1) ±600 秒(10分)未満である場合、Slew 調整(逆進せずに1秒間に最大 0.0005 秒ずつ補正)します。
- (2) ± 600 秒(10 分) 以上、± 1000 秒(16 分 40 秒) 未満である場合、Step 調整します(この場合、逆進の可能 性があります)。
- (3) ±1000秒(16分40秒)以上である場合、NTPの機能が停止します。
- 時刻同期の間隔

64 秒~1024 秒の間隔で同期します。初期の同期間隔は 64 秒で、同期精度が安定するにしたがい、64 秒→128 秒→256 秒→512 秒→1024 秒と段階的に増加します。

この同期間隔の増加アルゴリズムは RFC1305 に準拠しています。詳しくは、RFC1305 の 3.4.2 ~3.4.9 項を参照ください。

MMBのNTPサーバのstratum

MMBの NTP サーバの stratum は、同期している外部 NTP サーバの stratum+1 となります。外部 NTP サーバ と同期していない場合は 5 となります。

● うるう秒の対応

MMB の NTP にはうるう秒を挿入する機能はありません。そのため MMB の時刻をうるう秒に対応させるためには、うるう秒に対応した外部の NTP サーバと同期をとってください。

MMB の NTP クライアントが Step モードに設定されている場合、うるう秒の調整に対して、外部の NTP サーバ がゆっくりと時刻をずらしても 0.128 秒以上の時刻差が発生すると MMB の時刻が Step 調整されることがあり ます。うるう秒の調整で Step 調整させたくない場合は、Slew モードを使用してください。

## 1.5.2 [Network Interface] メニュー

[Network Interface] のメニューには、以下の画面があります。

- [IPv4 Interface] 画面
- [IPv6 Interface] 画面

## 1.5.2.1 [IPv4 Interface] 画面

[IPv4 Interface] 画面では、MMB にアクセスするための IPv4 用の IP アドレスなどが設定できます。

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System Partition User Admir	histration <b>Contact</b>	Maintenance	Logour
>Network Configuration >Network	vork interface >IPv4 interface		
Date Time     Network Interface     TPv4 Interface	IPv4 Interface		Help
<ul> <li>IPv6 Interface</li> <li>Management I AN Port Con</li> </ul>	Click the Apply button fo	r all changes to take effect.	^
Network Protocols	MMB Virtual/Physical	IP Address	
C Reports Rate	Virtual IP Address		
Street Congention	Hostname	Cassiopeia-MMB	
L SSH	IP Address	10 125 61 43	
Remote Server Management	Subnet Mask	255 , 255 , 255 , 0	
Access Control	Gateway address	10 125 61 1	
🐸 Alam E-Mai	MMB#0 IP Address		
	Interface	@Enable ODisable	
	Hostname (optional)		
	TP Address	10 125 61 44	
	Subnet Mask	255 255 255 0	
	Gateway address	10 125 61 1	
	MMB#1 IP Address		
	Interface	③ Enable ① Disable	
	Hostname (optional)		
	IP Address	10 125 61 45	
6	2	[Apply] Cancel	

図 1.96 [IPv4 Interface] 画面(1)

FUj๊กรบ	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System Partition User	Administration Services Contra	Maintenance	Logout
>Network Configuration	>Network Interface >IPv4 Interfa	ice	
Date Time     Network Interface	IPv4 Interfac	e	Help
C IPv4 Interface	DNS (optional)		
Management I AN Po	DNS	O Enable      O Disable	
Network Protocols	DNS Server 1	0_0_0_0	
Refresh Rate	DNS Server 2	0 0 0 0	
SNMP Configuration	DNS Server 3	0 0 0 0	_
I SSH	Management LAN		
Remote Server Manag	perment Dualization	O Enable    Disable	
Access Control	and a second	5	
Alimn E-Mail	Maintenance IP Add	ress	
	Interface	○ Enable	
	IP Address	0,0,0,0	
	Subnet Masic	0 . 0 . 0 . 0	
	Gateway address	0 0 0 0	
	SMTP address	0 0 0	
	Internal IP Address		
	Interface	⊕Enable ⊙Disable	
	IP Address	172 30 0 1	
	Subnet Mask	255 255 0	
0.11		Apply Cancel	

## 図 1.97 [IPv4 Interface] 画面(2)

表 1.105	[IPv4 Interface]	画面の表示・	設定項目
---------	------------------	--------	------

項目	内容説明		
MMB Virtual / Physical	IP Address		
Virtual IP Address	Web-UI にアクセスするために使用する IPv4 用の仮想 IP アドレスを指定する。		
	MMB が二重化されている場合、本仮想 IP アドレスは切り替わった MMB に引き継がれる。		
Hostname	FQDN 形式でホスト名を設定する。		
	最大 63 文字まで入力が可能です。		
	入力可能な文字は以下のとおり。		
	[a-z]、[A-Z]、[0-9]、「-」(ハイフン)、「.」(ドット)		
	上記以外の文字は指定できない。		
	また、以下の制約がある。		
	・ 先頭文字は英字でなければならない。		
	・ (ハイフン)、(ドット)を先頭文字、末尾文字として指定することはできない。		
	デフォルトは、"PRIMEQUEST" +製品シリアル番号とする。		
	たとえば、シリアル番号が 1020516004 の場合、"PRIMEQUEST1020516004" となる。		
	備考		
	ドメインで運用していない場合は FQDN 形式での設定は必須ではない。		
IP Address	IP アドレスを設定する。		
Subnet Mask	サブネットマスクを設定する。		
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。		
MMB#0 IP Address	MMB#0 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定する。		
(*1) MMB#0 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となる。			
	本インターフェースから Web-UI にはアクセスできない。		
	MMB#0 が搭載されていない場合、[MMB#0 IP Address] の表は表示されない。		
Interface	MMB#0 の物理 IP アドレスを利用するかを指定する。		
	利用する場合は Enable を選択する。		
	デフォルトは Disable。		
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定する。		
	最大 31 文字まで入力が可能です。		
IP Address	IP アドレスを設定する。		
Subnet Mask	サブネットマスクを設定する。		
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。		
MMB#1 IP Address	MMB#1 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定する。		
(*1)	MMB#1 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となる。		
	本インターフェースから Web-UI にはアクセスできない。		
	MMB#1 が搭載されていない場合、[MMB#1 IP Address] の表は表示されない。		
Interface	MMB#1 の物理 IP アドレスを利用するかを指定する。		
	利用する場合は Enable を選択する。		
	デフォルトは Disable。		
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定する。		
	最大 31 文字まで入力が可能です。		
IP Address	IP アドレスを設定する。		

項目	内容説明		
Subnet Mask	サブネットマスクを設定する。		
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。		
DNS (optional)	DNS サーバを利用するかどうかを設定する。		
DNS	DNS サーバを利用するかどうかを設定する。		
	DNS を利用する場合は Enable を選択する。		
	デフォルトは Disable。		
DNS Server 1	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定する。		
DNS Server 2	Secondary DNS サーバの IP アドレスを設定する。		
DNS Server 3	Third DNS サーバの IP アドレスを設定する。		
Management LAN	管理 LAN の二重化設定を行う。		
Dualization	管理 LAN の二重化設定を行う。		
	デフォルトは Disable。		
Maintenance IP Addres	is a second s		
Interface	CE/REMCS 用 LAN インターフェースの enable/disable を設定する。		
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/		
	2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合		
	デフォルトは Enable。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15072 以降のファーム		
	ジェアの場合 デフォルトは Enable。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファーム		
	ウェアの場合		
	デフォルトは Disable。		
IP Address	IP アドレスを設定する。		
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/		
	2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合		
	デフォルトは 192.168.1.1。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15072 以降のファーム		
	ウェアの場合		
	デフォルトは 192.168.1.1。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファーム		
	ウェアの場合		
	デフォルトは、なし。		
Subnet Mask	サブネットマスクを設定する。		
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/		
	2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合		
	デフォルトは 255.255.255.0。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15072 以降のファーム		
	ウェアの場合		
	デフォルトは 255.255.255.0。		
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファーム		
	ウェアの場合		
	デフォルトは、なし。		

項目	内容説明
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。
SMTP address	SMTP の IP アドレスを設定する。
Internal IP Address	
Interface	インターナル LAN インターフェースの enable/disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
IP Address	MMB の内部通信用の IP アドレスを入力する。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定する。

\*1) 本画面の MMB IP Address と、他の IP Address の重複は、MMB IP Address の Interface 項目で Disable 設定の場 合でも許可されません。また、MMB IP Address の 0.0.0.0 への初期化は行えません。重複チェックを回避するために は、一時的に MMB IP Address の Interface 項目で Enable に設定し、同一サブネットの IP アドレスを 1 つ用意して、 MMB の IP Address を変更する必要があります。必要に応じて、MMB の IP Address 変更後、一時的に設定した MMB IP Address の Interface 項目を Disable へ戻します。

### 表 1.106 [IPv4 Interface] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	入力した情報が設定される。
Cancel	IP アドレス、サブネットマスクなどの入力した情報が設定されず元に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Network Interface] - [IPv4 Interface]

#### (2) 画面操作

 ネットワークインターフェース情報を設定するため、サブネットマスク、IP アドレスなどを選択/入力し、 [Apply] ボタンをクリックします。 指定した IP アドレス、サブネットマスクなどが設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00433	The duplicate IP address was found.
W_00538	Invalid hostname was found.
W_00432	Invalid IP Address specified.
I_00221	Unable to change Network Interface because the system is under maintenance.
W_00595	It is IP address that duplicates with Console Redirection IP address.
W_00596	It is the same subnet as MMB IP address.
	Please change to a different subnet.

## 1.5.2.2 [IPv6 Interface] 画面

[IPv6 Interface] 画面では、MMB にアクセスするための IP アドレスなどが設定できます。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System Partition User Ad >Network Configuration >N	ministration letwork Interface >IPv6 Inter	anne Mainteonne.	Logore
Date Time     Network Interface     IPv4 Interface     IPv6 Interface     Management I AN Port C     Network Protocols	IPv6 Interfac	e for all changes to take effect.	Help
Refresh Rate	Virtual IP Addres		
SNMP Configuration	Hostname	Cassiopeia-MMB	
E SSI	Automatic Acquis	tion Auto	
Remote Serves Manageme	ent IP Address		
Access Control	Prefix Length	0	
- Alarm E-Mai	Gateway address	2	
	MMB#0 IP Addr	655	
	Interface	O Enable @ Disable	
	Hostname (option	a)	
	Automatic Acquis	tion Auto	
	IP Address		
	Prefix Length	0	
	Gateway address		
	MMB#1 IP Add	e55	
	Interface	O Enable @ Disable	
4	>	Apply Cancel	

### 図 1.98 [IPv6 Interface] 画面(1)



#### 図 1.99 [IPv6 Interface] 画面(2)

項目	内容説明		
MMB Virtual / Physical	IP Address		
Virtual IP Address	Web-UI にアクセスするために使用する IPv6 用の仮想 IP アドレスを指定する。 MMB が二重化されている場合、本仮想 IP アドレスは切り替わった MMB に引き継がれ		
Hostname	FQDN 形式でホスト名を設定する。		
	最大 63 文字まで入力が可能です。		
	入力可能な文字は以下のとおり。		
	[a-z]、[A-Z]、[0-9]、「-」(ハイフン)、「.」(ドット)		
	上記以外の文字は指定できない。		
	また、以下の制約がある。		
	・ 先頭文字は英字でなければならない。		
	・ (ハイフン)、(ドット)を先頭文字、末尾文字として指定することはできない。		
	デフォルトは、"PRIMEQUEST" +製品シリアル番号とする。 たとえば、シリアル番号が		
	1020516004 の場合、"PRIMEQUEST1020516004" となる。		
	備考		
	ドメインで運用していない場合は FQDN 形式での設定は必須ではない。		
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックする。グローバルアドレス、プレフィックス		
	長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされる。		
IP Address	グローバルアドレスを設定する。		
Prefix Length	プレフィックス長を設定する。		
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。		
MMB#0 IP Address	MMB#0 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定する。		
(*1)	MMB#0 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となる。		
	本インターフェースから Web-UI にはアクセスできない。		
	MMB#0 が搭載されていない場合、[MMB#0 IP Address] の表は表示されない。		
Interface	MMB#0 の物理 IP アドレスを利用するかを指定する。		
	利用する場合は Enable を選択する。		
	デフォルトは Disable。		
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定する。		
	最大 31 文字まで入力が可能です。		
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックする。グローバルアドレス、プレフィック		
	ス長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされる。		
IP Address	グローバルアドレスを設定する。		
Prefix Length	プレフィックス長を設定する。		
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。		
MMB#1 IP Address	MMB#1 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定する。		
(*1)	MMB#1 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となる。		
	本インターフェースから Web-UI にはアクセスできない。		
	MMB#1 が搭載されていない場合、[MMB#1 IP Address] の表は表示されない。		
Interface	MMB#1 の物理 IP アドレスを利用するかを指定する。		
	利用する場合は Enable を選択する。		
	デフォルトは Disable。		

表 1.107	[IPv6 Interface]	画面の表示・	設定項目
---------	------------------	--------	------

項目	内容説明
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定する。
	最大 31 文字まで入力が可能です。
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックする。グローバルアドレス、プレフィック
	ス長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされる。
IP Address	グローバルアドレスを設定する。
Prefix Length	プレフィックス長を設定する。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。
DNS (optional)	DNS サーバを利用するかどうかを設定する。
DNS	DNS サーバを利用するかどうかを設定する。
	DNS を利用する場合は Enable を選択する。
	デフォルトは Disable。
DNS Server 1	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定する。
DNS Server 2	Secondary DNS サーバの IP アドレスを設定する。
DNS Server 3	Third DNS サーバの IP アドレスを設定する。
Management LAN	管理 LAN の二重化設定を行う。
Dualization	管理 LAN の二重化設定を行う。
	デフォルトは Disable。
Maintenance IP Addres	S
Interface	CE/REMCS 用 LAN インターフェースの enable/disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
IP Address	グローバルアドレスを設定する。
Prefix Length	プレフィックス長を設定する。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。
SMTP address	SMTP の IP アドレスを設定する。
	REMCS 接続しない、または REMCS 接続を P-P で行う場合は設定を行わない。
Internal IP Address	
Interface	インターナル LAN インターフェースの enable/disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
IP Address	グローバルアドレスを設定する。
Prefix Length	プレフィックス長を設定する。

\*1) 本画面の MMB IP Address と、他の IP Address の重複は、MMB IP Address の Interface 項目で Disable 設定の場 合でも許可されません。また、MMB IP Address の::への初期化は行えません。重複チェックを回避するためには、一時 的に MMB IP Address の Interface 項目で Enable に設定し、同一サブネットの IP アドレスを 1 つ用意して、MMB の IP Address を変更する必要があります。必要に応じて、MMB の IP Address 変更後、一時的に設定した MMB IP Address の Interface 項目を Disable へ戻します。

#### 表 1.108 [IPv6 Interface] 画面のボタン

ボタン	内容
Auto	グローバルアドレスやプレフィックス長などを自動的に取得する。
Apply	入力した情報が設定される。
Cancel	IP アドレスなどの入力した情報が設定されず元に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Network Interface] - [IPv6 Interface]

- (2) 画面操作
  - ネットワークインターフェース情報を設定するため、IP アドレスなどを選択/入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
     指定した IP アドレスなどが設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00433	The duplicate IP address was found.
W_00538	Invalid hostname was found.
W_00432	Invalid IP Address specified.
W_00532	Invalid Prefix Length.
E_00533	Automatic Acquisition failure.
I_00221	Unable to change Network Interface because the system is under maintenance.
W_00595	It is IP address that duplicates with Console Redirection IP address.
W_00596	It is the same subnet as MMB IP address.
	Please change to a different subnet.

## 1.5.3 [Management LAN Port Configuration] 画面

[Management LAN Port Configuration] 画面では、MMB ボード上の各ポートの Speed/Duplex の設定ができます。



#### 図 1.100 [Management LAN Port Configuration] 画面

項目	内容説明
Speed/Duplex for MMB#0	
User port	MMB#0 User port の Speed/Duplex を設定する。
	• Auto
	• 100M/Full
	• 100M/Half
	• 10M/Full
	• 10M/Half
	デフォルトは Auto。
	備考
	MMB#0 が搭載されている場合のみ表示される。
	User Port で 1G/Full を使用したい場合は、Auto を設定する。
Maintenance port	MMB#0 Maintenance portの Speed/Duplex を設定する。
	• Auto
	• 100M/Full
	• 100M/Half
	• 10M/Full
	• 10M/Half
	デフォルトは Auto。
	備考
	MMB#0 が搭載されている場合のみ表示される。
REMCS port	MMB#0 REMCS port の Speed/Duplex を設定する。
	· Auto
	• 100M/Full
	• 100M/Half
	• 10M/Full
	• 10M/Half
	デフォルトは Auto。
	備考
	MMB#0 が搭載されている場合のみ表示される。
Speed/Duplex for MMB#1	
User port	MMB#1 User port の Speed/Duplex を設定する。
	• Auto
	• 100M/Full
	• 100M/Half
	• 10M/Full
	• 10M/Half
	デフォルトは Auto。
	備考
	MMB#1 が搭載されている場合のみ表示される。
	User Port で 1G/Full を使用したい場合は、Auto を設定する。

表 1.109 [Management LAN Port Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容説明	
Maintenance port	MMB#1 Maintenance portの Speed/Duplex を設定する。	
	• Auto	
	• 100M/Full	
	• 100M/Half	
	· 10M/Full	
	• 10M/Half	
	デフォルトは Auto。	
	備考	
	MMB#1 が搭載されている場合のみ表示される。	
REMCS port	MB#1 REMCS port の Speed/Duplex を設定する。	
	• Auto	
	• 100M/Full	
	• 100M/Half	
	• 10M/Full	
	• 10M/Half	
	デフォルトは Auto。	
	備考	
	MMB#1 が搭載されている場合のみ表示される。	

### 表 1.110 [Management LAN Port Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容	
АррІу	入力した情報が設定される。	
Cancel	Speed/Duplex で指定した情報が設定されず元に戻る。	

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Management LAN Port Configuration]

#### (2) 画面操作

Speed/Duplex を指定して[Apply] ボタンをクリックします。
 Speed/Duplex が設定されます。

### 注意

Speed/Duplex を変更した場合は、通信状態を初期化するために下記手順に従って MMB の Reset を実行してください。

下記手順では MMB#0 が Active MMB の場合の手順を示します。

Active MMB が異なる場合は、MMB#0⊠MMB#1 を読み替えて実行してください。

#### 【MMB2重の場合】

- 1. MMB Web-UI にログインします。
- 2. Active MMB 画面(MMB#0)を開き、Standby MMB に切り替えます。
- 3. [Switch Over to MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックします。

System | Partition | User Administration | Network Configuration | Maintenance

>System >MMB >MMB#0
System Status

System Event Log

System Information
 Firmware Information
 System Setup
 System Power Control

Operation Log
 Partition Event Log

LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
PCI\_Box
OPL
MMB
MMB#0
MMB#1

#### MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status		OK
Role		Active
Part Number		CA07603-D053 A3
Serial Number		PP142702TR
MAC Address	User port	2C:D4:44:F0:95:42
MAC Address	Maintenance port	2C:D4:44:F0:25:6F
Firmware Version		30.31
Location LED		Off On Off
Reset MMB		Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to M	MВ	Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable		Enable      Disable

#### Voltage

Sensor	Values	Threshold	
	voitage	Warning(Low/High) Critical(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.32 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V

Apply Cancel

- 4. 再度 MMB Web-UI にログインします。
- 5. MMB#0 画面(Standby MMB)を開き、Reset します。
- 6. [Reset the MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックします。

 System
 Partition
 User Administration
 Network Configuration
 Maintenand

 >System
 >MMB
 >MMB#0

## System >MMB >MMB#0 System Status

System Event Log

Operation Log
 Partition Event Log

System Information
 Firmware Information
 System Setup
 System Power Control

LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
PCI\_Box
OPL
MMB
MMB#0
MMB#1

#### MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status		OK
Role		Standby
Part Number		CA07603-D053 A3
Serial Number		PP142702TR
MACAddam	User port	2C:D4:44:F0:95:42
MAC Address	Maintenance port	2C:D4:44:F0:25:6F
Firmware Version		30.31
Location LED		Off On Off
Reset MMB		Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to MMB		Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable		Enable      Disable

#### Voltage

S	Valeas	Threshold	
Sensor	vonage	Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.34 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

Apply Cancel

- リセット処理が完了したことを確認します。Web-UIの MMB > MMB#0 を表示して、下図の項目が正しく 表示されることを確認します。
  - Part Number
  - Serial Number
  - Firmware Version
  - Enable

#### System Status System Event Log Operation Log Partition Event Log System Information Firmware Information System Setup System Power Control Power Supply 🖸 Fans Temperature 🗄 SB 🗄 IOU PCI\_Box 🖸 OPL 🗉 MMB □ MMB#0 ☑ MMB#1

#### MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status OK			
Role		Standby	
Part Number		CA07603-D053 A3	
Serial Number		PP142702TR	
MAC Address	User port	2C:D4:44:F0:95:42	
MAC Address	Maintenance port	2C:D4:44:F0:25:6F	
Firmware Version		30.31	
Location LED		Off On Off	
Reset MMB		Reset the MMB All existing network connections will be los You will need to login again.	st.
Switch Over to MMB		Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.	
Enable/Disable	nable/Disable		

#### Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.32 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

Apply Cancel

8. 2~7 の手順で MMB#1 に対して操作を繰り返し、Standby MMB にしてから Reset 操作を実施してください。

#### 【MMB1重の場合】

- 1. MMB 画面を開き、Reset します。
- 2. [Reset the MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックしてください。

## 1.5.4 [Network Protocols] 画面

[Network Protocols] 画面では、MMB のネットワークプロトコルに関する設定をします。

図 1.101	[Network Protocols]	画面
<b>H</b> 11101		шщ

System Partition User Administrat	tion   Network Configuration   <u>Maintenance</u> Protocols		Logout 🗸
<ul> <li>Date/Time</li> <li>Network Interface</li> <li>Management LAN Port Configuration</li> </ul>	Network Protocols		Help
Network Protocols  Refresh Rate  SNMP Configuration  sst	Click the Apply Button to apply all changes.		^
± SSE ± SSH	нттр	Enable Objective	
Remote Server Management	HTTP Port#[80,1024-65535]	8081	
Access Control	HTTPS	● Enable ○ Disable	
	HTTPS Port#[432,443,1024-65535]	432	
	TLS1.0/1.1	● Enable ○ Disable	
	Timeout (sec) [0,60-9999]	600	
	Telnet		
	Telnet	● Enable ○ Disable	
	Telnet Port#[23,1024-65535]	23	
	Timeout (sec) [0,60-9999]	600	
	SSH		
	SSH	● Enable ○ Disable	
	SSH Port#[22,1024-65535]	22	
	Timeout (sec) [0,60-9999]	600	
	SNMP		
	SNMP Agent	● Enable ○ Disable	
	Agent Port#[161,1024-65535]	161	
	SNMP Trap	● Enable ○ Disable	
	Trap Port#[162,1024-65535]	162	
			~

Apply Cancel

項目	内容
Web (HTTP/HTTPS)	
НТТР	HTTPの Enable/Disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
HTTP Port#	HTTP に使用するポート番号を設定する。
	デフォルトは 8081。
HTTPS	HTTPSの Enable/Disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
HTTPS Port#	HTTPS に使用するポート番号を設定する。
	デフォルトは 432。
TLS1.0/1.1	HTTPSのTLS1.0/1.1 接続許可の enable/disable を設定する。
	Enable:HTLS1.0、TLS1.1、TLS1.2 での HTTPS 接続を許可する。
	Disable:TLS1.2 のみ HTTPS 接続を許可する。
	デフォルトは Enable。
	│ │ 注意
	  Disableに設定した場合、証明書の入れ替えが必要である。
Timeout	HTTP/HTTPS 接続時に何も入力がない場合に、タイムアウトして接続を切断するまでの時
lincout	
	同じ設定する。 0 または $60 \sim 9999$ の範囲で設定できる。
	0 が設定されていても、Dialog Box が表示されている場合、タイムアウトなしは適用さ
	れない。
Telnet	
Telnet	leinetの Enable/Disable を設定する。
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/
	240052/2400E2/2400E2/2800E2/2800E2 の場合 デフォルトは Enable
	フランテレーは Ellable。 DPIMEOLIEST 2/00S Lite/ 2/00S/2/00E/2/00L/2800E/2800L で BA15072 い降のファ
	ームウェアの場合
	デフォルトは Enable。
	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファ
	ームウェアの場合
	デフォルトは Disable。
Telnet Port#	Telnet に使用するポート番号を設定する。
	デフォルトは 23。

## 表 1.111 [Network Protocols] 画面の表示・設定項目
項目	内容
Timeout	Telnet 接続時に何も入力がない場合に、タイムアウトして接続を切断するまでの時間を
	設定する。
	0、または 60~9999 の範囲で設定できる。
	0はタイムアウトなしを意味する。
	デフォルトは 600 秒。
SSH	
SSH	SSH の Enable/Disable を設定する。
	デフォルトは Disable。
SSH Port#	SSH に使用するポート番号を設定する。
	デフォルトは 22。
Timeout	SSH 接続をタイムアウトするまでの時間を設定する。
	0、または 60~9999 の範囲で設定できる。
	0はタイムアウトなしを意味する。
	デフォルトは 600 秒。
SNMP	
SNMP Agent	SNMP Agent の機能を Enable/Disable に設定する。
	デフォルトは Disable。
Agent Port#	SNMP Agent に使用するポート番号を設定する。
	設定可能なポート番号は、161、1024~65535。
	デフォルトは 161。
SNMP Trap	SNMP Trap の機能を Enable/Disable に設定する。
	SNMP Trap を送信するには、SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要が
	あります。
	デフォルトは Disable。
Trap Port#	SNMP Trap に使用するポート番号を設定する。
	設定可能なポート番号は、162、1024~65535。
	デフォルトは 162。

### 備考

HTTPS を Enable にするには、有効な SSL 証明書が登録されている必要があります。 有効な SSL 証明書が登録されていない場合に、HTTPS を[Enable] にしようとしたときに、エラーが表示されます。

表 1.112 [Network Protocols] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定される。
Cancel	ポート番号、タイムアウト時間などの指定した情報が設定されず元に戻る。

[Network Configuration] - [Network Protocols]

(2) 画面操作

プロトコルの情報を設定するため、ポート番号、タイムアウト時間などを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。

ポート番号、タイムアウト時間などが設定されます。

【メッセージ】

#### 本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
E_00044	The Port number overlaps.
W_00435	Invalid Port number.
W_00436	Invalid Timeout value.
W_00437	The duplicate Port number was found.
W_00438	Timeout setting is invalid.
E_00439	SSL Server Certificate is not found.
I_00440	HTTP Connection will be lost. You will need to login again.
	Are you sure?

# 1.5.5 [Refresh Rate] 画面

[Refresh Rate] 画面では、Web-UI 画面のうち、状態が変化する画面の自動更新を設定します。この設定は、ユーザー 単位に設定・管理できます。

FUjitsU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX OCCURATIONS	Active:MMB#0
System Partition Use	r Administration Network Conf	gu mos Maintenance	Logout
>Network Configuration	n >Refresh Rate		
Date Imme     Network Interface     Management LAN P     Network Protocols     Refresh Rate     SNMP Configuration     SSL     SSL     SSL     SSL     Remote Server Mana     Access Control     Alarm E-Mail	ern Configur genuent Refresh Rate	nte nton to apply all changes. (© Enable 10 (sec) O Disable	Hap
	8	Apply Cancel	

## 図 1.102 [Refresh Rate] 画面

### 表 1.113 [Refresh Rate] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Refresh Rate	表示内容が変化する Web-UI の画面を、自動的に更新するかどうかを設定する。
	[Enable] を設定した場合は、自動更新の時間間隔を秒単位で設定できる。
	指定可能な [Refresh Rate] の時間間隔は、5~999 秒。
	Disable では自動リフレッシュしない。
	デフォルトは Disable。
	備考
	Refresh Rate を Enable にしても、Dialog Box が表示されている場合は自動的に Refresh
	されない。

## 表 1.114 [Refresh Rate] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	リフレッシュの指定情報を設定する。
Cancel	リフレッシュの指定情報が設定されず元に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Refresh Rate]

### (2) 画面操作

- [Refresh Rate] の[Enable] または[Disable] を指定します。
   [Enable] の場合は、時間間隔を入力します。
- [Apply] ボタンをクリックします。
   自動リフレッシュの情報が設定されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00441	Range over error.

# 1.5.6 [SNMP Configuration]メニュー

[SNMP Configuration] のメニューには、以下の画面があります。

- ■[ SNMP Community] 画面
- ■[SNMP Trap] 画面
- ■[SNMP v3 Configuration] 画面

## 1.5.6.1 [SNMP Community] 画面

[SNMP Community] 画面では、SNMP に関する設定ができます。 MMB では、最大 16 個の[Community/User] を設定できます。

N P: Si S	Iodel: 'art Number: erial Number: tatus:	PRIMEQUEST. MCXXXXXXX Mormal	2800E		Act	tive:MMB
stem Partition User Administ	nation Network Config	nation Maintenance				Logs
etwork Configuration >SNMP	Configuration >Commu	uty				
Jam Time Vetwork Interface Annagement LAN Port Configu Vetwork Protocols Refresh Rate SNMP Configuration	SNMP Com Click the Apply But	munity on to apply all changes.				Ŀ
Community	System Informa	tion				
Trap SNMPv3 Configuration	System Name	PRIMEQUEST				
SL	System Location					
SH	System Contact					
emote Server Management	Note)System N	ame can be configured in	System->System Information page.			
tecess Control Joann F. Mail	Community					
an in 25-2400	Community User	r.	IP Address/MASK	SNMP Version	Access	Auth
				1 -	Read Only 👻	noauth 😪
				1 -	Read Only 💌	noauth 🖂
				1 -	Read Only 💌	noauth ~
				1 -	Read Only	noauth 14
	1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Transa anny	-
				1 -	Read Only	noauth 1
				1 ~	Read Only ¥	noauth v
				1 × 1 × 1 ×	Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥	noauth ~ noauth ~
				1 v 1 v 1 v	Read Only V Read Only V Read Only V Read Only V	noauth ~ noauth ~ noauth ~
				1 v 1 v 1 v 1 v 1 v	Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥	noauth ~ noauth ~ noauth ~
				1 v 1 v 1 v 1 v 1 v 1 v	Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥	noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~
					Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥	noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v
					Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥ Read Only ¥	noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~
					Read Only * Read Only *	noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~
					Read Only * Read Only *	noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~ noauth ~
					Read Only * Read Only *	noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v noauth v
					Read Only * Read Only *	Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~ Indeuth ~

## 図 1.103 [SNMP Community] 画面

表 1.115	[SNMP Community]	画面の表示・設定項目
---------	------------------	------------

項目	内容
System Name	SNMP のシステム名を表示する。
	システム名は[System] – [System Information]で設定します。
System Location	SNMP の System Location を設定する。
	最大 63 文字まで入力が可能です。
	英数字、半角スペースと以下の文字を使用できる。
	! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @ ` [ ] { } : ; * + ? <> . , / _
	ただし、以下の制限がある。
	・ #と半角スペースは先頭文字として使用できない。
	<ul> <li>半角スペースは最後の文字として使用できない。</li> </ul>
System Contact	SNMP の System Contact を設定する。
	System Contact に使用できる文字は[System Location] と同じ。
Community/User	SNMP v1、v2 の場合は SNMP Community ストリングを設定する。
	SNMP v3 の場合は User 名を指定する。
	最大 31 文字まで入力が可能です。
	英数字と以下の文字を使用できる。
	!"#\$%&'()*+,/@[]^_`{ }~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できない。
IP Address/MASK	・ IP アドレスを指定する場合:IP アドレスを指定する。
	<ul> <li>・サブネットで指定する場合:サブネットおよびマスクを指定する。</li> </ul>
SNMP Version	SNMP のバージョンを設定する。(1、2、3)
Access	読込みのみか、書込みも許可するのかを設定する。
	• Read Only
	• Read Write
Auth	セキュリティレベルを設定する。
	[SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ設定可能となる。
	・ noauth:認証機能を利用しない。
	・ auth:認証機能を利用する。
	・ priv:認証機能および「プライバシー」機能(データの暗号化) を利用する。
	[SNMP Version] で[1] または[2] が選択されている場合は、本項目は設定できない(グレー
	アウト表示)。この場合のセキュリティレベルは、noauth のみ。

表 1.116 [SNMP Community] 画面のボタン

ボタン	内容
АррІу	指定した情報が設定される。
Cancel	コミュニティ、アクセスを許す IP アドレスなど、指定した情報は設定されず
	元に戻る。

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP Community]

- (2) 画面操作
  - コミュニティなどの情報を設定する場合
  - コミュニティ、アクセスを許す IP アドレス、SNMP バージョン、アクセス権限、認証などを入力し、[Apply] ボタンをクリックします。 入力した情報が設定されます。
  - コミュニティなどの情報を削除する場合
  - 1. コミュニティ、およびアクセスを許す IP アドレスをクリアし、[Apply] ボタンをクリックします。 設定されていた情報がクリアされます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00595	It is IP address that duplicates with MMB IP address.
画面で表示されるメッセ	ージの詳細については、『PRIMEOLIEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-

# 1.5.6.2 [SNMP Trap] 画面

[SNMP Trap] 画面では、SNMP トラップの送信先を設定します。

トラップ先は、最大16個まで設定できます。

SNMP Trap を送信するには、[Network Protocols] 画面で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要が あります。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXX GOLDONICO- Normal					Active:MMB#0
System Partition User At >Network Configuration >S	Interstration SNMP Configuration >Trap	Maintenance					Logout
Date-Time     Network Interface     Management LAN Port (     Network Protocols     Refresh Rate     SNMP Configuration     Community	Configur Click the Apply Butto	n to apply all changes.					Help
<ul> <li>Trap</li> <li>SNMPv3 Configuration</li> </ul>	n Community/User	IP Address	SNMP Version	Auth	Auth Type	Auth passphrase Priv passphrase	
<ul> <li>SSL</li> <li>SSH</li> <li>Remote Server Manazen</li> </ul>			1 4	neauth (*)	MD5 ~		
<ul> <li>Access Control</li> <li>Alarm E-Mail</li> </ul>			1 -	noauth 🛩	MD5 🛩		
			1 -	noauth  ~	MD5 Y		
			1.4	noauth 🖂	MD5 v		
			1 4	noauth 🖂	MD5 V		
			1.4	nosuth 🗠	MD5 V		
			1.4	noauth 🛩	MD5 🗸		
			1 4	nosuth ~	MD5 ~		
	0		1.	noauth 😪	MD5 ~		
			1 *	noauth 😪	MD5 ~		
<	8	Apply	Cancel Test Tr	rap			1

図 1.104 [SNMP Trap] 画面

項目	内容
Community/User	SNMP v1、v2 の場合は SNMP Community ストリングを設定する。
	SNMP v3 の場合は User 名を指定する。
	最大 31 文字まで入力が可能です。
	英数字と以下の文字を使用できます。
	!"#\$%&'()*+,/@[]^_`{ }~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
IP Address	IPv4 または IPv6 の Trap 転送先の IP アドレスを設定する。
SNMP Version	SNMP のバージョンを設定する。(1、2、3)
Auth	セキュリティレベルを設定する。
	[SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ設定可能。
	・ noauth:認証機能を利用しない。
	・ auth:認証機能を利用する。
	・ priv:認証機能および「プライバシー」機能(データの暗号化)を利用する。
	[SNMP Version] で[1] または[2] に設定されている場合は、本項目は設定できない(グレー
	アウト表示)。この場合のセキュリティレベルは noauth のみ。
Auth Type	パスワードを暗号化するのに使用するハッシュ関数を指定する。
	• MD5
	• SHA
	[SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ有効。[SNMP Version] で[1] または[2] に設
	定されている場合は、本項目は設定できない(グレーアウト表示)。
Auth passphrase	認証用のパスフレーズを設定する。
	[SNMP Version] が[3]、かつ[Auth] に[auth]、または[priv] が設定されている場合のみ有
	效。
	8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。
	英数字と以下の文字を使用できます。
	! " # \$ % & '( ) * + , / @ [ ] ^_ ` {   } ~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Priv passphrase	暗号化用のパスフレーズを設定する。
	[SNMP Version] が[3]、かつ[Auth] に[priv] が設定されている場合のみ有効。
	8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。
	英数字と以下の文字を使用できます。
	! " # \$ % & '( ) * + , / @ [ ] ^_ ` {   } ~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定される。
Cancel	コミュニティまたはユーザー名、トラップ転送先の IP アドレスなどの指定した情報が設定さ
	れず元に戻る。
Test Trap	現在設定されているトラップディスティネーションに対してテスト用のトラップが送信され
	る。

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP Trap]

#### (2) 画面操作

- SNMPトラップの情報を設定する場合
- コミュニティまたはユーザー名、トラップ転送先の IP アドレス、SNMP バージョンおよび、認証レベルを入 カして[Apply] ボタンをクリックします。 入力した情報が設定されます。
- テスト用のトラップを送信する場合
- [Test Trap] ボタンをクリックします。
   テストトラップが送信されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00595	It is IP address that duplicates with MMB IP address.

## 1.5.6.3 [SNMP v3 Configuration] 画面

[SNMP v3 Configuration] 画面では、SNMP v3 に固有の Engine ID およびユーザーを設定します。 SNMPv3 ユーザーを最大 16 ユーザーまで登録できます。すでに登録されているユーザーは、名前が表示されます。

#### 備考

Engine ID または IP アドレスを変更した場合、SNMP v3 アクセス用に設定したユーザーは最初からすべて設定しなおす 必要があります。

設定したユーザーを有効にするためには、いったん SNMP サービスを停止させ再起動する必要があります。 そのため、本画面で[Apply] ボタンをクリックした場合、一時的に SNMP サービスが停止され、自動で再起動されま す。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Jobsoft000- Namal		Active:MMB#0
System Partition User	Administration Network Control SNMR Conferentian SNMR	2 Configuration		Logout
Date Time     Network Interface     Management LAN Po     Network Protocols     Refresh Rate     SNMP Configuration	stream configur sNMP v3 C Click the Apply But	onfiguration on to apply all changes.		(Help)
Community	Engine ID			
SNMPv3 Configura	nion User			
🖸 SSL 🖸 SSH	User Name	Auth	Auth passphrase Auth passphrase (confirm)	Priv passphrase Priv passphrase (confirm)
Remote Server Manag     Access Control     Alarm E-Mail	ement	© MD5 O SHA		
		© MD5 O SHA		
		MD5     SHA		
		⊙ MD5 ○ SHA		
		• MD5 SHA		
		● MD5 ○ SHA		
		● MD5 ○ SHA		
		◎ MD5 ○ SHA		
		• MD5 SHA		
<	2	1.000	Apply Cancel	1

図 1.105 [SNMP v3 Configuration] 画面

表 1.119	[SNMP v3	Configuration]	画面の表示・	設定項目
---------	----------	----------------	--------	------

項目	内容
Engine ID	Engine ID を設定する。
	省略可能ですが、Engine ID を設定することで、SNMP エージェントを一意に識別可能に
	なります。
	最大 27 文字まで入力が可能です。
	英数字、半角スペースと以下の文字を使用できる。
	! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @ ` [ ] { } : ; * + ? <> . , / _
	ただし、以下の制限がある。
	・ #と半角スペースは先頭文字として使用できない。
	<ul> <li>・ 半角スペースは最後の文字として使用できない。</li> </ul>
User Name	チェックボックスをオンにし、ユーザー名を設定します。
	最大 31 文字まで入力が可能です。
	英数字と以下の文字を使用できます。
	!"#\$%&'()*+,/@[]^_`{ }~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Auth Type	認証タイプを設定します。
	・ MD5:パスワード暗号化のハッシュ関数として MD5 を使用します。
	・ SHA:パスワード暗号化のハッシュ関数として SHA を使用します。
Auth passphrase	認証用のパスフレーズを設定します。
Auth passphrase	8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。
(confirm)	パスワードベース認証(暗号化なし)が有効な場合にパケット暗号化に使用されるキーワード
	ল্বে ,
	英数字と以下の文字を使用できます。
	!"#\$%&'()*+,/@[]^_`{ }~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Priv passphrase	暗号化用のパスフレーズを設定します。
Priv passphrase	8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。
(confirm)	パスワードベースの認証と暗号化が有効な場合にパケット暗号化に使用されるキーワードで
	<b>उ</b> .
	英数字と以下の文字を使用できます。
	!"#\$%&'()*+,/@[]^_`{ }~
	ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」 (シャープ) 、「'」(シングルクォーテーシ
	ョン)、「'」 (バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。

X 1.120 JJMM VJ Connguiacion 回回の小ノノ	表 1.120	[SNMP v3 Configura	ition] 画面のボタン
-------------------------------------	---------	--------------------	---------------

ボタン	内容
Apply	指定した情報を設定する。
Cancel	指定した情報は設定されず、元に戻る。

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP v3 Configuration]

#### (2) 画面操作

- 選択したユーザーの情報を修正する場合
- ユーザーのチェックボックスをオンにし、必要な情報を入力して[Apply] ボタンをクリックします。
   選択したユーザーが反映されます。このとき、SNMP サービスはいったん停止され、再起動されます。
- 選択したユーザーを無効にする場合
- 1. 無効にするユーザーのチェックボックスをオンにし、ユーザー名に何も入力せず、[Apply] ボタンをクリック します。

選択したユーザーが無効になります。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.

# 1.5.7 [SSL] メニュー

[SSL] メニューには、 次の画面があります。

- [Create CSR] 画面
- [Export Key/CSR] 画面
- [Import Certificate] 画面
- [Create Selfsigned Certificate] 画面

## 1.5.7.1 [Create CSR] 画面

[Create CSR] 画面では、秘密鍵と、それに対応する CSR (署名要求) を作成します。 下記の入力項目は認証局によって固有のガイドラインがあるため、送付先として選択した認証局のガイドラインに従って入力します。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUE MCXXXXXX Johnson	ST2800E IX	Active:MMB#0	613
System Partition User Adm	inistration   Network Configu	ation Maintenance		Logout	
>Network Configuration >SS	L >Create CSR				
Date Time     Network Interface     Management LAN Port Co     Network Protocols	Create CSR	Button for creating	a new Key and a CSR(Certificate Signing I	Help	Ð
Refresh Rate     SNMP Configuration     SSL	SSL certificate status:	No certificate is insta	lled.		
Create CSR	Key length	(i) 102	24 0 2048		
Export Key CSR     Import Certificate	Country Name(ISO	ex.[JP][US])			
Create Selfsigned Certifi	cate State or Province Na	ane 🗌			
O SSH	Locality Name				
Remote Server Management Access Control	Organization Name				
Alarm E-Mail	Organization Unit Na	me [			
8	Common Name				
	E-Mail Address				
			Create CSR Cancel		

## 図 1.106 [Create CSR] 画面

項目	内容
SSL certificate status	現在の SSL 証明書のインストール状況を表示する。
	・ No certificate is installed. :SSL 証明書がインストールされていません。
	・ CSR has been generated. :CSR が作成済みです。
	・ A signed certificate is installed. :SSL 証明書がインストール済みです。
Key length	作成する秘密鍵の鍵長 (bit 数) を選択する。
	· 1024
	· 2048
Country Name	作成する CSR に設定される所有者の ISO 国コードを 2 文字の英字で設定する。
	例:
	日本「JP」、USA「US」
State or Province	作成する CSR に設定される所有者の都道府県名を 56 文字以内の指定可能文字で設定する。
Name	
Locality Name	作成する CSR に設定される所有者の都市名を 56 文字以内の指定可能文字で設定する。
Organization Name	作成する CSR に設定される所有者の組織名 (会社名) を 56 文字以内の指定可能文字で設定す
	ිං
Organization Unit	作成する CSR に設定される所有者の所属名を 56 文字以内の指定可能文字で設定する。
Name	
Common Name	作成する CSR に設定される所有者のサーバの FQDN を 56 文字以内の指定可能文字で設定す
	යිං
	たとえば、www.mycompany.com など。ブラウザは、この情報を使って Web サイトを確
	認する。ブラウザによっては、サーバ名と電子証明書に組み込まれている Common Name
	が一致しない場合、安全な接続の確立を拒否する場合もあります。このため、FQDN で
	MMB にアクセスする場合は、Common Name には FQDN を指定する必要があります。
	Common Name には、プロトコル指定子 http:// やポート番号、パス名などを含めてはなら
	ない。また、"*"、"?" などのワイルドカードや IP アドレスの使用は禁止されている。
E-Mail Address	作成する CSR に設定される所有者の E-Mail アドレスを 40 文字以内の指定可能文字で設定す
	යිං

表 1.121 [Create CSR] 画面の表示・設定項目

表	1.122	[Create CSR]	画面のボタン
---	-------	--------------	--------

ボタン	内容
Create CSR	秘密鍵と署名要求が作成される。
Cancel	指定した情報は設定されず、元に戻る。

[Network Configuration] - [SSL] - [Create CSR]

- (2) 画面操作
  - 秘密鍵の長さ、所有者の ISO 国コードなどを指定して[Create CSR] ボタンをクリックします。
     新しい秘密鍵を作成すると以前の秘密鍵が使用できなくなる旨のダイアログボックスが表示されます。
  - 2. ダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックします。 新しい秘密鍵と署名要求が作成されます。作成時間が 数分かかることがあり、作成が完了すると確認ダイアログボックスが表示されます。



Web ペ	ージからのメッセージ
?	I_00465 A new Key and a CSR are generated successfully. To use the new Key, click ″OK″ button. OK キャンセル

3. 新しい秘密鍵を設定する場合、確認ダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックします。 作成した新しい秘密鍵が設定され、[Export Key/CSR] 画面が表示されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
W_00426	Invalid values specified.
I_00444	Previous private key will be overwritten with new private key.
	Are you sure?
I_00465	A new Key and a CSR are generated successfully.
	To use the new Key, click "OK" button.
E_00012	One or more errors occurred while setting.
E_00018	Information acquisition failed.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.5.7.2 [Export Key/CSR] 画面

[Export Key/CSR] 画面では、MMB 内に格納されている秘密鍵または CSR (署名要求) を取り出せます。

#### 備考

セキュリティ上、秘密鍵の保管には注意が必要です。

また、本秘密鍵に対して発行された電子証明書を使用するためには、この秘密鍵が必要となるため、秘密鍵を必ずバックアップしておくことを推奨します。

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX -000000000-	Active:MMB#0
System Partition Use	Administration Network Corf	Instation Maintenance	Logout
>Network Configuration	a >SSL >Export Key/CSR		
<ul> <li>Network Configuration</li> <li>Date Time</li> <li>Network Interface</li> <li>Management LAN P</li> <li>Network Protocols</li> <li>Refresh Rate</li> <li>SNMP Configuration</li> <li>SSI</li> <li>Create CSR</li> <li>Export Key CSR</li> <li>Import Certificate</li> <li>Create Selfiguration</li> <li>SSH</li> <li>Remote Server Minia</li> <li>Access Control</li> <li>Alarm E-Mail</li> </ul>	a>SSL>Export KeyCSR Export Ke To export the priv To export the CSF Certificate gement	y/CSR ate key, click the Export Key Button. t, click the Export CSR Button	Help
8	X	Export Key Export CSR	

図 1.108 [Export Key/CSR] 画面

表 1.123 [Export Key/CSR] 画面のボタン

ボタン	内容
Export Key	秘密鍵が取り出される。
Export CSR	CSR が取り出される。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSL] - [Export Key/CSR]

- (2) 画面操作
  - 秘密鍵を取り出す場合
  - [Export Key] ボタンをクリックします。
     ダイアログボックスが表示されます。
  - 保存するパスを指定します。
     指定したパスに秘密鍵が保存されます。
  - CSR を取り出す場合
  - [Export CSR] ボタンをクリックします。
     ダイアログボックスが表示されます。
  - 保存するパスを指定します。
     指定したパスに CSR が保存されます。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
I_00445	Private Key is exported. Are you sure?
I_00446	CSR is exported. Are you sure?
W_00447	Private Key doesn't exist.
W_00448	CSR doesn't exist.

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.5.7.3 [Import Certificate] 画面

[Import Certificate] 画面では、認証局から送付されてきた署名済みの電子証明書を MMB にインポートできます。

ศมมีกรม	Model: Part Number: Social Number:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
rojnoo	Status:	Normal	
System Partition User	r Administration Network Cont	anteritors Maintenance	Logout
>Network Configuration	n >SSL >Import Certificate		
Date Time     Network Interface     Management LAN Po	Import Ce	rtificate	Halp
<ul> <li>Network Protocols</li> <li>Refresh Rate</li> </ul>	To import the certi	ficate, select a cert file and click "Import" button.	
<ul> <li>SNMP Configuration</li> <li>SSL</li> </ul>		[参照]	
Create CSR Export Key/CSR			
<ul> <li>Import Certificate</li> <li>Create Selfsigned 0</li> </ul>	Certificate		
SSH			
Remote Server Mana     Access Control	gement		
Alarm E-Mail			
A CONTRACTOR OF A			
	-	Import Cancel	
<	>	1994 - 1995 - 1905 - 19	

## 図 1.109 [Import Certificate] 画面

表 1.124	[Import Certificate]	画面のボタン
---------	----------------------	--------

ボタン	内容
参照	インポートする電子証明書を選択する画面が表示される。
Import	電子証明書をインポートする。
Cancel	インポートを取り消す。

[Network Configuration] - [SSL] - [Import certificate]

- (2) 画面操作
  - 1. [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[Import] ボタンをクリックします。 電子証明書がインポートされます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文		
I_00013	Setting completed.		
I_00046	Importing has completed.		
E_00047	Importing failed.		
W_00449	A certificate file is not selected yet.		
I_00450	6aa is imported. Are you sure?		

## 1.5.7.4 [Create Selfsigned Certificate] 画面

[Create Selfsigned Certificate] 画面では、自己署名した証明書が作成されます。

#### 備考

自己署名証明書を作成する前に、[Network Protocols] 画面で HTTPS が[Disable] になっていることを確認してください。[Enable] の場合は、[Disable] に設定してから本画面の処理をします。

FUĴÎTSU	Model: Part Nu Serial ? Status:	mber: MCX2 Sumber: SOLD	EQUEST2800E XXXXXX 20002-	Active:MMB#0
System Partition User	Administration	Network Configuration Mainte	enance	Logout
>Network Configuration	>SSL >Create	Selfsigned Certificate		
Date Time     Network Interface     Management LAN Po	ert Configure	Create Selfsigned Co	ertificate	Help
Network Protocols	Ing	out information to the fields then	click the Create Selfsigned Certificate button to create a new selfsigned certificate.	
<ul> <li>Refresh Kate</li> <li>SNMP Configuration</li> <li>SSL</li> </ul>	SS	L certificate status:No certificate	: is installed.	
Create CSR	K	ey length	⊚1024 ○2048	]
Export Key/CSR	T	erm(1-4095 days)		]
Create Selfsigned C	Certificate	ountry Name(ISO ex.[JP][US])		1
🗈 SSH	S	tate or Province Name		
Remote Server Manag	gement L	ocality Name		1
Alarm E-Mail	0	rganization Name		1
Contraction and the second	0	rganization Unit Name		
	C	ommon Name		1
	E	-Mail Address		1
			Create Selfsigned Certificate	
<	3		v(	

図 1.110 [Create Selfsigned Certificate] 画面

表 1.125 [Create Selfsigned Certificate] 画面の表示項目

項目	内容
Term	自己署名証明書の有効期限を日数で設定する。
その他の項目については	、「■[Create CSR] 画面」を参照。

## 表 1.126 [Create Selfsigned Certificate] 画面のボタン

ボタン	内容
Create Selfsigned	自己署名証明書が作成される。
Certificate	
Cancel	証明書の作成を中止する。

[Network Configuration] - [SSL] - [Create Selfsigned Certificate]

- (2) 画面操作
  - 1. 自己署名証明書を作成する前に、[Network Protocols] 画面の項目の[HTTPS] が[Disable] になっていること を確認します。
  - 2. 秘密鍵の長さ、所有者の ISO 国コードなどを指定して[Create Selfsigned Certificate] ボタンをクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックします。
 自己署名証明書が作成されます。作成には数分かかります。作成が完了すると画面が更新され、「SSL certificate status: A signed certificate is installed.」と自己署名証明書がインストールされたことが表示されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
W_00426	Invalid values specified.
I_00444	Previous private key will be overwritten with new private key.
	Are you sure?

# 1.5.8 [SSH] メニュー

[SSH] メニューには、[Create SSH Server Key] 画面があります。

## ■ [Create SSH Server Key] 画面

[Create SSH Server Key] 画面では、SSH サーバのプライベートキーを作成できます。

- Private Key を作成することにより SSH クライアントがサーバ(MMB)に接続する際(初回ログイン時)に MMB が 正当なホストであることの確認が行われます。

### 注意

プライベートキーを作成しない場合は、電源オフ/オンでの MMB 再起動時に作り直されます。永続的に使用する場合は以下の作業が必要です。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX 3002455002-	Active:MMB#0
	Status:	Normal	
System Partition User J	Administration Settion Control	Mantenance	Logout
>Network Comparation >	PSSH 255H Server Key		
Date/Time     Network Interface     Management LAN Port	Create SSE	I Server Key	Help
<ul> <li>Network Protocols</li> <li>Refresh Rate</li> <li>SNMP Configuration</li> </ul>	SSH server key sta	tas:SSH server key is NOT installed.	
SSL     SSH			
Remote Server Manage     Access Control	ensent		
O Alarm L-Mai			
		Create SSH Server Key	
<	2		

図 1.111 [Create SSH Server Key] 画面

表 1.127 [Create SSH Server Key] 画面のボタン

ボタン	内容
Create SSH Server Key	SSH サーバのプライベートキーが作成される。

[Network Configuration] - [SSH] - [Create SSH Server Key]

- (2) 画面操作
  - 1. プライベートキーを作成する前に、[Network Protocols] 画面の項目の[SSH] が[Disable] になっていること を確認します。
  - [Create SSH Server Key] ボタンをクリックします。
     プライベートキーが作成されます。作成には数分かかることがあります。作成が完了すると確認ダイアログボックスが表示されます。
  - 新しく作成したプライベートキーを登録する場合、[OK] ボタンをクリックします。新しく作成したプライベ ートキーが登録されます。
     新しく作成したプライベートキーを登録しない場合、[Cancel] ボタンをクリックします。作成した新しいプ ライベートキーは破棄されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
I_00453	SSH Server Key is generated successfully.
	To install this new SSH Server Key click "OK" button.

# 1.5.9 [Remote Server Management] 画面

[Remote Server Management] 画面では、リモートから RMCP で MMB を制御するために必要なユーザーを設定します。

最大で24ユーザーまで登録できます。

デフォルトでは、すべてのユーザーは[Disabled] 状態かつ[No Access] に設定されています。また、デフォルトのユーザ ー名として[User1] から[User24] までそれぞれ名前が設定されています。 リモートから RMCP を使って MMB を制御す る場合は、[User Name]、[Password]、[Privilege] を設定して、 制御する MMB のユーザーを[Enabled] 状態にする 必要があります。

[Enabled] 状態のユーザー名とパスワードを使って、リモートからのアクセスを認証します。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX	-	Active:MMB#0
System Darbition Hear	Status:	Nomal		Locost
Network Configuration	>Remote Server Management	Contraction of the local data		Loyou
Date Time Network Interface Management LAN Por Network Protocols Refresh Rate	rt Configur Select a user from t	rver Management he list, then click the Edit button to edit	the user.	Hal
SNMP Configuration	User Name	Privilege	Status	
SSL.	O ADMINISTR	ATOR Admin	Enabled	
SSH	O User1	No Access	Disabled	
Remote Server Manag	O User2	No Access	Disabled	
Alarm E-Mail	O User3	No Access	Disabled	
Contraction of Contract	O User4	No Access	Disabled	
	O User5	No Access	Disabled	
	O User6	No Access	Disabled	
	O User7	No Access	Disabled	
	O User8	No Access	Disabled	
	O User9	No Access	Disabled	
	O User10	No Access	Disabled	
	O Userl 1	No Access	Disabled	
	O User12	No Access	Disabled	
	O User13	No Access	Disabled	
	O User14	No Access	Disabled	
	O User15	No Access	Disabled	
	O User16	No Access	Disabled	
	O User17	No Access	Disabled	
	O User18	No Access	Disabled	
	C Lizzalo	No Access	Disabled	

図 1.112 [Remote Server Management] 画面

項目	内容
User Name	ユーザー名を表示する。
	入力可能文字数は、3 文字以上 16 文字以下。
Privilege	ユーザーアカウント権限を表示する。
	• Admin
	• Operator
	• User
	· CE
	・ No Access (No Access を選択したユーザーは、リモートからアクセスすることはできな
	い。)
Status	現在のアカウントの状態を表示する。
	• Enabled
	• Disabled

## 表 1.128 [Remote Server Management] 画面の表示・設定項目

### 表 1.129 [Remote Server Management] 画面のボタン

ボタン	内容		
Edit	[Edit User] 画面が表示される。		
Cancel	選択したユーザーの管理情報が設定されず元に戻る。		

### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Remote Server Management]

### (2) 画面操作

- 設定するユーザーのラジオボタンをオンにし、[Edit] ボタンをクリックします。
   [Edit User] 画面が表示されます。
- 2. [Edit User] 画面でユーザー管理情報を設定します。

## 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
E_00053	Failed to get user status. Retry 60 seconds later.
W_00413	Nothing is selected.

# ■ [Edit User] 画面

[Edit User] 画面では、ユーザーの管理情報が変更できます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX	Active:MMB#0
System Partition User	Administration Network Con	fight man Maintenance	Logout
>Network Configuration	>Remote Server Management		
Network Interface	Edit User		Help
Management LAN Po	et Configuri		
Network Protocols     Refresh Pare	Click the Apply I	lutton to apply all changes.	
SNMP Configuration	User Name	ADMINISTRATOR	
SSL     eeu	Password		
Remote Server Mana.	gement Confirm Passwo	bar and a second s	
Access Control	Privilege	Admin 🗸	
D Alarm E-Mail	Status	Enabled      Disabled	
		(Apply) Cancel	

## 図 1.113 [Edit User] 画面

項目	内容	
User Name	ユーザー名を設定する。	
	入力可能文字数は、3 文字以上 16 文字以下。ユーザー名に使用できる文字は以下のとお	
	り。[0-9]、[a-z]、[A-Z] (英数字のみ)	
Password	パスワードを設定する。	
	入力可能文字数は、8 文字以上 16 文字以下。パスワードに使用できる文字は以下のとお	
	り。[0-9]、[a-z]、[A-Z] (英数字のみ)	
Confirm Password	確認のためのパスワードをもう一度入力する。	
Privilege	ユユーザーアカウント権限を設定する。	
	· Admin	
	• Operator	
	• User	
	· CE	
	・ No Access (No Access を選択したユーザーは、リモートからアクセスすることはできな	
	い。)	
Status	現在のアカウントの状態を設定する。	
	• Enabled	
	• Disabled	

## 表 1.130 [Edit User] 画面の表示・設定項目

表 1.131 [Edit User] 画面のボタ:
----------------------------

ボタン	内容
Apply	指定した管理情報が設定される。
Cancel	ユーザー名、パスワードなどの指定した情報が設定されず元に戻る。

## (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Remote Server Management] - [Edit] ボタン

### (2) 画面操作

1. ユーザー名、パスワードなどのユーザーの管理情報を指定し、[Apply] ボタンをクリックします。 ユーザーの管理情報が設定されます。

## 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文	
I_00013	Setting completed.	
W_00401	Username is too short.	
W_00402	Password is too short.	
W_00454	%aa is duplicated.	
W_00406	Invalid character is included in UserName.	
W_00403	Invalid character is included in Password.	
W_00455	Both passwords are mismatched. Please try again.	

# 1.5.10 [Access Control] 画面

[Access Control] 画面では、MMB のセキュリティを確保するため、ネットワークプロトコルに対してアクセス制御ができます。

最大 64 個のフィルタを設定可能です。フィルタは、プロトコル名のアルファベット順に表示されます。

### 備考

アクセス制御のフィルタは、同じ設定内容で複数登録できますが、動作には問題ありません。

FUĵitsu	Model: Part Nu Serial N Status:	mber: umber:	PRIMI MCXX Jointon	EQUEST2800E XXXXXX	Active:MMB#0
System Partition Use >Network Configuration	r Administration	Network Cod	Mainte	nance	Legeut
Dute Time     Network Interface     Management LAN P     Network Protocols     Refresh Rate     SNMP Configuration	ort Configur. Clic Sele	ccess Co ik Add Filter b ect a filter from	ntrol utton to add a ner the list then click	w filter. Edit/Remove Filter button to edit or remove the filter.	Help
SSL SSL		Select Protoc	of IP Address	Subnet Mask/Prefix Length	
<ul> <li>SSH</li> <li>Remote Server Many</li> </ul>	and the second second	○ SSH	192.168.10.2	0 255.255.255.0	
Access Control	Contena de la				
Alaran E-Mail					
				Add Filter Edit Filter Remove Filter Cancel	

## 図 1.114 [Access Control] 画面

項目	内容	
Select	設定を変更するフィルタを選択する。	
Protocol	IP フィルタリングの対象となるプロトコルを表示する。	
	• HTTP	
	• HTTPS	
	• Telnet	
	• SSH	
	• SNMP	
	• RMCP (*)	
	*) RMCP は、BC20011、BB20011、BA20011 以降のファームウェア版数から利用可能です。	
IP Address	接続を許可する IP アドレスを表示する。	
Subnet Mask/Prefix	IPv4 の場合、接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを表示する。	
Length	IPv6 の場合、プレフィックス長を表示する。	

### 表 1.132 [Access Control] 画面の表示・設定項目

### 表 1.133 [Access Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Add Filter	新規にフィルタを追加するための[Add Filter] 画面が表示される。
Edit Filter	フィルタを編集するための[Edit Filter] 画面が表示される。
Remove Filter	選択したフィルタが削除される。
Cancel	設定した情報が設定されずに、元に戻る。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Access Control]

- (2) 画面操作
  - 新規にフィルタを追加する場合
  - [Add Filter] ボタンをクリックします。
     [Add Filter] 画面が表示されます。
  - 2. [Add Filter] 画面でフィルタを設定し、[Apply] ボタンをクリックします。 新たなフィルタが追加されます。
  - フィルタを編集する場合
  - 1. [Select] のラジオボタンで編集対象のフィルタをオンにし、[Edit Filter] ボタンをクリックします。 [Edit Filter] 画面が表示されます。
  - 2. [Edit Filter] 画面でフィルタを編集し、[Apply] ボタンをクリックします。
  - フィルタを削除する場合
  - 1. [Select] のラジオボタンで削除対象のフィルタをオンにし、[Remove Filter] ボタンをクリックします。 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックします。
     フィルタは削除され[Access Control] 画面に戻ります。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00013	Setting completed.
E_00412	You need an empty entry.
W_00413	Nothing is selected.

## ■ [Add Filter]/[Edit Filter] 画面

[Access Control] 画面で[Add Filter] ボタンまたは[Edit Filter] ボタンをクリックすると、[Add Filter] 画面または[Edit Filter] 画面が表示されます。

[Add Filter] 画面と[Edit Filter] 画面は、画面タイトルが異なるだけで、設定項目は共通です。ここでは、[Add Filter] 画面で説明します。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX 300000000000 Normal	Active:MMB#0
System Partition User Administration Network Configuration		na atom Mantenance	Logout
Date Time     Date Time     Network Interface     Management LAN Po     Network Protocols     Refresh Rate	Add Filter Click the Apply Bu	itton to apply all changes.	(Help)
SNMP Configuration	Protocol	SSH 🛩	
⊡ SSL ⊡ SSH	Access Contro	N	
Remote Server Manag	IP Address	192.168.10.30	
Access Control	Subnet Maski	Prefix Length 255 255 255 0	
<	3	(Apply) Cancel	

図 1.115 [Add Filter] 画面

項目	内容
Protocol	IP フィルタリングの対象となるプロトコルを設定する。プルダウンメニューから選択する。
	• HTTP
	• HTTPS
	• Telnet
	• SSH
	• SNMP
	• RMCP (*)
	*) RMCP は、BC20011、BB20011、BA20011 以降のファームウェア版数から利用可能です。
Access Control	アクセス制御をするかどうかを設定する。
	・ Disable: [Protocol] で選択したプロトコルに対するアクセスがすべての IP に対して許
	可される。[IP Address]、[Subnet Mask/Prefix Length] は入力禁止となる。
	・ Enable: [Protocol] で選択したプロトコルに対してアクセスを許可する[IP Address]、
	[Subnet Mask/Prefix Length] を設定する。
IP Address	接続を許可する IP アドレス(IPv4 または IPv6) を入力する。
	備考
	IPv4 の場合、あるサブネット内の特定 IP アドレスにだけ接続を許可するには、その IP アド
	レスを設定して、[Subnet Mask/Prefix Length] には「255.255.255.255」を設定する。
	IPv6 の場合、プレフィックス長を表示する。
	例) 特定の IP をアクセス制御したい場合(例:192.168.60.60/255.255.255.0)
	IP Address : 192.168.60.60
	Subnet Mask/Prefix Length:255.255.255.0
	(24bit マスクで使用している IP のため)
	・ 上記のように設定した場合は、192.168.60.60の IP だけでなく、192.168.60.0/24
	のサブネット内でアクセス制御が有効になる。
Subnet Mask/Prefix	IPv4 の場合、接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを表示する。
Length	IPv6 の場合、プレフィックス長を表示する。

表 1.134 [Add Filter] 画面の表示・設定項目

表 1.135	[Add Filter] 画面のボタン
---------	---------------------

ボタン	内容		
Apply	指定した情報が設定される。		
Cancel	プロトコル、アクセスコントロールなどの指定した情報が設定されず元に戻る。		

[Network Configuration] - [Access Control] - [Add Filter] ボタン/[Edit Filter] ボタン

- (2) 画面操作
  - 1. [Protocol]、[Access Control] を指定します。
  - [Access Control] を[Enable] に設定した場合は、[IP Address]、[Subnet Mask] を入力して、[Apply] ボタン をクリックします。
     [Access Control] を[Disable] に設定した場合は、そのまま[Apply] ボタンをクリックします。 フィルタが追 加または編集されます。

### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文		
I_00013	Setting completed.		
W_00432	Invalid IP Address specified.		

# 1.5.11 [Alarm E-Mail] 画面

[Alarm E-Mail] 画面は、PRIMEQUEST 2000 シリーズでイベントが発生したときに E-Mail で通知する設定をします。

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Guidentee	Active:MMB#0
System Partition User A	Administration Network Co	Maintenance	Logout
>Network Configuration >	Alarm E-Mail		
Date Time     Network Interface     Management LAN Port     Network Protocols     Refresh Rate	Configure Click the Apply	Mail Button to apply all changes.	Help
SNMP Configuration	Alarm E-M	il ⊕Enable ⊖Disable	]
<ul> <li>SSL</li> <li>SSH</li> <li>Remote Server Manager</li> </ul>	From:	Use envelope "from" address	
Access Control	To:	john@amith.com.	
Alarm E-Mail	SMTP Serv	rer 152.168.10.50	
	Subject	test alarm	-
<	3	Apply Cancel Filter Test E-Ma	81

図 1.116 [Alarm E-Mail] 画面

## Alarm E-Mail のメッセージのフォーマットは以下になります。

MMB P#x yyyy-mm-dd hh:mm:ss L uuuuuuu EID#eeeeee ddddddd Part#ppppppp Serial#ssssss

P#x	: パーティション ID (x は 10 進表記) システムの場合は S 複数パーティションの場合は半角空白で区切って P#x を並べる
yyyy-mm-dd hh:mm:ss	:イベント発生日時
L	: レベル E:Error / W:Warning / I:Information
ບບບບບບບ	: Unit 名 SB#0-DIMM#0A0 の形式
EID#eeeeee	: イベント ID イベントメッセージと 1 対 1 で対応する ID
dddddddd	: イベントメッセージ (SEL メッセージと同じ内容)
Part#ppppppp	:SEL レコードに格納されたパーツ番号
Serial#ssssss	:SEL レコードに格納されたシリアル番号

例)

MMB P#0 P#1 P#2 P#3 2015-12-03 15:32:59 W MMB#0-+5VL EID#020100FF Lower Non-critical - going low Assert 0.21V threshold: 4.59V Part#CA07125-D053 Serial#PP0948012P
表	1.136	[Alarm E	-Mail]	画面の表示・	設定項目
---	-------	----------	--------	--------	------

項目	内容
Alarm E-Mail	イベント発生時に Alarm E-Mail を送信するかどうかを設定する。
	• Enable
	• Disable
	本項目が Disable の場合、 From: 以降の項目は使用されません。
From:	送信元の E-Mail アドレスを設定する。
	最大 63 文字まで入力が可能です。
	[Use envelope "from" address] のチェックボックスをオンにすると、[From:] のアドレス
	を送信元の E-Mail アドレスとして設定し、メールを送信する。デフォルトはオフ。
	メールサーバは Alarm E-Mail を受信すると、[From:] で設定されているアドレスをメール
	ヘッダの Return-Path に設定する。また、メーリングリストの場合は、 [From:] で設定され
	ているアドレスの代わりにメーリングリストの管理者のアドレスを Return-Path に設定す
	る。
	ただし、Return-Path の設定はメールサーバの設定に依存するため、Return-Path が設定さ
	れない場合もある。
То:	送信先の E-Mail アドレスを設定する。
	最大 255 文字まで入力が可能です。
	複数設定する場合は、「,」 (カンマ) で区切る。
SMTP Server	SMTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を設定する。
	最大 63 文字まで入力が可能です。
	FQDN が設定できるのは、DNS を設定している場合のみ(DNS サーバは、[Network
	Configuration] - [Network Interface] から設定できる)。
Subject	メールの件名を設定する。
	最大 63 文字まで入力が可能です。

E-Mail アドレスは、"ユーザー名"@"ドメイン名"の形式です。"ユーザー名"、および、"ドメイン名" 部で使用可能な文字は、それぞれ RFC 2822、RFC 1034 に従います。

たとえば、

- "ユーザー名"には、英数字と! # % & ' \* + / = ? ^ \_ ` { | } ~ .が使用可能である。
- ただし、「#」は先頭文字に使用できない。「.」は先頭文字と最後の文字には使用できない。また「.」は2個連続して使用できない。(詳細は、RFC 2822 参照)。

"ドメイン名" には、英数字と「-」のみが使用可能です。ただし、ドメイン名の先頭文字は英文字のみ、 また、最後の文 字は英数字のみという制約があります(詳細は、RFC 1034 参照)。 Subject には、英数字と! # " \$ % & ' ( ) \* + - . / \_ ~ とスペースが使用可能です。

ボタン	内容
АррІу	指定した情報を設定する。
Cancel	Alarm E-Mail 送信の可否、送信元の E-Mail アドレスなどの指定した情報が設定されず元 に戻る。
Filter	Alarm E-Mail を送信するイベントの条件を設定するための[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面を表示する。
Test E-Mail	確認用の Alarm E-Mail を、設定した送信先に送信する。

#### 表 1.137 [Alarm E-Mail] 画面のボタン

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Alarm E-Mail]

#### (2) 画面操作

- 1. Alarm E-Mail 送信の可否、送信元の E-Mail アドレスなどを指定します。
- 2. [Apply] ボタンをクリックします。 画面で指定した項目が設定されます。
- Alarm E-Mail を送信するイベントに対してフィルタを設定する場合、[Filter] ボタンをクリックします。
   [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面が表示されます。
- 4. [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面でフィルタを設定します。
- 5. Alarm E-Mail のテスト送信をする場合には、[Test E-Mail] ボタンをクリックします。 確認用の Alarm E-Mail が、設定されている送信先に送信されます。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文	
I_00001	Command Completed	
I_00013	Setting completed.	
W_00456	valid E-Mail address format.	
W_00457	Invalid SMTP server address.	
I_00458	Please check a Subject.	
W_00459	Alarm E-Mail is disabled.	
W_00595	It is IP address that duplicates with MMB IP address.	

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## ■ [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面

[Alarm E-Mail] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面が表示されます。 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面では、Alarm E-Mail を送信するイベントのフィルタ条件を設定できます。各項 目は AND 条件です。

FUIITSU	Model: Part Num Serial Nur	ber: nber:	PRIMEQUE	ST KX		Active:MMI	B#1
	Status:		Normal			56401 BM	
System Partition User /	Administration Alarm E-Mail	Network Confi	guration Maintena	nce		Log	out
<ul> <li>Date/Time</li> <li>Network Interface</li> <li>Management LAN Port</li> <li>Network Protocols</li> <li>Refresh Rate</li> </ul>	Alarm E Select the filter	-Mail Filt	ering Cond	<b>ition</b> Button.		ĺ	Help
<ul> <li>SNMP Configuration</li> <li>SSL</li> <li>SSH</li> </ul>	1)Severity: 2)Partition:		Varning 🗹 Info				
<ul> <li>Remote Server Manage</li> <li>Access Control</li> </ul>	3)Unit:	○ Specified ○ All	☑0 ☑1 ☑2 5	3			
□ Alarm E-Mail			PSUs SB#0 IOU#0 IOU#2 OPL MMB#0 PCI_Box#0	<ul> <li>✓ Fans</li> <li>✓ SB#1</li> <li>✓ IOU#1</li> <li>✓ IOU#3</li> <li>✓ MMB#1</li> <li>✓ PCI_Box#1</li> </ul>	♥ SB#2	I SB#3	
	4)Source:	⊙ All					
		○ Specified	✓ CPU ✓ Voltage	☑ DIMM ☑ Temperature	<ul><li>✓ Chipset</li><li>✓ Other</li></ul>		
			Apply	Cancel			

図 1.117 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面

項目	説明
Severity	表示する Severity を選択する。複数選択可。
	• Error
	• Warning
	• Info
	デフォルトはすべてオン。
Partition	表示するパーティションを選択する。
	ラジオボタンで[All] か[Specified] かを選択する。
	All:パーティションによるフィルタリングをしない。
	Specified:パーティション単位のフィルタリングが設定可能となる。表示するパーティショ
	ンのチェックボックスをオンにする。複数選択可。
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合のパー
	ティション表示は、0と1のみになります。
	デフォルトはすべてオン。
Unit	表示する対象ユニットを選択する。
	ラジオボタンで[All] か[Specified] かを選択する。
	All:ユニットによるフィルタリングをしない。
	Specified:ユニット単位のフィルタリングが設定可能となる。表示するユニットのチェック
	ボックスをオンにする。複数選択可。
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/
	2400L2/2400S Lite/2400S/2400E/2400L モデルの場合はの Unit 表示は以下のようになり
	ます。*1
	SB : SB#0, SB#1
	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S モデルの場合
	はの Unit 表示は以下のようになります。
	IOU : IOU#0, IOU#2
	PCI_Box : PCI_Box
	デフォルトは All。
Source	表示対象の Source を選択する。
	ラジオボタンで[All] か[Specified] かを選択する。
	All:[Source] によるフィルタリングをしない。
	Specified:Source 単位のフィルタリングが設定可能となる。表示する Source のチェックボ
	ックスをオンにする。複数選択可。
	デフォルトは All。
	注意
	"Source:CPU"のユニットで Filter する場合、CPU と Chipset の両方を指定してください。

表 1.138 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

\*1: PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 の場合、Memory Scale-up Board が使用可能な状態では、SB#0 - SB#3 を表示します。

#### 表 1.139 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	内容
АррІу	フィルタリング条件が設定される。
Cancel	[Severity]、[Partition]、[Unit] などの指定した条件が設定されず元に戻る。

#### (1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Alarm E-Mail] - [Filter] ボタン

#### (2) 画面操作

 [Severity]、[Partition]、[Unit] などを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。 指定したフィルタリング条件が設定されます。

## 1.6 [Maintenance] メニュー

[Maintenance] メニューでは、PRIMEQUEST 2000 シリーズのメンテナンスができます。

## 1.6.1 [Firmware Update] メニュー

[Firmware Update] メニューには、以下の画面があります。

■ [Unified Firmware Update] 画面

### 1.6.1.1 [Unified Firmware Update] 画面

[Unified Firmware Update] 画面では、ファームウェアアップデートを一括処理します。 ファームウェアー式が MMB にアップロードされ、新版のファームウェアが保持されます。 ファームウェアごとにバージョンを確認し、同一版数の 場合はファームウェアのアップデート処理をせず、 版数が違う場合にのみアップデート処理をします。 オンライン・フ ァームウェア・アップデートでは同一版数の更新は行ないません。

#### 注意

MMB あるいは SB が故障している場合は、ファームウェアアップデートの前に保守を行ってください。故障した MMB あるいは SB が構成内に存在するときには、ファームウェアアップデートを実施しないでください。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX december 02		Active:MMB#0
System Partition User >Maintenance >Firmwar	Administration Network Conf e Update >Unified Firmware U	poration Maintenance		Lopout
Finnware Update     Urafied Finnware U     Backup Restore Cont     Maintenance Wizard     REMCS	Unified Fi	rmware Update femware file.	(# <u>30</u> )	Help
<b>4</b>			Update Cancel	

#### 図 1.118 [Unified Firmware Update] 画面

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Firmware Update] - [Unified Firmware Update]

- (2) 画面操作
  - 1. [参照] ボタンをクリックし、一括ファームウェアアップデートファイルを選択します。

2.	[Update] ボタンを	クリックします。	
	一括ファームウェア	アップデートを行うバージョンを確認する以下の画面が表示されます。	
	System Partition User Admin	nistration Network Configuration   Maintenance	Logout
	>Maintenance >Firmware Upd	ate>Unified Firmware Update	
	<ul> <li>Firmware Opdate</li> <li>Unified Firmware Update</li> </ul>	Unified Firmware Update	Help
	<ul> <li>Backup/Restore Configurati</li> <li>Maintenance Wizard</li> </ul>	Current Unified Firmware Version : XXXXXXXX	
	H REMCS	New Unified Firmware Version : XXXXXXXX	
		OK Cancel	

3. アップデートを行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。

#### 【メッセージ】

#### 本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文		
E_00098	Failed to get Unified Firmware version.		
E_00098	Failed to get Individual Firmware version.		
E_00098	Failed to get Lock Manager Process.		
E_00098	Failed to get Lock Control.		
I_00236	The xx.zz firmware update has been completed successfully.		
W_00238	Specified file is not a firmware file. Please select a valid firmware file.		
W_00241	Specified firmware file aaa is invalid. Please select a valid firmware file.		
W_00242	Specified file size is invalid. Please select a valid firmware file.		
I_00474	Unable to execute SEL download due to resource lock. Please retry after waiting a		
	while.		
I_00474	Unable to execute Firmware Update due to resource lock. Please retry after waiting a		
	while.		
W_00476	Unable to execute the online update. Please try the update after the system power off.		
W_00477	Select the file of update.		
W_00478	Unable to execute the update. Standby MMB is fault or disable.		
W_00479	Unable to execute the update. TPM is effective.		
I_00502	The firmware is updating.		
E_00529	Unable to execute Firmware Update because the chassis information could not be		
	retrieved.		
E_00530	Unable to execute Firmware Update because the chassis information is invalid.		
I_00556	The xx.zz online firmware update has been completed successfully. Please shutdown		
	all partitions.		
I_00557	The xx.zz online firmware update has been completed successfully. Please shutdown		
	running partitions.		
W_00583	Unable to execute Firmware Update.		
	Please check the machine status.		
W_00590	The Unified Firmware Version is unknown.		
	Please retry to update the firmware.		

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.6.2 [Backup/Restore Configuration] メニュー

[Backup/Restore Configuration] メニューには、以下の画面があります。

- [Backup/Restore MMB Configuration] 画面
- [Backup BIOS Configuration] 画面
- [Restore BIOS Configuration] 画面

## 1.6.2.1 [Backup/Restore MMB Configuration] 画面

[Backup/Restore MMB Configuration] 画面では、MMB のコンフィグレーション情報のバックアップ、リストアができます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXXX Viewenal	Active:MMB#0
System Partition User	Administration Network Con Restore Configuration >Backup	iguration Masternatice	Logout
Finnware Update     Backup Restore Con     Backup Restore Con     Backup BloS Cor     Restore BloS Cor     Mantenance Wind	figuration MB Coeffig figuration figuration figuration	MB Configuration MMB Configuration, click "Backup" button. Backup	(Help)
E REMCS	Restore M	MB Configuration	
	To restore the	MMB Configuration, select a file and click "Restore" button.	

#### 図 1.119 [Backup/Restore MMB Configuration] 画面

(1) メニュー操作
 [Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Backup/Restore MMB Configuration]

#### (2) 画面操作

- MMB コンフィグレーション情報をバックアップする場合
- [Backup] ボタンをクリックします。 ブラウザの格納先ダイアログボックスが表示されます。
   2 格納生ダイアログボックスで移物パスを選択して、「0½」ボタンをクリックします。
- 格納先ダイアログボックスで格納パスを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
   MMBのコンフィグレーションファイルがダウンロードされます。
   退避する MMBのコンフィグレーションファイルのデフォルト名は、以下のとおりです。
   MMB\_(退避した日付)\_(MMB バージョン).dat
- MMB コンフィグレーション情報をリストアする場合
- 1. システムが全停止していることを確認します。
- 2. [参照] ボタンをクリックし、バックアップされた MMB コンフィグレーションファイルを選択します。
- 3. [Restore] ボタンをクリックします。

MMB ヘファイルが転送され、リストアを確認するための[MMB Configuration File Information:]ダイアロ グボックスが表示されます。

Web ページからのメッセージ
MMB Configuration File Information: Saved Date: 20XX-XX-XX MMB Version: X.XX
OK         キャンセル

- 4. [MMB Configuration File Information:] ダイアログボックスで[OK] ボタンをクリックします。 MMB コンフィグレーション情報がリストアされます。
- 5. リストアしたデータを有効にするため、MMB がリブートされます。

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00054	Restore completed. Now rebooting.
I_00486	Select a file.
E_00055	Failed to restore the MMB Configuration.
E_00056	Failed to backup the MMB Configuration.
E_00057	Specified file can not restore.
E_00058	File format error.
E_00060	Specified file is the one of another machine.
E_00061	Failed to get serial number.
E_00062	Can't restore the MMB Configuration. Please power off the chassis.
E_00063	Failed to reset the MMB. Please turn off the breaker to enable the settings.
画面で表示されるメッセ	

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344 0530) を参照してください。

## 1.6.2.2 [Backup BIOS Configuration] 画面

[Backup BIOS Configuration] 画面では、BIOS のコンフィグレーション情報を、ブラウザが動作している PC 上に退避 できます。

FUĴĨTSU	Mod Part Seria Statu	el: Number: I Numbe is:	r:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Voltante	Active:MMB#0
System Partition User	r Administratic	n Netwo	ork Cor	figuration Maintenance	Logout
>Maintenance >Backup	Restore Conf	iguration )	>Backto	p BIOS Configuration	
Finuware Update     Backup Restore Configuration     Backup Restore MMB Configuration     Backup BIOS Configuration		and Backup BIOS Configuration		IOS Configuration	Help
Maintenance Wizard	anges over a		#	Partition Name	
REMCS		0	0	kato	
		0	1	kato2	
		0	2	hayashida	
		0	3	kikkawa	
				Backup Cancel	

図 1.120 [Backup BIOS Configuration] 画面

表 1.140 [Backup BIOS Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Backup	BIOS コンフィグレーション情報を退避する。
Cancel	BIOS コンフィグレーション情報の退避が中止される。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Backup BIOS Configuration]

- (2) 画面操作
  - BIOS コンフィグレーション情報を退避するパーティションをラジオボタンで選択し、[Backup] ボタンをクリックします。
     格納先ダイアログボックスが表示されます。
  - 格納先ダイアログボックスで格納パスを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
     BIOS コンフィグレーション情報ファイルがダウンロードされます。
     退避する BIOS コンフィグレーションファイルのデフォルト名は、以下になります。
     (パーティション番号)\_(退避した日付)\_(BIOS バージョン).dat

#### 【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文	
I_00066	Failed to backup the BIOS Configuration.	
I_00427	Select a partition.	
E_00006	Authorization required.	
E_00040	Partition not defined.	
E_00098	Failed to get the partition status.	
E_00098	Failed to get the screen information.	

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.6.2.3 [Restore BIOS Configuration] 画面

[Restore BIOS Configuration] 画面では、BIOS のコンフィグレーション情報をリストアできます。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST2800E MCXXXXXXX Vorumentation	Active:MMB#0
System Partition User	Administration Network Confi	RIOS Conference	Logout
System Particle Use >Maintenance >Backup Backup/Restore Conl Backup/Restore Conl Backup/Restore Mine Restore BIOS Con Construction Maintenance Winard REMOS	Restore Configuration >Restore BI	Notice Internation BIOS Configuration Configuration file.	Logud ₩dp
<b>1</b>	8	Upload Cancel	D

図 1.121	[Restore BIOS	Configuration] 画面(1)
---------	---------------	----------------------

FUĴĨTSU	Model: Part Number Sorial Numb Status:	r: er:	PRIMEQUEST 2800E MCXXXXXXX		Active:MIMB#0
System Partition User >Maintenance >Backup	Administration Netv Restore Configuration	rotk Co 1 >Resto	ne BIOS Configuration		Logent
Finnware Update     Backup Restore Conf     Backup Restore M     Backup BIOS Con     Restore BIOS Con     Mantessace Wizard     REMCS	Resto Select participation diguration diguration Config Pa Pa Sa Bit Sala	re Bl filion(s) mation F rition# rition# rition N ved Date OS Vers	IOS Configuration then click the Restore button. File Information 0 anne: PQ2800E#07.p0 e 2013-12-17 sion: 1.15 efined partition(s)		Help
	100	#	Partition Name	BIOS Version	
		0	PQ2800E#07 p0	1.15	
		1	PQ2800E#07 p1	-	
		2	RORST-Legacy	0.00	
		3	PQ2800E#07 p3	1.15	
		7	xPAR07	1.15	
		9	SB#1	1.15	
		10	xPAR10	1.15	
		11	xPAR11	1.15	
SCR.	2	6	Res	tore	

## 図 1.122 [Restore BIOS Configuration] 画面(2)

## 表 1.141 [Restore BIOS Configuration] 画面(2)の表示・設定項目

項目	説明
Select All defined	チェックボックスをオンにすると、すべてのパーティションの BIOS コンフィグレーション
partitions(s)	情報をリストアする。
#	パーティションを識別するための番号を表示する(0~3)。
	リストア対象のパーティションは、左のチェックボックスをオンにして選択する。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示する。
BIOS Version	パーティションに現在インストールされている BIOS のバージョンが表示される。

### 表 1.142 [Restore BIOS Configuration] 画面(2) のボタン

ボタン	内容
Restore	BIOS コンフィグレーション情報ファイルがリストアされる。
Cancel	BIOS コンフィグレーションファイルの復元が中止される。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Restore BIOS Configuration]

#### (2) 画面操作

- [Restore BIOS Configuration] 画面(1) で[参照] ボタンをクリックし、リモート PC に格納されている退避した BIOS コンフィグレーションファイルを選択します。
- [Upload] ボタンをクリックします。
   BIOS コンフィグレーションファイルが MMB へ転送され、[Restore BIOS Configuration] 画面(2) が表示されます。
- [Restore BIOS Configuration] 画面(2) で復元するパーティションを選択して、[Restore] ボタンをクリック します。
   BIOS コンフィグレーション情報ファイルが復元されます。

【メッセージ】

本画面で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージ番号	メッセージ文
I_00064	Restore completed.
I_00486	Select a file.
W_00258	Unable to restore the BIOS configuration because a BIOS configuration information file
	is being restored by another user in the same partition now.
W_00485	Home SB not defined.
E_00024	Installing failed.
E_00027	Installing failed. Size of uploaded file is zero.
E_00039	Uploading failed.
E_00057	Specified file can not restore.
E_00058	File format error.
E_00065	Failed to restore the BIOS Configuration.
E_00067	Can't restore the BIOS Configuration. Please power off the partition(s).

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

## 1.6.3 [Maintenance Wizard] 画面

Maintenance Wizard 画面では、ウィザード形式でユニットの保守をサポートします。本画面を使用するユーザーは、 担当保守員を想定しています。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Maintenance Wizard]

## 1.6.4 [REMCS] メニュー

REMCS に関する操作や設定をするメニューです。

REMCS について詳しくは、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル』 (CA92344-0532) を参照し てください。

# 第2章 MMBのCLI (コマンドラインインター

# フェース) 操作

MMB が提供する CLI (Command Line Interface) について説明します。

## 2.1 CLIの基本操作

CLI にアクセスするには、以下の2通りの方法があります。

- MMB のシリアルポート経由でアクセスする方法
- MMBの管理 LAN 経由でリモート PC からアクセスする方法

#### 備考

GUIと同様に、CLIに同時にログインできるユーザー数の最大値は16です。

## 2.1.1 シリアルインターフェース経由でのアクセス

シリアルインターフェース経由で MMB の CLI にアクセスする手順は、以下のとおりです。

- 1. MMBと端末(ノート PC など)を RS-232C クロスケーブルで接続します。
- 2. 端末でターミナルソフトウェア(Windows の HyperTerminal など) を起動し、ターミナルソフトウェアを以下のように設定します。

設定項目	值
ビット/秒	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし
エミュレーション	VT100

#### 表 2.1 ターミナルソフトウェアの設定値

3. ログインプロンプトが表示されます。ユーザー名、パスワードを入力し、ログインします。

## 2.1.2 **管理 LAN インターフェース経由でのアクセス**

管理 LAN インターフェース経由で MMB の CLI にアクセスする手順は、以下のとおりです。

- 1. MMB とリモート PC をストレート LAN ケーブルで接続します。
- 2. リモート PC 上で、Telnet または SSH クライアントを起動して、MMB の IP アドレス(IPv4 または IPv6)と、 Telnet のポート番号または SSH のポート番号を指定して接続します。
- 3. ログインします。

#### 備考

MMBでは、SSH V2 プロトコルでの接続機能だけを提供します。

このため、MMB と SSH プロトコルで接続するには、SSH V2 対応の端末ソフトウェアを準備する必要があります。 また、MMB に SSH で接続する場合は、チャレンジレスポンス認証で接続する必要があります。

## 2.1.3 **CLI のコマンド一覧**

CLIのコマンドとその内容について説明します。

- 設定用コマンド
- 表示用コマンド
- アップデート用コマンド
- その他のコマンド

各コマンドに必要なアカウント権限の一覧を以下に示します。 アカウント権限の欄の「可」は、そのアカウント権限で コマンドが使用できることを示しています。

- 表 2.2 MMB CLI コマンド一覧(Administrator) (1/2)
- 表 2.3 MMB CLI コマンド一覧 (Administrator) (2/2)
- 表 2.4 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (1/2)
- 表 2.5 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (2/2)
- 表 2.6 MMB CLI コマンド一覧 (Partition Operator) (1/2)
- 表 2.7 MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (2/2)
- 表 2.8 MMB CLI コマンド一覧(User) (1/2)
- 表 2.9 MMB CLI コマンド一覧(User) (2/2)
- 表 2.10 MMB CLI コマンド一覧(CE) (1/2)
- 表 2.11 MMB CLI コマンド一覧(CE) (2/2)

## 表 2.2 MMB CLI コマンド一覧 (Administrator) (1/2)

コマンド	Administrator	概要		
電源制御				
power off	可	電源オフ		
power on	可	電源オン		
パーティション制御				
Sadump	可	sadumpの指示		
Reset	可	Hard Reset の指示		
nmi	可	NMI 割込みの指示		
パーティション接続				
console	可	パーティションへの Text Console 接続		
パーティション構築				
add partition	可	パーティション構成物追加		
remove partition	可	パーティション構成物削除		
show partition configuration	可	パーティション構成表示		
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示		
set reserved_sb	可	Reserved SB 設定		
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示		
set partition home	可	Home SB 設定		
show partition home	可	Home SB 表示		
set partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定		
show partition	可	メモリオペレーションモード設定表示		
memory_operation_mode				
set partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定		
show partition	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示		
memory_mirror_ras_mode				
set partition pci_address_mode	可	PCIバス番号割り付けモード設定		
show partition pci_address_mode	可	PCIバス番号割り付けモード設定表示		
set partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定		
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示		
set partition pci_express_mode	可	PCle モード設定		
show partition pci_express_mode	可	PCle モード表示		
set partition name	可	パーティション名設定		
show partition name	可	パーティション名表示		
set partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定		
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示		
set partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の設定		
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示		
時刻関係		-		
set date	可	日付、時刻設定		
show date	可	日付、時刻表示		
set timezone	可	タイムゾーン設定		
show timezone	可	タイムゾーン表示		
ネットワーク関係				
set ip	可	管理 LAN アドレス設定		
set ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス設定		
show ip	可	管理 LAN アドレス表示		
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示		

コマンド	Administrator	概要
set hostname	可	MMB ホスト名設定
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway	可	gateway アドレス設定
set gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
set http	可	http サービスの有効化設定
set https	可	https サービスの有効化設定
set legacy_tls	可	TLS1.0/1.1 の有効化設定
set ssh	可	ssh サービスの有効化設定
set telnet	可	telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show legacy_tls	可	TLS1.0/1.1 の有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port	可	http ポート番号設定
set https_port	可	https ポート番号設定
set ssh_port	可	ssh ポート番号設定
set telnet_port	可	telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control	可	Access Control 設定クリア
show access_control	可	Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ(ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定
set sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude	可	システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location	可	SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 設定
set snmp community	可	SNMPの Community 設定

コマンド	Administrator	概要	
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示	
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示	
show snmp community	可	SNMP の Community 表示	
set snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を設定	
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示	
set snmp test_trap	可	テスト用の Trap を送信	
アカウント管理			
add user	可	ユーザーの追加	
show user_list	可	ユーザーの一覧表示	
passwd	可	パスワード変更	
who	可	ログインユーザー表示	
ファームウェア更新			
update ALL	可	ファームウェアー括更新(新規)	
MMB 設定、その他			
set active_mmb	可	Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)	
show active_mmb	可	Active MMB 表示	
set mmbcontrol reset	可	MMBリセット	
set mmbcontrol switch_over	可	MMB 切り替え	
exit	可	MMB ログアウト	
help	可	ヘルプ	
コマンド終了コード表示			
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示	
ファームウェア更新状況/版数確認			
show update_status	可	一括ファームウェアアップデート進行状況表示	
show firmware_version	可	ファームウェア版数表示	
ネットワーク調査コマンド			
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示	
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示	
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示	
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示	
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示	
REMCS 関連コマンド			
set maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定	
show maintenance ip	可	REMCS のネットワーク設定表示	

## 表 2.3 MMB CLI コマンド一覧 (Administrator) (2/2)

コマンド	Administrator	概要			
DR 関連コマンド	 DR 関連コマンド				
hotadd partition	可	Dynamic Reconfiguration HotAdd			
hotremove partition	可	Dynamic Reconfiguration HotRemove			
pciinfo partition	可	Dynamic Reconfiguration PciInfo			
set partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態設定			
show partition	可	パーティションの DR 状態表示			
dynamic_reconfiguration					
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示			
Extended Partitioning 関連コマンド					
set partition	可	拡張パーティションモード設定			
extended_partitioning_mode					

コマンド	Administrator	概要
show partition	可	拡張パーティションモード表示
extended_partitioning_mode		
set partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb	可	SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou	可	IOU 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox	可	PCI_Box 資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb	可	SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou	可	IOU 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox	可	PCI_Box 資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン設定
show partition extended socket zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended partition partition	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOU,PCI Box の資
configuration		源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical drive	可	論理ドライブ設定
delete raid logical drive	可	論理ドライブ削除
modify raid logical drive policy	可	論理ドライブポリシー変更
modify raid logical drive	可	論理ドライブ設定変更
create raid global hotspare	可	グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated hotspare	可	デディケーティットホットスペアディスク設定
delete raid hotspare		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate pd	可	ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate pd		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate Id	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点
		灯
stop raid locate Id	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消
-		灯
start raid locate encl	可	ディスクエンクロージャロケーション LED 点灯
stop raid locate encl	可	ディスクエンクロージャロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可	ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可	ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback	可	ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可	ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol		パトロールリード開始
cancel raid patrol		パトロールリードキャンセル
make raid online		ディスクオンライン設定
make raid offline		ディスクオフライン設定
replace raid missing drive	 可	リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	 	RAID アダプタ情報表示
show raid disk enclosure	 	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical drive	 	ディスク情報表示
show raid physical drive count	 可	ディスクカウント表示

## 第 2 章 MMB の CLI (コマンドラインインターフェース) 操作

コマンド	Administrator	概要
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account	可	スペシャルアカウント登録
show special_account	可	スペシャルアカウント表示

## 表 2.4 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (1/2)

コマンド	Operator	概要
電源制御		
power off	可	電源オフ
power on	可	電源オン
パーティション制御		
Sadump	可	sadumpの指示
Reset	可	Hard Reset の指示
Nmi	可	NMI割込みの指示
パーティション接続		
Console	可	パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory operation mode	可	メモリオペレーションモード設定
show partition	可	メモリオペレーションモード設定表示
memory operation mode		
set partition memory mirror ras mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
memory mirror ras mode		
set partition pci address mode	可	PCIバス番号割り付けモード設定
show partition pci address mode	可	PCI バス番号割り付けモード設定表示
set partition lan device mode	可	LAN デバイスモード設定
show partition lan device mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition pci express mode	可	PCle モード設定
show partition pci express mode	可	PCle モード表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory sparing mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory sparing mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci ecrc mode	可	ECRC の設定
show partition pci ecrc mode	可	ECRC の表示
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	 可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		MMB ホスト名設定

コマンド	Operator	概要
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set legacy_tls		TLS1.0/1.1 の有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show legacy_tls	可	TLS1.0/1.1の有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		ー・ https ポート番号設定
set ssh_port		
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	ー・ https ポート番号表示
show ssh_port	可	 ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control		Access Control 設定クリア
show access_control		Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpg	可	NTP 問い合わせ(ntpg -p の実行)
システム設定		
set sysconf power_feed_mode		電源の受電モード構成設定
set sysconf power restoration policy		復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay		復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude		システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode		PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_quid_format		System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定表示
show sysconf power restoration policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu redundant mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system quid format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input voltage	可	入力電圧表示
set snmp sys_location		SNMPの System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMPの System Contact 設定
set snmp community		SNMPのCommunity設定
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示

コマンド	Operator	概要
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap		SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信
アカウント管理		
add user		ユーザーの追加
show user_list		ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
ファームウェア更新		
update ALL		ファームウェアー括更新(新規)
MMB 設定、その他		
set active_mmb		Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset		MMBリセット
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え
Exit	可	MMB ログアウト
НеІр	可	ヘルプ
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況/版数確認		
show update_status		ー括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version		ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		-
set maintenance_ip		REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

## 表 2.5 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (2/2)

コマンド	Operator	概要	
DR 関連コマンド			
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd	
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove	
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration PciInfo	
set partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態設定	
show partition	可	パーティションの DR 状態表示	
dynamic_reconfiguration			
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示	
Extended Partitioning 関連コマンド			
set partition	可	拡張パーティションモード設定	
extended_partitioning_mode			
show partition	可	拡張パーティションモード表示	
extended_partitioning_mode			

コマンド	Operator	概要
set partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone		Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOU,PCI Box の資
configuration		源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive	可	論理ドライブ設定
delete raid logical_drive	可	論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy	可	論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive	可	論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare	可	グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare	可	デディケーティットホットスペアディスク設定
delete raid hotspare	可	ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点
		灯
stop raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消
	_	灯
start raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可	ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可	ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback	可	ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可	ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol	可	パトロールリード開始
cancel raid patrol	可	パトロールリードキャンセル
make raid online	可	ディスクオンライン設定
make raid offline	可	ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive	可	リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示

## 第 2 章 MMB の CLI (コマンドラインインターフェース) 操作

コマンド	Operator	概要
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		スペシャルアカウント表示

## 表 2.6 MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (1/2)

コマンド	Partition	Partition	概要
	Operator (*)	Operator (*)	
	(自パーティ	(他パーティ	
	ション)	ション)	
電源制御	T	T	
power off	可		電源オフ
power on	可		電源オン
パーティション制御	-	-	
sadump	可		sadump の指示
reset	可		Hard Reset の指示
nmi	可		NMI 割込みの指示
パーティション接続	-	-	
console	可		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築			
add partition			パーティション構成物追加
remove partition			パーティション構成物削除
show partition configuration	可	可	パーティション構成表示
show partition status	可	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb			Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	可	Reserved SB 表示
set partition home			Home SB 設定
show partition home	可	可	Home SB 表示
set partition	可		メモリオペレーションモード設定
memory_operation_mode			
show partition	可	可	メモリオペレーションモード設定表示
memory_operation_mode			
set partition	可		ミラーモード時のメモリ動作設定
memory_mirror_ras_mode			
show partition	可	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
memory_mirror_ras_mode			
set partition pci_address_mode	可		PCIバス番号割り付けモード設定
show partition	可	可	PCI バス番号割り付けモード設定表示
pci_address_mode			
set partition lan_device_mode	可		LAN デバイスモード設定
show partition	可	可	LAN デバイスモード設定表示
lan_device_mode			
set partition pci_express_mode	可		PCle モード設定
show partition	可	可	PCle モード表示
pci_express_mode			
set partition name			パーティション名設定
show partition name	可	可	パーティション名表示
set partition	可		スペアモード時のメモリ動作設定
memory_sparing_mode			
show partition	可	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
memory_sparing_mode			
set partition pci_ecrc_mode	可		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	可	ECRC の表示

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ ション)	Partition Operator (*) (他パーティ ション)	概要
時刻関係			
set date			日付、時刻設定
show date	可	可	日付、時刻表示
set timezone			タイムゾーン設定
show timezone	可	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係			
set ip			管理 LAN アドレス設定
set ipv6			IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname			MMB ホスト名設定
show hostname	可	可	MMB ホスト名表示
set gateway			gateway アドレス設定
set gateway_ipv6			IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
show network	可	可	管理 LAN インターフェース表示
set http			http サービスの有効化設定
set https			https サービスの有効化設定
set legacy_tls			 TLS1.0/1.1 の有効化設定
set ssh			ssh サービスの有効化設定
set telnet			telnet サービスの有効化設定
show http	可	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	可	https サービスの有効化設定表示
show legacy_tls	可	可	TLS1.0/1.1 の有効化設定表示
show ssh	可	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port			http ポート番号設定
set https_port			https ポート番号設定
set ssh_port			ssh ポート番号設定
set telnet_port			telnet ポート番号設定
show http_port	可	可	http ポート番号表示
show https_port	可	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	可	telnet ポート番号表示
clear access_control			Access Control 設定クリア
show access_control			Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	(未サポート)	SSH公開鍵ダウンロード
ping	可	可	Ping
show ntpq	可	可	NTP 問い合わせ(ntpq -p の実行)
システム設定	1		
set sysconf power_feed_mode			電源の受電モード構成設定
set sysconf			復電後の動作設定
power_restoration_policy			
<pre>set sysconf power_on_delay</pre>			復電後のパワーオン待ち時間設定

コマンド	Partition	Partition	概要
	Operator (*)	Operator (*)	
	(自パーティ	(他パーティ	
	ション)	ション)	
set sysconf altitude			システムの設置高度設定
set sysconf			PSU 冗長/非冗長設定
psu_redundant_mode			
set sysconf system_guid_format			System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf	可	可	電源の受電モード構成設定表示
power_feed_mode			
show sysconf	可	可	復電後の動作設定表示
power_restoration_policy			
show sysconf power_on_delay	可	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf	可	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
psu_redundant_mode			
show sysconf	可	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
system_guid_format			
show sysconf input_voltage	可	可	入力電圧表示
SNMP 関連			
set snmp sys_location			SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact			SNMP の System Contact 設定
set snmp community			SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap			SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap			テスト用の Trap を送信
アカウント管理			
add user			ユーザーの追加
show user_list			ユーザーの一覧表示
passwd	可	可	パスワード変更
who	可	可	ログインユーザー表示
ファームウェア更新			
update ALL			ファームウェアー括更新(新規)
MMB 設定、その他			
set active mmb			Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)
show active mmb	可	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset			MMBリセット
set mmbcontrol switch over			MMB 切り替え
exit	可	可	MMB ログアウト
help	可	可	ヘルプ
show exit code	可	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況/版数確			
show update status			一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware version			ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド	1	1	
netck traceroute	可	可	ネットワーク経路の一覧表示
		-	

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ	Partition Operator (*) (他パーティ	概要
	ション)	ション)	
netck arptbl	可	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド			
set maintenance_ip			REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	可	REMCS のネットワーク設定表示

## 表 2.7 MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (2/2)

コマンド	Partition	Partition	概要
	Operator (*)	Operator (*)	
	(自パーティ	(他パーティ	
	ション)	ション)	
DR 関連コマンド			
hotadd partition			Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition			Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition			Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_	可		パーティションの DR 状態設定
reconfiguration			
show partition dynamic_	可	可	パーティションの DR 状態表示
reconfiguration			
show dynamic_reconfiguration	可	可	DR の進行状態表示
status			
Extended Partitioning 関連コマン	ノド		
set partition extended_	可		拡張パーティションモード設定
partitioning_mode			
show partition extended_	可	可	拡張パーティションモード表示
partitioning_mode			
set partition dimm_excl_mode	可		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition	可	可	DIMM 排他割り当てモード表示
dimm_excl_mode			
set partition skt_binding_mode	可		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition	可	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
skt_binding_mode			
add extended_partition sb			SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou			IOU 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox			PCI_Box 資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb			SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou			IOU 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition			PCI_Box 資源を拡張パーティションから取り外し
pcibox			
set partition	可		Extended Socket モード設定
extended_socket_mode			
show partition	可	可	Extended Socket モード表示
extended_socket_mode			

コマンド	Partition	Partition	概要
	Operator (*)	Operator (*)	
	・ (自パーティ	(他パーティ	
	ション)	ション)	
set partition			Extended Socket ゾーン設定
extended_socket_zone			
show partition	可	可	Extended Socket ゾーン表示
extended_socket_zone			
show extended_partition	可	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOU,PCI Box の資
partition configuration			源を表示
RAID 関連コマンド			
create raid logical_drive	可		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive	可		論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy	可		論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive	可		論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare	可		グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare	可		デディケーティットホットスペアディスク設定
delete raid hotspare	可		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd	可		ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd	可		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld	可		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_ld	可		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl	可		ディスクエンクロージャロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl	可		ディスクエンクロージャロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可		ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可		ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback	可		ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可		論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc	可		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol	可		パトロールリード開始
cancel raid patrol	可		パトロールリードキャンセル
make raid online	可		ディスクオンライン設定
make raid offline	可		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive	可		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド			
set special_account			スペシャルアカウント登録
show special_account			スペシャルアカウント表示

\*: Partition Operator の「自」は許可されたパーティションの操作、「他」は許可されていないパーティションの操作を示す。

## 表 2.8 MMB CLI コマンド一覧(User) (1/2)

コマンド	User	概要
電源制御		
power off		電源オフ
power on		電源オン
パーティション制御		
Sadump		sadump の指示
Reset		Hard Reset の指示
Nmi		NMI割込みの指示
パーティション接続		
Console		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode		メモリオペレーションモード設定
show partition	可	メモリオペレーションモード設定表示
memory_operation_mode		
set partition memory_mirror_ras_mode		ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
memory_mirror_ras_mode		
set partition pci_address_mode		PCIバス番号割り付けモード設定
show partition pci_address_mode	可	PCIバス番号割り付けモード設定表示
set partition lan_device_mode		LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition pci_express_mode		PCle モード設定
show partition pci_express_mode	可	PCle モード表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode		スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		-
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		MMB ホスト名設定

コマンド	User	概要
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set legacy_tls		TLS1.0/1.1 の有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show legacy_tls	可	TLS1.0/1.1 の有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		https ポート番号設定
set ssh_port		ssh ポート番号設定
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https port	可	https ポート番号表示
show ssh port	可	ssh ポート番号表示
show telnet port	可	telnet ポート番号表示
clear access control		Access Control 設定クリア
show access control		Access Control 設定表示
clear ssh key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping ,	可	Ping
show ntpg	可	NTP 問い合わせ(ntpg -p の実行)
システム設定		
set sysconf power_feed_mode		電源の受電モード構成設定
set sysconf power_restoration_policy		復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay		復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude		システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode		PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format		System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location		SNMPの System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMPの System Contact 設定
set snmp community		SNMPの Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMPの System Location 表示

コマンド	User	概要
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMPの Community 表示
set snmp trap		SNMPの Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信
アカウント管理		
add user		ユーザーの追加
show user_list		ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
ファームウェア更新		
update ALL		ファームウェアー括更新(新規)
MMB 設定、その他		
set active_mmb		Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset		MMB リセット
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え
exit	可	MMB ログアウト
help	可	ヘルプ
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況/版数確認		
show update_status		ー括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version		ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		
set maintenance_ip		REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

#### 表 2.9 MMB CLI コマンド一覧(User) (2/2)

コマンド	User	概要	
DR 関連コマンド			
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd	
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove	
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration PciInfo	
set partition dynamic_reconfiguration		パーティションの DR 状態設定	
show partition	可	パーティションの DR 状態表示	
dynamic_reconfiguration			
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示	
Extended Partitioning 関連コマンド			
set partition		拡張パーティションモード設定	
extended_partitioning_mode			

コマンド	User	概要
show partition	可	拡張パーティションモード表示
extended_partitioning_mode		
set partition dimm_excl_mode		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode		Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone	=	Extended Socket ゾーン設定
snow partition extended_socket_zone	 	EXtended Socket ソーン表示 世語パーティションに今まれる SP JOU DCL Boy の資
configuration	нJ	
		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive		高生 ノーノ 設定 論理ドライブ削除
modify raid logical drive policy		高生 ノーノ 引が 論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive		ニー シーンボンジー 支     シーン     シー     シーン     シーン     シーン     シーン     シーン     シー     シー
create raid global hotspare		「「「「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」
create raid dedicated hotspare		デディケーティットホットスペアディスク設定
delete raid hotspare		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate nd		ディスクロケーション IFD 占灯
ston raid locate_pd		ディスクロケーション LED 派内
start raid locate_ld		シークション LLD 将入 論理ドライブに属するディスクロケーション IFD 占
stop raid locate Id		^_ 論理ドライブに属するディスクロケーションIFD 消
start raid locate, encl		~ ディスクエンクロージャロケーション LFD 点灯
stop raid locate encl		ディスクエンクロージャロケーション IFD 消灯
start raid rebuild		ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild		ディスクリビルドキャンヤル
start raid copyback		ディスクコピーバック開始
		ディスクコピーバックキャンセル
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol		パトロールリード開始
cancel raid patrol		パトロールリードキャンセル
cancel raid patrol		バトロールリードキャンセル
コマンド	User	概要
--------------------------------	------	------------------
make raid online		ディスクオンライン設定
make raid offline		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		

## 表 2.10 MMB CLI コマンド一覧(CE) (1/2)

コマンド	CE	概要
電源制御		
power off		電源オフ
power on		電源オン
パーティション制御		
sadump		sadump の指示
reset		Hard Reset の指示
nmi		NMI割込みの指示
パーティション接続		
console		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode		メモリオペレーションモード設定
show partition	可	メモリオペレーションモード設定表示
memory_operation_mode		
set partition memory_mirror_ras_mode		ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
memory_mirror_ras_mode		
set partition pci_address_mode		PCIバス番号割り付けモード設定
show partition pci_address_mode	可	PCIバス番号割り付けモード設定表示
set partition lan_device_mode		LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition pci_express_mode		PCle モード設定
show partition pci_express_mode	可	PCle モード表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode		スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		

コマンド	CE	概要
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set legacy_tls		TLS1.0/1.1 の有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show legacy_tls	可	TLS1.0/1.1の有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		https ポート番号設定
set ssh_port		ssh ポート番号設定
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control		Access Control 設定クリア
show access_control		Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ(ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定
set sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude	可	システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf power_feed_mode	可	電源の受電モード構成設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location		SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMPの System Contact 設定
set snmp community		SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMPの System Location 表示

コマンド	CE	概要		
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示		
show snmp community	可	SNMP の Community 表示		
set snmp trap		SNMP の Trap の送信先を設定		
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示		
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信		
アカウント管理				
add user		ユーザーの追加		
show user_list		ユーザーの一覧表示		
passwd	可	パスワード変更		
who	可	ログインユーザー表示		
ファームウェア更新				
update ALL	可	ファームウェアー括更新(新規)		
MMB 設定、その他				
set active_mmb	可	Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)		
show active_mmb	可	Active MMB 表示		
set mmbcontrol reset		MMBリセット		
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え		
exit	可	MMB ログアウト		
help	可	ヘルプ		
コマンド終了コード表示				
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示		
ファームウェア更新状況/版数確認				
show update_status	可	一括ファームウェアアップデート進行状況表示		
show firmware_version	可	ファームウェア版数表示		
ネットワーク調査コマンド				
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示		
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示		
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示		
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示		
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示		
REMCS 関連コマンド				
set maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定		
show maintenance_ip	可	REMCSのネットワーク設定表示		

# 表 2.11 MMB CLI コマンド一覧(CE) (2/2)

コマンド	CE	概要
DR 関連コマンド		
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration Pcilnfo
set partition dynamic_reconfiguration		パーティションの DR 状態設定
show partition	可	パーティションの DR 状態表示
dynamic_reconfiguration		
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド		
set partition		拡張パーティションモード設定
extended_partitioning_mode		

コマンド	CE	概要
show partition	可	拡張パーティションモード表示
extended_partitioning_mode		
set partition dimm_excl_mode		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOU 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI_Box 資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode		Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone		Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOU,PCI Box の資
configuration		源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive		論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy		論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive		論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare		グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare		デディケーティットホットスペアディスク設定
delete raid hotspare		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd		ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点
		灯
stop raid locate Id		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消
		灯
start raid locate encl		ディスクエンクロージャロケーション LED 点灯
stop raid locate encl		ディスクエンクロージャロケーション LED 消灯
start raid rebuild		
cancel raid rebuild		ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback		ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc		
cancel raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol		パトロールリード開始
cancel raid patrol		パトロールリードキャンセル
make raid online		ディスクオンライン設定
make raid online		ティ人クオンフィン設定

コマンド	CE	概要
make raid offline		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		スペシャルアカウント表示

## ■ コマンド書式内のパラメーター表記

- []は、複数のパラメーターのうち、どれかを選択することを表します。
   たとえば、[A | B | C]の場合、A、B、Cのうちの1つを選択して指定します。
- { } は、省略可能なパラメーターであることを表します。 たとえば、{quiet}の場合、この quiet パラメーター は省略可能です。

## ■ パラメーターの指定範囲

コマンド書式に出現する<partition#>、<SB#>、<IOU#>の各パラメーターは、以下の範囲の数値から指定します。モデ ルにより指定できる範囲は異なります。

各モデルの指定範囲は以下のとおりです。

PRIMEQUEST		PRIMEQUEST	PRIMEQUEST	PRIMEQUEST	PRIMEQUEST
	2400S3 Lite/2400S3/	2400E3/2400L3/	2800E3/2800L3/	2400E/2400L	2800E/2800L
	2400S2 Lite/2400S2/	2400E2/2400L2	2800E2/2800L2		
	2400S Lite/2400S				
<partition#></partition#>	0~1	0~5	0~11	0~1	0~3
<sb#></sb#>	0~1	0~1*1	0~3	0~1	0~3
<100#>	0,2	0~3	0~3	0~3	0~3
<extended< td=""><td>未サポート</td><td>2~5</td><td>4~11</td><td>未サポート</td><td>未サポート</td></extended<>	未サポート	2~5	4~11	未サポート	未サポート
Partitioning#>					

#### 表 2.12 パラメーターの指定範囲

\*1: PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2400E2/2400L2 の場合、Memory Scale-up Board が使用可能な状態では、0~3 を 指定可能。

範囲外の値を指定した場合は、エラーメッセージが表示され、処理は行われません。

## ■ メッセージ

以下に、各コマンド共通のメッセージを示します。

CLIのパラメーター文字列として正しくないものが指定された場合には、以下のメッセージが表示されます。 CLIのパラメーターは、「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれかのコマ ンドに分類されます。これらの CLI に該当しないパラメーターが入力された場合も、このメッセージが表示されます。

The specified parameter is invalid.

「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれかのコマンド名のみ入力された 場合には、以下のメッセージが表示されます。

Parameter missing

入力されたコマンドが「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれのコマン ドにも分類されず、かつ「passwd」「ping」「who」「help」のいずれにも該当しない場合は、以下のメッセージが表示 されます。

No such file or directory

# 2.2 設定用コマンド

情報を設定するためのコマンドは、以下のとおりです。

- 2.2.1 add partition
- 2.2.2 clear access\_control
- 2.2.3 clear ssh\_key
- 2.2.4 console
- 2.2.5 download ssh\_key
- 2.2.6 power off
- 2.2.7 power on
- 2.2.8 sadump
- 2.2.9 reset
- 2.2.10 nmi
- 2.2.11 remove partition
- 2.2.12 set active\_mmb
- 2.2.13 set date
- 2.2.14 set partition dynamic\_reconfiguration
- 2.2.15 set gateway
- 2.2.16 set gateway\_ipv6
- 2.2.17 set hostname
- 2.2.18 set http
- 2.2.19 set http\_port
- 2.2.20 set https
- 2.2.21 set https\_port
- 2.2.22 set legacy\_tls
- 2.2.23 set ip
- 2.2.24 set ipv6
- 2.2.25 set maintenance\_ip
- 2.2.26 set partition home
- 2.2.27 set partition lan\_device\_mode
- 2.2.28 set partition memory\_mirror\_ras\_mode
- 2.2.29 set partition memory\_operation\_mode
- 2.2.30 set partition name
- 2.2.31 set partition pci\_address\_mode
- 2.2.32 set partition pci\_express\_mode
- 2.2.33 set ssh
- 2.2.34 set ssh\_port
- 2.2.35 set telnet
- 2.2.36 set telnet\_port
- 2.2.37 set timezone
- 2.2.38 set partition extended\_partitioning\_mode
- 2.2.39 set partition dimm\_excl\_mode
- 2.2.40 set partition skt\_binding\_mode
- 2.2.41 add extended\_partition sb
- 2.2.42 add extended\_partition iou
- 2.2.43 add extended\_partition pcibox
- 2.2.44 remove extended\_partition sb

- 2.2.45 remove extended\_partition iou
- 2.2.46 remove extended\_partition pcibox
- 2.2.47 hotadd partition
- 2.2.48 hotremove partition
- 2.2.49 pciinfo partition
- 2.2.50 set partition extended\_socket\_mode
- 2.2.51 set partition extended\_socket\_zone
- 2.2.52 set partition memory\_sparing\_mode
- 2.2.53 create raid logical\_drive
- 2.2.54 delete raid logical\_drive
- 2.2.55 modify raid logical\_drive\_policy
- 2.2.56 modify raid logical\_drive
- 2.2.57 create raid global\_hotspare
- 2.2.58 create raid dedicated\_hotspare
- 2.2.59 delete raid hotspare
- 2.2.60 start raid locate\_pd
- 2.2.61 stop raid locate\_pd
- 2.2.62 start raid locate\_ld
- 2.2.63 stop raid locate\_ld
- 2.2.64 start raid locate\_encl
- 2.2.65 stop raid locate\_encl
- 2.2.66 start raid rebuild
- 2.2.67 cancel raid rebuild
- 2.2.68 start raid copyback
- 2.2.69 cancel raid copyback
- 2.2.70 start raid mdc
- 2.2.71 cancel raid mdc
- 2.2.72 start raid patrol
- 2.2.73 cancel raid patrol
- 2.2.74 make raid online
- 2.2.75 make raid offline
- 2.2.76 replace raid missing\_drive
- 2.2.77 set mmbcontrol reset
- 2.2.78 set mmbcontrol switch\_over
- 2.2.79 set special\_account
- 2.2.80 set partition pci\_ecrc\_mode
- 2.2.81 set sysconf power\_feed\_mode
- 2.2.82 set sysconf power\_restoration\_policy
- 2.2.83 set sysconf power\_on\_delay
- 2.2.84 set sysconf altitude
- 2.2.85 set sysconf psu\_redundant\_mode
- 2.2.86 set sysconf system\_guid\_format
- 2.2.87 set reserved\_sb
- 2.2.88 add user
- 2.2.89 set snmp sys\_location
- 2.2.90 set snmp sys\_contact
- 2.2.91 set snmp community
- 2.2.92 set snmp trap

- 2.2.93 set snmp test\_trap

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

# 2.2.1 add partition

指定した SB、IOU、Extended Partitioning を指定したパーティションに追加します。 指定した SB、IOU、Extended Partitioning が Free 状態でない場合は実行できません。 指定したパーティション番号が拡張パーティションの場合は 何も処理しません。

# ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

add	partition	<partition#></partition#>	SB	<sb#x></sb#x>	<pre>&gt; {quiet}</pre>			
add	partition	<partition#></partition#>	IOU	<iou#< td=""><td>x&gt; {quie</td><td>t}</td><td></td><td></td></iou#<>	x> {quie	t}		
add	partition	<partition#></partition#>	EXT	PART	<extended< td=""><td>Partitioning#x&gt;</td><td>{quiet}</td><td></td></extended<>	Partitioning#x>	{quiet}	

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で SB#3 を Partition#2 に追加する場合 # add partition 2 SB 3 Are you sure you want to add SB#3 to Partition#2? [Y/N] Y Adding SB#3 to Partition#2 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で IOU#1 を Partition#2 に追加する場合 # add partition 2 IOU 1 Are you sure you want to add IOU#1 to Partition#2? [Y/N] Y
    - Adding IOU#1 to Partition#2 has been completed successfully.
    - #
    - 例: PRIMEQUEST 2800E で Extended Partitioning#4 を Partition#2 に追加する場合 # add partition 2 EXT\_PART 4
      - Are you sure you want to add Extended Partitioning#4 to Partition#2? [Y/N] Y Adding Extended Partitioning#4 to Partition#2 has been completed successfully.
      - #

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to add %s to Partition#%d? [Y/N]: Adding %s to Partition#%d has been completed successfully. The specified partition number is invalid. The specified [SB|IOU|Extended Partitioning] number is invalid. Parameter missing The specified parameter is invalid. The parameter [IOU] is not supported. Unable to add the specified SB#x to the partition due to CPU mismatch between SBs. Unable to add the specified [SB#x | IOU#x | Extended Partitioning#x] to the partition because the specified [SB#x | IOU#x | Extended Partitioning#x] status is failed. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to execute add partition command. Failed to execute %s command. Unable to add the specified SB to the partition due to CPU composition abnormal. Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM composition abnormal. Unable to add the specified SB to the partition due to SB composition abnormal. Unable to add the specified SB to the partition due to DIMM does not satisfy requirements of Mode. Unable to change partition configuration because this partition is powered on. Unable to add the specified SB to the partition due to Dynamic Reconfiguration Mode. The specified command is not supported.(error=[%s]) Unable to execute this command because the system is under maintenance. Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance. Unable to set configuration because the power on/off is processing. Please execute it after a while again. The specified [SB#x|IOU#x | Extended Partitioning#x] is Not-present. The specified [SB#x | IOU#x | Extended Partitioning#x] is not free. Unable to add SB to the partition because Extended Partitioning doesn't support multiple SB configuration except SB#0-1 or SB#2-3. Unable to add SB to the partition because Extended Partitioning doesn't support Reserved SB in multiple SB configuration.

# 2.2.2 clear access\_control

IPv4/IPv6 両方の Access Control の設定値をクリアします。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

clear access\_control

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

なし

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照してください。

Unable to execute this command on a standby MMB. The specified parameter is invalid.

# 2.2.3 clear ssh\_key

ログインしているユーザーに対して登録されている SSH 公開鍵認証用の公開鍵を削除します。

#### 注意

PRIMEQUEST 2000 シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

#### ■ 権限:User

(1) 入力形式

clear ssh\_key

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 なし

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

Unable to execute this command on a standby MMB. The specified parameter is invalid.

# 2.2.4 console

指定されたパーティションの BMC に接続して、Text Console 機能を実現します。

BMC への Text Console 接続は、BMC 当たり 1 コマンドのみ接続を行うことができます。ただし、既に他のユーザーが console コマンドを実行している場合には、後続の console コマンド実行時に以下のメッセージが表示されるので、'Y' と入力することで、BMC への Text Console 接続を強制的に行うことができます。 その場合に、接続中の console コマ ンドは強制切断されます。

[Console redirection already in use If needed, the current user can be disconnected Do you really want to force disconnect current user? [Y|N]:J

# ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator(管理対象 Partition のみ)、CE

#### (1) 入力形式

console <partition#> {<timeout>} {quiet}

#### (2) オプション

- timeout:timeout値を設定します。
  - 0 又は 1~120 分の範囲で設定する。
  - 0 は特殊な意味を持ち、Timeout 無しを意味する。
  - デフォルトは10分。本オプション指定なし時はデフォルト値で動作する。
- quiet: User に対するインタラクティブ動作無しでコマンドを実行します。

#### (3) 使用例

- 例: Partition#0の BMC にログインする場合 # console 0 #
- 例: Partition#1の BMC に timeout 値 20 分指定でログインする場合
   # console 1 20
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid. The specified partition number is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to execute 'console' command. Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

# 2.2.5 download ssh\_key

ログインしているユーザーの SSH 公開鍵認証に使用する公開鍵を、指定されたサーバからダウンロードして登録します。

URLの入力形式は以下のとおりです。 http://host/path/file ftp://host/path/file

#### 注意

PRIMEQUEST 2000 シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

### ■ 権限:User

#### (1) 入力形式

download ssh\_key <URL>

(2) オプション

なし

(3) 使用例

サーバが指定されなかった場合:以下のように URL の入力を促すメッセージが表示され、URL の入力待ちとなります。

例:

# download ssh\_key URL:

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid. Specified host does NOT respond.

#### power off 2.2.6

システム全体または、指定したパーティションの電源をオフします。パラメーターで指定されたパーティションが構成 されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。

指定されたパーティションがすでに電源オフしている場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。 拡張パーティションのファームウェアが動作できなくなった場合の電源オフに対応するため、指定されたパーティショ ンの Extended Partitioning Mode が Enable 設定である場合でも本コマンドの操作は実行できます。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。 管理対象外のパーティションを含むパラメータ ーを指定した場合はエラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限:Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

power off {partition} [ all | <partition#> [, | -] <partition#>] {force}

(2) オプション

Partition:パーティション番号を指定したパーティションの OS をシャットダウンし、パーティションの電源をオ フにします。当パラメーターは省略可能です。

パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、パーティシ ョンの指定は必須です。

- パーティションは、以下のように指定します。
  - all (定義されているすべてのパーティション) 指定
  - パーティション番号をカンマで区切って指定
  - パーティション番号範囲で指定

force:パーティションの OS をシャットダウンすることなしに、強制的に電源オフを指示します。

- (3) 使用例
  - なし
- (4) メッセージ

The specified parameter is invalid.
The specified partition number is invalid.
Unable to power off the partition#%d.
Unable to force power off on the partition#%d.
Command Failed. Code=0x%04X, 0x%02X
Unable to execute this command on a standby MMB.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to power off the Partition#n because you have not authority to operate this partition.
Unable to power off the partition(s) because the partition which does not have authority to you is
included in the specified parameter.
Unable to execute power control because the firmware is updating.

# 2.2.7 power on

システム全体または、指定したパーティションの電源をオンにします。 パラメーターで指定したパーティションが構成 されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。 指定されたパーティションがすでに電源オン している場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は、管理対象のパーティションのみの操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメ ーターを指定した場合はエラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

power on {partition} [ all | <partition#> [, | -] <partition#>]

(2) オプション

Partition:パーティション番号を指定したパーティションの電源をオンにします。 筐体の電源が入っていない場合は、パーティションの電源をオンにする前に筐体の電源をオンにしてから指定されたパーティションの電源をオンにします。

当パラメーターは省略可能です。パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理 されます。このため、パーティションの指定は必須です。 パーティションは、以下のように指定します。

- all (定義されているすべてのパーティション) 指定
- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定
- (3) 使用例

なし

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

The specified partition number is invalid.

Unable to power on the partition#%d due to CPU mismatch between SBs.

Unable to power on the partition#%d due to DIMM does not satisfy requirements of Mode.

Unable to power on due to mismatch between supply voltage and input voltage.

Unable to power on the partition#%d due to abnormal DIMM composition.

Unable to power on the partition#%d due to abnormal SB composition.

Unable to power on the partition#%d.

Command Failed. Code=0x%04X, 0x%02X

Unable to execute this command on a standby MMB.

Unable to power on the partition#%d due to no Home SB.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

The Power On failed, because of switching the Home SB.

Please execute it after a while again.

Unable to power on the Partition#n because you have not authority to operate this partition.

Unable to power on the partition(s) because the partition which does not have authority to you is included in the specified parameter.

Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.

Unable to execute power control because the firmware is updating.

Unable to execute command because the power control operating.

# 2.2.8 sadump

指定したパーティションに sadump を指示します。 パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合 は、構成されていないパーティションは無視されます。

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。 管理対象外のパーティションを含むパラメータ ーを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

### ■ 権限

Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

#### (1) 入力形式

sadump {partition} [<partition#> [, | -] <partition#>] {quiet}

(2) オプション

partition:partition#(パーティション番号)で指定したパーティションに sadump を指示します。当パラメーターは省略可能です。

partition のパラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、 partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

- パーティションは以下のように指定します。
  - パーティション番号をカンマで区切って指定
  - パーティション番号範囲で指定

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

#### (3) 使用例

例:Administrator 権限で Partition#1 に sadump を指示する場合

Administrator>sadump partition 1

Are you sure you want to sadump to Partition#1? [Y/N]: Y Administrator>

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to sadump to Partition#%d? [Y/N]:

The specified parameter is invalid.

The specified partition number is invalid.

Unable to sadump the partition#%d.

Command Failed. Code=0x%04X, 0x%02X

Unable to execute this command on a standby MMB.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to sadump the Partition#n because you have not authority to operate this partition.

Unable to sadump the partition(s) because the partition which does not have authority to you is included in the specified parameter.

Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled. Unable to execute power control because the firmware is updating.

# 2.2.9 **reset**

指定したパーティションに Hard Reset を指示します。 パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない 場合は、構成されていないパーティションは無視されます。 指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、そ のパーティションに対しては何も処理しません。 指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設 定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

reset {partition} [<partition#> [, | -] <partition#>] {quiet}

(2) オプション

partition: partition#(パーティション番号)を指定したパーティションに Hard Reset を指示します。当パラメー ターは省略可能です。

partition パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、 partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

- パーティションは、以下のように指定します。
  - パーティション番号をカンマで区切って指定
  - パーティション番号範囲で指定

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:Administrator 権限で Partition#1 に Reset を指示する場合 Administrator>reset partition 1 Are you sure you want to Reset to Partition#1? [Y/N]: Y Administrator>
- (4) メッセージ

Are you sure you want to Reset to Partition#%d? [Y/N]:
The specified parameter is invalid.
The specified partition number is invalid.
Unable to Reset the partition#%d.
Command Failed. Code=0x%04X, 0x%02X
Unable to execute this command on a standby MMB.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to Reset the Partition#n because you have not authority to operate this partition.
Unable to Reset the partition(s) because the partition which does not have authority to you is included
in the specified parameter.
Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.
Unable to execute power control because the firmware is updating.

# 2.2.10 **nmi**

指定したパーティションに NMI 割込みを指示します。 パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。 指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、その パーティションに対して何も処理しません。 指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定 の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 書式

nmi {partition} [<partition#> [, | -] <partition#>] {quiet}

(2) オプション

partition: partition#(パーティション番号)を指定したパーティションに NMI 割込みを指示します。当パラメーターは省略可能です。

partition パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、 partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

- パーティションは、以下のように指定します。
  - パーティション番号をカンマで区切って指定
  - パーティション番号範囲で指定

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:Administrator 権限で Partition#1 に NMI を指示する場合 Administrator>nmi partition 1 Are you sure you want to NMI to Partition#1? [Y/N]: Y Administrator>
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to NMI to Partition#%d? [Y/N]:
The specified parameter is invalid.
The specified partition number is invalid.
Unable to NMI the partition#%d.
Command Failed. Code=0x%04X, 0x%02X
Unable to execute this command on a standby MMB.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to NMI the Partition#n because you have not authority to operate this partition.
Unable to NMI the partition(s) because the partition which does not have authority to you is included
in the specified parameter.
Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.
Unable to execute power control because the firmware is updating.

# 2.2.11 remove partition

指定した SB、IOU、Extended Partitioning を指定したパーティションから取り外します。 指定した SB、IOU、Extended Partitioning が指定したパーティションに含まれていない場合は、実行できません。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
remove partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}
remove partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
remove partition <partition#> EXT_PART <Extended Partitioning#x>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

#### (3) 使用例

- 例: PRIMEQUEST 2800E で SB#3 を Partition#2 から取り外す場合 # remove partition 2 SB 3 Are you sure you want to remove SB#3 from Partition#2? [Y/N] Y Removing SB#3 from Partition#2 has been completed successfully. #
- 例:PRIMEQUEST 2800E で IOU#1 を Partition#2 から取り外す場合
  - # remove partition 2 IOU 1
  - Are you sure you want to remove IOU#1 from Partition#2? [Y/N] Y Removing IOU#1 from Partition#2 has been completed successfully.
  - #

#### 例: PRIMEQUEST 2800E で Extended Partitioning#4 を Partition#2 から取り外す場合 # remove partition 2 EXT PART 4

Are you sure you want to remove Extended Partitioning#4 from Partition#2? [Y/N] Y Removing Extended Partitioning#4 from Partition#2 has been completed successfully. # (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to remove %s from Partition#%d? [Y/N]:
Removing %s from Partition#%d has been completed successfully.
The specified partition number is invalid.
The specified [SB IOU  Extended Partitioning] number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Parameter missing
Partition#x does not include the [SB#x   IOU#x   Extended Partitioning#x].
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute remove partition command.
Failed to execute %s command.
Unable to change partition configuration because this partition is powered on.
The specified command is not supported.(error=[%s])
The parameter [IOU] is not supported.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to set configuration because the power on/off is processing.
Please execute it after a while again.

Unable to remove the specified [SB#x | IOU#x | Extended Partitioning#x] from the partition while the partition is running.

# 2.2.12 set active\_mmb

Active MMB をリセットすることにより、Active MMB を切り替えます。

本コマンドは Active MMB につながらない場合を想定し(CLI にも login 出来ない)、Standby MMB より実行するコマンドです。

本コマンドは Active MMB での実行をサポートしていないため、Active MMB で実行しないでください。

本コマンドはトラブル発生時に使用する MMB の強制切り替えコマンドです。通常の切り替えは set mmbcontrol switch\_over コマンドを実行するか MMB Web-UI の Switch over を実行してください。正常時に本コマンドを実行しないでください。MMB が正常に動作しなくなる場合があります。

本コマンドを2回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を15分程度開けてください。

#### 備考

- 本コマンドは、Standby MMB に接続した場合のみ発行できます。
- MMB Web-UI の Switch Over 機能とは異なります。

### ■ 権限: Administrator、CE

#### (1) 入力形式

set active mmb {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしで MMB を切り替えます。

(3) 使用例

なし

(4) メッセージ

Are you sure to continue set active mmb? [y/n]:
The specified parameter is invalid.
set active_mmb failed.
Unable to execute this command on a Active MMB.
The specified MMB#x is NOT present.
The specified MMB#x is disabled.

# 2.2.13 set date

日付と時刻を設定します。設定フォーマットは以下のとおりです。

- MM:月(01~12)
- DD:日(1~28|29|30|31)
- hh:時(00~23)
- mm:分(00~59)
- CC:年の上2桁(オプション)
- YY:年の下2桁(オプション)
- SS:秒(オプション)

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set date MMDDhhmm{{CC}YY}{,ss}

(2) オプション

なし

- (3) 使用例 なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified date is invalid.Unable to set date because NTP is enabled.Time synchronization was requested to Standby MMB.Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.14 set partition dynamic\_reconfiguration

指定したパーティションの Dynamic Reconfiguration の enable/disable を設定します。 すでに電源オンしているパー ティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ/オンの必要はあり ません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

指定されたパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージを表示し、指定されたパーティションに対する操作は抑止します。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

指定されたパーティションに Memory Scale-up Board が組み込まれている場合は enable への設定変更はできません。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
set partition dynamic_reconfiguration <partition#> [disable |enable]
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition #3の Dynamic Reconfiguration を enable に設定する場合 # set partition dynamic\_reconfiguration 3 enable
- (4) メッセージ

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute set partition dynamic_reconfiguration command.
Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.
DR can't be enabled, because of no DR license.
Unable to execute this command because [Extended Partitioning mode  PCI Bus mode  TPM   Fixed
mode] of the Partition#%d is Enabled.

# 2.2.15 set gateway

デフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトの設定値は 0.0.0.0 です。

## ■ 権限: Administrator

(1) 入力形式

set gateway <ip address>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 なし
- (4) メッセージ

The specified gateway address is invalid.
The specified parameter is invalid.
The specified IP address is duplicated.
The specified IP address is loopback address.
Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.16 set gateway\_ipv6

IPv6 のデフォルトゲートウェイを設定します。 自動設定を行う場合は、オプションに"auto"のみを指定します。

## ■ 権限:Administrator

- (1) 入力形式
  - 手動設定の場合

set gateway\_ipv6 <ip address>

- 自動設定の場合

set gateway\_ipv6 auto

(2) オプション

auto: IP アドレスを自動設定します。

#### (3) 使用例

- 手動設定の場合

# set gateway\_ipv6 fe80::1

- 自動設定の場合

# set gateway\_ipv6 auto
fe80::beef
Are you sure to continue?[Y/N]y
#

(4) メッセージ

The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
The specified gateway address is invalid.
The specified IP address is duplicated.
The specified IP address is loopback address.

# 2.2.17 set hostname

MMB のホスト名を FQDN 形式で指定します。 入力可能な文字は以下のとおりです。 [a-z]、[A-Z]、[0-9]、「-」(ハイフン)、「.」(ドット) また、以下の制約があります。 - 先頭文字は英字でなければならない。

- 「-」(ハイフン)、「.」(ドット)を先頭文字として指定することはできない。

デフォルトの設定値は"PRIMEQUEST" + Product Serial Number。

例: Serial Number が 1020516004 の場合 "PRIMEQUEST1020516004"

■ 権限: Administrator

(1) 入力形式

set hostname <ホスト名>.<ドメイン名>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# set hostname hogehoge.fujitsu.com
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified hostname is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.18 set http

HTTP サーバの enable/disable を設定します。 デフォルトの設定値は disable (http は無効) です。

## ■ 権限: Administrator

(1) 入力形式

set http [enable | disable]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.19 set http\_port

HTTP セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 8081 です。 <port>に指定可能なポート番号は、1024~65535、標準ポートの 80 です。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
set http_port <port>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified port number is invalid. The specified port number is duplicated. Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.20 set https

HTTP サーバの enable/disable を設定します。 デフォルトの設定値は disable (https 無効) です。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set https [enable | disable]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unable to execute this command on a standby MMB. SSL Server Certificate is not found.

# 2.2.21 set https\_port

HTTPS セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 432 です。 <port>に指定可能なポート番号は、432、1024~65535、標準ポートの 443 です。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set https\_port <port>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified port number is invalid. The specified port number is duplicated.

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.22 set legacy\_tls

HTTP サーバで TLS1.0/1.1 接続許可の enable/disable を設定します。

- enable: HTLS1.0、TLS1.1、TLS1.2 での HTTPS 接続を許可します。
- disable: TLS1.2のみ HTTPS 接続を許可します。

デフォルトの設定値は enable (TLS1.0/1.1 接続可能)です。

## ■権限:Administrator

(1) 入力形式

set legacy\_tls [enable | disable]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

なし

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージには、以下のものがある。

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.23 set ip

管理 LAN インターフェースに対して<IP address>、<netmask>を設定します。 デフォルトの設定値は 0.0.0.0 です。

## ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set ip <ip address> <netmask>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

なし

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified IP address is invalid. The specified netmask is invalid. The specified IP address is duplicated. The specified IP address is loopback address. Unable to execute this command on a standby MMB. The specified MMB IP address is duplicated.(Console IP Address)

# 2.2.24 set ipv6

管理 LAN インターフェースに対して IPv6 用のグローバルアドレス、プレフィックス長を設定します。 MMB の仮想 IP アドレスを設定します。 自動設定を行う場合は、オプションに"auto" のみを指定します。

## ■ 権限:Administrator

- (1) 入力形式
  - 手動設定の場合

set ipv6 <ip address/prefix>

- 自動設定の場合

set ipv6 auto

(2) オプション

auto: IP アドレスを自動設定します。

#### (3) 使用例

- 手動設定の場合

# set ipv6 2001:db8:caaf:beef:206:29ff:fe1e:482e/48

- #
- 自動設定の場合

GUID (装置 Serial 番号): "123456789abcdef0" の場合 # set ipv6 auto 2001:xxxx:xxxx:xxxx:1234.5678.9abc.def0 /64 Are you sure to continue?[Y/N]y #

(4) メッセージ

Unable to execute this command on a standby MMB.
The specified IP address is invalid.
The specified netmask is invalid.
The specified IP address is duplicated.
The specified IP address is loopback address.
The specified MMB IP address is duplicated. (Console IP Address)

# 2.2.25 set maintenance\_ip

#### 備考

IPv4 のみサポートします。

保守用 LAN の IP アドレスを設定します。 デフォルトの設定値は、 PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合 ip address : 192.168.1.1 netmask : 255.255.255.0 gateway address : 0.0.0 smtp address : 0.0.0 PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15072 以降のファームウェアの場合 ip address : 192.168.1.1 netmask : 255.255.255.0 gateway address : 0.0.0 smtp address : 0.0.0 PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファームウェアの場合 ip address , netmask, gateway address, smtp address 共通で、0.0.0 です。

- <ip address>:保守用 LAN に設定する IP アドレス(0.0.0.0 を指定した場合は、設定のクリア)
- <subnet mask>: IP アドレスのサブネットマスク
- <gatewayaddress>:ゲートウェイ
- <smtp address>: REMCS 通知用メールサーバ

#### 備考

- 本コマンドにより SMTP Address を変更した場合は、REMCS の環境設定画面での SMTP サーバの設定変更も必要となる。また、REMCS の初期設定をする前に、本コマンドにより Routing を設定しておく必要がある。
- P-P で REMCS 接続をする場合、<gateway address>および<SMTP address>の設定は不要である。この場合、<gateway address>および<SMTP address>には 0.0.00 を指定する。
- 本コマンドでの設定を無効にする場合は、<ip address>に 0.0.0.0 を指定する。そのほかのパラメーターは任意であるが、0.0.0.0 を推奨する。

■ 権限: Administrator、CE
(1) 入力形式

```
set maintenance_ip <ip address> <netmask> <gateway address> <smtp
address>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例:以下の内容で保守用 LAN に IP アドレスを設定

- IP アドレス: 192.168.1.10
- サブネットマスク:255.255.255.0
- ゲートウェイ:192.168.1.1
- REMCS 通知用メールサーバ: 172.128.1.2

# set maintenance\_ip 192.168.1.10 255.255.255.0 192.168.1.1 172.128.1.2

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified IP address is invalid.
The specified netmask is invalid.
The specified gateway address is invalid.
The specified smtp address is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.

## 2.2.26 set partition home

指定したパーティションの Home SB を設定します。

Home に設定する SB 番号を指定します。 指定した SB 番号のスロットに SB が搭載されていない場合は実行されません。 指定した SB 番号のスロットに Memory Scale-up Board が搭載されている場合は実行されません。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

指定した物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合、拡張パーティションに割り当てら れている Home SB の USB1, VGA/USB2 は指定された SB の資源に自動的に切り替わります。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set partition home <partition#> SB <SB#>

(2) オプション

なし

- (3) 使用例
  - 例:Partition3にSB#2をHomeとして設定する場合 # set partition home 3 SB 2 #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Succeed to set partition home command.

The specified parameter is invalid.

The specified partition number is invalid.

The specified SB number is invalid. The specified SB#x is Not-present.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute set partition home command.

Failed to execute %s command.

The specified command is not supported.(error=[%s])

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to change the home SB while the partition is running. Please try to change the home SB after the partition is shutdown.

## 2.2.27 set partition lan\_device\_mode

指定したパーティション内の IOU 単位で、LAN Device Mode を設定します。 デフォルトの設定値は wol\_disable です。

- wol\_enable : AC On 状態で Onboard LAN 使用可能。
- wol\_disable : Partition On 状態で Onboard LAN 使用可能。
- device\_disable :常に Onboard LAN デバイス使用不可

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されず に、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

### ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

set partition lan\_device\_mode <partition#> <IOU#> [wol\_enable|
wol\_disable | device\_disable ] {quiet}

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例 Partition #3 内の IOU#2 に Enable(WOL enabled)を設定する場合 # set partition lan\_device\_mode 3 2 wol\_enable

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed.

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute %s command.

Failed to execute set partition command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.

## 2.2.28 set partition memory\_mirror\_ras\_mode

指定したパーティションの Memory Mirror RAS mode を設定します。 Memory Operation Mode の設定が、Mirror Mode 設定の場合のみ設定可能です。

デフォルトの設定値は mirror\_keep(RAS 重視モード)です。

- mirror\_keep : Mirror Mode を維持する
- capacity\_keep :メモリ容量を維持する

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されず に、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

### ■ 権限:Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition memory_mirror_ras_mode <partition#> [mirror_keep |
capacity keep ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition #3の Memory Mirror RAS Mode を Mirror Keep Mode に設定する場合 # set partition memory\_mirror\_ras\_mode 3 mirror\_keep The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed Are you sure to continue?[Y/N] y

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed.

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute %s command.

Failed to execute set partition command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.

## 2.2.29 set partition memory\_operation\_mode

指定したパーティションの Memory Operation Mode を設定します。 デフォルトの設定値は normal (Mirror Mode 無効)です。

performance : Performance Mode を設定する。
 normal : Normal Mode を設定する。
 partial\_mirror : Partial Mirror Mode を設定する。
 full\_mirror : Full Mirror Mode を設定する。
 spare : Spare Mode を設定する。
 address\_range\_mirror : Address Range Mirror Mode を設定する。
 (PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です)

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されず に、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

### ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition memory_operation_mode <partition#> [performance |
normal | partial_mirror | full_mirror | spare | address_range_mirror]
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition #3の Memory Operation Mode を performance に設定する場合 # set partition memory\_operation\_mode 3 performance The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed Are you sure to continue?[Y/N] y #

パーティションが 1SB で構成されており、かつ、Reserved SB が設定されている場合、Reserved SB として設定されて いる SB が満たす DIMM 構成以外の Memory Operation Mode 設定が行われると、確認のダイアログボックスが表示さ れることがあります。確認のダイアログボックスには、Reserved SB に切り替わったときに Memory Operation Mode が変更される旨の警告メッセージが表示され、設定を続けるかどうかが確認されます。

このような表示がされない場合は、Memory Operation Mode は Reserved SB に切り替わっても変更されません。

- 例: Partition 1の Mirror Mode を enable に設定する場合(Partition 1 には Mirror Mode 要件を満たさない DIMM 構成の SB が Reserved SB として設定されている)
  - # set partition memory\_operation\_mode 1 partial\_mirror
  - The SB with DIMM that does not satisfy requirements of Mirror Mode is registered as a Reserved SB. If you register this partition as a Mirror Mode,
  - Mirror Mode will be disabled when switching to Reserved SB. Are you sure to continue?[Y/N] y #
- (4) メッセージ
  - この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed. Are you sure to continue?[Y/N]

The SB with DIMM that does not satisfy requirements of Mode is registered as a Reserved SB. If you register this partition as a Mode, Mode will be disabled when switching to Reserved SB. Are you sure to continue?[Y/N]

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because the CPU mismatch between SBs. Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because the DIMM does not satisfy requirements of Mode.

Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because the unsupported CPU configuration.

Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because of abnormal CPU composition. Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because of abnormal DIMM composition.

Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because of abnormal SB composition.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute %s command.

Failed to execute set partition command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

Unable to execute this command because the Partition#x is Extended Partitioning Partition.

Unable to execute this command because Extended Partitioning mode of the Partition#x is Enabled.

## 2.2.30 set partition name

指定したパーティションに名前を設定します。 パーティションの名前は 16 文字までです。16 文字を超える文字数の名前は設定できません。 名前にスペース(空白) を含む場合は、名前を" "で囲んで指定します。 指定可能な文字は、以下のとおりです。 [a-z]、[A-Z]、[0-9]、「\_」(アンダーバー)、「-」(ハイフン)、「#」(シャープ)、「」(空白)です。 デフォルトは、設定値なしです。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set partition name <partition#> <partition name>

(2) オプション

なし

- (3) 使用例
  - 例:Partition#3 に名前"fileserver"を設定する場合
    - # set partition name 3 fileserver
    - #
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified partition name is invalid.

Partition#x is not defined.

Unable to execute this command on a standby MMB.

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Succeed to set partition name command.

Failed to execute set partition name command.

Failed to execute %s command.

The specified command is not supported.(error=[%s])

## 2.2.31 set partition pci\_address\_mode

指定したパーティションの PCI Address Mode を設定します。

デフォルトの設定値は PCI Segment Mode です。

- bus : PCI Bus Mode を設定する。
- segment : PCI Segment Mode を設定する。

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ/オンの必要はあり ません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。 また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ/オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

### ■ 権限:Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

set partition pci\_address\_mode <partition#> [bus | segment ] {quiet}

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition #3の PCI Address Mode を Segment Mode に設定する場合 # set partition pci\_address\_mode 3 segment #
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed.

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute %s command.

Failed to execute set partition command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

## 2.2.32 set partition pci\_express\_mode

指定したパーティションの PCI Express Mode を設定します。 既に電源 On している Partition に対しては、本コマンド は操作不可です。 デフォルトの設定値は Flexible I/O モードです。

- flexible : Flexible I/O モードを設定する。
- fixed : Fixed I/O モードを設定する。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

Reserved SB が設定されている Partition に対し、Fixed I/O モードを設定しようとした場合はエラーメッセージを表示し、操作はできません。

PCI Express Mode の設定を変更すると、UEFI メニューの Device Manager → LAN Remote Boot Configuration の設 定が Default 設定に戻る場合があります。PCI Express Mode の設定変更後は、LAN Remote Boot Configuration を再 設定してください。

## ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

set partition pci\_express\_mode <partition#> [ flexible | fixed ]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: Partition #3の PCI Express Mode を fixed I/O モードに設定する場合 # set partition pci\_express\_mode 3 fixed pci\_express\_mode: fixed #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Failed to execute set partition pci_express_mode command.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Unable to set the fixed mode in this model.
Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.
Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.
Unable to change the mode because of the Reserved SB setting.

## 2.2.33 set ssh

SSH の enable/disable を設定します。 デフォルトの設定値は disable (SSH 無効)です。

### ■ 権限: Administrator

(1) 入力形式

set ssh [enable | disable]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unable to execute this command on a standby MMB.

## 2.2.34 set ssh\_port

SSH セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 22 です。 <port>に指定可能なポート番号は、22、1024~65535 です。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set ssh\_port <port>

(2) オプション

なし

- (3) 使用例なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified port number is invalid. The specified port number is duplicated. Unable to execute this command on a standby MMB.

## 2.2.35 set telnet

Telnetの enable/disableを設定します。

デフォルトの設定値は

PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2 Lite/

2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2の場合

enable (Telnet 有効)

PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15072 以降のファームウェアの場合 enable (Telnet 有効)

PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/2800E/2800L で BA15065 以前のファームウェアの場合 disable (Telnet 無効)

## ■ 権限:Administrator

### (1) 入力形式

set telnet [enable | disable]

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 なし
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.2.36 set telnet\_port

Telnet 接続を受け入れるポートを設定します。デフォルトポートは 23 です。<port>に指定可能なポート番号は、23、1024~65535 です。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set telnet\_port <port>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

なし

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified port number is invalid. The specified port number is duplicated. Unable to execute this command on a standby MMB.

## 2.2.37 set timezone

タイムゾーンを設定します。

#### 備考

タイムゾーンを設定した後は、set date コマンドで日時を再設定する必要があります。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set timezone <timezone>

(2) オプション なし

#### (3) 使用例

- 例: Asia/Tokyo を設定する場合 # set timezone Asia/Tokyo
- 例: America/New\_York を設定する場合 # set timezone America/New\_York
- 例: Europe/Berlin を設定する場合 # set timezone Europe/Berlin
- 例: (no classified)/Cuba を設定する場合 # set timezone ./Cuba (no classified)の場合は、.(ピリオド)を指定します。

#### (4) Timezone リスト

Timezone は、地域名と都市名を/(半角スラッシュ)で区切って設定します。 例:地域名が Asia で、都市名が東京の場合 Asia/Tokyo

大文字、小文字は区別されるため、以下の文字列通りに設定する必要があります。

#### 地域名のリスト

US	Pacific	Mideast	Mexico	Indian	Еигоре
Chile	Canada	Brazil	Australia	Atlantic	Asia
Arctic A	Antarctica	America	Africa	分類無し	
				(no classified)	

以下は、各地域ごとの都市名のリストです。

#### 地域名が US の場合

Alaska	Aleutian	ArizonPacifia	Central	East-Indiana	Eastern
Hawaii	Indiana- Starke	Michigan	Mountain	Pacific	Pacific-New
Samoa					

#### 地域名が Pacific の場合

Apia	Auckland	Chatham	Easter	Efate	Enderbury
Fakaofo	Fiji	Funafuti	Galapagos	Gambier	Guadalcanal
Guam	Honolulu	Johnston	Kiritimati	Коѕгае	Kwajalein
Мајиго	Marquesas	Midway	Nauru	Niue	Norfolk
Noumea	Pago_Pago	Palau	Pitcairn	Ponape	Port_Moresby
Rarotonga	Saipan	Samoa	Tahiti	Tarawa	Tongatapu
Truk	Wake	Wallis	Үар		

#### 地域名が Mideast の場合

	Nydeney Nydeney
--	-----------------

#### 地域名が Mexico の場合

|--|

#### 地域名が Indian の場合

Antananarivo	Chagos	Christmas	Cocos	Comoro	Kerguelen
Mahe	Maldives	Mauritius	Mayotte	Reunion	

#### 地域名が Europe の場合

Amsterdam	Berlin	Chisinau	lstanbul	London	Minsk
Paris	San_Marino	Stockholm	Vaduz	Zagreb	Andorra
Bratislava	Copenhagen	Kaliningrad	Luxembourg	Monaco	Prague
Sarajevo	Tallinn	Vatican	Zaporozhye	Athens	Brussels
Dublin	Kiev	Madrid	Moscow	Riga	Simferopol
Tirane	Vienna	Zurich	Belfast	Bucharest	Gibraltar
Lisbon	Malta	Nicosia	Rome	Skopje	Tiraspol
Vilnius	Belgrade	Budapest	Helsinki	Ljubljana	Mariehamn
Oslo	Samara	Sofia	Uzhgorod	Warsaw	

#### 地域名が Chile の場合

Continental	EasterIsland		

#### 地域名が Canada の場合

Atlantic	Central	East- Saskatchewan	Eastern	Mountain	Newfoundland
Pacific	Saskatchewan	Yukon			

#### 地域名が Brazil の場合

Acre	DeNoronha	East	West	

#### 地域名が Australia の場合

ACT	Brisbane	Canberra	Darwin	LHI	Lord_Howe
NSW	Perth	South	Tasmania	West	Adelaide
Broken_Hill	Currie	Hobart	Lindeman	Melbourne	North
Queensland	Sydney	Victoria	Yancowinna		

#### 地域名が Atlantic の場合

Azores	Bermuda	Canary	Cape_Verde	Faeroe	Jan_Mayen
Madeira	Reykjavik	South_Georgia	St_Helena	Stanley	

Aden	Almaty	Amman	Anadyr	Aqtau	Aqtobe
Ashgabat	Ashkhabad	Baghdad	Bahrain	Baku	Bangkok
Beirut	Hong_Kong	Масао	Calcutta	Choibalsan	Chongqing
Chungking	Colombo	Dacca	Damascus	Dhaka	Dili
Dubai	Dushanbe	Gaza	Harbin	Kuwait	Rangoon
Irkutsk	lstanbul	Jakarta	Jayapura	Jerusalem	Kabul
Kamchatka	Karachi	Kashgar	Katmandu	Krasnoyarsk	Kuala_Lumpur
Kuching	Qyzylorda	Tel_Aviv	Macau	Magadan	Makassar
Manila	Muscat	Nicosia	Novosibirsk	Omsk	Oral
Phnom_Penh	Pontianak	Pyongyang	Qatar	Tehran	Riyadh
Riyadh87	Riyadh88	Riyadh89	Saigon	Sakhalin	Samarkand
Seoul	Shanghai	Singapore	Таіреі	Tashkent	Tbilisi
Brunei	Thimbu	Thimphu	Токуо	Ujung_Pandang	Ulaanbaatar
Ulan_Bator	Urumqi	Vientiane	Vladivostok	Yakutsk	Yekaterinburg
Yerevan	Bishkek	Hovd			

#### 地域名が Asia の場合

#### 地域名が Arctic の場合

Longyearbyen			

#### 地域名が Antarctica の場合

Casey	DumontDUrville	McMurdo	Rothera	Syowa	Davis
Mawson	Palmer	South_Pole	Vostok		

Adak	Anchorage	Anguilla	Antigua	Araguaina	Argentina
Aruba	Asuncion	Atka	Bahia	Barbados	Belem
Belize	Boa_Vista	Bogota	Boise	Buenos_Aires	Cambridge_Bay
Ensenada	Knox_IN	Nome	St_Johns	Cayenne	Cayman
Chicago	Chihuahua	Coral_Harbour	Cordoba	Costa_Rica	Cuiaba
Сигасао	Danmarkshavn	Dawson	Dawson_Creek	Denver	Detroit
Dominica	Edmonton	Eirunepe	El_Salvador	Kentucky	Nipigon
Shiprock	Godthab	Goose_Bay	Grand_Turk	Grenada	Guadeloupe
Guatemala	Guayaquil	Guyana	Halifax	Havana	Hermosillo
Indiana	Indianapolis	Inuvik	Iqaluit	Jamaica	Jujuy
Juneau	New_York	Scoresbysund	Catamarca	Los_Angeles	Louisville
Maceio	Managua	Manaus	Martinique	Mazatlan	Mendoza
Menominee	Merida	Mexico_City	Miquelon	Moncton	Monterrey
Montevideo	Montreal	Montserrat	Nassau	Sao_Paulo	Caracas
Glace_Bay	North_Dakota	Panama	Pangnirtung	Paramaribo	Phoenix
Port-au-Prince	Port_of_Spain	Porto_Acre	Porto_Velho	Puerto_Rico	Rainy_River
Rankin_Inlet	Recife	Regina	Rio_Branco	Rosario	Santiago
Santo_Domingo	Cancun	Fortaleza	Lima	St_Kitts	St_Lucia
St_Thomas	St_Vincent	Swift_Current	Tegucigalpa	Thule	Thunder_Bay
Tijuana	Toronto	Tortola	Vancouver	Virgin	Whitehorse
Winnipeg	Yakutat	Yellowknife	Campo_Grande	Fort_Wayne	La_Paz
Noronha					

#### 地域名が America の場合

#### 地域名が Africa の場合

Abidjan	Ассга	Addis_Ababa	Algiers	Asmera	Bamako
Bangui	Banjul	Dar_es_Salaam	Blantyre	Brazzaville	Bujumbura
Cairo	Casablanca	Ceuta	Conakry	Dakar	Khartoum
Djibouti	Douala	El_Aaiun	Freetown	Gaborone	Harare
Johannesburg	Kampala	Malabo	Kigali	Kinshasa	Lagos
Libreville	Lome	Luanda	Lubumbashi	Lusaka	Nouakchott
Maputo	Maseru	Mbabane	Mogadishu	Monrovia	Nairobi
Ndjamena	Niamey	Ouagadougou	Porto-Novo	Sao_Tome	Timbuktu
Tripoli	Tunis	Windhoek	Bissau		

#### 地域名が分類無し(no classified)の場合

Timezone には、.(半角ピリオド)と/(半角スラッシュ)を使って以下のように指定します。

例:都市名が CNET の場合

./CNET

CET	CST6CDT	Cuba	EET	EST	EST5EDT
Egypt	Eire	Factory	GB	GB-Eire	GMT
GMT+0	GMT-0	GMT0	Greenwich	HST	Hongkong
Iceland	Iran	Israel	Jamaica	Japan	Kwajalein
Libya	MET	MST	MST7MDT	NZ	NZ-CHAT
Navajo	PRC	PST8PDT	Poland	Portugal	ROC
ROK	Singapore	Turkey	UCT	UTC	Universal
W-SU	WET	Zulu	leapseconds		

#### (5) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified timezone is invalid.

Time synchronization was requested to Standby MMB.

Unable to execute this command on a standby MMB.

## 2.2.38 set partition extended\_partitioning\_mode

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode を設定します。 デフォルトの設定値は disable です。

- enable: 拡張パーティションモード有効
- disable: 拡張パーティションモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ/オンの必要はあり ません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。 また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ/オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

### ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition extended_partitioning_mode <partition#> [enable|disable ]
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition#1の Extended Partitioning Mode を Enable に設定する場合 # set partition extended\_partitioning\_mode 1 enable

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified command is not supported. (error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'set partition extended\_partitioning\_mode' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to change the mode while the partition is running

.Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition. Partition#x is not defined.

The Extended Partitioning mode cannot be changed while the PPAR Partition is Dynamic Reconfiguration mode.

Unable to set Extended Partitioning Mode because Partition Power Save Control is enabled.

Unable to set Extended Partitioning Mode because Extended Partitioning doesn't support multiple SB configuration except SB#0-1 or SB#2-3.

Unable to set Extended Partitioning Mode because Extended Partitioning doesn't support Reserved SB in multiple SB configuration.

## 2.2.39 set partition dimm\_excl\_mode

指定した拡張パーティションの DIMM 排他割り当てモードを設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

- enable: DIMM 排他割り当てモード有効
- disable: DIMM 排他割り当てモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ/オンの必要はあり ません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ/オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。 指定したパ ーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作 はできません。

### ■ 権限: Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

set partition dimm\_excl\_mode <partition#> [enable| disable ] {quiet}

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition#4の DIMM 排他割り当てモードを Enable に設定する場合 # set partition dimm\_excl\_mode 4 enable #
- (4) メッセージ
  - この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified command is not supported.(error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'set partition dimm\_excl\_mode' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

Partition#x is not defined.

## 2.2.40 set partition skt\_binding\_mode

指定した拡張パーティションの CPU ソケット固定割り当てモードを設定します。 デフォルトの設定値は disable です。

- enable: CPU ソケット固定割り当てモード有効
- disable: CPU ソケット固定割り当てモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設 定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ/オンの必要はあり ません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。 また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ/オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。

2 ソケットより多くの CPU コア数が割り当てられている拡張パーティションに対して、このモードを disable から enable に変更した場合、CPU コア数は 2 ソケット分に変更されます。

指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに 対する操作はできません。

拡張パーティションに対する SB の資源割り当ての詳細は、1.3.5.1[SB]画面を参照してください。

### ■ 権限:Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition skt_binding_mode <partition#> [enable| disable ]
{quiet}
```

- (2) オプションquiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例: Partition#4 の CPU Socket 固定割り当てモードを Enable に設定する場合 # set partition skt\_binding\_mode 4 enable #
  - 例: 37 コアを割り当てている Partition#4のモードを Enable に設定する場合 # set partition skt\_binding\_mode 4 enable The setting number of CPU cores will be modified.(current:37 to setting:36) SKT Binding Mode of Partition#4 is enable. Are you sure to continue?[Y/N]: y #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified command is not supported.(error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'set partition skt\_binding\_mode' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition. Partition#x is not defined.

## 2.2.41 add extended\_partition sb

指定した SB の資源を指定した拡張パーティションに追加します。CPU コア数の場合は、指定した値のコア数が設定され ます。メモリサイズの場合は、指定した値が GB 単位で設定されます。指定した拡張パーティションが電源オン状態の場 合は本コマンドの処理は実行されません。指定した CPU コア数、メモリサイズ、HOME SB の USB1,

VGA/USB2/rKVMS, SB の PCI Express スロットがフリー状態でない場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定し たパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

VGAUSB2 の実行時、VGA/USB2/rKVMS を割り当てない運用をユーザーに促すメッセージを出力します。

CPU ソケット固定割り当てモードが enable に設定されている拡張パーティションに対して、本コマンドにより 2 ソケット分より多い CPU コア数を指定した場合、CPU コア数は 2 ソケット分に変更されます。

### ■ 権限:Administrator

#### (1) 入力形式

```
extended partition sb <partition#> CPU <CPU コア数> {quiet}
add
                            <partition#> MEMORY
                                                  <メモリサイズ>
add
     extended partition sb
{quiet}
add
    extended partition
                       sb
                            <partition#> USB1 {quiet}
add
     extended partition
                       sb
                            <partition#> VGAUSB2
                                                  {quiet}
add
     extended partition
                        sb
                            <partition#>
                                         PCISLOT <SB#> {quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E2 で 3 個の CPU Core を Partition#4 に設定する場合 # add extended\_partition sb 4 CPU 3 Are you sure you want to add 3 CPU Cores to Partition#4? [Y/N] Y Adding 3 CPU Cores to Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E2 で 24GB の Memory を Partition#4 に設定する場合 # add extended\_partition sb 4 MEMORY 24 Are you sure you want to add 24G Memory to Partition#4? [Y/N] Y Adding 24G Memory to Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E2 で HOME SB の USB1 を Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition sb 4 USB1 Are you sure you want to add USB1 to Partition#4? [Y/N] Y Adding USB1 to Partition#4 has been completed successfully. #

- 例: PRIMEQUEST 2800E2 で HOME SB の VGA/USB2 を Partition#4 に追加する場合
  # add extended\_partition sb 4 VGAUSB2
  Are you sure you want to add VGA/USB2 to Partition#4? [Y/N] Y
  !!! CAUTION!!!
  Assignment of "VGA/USB2/rKVMS" cannot be changed if the Extended Partition is powered on.
  Please release "VGA/USB2/rKVMS" after the operation.
  Note:
  "IP Address", "Video Redirection" and "Virtual Media" for all Extended Partitions must be enabled in
  "Partition -> Console Redirection Setup" menu.
  Adding VGA/USB2 to Partition#4 has been completed successfully.
  #

  Ø: PRIMEQUEST 2800E2 で SB#2 の PCI Express スロットを Partition#4 に追加する場合
- 例: PRIMEQUEST 2800E2 で SB#2 の PCI Express スロットを Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition sb 4 PCISLOT 2 Are you sure you want to add PCI Slot of SB#2 to Partition#4? [Y/N] Y Adding PCI Slot of SB#2 to Partition#4 has been completed successfully. #
- 例: CPU ソケット固定割り当てモードが enable である Partition#4 に 37 個の CPU コアを追加する場合 (CPU は 18 コア/ソケット)
  - # add extended\_partition sb 4 CPU 37
    The specified number of cores will be modified (37 to 36), because SKT Binding
    Mode is enable.
    Are you sure you want to add 36 CPU Cores to Partition#4? [Y/N]: Y
    Adding 36 CPU Cores to Partition#4 has been completed successfully.
    #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to add %s to Partition#%d? [Y/N]:
Adding %s to Partition#%d has been completed successfully.
The specified partition number is invalid.
The specified SB number for PCI Slot is invalid.
The specified partition doesn't have [SB#%d   SB].
Parameter missing
The specified parameter is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'add extended_partition sb' command.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.
Partition#x is not defined.
The specified [USB1   VGA/USB2   PCI Slot] is not free.
The specified [CPU cores   Memory size] is too large.
The specified [CPU Cores   Memory USB1   VGA/USB2   PCI Slot] is not free.
Unable to set configuration because this partition is not Extended Partitioning Partition

## 2.2.42 add extended\_partition iou

指定した IOU の資源を指定した拡張パーティションに追加します。 指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合 は本コマンドの処理は実行されません。 指定したオンボード GbE, PCI Express スロット, DU がフリー状態でない場合は 本コマンドの処理は実行されません。

指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> GBE {quiet}
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> PCISLOT <PCI Slot#>
{quiet}
add extended partition iou <IOU#x> <partition#> DU {quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST2800E で IOU#1 のオンボード GbE を Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition iou 1 4 GBE Are you sure you want to add GbE of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y Adding GbE of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST2800E で IOU#1 の PCI Express スロット#1 を Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition iou 1 4 PCISLOT 1 Are you sure you want to add PCI Slot#1 of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y Adding PCI Slot#1 of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST2800E で IOU#1 の DU を Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition iou 1 4 DU Are you sure you want to add Disk Unit of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y Adding Disk Unit of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully. #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to add %s to Partition#%d? [Y/N]:
Adding %s to Partition#%d has been completed successfully.
The specified partition number is invalid.
The specified [IOU#   PCI Slot#] is invalid.
The specified partition doesn't have IOU#%d.
The specified DU is not connected.
Parameter missing
The specified parameter is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'add extended_partition iou' command.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.
Partition#x is not defined.

The specified [GbE | PCI Slot#x | DU] is not free.

## 2.2.43 add extended\_partition pcibox

指定した PCI ボックスの PCI Express スロットを指定した拡張パーティションに追加します。 指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定した PCI ボックスの PCI Express スロットがフリー状態でない場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

### ■ 権限:Administrator

#### (1) 入力形式

```
add extended_partition pcibox <PCIBOX#> <partition#> PCISLOT <PCI Slot#>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で PCI ボックス#1 の PCI Express スロット#2 を Partition#4 に追加する場合 # add extended\_partition pcibox 1 4 PCISLOT 2 Are you sure you want to add PCI Slot#2 of PCI\_Box#1 to Partition#4? [Y/N] Y Adding PCI Slot#2 of PCI\_Box#1 to Partition#4 has been completed successfully. #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to add %s to Partition#%d? [Y/N]:

Adding %s to Partition#%d has been completed successfully.

The specified partition number is invalid.

The specified [PCI Box# | PCI Slot#] is invalid.

The specified partition doesn't have PCI Box#%d.

Parameter missing

The specified parameter is invalid.

The specified command is not supported.(error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'add extended\_partition pcibox' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.

Partition#x is not defined.

The specified PCI Slot#x is not free.

## 2.2.44 remove extended\_partition sb

指定した SB の資源を指定した拡張パーティションから取り外します。 指定した拡張パーティションが電源オン状態の 場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定した HOME SB の USB1, VGA/USB2/rKVMS, SB の PCI Express スロッ トがパーティションに含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定したパーティション番号が拡張 パーティションでない場合は何も処理しません。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

remove extended\_partition sb <partition#> USB1 {quiet}
remove extended\_partition sb <partition#> VGAUSB2 {quiet}
remove extended partition sb <partition#> PCISLOT <SB#> {quiet}

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で HOME SB の USB1 を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition sb 4 USB1 Are you sure you want to remove USB1 from Partition#4? [Y/N] Y Removing USB1 from Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で HOME SB の VGA/USB2 を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition sb 4 VGAUSB2 Are you sure you want to remove VGA/USB2 from Partition#4? [Y/N] Y Removing VGA/USB2 from Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で SB#2 の PCI Express スロットを Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition sb 4 PCISLOT 2 Are you sure you want to remove PCI Slot of SB#2 from Partition#4? [Y/N] Y Removing PCI Slot of SB#2 from Partition#4 has been completed successfully. #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to remove %s from Partition#%d? [Y/N]:
Removing %s from Partition#%d has been completed successfully.
The specified partition number is invalid.
The specified SB number for PCI Slot is invalid.
The specified partition doesn't have [SB#%d   SB].
Parameter missing
The specified parameter is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'remove extended_partition sb' command.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.
Partition#x is not defined.

Partition#x does not include the specified [USB1 | VGA/USB2 | PCI Slot#x].

## 2.2.45 remove extended\_partition iou

指定した IOU の資源を指定した拡張パーティションから取り外します。 指定した拡張パーティションが電源オン状態の 場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定したオンボード GbE、PCI Express スロット、DU がパーティションに 含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定したパーティション番号が拡張パーティションでない 場合は何も処理しません。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
extended partition iou <IOU#>
                                         <partition#> GBE {quiet}
remove
remove
        extended partition
                            iou
                                 <IOU#>
                                         <partition#> PCISLOT
                                                               <PCI Slot#>
{quiet}
remove
        extended partition
                            iou
                                 <IOU#>
                                         <partition#> DU
                                                           {quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で IOU#1 のオンボード GbE を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition iou 1 4 GBE Are you sure you want to remove GbE of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y Removing GbE of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で IOU#1 の PCI Express スロット#1 を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition iou 1 4 PCISLOT 1 Are you sure you want to remove PCI Slot#1 of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y Removing PCI Slot#1 of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully. #
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で IOU#1 の DU を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition iou 1 4 DU Are you sure you want to remove Disk Unit of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y Removing Disk Unit of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully. #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to remove %s from Partition#%d? [Y/N]:
Removing %s from Partition#%d has been completed successfully.
The specified partition number is invalid.
The specified [IOU#   PCI Slot#] is invalid.
The specified partition doesn't have IOU#%d.
The specified DU is not connected.
Parameter missing
The specified parameter is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'remove extended_partition iou' command.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.
Partition#x is not defined.

Partition#x does not include the specified [GbE | PCI Slot#x | DU].

## 2.2.46 **remove extended\_partition pcibox**

指定した PCI ボックスの資源を指定した拡張パーティションから取り外します。 指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。 指定した PCI ボックスの PCI Express スロットがパーティションに含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されま せん。指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

### ■ 権限:Administrator

#### (1) 入力形式

```
remove extended_partition pcibox <PCIBOX#> <partition#> PCISLOT <SLOT#>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E で PCI ボックス#1 の PCI Express スロット#2 を Partition#4 から取り外す場合 # remove extended\_partition pcibox 1 4 PCISLOT 2 Are you sure you want to remove PCI Slot#2 of PCI\_Box#1 from Partition#4? [Y/N] Y Removing PCI Slot#2 of PCI\_Box#1 from Partition#4 has been completed successfully. #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure you want to remove %s from Partition#%d? [Y/N]:

Removing %s from Partition#%d has been completed successfully.

The specified partition number is invalid.

The specified [PCI Box# | PCI Slot#] is invalid.

The specified partition doesn't have PCI Box#%d.

Parameter missing

The specified parameter is invalid.

The specified command is not supported.(error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'remove extended\_partition pcibox' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to set configuration because this Extended Partitioning partition is powered on.

Partition#x is not defined.

Partition#x does not include the PCI Slot#x.

## 2.2.47 hotadd partition

指定したパーティションに指定した SB、または IOU を動的に追加します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- SB パラメーターは物理 SB 番号を指定します(論理 SB 番号ではありません)。
- このコマンドの実行を中断することはできません。
- コマンドが失敗した場合は次回起動時に構成変更が反映されます。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

```
hotadd partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}
hotadd partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
```

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition#2 に SB#3 を追加する場合 # hotadd partition 2 SB 3 Are you sure to continue adding SB#3 to partition#2? [Y/N] Y DR operation start (1/5) Assigning SB#3 to partition#2 (2/5) Testing SB#3 (3/5) Reconfiguring partition#2 (4/5) Onlining added Memory/CPU (5/5) Adding SB#3 to Partition#2 has been completed successfully. #
    - 例: Partition#2 に IOU#3 を追加する場合 # hotadd partition 2 IOU 3 Are you sure to continue adding IOU#3 to Partition#2? [Y/N] Y DR operation start (1/3) Assigning IOU#\$ to partition#\$ (2/3) Power on IOU#\$(3/3) Adding IOU#3 to Partition#2 has been completed successfully. #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure to continue adding [SB#%d IOU#%d] to partition#%d? [Y/N]:
DR operation start (1/5)
Assigning SB#%d to partition#%d (2/5)
Testing SB#%d (3/5)
Reconfiguring partition#%d (4/5)
Onlining added Memory/CPU (5/5)
DR operation start (1/3)
Assigning IOU#%d to partition#%d (2/3)
Power on IOU#%d(3/3)
Adding [SB#%d IOU#%d] to partition#%d has been completed successfully.
The specified [SB#%d IOU#%d] is not present.
The specified [SB#%d IOU#%d] is power-on.
The specified Partition#%d is no Home.
Hot-add [SB#%d IOU#%d] failure.
Unable to hot-add SB due to firmware mismatch.
Unable to hot-add SB due to SB revision mismatch.
Unable to hot-add SB due to CPU mismatch.
Unable to hot-add SB due to DIMM mismatch.
Unable to power on the DR test partition.
Unable to power off the DR test partition.
Check DR Unit Error
Unable to onlining the DR target bmc.
Unknown Error Code =0xXX
The specified SB#%d is not supported.
Failed to execute hotadd partition command.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Hot-add [SB#%d IOU#%d] failed.
Failed to execute DR operation. Fatal error occurred.
Unable to power on the IOU.
Unable to power on the PCIBox.
Failed to create DR test partition.
Failed to execute DR operation. Partition is stopped.
DR sequence timeout: added SB power on failure
DR sequence timeout: SB hot-add OS failure
DR sequence timeout: SB hot-add request failure
DR sequence timeout: QPI connection failure
BIOS Error Code =0xXX
The specified [SB#%d IOU#%d] is not free or reserved.
DR can't be enabled, because of no DR license
DR feature is disabled.
Unable to execute DR command while other DR command is running
Unable to execute DR command due to previous failure.
Unable to hot-add SB while firmware updating.
Unable to execute DR command because OS is not ready for DR operation
## 2.2.48 hotremove partition

指定したパーティションから指定した SB、または IOU を動的に削除します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- SB パラメーターは物理 SB 番号を指定します(論理 SB 番号ではありません)。
- このコマンドの実行を中断することはできません。
- コマンドが失敗した場合は次回起動時に構成変更が反映されます。

#### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

hotremove partition <partition#> SB <SB#x> {quiet} hotremove partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}

(2) オプション

quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

例: Partition#2から SB#3 を削除する場合 # hotremove partition 2 SB 3 Are you sure to continue removing SB#3 from partition#2? [Y/N] Y DR operation start (1/4) Offlining removed Memory/CPU (2/4) Reconfiguring partition#2 (3/4) Releasing SB#3 (4/4) Removing SB#3 from partition#2 has been completed successfully. #

- 例: Partition#2 から IOU#3 を削除する場合 # hotremove partition 2 IOU 3 Are you sure to continue removing IOU#3 from Partition#2? [Y/N]: Y DR operation start (1/3) Remove IOU#3 (2/3) IOU#3 power-off (3/3) Removing IOU#3 from partition#2 has been completed successfully. # (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure to continue removing [SB#%d IOU#%d] from Partition#%d? [Y/N]:
DR operation start (1/4)
Offlining removed Memory/CPU (2/4)
Reconfiguring partition#%d (3/4)
Releasing SB#%d (4/4)
DR operation start (1/3)
Remove IOU#%d (2/3)
IOU#%d power-off (3/3)
Removing [SB#%d IOU#%d] from partition#%d has been completed successfully.
The specified [SB#%d IOU#%d] is not present.
The specified [SB#%d IOU#%d] is power-off.
The specified [SB#%d IOU#%d] is not in specified Partition.
The specified SB#%d is home SB.
Unknown Error Code =0xXX
Failed to execute hotremove partition command.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Hot-remove [SB#%d IOU#%d] failed.
Failed to execute DR operation. Fatal error occurred.
Failed to execute DR operation. Configuration is unrecovered.
Failed to execute DR operation. Partition is stopped.
The specified IOU#%d has not stopped.
DR sequence timeout: QPI disconnection failure
DR sequence timeout: SB hot-remove OS failure
BIOS Error Code =0xXX
The specified [SB#%d IOU#%d] is free
DR can't be enabled, because of no DR license
DR feature is disabled.
Unable to execute DR command due to previous failure.
Unable to execute DR command while other DR command is running
Unable to hot-remove SB while firmware updating.
Unable to execute DR command because OS is not ready for DR operation

### 2.2.49 pciinfo partition

指定したパーティション<partition#>に指定した IOU<IOU#>の PCI 情報通知を依頼します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- このコマンドの実行を中断することはできません。

#### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

pciinfo partition <partition#> IOU <IOU#> {quiet}

(2) オプションquiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

#### (3) 使用例

- 例: Partition#2 に IOU#3 を指定した場合

# pciinfo partition 2 IOU 3

Are you sure to continue updating IOU#3 in Partition#2? [Y/N]: Y

... 116

Update IOU#3 PCI information in Partition#2 has been completed successfully.

- #
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Are you sure to continue updating IOU#%d to Partition#%d? [Y/N]:
The specified IOU#%d is not present.
The specified IOU#%d is power-off.
The specified IOU#%d is not in specified Partition.
Unknown Error Code =0xXX
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute DR operation. Fatal error occurred.
Failed to execute DR operation. Configuration is unrecovered.
Failed to execute DR operation. Partition is stopped.
BIOS Error Code =0xXX
The specified %s is not added
PCI information update timeout
Update PCI information failure
DR can't be enabled, because of no DR license
DR feature is disabled.
Unable to execute DR command due to previous failure.
Unable to execute DR command while other DR command is running
Unable to execute DR command because OS is not ready for DR operation.

## 2.2.50 set partition extended\_socket\_mode

指定した拡張パーティションの Extended Socket mode を設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

enable : Extended Socket mode 有効。

disable : Extended Socket mode 無効。

電源 On している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

電源 Off している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源の off/on の必要はなく、上記 メッセージを表示せずに、即時に設定した値を反映します。また、現在値を同じ値に設定した場合も、電源 off/on の必 要がないため、上記メッセージは表示されません。

#### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

set partition extended\_socket\_mode < Extended Partitioning#> [enable|
disable] {quiet}

- (2) オプションquiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例: 拡張パーティション #4の Extended Socket mode を Enable に設定する場合 # set partition extended\_socket\_mode 4 enable

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified command is not supported. (error=[%s])

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute 'set partition extended\_soket\_mode' command.

Unable to execute this command because the system is under maintenance.

Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition. Extended Partitioning#x is not defined.

The Extended Partitioning mode cannot be changed while the partition is Dynamic Reconfiguration mode.

## 2.2.51 set partition extended\_socket\_zone

指定した Zone に拡張パーティションを設定します。 Zone に none を設定した場合は、Zone 設定が none になります。

#### ■ 権限:Admin

(1) 入力形式

```
set partition extended_socket_zone [ <Zone#> | none ] [<Extended
Partitioning#> [, | -] <Extended Partitioning#> ] {quiet}
```

- (2) オプションquiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例: Zone #1 に拡張パーティション#4 と#5 を設定する場合 # set partition extended\_socket\_zone 1 4,5 #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'set partition extended_soket_zone' command.
Unable to execute this command because the system is under maintenance.
Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.
Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.
Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.
Partition#x is not defined.
The Extended Partitioning mode cannot be changed while the partition is Dynamic Reconfiguration
mode.

### 2.2.52 **set partition memory\_sparing\_mode**

本コマンドは、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 で利用可能です。 指定したパーティションの Memory Sparing Mode の Rank を設定します。 本コマンドを使用する場合は予め Memory Operation Mode を Spare Mode に設定する必要があります。 デフォルトの設定値は 1Rank です。

- 1 : 1Rank を設定する
- 2 : 2Rank を設定する
- auto:自動設定

電源 On している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

電源 Off しているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源の off/on の必要はなく、上記メッ セージを表示せずに、即時に設定した値を反映します。また、現在値を同じ値に設定した場合も、電源 off/on の必要が ないため、上記メッセージは表示されません。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージを表示し、指定したパーティションに対 する操作は抑止されます。

#### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

set partition memory\_sparing\_mode <Partition#> [1|2|auto] {quiet}

(2) オプションquiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: パーティション #4 の memory\_sparing\_mode の Rank 数を 1 に設定する場合 # set partition memory\_sparing\_mode 3 1 The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed # (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid. The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed.

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to register the specified Partition#%d as Mode enable because the CPU mismatch between SBs. Unable to register the specified Partition#%s as Mode enable because of abnormal SB composition.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Unable to change the mode because Memory Operation Mode is not spare mode.

Failed to execute %s command.

Failed to execute set partition command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

## 2.2.53 create raid logical\_drive

指定した RAID アダプタに論理ドライブを作成します。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
create raid logical_drive [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
disk=[<DISKSLOT#>{,<DISKSLOT#>...} | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>{,<PORT#>-
<CASCADE#>-<DISKSLOT#>...}] level=<RAIDlevel> {spansize=<Span>} {size=<Size>[MB |
GB | TB]} {name="<Name>"} {stripe=<StripeSize>} {init=[no | fast | slow]}
{force}
```

- (2) オプション
  - disk: ディスクスロット番号(例:disk=0,1,2,3)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例:disk=0-0-0,0-0-1,1-0-0,1-0-1)
  - level: RAID レベル。0,1,5,6,1E,10,50,60の何れかを指定できます。(例:level=5)
  - spansize: ディスク毎のスパンサイズ。RAID-50 あるいは RAID-60 の場合は、本パラメーターは意味をなしません。(例:spansize=5)
  - size: 論理ドライブサイズ。本パラメーターが省略された場合は、作成可能な最大サイズで論理ドライブを生成します。(例:size=512GB)
  - name: 論理ドライブ名。本パラメーターが省略された場合は、"LogicalDrive\_#"(#はターゲット ID)がドライブ 名としてアサインされます。
  - stripe: 論理ドライブのストライプサイズ。8,16,32,64,128,256,512,1024の何れかを指定できる。本パラメータ ーが省略された場合は、64 が設定されます。(例:stripe=1024)
  - init: 論理ドライブの初期化方法。本パラメーターが省略された場合は、論理ドライブ作成後に、初期化処理は実行 されません。(例:init=fast)
  - force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

本コマンドの必須オプションは、"disk"および"level"のみで、その他オプションは省略可能です。省略された 場合のデフォルト値は下記を参照ください。

オプション	デフォルト値
spansize	RAID-50 あるいは RAID-60 の場合、 spansize=指定されたディスク数 / 2
	RAID-10の場合、 spansize=2
	その他 RAID レベルの場合、spansize=指定されたディスク数
size	作成可能な最大サイズ
name	"LogicalDrive_#" (#: 論理ドライブの Target ID)
stripe	64
init	NO

(3) 使用例

- 例:SB#0上のスロット 0,1,2,3 に搭載されているディスクを使用して RAID5 の論理ドライブ を生成する場合

# create raid logical\_drive SB 0-0 disk=0,1,2,3 level=5 size=512GB name= "Logical\_Drive\_0"
stripe=1024 init=fast force

- 例:IOU#2-PCI スロット#0の RAID カードのポート#0, カスケード#0 に接続されているディスクエンクロージ ャー上のスロット#0,#1のディスクと、同 RAID カードのポート#1, カスケード#0 に接続されているディスク エンクロージャー上のスロット#0,#1のディスクで、RAID6の論理ドライブを生成する場合 # create raid logical\_drive IOU 0-0 disk=0-0-0,0-0-1,1-0-0,1-0-1 level=6 size=512GB name= "Logical\_Drive\_0" stripe=1024 init=fast
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

Missing mandatory options.

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected. Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

- (5) 備考
  - 本コマンドで論理ドライブを作成する際に、指定できないポリシーがあります。これらのポリシーは、下記の デフォルト値が設定されますが、論理ドライブ作成後に、"modify raid logical\_drive\_policy"コマンドで変 更することが可能です。

ポリシー	デフォルト値	設定可能な値
Read Policy	No Read Ahead	No Read Ahead, Read Ahead
Write Policy	Write Back	Write Back, Write Through, Force Write Back
I/O Policy	Direct	Direct, Cached
Access Policy	Read/Write	Read/Write, Read Only, Blocked
Drive Cache	Enable	Unchanged, Enable, Disable

 本コマンド実行時に、"Internal error[12:0x8017]"あるいは、"Internal error[12:0x802f]"で応答する 場合がありますが、この場合、"show raid logical\_drive"コマンドで、論理ドライブが作成されているか確 認してください。
 論理ドライブが作成されている場合は、動作に影響はないため、"Internal error"は無視してください。
 論理ドライブが作成されていない場合は、再度、"create logical\_drive"コマンドを実行し、論理ドライブ を作成してください。

# 2.2.54 delete raid logical\_drive

指定した論理ドライブを削除します。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

delete raid logical\_drive [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
target=<TargetID> {force}

(2) オプション

target: 削除したい論理ドライブのターゲット ID (例:target=0) force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 上の RAID コントローラーにアサインされている論理ドライブ#0 を削除する場合 # delete raid logical\_drive SB 0-0 target=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
Unable to execute the command because the system is under maintenance.
Unable to execute the command because the Partition#%d is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to
the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d
assigned to the raid controller.

## 2.2.55 modify raid logical\_drive\_policy

指定した論理ドライブのポリシーを変更します。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
modify raid logical_drive_policy [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
target=<TargetID> {read=<ReadPolicy>} {write=<WritePolicy>} {io=<IOPoclicy>}
{access=<AccessPolicy>} {cache=<DriveCachePolicy>} {force}
```

(2) オプション

target:論理ドライブのターゲット ID (例: target=0)

read: リードポリシーの設定。0=No read ahead、1=Read ahead

No read ahead - メモリへの先読出しアクセスが実行されません。

Read ahead - メモリへの先読出しアクセスが実行されます。

write: ライトポリシーの設定。0=Write Back、1=Write Through、2=Force Write Back

Write Back - RAID コントローラーは、コントローラーのキャッシュにデータを書き込んだ時点でサーバに 対して信号を送ります。

Write Through - RAID コントローラーは、ディスクまでデータを書き込んだ場合のみサーバに対して信号を送ります。

Force Write Back - コントローラーは、FBU(RAID バッテリ)が存在しなかったり、FBU が機能していない 場合でも、コントローラーのキャッシュに書き込まれた時点で常にサーバに信号を送信します。

io: IO ポリシーの設定。0=Direct、1=Cached

cache: キャッシュポリシーの設定。0=Unchanged、1=Enable、2=Disable

force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 上の RAID コントローラーにアサインされている論理ドライブ#0 のポリシーを変更する場合 # modify raid logical\_drive\_policy SB 0-0 target=0 read=0 write=0 io=0 access=0 cache=0

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
Unable to execute the command because the system is under maintenance.
Unable to execute the command because the Partition#%d is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to
the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d
assigned to the raid controller.

## 2.2.56 modify raid logical\_drive

指定した論理ドライブの設定を変更します。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
modify raid logical_drive [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
target=<TargetID> {[disk=<DISKSLOT#>{,<DISKSLOT#>...} | disk=<PORT#>-<CASCADE#>-
<DISKSLOT#>{,<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>...}]} {level=<RAIDlevel>} {force}
```

(2) オプション

target: 設定変更したい論理ドライブのターゲット ID(例:target=0) disk: ディスクスロット番号(例:disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャのポート番号、 カスケード番号およびスロット番号(例:disk=0-0-0) level: RAID レベル。0,1,5,6,1E,10,50,60 の何れかを指定できます。(例:level=5) force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0上の RAID コントローラーにアサインされている論理ドライブ#0に対して、スロット#3のディスクを増設して RAID レベルを RAID-6 に変更する場合
     # modify raid logical\_drive SB 0-0 target=0 disk=3 level=6
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
Missing mandatory options.
The specified controller is not found.
Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to
the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d
assigned to the raid controller

### 2.2.57 create raid global\_hotspare

指定したディスクをグルーバルホットスペアとしてアサインします。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

create raid global\_hotspare [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}

- (2) オプション
  - disk: ディスクスロット番号(例:disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャのポート番号、 カスケード番号およびスロット番号(例:disk=0-0-0)

force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 上のスロット#0 にディスクをグローバルホットスペアとしてアサインする場合 # create raid global\_hotspare SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected. Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.58 create raid dedicated\_hotspare

指定したディスクをデディケーティットホットスペアとしてアサインします。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
create raid dedicated_hotspare [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]
target=<TargetID#>{,<TargetID#>...} {force}
```

- (2) オプション
  - disk: ディスクスロット番号(例:disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャのポート番号、 カスケード番号およびスロット番号(例:disk=0-0-0)
  - target: ホットスペアを設定したい論理ドライブのターゲット ID。最大で 16 個の論理ドライブを指定可能。(例: target=0)

force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

#### (3) 使用例

- 例:SB#0 上のスロット#0 のディスクを論理ドライブ#0 のホットスペアとしてアサインする場合 # create raid dedicated\_hotspare SB 0-0 disk=0 target=0
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d. Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected. Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

## 2.2.59 delete raid hotspare

指定したディスクのホットスペア設定を解除します。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

delete raid hotspare [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}

- (2) オプション
  - disk: ディスクスロット番号(例:disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャのポート番号、 カスケード番号およびスロット番号(例:disk=0-0-0)

force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 上のスロット#0 のディスクのホットスペア設定を解除する場合
     # delete raid hotspare SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected. Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.60 start raid locate\_pd

指定したディスクの location LED を点灯します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid locate\_pd [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポ ート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に割り当てられたディスクの location LEDを点灯する場合 # start raid locate\_pd SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.61 stop raid locate\_pd

指定したディスクの location LED を消灯します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

stop raid locate\_pd [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に割り当てられたディスクの location LEDを消灯する場合 # stop raid locate\_pd SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

## 2.2.62 start raid locate\_ld

指定した論理ドライブに割り当てられたディスクの location LED を点灯します。

### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid locate\_ld [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
target=<TargetID>

(2) オプション

target : 操作したい LED が割り当てられた物理ドライブ上の論理ドライブのターゲット ID を指定します。 (例.target=0)

- (3) 使用例
  - 例:logical drive#1 に割り当てられたディスクの location LEDを点灯する場合 # start raid locate\_ld SB 0-0 target=1
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d

assigned to the raid controller.

# 2.2.63 stop raid locate\_ld

指定した論理ドライブに割り当てられたディスクの location LED を消灯します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

stop raid locate\_ld [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
target=<TargetID>

(2) オプション

target : 操作したい LED が割り当てられた物理ドライブ上の論理ドライブのターゲット ID を指定します。 (例.target=0)

- (3) 使用例
  - 例:logical drive#1 に割り当てられたディスクの location LEDを消灯する場合 # stop raid locate\_ld SB 0-0 target=1
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d

### 2.2.64 start raid locate\_encl

指定したディスクエンクロージャーの location LED を点灯します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid locate\_encl [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
encl=<PORT#>-<CASCADE#>

- (2) オプション
  - encl: ディスクエンクロージャーが接続された RAID カードのポート番号と、ディスクエンクロージャーのカスケード番号 (例.encl=0-0)を指定します。
- (3) 使用例
  - 例:IOU#0-PCI slot#0 に RAID カードのポート#0-カスケード#0 に接続されたディスクエンクロージャーの location LED を点灯する場合 # start raid locate\_encl IOU 0-0 encl=0-0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.65 stop raid locate\_encl

指定したディスクエンクロージャーの location LED を消灯します。

### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

stop raid locate\_encl [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
encl=<PORT#>-<CASCADE#>

- (2) オプション
  - encl: ディスクエンクロージャーが接続された RAID カードのポート番号と、ディスクエンクロージャーのカスケード番号 (例:encl=0-0)を指定します。
- (3) 使用例
  - 例: IOU#0-PCI slot#0 に RAID カードのポート#0-カスケード#0 に接続されたディスクエンクロージャーの location LED を消灯する場合 # stop raid locate\_encl IOU 0-0 encl=0-0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.66 start raid rebuild

指定したディスクのリビルドを開始します。

#### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid rebuild [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> |
<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に接続されたディスクのリビルドを開始する場合 # start raid rebuild SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.67 cancel raid rebuild

指定したディスクのリビルドを中止します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

cancel raid rebuild [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#>
| <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に接続されたディスクのリビルドを中止する場合 # cancel raid rebuild SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successful	ılly
------------------------------------	------

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.68 start raid copyback

指定したディスクに対するコピーバックを開始します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid copyback [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> src=[<DISKSLOT#> |
< PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] dist=[<DISKSLOT#> | < PORT#>-<CASCADE#>-
<DISKSLOT#>] {force}
```

- (2) オプション
  - src: コピー元のディスクスロット番号 (例.src=0)、またはコピー元のディスクエンクロージャー上の外部ディス クのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.src=0-0-0)を指定します。
  - dist: コピー先のディスクスロット番号 (例.dist=0)、またはコピー先のディスクエンクロージャー上の外部ディ スクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.dist=0-0-0)を指定します。
  - force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に搭載されたディスクから slot#1 に搭載されたディスクへのコピーバックを開始す る場合

# start raid copyback SB 0-0 src=0 dist=1

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are
connected.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d
assigned to the raid controller.

### 2.2.69 cancel raid copyback

指定したディスクへのコピーバックを開始します。

### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

cancel raid copyback [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:slot#0 に搭載されたディスクへのコピーバックを中止する場合 # cancel raid copyback SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.70 start raid mdc

指定した論理ドライブの MDC(Make Data Consistent)を開始します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid mdc [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> target=<TargetID>
{force}

- (2) オプション
   target: 論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)
   force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例:論理ドライブ#0 に対して MDC を開始する場合 # start raid mdc SB 0-0 target=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.

## 2.2.71 cancel raid mdc

指定した論理ドライブの MDC(Make Data Consistent)を中止します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

cancel raid mdc [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> target=<TargetID>
{force}

- (2) オプション
   target: 論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)
   force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。
- (3) 使用例
  - 例:論理ドライブ#0 への MDC を停止する場合 # cancel raid mdc SB 0-0 target=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.

### 2.2.72 start raid patrol

指定したアダプタの patrol read を開始します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

start raid patrol [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {force}

(2) オプション

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 に接続されたアダプタへの patrol read を開始する場合 # start raid patrol SB 0-0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d

assigned to the raid controller.

## 2.2.73 cancel raid patrol

指定したアダプタの patrol read を中止します。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

cancel raid patrol [SB | DU | IOU | PCI BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {force}

(2) オプション

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例:SB#0 に接続されたアダプタの patrol read を中止する場合 # cancel raid patrol SB 0-0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.
The operation is canceled
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned
to the raid controller.
Unable to process raid operation because you have not authority to access to the Partition#%d

assigned to the raid controller.

### 2.2.74 make raid online

指定したディスクを online にします。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
make raid online [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> |
<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: スロット#0 に接続されたディスクを online にする場合 # make raid online SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

### 2.2.75 make raid offline

指定したディスクを offline にします。

#### ■ 権限: Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
make raid offline [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#>
| <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクの ポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: スロット#0 に接続されたディスクを offline にする場合 # make raid offline SB 0-0 disk=0
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

## 2.2.76 replace raid missing\_drive

RAID 冗長構成が崩れている論理ドライブに指定したディスクを組み込みます。

### ■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
replace raid missing_drive [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] target=<TargetID#> {force}
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクの指定したディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。 target: 壊れたドライブを持つ論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: スロット 0 に搭載されたディスクを論理ドライブ#0 に組み込む場合 # replace raid missing\_drive SB 0-0 disk=0 target=0
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The command is executed successfully.

The operation is canceled

Too much arguments argc=%d.

Too few arguments argc=%d.

The specified parameter is invalid. %s

The specified controller is not found.

Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.

Internal error [%d:%d].

The operation is failed. %s

Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

Unable to process raid operation because you have not authority to access to the system assigned to the raid controller.

## 2.2.77 set mmbcontrol reset

指定した MMB をリセットします。 保守モード中は本コマンドの実行ができません。 本コマンドを 2 回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を 15 分程度開けてください。

- 0:MMB#0
- 1:MMB#1

#### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set mmbcontrol reset [0|1] {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしで MMB をリセットします。

(3) 使用例

例: MMB#1 をリセットする場合 # set mmbcontrol reset 1

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Unable to execute this command under maintenance.
# 2.2.78 set mmbcontrol switch\_over

MMB の Active/Standby を切り替えます。 保守モード中は本コマンドの実行ができません。 MMB が 1 台構成では本コマンドの実行ができません。 本コマンドを 2 回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を 15 分程度開けてください。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set mmbcontrol switch\_over {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしで MMB の切り替えを行います。

(3) 使用例

例: Active/Standby の切り替えを行う場合 # set mmbcontrol switch\_over

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.Unable to execute this command on a standby MMB.Unable to execute this command under maintenance.

### 2.2.79 set special\_account

LDAP で使用するスペシャルアカウントを設定します。Administrator, CE それぞれ1つだけスペシャルアカウントは設定でき、既に設定済の場合は上書きされます。

本コマンドで Administrator および CE のスペシャルアカウントを作成しない場合、LDAP 機能を有効にすることができません。

本コマンドで作成する Administrator および CE のスペシャルアカウントのユーザー名は、ローカルユーザ名および、外部 LDAP サーバのグローバルユーザー名と別名で作成する必要があります。

LDAP 機能を無効にした場合、本コマンドで作成したスペシャルアカウントで、CLI へのログインは可能ですが、Web-UI へのログインはできません。

- user name : ユーザー名を設定します。ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
  - ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。
  - [0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」 (ハイフン) 「\_」 (アンダーバー)
  - ただし、最初の1文字は[a-z] [A-Z] で始まる必要があります。
- privilege : ユーザーアカウントの権限を設定します。
  - admin, ce のいずれかを設定します。
- password: パスワードを設定します。パスワードは8文字以上32文字以下が設定可能です。
  - パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。

数字: [0-9] 文字: [a-z]、[A-Z] 特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@`[]{}:\*;+?<.>,/\_| 以下のルールでパスワードを設定します。

- ・ 入力可能文字数は、8文字以上 32 文字以下です。
- パスワードの文字は 5 種以上を使用します。
   (大文字小文字の同じ文字は 2 種となります)
   (例: aabBcCee なら 6 種となります)
- 回文にならないようにします。 (例:madam など)
- 類推できるパスワードは設定不可です。 (例:abcdefqh, 12345678 など)
- confirm password : パスワード確認用です。
- 権限:Administrator

#### (1) 入力形式

set special\_account <user name> <privilege: [admin | ce] {quiet} <password>
<confirm password>

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例: Admin 権限のスペシャルアカウント(ユーザー名: special\_admin)を設定する場合 # set special\_account special\_admin admin Password:\*\*\*\*\* Confirm Password: \*\*\*\*\*

例: CE 権限のスペシャルアカウント(ユーザー名:special\_ce)を設定する場合 # set special\_account special\_ce ce Password:\*\*\*\*\* Confirm Password: \*\*\*\*\*

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Same name already exists. User addition failed.

### 2.2.80 set partition pci\_ecrc\_mode

指定したパーティションの ECRC(End-to-End CRC Protection for PCIe IO Subsystem)の有効/無効を設定します。 本コマンドは、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です。 デフォルトの設定値は enable (有効)です。

enable : ECRC 有効 disable : ECRC 無効

本コマンドは対象パーティションの電源が Off の場合のみ実行可能であり、設定は次回パーティション電源 On 時から 反映されます。 既に電源 On しているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッ セージを表示します。

[Unable to change the mode while the partition is running. Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

指定されたパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージを表示し、指定されたパーティション に対する操作は抑止されます。

■ 権限: Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

set partition pci\_ecrc\_mode <partition#> [enable|disable ]

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

- (3) 使用例
  - 例: Partition3のECRC設定を無効にする場合 # set partition pci\_ecrc\_mode 3 disable pci\_ecrc\_mode : disable #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

pci\_ecrc\_mode : enable

pci\_ecrc\_mode : disable

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute set pci\_ecrc\_mode command.

Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.

Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.

### 2.2.81 set sysconf power\_feed\_mode

PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの電源を一系統受電モードで構成するか、二系統受電モードで構成するかを設定します。

- single:1系統受電モード
- dual:2系統受電モード

デフォルトの設定値は single です。

#### ■ 権限: Administrator, CE

```
(1) 入力形式
```

```
set sysconf power_feed_mode [single | dual] {quiet}
(2) オプション
```

```
quiet:Userに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
```

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの電源構成を single に設定する場合 # set sysconf power\_feed\_mode single Are you sure to continue set sysconf power\_feed\_mode? [Y/N]: y power\_feed\_mode: single #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.2.82 set sysconf power\_restoration\_policy

停電後、復電したときのアクションを設定します。

- on:停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを行います。
- off:復電後、電源オフの状態を維持します。
- restore:停電した時の状態に戻します。停電時にパーティションが電源オンの状態であった場合はパーティションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった場合は、パーティションの電源オフの状態を維持します。
- Sync:復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパーティションの電源オンを行います。

(注意)

Special で設定したスケジュールは、指定した日のみ適用となります。

デフォルトの設定値は restore です。

#### ■ 権限: Administrator, CE

(1) 入力形式

set sysconf power\_restoration\_policy [on| off | restore | sync] {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例:停電後、復電したときのアクションを off に設定する場合 # set sysconf power\_restoration\_policy off Are you sure to continue set sysconf power\_restoration\_policy? [Y|N]: y power\_restoration\_policy: Always OFF #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.2.83 set sysconf power\_on\_delay

AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オンを指示するまでの待機時間を 設定します。本項目はスケジュールによる Power On 時も有効となります。

(注意)

Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されません。

ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power on delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power On delay 時間が優先され、 スケジュール運転による Power On での Power on delay は無視されます。

- time:0~9999 秒の範囲

デフォルトの設定値は0秒です。

### ■ 権限: Administrator, CE

#### (1) 入力形式

set sysconf power\_on\_delay <time> {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例:電源オンを指示するまでの待機時間を 90 秒に設定する場合 # set sysconf power\_on\_delay 90 Are you sure to continue set sysconf power\_on\_delay? [Y|N]:y power\_on\_delay: 90sec #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.2.84 set sysconf altitude

PRIMEQUEST 2000 シリーズ筐体が設置されている高度を設定します。 高度条件の設定誤差は±100m までになります。 - altitude:0~9999mの範囲 デフォルトの設定値は 1000m 以下です。 設定後の表示は以下となります。 Altitude < 1000 m 1000 m <= Altitude < 1500 m 1500 m <= Altitude < 2000 m 2000 m <= Altitude

#### ■ 権限: Administrator, CE

(1) 入力形式

set sysconf altitude <altitude> {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例:設置されている高度を1250mに設定する場合

# set sysconf altitude 1250

Are you sure to continue set sysconf altitude? [Y|N]:y

1000m <= Altitude < 1500m

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.2.85 set sysconf psu\_redundant\_mode

PSU を冗長で動作させるかどうかを設定します。

- Multi-redundant: PSU を複数冗長にします。※1
- Redundant: PSU を冗長にします。
- Non-redundant: PSU を非冗長にします。

デフォルトの設定値は、

Power Feed Mode が Single の場合、Redundant、

Power Feed Mode が Dual の場合、Redundant 固定。

\*1 : PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/

2400S Lite/2400S/2400E/2400Lの時のみ設定可能です。

また、PSU\_S 100V を使用していない場合は設定できません。

### ■ 権限: Administrator, CE

(1) 入力形式

set sysconf psu\_redundant\_mode [multi\_redundant | redundant | non\_redundant] {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例: PSU を非冗長に設定する場合

# set sysconf psu\_redundant\_mode non\_redundant

Are you sure to continue set sysconf psu\_redundant\_mode? [Y|N]:y

psu\_redundant\_mode: non\_redundant

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Unable to set non-redundant operation due to in dual power feed mode.

Unable to set multi-redundant operation due to in model excludes. Unable to set multi-redundant operation due to in PSU excludes.

435

# 2.2.86 set sysconf system\_guid\_format

BMC の System GUID Response フォーマットを設定します。 本コマンドは、装置全体(全パーティション)を設定します。

- IPMI Spec : IPMI Specification compatible (System GUID レスポンフォーマットは IPMI 仕様に対応)
- SMBIOS Spec : SMBIOS 2.6 Specification compatible
  - (System GUID レスポンフォーマットは SMBIOS で参照する仕様に対応)

デフォルトの設定値は IPMI Spec です。

### ■ 権限: Administrator, CE

#### (1) 入力形式

set sysconf system\_guid\_format [ipmi\_spec | smbios\_spec] {quiet}

(2) オプション

```
quiet:User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
```

(3) 使用例

例:BMCのSystem GUID Response フォーマットをSMBIOS Spec に設定する場合 # set sysconf system\_guid\_format smbios\_spec Are you sure to continue set sysconf system\_guid\_format? [Y|N]: y System GUID Response Format : SMBIOS Spec #

(4) メッセージ

```
この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照
してください。
```

### 2.2.87 set reserved\_sb

指定した SB を、指定したパーティションの Reserved SB に設定します。

Reserved SB 設定を解除する場合は、パーティション番号に" free"を指定します。

解除する場合、複数 Partition に指定された Reserved SB を、特定パーティションからのみ外すことができません。

- SB#:0~3
- partition#:0~3, free が設定可能

Reserved SB の設定条件等については、1.3.7 [Reserved SB Configuration] 画面を参照ください。

#### ■ 権限:Administrator

```
(1) 入力形式
  set reserved sb <SB#> <partition#> {quiet}
(2) オプション
     quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
(3) 使用例
        例:既に Partition#0 に SB#1 が Reserved SB に設定されている状態から、SB#3 を Reserved SB として追加
        した場合
        # set reserved sb 3 0
        Are you sure you want to set the specified SB#3 as a Reserved SB to Partition#0 ? [Y/N]: y
        # partition_name mirror_mode sb
        0 Partition#0
                         enable
                                     13
        #
        例:SB#3の Reserved SB 設定を解除する場合
        # set reserved sb 3 free
        Are you sure you want to be free the specified SB#3 ? [Y/N]: y
        # partition_name mirror_mode sb
        free
                                      3
        #
```

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The DIMM does not satisfy requirements of Mode.

If you register the specified SB%s as a Reserved SB, Mode will be disabled

when switching to specified SB.

Are you sure to continue?[Y/N]

The specified parameter is invalid.

The specified SB#x is not supported.

Unable to execute this command on a standby MMB.

The specified SB#x cannot be registered as a Reserved SB.

Unable to register the specified SB#x as a Reserved SB due to unsupported CPU configuration. Unable to register the specified SB#x as a Reserved SB because the DIMM does not satisfy

requirements of Mode.

Unable to register the specified SB#x as a Reserved SB due to CPU composition abnormal.

Unable to register the specified SB#x as a Reserved SB due to the home SB is TPM enabled.

Unable to register the specified SB#x as a Reserved SB due to CPU mismatch between SBs.

Unable to register the specified SB#%d as a Reserved SB due to Partition#%d is Fixed I/O Mode.

Unable to register the specified SB#%d as a Reserved SB due to abnormal DIMM composition.

Unable to register the specified SB#%d as a Reserved SB due to abnormal SB composition.

Unable to register Reserved SB because Extended Partitioning doesn't support Reserved SB in multiple SB configuration.

Since the setting of ASR counter for Partition#%d [MMB WebUI: Partition >Partition#%d >ASR Control >Number of Restart Tries] is zero, Reserved SB doesn't work when error event occurs on the SB. Please change the ASR counter for Partition#%d to more than 1 if you want to avoid the situation.

### 2.2.88 add user

#### 新規にユーザーを登録します。

- user name : ユーザー名を設定します。ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下が設定可能です。 ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。
  - [0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」 (ハイフン) 「\_」 (アンダーバー)
  - ただし、最初の1文字は[a-z] [A-Z] で始まる必要があります。
- password: パスワードを設定します。パスワードは 8 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
  - パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。
  - 数字:[0-9]
  - 文字: [a-z]、[A-Z]
  - 特殊文字:! " # \$ % & ' ( ) = ^ ~ \ @ `[ ] { } : \* ; + ? < . > , / \_ |
  - 以下のルールでパスワードを設定します。
    - ・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。
    - パスワードの文字は5種以上を使用します。
       (大文字小文字の同じ文字は2種となります)
       (例: aabBcCee なら6種となります)
    - 回文にならないようにします。
      - (例:madam など)
    - 類推できるパスワードは設定不可です。 (例:abcdefgh, 12345678 など)
- confirm password : パスワード確認用です。
- privilege : ユーザーアカウントの権限を設定します。
  - admin, operator, user, ce, partition\_operator のいずれかを設定します。
- partition#:権限が partition operator の場合にのみ、ユーザーの操作可能なパーティションを設定します。

### ■ 権限:Administrator

#### (1) 入力形式

```
add user <user name> <password> <confirm password> [admin | operator | user | ce |
partition_operator] {partition#} {quiet}
```

(2) オプション

```
quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
```

- (3) 使用例
  - 例:Partition Operator 権限以外の場合
  - # add user Admin User Md9\$\*^A9 Md9\$\*^A9 admin
  - Are you sure you want to add Admin\_User ? [Y/N]: y

User addition was completed.

#### #

- 例:Partition Operator 権限の場合
- # add user P1\_Operator [268S9#3\*6 [268S9#3\*6 partition\_operator 1
- Are you sure you want to add P1\_Operator ? [Y/N]: y
- User addition was completed.

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

No more User addition

Same name already exists. User addition failed.

### 2.2.89 set snmp sys\_location

SNMP の System Location を設定します。

- location:英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。

!"#\$%&'()=-^~\@`[]{}:;\*+?<>.,/\_| ただし、以下の制限があります。

- ・ #と半角スペースは先頭文字として使用できません。
  - 半角スペースは最後の文字として使用できません。

System Location には半角スペースが指定可能なため、location をダブルコーテーション(")で囲んで指定します。

### ■ 権限:Administrator

(1)	入力形式
2	set snmp sys_location <location> {quiet}</location>
(2)	オプション
	quiet:User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
(3)	使用例
	例:SNMPの System Location を Tokyo DC に設定する場合

# set snmp sys\_location "Tokyo DC" Are you sure to continue set snmp sys\_location ? [Y|N]:y #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

### 2.2.90 set snmp sys\_contact

SNMP の System Contact を設定します。

- contact:英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。
   ! "#\$%&'() = ^ ~ \@`[]{}:;\*+?<>.,/\_|
   ただし、以下の制限があります。
  - ・#と半角スペースは先頭文字として使用できません。
  - ・半角スペースは最後の文字として使用できません。

System Contact には半角スペースが指定可能なため、contact をダブルコーテーション(")で囲んで指定します。

#### ■ 権限: Administrator

#### (1) 入力形式

```
set snmp sys_contact <contact> {quiet}
```

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例: SNMPの System Contactを Email admin@company.com に設定する場合 # set snmp sys\_contact "Email admin@company.com" sys\_contact: Email admin@company.com #

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

### 2.2.91 set snmp community

SNMP の Community、アクセスを許可する IP アドレス、または、サブネット、SNMP バージョン、アクセス権限を設定します。

SNMP V3 指定はできません。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

- community:英数字と以下の文字を使用できます。
   !"#\$%&'()\*+,-./@[]^\_`{|}~
   ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「 '」(バッククォーテーション)は先頭文字として使用できません。
- ip or mask: IP アドレスを指定する場合、IP アドレスを指定します。(例:192.168.0.1)
   サブネットで指定する場合、サブネットおよびマスクを指定します。(例:10.10.10.0/24)
- SNMP バージョン: 1、または、2 を指定します。
- アクセス権限: ro (読込みのみ許可)、または、 rw (読込みと書込みを許可)を指定します。

#### ■ 権限: Administrator

(1) 入力形式

set snmp community <community> <ip or mask> [1 | 2] [ro | rw] {quiet}

(2) オプション

```
quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。
```

(3) 使用例

例: SNMPの Community に Public を設定する場合 # set snmp community Public 10.1.2.3 1 rw Are you sure to continue set snmp community? [Y/N]:y #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB. No more Community addition.

### 2.2.92 set snmp trap

SNMP の Trap の送信先を設定します。

SNMP の Community、Trap を送信する IP アドレス、SNMP バージョンを設定します。 SNMP V3 指定はできません。 本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

- community: SNMPの Community を指定します。

- ip:Trapを送信する IP アドレスを設定します。(例:192.168.0.10)
- SNMP バージョン: 1、または、2 を指定します。

(注意)

Trap を送信するには、[Network Protocols] 画面で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。

#### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set snmp trap <community> <ip> [1 | 2] {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例: Trap を送信する IP アドレスを 10.2.3.4 に設定する場合

# set snmp trap public 10.2.3.4 1

Are you sure to continue set snmp trap? [Y/N]:y

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

No more User addition

### 2.2.93 set snmp test\_trap

現在設定されている Trap 送信先に対して、テスト用の Trap を送信します。

(注意)

Trap を送信するには、 [Network Protocols] 画面で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

set snmp test\_trap {quiet}

(2) オプション

quiet: User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例:テスト用の Trap を送信する場合 # set snmp test\_trap

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
SNMP trap is disabled.
No trap destination.

# 2.3 表示用コマンド

情報を表示させるためのコマンドは、以下のとおりです。

- 2.3.1 show access\_control
- 2.3.2 show active\_mmb
- 2.3.3 show date
- 2.3.4 show exit\_code
- 2.3.5 show partition configuration
- 2.3.6 show partition dynamic\_reconfiguration
- 2.3.7 show partition home
- 2.3.8 show partition lan\_device\_mode
- 2.3.9 show partition name
- 2.3.10 show partition memory\_mirror\_ras\_mode
- 2.3.11 show partition memory\_operation\_mode
- 2.3.12 show partition pci\_address\_mode
- 2.3.13 show timezone
- 2.3.14 show gateway
- 2.3.15 show gateway\_ipv6
- 2.3.16 show http
- 2.3.17 show http\_port
- 2.3.18 show https
- 2.3.19 show https\_port
- 2.3.20 show legacy\_tls
- 2.3.21 show ip
- 2.3.22 show ipv6
- 2.3.23 show hostname
- 2.3.24 show maintenance\_ip
- 2.3.25 show ssh
- 2.3.26 show ssh\_port
- 2.3.27 show telnet
- 2.3.28 show telnet\_port
- 2.3.29 show network
- 2.3.30 show ntpq
- 2.3.31 who
- 2.3.32 help
- 2.3.33 netck traceroute
- 2.3.34 netck arptbl
- 2.3.35 netck arping
- 2.3.36 netck ifconfig
- 2.3.37 netck stat
- 2.3.38 show dynamic\_reconfiguration status
- 2.3.39 show partition extended\_partitioning\_mode
- 2.3.40 show partition dimm\_excl\_mode
- 2.3.41 show partition skt\_binding\_mode
- 2.3.42 show extended\_partition configuration
- 2.3.43 show partition status
- 2.3.44 show partition extended\_socket\_mode

- 2.3.45 show partition extended\_socket\_zone
- 2.3.46 show partition memory\_sparing\_mode
- 2.3.47 show raid adapter
- 2.3.48 show raid disk\_enclosure
- 2.3.49 show raid physical\_drive
- 2.3.50 show raid physical\_drive\_count
- 2.3.51 show raid logical\_drive
- 2.3.52 show raid logical\_drive\_count
- 2.3.53 show raid bbu
- 2.3.54 show special\_account
- 2.3.55 show partition pci\_ecrc\_mode
- 2.3.56 show partition pci\_express\_mode
- 2.3.57 show firmware\_version
- 2.3.58 show sysconf power\_feed\_mode
- 2.3.59 show sysconf power\_restoration\_policy
- 2.3.60 show sysconf power\_on\_delay
- 2.3.61 show sysconf altitude
- 2.3.62 show sysconf psu\_redundant\_mode
- 2.3.63 show sysconf system\_guid\_format
- 2.3.64 show sysconf input\_voltage
- 2.3.65 show reserved\_sb
- 2.3.66 show user\_list
- 2.3.67 show snmp sys\_location
- 2.3.68 show snmp sys\_contact
- 2.3.69 show snmp community
- 2.3.70 show snmp trap

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

### 2.3.1 show access\_control

IPv4/IPv6 両方の現在のアクセス制御の設定値を表示します。

#### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

show access\_control

(2) オプション なし

(3) 使用例 (\*)
#Administrator > show access\_control
SSH : All
Telnet : All
HTTP : All
HTTPS : IP Address:10.66.250.190 :Netmask:24
SNMP : All
RMCP: IP Address: 2000:2001::e00:10:300:0 :Prefix Length:64
#

\*) RMCP は、BC20011、BB20011、BA20011 以降のファームウェア版数から利用可能です。

(4) メッセージ
 この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。
 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

The specified command is invalid

# 2.3.2 show active\_mmb

現在の Active MMB を表示します。

#### 備考

本コマンドは Standby MMB から発行できます。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show active\_mmb

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show active\_mmbActive MMB: 1
- (4) メッセージ なし

### 2.3.3 show date

現在の日付と時刻を表示します。



(1) 入力形式

show date

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
   #Administrator > show date
   2009-11-30 11:14:21 JST
   #
- (4) メッセージ なし

# 2.3.4 show exit\_code

直前の実行コマンドの終了コードを表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

(2) オプション なし

show exit\_code

- (3) 使用例
  #power on all
  #
  #show exit\_code
  0
  #
- (4) メッセージ なし

### 2.3.5 show partition configuration

パーティションに含まれる SB、IOU、Extended Partitioning を表示します。 指定したパーティションが拡張パーティ ションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

```
出力形式:
```

1パーティションに関する情報が1行に表示されます。各列の表示内容は以下のとおりです。

第1列 : パーティション番号

第2列 : パーティション名

第3列 : Home SB (SB#x の形式で表示)

- 第 4 列以降 : 対象パーティションに含まれる SB、IOU、Extended Partitioning を SB、IOU、Extended Partitioning 順に表示します。
  - SB、IOU内では番号の小さい順に表示します。
  - Reserved SB は RSB#x のように SB#x の頭に「R」を付けて表示します。

```
■ 権限:All
```

(1) 入力形式

```
show partition configuration [all | free | <partition#> {[, | -] \
<partition#>}]
```

\:改行しないことを表す。

#### (2) オプション

- all:すべてのパーティションと、どのパーティションにも属していない SB/IOU/Extended Partitioning を表示します。
- free:どのパーティションにも属していない SB/IOU/Extended Partitioning を表示します。
- <partition#>:指定したパーティションを表示します。

複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下のとおりです。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

#### 備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

#### (3) 使用例

- 例: PRIMEQUEST 2800E/2800L でパーティション番号 0~2 のパーティションの構成情報を表示する場合

# show partition configuration 0-2

0 fileserver	SB#0	SB#0	RSB#3	IOU#0	EXT_PART#4	EXT_PART#5
1 testserver	SB#1	SB#1	IOU#0			
2	SB#2	SB#2	IOU#1			
#						

-	例:上記と同じ構成は	こ対して all 指定を使用	した場合		
# sh	ow partition configura	tion all			
0	fileserver	SB#0	SB#0	RSB#3	IOU#0
1	testserver	SB#1	SB#1	IOU#1	
2		SB#2	SB#2	IOU#2	
3	<何も登録されていな	いのでブランク表示>			
free			IOU#3 EXT_PART#6 E PART#10 EXT_PART#	EXT_PART#7 EXT_PART #11	#9 EXT_
#					
(4)	メッセージ				
この( メッt ださい	CLI で表示されるメッセ zージの詳細については ヘ。	ージを、以下に示しま <sup>、</sup> 、『PRIMEQUEST 2000	す。   シリーズメッセージリ	リファレンス』(CA9234	44-0530) を参照してく

The specified partition number is invalid.		
The specified parameter is invalid.		
Unable to execute this command on a standby MMB.		
Failed to execute show partition configuration command.		

# 2.3.6 **show partition dynamic\_reconfiguration**

指定したパーティションの Dynamic Reconfiguration の状態を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition dynamic\_reconfiguration <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

例: Partition #3 の Dynamic Reconfiguration の状態を表示する場合 # show partition dynamic\_reconfiguration 3 current: disabled setting: enabled #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute show partition dynamic_reconfiguration command.
DR can't be enabled, because of no DR license

### 2.3.7 show partition home

指定したパーティションの Home SB を表示します。 指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラ ーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition home <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

パーティション 3 の Home SB を表示する場合 # show partition home 3 SB#2 #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.The specified parameter is invalid.Unable to execute this command on a standby MMB.Home SB is not set in Partition#x.Failed to execute show partition home command.Partition#x is not defined.

### 2.3.8 show partition lan\_device\_mode

指定したパーティション内の IOU 単位に LAN Device /WOL の設定(enable/disable)を表示します。 指定したパーティ ションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はでき ません。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition lan\_device\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

例: Partition #3 内の IOU(例では IOU#2 と IOU#3)の LAN Device Mode を表示する場合 # show partition lan\_device\_mode 3 iou#2: LAN Device: enable WOL : enable iou#3: LAN Device: disable WOL: disable #

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid. The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to execute %s command. Failed to execute show partition command.

### 2.3.9 show partition name

指定したパーティションの名前を表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition name <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

パーティション 3 の名前(例:testserver)を表示する場合 # show partition name 3 testserver #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid. The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to show partition name command.

# 2.3.10 show partition memory\_mirror\_ras\_mode

指定したパーティションの Memory Mirror RAS Mode を表示します。

- mirror\_keep : Mirror Keep Mode が設定されています
- capacity\_keep: Capacity Keep Mode が設定されています

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition memory\_mirror\_ras\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

例: Partition #3 の Memory Mirror RAS Mode を表示する場合 # show partition memory\_mirror\_ras\_mode 3 current: mirror\_keep setting: capacity\_keep #

(4) メッセージ

```
この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照
してください。
```

The specified partition number is invalid. The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to execute %s command. Failed to execute show partition command.

Partition#x is not defined.

# 2.3.11 show partition memory\_operation\_mode

指定したパーティションの Memory Operation Mode を表示します。

- performance : Performance Mode が設定されている。
- normal : Normal Mode が設定されている。
- partial\_mirror : Partial Mirror Mode が設定されている。
- full\_mirror : Full Mirror Mode が設定されている。
- spare : Spare Mode が設定されている。
- address\_range\_mirror: Address Range Mirror Mode が設定されている。
  - (PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能

です)

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition memory\_operation\_mode <partition#>

(2) オプション なし

(3) 使用例

例: Partition #3 の Memory Operation Mode を表示する場合 # show partition memory\_operation\_mode 3 current: normal setting: performance #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute %s command.
Failed to execute show partition command.
Partition#x is not defined.

# 2.3.12 **show partition pci\_address\_mode**

指定したパーティションの PCI Address Mode を表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition pci\_address\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

例: Partition #3 の PCI Address Mode を表示する場合 # show partition pci\_address\_mode 3 current: bus setting: segment #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute %s command.
Failed to execute show partition command.
Partition#x is not defined.

### 2.3.13 show timezone

タイムゾーンを表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show timezone

(2) オプション なし

(3) 使用例
 #Administrator > show timezone
 Timezone is set to Asia/Tokyo
 #

(4) メッセージ なし

### 2.3.14 show gateway

管理 LAN インターフェースに設定されているデフォルトゲートウェイの IP アドレスを表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show gateway

(2) オプション なし

- (3) 使用例# show gatewayGateway Address: 10.1.2.1
- (4) メッセージ なし

# 2.3.15 show gateway\_ipv6

管理 LAN インターフェースに設定されている IPv6 用のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show gateway\_ipv6

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show gateway\_ipv6Gateway Address: fe80:: 1234:f3ff:fe03:5666
- (4) メッセージ なし

### 2.3.16 show http

現在の HTTP サーバの状態(enable/disable)を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式



- (2) オプション なし
- (3) 使用例 # show http HTTP: disabled
- (4) メッセージ なし
# 2.3.17 show http\_port

HTTP セッションが現在接続されているポートを表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show http\_port

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show http\_portHTTP Port Number: 8081
- (4) メッセージ なし

## 2.3.18 show https

現在の HTTPS サーバの状態(enable/disable)を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show https

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show httpsHTTPS: disabled
- (4) メッセージ なし

# 2.3.19 show https\_port

HTTPS セッションが現在接続されているポートを表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show https\_port

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show https\_portHTTPS Port Number: 432
- (4) メッセージ なし

# 2.3.20 show legacy\_tls

現在の HTTPS サーバで TLS1.0/1.1 接続許可の状態(enable/disable)を表示します。

- enable: HTLS1.0、TLS1.1、TLS1.2 での HTTPS 接続を許可します。
- disable: TLS1.2 のみ HTTPS 接続を許可します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show legacy\_tls

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show legacy\_tlsTLS1.0/1.1: disabled
- (4) メッセージ なし

# 2.3.21 show ip

管理 LAN インターフェースに設定されている IP アドレス、ネットマスクを表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show ip

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 # show ip

IP Address: 10.1.2.124 Netmask: 255.255.255.0

(4) メッセージ なし

# 2.3.22 show ipv6

管理 LAN インターフェースに設定されている IPv6 用のグローバルアドレス、プレフィックス長を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show ipv6

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

# show ipv6 IP Address/Prefix: 2000:2002:2003:2004:2005:2006:2007:2008/64

(4) メッセージ なし

## 2.3.23 show hostname

MMB のホスト名を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show hostname

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show hostnameHostName: primequest.fujitsu.com
- (4) メッセージ なし

# 2.3.24 show maintenance\_ip

Maintenance ポートの IP アドレスを表示します。

### 備考

IPv4 のみサポートします。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show maintenance\_ip

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

# show maintenance\_ip
IP Address : 192.168.1.10
NetMask : 255.255.255.0
Gateway Address : 192.168.1.1
SMTP Address : 172.128.1.2
#

(4) メッセージ なし

## 2.3.25 show ssh

現在の SSH サーバの状態(enable/disable)を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

```
show ssh
```

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show sshSSH: disabled
- (4) メッセージ なし

# 2.3.26 show ssh\_port

SSH セッションが現在接続されているポートを表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show ssh\_port

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show ssh\_portSSH Port Number: 22
- (4) メッセージ なし

## 2.3.27 show telnet

現在の Telnet サーバの状態(enable/disable)を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show telnet

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show telnetTelnet: disabled
- (4) メッセージ なし

# 2.3.28 show telnet\_port

Telnet セッションが現在接続されているポートを表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show telnet\_port

- (2) オプション なし
- (3) 使用例# show telnet\_portTelnet Port Number: 23
- (4) メッセージ なし

## 2.3.29 show network

管理 LAN インターフェースに設定されているネットワーク設定を表示します。 IPv6 の設定がされている場合は、IPv6 情報も表示します。 以下の情報を表示します。

- Hostname
- IP Address
- Netmask
- Gateway Address
- IPv6 用 IP Address/プレフィックス長
- IPv6 用 Gateway Address
- MAC Address
- HTTP status
- HTTP Port Number
- HTTPS status
- HTTPS Port Number
- TLS1.0/1.1
- Telnet status
- Telnet Port Number
- SSH status
- SSH Port Number

■ 権限:All

(1) 入力形式

show network

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

# show network Hostname:primequest.fujitsu.com IP Address:10.1.2.124 Netmask:255.255.255.0 Gateway Address: 10.1.2.1 IPv6 IP Address/Prefix: 2000:2002:2003:2004:2005:2006:2007:2008/64 IPv6 Gateway Address: fe80::1234:f3ff:fe03:5555 MAC Address:00:AA:00:12:34:55 HTTP:disabled HTTP Port Number:8081 HTTPS:disabled HTTPS Port Number:432 TLS1.0/1.1:disabled Telnet:disabled Telnet Port Number:23 SSH:enabled SSH Port Number:22

(4) メッセージ なし

# 2.3.30 show ntpq

ntp の動作状況を表示します。

### 備考

IPv4、IPv6 をサポートします。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show ntpq

## (2) オプション

なし

### (3) 使用例

#	show	ntpq									
	remot offse	te et	refid	st t	wh	en	pol	l re	ach		delay
jit	ter										
===		======									
===											
*10.	23.4.3		10.0.5	0.32	4	u	882	1024	377	0.941	-0.154
0.28	4										
10.4	9.51.3		.INIT.		16	u	-	- 1024	0	0.000	0.000
0.00	0										
LOCA	L(O)		.LOCL.		5	1	23h	64	0	0.000	0.000
0.00	0										
#											

項目	説明
remote の先頭の記号	remote の先頭に表示される記号は以下の意味を示す。
	空白: reject。要求が不到達、もしくは距離が遠い(サーバへの往復の通信時間が 16 秒以上) た
	めに参照していない。
	x: falsetick。MMB に登録している他の全 remote サーバから取得した時間が、2 台以上の
	remote と比較し時間がずれている(jitter の値をずれの許容範囲として、それ以上ずれている)
	ために参照リストから外された。すべての時計がずれている場合、falsetick は検出されない。
	-: outlyer。現在同期中 remote の offset よりもこの remote の jitter の値が大きいために参照
	していない。
	+: candidate。いつでも同期可能。
	#: selected。同期可能ではあるが、距離が遠い(サーバへの往復の通信時間が 1 秒以上) のた
	め candidate から外れている。
	*: sys.peer。同期中。
Remote	NTP Server (内部時計を ntp プロトコルにより他コンピュータに提供するサーバ) として参照
	しているホスト名("LOCAL"は MMB を示す)。
Refid	remote がどこから時刻を同期しているかを表す。不明の場合は、0.0.0.0。
St	サーバの階層を示す番号。一般にこの番号が大きくなるほど、時間の信頼性が薄らぐ。
Т	remote サーバの種別。
	l:ローカルサーバ。MMB の内部時計を取得(remote が LOCAL の時のみこのタイプになる)。
	u:ユニキャストサーバ。MMB から remote に対して時刻要求を行い、送信されてきた時刻を
	取得する。
When	remote から最後にパケットを受け取ってからの経過時間(単位:秒)。
Poll	remote から時刻を取得する間隔(単位:秒)。
Reach	過去 8 回の時刻取得の成否のフラグ(8 進数表現)。
	   過去8回の時刻取得の成否結果を8ビット(0:失敗、1:成功)で表現し、それを8進数表示し
	ている。時間取得する毎にビットを左シフトさせ、一番右ビットが最新の取得結果となる。
	例えば、この値が 356(8)=11,101,110(2)である場合、過去 8 回の取得結果のうち最新の取
	得と、4回前の取得が失敗している。次の時刻取得が成功すると、335(8)= 11,011,101(2)
	となる。
Delay	remote との通信のためにネットワーク往復にかかる通信時間(単位:ミリ秒)。
Offset	remote の時計と内部時計との時刻のずれ(単位:ミリ秒)。
Jitter	前回取得した時間に poll の間隔を足した時間と、実際に取得した最新の時間の誤差の値(単
	位:ミリ秒)、互いの時計の精度、ネットワークの状況により誤差が発生する。

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照してく ださい。

The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to ntpq command.

## 2.3.31 who

現在 MMB ログインしているユーザーについて次の情報を表示します。

- ログイン名
- ログインした時間
- リモートホスト名(または、リモートホストの IP アドレス) ログイン時点で MMB に設定されている DNS からリモートホスト名がわかる場合は、リモートホスト名を表
  - 示します。わからない場合は IP アドレスを表示します。また、シリアルポートからログインしている場合は 「-」(ハイフン)が表示されます。
  - Telnet/SSH で接続しているか、Web-UI で接続しているか、それとも、シリアルポートで接続している か、Telnet/SSH でログインしている場合は「Telnet/SSH」と表示されます。Web-UI でログインしてい る場合は「WebUI」と表示されます。シリアルポートでログインしている場合は「-」(ハイフン)が表示 されます。

### 備考

IPv4、IPv6 をサポートします。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

who

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# who
User1 2012-11-08 10:35:51 Telnet/SSH 10.24.6.94
User2 2012-11-08 10:38:02 Telnet/SSH 2001:2345::3dfb:dc43:4d75:5a71
User3 2012-11-08 10:34:26 WebUI 10.24.6.191
```

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Failed to get login information.

# 2.3.32 help

使用可能コマンドについてのヘルプを表示します。装置により表示内容が異なります。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

help

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 省略

アカウントの各権限で使用可能なコマンドのヘルプが表示されます。

(4) メッセージ

なし

## 2.3.33 netck traceroute

指定した IP アドレスから目的のホストまでのネットワーク経路を一覧で表示します。

### 備考

IPv4 のみサポートします。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

netck traceroute <ip>

(2) オプション

なし

(3) 使用例

# netck traceroute 10.2.3.4 traceroute to 10.2.3.4 (10.2.3.4), 30 hops max, 40 byte packets 1 10.2.4.1 (10.2.4.1) 0.822 ms 5.142 ms 0.59 ms 2 10.2.5.1 (10.2.5.1) 0.923 ms 0.747 ms 0.679 ms 3 10.2.6.1 (10.2.6.1) 0.955 ms 0.736 ms 0.71 ms 4 10.3.2.1 (10.3.2.1) 1.023 ms 0.861 ms 0.837 ms 5 10.3.2.2 (10.3.2.2) 1.049 ms 0.939 ms 0.887 ms 6 10.2.3.5 (10.2.3.5) 1.285 ms 1.005 ms 0.997 ms 7 10.2.3.4 (10.2.3.4) 0.976 ms 0.828 ms 0.891 ms

(4) メッセージ
 この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530)を参照してください。

The specified parameter is invalid.

(5) 処理

"traceroute <ip>"を実行します。

# 2.3.34 netck arptbl

IP アドレスから Ethernet の物理アドレス(MAC アドレス) を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

netck arptbl

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

<pre># netck arptbl</pre>						
IP address	HW ty	ре	Flags	HW address	Mask	Device
10.1.2.3	0x1	0x2	00:21:	a1:1a:32:45	*	bond0

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

### (5) 処理

cat /proc/net/arpの bond0 (管理 LAN)のみ表示させます。

# 2.3.35 netck arping

指定した IP アドレスから Ethernet の物理アドレス(MAC アドレス) を表示します。

### 備考

IPv4 のみサポートします。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

netck arping <ip>

(2) オプション

なし

(3) 使用例

# netck arping 10.1.2.3 ARPING to 10.1.2.3 from 10.1.2.33 via bond0 Unicast reply from 10.1.2.3 [0:21:a1:1a:32:45] 1.253ms Sent 1 probes (1 broadcast(s)) Received 1 reply

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

(5) 処理

arping -I bond0 -c 1 <ip>を実行します。

# 2.3.36 netck ifconfig

ネットワーク環境の設定状況(IPv4 または IPv6)を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

netck ifconfig

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

#netck ifconfig bond0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:17:42:9B:D9:78 inet addr:10.24.77.80 Bcast:10.24.77.255 Mask:255.255.255.0 inet6 addr:2001:2345::10/64 Scope:Global inet6 addr:fe80::217:42ff:fe9b:d978/64 Scope:Link UP BROADCAST RUNNING MASTER MULTICAST MTU:1500 Metric:1 RX packets:4765 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0 TX packets:3438 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0 collisions:0 txqueuelen:0 RX bytes:637685 (622.7 KiB) TX bytes:1318710 (1.2 MiB)

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

(5) 処理

"ifconfig bond0" を実行します。

# 2.3.37 netck stat

稼動中のプロセスが使用しているポート番号の一覧を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

netck stat

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

# netcl	k stat			
Proto R	ecv-Q Se	end-Q Local Address	Foreign Address	State
tcp	0	0 PRIME123063:telnet	10.1.2.3:4015	TIME_WAIT

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

### (5) 処理

netstat-tuwnから Private-LAN などの内部情報を削除します。

# 2.3.38 show dynamic\_reconfiguration status

Dynamic Reconfiguration の進行状態を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show dynamic\_reconfiguration status

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例状態表示(パーティション2にSB3を追加する場合) # show dynamic\_reconfiguration status Adding SB#3 to Partition#2, running: 35% #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Adding SB#%d to Partition#%d, completed
Adding IOU#%d to Partition#%d, completed
Removing SB#%d from Partition#%d, completed.
Removing IOU#%d from Partition#%d completed.
not executed.
The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to show dynamic_reconfiguration status command.
Adding SB#%d to Partition#%d, running xx%
Adding IOU#%d to Partition#%d, running xx%
Adding [SB#%d IOU#%d] to Partition#%d, Failed.
Removing SB#%d from Partition#%d, running xx%
Removing IOU#%d from Partition#%d, running xx%
Removing [SB#%d IOU#%d] from Partition#%d, Falied.

# 2.3.39 **show partition extended\_partitioning\_mode**

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode の設定(enable/disable)を表示します。 指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition extended\_partitioning\_mode  $\mbox{-partition} \$ 

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: Partition#1の Extended Partitioning Mode を表示する場合

# show partition extended\_partitioning\_mode 1 partition#1: Extended Partitioning Mode: enable
#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

 The specified partition number is invalid.

 The specified command is not supported.(error=[%s])

 Unable to execute this command on a standby MMB.

 Failed to execute 'show partition extended\_partitioning\_mode' command.

 Partition#x is not defined.

# 2.3.40 show partition dimm\_excl\_mode

指定した拡張パーティションの DIMM 排他割り当てモードの設定(enable/disable)を表示します。 指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition dimm\_excl\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: Partition#4の DIMM 排他割り当てモードを表示する場合
     # show partition dimm\_excl\_mode 4 partition#4: DIMM excl mode: enable
    - #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

 The specified partition number is invalid.

 The specified command is not supported. (error=[%s])

 Unable to execute this command on a standby MMB.

 Failed to execute 'show partition extended\_partitioning\_mode' command.

 Partition#x is not defined.

# 2.3.41 **show partition skt\_binding\_mode**

指定した拡張パーティションの CPU ソケット固定他割り当てモードの設定(enable/disable)を表示します。 指定したパ ーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作 はできません。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition skt\_binding\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: Partition#4 の CPU ソケット固定割り当てモードを表示する場合 # show partition skt\_binding\_mode 4 partition#4: CPU Socket binding mode: enable #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.				
The specified command is not supported.(error=[%s])				
Unable to execute this command on a standby MMB.				
Failed to execute 'show partition extended_partitioning_mode' command.				
Partition#x is not defined.				

# 2.3.42 show extended\_partition configuration

拡張パーティションに含まれる SB、IOU、PCI ボックスを表示します。 指定したパーティションが拡張パーティション でない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

出力形式:パーティション毎に以下の情報が表示されます。

- 第1列 : パーティション番号
- 第2列 : パーティション名
- 第3列 : CPU コア数
- 第4列 : メモリサイズ(GB単位)
- 第5列以降 : 対象パーティションに含まれる USB1、VGA/USB2、DU、オンボード GbE、PCI Express スロット 順に表示されます。
- DU とオンボード GbE は IOU の小さい順に表示します。

PCI Express スロットは SB、IOU、PCI ボックスの順に表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

```
show extended_partition configuration [all | free | <partition#>
{[, | -] <partition#>}]
```

(2) オプション

all	:すべてのパーティションと、どのパーティションにも属していない SB/IOU/PCI ボックス
	の資源を表示。
free	:どのパーティションにも属していない SB/IOU/PCI ボックスの資源を表示。
<partition#></partition#>	:指定したパーティションについて表示。

複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下のとおりです。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

### 備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2800E/2800L でパーティション番号 4~5 のパーティションの構成情報を表示する場合

### # show extended\_partition partition configuration 4-5

4	Web front 1	8CPU	512GB	USB1	GbE(IOU#1)
		PCISLOT(SB#1 IC	)U#1{1} PCIBOX#0{	1 4})	
5	Web front 2	6CPU	1024GB	VGA/USB2	DU(IOU#1)
		PCISLOT (IOU#1{3	3} PCIBOX#0{0 3}		

- 例:上記と同じ構成に対して all 指定を使用した場合

# show extended\_partition partition configuration all

- Web front 1 8CPU 512GB USB1 GbE(IOU#1) 4 PCISLOT(SB#1 IOU#1{1} PCIBOX#0{1 4}) 6CPU 1024GB 5 Web front 2 VGA/USB2 DU(IOU#1) PCISLOT (IOU#1{3} PCIBOX#0{0 3}) 6 <何も登録されていないのでブランク表示> 7 <何も登録されていないのでブランク表示> 8 <何も登録されていないのでブランク表示> <何も登録されていないのでブランク表示> 9 10 <何も登録されていないのでブランク表示> 11 <何も登録されていないのでブランク表示> free 0 PCISLOT (SB#2 IOU#1{0} PCIBOX#0{2 5})
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'show extended_partition partition configuration' command.
Partition#x is not defined.

## 2.3.43 show partition status

パーティションの電源状態、進行状況(System Progress)を表示します。 PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800L と PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S とで表示形式が異なります。

出力形式:1行当り1パーティションに関する情報を表示します。

PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/2400E/2400L/2800E/2800Lの場 合 第1列 : パーティション番号 : 物理パーティションの情報の表示 第2列 - Extended Partitioning Mode が enable 設定の物理パーティションでは、分割元の物理パーティシ ョンを示す"P"を表示します。 - Extended Partitioning Mode が disable 設定の物理パーティションでは、"-"を表示します。 - 拡張パーティションの場合、分割元の物理パーティション番号を表示します。 : パーティション名 第3列 第4列 : パーティションの Power Status 表示 - On - Standby 第5列以降 : パーティションの System Progress 表示 - Power Off - Power On In Progress - Reset - EFI - Boot - OS Running - OS Shutdown - Panic - Power Off In Progress - Fatal - Dumping - Halt - Extended Partitioning Running PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S の場合

第1列 : パーティション番号
第2列 : パーティション名
第3列 : パーティションの Power Status 表示
第4列 : パーティションの System Progress 表示

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition status [all | <partition#> {[, | -] <partition#>}]

### (2) オプション

:すべてのパーティションを表示。 all <partition#> :指定したパーティションについて表示。 複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下の通りです。 - パーティション番号をカンマで区切って指定

- パーティション番号範囲で指定

### 備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

- (3) 使用例
  - 例: PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 で all 指定の場合

# show partition status all

0 P	fileserver	On	Extended Partitioning Running
1 -	testserver	Standby	Power Off
2 -	part2	On	EFI
4 0	Expar4	On	Reset
50	test5	Standby	Power Off

#

- 例: PRIMEQUEST 2400E/2400L/2800E/2800L で all 指定の場合

# show partition status all

0	-	fileserver	On	EFI
1	-	testserver	Standby	Power Off

2 part2 On EFI

#

例: PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400S2 Lite/2400S2/2400S Lite/2400S でパーティション番号 0-3 指 -定の場合

### # show partition status 0-3

0	fileserver	On	OS Running
1	testserver	Standby	Power Off
2	part2	On	EFI

- 3 test3 On Reset
- #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid. The specified parameter is invalid. Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to execute show partition status command.

## 2.3.44 show partition extended\_socket\_mode

指定した拡張パーティションの Extended Socket mode の設定(enable/disable)を表示します。

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition extended\_socket\_mode <Extended Partitioning#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: 拡張パーティション#4の Extended Socket mode を表示する場合 # show partition extended\_socket\_mode 4 Extended Socket Mode: enable
    - #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.The specified command is not supported. (error=[%s])Unable to execute this command on a standby MMB.Failed to execute 'show partition extended\_socket\_mode' command.Extended Partitioning#x is not defined.

# 2.3.45 show partition extended\_socket\_zone

Extended Socket Zone の設定状態を表示します。

### 出力形式:

1行当たり、1拡張パーティションに関する情報を表示します。各列の表示内容は以下の通りです。

第1列 : 拡	張パーティション番号
---------	------------

- 第2列 :物理パーティション番号
- 第3列 : Power Status (On/Standby)
- 第4列 : Extended Socket Mode 設定(enable/disable)
- 第 5 列 · Zone 番号

## ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition extended\_socket\_zone

(2) オプション なし

.....

- (3) 使用例
  - 例: Extended Socket Zone を表示する
    - # show partition extended\_socket\_zone

4	0	Standby	enable	0
5	0	On	enable	0
6	0	On	disable	none
7	0	Standby	disable	none
8	2	On	disable	none
9	2	On	enable	1
10	3	On	enable	3
11	3	On	enable	3
#				

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified command is not supported.(error=[%s])
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute 'show partition extended_socket_zone' command.
Extended Partitioning#x is not defined.

# 2.3.46 show partition memory\_sparing\_mode

本コマンドは、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400S2Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 場合のみ表示できます。 指定したパーティションの Memory Sparing Mode の Rank 数設定を表示します。

- Disable : Memory Operation Mode が spare mode でない
- 1 : 1Rank が設定されている
- 2 : 2Rank が設定されている
- auto :自動設定

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition memory\_sparing\_mode <Partition#>

(2) オプション

なし

- (3) 使用例
  - 例: パーティション#3の Memory Sparing Modeの Rank 数設定を表示する場合 # show partition memory\_sparing\_mode 3 current: 1 setting: 1 #
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

Failed to execute %s command.

Failed to execute show partition command.

Partition#x is not defined.

# 2.3.47 show raid adapter

RAID アダプタの情報を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

```
show raid adapter {[SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>} {[supported-
raid-level | mfg-data | settings | log]}
```

(2) オプション

supported-raid-level: 指定した RAID アダプタがサポートする RAID レベルを表示。 mfg-data: 指定した RAID アダプタの製造者情報を表示。 settings: 指定した RAID アダプタのアダプタファームウェア設定を表示。 log: 指定した RAID アダプタのアダプタファームウェアログを表示。

### (3) 使用例

#### - 例: RAID アダプタリストを表示する場合

#show raid adapter

Location	Product Name	Serial number	FW version
SB 0-0	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)	0000000041232964	23.9.0-0029
DU 0-0	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)	000000041432879	23.9.0-0029
DU 0-1	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)	000000041433203	23.9.0-0029
IOU 2-3	LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e	SV225P2246	23.9.0-0029
PCIBox 1-8	LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e	SV225P2374	23.9.0-0029

### - 例: SB#0 の RAID アダプタを表示する場合

### #show raid adapter SB 0-0

Product Name:	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)
Serial Number:	000000041232964
Ports:	8
Protocol:	SAS600
VendorID/ DeviceID:	1000/005B
SubVendorVID/SubDeviceID:	1734/11E4
Firmware package version:	23.9.0-0029
NVRAM size:	32 KB
Memory size:	1024 MB
FlashROM size:	16 MB
Temperature:	49 deg C

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

 No controller is available.

 Too much arguments argc=%d.

 Too few arguments argc=%d.

 The specified parameter is invalid. %s

 The specified controller is not found.

 Internal error [%d:%d].

 The operation is failed. %s

 Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

# 2.3.48 show raid disk\_enclosure

指定した RAID アダプタに接続されたディスクエンクロージャーの情報を表示します。

## ■ 権限:All

### (1) 入力形式

show raid disk\_enclosure [IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {encl=<Port#><Cascade#>}

(2) オプション

encl: ポート番号とカスケード番号を指定。(例. encl=0-0).

- (3) 使用例
  - 例: IOU#2-PCI slot#3の RAID アダプタに接続されたディスクエンクロージャーを表示する場合 # show raid disk\_enclosure IOU 2-3

Port	Cascade	Vendor	Product	Туре
0	0	FUJITSU	JX40	0302
0	1	FUJITSU	JX40	0302
1	0	FUJITSU	JX40	0302
1	1	FUJITSU	JX40	0302

- 例: IOU#2-PCI slot#3の RAID アダプタの port#0-cascade#0 に接続されたディスクエンクロージャーを表示 する場合

### # show raid disk\_enclosure IOU 2-3 encl=0-0

Product Name:	FUJITSU ETERNUS JX40
Status:	OK
Vendor:	FUJITSU
Product:	JX40
Port number:	0
Cascade:	1
DeviceID:	48
SAS address:	51463080001ABC3E
Firmware version:	0302

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

No controller is available.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
The specified enclosure is not connected.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

# 2.3.49 show raid physical\_drive

指定した RAID アダプタに接続されたディスクの情報を表示します。

### ■ 権限:All

#### (1) 入力形式

show raid physical\_drive [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]} {action-progress}

(2) オプション

disk: ディスクスロット番号(例. disk=0)またはポート、カスケード、スロット番号(例. disk=0-0-0)を指定 action-progress: 指定したディスクの Action Progress を表示

### (3) 使用例

### 例: SB#0の RAID アダプタに接続されたディスクリストを表示する場合

# show raid physical\_drive SB 0-0

Slot	Status	Interface	Туре	Vendor	Product	Capacity	Action in progress
0	Operational	SAS	HDD	FUJITSU	MBD2300RC	300 GB	_
1	Operational	SAS	HDD	FUJITSU	MBD2300RC	300 GB	-
3	Available	SAS	SSD	SEAGATE	ST9146802SS	146 GB	-

### 例: SB#0 の slot#1 のディスクを表示する場合

50#0 の 5101#1 の ブイスクを衣小	りる場口				
# show raid physical_drive SB 0-0 disk=1					
Slot:	1				
Status:	Operational				
Foreign configuration:	No				
Interface type:	SAS				
Interface type	SAS				
Link speed:	6.0Gb/s				
Max device speed:	6.0Gb/s				
Type:	HDD				
Vendor:	FUJITSU				
Product:	MBD2300RC				
Firmware version:	5201				
Serial number:	D0A7PA303NMF				
Physical size:	300 GB				
Configured size:	300 GB				
SAS address:	500000E114722F42				
Power status:	Active				
Action in progress	-				

(4) メッセージ
 この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照してください。

No physical drive is connected to the controller.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Port and cascade number is required in the parameter since more than 2 enclosures are connected.
Internal error [%d:%d].
Unable to execute the command because the system is under maintenance.
Unable to execute the command because the Partition#%d is under maintenance.

## 2.3.50 show raid physical\_drive\_count

指定した RAID アダプタに接続されたディスク数を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

```
show raid physical_drive_count [SB | DU | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
{encl=<PORT#>-<CASCADE#>}
```

(2) オプション

encl: ポート番号とカスケード番号を指定 (例. encl=0-0)

- (3) 使用例
  - 例: SB#0の RAID アダプタに接続されたディスク数を表示する場合
     # show raid physical\_drive\_count SB 0-0
     3
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.
# 2.3.51 show raid logical\_drive

指定した RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブの情報を表示します。

#### ■ 権限:All

#### (1) 入力形式

show raid logical\_drive [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
{target=<Target#>} {action-progress}

(2) オプション

target: 論理ドライブのターゲット ID (例. target=0) action-progress: 指定した論理ドライブの Action Progress を表示

(3) 使用例

#### 例: SB#0の RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブリストを表示する場合

#### # show raid logical\_drive SB 0-0

Target Id	Status	Name	Size	RAID	Action in progress
0	Operational	RHEL7	136.00 GB	RAID-0	_
1	Operational	WS2012R2	278.00 GB	RAID-1	Back ground initialization

#### 例: SB#0の logical drive#1を表示する場合 # show raid logical\_drive SB 0-0 target=1

Target	ID:		1			
Status	:		Operational			
Name:			WS2012R2			
RAID 1	evel:		RAID-1			
Strip	size		64K			
Logica	l size		278.00 GB			
Read m	ode		Read-ahead	Read-ahead		
Write :	mode:		Write-back			
Cache 1	mode:		Direct			
Disk cache mode:		Disabled				
Background initialization:		Enabled				
Action in progress		Back ground initia	lization			
Config	ured drive	es:				
Slot	Span	Start block	Length[Blocks]	Length[MB/GB]		
1	0	0	584843264	285568/278		
2	0	0	584843264	285568/278		

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

No logical drive is assigned to the controller.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance

# 2.3.52 show raid logical\_drive\_count

指定した RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブ数を表示します。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show raid logical\_drive\_count [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>

- (2) オプション
  - なし
- (3) 使用例

例: SB#0 の RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブ数を表示する場合
 # show raid logical\_drive\_count SB 0-0
 2

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

## 2.3.53 show raid bbu

指定した RAID アダプタに接続された FBU の情報を表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show raid bbu [SB | DU | IOU | PCI\_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例

#### 例: SB#0 に接続された FBU を表示する場合

#### # show raid bbu SB 0-0

Status:	Normal
Type:	FBU
Vendor:	LSI
Manufacturer date:	03/21/2012
Intelligent BBU:	Yes
Auto learn mode:	Transparent
Next learn time:	Thu 17 Jul 2014 01:09:23 PM
Auto learn period:	28 Days
Design voltage:	9.411 V
Voltage:	9.518 V
Temperature:	27 deg C
Design capacity:	283 J
Remaining capacity:	321 J
Capacitance:	100 %

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

No logical drive is assigned to the controller.
Too much arguments argc=%d.
Too few arguments argc=%d.
The specified parameter is invalid. %s
The specified controller is not found.
Internal error [%d:%d].
The operation is failed. %s
Unable to execute the command because the %s is under maintenance.

# 2.3.54 **show special\_account**

登録されている LDAP で使用するスペシャルアカウントを表示します。

### ■ 権限:Administrator

(1) 入力形式

show special\_account

(2) オプション なし

(3) 使用例

例: スペシャルアカウント設定されている場合
# show special\_account
Admin: special\_admin
CE : special\_ce
#
例: スペシャルアカウントが設定されていたい

例: スペシャルアカウントが設定されていない場合 # show special\_account Admin: -CE:-#

(4) メッセージ なし

#### show partition pci\_ecrc\_mode 2.3.55

指定したパーティションの ECRC 有効/無効設定を表示します。 本コマンドは、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です。

enable: ECRC 有効 disable: ECRC 無効

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition pci\_ecrc\_mode <partition#>

(2) オプション なし

- (3) 使用例
  - 例: Partition2 の ECRC 設定を表示する場合 # show partition pci ecrc mode 2 pci\_ecrc\_mode : enable #
- (4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute %s command.
Failed to execute show partition command.
Partition#x is not defined.

### 2.3.56 show partition pci\_express\_mode

指定したパーティションの PCI Express Mode の設定を表示します。

- flexible : Flexible I/O モードが設定されています。
- fixed : Fixed I/O モードが設定されています。

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show partition pci\_express\_mode <partition#>

- (2) オプション なし
- (3) 使用例
  - 例: Partition3のPCI Express Mode を表示する場合 # show partition pci\_express\_mode 3 pci\_express\_mode: fixed
    - #
- (4) メッセージ

```
この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照
してください。
```

The specified partition number is invalid.
The specified parameter is invalid.
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute show partition pci_express_mode command.
Unable to execute this command because you have not authority to operate this partition.
Partition#x is not defined.

# 2.3.57 show firmware\_version

システム内で稼動しているファームウェアのバージョン情報、およびバックアップされているファームウェアのバージ ョン情報を表示します。

#### ■ 権限: Administrator、CE

(1)	入力形式
sł	now firmware_version
(2)	オプション
	なし
(3)	使用例
	#show firmware_version
	UnifiedFirmware Version: BC20072
	MMB#0 Firmware activebank: bank2
	MMB#0 Firmware Version(bank1): 30.55
	MMB#0 Firmware Version(bank2): 30.55
	MMB#1 Firmware active bank: bank2
	MMB#1 Firmware Version(bank1): 30.55
	MMB#1 Firmware Version(bank2): 30.55
	SB#0-BMC Firmware active bank:bank2
	SB#0-BMC Firmware Version(bank1): 3.39F
	SB#0-BMC Firmware Version(bank2): 3.39F
	SB#0-BIOS Firmware active bank:bank1
	SB#0-BIOS Firmware Version(bank1): 1.51
	SB#0-BIOS Firmware Version(bank2): 1.51
	SB#1-BMC Firmware active bank:bank2
	SB#1-BMC Firmware Version(bank1): 3.39F
	SB#1-BMC Firmware Version(bank2): 3.39F
	SB#1-BIOS Firmware active bank:bank1
	SB#1-BIOS Firmware Version(bank1): 1.51
	SB#1-BIOS Firmware Version(bank2): 1.51
	SB#2-BMC Firmware active bank:bank2
	SB#2-BMC Firmware Version(bank1): 3.39F
	SB#2-BMC Firmware Version(bank2): 3.39F
	SB#2-BIOS Firmware active bank:bank1
	SB#2-BIOS Firmware Version(bank1): 1.51
	SB#2-BIOS Firmware Version(bank2): 1.51
	SB#3-BMC Firmware active bank:bank2
	SB#3-BMC Firmware Version(bank1): 3.39F
	SB#3-BMC Firmware Version(bank2): 3.39F
	SB#3-BIOS Firmware active bank:bank1
	SB#3-BIOS Firmware Version(bank1): 1.51
	SB#3-BIOS Firmware Version(bank2): 1.51

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unable to execute this command on a standby MMB. Failed to get the firmware version. Failed to execute show firmware\_version command.

# 2.3.58 show sysconf power\_feed\_mode

PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの電源構成を表示します。

- single:1系統受電モード
- dual:2系統受電モード

#### ■ 権限:All

#### (1) 入力形式

show sysconf power\_feed\_mode

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: PRIMEQUEST 2000 シリーズシステムの電源構成を表示する場合
   # show sysconf power\_feed\_mode
   Are you sure to continue set sysconf power\_feed\_mode? [Y/N]: y
   power\_feed\_mode: single
   #
- (4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.3.59 show sysconf power\_restoration\_policy

停電後、復電したときのアクションの設定を表示します。

- Always off:復電後、電源オフの状態を維持します。
- Always on:停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを行います。
- Restore:停電した時の状態に戻します。停電時にパーティションが電源オンの状態であった場合はパーティ ションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった場合は、パーティションの電源オフの状 態を維持します。
- Schedule Sync:復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパーティションの電源オンを行います。
   (注意)

Special で設定したスケジュールは、指定した日のみ適用となります。

```
■ 権限:All
```

(1) 入力形式

show sysconf power\_restoration\_policy

- (2) オプション
  - なし
- (3) 使用例

例:復電したときのアクションが Always ON の場合 #show sysconf power\_restoration\_policy power\_restoration\_policy: Always ON #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.3.60 show sysconf power\_on\_delay

AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オンを指示するまでの待機時間の 設定を表示します。本項目はスケジュールによる Power On 時も有効となります。

(注意)

Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されません。

ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power on delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power On delay 時間が優先され、 スケジュール運転による Power On での Power on delay は無視されます。

■ 権限:All

(1) 入力形式

show sysconf power on delay	show	sysconf	power	on	delay
-----------------------------	------	---------	-------	----	-------

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例:パーティションの電源オンを指示するまでの待機時間の設定が 100 秒の場合 #show sysconf power\_on\_delay power\_on\_delay: 100sec #

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.3.61 show sysconf altitude

PRIMEQUEST 2000 シリーズ筐体が設置されている高度の設定を表示します。 高度条件の設定誤差は±100m までになります。

- Altitude < 1000 m
- $1000 \text{ m} \le \text{Altitude} \le 1500 \text{ m}$
- 1500 m <= Altitude < 2000 m
- 2000 m <= Altitude

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show s	ysconf a	altitude
(x) + =	2 2.	

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例:高度の設定が Altitude < 1000 m の場合 # show sysconf altitude Altitude < 1000m #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

## 2.3.62 show sysconf psu\_redundant\_mode

PSU を冗長で動作させるかどうかの設定を表示します。

- Multi-redundant: PSU を複数冗長にします。※1
- Redundant: PSU を冗長にします。
- Non-redundant: PSU を非冗長にします。
- ※1: PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/ 2400S Lite/2400S/2400E/2400Lの時のみ設定可能です。

また、PSU\_S 100V を使用していない場合は設定できません。

■ 権限:All

(1) 入力形式

show sysconf psu\_redundant\_mode

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: PSU を冗長で動作させるかどうかの設定が Redundant の場合 # show sysconf psu\_redundant\_mode psu\_redundant\_mode: redundant #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照 してください。

The specified parameter is invalid.

Unable to execute this command on a standby MMB.

# 2.3.63 show sysconf system\_guid\_format

BMC の System GUID Response フォーマットを表示します。 本コマンドの表示は、装置全体(全 Partition)の設定値を表示します。

- IPMI Spec : IPMI Specification compatible (System GUID レスポンフォーマットは IPMI 仕様に対応)
- SMBIOS Spec : SMBIOS 2.6 Specification compatible (System GUID レスポンフォーマットは SMBIOS で参照する仕様に対応)

### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show sysconf system\_guid\_format

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: System GUID Response フォーマットが SMBIOS Spec の場合 # show sysconf system\_guid\_format System GUID Response Format : SMBIOS Spec

#

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.3.64 show sysconf input\_voltage

入力電圧を表示します。

- 100V
- 200V

■ 権限:All

(1) 入力形式

show sysconf input voltage

- (2) オプション
  - なし

(3) 使用例

例:入力電圧が 100V の場合 # show sysconf input\_voltage input\_voltage: 100V #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.3.65 show reserved\_sb

存在するパーティションに対して、Reserved SB として設定されている SB を表示します。 Reserved SB が設定されていないパーティションは、"-"が表示されます。

■ 権限	2	All
------	---	-----

(1)	入力形	式			
sh	ow res	erved_sb			
(2)	オプシ	ョン			
	なし				
(3)	使用例				
	例	: Partition#0 に S	B#1、Partitio	on#1 に SB#1	、SB#3 が Reserved SB として設定されている場合
	# s	how reserved_sb			
	#	partition_name	mirror_mod	e sb	
	0	Partition0	disable	1	
	1	Partition1	disable	13	
	2	Partition2	enable	-	
	#				
(4)	メッセ・	ージ			
	この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。				
	メッセ・	ージの詳細について	cは、『PRIME	QUEST 2000	シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照
	してください。				

# 2.3.66 show user\_list

現在登録されているユーザーアカウント情報を表示します。

#### ■ 権限: Administrator

(1)	(1) 入力形式					
sh	show user_list					
(2)	オプション					
	なし					
(3)	使用例					
	例:					
	<pre># show user_list</pre>					
	user_name	privilege	operable_partition			
	Administrator	Admin				
	Operator	Partition Operator	#0,#1			
	CE	CE				
	#					
(4)	(4) メッセージ					
	この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。					
	メッセージの詳細については	、『PRIMEQUEST 2000	) シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照			

してください。

## 2.3.67 show snmp sys\_location

SNMP の System Location を表示します。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

show snmp sys\_location

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: SNMPの System Location が Tokyoの場合 # show snmp sys\_location sys\_location: Tokyo #

(4) メッセージ

```
この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照
してください。
```

The specified parameter is invalid.

## 2.3.68 show snmp sys\_contact

SNMPの System Contact を表示します。

(1) 入力形式

show snmp sys\_contact

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: SNMPの System Contact が admin@company.comの場合 # show snmp sys\_contact sys\_contact: admin@company.com #

(4) メッセージ

```
この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照
してください。
```

# 2.3.69 show snmp community

設定されている SNMP の Community、アクセスを許可する IP アドレス、または、サブネット、SNMP バージョン、ア クセス権限を表示します。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

■ 権限:All

(1)	入力形式			
sh	ow snmp community			
(2)	オプション			
	なし			
(3)	使用例			
	例:SNMPのCommun	ity が Public、Priva	ate の場合	
	# show snmp commur	nity		
	community	ip_mask	version	access
	Public	10.1.2.3	1	ſW
	Private	10.2.3.5	1	0
	#			
(4)	メッセージ			
	この (LI で表示されるメッt	zージを、以下に示	します。	
	メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530) を参照			
	してください。			

# 2.3.70 show snmp trap

設定されている SNMP の Trap の送信先を表示します。 本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

■ 権限:All

(1)	入力形式					
sh	show snmp trap					
(2)	オプション					
	なし					
(3)	使用例	使用例				
	例: SNMPの Trapの送信先が10.1.2.3、10.2.3.5の場合					
	# show snmp trap					
	community	ір	version			
	Public	10.1.2.3	1			
	Private	10.2.3.5	1			
	#					
	#					

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

# 2.4 アップデート用コマンド

アップデート用のコマンドは、以下のとおりです。

- 2.4.1 update ALL
- 2.4.2 show update\_status

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

### 2.4.1 update ALL

指定した URL から一括してファームウェアをダウンロードし、MMB、BMC、BIOS をアップデートします。 URL は、以下のように指定します。

http://host/path/file ftp://host/path/file

以下の順でアップデートを実施します。

- (1) MMB Firmware Update (Standby)
- (2) MMB Firmware Update (Active)
- (3) BMC Firmware Update
- (4) BIOS Firmware Update

進行状況は、show update\_status コマンドで確認します。

#### 注意

MMB あるいは SB が故障している場合は、ファームアップデートの前に保守を行ってください。故障した MMB あるい は SB が構成内に存在するときには、ファームアップデートを実施しないでください。

#### ■ 権限: Administrator、CE

(1) 入力形式

update ALL <url> {force} {quiet}

(2) オプション

force:適用する総合ファームウェア版数で、強制的にアップデートを実行します。 quiet:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでアップデートします。

(3) 使用例

# update ALL http://host/path/allfirm001 Downloading an unified firmware file....... Extracting an unified firmware file......

Current Unified Firmware Version: xxxxx New Unified Firmware Version: yyyyy

Are you sure to continue Firmware Update? [Y|N]: Y #

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照し てください。

Are you sure to continue Firmware Update? [Y N]:
The specified parameter is invalid
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to get the firmware version.
The checksum of the firmware file is invalid.
The size of the firmware file is invalid.
The CRC of the firmware file is invalid.
Specified file is NOT a Firmware file.
Specified host does NOT respond.
Unable to execute the update under maintenance.
Current firmware is newer version.
Unable to execute the online update.
Please try the update after the system power off.
Unable to execute the update. TPM is effective.
Unable to execute the update. Standby MMB is fault or disable.
Unable to execute Firmware Update due to resource lock.
Please retry after waiting a while.
The firmware is being updated now.
The chassis information could not be retrieved.
The chassis information is invalid.

(5) 処理オンライン・ファームアップが可能かチェックし、不可の場合はエラーメッセージを出力し、アップデート処理を中断します。(MMB 一重化の場合、又はオンライン・ファームアップできるファーム版数間の互換性確認テーブルに組み合わせがない場合)

 force オプションなしの場合 適用する総合ファーム版数と動作中の総合ファームウェア版数を比較して、古い版数または同一版数の場合、 ファームウェアアップデートは行いません。
 また、個別のファームウェアのファームウェア版数を確認し、同一版数の場合はファームウェアアップデートを 行わず、版数が違う場合にのみファームウェアアップデートを行います。

force オプション指定ありの場合
 適用する総合ファーム版数と動作中の総合ファーム版数は比較しないで、運用する総合ファーム版数で強制的に
 ファームウェアアップデートを行います。

オンライン・ファームアップは force オプション指定不可とします。

### 2.4.2 show update\_status

ー括ファームウェアアップデートのファームウェアのバージョンおよび進行状態を表示します。 ステータスを以下に示します。

- completed :正常終了
- failed : 異常終了
- updating :ファームウェアアップデート中(%表示)
- being updated :ファームウェアアップデート中(ファームウェアダウンロード中)
- not executed :アップデート処理を実行していない状態

#### ■ 権限: Administrator、CE

(1) 入力形式

show update\_status

(2) オプション

なし

(3) 使用例

#show update\_status Unified Firmware Version :BA13012, update status:updating 35% #

(4) メッセージ

この (LI で表示されるメッセージを、以下に示します。

メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

Unified Firmware Version : XX, update status:completed
Unified Firmware Version : XX, update status:not executed
Unable to execute this command on a standby MMB.
Failed to execute show update_status command.
Unified Firmware Version : XX, update status:being updated
Unified Firmware Version : XX, update status:updating YY%
Unified Firmware Version : XX, update status:failed

# 2.5 その他のコマンド

情報設定・表示・アップデート以外のコマンドは以下のとおりです。

- 2.5.1 exit
- 2.5.2 passwd
- 2.5.3 ping

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

### 2.5.1 **exit**

ログアウトします。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

#### exit

- (2) オプション なし
- (3) 使用例 なし
- (4) メッセージ なし

### 2.5.2 **passwd**

指定したユーザーのパスワードを変更します。Administrator 権限を持たないユーザーは、自分のパスワードしか変更で きません。Administrator 権限を有するユーザーは、すべてのユーザーのパスワードを変更できます。 ユーザーを指定 しなかった場合は、現在ログインしているユーザーのパスワードが変更されます。 入力可能な文字などの条件は、 「表 1.91 [Add User] / [Edit User] 画面の表示・設定項目」を参照してください。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

passwd {USER}

- (2) オプションUSER:パスワードを変更するユーザー名を指定します。
- (3) 使用例

(4) メッセージ

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。 メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』 (CA92344-0530) を参照 してください。

This command cannot be executed on the standby MMB.

The specified parameter is invalid.

Password changed.

change passwd failed (code=0x%04x)

Could not set attributes

invalid passwd

password needs 8 characters at least

password needs 32 characters or less

Failed to the password authentication.

New password differs from Re-enter new password.

### 2.5.3 **ping**

<IP address> または<server name> で指定された宛先に対して、ICMP echo message を送信します。

#### 備考

IPv4 のみサポートします。

#### ■ 権限:All

(1) 入力形式

ping {-c <count> } [<IP address>|<server name>]

- (2) オプション

   -c <count>: <count>で指定された数のパケットを送信後、終了します。
   省略時のデフォルトは「1」。
- (3) 使用例
  - なし
- (4) メッセージ
   この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。
   メッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 2000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-0530)を参照してください。

The specified parameter is invalid.

ICMP の ping を利用しているため、パラメーターの指定が正しくない場合には、ICMP ping のエラーメッセージが 表示される場合があります。

# 第3章 UEFI のメニュー操作

本章では、UEFIのメニュー操作について説明します。

UEFIは、OSの選択ブートや、UEFIシェルの起動、ブートオプションの設定変更などを操作するメニューを持っています。これらの各機能は、Boot Manager フロントページを先頭にして、それぞれのメニューへ移行することによって実現されます。

[sadump Configuration] について詳しくは、「第6章 sadump 環境の設定」を参照してください。

# 3.1 Boot Manager フロントページ

Boot Manager フロントページは、UEFI メニューのトップページです。この画面には、ブート処理への移行や、Boot Manager、Device Manager、および Boot Maintenance Manager へ移行するメニューがあります。



図 3.1 Boot Manager フロントページ表示例

### 3.1.1 画面領域

Boot Manager フロントページでは、画面が「図 3.2 Boot Manager フロントページの画面領域」に示す 3 つの領域に 分かれます。



図 3.2 Boot Manager フロントページの画面領域

- システム情報表示部 何も表示されません。
- (2) メニュー選択部 「表 3.1 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

表 3.1 メニュー選択部の表示内	容
-------------------	---

項目	説明
Continue	Continue を選択すると、現在設定されているブート順にブート処理を実
	行する。
Boot Manager	「3.3 [Boot Manager] メニュー」を表示する。
Device Manager	「3.4 [Device Manager] メニュー」を表示する。
Boot Maintenance Manager	「3.5 [Boot Maintenance Manager] メニュー」を表示する。
BIOS Boot Diagnostic Test	BIOS Boot Diagnostic Test を実行する。
	実行後はパーティションを電源オフする必要があります。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.2 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

表	3.	2	操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。

# 3.2 [Continue] メニュー

[Continue] メニューは、OS 自動起動へ処理を移行し、現在設定されているブート順にブート処理を実行します。

# 3.3 [Boot Manager] メニュー

[Boot Manager] メニューでは、ブートするデバイスを指定できます。[Boot Manager] メニューは、「図 3.3 [Boot Manager] メニューの表示例」に示すようにブートデバイス一覧を表示します。メニューで表示している個々のブート デバイスをブートオプションと呼びます。

Boot Manager	
Boot Option Menu Mindows Boot Manager EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 2 1 and 1 to change option, ENTER to select an	Device Path : HD(2,GPT,6EE85883-5B04 -49BC-BA6B-A4DBB20E3F4 4,0x96800,0x32000)/\EF I\Microsoft\Boot\bootm gfw.efi
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

図 3.3 [Boot Manager] メニューの表示例

### 3.3.1 ブートオプション

ブートオプションには、UEFI Aware OS をブートするタイプと、レガシーOS をブートするタイプの2種類が存在します。この2つのタイプには、以下の違いがあります。

- ブート対象デバイスの指定方法
   UEFI Aware OS のブートデバイス指定は、UEFI 仕様に基づいたデバイスパス表現により実行ファイル単位まで
   きめ細かく指定できます。それに対して、レガシーOS のブートデバイス指定は、デバイス単位までしか指定で
   きません。
- ブート優先順位の指定方法 ブート優先順位の変更は、ブートオプションを並び替えることによって可能です。[Boot Options] メニューの [Change Boot Order] 画面によって変更できます。(「■[Change Boot Order] メニュー」を参照。)

下表に、初期状態でのブートオーダーを示します。

#### 表 3.3 Virtual Media を接続した場合の、ブートオーダーの初期状態

優先順位	ブートオプション
1	Legacy CD ROM
2	Legacy Floppy
3	EFI Internal Shell
4	EFI: Fujitsu Virtual CDROM
5	EFI USB Device

### 3.3.2 **UEFI のブート仕様について**

[Boot Manager] メニューには、ブート優先順位に従ってブートオプションが表示されます。一番上に表示されたブートオプションが最も優先順位が高く、最初にブートを試みます。「図 3.4 Boot Manager のブートオプション」に示す 例で表示された[Windows Boot Manager] は、UEFI Aware OS である Windows Server 2008 R2 (またはそれ以降) の Windows Server をインストールすると作成されるものです。この例では、UEFI Aware OS である Windows Server2008 R2 (またはそれ以降) のブートを最初に試みます。

Boot Manager	
Boot Option Menu <u>Mindows Boot Manager</u> EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 2 † and 4 to change option, ENTER to select an	Device Path : HD(2.GPT.6EE85883-5B04 -49BC-BA6B-A4DBB20E3F4 4.0x96800.0x32000)/\EF I\Microsoft\Boot\bootm gfw.efi
†↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

図 3.4 Boot Manager のブートオプション

ここでブートに成功すれば、その OS がブートされます。ブートに失敗した場合は、次のブートオプションがブート対象 になります。「図 3.4 Boot Manager のブートオプション」の例では、EFI Internal Shell がブート対象になります。 UEFI Aware OS のブートの優先順位は、[Boot Options] メニューの[Change Boot Order] 画面によって変更できます。 (「■[Change Boot Order] メニュー」を参照。) ブートオプションを追加、削除する場合には、[Boot Options] メニュ ーの[Add Boot Option] メニュー(「■[Add Boot Option] メニュー」を参照) または [Delete Boot Option] メニュー (「■[Delete Boot Option] メニュー」を参照) を使用します。

### 3.3.3 レガシーBIOS のブート仕様について

レガシーOSのブートは、[Boot Manager] メニューでレガシーブートオプション(EFI と表示されていなく、デバイス名 が表示されているブートオプション)を指定することによって実施します。

「図 3.5 Legacy Boot オプションの実行」では、Legacy CD ROM 配下の Fujitsu Virtual CDROM0 1.00 がレガシーブ ートオプションです。

図 3.5 Legacy Boot オプションの実行

Boot Manager	
Boot Option Menu <u>Jindows Boot Manager</u> EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 2 † and 4 to change option, ENTER to select an	Device Path : HD(2.GPT.6EE85883-5B04 -49BC-BA6B-A4DBB20E3F4 4.0x96800.0x32000)/\EF I\Microsoft\Boot\bootm gfw.efi
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

レガシーOS の起動優先順位の変更は、[Change Boot Order] メニューから実施します。ひとたびレガシーOS のブート 処理が実行されると、レガシーOS のブートオプションのみ実行されます。レガシーOS のブートオプションより優先順位 の低い UEFI ブートのブートオプションは自動的にはブートされません。たとえば、Legacy CD ROM を Windows Boot Manager より上に移動させるとレガシーOS のブートが実行され、Windows のブートは自動的には実行されません。具 体的には以下の手順で設定します。

- [Boot Options] メニューの[Change Boot Order] 画面によって、ブート優先順位を決定します。 (「■[Change Boot Order] メニュー」を参照。)
- [Boot Options] メニューの[Set Legacy Floppy Drive Order] メニューで、複数の Floppy の起動優先順位を設 定します。(「■[Set Legacy Floppy Drive Order] メニュー」を参照。)
- 3. [Boot Options] メニューの[Set Legacy HardDisk Drive Order] メニューで、複数の HDD の起動優先順位を 設定します。(「■[Set Legacy HardDisk Drive Order] メニュー」を参照。)
- [Boot Options] メニューの[Set Legacy DVD/CD-ROM Drive Order] メニューによって、複数の DVD/CD 間での優先順位を決定します。(「■[Set Legacy DVD/CD-ROM Drive Order] メニュー」を参照。)レガシーBIOSのブート仕様では、DVD/CD タイプの中でさらに複数の DVD/CD 間の優先順位を設定できます。
- 5. [Boot Options] メニューの[Set Legacy NET Drive Order] メニューによって、複数のネットワークポート間 での優先順位を決定します。(「■[Set Legacy NET Drive Order] メニュー」を参照。) レガシーBIOS のブー ト仕様では、ネットワークポートタイプの中でさらに複数のネットワークポート間の優先順位を設定できま す。

### 3.3.4 **ブート処理**

1. ブート処理の起動の流れ

「表 3.4 UEFI のブート仕様とレガシーBIOS のブート仕様での起動の流れ」に、UEFI のブート仕様とレガシー BIOS のブート仕様での起動の流れを示します。

#### 表 3.4 UEFI のブート仕様とレガシーBIOS のブート仕様での起動の流れ

	UEFI ブート仕様	起動の流れ	
<uefi< td=""><td colspan="3"><ul> <li><uefi aware="" os="" のブート優先順位=""></uefi></li> </ul></td></uefi<>	<ul> <li><uefi aware="" os="" のブート優先順位=""></uefi></li> </ul>		
Boot Order の並び順に UEFI Aware OS のブートを試みる。			
1 Win	Windows Boot Manager:Windows Boot Manager のブートを試みる。		
2 EFI	USB Device : USB Device t	ッら UEFI Aware OS のブートを試みる。	
3 EFI	Network Device:ネットワ	ークポートから UEFI Aware OS のブートを試みる。	
以下に	以下に記述している各レガシーデバイスからのレガシーブートオプションは一例である。		
レガシ-	レガシーブートオプションよりも優先順位の低い UEFI ブートオプションは自動的にはブートされない。		
4 Fuji	tsu Virtual CDROM0 1.00 :	レガシーの CD ROM からレガシーOS ブートを試みる	
5 EFI	USB Device 2 : レガシーブ-	- トオプションより優先順位が低いため自動的にはブートされない。	
6 Fuji	tsu Virtual Floppy0 1.00 :	レガシーの Floppy ドライブからレガシーOS ブートを試みる。	
7 EFI	Internal Shell : UEFI Shell	を起動する。	

2. ブート処理に成功/失敗した場合の処理の流れ

以下に、各 OS のブート処理に成功/失敗した場合の処理の流れを示します。

- UEFI Aware OS である Windows Server 2008 R2 のブートに成功した場合

表 3.5 Windows Server 2	2008 R2	のブート成功
------------------------	---------	--------

	UEFI ブート仕様	起動の流れ	
1	Windows Boot Manager:Windows Boot Manager のブートを試みる。		
		ブート成功 – Windows ブート	
2	EFI USB Device		
3	EFI Network Device		
4	Fujitsu Virtual CDROM0 1.00		
5	EFI USB Device 2		
6	Fujitsu Virtual Floppy0 1.00		
7	UEFI Internal Shell:UEFI Shellを起動する。		

# - UEFI Aware OS である Windows Server 2008 R2 のブートに失敗し、USB Device からの UEFI ブートに成功した場合

#### 表 3.6 Windows Server 2008 R2 のブート失敗(EFI USB Device の UEFI ブート成功)

	UEFI ブート仕様			起動の流れ
1	Windows Boot Manager:Windows Boot Manager のブートを試みる。			
		ブート失	敗	
2	EFI USB Device			
		ブート成	功	
3	UEFI Network Device			
4	Fujitsu Virtual CDROM0 1.00			
5	EFI USB Device 2			
6	Fujitsu Virtual Floppy0 1.00			
7	EFI Internal Shell: UEFI Shell を起動する。			

- Windows Boot Manager、EFI USB Device、EFI Network Device のブートに失敗し、レガシーの Floppy からの ブートに成功した場合

表 3.7 Windows Boot Manager, EFI USB Device, EFI Network Device に失敗し、レガシーの HDD からの ブートに成功した場合

	UEFI ブート仕様	起動の流れ	
1	Windows Boot Manager:Windows Boot Manager のブートを試みる。		
		- ブート失敗	
2	EFI USB Device		
		- ブート失敗	
3	EFI Network Device		
		- ブート失敗	
4	Fujitsu Virtual CDROM0 1.00	Set Legacy CD-ROM Drive Order の優先順位の高いものからレガ	
		シーOS ブートを試みる。	
		ー ブート失敗	
5	EFI USB Device 2	レガシーブートオプションより優先順位が低いため自動的にはブ	
		ートされない。	
6	Fujitsu Virtual Floppy0 1.00		
		ー ブート成功	
7	EFI Internal Shell:UEFI Shell を起動する。		

- UEFI Aware OS ブート、レガシーOS ブートに失敗し、UEFI Shell 起動に成功した場合

表 3.8 UEFI Aware OS ブート、レガシーOS ブートに失敗し、UEFI Shell 起動に成功した場合

	UEFI ブート仕様	起動の流れ		
1	Windows Boot Manager : Windows Boot Mar	boot Manager: Windows Boot Managerのブートを試みる。		
		- ブート失敗		
2	EFI USB Device			
		- ブート失敗		
3	EFI Network Device			
		- ブート失敗		
4	Fujitsu Virtual CDROM0 1.00	Set Legacy CD-ROM Drive Order の優先順位の高いものからレガ		
		シーOS ブートを試みる。		
		ー ブート失敗		
5	EFI USB Device 2	レガシーブートオプションより優先順位が低いため自動的にはブ		
		ートされない。		
6	Fujitsu Virtual Floppy0 1.00			
		ー ブート失敗		
7	EFI Internal Shell: UEFI Shell を起動する。	一 UEFI Shell 起動		
- 3. ブート失敗の定義
  - ブート処理の失敗には、以下の2つの種類があります。
    - 次のブートオプションへ処理が移行できる失敗
    - 次のブートオプションへ処理が移行できない失敗

#### ■ 次のブートオプションへ処理が移行できる失敗

次のブートオプションへ処理が移行できる失敗とは、ブート対象が見つからないためにブート処理が失敗した場合のこ とです。具体的には、以下の失敗パターンが存在します。

- UEFI Aware OS (Windows Boot Manager など)のブート処理で、対象デバイスが接続されていなかった。
- UEFI Aware OS(Windows Boot Manager など)のブート処理で、対象デバイスが認識できなかった。
- UEFI Aware OS(Windows Boot Manager など)のブート処理で、対象デバイスに UEFI パーティションが存在 しなかった。
- UEFI: Embedded DVD/CD、UEFI: DVD/CD n のブートで、該当 DVD/CD 装置に媒体が入っていなかった。
- UEFI: Embedded DVD/CD、UEFI: DVD/CD n のブートで、該当 DVD/CD 装置に搭載された媒体がブートできる媒体ではなかった。
- Legacy Boot の HDD ブートで、HDD が接続されていなかった。
- Legacy Boot の HDD ブートで、HDD が認識できなかった。
- Legacy Boot の HDD ブートで、HDD に何も書かれていなかった。
- Legacy Boot の DVD/CD ブートで、DVD/CD 装置が認識できなかった。
- Legacy Boot の DVD/CD ブートで、該当 DVD/CD 装置に媒体が入っていなかった。
- Legacy Boot の DVD/CD ブートで、該当 DVD/CD 装置に搭載された媒体がブートできる媒体ではなかった。
- Legacy Boot の PXE ブートで、LAN ケーブルが接続されていなかった。
- Legacy Boot の PXE ブートで、サーバ側の設定ができていなかった。
- EFI Network(MAC addr)のブートで、LAN ケーブルが接続されていなかった。
- EFI Network(MAC addr)のブートで、サーバ側の設定ができていなかった。

#### ■ 次のブートオプションへ処理が移行できない失敗

次のブートオプションへ処理が移行できない失敗とは、OS に制御が渡ってしまった後にブート処理に失敗した場合のこ とです。たとえば、ブート対象デバイスに格納された OS プログラムが破壊されている場合が考えられます。 「図 3.6 [Boot Manager] メニューの表示例」は、[Boot Manager] メニューの起動直後の画面例です。





(1) ページ情報表示部

[Boot Manager] と表示されます。

(2) メニュー選択部

ブートデバイス一覧が、起動の優先順で表示されます。[↑] キーまたは[↓] キーでブートする OS、または UEFI Shell にカーソルを合わせて選択します。[Enter] キーを押すと、選択した UEFI Aware OS、またはレガシーOS ブ ート、UEFI シェルの起動を試みます。 ブートに失敗した場合は、Boot Manager フロントページへ戻ります。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.9 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

# 3.4 [Device Manager] メニュー

[Device Manager] メニューでは、各 I/O デバイスに対して I/O 空間を割り当てるかどうかの設定や、PXE ブートを Enable にするかどうかなどの設定をします。以下の画面は、[Device Manager] メニューの起動直後の画面です。



図 3.7 [Device Manager] メニューの表示例

#### 備考

ファームウェア総合版数は、MMB Web-UI の[System] → [Firmware Information] 画面の[Unified Firmware Version] で確認できます。[Firmware Information] 画面について詳しくは、「1.2.6 [Firmware Information] 画面」を参照して ください。

(1) ページ情報表示部

[Device Manager] と表示されます。

(2) メニュー選択部

「表 3.10 メニュー選択部の表示内容」に示すメニューが表示されます。

表 3.10	メニュー選択部の表示内	容

項目	説明
System Information	「3.4.1 [System Information]メニュー」を表示する。
LAN Remote Boot	「3.4.2 [LAN Remote Boot Configuration] メニュー」を表示する。
Configuration	
CPU Configuration	「3.4.3 [CPU Configuration] メニュー」を表示する。(*1)
PCI Subsystem Configuration	「3.4.4 [PCI Subsystem Configuration]メニュー」を表示する。(*1)
iSCSI Configuration	「3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー」を表示する。
Memory Configuration	「3.4.6 [Memory Configuration] メニュー」を表示する。(*1)
USB Configuration	「3.4.7 [USB Configuration]メニュー」を表示する。
Security Configuration	「3.4.8 [Security Configuration]メニュー」を表示する。(*1)
Address Ranger Mirroring	「3.4.11 [Address Range Mirroring Configuration]メニュー」を表示する。(*1)
Configuration	
Driver Health	Driver Health メニューを表示する。
The Platform is healthy	(PRIMEQUEST2000 シリーズではサポートしていません)
または	
Some drivers are not healthy	

\*1: 拡張パーティションでは機能設定に制限がかかります。

#### 備考

メニューの並び順は、装置構成により変わることがあります。上記のメニュー以外にも、sadump メニューや搭載する I/O デバイスによって表示項目が増える場合があります。sadump メニューの操作方法について詳しくは、「第6章 sadump 環境の設定」を参照してください。また、I/O デバイスメニューの操作方法については、I/O デバイスのベンダーが提供するマニュアルを参照してください。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.11 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.11 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。	
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。	

# 3.4.1 [System Information]メニュー

[System Information]メニューでは、システムの情報が表示されます。尚、本メニューにおいて設定を必要とする項目 はありません。

[System Information]メニューの画面表示例を以下に示します。



図 3.8 [System Information] メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

System Information と表示されます。

#### (2) システム情報表示部

「表 3.12 システム情報表示部の表示内容」に示す内容が表示されます。

項目	表示内容			
BIOS Revision	BIOS リビジョンを表示する。			
	表示例			
	00.44			
LAN N MAC Address	Network Controller の MAC アドレスを表示する。			
<i>N</i> : 1, 2,	表示例			
	0:19:99:81:F9:31			
Processor Type	プロセッサタイプを表示する。			
	表示例			
	Intel(R) Xeon(R) CPU xxxx			
CPU-/Patch-ID	CPUID, パッチ ID を表示する。			
	表示例			
	3064E4 / 00000610			
Processor Speed	プロセッサスピードを表示する。			
	表示例			
	3400 MHz			
Cache Counts & Sizes(*1)	キャッシュサイズを表示する。			
	表示例			
	15x64 KB / 15x256 KB / 1x 37 MB			
Active Package, Core & Thread Count	<i>nunt</i> CPU パッケージ数,コア数,スレッド数を表示する。			
(maximum)	表示例			
	4(8) Package(s) 60(120) Core(s) 120(240) Thread(s)			
Memory Size / Frequency	メモリサイズと周波数を表示する。			
	表示例			
	32768 MB (1333 MHz)			

#### 表 3.12 システム情報表示部の表示内容

\*1: 拡張パーティションではキャッシュの数は最大値を表示。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.13 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.13 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。	

## 3.4.2 [LAN Remote Boot Configuration] メニュー

[LAN Remote Boot Configuration] メニューでは、PXE/iSCSI ブートを実行するネットワークポートを選択できます。メ ニューには、PXE ブートが可能なネットワークポートが表示されます。PXE/iSCSI ブートをさせるネットワークポートを 選択し、Enable 設定することによって対象デバイスからの PXE/iSCSI ブートが可能となります。デフォルトは、全ネッ トワークポートとも PXE/iSCSI ブートを実施しない設定(Disabled) です。

本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。本メニューで設定した内容については「表 3.14 [LAN Remote Boot Configuration] メニューの反映」を参照してください。

設定内容	反映内容
UEFI (PXE/iSCSI) (*1)	[Boot Manager] メニューに PXE ブートのブートオプションが追加される。
	また、[Device Manager] メニューの[iSCSI Configuration] メニュー(「3.4.5
	[iSCSI Configuration] メニュー」参照) にネットワークポートが追加される。
Legacy PXE (*2)	[Boot Maintenance Manager] $\rtimes = = - \mathcal{O}$ [Set Legacy NET Drive Order] $\rtimes = =$
	ー(「3.5.2 [Boot Options] メニュー」の「 <mark>■</mark> 優先順位の変更(Set Legacy NET
	<mark>Drive Order)</mark> 」参照) に PXE ブートのブートオプションが追加される。
	PCI LAN カードのネットワークポートの場合は、表示されません。
Legacy iSCSI (*3)	ブート時に"Press to run setup"というメッセージが表示される。そのメッセ
	ージに従って Ctrl+D を押すことで Legacy iSCSI の設定メニューが表示される。
	PCI LAN カードのネットワークポートの場合は、表示されません。
Disabled	リモートブートが無効になる。
	[UEFI (PXE/iSCSI)] 、 [Legacy PXE] または[Legacy iSCSI]を選択したさいに追加
	した項目が削除される。

表 3.14 [LAN Remote Boot Configuration] メニューの反映

\*1: UEFI Aware OSの PXE/iSCSI ブートを Enable にする設定。

\*2: レガシーOSの PXE ブートを Enable にする設定。

\*3: レガシーOSの iSCSI ブートを Enable にする設定。

- UEFIの PXE/iSCSI ブートを実行するためには、PCI Subsystem Configuration メニューの[PCI ROM Priority]の設 定を[EFI Compatible ROM]に設定してください。
- レガシーの PXE/iSCSI ブートを実行するためには、PCI Subsystem Configuration メニューの[PCI ROM Priority] の設定を[Legacy ROM]に設定してください。

[LAN Remote Boot Configuration] メニューの表示例を、以下に示します。



図 3.9 [LAN Remote Boot Configuration] メニューの表示例

#### (1) ページ情報表示部

[LAN Remote Boot Configuration] と表示されます。

(2) メニュー選択部

メニューには、「表 3.15 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表	3.1	5	メニュー選択部の表示内	容
12	з. I	5	メニュー選択部の衣小内	f

項目	表示内容
(ネットワークポート情報)	以システム内の各ネットワークポート情報と、PXE/iSCSI ブート
	設定情報が表示される。
	ネットワークポート情報は、オンボード LAN の場合に MAC アドレス
	形式で、PCI LAN カードの場合に、スロット番号で表示される。
	[PCI カードのネットワークボードの情報は、PRIMEQUEST
	2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/
	2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 モデルの場
	合と、BA14063 版以降のファームウェアから利用可能です]
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.16 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.16 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。	
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント	
	ページ」へ戻る。	

#### ■ PXE/iSCSI ブートの Enable/Disable 設定の変更

各ネットワークポートの PXE/iSCSI ブート設定の変更は、以下の手順で実施します。

設定を変更するネットワークポートにカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。
 「図 3.10 PXE/iSCSI ブート Enable 設定の操作画面」に示すポップアップ画面が表示されます。





- 2. PXE/iSCSI ブート Enable/Disable 設定をします。
  - UEFI Aware OS の PXE ブートを Enable にする場合は、[UEFI (PXE/iSCSI)]を選択する。
  - Legacy OS の PXE ブートを Enable にする場合は、[Legacy PXE]を選択。
  - Legacy OS の iSCSI ブートを Enable にする場合は、[Legacy iSCSI]を選択する。
  - PXE/iSCSI ブートを Disable にする場合は、[Disabled] を選択する。
  - デフォルトは、すべて[Disabled] です。
- 3. [Enter] キーを押します。
- 4. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択し、[Enter] キーを押します。
- 5. 設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択し、[Enter]キーを押します。
- 6. UEFI(PXE/iSCSI)を選択した場合、[Enable]の確認をするには、リセット後に[Boot Manager] メニューを起動し ます。

「図 3.11 [Boot Manager] メニューの表示例」のように、ブートオプションが追加されたことを確認します。

#### 図 3.11 [Boot Manager] メニューの表示例

Boot Manager		
Boot Option Menu <u>Mindows Boot Manager</u> EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDRO EFI: Fujitsu Virtual CD EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 1 EFI Network 2 † and ↓ to change opti	MO 1.00 CDROMO 1.00 最下部に追加されている on, ENTER to select an	Device Path : HD(2,GPT,6EE85883-5B04 -49BC-BA6B-A4DBB20E3F4 4,0x96800,0x32000)/\EF I\Microsoft\Boot\bootm gfw.efi
î↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

#### 備考

[Device Manager] メニューにおける[iSCSI Configuration] メニューの「Add An Attempt」から[MAC Selection]メニ ューを起動すると、「図 3.12 [MAC Selection] の表示例」のようにネットワークポートが追加されています。



図 3.12 [MAC Selection] の表示例

7. Legacy PXE を[Enable] にした場合、リセット後に[Boot Maintenance Manager] メニューの[Set Legacy NET Drive Order] メニューを起動すると、「図 3.13 [Set Legacy NET Drive Order] メニューの表示例」のようにネットワークポートが追加されています(「■[Set Legacy NET Drive Order] メニュー」を参照)。



#### 図 3.13 [Set Legacy NET Drive Order] メニューの表示例

### 3.4.3 [CPU Configuration] メニュー

[CPU Configuration] メニューでは、CPU の省電力機能やハイパースレッディング機能等の有効/無効が設定できます。 [CPU Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を以下に示します。



図 3.15 [CPU Configuration] メニューの表示例(PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/2400S2Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合)

	CPU Configuration	
CPU Configuration		
Hyper-threading Active Processor Cores (Current/Available)	<enabled> [18] 18 / 18</enabled>	
Hardware Prefetcher Adjacent Cache Line Prefetch	<enabled> <enabled></enabled></enabled>	
DCU Streamer Prefetcher DCU Ip Prefetcher	<enabled> <enabled></enabled></enabled>	
Execute Disable Bit	<enabled></enabled>	
Intel Virtualization	<enabled></enabled>	4
+/- =Adjust Value ↑↓=Move Highlight <	(Enter>=Select Entry	Esc=Exit
		Configuration changed

(1) ページ情報表示部

[CPU Configuration] と表示されます。

(2) メニュー選択部

メニューには、「表 3.17 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

項目	表示内容
Hyper-threading (*1)	ハイパースレッディング機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。

#### 表 3.17 メニュー選択部の表示内容

項目	表示内容
Active Processor Cores(*2)	1CPU ソケットあたり、イネーブルにするコア数を設定する。
	· All
	· 0
	· 3
	• 4
	• 5
	• 6
	• 7
	· 8
	. 9
	· 10
	• 17
	• 13
	• 14
	· 15
	· 16
	• 17
	• 18
	· 19 · 20
	• 21
	• 22
	· 23
	· 24
	PKIMEQUEST 240053 LITe/240053/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 240052 Lite/240052/2400E2/2400E3/2800E2/2800E3/2800L3/
	240052 E1(E/240052/2400E2/2400E2/2000E2/2000E2 の場合 実装されているコア数に関わらず、0~24 を入力できる。0 の場合はすべて
	のコアを有効とする。入力した数が実装されているコア数より多い場合は、
	実装されている全てのコアを有効とする。
	デフォルトは 0。
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	PRIMEQUEST 2400S Lite/2400S/2400E/2400L/2800E/2800L の場合
	夫装されているコア数によって进択可能な数が変わる。 15 コア LPU の場合 は All 1~14 を選択できる
	デフォルトは ALL。
	備考
	本設定はパーティションに含まれるすべての CPU に対して反映される。
	備考
	Active Processor Cores 設定変更後は[Commit Change and Exit]を選択し、
	BIOS Manager フロントページの[Continue]を選択することで、一度パーテ
	ィションを冉起動させること。

項目	表示内容
(Current/Available)	現在の有効なプロセッサコア数(XX)と、実装されている全てのコア数(YY)を
	表示する。
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/	XX / YY
2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/	
2400L2/2800E2/ 2800L2 で利用可能	
です]	
Hardware Prefetcher	CPU がメモリの等間隔データの連続アクセスパターンを検出するとメモリか
	らL2 キャッシュに連続データをプリフェッチする機能の有効/無効を設定
	する。
	Enabled
	· Disabled
Adjacent Cache Line Prefetch	メモリから L2 キャッシュフインへ対象テータをフェッチするとき、 隣接す
	テーダもノェッナする機能の有効/ 無効を設定する。
	Enabled
DCII Streemer Drefetcher	
	メモリハスが非アンティブになったとさに、必要になる可能性ののるナータ
	内谷を日動的にLIテーダキャッシュにフリロートし、メモリではなくキャ
	ックエル·ON谷をクエッテッる機能の有効/無効を設定する。
	・ Ellabled デフォルトは Epshlod
DCII In Profetcher	フードがシーケンシャルに編成され、メモリに連続的に移納される提合にパ
	フォーマンスを向上させる機能の有効/無効を設定する。
	· Enabled
	デフォルトはEnabled。
Execute Disable Bit	実行可能メモリ領域の保護(ウイルス対策保護)を指定する機能の有効/無効
	を設定する。
	• Disabled
	• Enabled
	デフォルトは Enabled。
	備考
	この機能は, OS がサポートしている場合のみ有効である。
Intel Virtualization Technology(*3)	CPU の仮想化支援機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。
Intel(R) VT-d(*3)(*6)	チップセットの仮想化支援機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	[PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/
	2800L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合]
	デフォルトは Enabled。
	[PRIMEQUEST 2400S Lite/2400S/2400E/2400L/2800E/2800L の場合]
	デフォルトは Disabled。

項目	表示内容
Power Technology(*4)	CPU 電源管理機能を設定する。
57	• Disabled
	• Energy Efficient
	• Custom
	デフォルトは Energy Efficient。
Enhanced Speed Step(*1)	CPU の Enhanced Speed Step 機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合のみ表示される。
Turbo Mode (*1)	インテル(R) ターボブーストテクノロジー機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合のみ表示される。
Energy Performance(*1)	Energy Performance モードを選択する。
	Performance
	Balanced Performance
	Balanced Energy
	Energy Efficient
	デフォルトは、Performance。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合のみ表示される。
P-State Coordination (*1)	CPU の P-State の調整方法を設定する。
	• HW_ALL
	· SW_ALL
	· SW_ANY
	デフォルトは HW_ALL。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合に表示される。
Enable CPU HWPM (*1)	Hardware Controlled Power Management のモードを設定する。
	• Disabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/	HWPM NATIVE MODE
2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/	HWPM OOB MODE
2800L3 で利用可能です]	デフォルトは Disabled。
	「Power Technology」で「Custom」を選択し、かつ「Enhanced Speed
	Step」で「Enabled」を選択した場合に表示される。
CPU C1E Support (*1)	CPU C1E Support 機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/	• Disabled
2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/	デフォルトは Enabled。
2800L3 で利用可能です	備考
PRIMEQUEST 2400S2 Lite/	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合に表示される。
240052/2400E2/2400L2/2800E2/	
2800L2 では BB15064 版以降で利用	
可能です	

項目	表示内容
CPU C3 Report	CPU C3 Report 機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Disabled。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合に表示される。
CPU C6 Report	CPU C6 Report 機能の有効/無効を設定する。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合に表示される。
CPU C7 report	CPU C7 Report 機能の有効/無効を設定する。
	• Disable
	• Enabled
	テフォルトは Enabled。
	Power lechnology」 ぐ  Lustom」を選択した場合に表示される。
Package C State limit	$CO_{1}$ CO $1$ CO $1$ 大変変化 の $1$ CO $1$
	・ LU :LU State まで達移を計可する
	・ (2):(2 state まで遷移を計可する
	・ C6 :C6 state まで遷移を許可する
	・ C7 :C7 state まで遷移を許可する
	· No Limit : C state の遷移に制限を設けない
	デフォルトは No Limit。
	備考
	「Power Technology」で「Custom」を選択した場合に表示される。
QPI Link Frequency Select (*1)	QPIの速度を設定する。
	[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/
	2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場合]
	· Auto
	• 9.6GT/s
	• 8.0GT/s
	· 7 2GT/s
	· 6 / (GT/s
	[PRIMEDIJEST 2400S Lite/2400S/2400E/2400J /2800E/2800L の場合]
	• Auto
	• 8 OCT/c
	• 7 2CT/c
	7.201/S
Frequency Floor Override (*1) (*5)	ノロセッサの周波数の最低値をある固定値に設定する。
	• Disabled
[PRIMEQUEST 2400S Lite/	• Enabled
2400S/2400E/2400L/2800E/2800Lで	テフォルトは Disabled。
利用可能です]	

項目	表示内容
Uncore Frequency Override(*1)(*5)	Uncore Frequency Override の有効・無効を設定する。
r	• Disabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	• Enabled
2400E3/2400E3/2800E3/2800E3/ 2600S2 Lite/ 2600S2/2600E2/	テフォルトはDisabled。
240032 Eller 24003272400E27 24001 2/2800F2/ 2800I 2 で利用可能	
です]	
Perfmon and DFX devices(*1)	パフォーマンスモニターの有効・無効を設定する。
	• Disabled
	• Enabled
	デフォルトは Disabled。
ACPI MSCT	ACPI MSCT の作成有効・無効を設定する。
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	デフォルトは Enabled。
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利	
用可能です	
PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/	
2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 では	
BA15064 版以降で利用可能です]	
x2APIC Mode(*3)(*10)	x2APIC モードの有効・無効を設定する。
	• Disabled
	Enabled
	テノオルトは Enabled。 拡張パーティションでは、 Disabled
2400と3/2400と3/2800と3/2800と3 では	
240052/2400E2/2400E2/2800E2/	
2800L2 C利用可能で9]	
EMCA Gen2(*1)(*7)(*8)(*9)	EMCA Gen2 と Data Poisoning 機能の有効・無効を設定する。 ・ Disabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	Enabled
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利 用可能です	テフォルトは Enabled。
PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/	
2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 では	
BB15067 版以降で利用可能です]	
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。 <b>注意</b>
	 設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Channes and Fxit!
	からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみであり設定することはできません。

\*2: 拡張パーティションでは表示しません。

\*3: 拡張パーティションでは固定表示です。

\*4: 物理パーティションでは"Disabled"および"Energy Efficient"を選択した場合, "Custom"を選択した場合に表示され

るサブメニューが表示されず固定設定となるが、拡張パーティションでは物理パーティションの設定を一部引き継ぐため、物理パーティションの固定設定とは異なる設定になる場合があります。

- \*5 Frequency Floor Override(FFO)の後継機能として PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/ 2800L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/ 2800L2 は Uncore Frequency Override(UFO)があり、 Uncore の周波数が CPU コアの周波数とは別個に制御されます。
- \*6 x2APIC モードの場合、設定値を無視して Enable になります。

\*7 EMCA Gen2 は OS が EMCA Gen2 をサポートしているかどうかに無関係に Enabled に設定できます。

- \*8 EMCA Gen2 を Enabled に設定しても MMB の設定で拡張パーティションまたは Dynamic Reconfiguration を有効 に設定した場合は、EMCA Gen2 の設定は自動的に Disabled になります。自動的に Enabled に戻ることありません。
- \*9 EMCA Gen2 は PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の BB15062 で追加されるメ ニュー項目であり、かつ、デフォルトが Enabled です。

\*10 次の構成の物理パーティションは、 メニューの設定値に依存せず x2APIC モードが有効になります。

- ・Dynamic Reconfiguration の有効時
- ・Memory Scale-up Board を含む構成
- ・SB#2、または、SB#3 を含む SB 枚数が 2 枚以上の構成

[CPU Configuration] メニューで設定した全ての項目は、Reserved SB に切り替わった場合も引き継がれます。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.18 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

項目	説明
↑↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

#### 表 3.18 操作ヘルプ表示部の表示内容

## 3.4.4 [PCI Subsystem Configuration]メニュー

[PCI Subsystem Configuration] メニューでは、PCI カードの Option ROM の設定等が行えます。 [PCI Subsystem Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を、以下に示します。



図 3.16 [PCI Subsystem Configuration]メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[PCI Subsystem Configuration]と表示されます。

#### (2) メニュー選択部

「表 3.19 メニュー選択部の表示内容」に示すメニューが表示されます。

表 3.19 メニュー選択部の表示
-------------------

項目	表示内容
PCI ROM Priority	EFI と Legacy の Option ROM がある場合に,起動する Option ROM を指定
	する。
	・ Legacy ROM: Legacy OS を起動するときに選択する。
	・ EFI Compatible ROM: UEFI Aware OS を起動するときに選択する。
	テノオルトは EFI Compatible ROM。 備考
	"Dynamic Reconfiguration" もしくは" Attempt Secure Boot "の設定が
	[Enabled]のとさには「EFI Compatible ROM」となり、設定変更はできな
ASPM Support	い。 DCL Evoness リンクの電道管理として Active State Dower Management
	(ASPM)を使用する。ただし、ASPM が有効になっていても、PCI Fxpress
	アダプタまたはオンボードコントローラが ASPM をサポートしていなければ
	リンクが有効にならない。
	• Disabled
	• Auto
	• Limit to LOs
	テフォルトは Disabled。
Number of bus# Padded to slot	PULExpress Slot に割り当てる八人数を変更する。
	. 7
	• 3
	デフォルトは 1。
	MMBの PCI Address Mode が[PCI Segment Mode]かつ、
	pci_express_mode が[Flexible I/0]のときは、この設定によらず PCI
	Express Slot に 3 以上のバスを割り当てます。
Above 4G decoding	4G 以上の Memory Mapped I/O の有効/無効を設定する。
	Disabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	・ Enabled デフォルトは Disabled
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/	
2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/	
2800E2/2800L2 で利用可能です	
PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/	
2400E/2400L/2800E/2800L では	
BA14063 版以降で利用可能です]	

項目	表示内容
OpROM MMIO Assignment	OpROM を MMIO に割り当てるかを設定する。 Enable で使用すること。
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 で利用可能です	・ Disabled ・ Enabled デフォルトは Enabled。
PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/ 2400E/2400L/2800E/2800L では BA14081 版以降で利用可能です]	
Internal LAN *1	内蔵 LAN の有効/無効を設定する。
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利 用可能です PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/ 2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 では BB15074 版以降で利用可能です PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/ 2400E/2400L/2800E/2800L では BA15072 版以降で利用可能です]	・ Disabled ・ Enabled デフォルトは Enabled。
OpROM Scan Configuration	OpROM Scan Configuration メニューを開く。
I/O Space Assignment Configuration Commit Changes and Exit	I/O Space Assignment Configuration メニューを開く。 設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。 注意 設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
Discard Channes and Exit	EXIL」かりスーユーを扱けること。 設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

\*1: 拡張パーティションでは表示しない。また、拡張パーティションでは Enabled で動作します。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.20 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

#### 表 3.20 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

### 3.4.4.1 [OpROM Scan Configuration] メニュー

[OpROM Scan Configuration]メニューでは、各 IOU、PCI Box に搭載されている PCI カードの Option ROM の設定等が 行えます。

[OpROM Scan Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を、以下に示します。

	OpROM Scan Configuratio	m
Onboard RAID OpROM IOUHO DUSlot#0 OpROM Slot#0 OpROM Slot#1 OpROM Slot#2 OpROM Slot#3 OpROM IOU#1 DUSlot#1 OpROM Slot#1 OpROM Slot#1 OpROM Slot#2 OpROM Slot#3 OpROM	<enabled> <disabled> <disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></enabled>	Enable or disable option ROM execution for device in onboard raid.
PUS Lot #0_ On BOM	<enahled≥^< th=""><th>•</th></enahled≥^<>	•

図 3.17 [IOU OpROM Scan Configuration] メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[OpROM Scan Configuration]と表示されます。

(2) メニュー選択部

「表 3.21 メニュー選択部の表示内容(1/2)および表 3.22 メニュー選択部の表示内容(2/2)」に示すメニュー が表示されます。

表 3.21	メニュー選択部の表示内容	(1/2)
--------	--------------	-------

項目	表示内容	備考
Onboard RAID	SB に内蔵される RAID カードの Legacy OpROM の有効/	
OpROM	無効を設定する	
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Enabled。	
IOU#0	IOU#0 のスロット(表示のみ)	
DUSlot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	DU#0 Slot#0 に対する設定
	を設定する。	
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Enabled。	

Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 と認定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 CM#1 O PCI Express スロット#0 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 CM#1 O PCI Express スロット#1 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 CM#1 O PCI Express スロット#1 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 CM#1 O PCI Express スロット#2 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/m効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM A を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled. Slot#3 OpROM A E K載 E C K K K K K K K K K K K K K	項目	表示内容	備考
を設定する。     に対する設定       ・ Enabled     ・       ・ Enabled     ・       デフォルトは Disabled     ・       デフォルトは Disabled     ・       アンカルトは Disabled     ・	Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#0のPCI Express スロット#0
・ Enabled       ・ Disabled         ジョントは Disabled.       0040 の PCI Express スロット#1         Slot#1 OpROM       搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効       0040 の PCI Express スロット#1         と設定する。       Enabled       ic対する設定         Slot#2 OpROM       搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効       10040 の PCI Express スロット#2         を設定する。       Enabled       ic対する設定         ・ Enabled       Disabled       アフォルトは Disabled.         Slot#3 OpROM       搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効       10040 の PCI Express スロット#2         を設定する。       - Enabled       Disabled         デフォルトは Disabled.       - Enabled       Disabled         デフォルトは Disabled.       - Enabled       Disabled         デフォルトは Disabled.       - Enabled       Disabled         デフォルトは Disabled       - Disabled       - Enabled         ・ Disabled       - Disabled       - Enabled         ・ Disabled       - Disabled       - Enabled         ・ Disabled       - Disabled       - Disabled         デフォルトは Disabled       - Disabled       - Disabled         デフォルトは Disabled.       - Enabled       - Disabled         ・ Disabled       - Disabled       - Enabled         ・ Disabled       - Disabled       - Disabled <td></td> <td>を設定する。</td> <td>に対する設定</td>		を設定する。	に対する設定
・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#0 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 0pR0M搭載式れている PCI カードの Legacy 0pR0M の有効/用効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#0 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#2 0pR0M搭載式れている PCI カードの Legacy 0pR0M の有効/用効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 0pR0M搭載式れている PCI カードの Legacy 0pR0M の有効/用効 ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disa		• Enabled	
デフォルトは Disabled。IOU#10 PROMSlot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効)IOU#0 の PCI Express スロット#1 に対する設定と Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効)IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定と Express を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定IOU#1IOU#1 のスロット (表示のみ) DUSlot#1 OpROMEnabled ・ Disabled.IOU#1 の Slot#1 IC対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/(気効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled <		• Disabled	
Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#0 の PCI Express スロット#1 を設定する。 にわbled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#0 の PCI Express スロット#2 を設定する。 におする設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 を設定する。 にあbled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#1 の DCI = xpress スロット#0 を設定する。 にabled ・ Disabled デフォルトは Enabled. Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効 IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトレ Disabled アカルトレ Dioabled デフォルトレ Disabled		デフォルトは Disabled。	
<ul> <li>を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> <li>Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> <li>Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定</li> <li>を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> <li>DU#1 ODU#1 OZU &gt; (表示のみ)</li> <li>DUSIot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 Slot#1 に対する設定</li> <li>を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> <li>DU#0 Slot#1 に対する設定</li> <li>を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7 オルトは Disabled.</li> <li>DU#0 Slot#1 City FCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#1 O PCI Express スロット#0 Express スロット#0 Express スロット#0 Express スロット#0 Express スロット#0 Express スロット#1 Express スロット#2 Express スロット#2 Express スロット#2 Express スロット#2 Express スロット#1 Express スロット#2 Express スロット#2 Express スロット#1 Express スロット#2 Express スロット#4 Express A Express</li></ul>	Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#0のPCI Express スロット#1
・ Enabled ・ Disabled ・ Josabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled<		を設定する。	に対する設定
・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#0 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 でフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ To Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ To Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled 		• Enabled	
デフォルトは Disabled.ビスサントは Disabled.Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ) アフォルトは Disabled.DU#0 Slot#1 に対する設定 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ) アフォルトは Disabled.DU#0 Slot#1 に対する設定 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled.IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ) アフォルトは Enabled.IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled.Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1 (大対する設定 ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled.Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。 ・ Enabled.Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。 ・ Enabled.Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定 ・ Enabled.Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#3 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled.IOU#1 の PCI Express		• Disabled	
Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 の PCI Express スロット#2 を認定する。 - Enabled - Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#0 の PCI Express スロット#3 を設定する。 - Enabled - Disabled デフォルトは Disabled。 IOU#1 の Zロット (表示のみ) DUSIot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 DUSIot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 - Enabled - Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 - Enabled - Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 - Enabled - Disabled デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled。 デフォルトは Disabled。 Fフォルトは Disabled。 - Disabled デフォルトは Disabled。 - Enabled - Disabled - Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 と説定する。 - Enabled - Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 - Enabled - Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 - Enabled - Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 - Enabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 - Enabled - Disabled - Toratu トは Disabled。 - Enabled - Disabled - Toratu トは Disabled - Toratu トは Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled - Toratu トは Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled - Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled - Toratu トは Disabled - Disabled - Toratu トは Disabled - D		デフォルトは Disabled。	
を設定する。 - Enabled - Disabled - D	Slot#2 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#0 の PCI Express スロット#2
・ Enabled ・ Disabled ブフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定Slot#3 OpROM据載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#0 の PCI Express スロット#3 に対する設定IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)DU#0 Slot#1 に対する設定 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled.DU#0 Slot#1 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#3 に対する設定Slot#3 OpROM括載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#3 に対する設定Slot#3 OpROM括載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled <td></td> <td>を設定する。</td> <td>に対する設定</td>		を設定する。	に対する設定
・ Disabled デフォルトは Disabled。OU#0 OPCI Express スロット#3 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。OU#0 OPCI Express スロット#3 に対する設定IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)IOU#0 OPCI Express スロット#3 に対する設定DUSIot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。IOU#1 OPCI Express スロット#0 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。IOU#1 oPCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabl		• Enabled	
デフォルトは Disabled。(U)(#0 O PCI Express スロット#3 (た対する設定 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定 デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled <td></td> <td>• Disabled</td> <td></td>		• Disabled	
Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 IOU#1 OU#1 のスロット(表示のみ) DUSlot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 To isabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 Enabled Disabled デフォルトは Disabled。 To isabled デフォルトは Disabled。 To isabled デフォルトは Disabled。 To isabled デフォルトは Disabled。 To isabled FT T Tいトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 Enabled Disabled TO isabled TO isabled TO isabled Disabled TO isabled Disabled TO isabled Disabled TO isabled Disabled TO isabled Disab		デフォルトは Disabled。	
を設定する。に対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled.IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)DUSIot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。DU#0 Slot#1 に対する設定*Enabled・Disabledデフォルトは Enabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0を設定する。Enabled・Disabledデフォルトは Enabled.IOU#1 の PCI Express スロット#0を設定する。Enabled・Disabledデフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1を設定する。Enabled.・Disabledデフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#1を設定する。Enabled.·Disabled.デフォルトは Disabled.IOU#1 の PCI Express スロット#2Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効FinabledDisabled・Enabled.・Disabledデフォルトは DisabledIOU#1 の PCI Express スロット#3を設定する。Enabled・Enabled・Enabled・Enabled・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled・Enabled・<	Slot#3 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#0のPCI Express スロット#3
・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。Out#1Out#1 のスロット(表示のみ)DUSIot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。OU#0 Slot#1 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ To Legacy OpROM の有効/無効 と認定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled 		を設定する。	に対する設定
・ Disabled デフォルトは Disabled。DisabledIOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)DUSIot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。DU#0 Slot#1 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効(無効) を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled <b< td=""><td></td><td>• Enabled</td><td></td></b<>		• Enabled	
マフォルトは Disabled。Uliabled。IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)DUSlot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。DU#0 Slot#1 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled<		• Disabled	
IOU#1IOU#1 のスロット(表示のみ)IOU#1DUSIot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。DU#0 Slot#1 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ D		デフォルトは Disabled。	
DUSIot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。 Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 と設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 と設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM	100#1	IOU#1 のスロット(表示のみ)	
を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Enabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Totabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ 	DUSlot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	DU#0 Slot#1 に対する設定
<ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Fフォルトは Enabled。</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Enabled。</li> <li>Slot#0 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#1 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 のisabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Fフォルトは Disabled</li> <li>Fフォルトは Disabled</li> <li>FT オルトは Disabled</li> <li>FT オルトは Disabled</li> <li>FT オルトは Disabled</li> </ul> </li> </ul>		を設定する。	
<ul> <li>Disabled デフォルトは Enabled。</li> <li>Slot#0 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#1 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 で設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#1 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 で設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 で設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 下フォルトは Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> </ul> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7フォルトは Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>Finabled</li> <li>Disabled</li> <li>Frabled</li> <li>Disabled</li> <li>F7マォルトは Disabled</li> <li>Frabled</li> <li>Disabled</li> <li>Frature Lipitabled</li> <li>Frabled</li>		• Enabled	
Slot#0 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定 IOU#1 の PCI Express スロット#0 に対する設定 IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定 に対する設定 IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定 IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定 IOU#1 の PCI Express スロット#2 IOU#1 の PCI Express スロット#3 Express スロット#3 Express スロット#3 Express スロット#3 Lipt Disabled T フォルトは Disabled 		· Disabled	
Slot#0 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM		デフォルトは Enabled。	
を設定する。に対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1を設定する。に対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1た設定する。ic対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2を設定する。ic対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2を設定する。ic対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#3を設定する。ic対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabledic対する設定・Enabled・Disabledデフォルトは Disabledic対する設定・Enabled・Disabled	Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#1のPCI Express スロット#0
<ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Disabled</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Disabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Disabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Disabled</li> <li>Jisabled</li> <li>Disabled</li> <li>Disabled&lt;</li></ul>		を設定する。	に対する設定
<ul> <li>Disabled デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> <li>Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul> </li> </ul>		• Enabled	
Slot#1 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#1 に対する設定Slot#2 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定Slot#3 OpROM搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled ・ Disabled 			
Slot#1 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 IOU#1 の PCI Express スロット#1 を設定する。 にabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 IOU#1 の PCI Express スロット#2 を設定する。 にabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ジフォルトは Disabled。 IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 IOU#1 の PCI Express スロット#3 に対する設定		テフォルトは Disabled。	
を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled	Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#1のPCI Express スロット#1
<ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Jisabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>IOU#1 の PCI Express スロット#2</li> <li>に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul>		を設定する。	に対する設定
<ul> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#2 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 に対する設定</li> <li>IOU#1 の PCI Express スロット#2 に対する設定</li> <li>IOU#1 の PCI Express スロット#3 に対する設定</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>Disabled</li> <li>Tフォルトは Disabled</li> </ul>		• Enabled	
Slot#2 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled			
Slot#2 OpROM 指載されてしる PCF ガードの Legacy OpROM の有効/無効 100#1 の PCF Express スロッド#2 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCF カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 に対する設定 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled			
を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。 Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled ・ Disabled ・ Disabled	SIOC#2 UPROM	招戦されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効 たいのオス	100#1のPCI Express スロット#2
<ul> <li>Disabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> <li>Slot#3 OpROM</li> <li>搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効</li> <li>IOU#1 の PCI Express スロット#3</li> <li>を設定する。</li> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled</li> </ul>		を設定9る。 - Epobled	に対9つ設定
デフォルトは Disabled     デフォルトは Disabled。       Slot#3 OpROM     搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効     IOU#1 の PCI Express スロット#3       を設定する。     に対する設定       ・ Enabled     Disabled       ・ Disabled     デフォルトは Disabled			
Slot#3 OpROM 搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled			
Siot#3 Opicinia Pict Disabled	Slot#2 OpDOM	ブノオルドは Disableu。 塔載されている DCI カードの Logacy OpDOM の方効/無効	
・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled		指載されているPCI カードの Legacy Opicom の有効/無効 を設定する	100#1のPCI Expless スロット#3 に対する設定
・ Disabled デフォルトは Disabled		reaxes α.	
デフォルトは Disabled			
		デフォルトは Disabled。	
101/#2 101/#2 のスロット(表示のみ)	10U#2	1011#2 のスロット(表示のみ)	

項目	表示内容	備考
DUSIot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	DU#1 Slot#0 に対する設定
	を設定する。	
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Enabled。	
Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#2 の PCI Express スロット#0
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#2 の PCI Express スロット#1
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#2 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#2のPCI Express スロット#2
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
Slot#3 OpROM	拾載されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効	IOU#2のPCI Express スロット#3
	を設定りる。	に刈りる設定
	• Elidbled	
1011#3		
	塔載されている PCI カードの Legacy On POM の有効/無効	
	た設定する。	
	• Enabled	
	Disabled	
	デフォルトは Enabled。	
Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#3のPCI Express スロット#0
	を設定する。	「 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#3のPCI Express スロット#1
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#2 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#3の PCI Express スロット#2
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	

項目	表示内容	備考
Slot#3 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	IOU#3のPCI Express スロット#3
	を設定する。	に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	

項目	表示内容	備考
PCI Box#0	PCI Box#0 のスロット(表示のみ)	
Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効を設定する。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#0 に対する設定
	<ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>デフォルトは Disabled。</li> </ul>	
Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#1 に対する設定
Slot#2 OpROM	<ul> <li>         がすからな Disabled。     </li> <li>         搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効         を設定する。         <ul> <li>Enabled</li> <li>Disabled</li> <li>ブスルトは Disabled。</li> </ul> </li> </ul>	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#2 に対する設定
Slot#3 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#3 に対する設定
Slot#4 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#4 に対する設定
Slot#5 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#5 に対する設定
Slot#6 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#6 に対する設定
Slot#7 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#7 に対する設定
Slot#8 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効 を設定する。 ・ Enabled ・ Disabled デフォルトは Disabled。	PCI ボックス#0 の PCI Express ス ロット#8 に対する設定

#### 表 3.22 メニュー選択部の表示内容(2/2)

項目	表示内容	備考
Slot#9 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#0 の PCI Express ス
	を設定する。	. ロット#9 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#10 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#0 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#10 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#11 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#0 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#11 に対する設定
	Enabled	
PCI Box#1		
Slot#U OpkOM	拾載されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効 たいウォス	PCI ホックス#1 の PCI Express スロット #0 に対する記字
	で 設定 りる。 「Tachlad	ロット#0に対9る設定
	• Elidbleu	
	デフォルトは Disabled	
Slot#1 OpPOM		PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	た設定する。	ロット#1 に対する設定
	· Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#2 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#2 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slo#3 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#3 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#4 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#4 に対する設定
	Enabled	
	テフォルトは Disabled。	
SIOT#2 ObkOW	拾載されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効	PUIボックス#1のPUIExpressスロットルにに対する記念
	で     む     だ         び         び         び	ロッ P#5 に刈 9 る設正
	・ UISdDIEU デフォルトは Disabled	
	ノ ノ オ ハ ト は DISableu。	

項目	表示内容	備考
Slot#6 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#6 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#7 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#7 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#8 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#8 に対する設定
	Enabled	
	テフォルトは Disabled。	
Slot#9 OpROM	拾載されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効 を記つする	PCI ホックス#1 の PCI Express スロット 40 に対する記字
	で設定9 る。	ロット#9に対する設定
	= Disabled	
	ブラオルドは Disabled。 塔載されている DCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
		「ロット#10に対する設定
	· Enabled	
	Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#11 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#1 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#11 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
PCI Box#2	PCI Box#2 のスロット(表示のみ)	
Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#0 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#1に対する設定
	テノオルトは DISADIEO。 塔載されている DCLカードの Loggan OpDOM の方効/無効	DCL ボックフォンの DCL Exprose フ
	「 <sup>11</sup> 戦ですこといる PCI ハートの Legacy UpiKUM の有効/無効 を設定する	FCI ホックス#Z の FCI EXPIESS スロット#2 に対する設守
	د تعدر با من ب Enabled	
	デフォルトは Disabled。	

項目	表示内容	備考
Slot#3 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#3 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#4 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#4 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#5 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#5 に対する設定
	• Enabled	
SIOC#6 ОРКОМ	招戦 CALCUS PLI ガートの Legacy UpRUM の有効/無効 たい マオス	PCI ホックス#2 の PCI Express ス ロット#6 に対する記字
	で で た り る。 、	ロット#0に対する設定
	デフォルトは Disabled	
Slot#7 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#7 に対する設定
	• Enabled	
	Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#8 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#8 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#9 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#9 に対する設定
	• Enabled	
	· Disabled	
Slot#TU OpkOM	拾載されている PCI カートの Legacy UpRUM の有効/無効 たいウォス	PCI ホックス#2 の PCI Express ス ロット #10 に対する部室
	を設定9る。 - Epobled	ロット#10に対9つ設定
	・ Disabled デフォルトは Disabled	
Slot#11 OpPOM	ブラオルドは Disableu。 塔載されている PCI カードの Legacy OnPOM の有効/無効	PCI ボックス#2 の PCI Express ス
	た設定する。	ロット#11に対する設定
	· Enabled	
	Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
PCI Box#3	PCI Box#3 のスロット(表示のみ)	

項目	表示内容	備考
Slot#0 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
•	を設定する。	. ロット#0 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#1 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#1 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#2 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#2 に対する設定
	• Enabled	
Slot#3 OpROM	拾載されている PCI カードの Legacy UpRUM の有効/無効	PCI ホックス#3 の PCI Express ス
	を設定9る。	ロット#3に対9る設定
	・ Disabled デフォルトは Disabled	
Slot#4 OpPOM	メリントは Disableu。 塔載されている PCI カードの Legacy OnPOM の有効/無効	PCI ボックス#3の PCI Express ス
	お設定する。	ロット44に対する設定
	· Fnabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#5 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
•	を設定する。	 ロット#5 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#6 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#6 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#7 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#7 に対する設定
	• Enabled	
	· Disabled	
Slot#8 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#8に対する設定
	・ DISADIEO デフォルトは Disablad	
	テノオルトは DISdDIEU。 塔載されている DCI カードの Lagacy OsDOM の方効/無効	DCL ボックフ#2のDCL Exprose フ
2101#3.0hk010	10戦で11でいる PCI ハードの Legacy UpiKUM の有効/無効	r ci ホッンス#3 の PCi EXPIESS ス ロット#0 に対する設定
	remarkey ω • Fnahlad	ロノド#フに刈りる設化
	デフォルトは Disabled。	
L		

項目	表示内容	備考
Slot#10 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#10 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Slot#11 OpROM	搭載されている PCI カードの Legacy OpROM の有効/無効	PCI ボックス#3 の PCI Express ス
	を設定する。	ロット#11 に対する設定
	• Enabled	
	• Disabled	
	デフォルトは Disabled。	
Commit Changes and	設定変更した内容を保存後、本メニューを抜ける	
Exit	注意	
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit	
	Changes and Exit」からメニューを抜けること。	
Discard Changes and	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューを抜ける	
Exit		

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.23 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

#### 表 3.23 操作ヘルプ表示部の表示内容

### 3.4.4.2 [I/O Space Assignment Configuration] メニュー

[I/O Space Assignment Configuration] メニューでは、システム内の各種 I/O デバイスの I/O 空間割当てについて設定で きます。UEFI はシステムリセット実行後、本メニューで[Auto]または[Force]に設定されている I/O デバイスに対して、 I/O 空間を割り当てます。I/O 空間を割り当て可能なデバイス数は限られており、I/O 空間を割り当てられないデバイスも あります。確実に I/O 空間を割り当てるには、以下のようにします。

- I/O 空間を割り当てたいデバイスに対して、[Force]を設定します。
- 本メニューで I/O 空間割当てを設定してシステムリセットした後、再度、本メニューを開いて該当デバイスに I/O 空間が割り当てられていることを確認します

本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。

[I/O Space Assignment Configuration] メニューの起動直後の画面表示例を、以下に示します。



図 3.18 [I/O Space Assignment Configuration] メニューの表示例

#### (1) ページ情報表示部

[I/O Space Assignment Configuration] と表示されます。
メニューには、「表 3.24 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表 3.24 メニュー選択部の表示内容

項目	表示内容
(I/O デバイス情報)	
Slot#	オンボードデバイスの場合は"OnBoard"と表示する。
	SB内蔵デバイスの場合は"SB#"と表示する。
	また, Slot の場合は PCI Slot 番号(10 進数)を表示し、SB の場合は SB 番号を表示する。
Device	デバイス種別を表示する。
Status	現在 I/O 空間が割り当てられているかどうかの情報を表示する。
	Assigned:I/O 空間が割り当てられている
	n/a:I/O 空間が割り当てられていない
Setting	設定値情報を表示。設定項目は以下のとおり
(*1)	Force: I/O 空間を割り当てる。
	[Force]設定されたデバイスは、[Auto]設定されたデバイスより優先して I/O 空間
	が割り当てられる。
	ただし、割り当て可能なスロット数を超えて[Force]に設定しようとするとエラー
	メッセージが表示される。
	Auto:I/O 空間が不足しない限り、I/O 空間を割り当てる
	Disabled:I/O 空間を割り当てない。
	デフォルト設定は Auto。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and Exit」からメニュ
	ーを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの機能設定を引き継ぐため、表示のみです。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.25 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.25 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

# 3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー

[iSCSI Configuration] メニューでは、[LAN Remote Boot Configuration] メニューで UEFI(PXE/iSCSI)に設定した IOU のネットワークポート、および拡張カードのネットワークポートに対して、UEFI Aware OS の iSCSI ブートの環境を設定 できます。 メニューには、iSCSI ブートが可能なネットワークポートが表示されます。iSCSI ブートさせるネットワーク ポートを選択し、各種設定をすることで対象デバイスからの iSCSI ブートが可能となります。 本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。

[iSCSI Configuration] メニューの表示例を、以下に示します。





(1) ページ情報表示部

[iSCSI Configuration] と表示されます。

メニューには、「表 3.26 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

項目	表示内容
iSCSI Initiator Name	iSCSI Initiator Name を設定する。
Add an Attempt	MAC Selection メニューを開く。
Attempt xxxx	xxxx は[Attempt Configuration]メニューの「iSCSI Attempt
	Name」で設定された名前が表示される。
	Attempt Configuration メニューを開く。
	備考
	iSCSI が有効になっている LAN ポートの数だけ表示される。
Delete Attempt	Delete Attempt メニューを開く。
Change Attempt Order	Change Attempt Order メニューを開く。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.27 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.27 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

#### ■ iSCSI 環境設定

iSCSI 環境の設定は、以下の手順で実施します。

Initiator Name を設定するには、[iSCSI Initiator Name] を設定します。
 入力できる文字数は 4~223 文字です。

図 3.20 iSCSI 環	環設定操作画面(1)
----------------	------------

	iSCSI Configuration	
iSCSI Initiator Name	iqn.2012-01.com.fujitsu:ca Add an Atte ssiopeia	mpt
▶ Add an Attempt		
▶ Delete Attempts		
▶ Change Attempt Order		
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry Esc=Exit</enter>	

#### 備考

- IQN 名と関係ない文字列を入力すると、[Invalid iSCSI Name!] というポップアップ画面が表示されます。
- 入力した文字数が足りない場合は、[Please enter enough characters Press ENTER to continue]というポップアップ画面が表示されます。
- ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
   0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()\*+、-./:;<=>?@[\]^\_`{|}~
- 2. Attempt を作成します。[iSCSI Configuration]メニューの「Add an Attempt」にカーソルを合わせ、[Enter]キー を押します。

3. 「図 3.21 iSCSI 環境設定 操作画面(2) [MAC Selection]メニュー」のように表示されます。[MAC Selection]メ ニューの詳細は、「3.4.5.1 [MAC Selection]メニュー」を参照してください。



図 3.21 iSCSI 環境設定 操作画面(2) [MAC Selection]メニュー

iSCSI ブートをさせたいネットワークポートにカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。

4. 「図 3.22 iSCSI 環境設定操作画面(3) [Attempt Configuration] メニュー」のように表示されます。「図 3.22 iSCSI 環境設定操作画面(3) [Attempt Configuration] メニュー」の詳細は、「3.4.5.2 [Attempt Configuration] メニュー」を参照してください。

SCSI Attempt Name	0	The human name
iSCSI Mode	<disabled></disabled>	attempt.
Internet Protocol	<ip4></ip4>	
Connection Retry Count Connection Establishing Timeout	[0] [1000]	
ISID	2CD444F1444A	
Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask	[] 0.0.0 0.0.0	

図 3.22 iSCSI 環境設定操作画面(3) [Attempt Configuration] メニュー

設定したい項目にカーソル位置を合わせて、それぞれ設定します。

- 5. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Save Changes] を選択し、[Enter] キーを押します。
- 6. 設定変更を保存せず本メニューを抜けるには、[Back to Previous Page]を選択し、[Enter] キーを押します。

### 3.4.5.1 [MAC Selection]メニュー

[MAC selection]メニューでは、iSCSI ブートさせたいネットワークポートを選択できます。 [MAC Selection] メニュー起動直後の画面表示例を、以下に示します。



(1) ページ情報表示部

[MAC Selection] と表示されます。

(2) メニュー選択部

「表 3.28 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

表	3.28	メニュー選択部の表示内容

項目	表示内容
MAC xx:xx:xx:xx:xx:xx	[]メニューを表示する。
	備考
	xx:xx:xx:xx:xx は、MAC アドレス。
	iSCSI 設定可能なデバイスは、MAC アドレス形式で表示される。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.29 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー」へ戻る。

#### 表 3.29 操作ヘルプ表示部の表示内容

## 3.4.5.2 [Attempt Configuration]メニュー

[Attempt Configuration]メニューでは、「3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー」で選択した Attempt xxxx または、 「3.4.5.1 [MAC Selection]メニュー」で選択したネットワークポート MAC xx:xx:xx:xx に対して iSCSI ブートに 関する各種設定を行えます。本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。 [Attempt Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を、以下に示します。





(1) ページ情報表示部

[Attempt Configuration] と表示されます。

「表 3.30 メニュー選択部の表示内容」に示すメニューが表示されます。

表 3.30	メニュー選択部の表示内容

項目	表示内容
iSCSI Attempt Name	iSCSI 設定の名前を設定する。
	ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
	0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()*+、/:;<=>?@[\]^_`
	{ }
	デフォルトは登録された Attempt 数+1。
iSCSI Mode	iSCSI boot 設定の有効/無効を設定する。
	Enabled for MPIO
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Disabled。
Internet Protocol	Internet Protocol を選択する。
	· IP4
	· IP6
	Autoconfigure
	デフォルトは IP4。
	備考
	Autoconfigure] に設定すると、IPv4 で iSCSI フートを実行し、失
	敗した場合には IPv6 で iSCSI フートを試みる。
Connection Retry Count	リトライ回数を設定する。
	$\cdot 0 \sim 16$
Connection Establishing Timeout	タイムアワト値を設定する。甲位はミリ秒。
ISID	ISID (イーンエーダかダーケットとのセッションを唯立するさいに使
	用9るID)のトゥ桁を必要に応して入力9る。
	テノオルトは MAL アトレスから生成される。 ##
	・ 入力した文子数が走りない場合は、[Please enter enough sharastars Drace [NITED to continue] トレンディルプマルプ画面も
	CHAIdcleis Piess ENTER to continue」 というホックアック画面が ま二される
	衣小C11る。 、 ISID に 7 桁い トたうカオスと "Errort Input is incorrort plaga
	isout 6 hox pumbers PLIST ポイプアップ画面がまテナれる 桁
	mputonex numbers: こいフボッファッフ 回面がなかされる。 約 物がら 版でも 16 進物値以外の値が今まれていると、その版け 0 と
	数がの前にも10進鉄値以外の値が含まれていると、その前は02 して入力される
	O(C)/(J) = 1(2)。 例) AR(YV7 × AR(000)
	DUCDの方効/無効を"フペーフキー"で設定する [Internet Dretecol]
	が[Autoconfigure]の時には表示されない
	[] .元2000
	[/] ・ロック デフォルトは Disabled
Initiator IP Addross (*1)	is csi lotiator 側のID アドレフを設定する
	JCJ   Initiation 関のドノドレスを改たする。
	ノ ノ オ ノレ ト 16 0.0.0.0。

項目	表示内容
Initiator Subnet Mask(*1)	iSCSI Initiator 側のサブネットマスクを設定する。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ DHCP 無効の場合に表
	示される。
	デフォルトは 0.0.0.0。
Gateway(*1)	ゲートウェイの IP アドレスを設定する。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ DHCP 無効の場合に表
	示される。
	デフォルトは 0.0.0.0。
Get Target info via DHCP(*1)	DHCP サーバから iSCSI Target の IP アドレス、ポートを取得する機能
	を"スペースキー"で設定する。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ DHCP 有効の場合に表
	示される。
	・ [] :無効
	・ [X] :有効
	デフォルトは無効。
Target Name	ターゲットの IQN 名を入力する。
	入力できる文字数は 4~223 文字。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ[Get Target info via
	DHCP]が無効の場合に表示される。
	備考
	・ IQN 名と関係ない文字列を入力すると、[Invalid iSCSI Name!] と
	いうポップアップ画面が表示される。
	・ 入力した文字数が足りない場合は、[Please enter enough
	characters Press ENTER to continue] というポップアップ画面が
	表示される。
	・ ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
	0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()*+、/:;<=>?@[\]^_`
	{ }
Target IP Address	ターゲットの IP アドレスを設定する。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ[Get Target info via
	DHCP] が無効の場合に表示される。
	デフォルトは 0.0.0.0。
	備考
	IP アドレス、サブネットマスクに不適切な値を入力すると、[Invalid
	IP Address!] というポップアップ画面が表示される。
Target Port	ターゲットの TCP リスニングポートを設定する。
	入力できる数値は 0~65535 (10 進数)。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ[Get Target info via
	DHCP」が無効の場合に表示される。
Boot LUN	ターケットの LUN 番号を設定する。
	[Internet Protocol]が[IP4]/[IP6]の時で、かつ[Get Target info via
	DHCP」が無効の場合に表示される。数値は、以下の形式で入力する。
	x ~ xxxx-xxxx-xxxx (16 進数)
Authentication Type	Authentication Type を設定する。
	• None
	• СНАР
	デフォルトは CHAP。

項目	表示内容
СНАР Туре	CHAP タイプを設定する。
	[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。
	• One way
	• Mutual
	デフォルトは One way。
CHAP Name	CHAP ユーザー名を入力する。
	[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。
	人力できる文字数は125文字。
	U-9、A-Z、3-Z、! # \$ % & () * + 、/:;< = > ? @ [\]^_
	( )~ (UAD パフロー ドたし カオス
CHAP Secret	LHAP バスクートを入りする。 [Authoptication Type]が[Nepe]の提合にはまテされたい
	$\lambda$ 山できる文字数は 12~16 文字
	備老
	・ 入力した文字数が足りない場合は、「Please enter enough
	characters Press ENTER to continuel というポップアップ画面が
	表示される。
	・ ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
	0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()*+、/:;<=>?@[\]^``
	{ }~
Reverse CHAP Name	CHAP ユーザー名を入力する。
	[CHAP Type]が[One way]の場合には表示されない。また、
	[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。
	入力できる文字数は 125 文字。
	備考
	ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
	0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()*+、/:;<=>?@[\]^_'{ }
Reverse CHAP Secret	(HAP バスワードを入力する。
	[LHAP Type]か[Une way]の場合には表示されない。また、
	[AUTNENTICATION TYPE]か[NONE]の場合には衣示されない。 ユカズキス文字数は 12-16 文字
	入力できる文子数は 12~10 文子。 歴者
	M15 ・ 入力した文字物が足りたい提合け [Dlassa aptor apough
	・ ハリリンスチェンション いるしない 「Flease enter enough characters Press ENTER to continue] というポップアップ雨面が
	ま示される。
	・ ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。
	0-9, A-Z, a-z, !"#\$%&'()*+,/::<=>?@[\]^ '
	{ }~
Save Changes	設定変更した内容を保存する。
	注意
	設定を変更した提合は、必ず「Sava Changes」した後、「Fee」ズメ
	「マーケ抜けること。
Back to Previous Page	一一 これと ひここ。 設定変更した内容をキャンヤル後、本メニューを抜ける。
Reverse CHAP Name Reverse CHAP Secret Save Changes Back to Previous Page	<ul> <li>{ }~</li> <li>CHAP ユーザー名を入力する。</li> <li>[CHAP Type]が[One way]の場合には表示されない。また、</li> <li>[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。</li> <li>入力できる文字数は 125 文字。</li> <li>備考</li> <li>ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。</li> <li>0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&amp;'()*+、/:;&lt;=&gt;?@[\]^_'{ }~</li> <li>CHAP パスワードを入力する。</li> <li>[CHAP Type]が[One way]の場合には表示されない。また、</li> <li>[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。また、</li> <li>[Authentication Type]が[None]の場合には表示されない。</li> <li>入力できる文字数は 12~16 文字。</li> <li>備考</li> <li>入力した文字数が足りない場合は、[Please enter enough characters Press ENTER to continue] というポップアップ画面が表示される。</li> <li>ここでの入力可能文字種は、以下のとおり。</li> <li>0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&amp;'()*+、/:;&lt;=&gt;?@[\]^_'</li> <li>設定変更した内容を保存する。</li> <li>注意</li> <li>設定を変更した場合は、必ず [Save Changes] した後、「Esc」でメニューを抜けること。</li> <li>設定変更した内容をキャンセル後、本メニューを抜ける。</li> </ul>

\*1: Internet Protocol が IP6 に設定されている場合には表示されない。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.31 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑ ↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

#### 表 3.31 操作ヘルプ表示部の表示内容

### 3.4.5.3 [Delete Attempts]メニュー

[Delete Attempts]メニューでは、Attempt を削除することができ、そのネットワークポートに設定していた iSCSI 設定 を削除することができます。 本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。



図 3.25 [Delete Attempts]メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[Delete Attempts] と表示されます。

「表 3.32 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

項目	表示内容
Attempt xxxx	xxxx は「3.4.5.2[Attempt Configuration]メニュー」の「iSCSI
	Attempt Name」で設定された名前が表示される。
	Space キーを押すと"X"印がつく。この状態で、"Commit Changes
	and Exit"を選択すると、iSCSI 設定が削除される。
	· []
	・ [X] : この状態で「Commit Changes and Exit」を選択する
	と、iSCSI 設定が解除される。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### 表 3.32 メニュー選択部の表示内容

### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.33 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

#### 表 3.33 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー」へ戻る。

## 3.4.5.4 [Change Attempt Order]メニュー

[Change Attempt Order]メニューでは、iSCSI ブートさせるネットワークポートのブートの優先順位を設定できます。 本メニューで変更した設定は、システムリセットした後に有効となります。





(1) ページ情報表示部

[Change Attempt Order] と表示されます。

(2) メニュー選択部

「表 3.34 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

表 3.34 メニュー	選択部の表示内容
-------------	----------

項目	表示内容
Change Attempt Order	Attempt xxxx を選択して"+キー"で優先順位をあげることができ
	る。"-キー"で優先順位を下げることができる。
	xxxxは「3.4.5.2[Attempt Configuration]メニュー」の「iSCSI
	Attempt Name」で設定された名前が表示される。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.35 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑ ↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.4.5 [iSCSI Configuration] メニュー」へ戻る。

#### 表 3.35 操作ヘルプ表示部の表示内容

#### 備考

「図 3.26 [Change Attempt Order]メニューの表示例」は Attempt を選択後の画面表示例であるため、「表 3.35 操 作ヘルプ表示部の表示内容」と表示されている内容と異なります。

「表 3.35 操作ヘルプ表示部の表示内容」で表示されている内容は[Change Attempt Order]メニュー起動直後に表示 されるものです。

# 3.4.6 [Memory Configuration] メニュー

[Memory Configuration] メニューでは、メモリに関する設定が行えます。 本メニューで設定した変更は、システムリ セット実施後に有効となります。



[Memory Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を、以下に示します。

(1) ページ情報表示部

[Memory Configuration] と表示されます。

メニューには、「表 3.36 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

項目	説明
DIMM Speed (*1)	メモリモジュールの動作速度を設定する。
	[PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/
	2800L3/2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 の場
	合]
	DDR4 は 1.2V のみで動作するため表示されません。
	[PRIMEQUEST 2400S Lite/2400S/2400E/2400L/2800E/2800Lの場
	合]
	・ Performance Mode :動作可能な最高の周波数に設定する。
	・ Normal Mode :1.35V で動作可能な最高の周波数に設定する。
	デフォルトは Normal Mode。
Patrol Scrub (*1)	ー定間隔でメモリモジュール内を走査し、CE を検出した場合は訂正し
	たデータを書き戻す機能の有効/無効を設定する。
	Disabled
	• Enabled
	テフオルトは Disabled。
Refresh Rate (*1)	メモリのリフレッシュレートを設定する。
	· Auto
	テノオルトは AU[0。 メエリの Derives Chaba ち部ウオス
Memory Power States (*1)	メモリの Power State を設定する。
	• Default
[PRIMEQUEST 240053 Lite/240053/2400E3/	・ Performance mode
2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/	
2800E2/2800L2 で利用可能です	
PRIMEQUEST 2400S Lite/2400S/2400E/	
2400L/2800E/2800L では BA14063 版以降で	
利用可能です]	
DDR4 Command/Address Parity Check and	DDR4 Command/Address Parity Check and Retry 機能の有効・無効
Retry	を設定する。
(*1)	• Disabled
	• Enabled
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/	デフォルトは Enabled。
2400L3/2800E3/2800L3/	
2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/	
2800E2/2800L2 で利用可能です]	
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### 表 3.36 メニュー選択部の表示内容

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみであり設定することはできません。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.37 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.37 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

# 3.4.7 [USB Configuration]メニュー

[USB Configuration]メニューでは、USB に関する設定が行えます。

### 備考

USB コントローラーが割り当てられていない拡張パーティションでは、[USB Configuration]メニューは表示されません。

[USB Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を以下に示します。





(1) ページ情報表示部

[USB Configuration]と表示されます。

メニューには、「表 3.38 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表 3.38 メニュー選択部の表示内
--------------------

項目	表示内容
USB Devices:	使用可能な US ドライブ、US キーボード、US マウス、US ハブの数を表示す
	る。
	n Drive(s),n Keyboard(s), n Mouse(s), n Hub(s)
Legacy USB Support	USB レガシーサポートを利用できるかどうかを指定する。
	• Disabled
	• Enabled
	• Auto
	デフォルトは Enabled。
	備考
	OS を USB デバイスから起動する必要がある場合には、この機能を
	「Enabled」にするか「Auto」に設定する必要がある。
USB Port Disable(*1)	USB ポートの使用方法を設定する。無効にされた USB ポートは,POST 中に
	使用できず, OS でも使用できない。
	• Enabled
	• Disabled
	デフォルトは Enabled。
Mass Storage Devices:	デバイスのエミュレーション形式を設定する。
"接続デバイス名"	• Auto
	• Floppy
	Forced FDD
	• Hard Disk
	· CD-ROM
	デフォルトは Auto。
	備考
	「Auto」が選択されている場合、デバイスのメディア形式に従ってエミュレ
	ートされる。光ディスクドライブは「CD-ROM」としてエミュレートされ,
	メディアのないドライブはドライブタイプに応じてエミュレートされる。
	USB デバイスが接続されていない場合は表示されない。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Fxit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみであり設定することはできません。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.39 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

項目	説明
↑↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

#### 表 3.39 操作ヘルプ表示部の表示内容

# 3.4.8 [Security Configuration]メニュー

[Security Configuration]メニューでは、TPM に関する設定が行えます。

### 備考

拡張パーティションでは、TPM は使用できないため[Security Configuration]メニューは表示されません。 また、 TPM1.2 チップが搭載されていない場合も[Security Configuration]メニューは表示されません。

[Security Configuration] メニュー起動直後の画面表示例を以下に示します。



図 3.29 [Security Configuration]メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[Security Configuration]と表示されます。

「表 3.40 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

項目	表示内容
TPM Support	BIOS で TPM をサポートするかどうかを設定する。
	• Disabled
	• Enabled
	デフォルトは Disabled。
TPM State	TPM チップのステータスの設定を行う。
	• Disabled
	• Enabled
	デフォルトは Disabled。
	備考
	「TPM Support」で「Enabled」を選択した場合に表示される。
	「TPM State」の設定値に応じて、「TPM Enabled Status」と「TPM Active
	Status」の設定値が以下の通りに設定される。
	・ 「Enabled」を選択した場合
	TPM Enabled Status $\Rightarrow$ Enabled
	TPM Activate Status $\Rightarrow$ Activated
	・ 「Disabled」を選択した場合
	TPM Enabled Status $\Rightarrow$ Disabled
	TPM Activate Status $\Rightarrow$ Deactivated
Pending TPM operation	その他の TPM チップへの設定を行う
	• None
	Enable Take Ownership
	Disable Take Ownership
	• TPM Clear
	Pending IPM operation」は   IPM Support」で   Enabled」を選択した
	「Lurrent Status Information」の「IPM Enabled Status」か「Enabled」
	でのり、かつ「IPM Active Status」か「Activated」の場合に選択可能での
	る。それ以外の場合は選択でさない。
Current Status Information	IPM ナッフの現在のステーダスが表示される。IPM Support か Disabled 設 空時は"、CURPORT TURNER OFF"、トキニナヤス
	定时は SUPPORT TURNED UFF こ衣小される。
	注意 いての TDM Fashlad Status TDM Activists Status TDM Owner Status で
	以下の, TPM Eliabled Status, TPM Activate Status, TPM Owner Status C
	は、IPM CIIIP のヘノータヘルてのよよ衣小される。設定項目ではない。 ただし、「TDM Support」を「Disabled」から「Epabled」に設定変更した。
	にして、「TPM Support」を「Disabled」から「Eliabled」に設定支更した
	直後は、IPM (III) のスケータスが記めないため、ケクオルト値として [Disabled] [Deactivated] [Unowned] が表示される
TPM Enabled Status	
	・ [Fnahled] · [TPM State] で「Fnahled」を設定した場合
	[Lindbled] · 「TPM State」で「Disabled」を設定した場合
TPM Active Status	[TPM State]の設定値に応じて以下が表示される。
	・ [Activated] ・ [TPM State] で「Fnahled」を選択した場合
	・ [Deactivated] : 「TPM State」で「Disabled」を選択した場合。

項目	表示内容
TPM Owner Status	TPM チップが TPM の所有権を許可しているかどうかを示す。
	· [Owned]
	• [Unowned]
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.41 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

項目	説明
↑↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	本メニューの変更設定を保存せずに、「3.1 Boot Manager フロント
	ページ」へ戻る。

### 表 3.41 操作ヘルプ表示部の表示内容

# 3.4.9 [Security Configuration2]メニュー

[Security Configuration2]メニューでは、TPM に関する設定が行えます。

### 備考

拡張パーティションでは、TPM は使用できないため[Security Configuration2]メニューは表示されません。 また、 TPM2.0 チップが搭載されていない場合も[Security Configuration2]メニューは表示されません。

項目	表示内容
TPM2 Support	BIOS で TPM2.0 をサポートするかどうかを設定する。
	• Disabled
	• Enabled
	デフォルトは Disabled。
TPM2 Operation	TPM のデバイスに対しての操作を指定する。
	・ No Action : 何もしない
	・ Clear:設定を消去する
	デフォルトは No Action。
	「TPM2 Support」で「Enabled」を選択した場合に表示される。
	選択された操作が再起動後、TPM2.0のデバイスに対して実行される。

表 3.42 Security Configuration2の表示内容

# 3.4.10 [Secure Boot Configuration]メニュー

本機能は、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です。PRIMEQUEST 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2 では BB15053 版以降で利用可能です。 [Secure Boot Configuration] メニューでは、Secure Boot に関する設定が行えます。

項目	表示内容
Current Secure Boot State	Secure Boot の状態を表示する。
	・ Enabled : Secure Boot が有効な状態。
	・ Disabled ; Secure Boot が無効な状態。
	"Load Default Key"を選択し、初期キーをロードし、"Attempt Secure
	Boot"の設定を有効にした場合に Enabled となる。
	"Attempt Secure Boot"の設定が無効か、Platform Key を削除した場合に
	Disabledとなる。
Attempt Secure Boot	Secure Boot を設定する。
	・ []: 無効にする。
	・ [X]: 有効にする。
	デフォルトは[]:無効にする。
Secure Boot Mode	Secure Boot Mode を設定する。
	<ul> <li>Standard Mode: Key Management を変更できない。</li> </ul>
	<ul> <li>Custom Mode: Key Management を変更できる。</li> </ul>
	*メニューを抜けると Standard Mode に変更される。
	デフォルトは Standard Mode。
Custom Secure Boot Options	Custom Secure Boot Options メニューを開く。
	*Secure Boot Mode が Custom Mode の場合に表示される。

# 3.4.10.1 [Key Management]メニュー

[Key Management]メニューでは、Secure Bootの Key に関する設定を実施することが行えます。

項目	表示内容
Load Default Key	初期 Key をロードする。
PK Options	PK Options メニューを開く。
KEK Options	KEK Options メニューを開く。
DB Options	DB Options メニューを開く。
DBX Options	DBX Options メニューを開く。
[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/	DBT Options メニューを開く。
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利	
用可能です]	
DBT Options	

### 表 3.44 Key Management メニューの表示内容

# 3.4.10.2 [PK Options]メニュー

[PK Options]メニューでは、Platform Key に関する設定を実施することができます。

表 3.45	PK Options メニューの表示内容
--------	----------------------

項目	表示内容
Enroll PK	Platform Key が削除された状態で選択可能。
	Enroll PK メニューが表示され、「Enroll PK Using File」で新しい Platform
	Key を選択すると[Save PK File]メニューが表示される。
Delete PK	スペースキーで選択すると、以下のメッセージが表示され、'Y'キーを押す
	ことで、Platform Key を削除することができる。
	· []
	· [X]
	"Are you sure you want to delete PK? Secure boot will be disabled!
	Press 'Y' to delete PK and exit, 'N' to discard change and return "
	PK を削除すると、[Attempt Secure Boot]は Disabled に変更される。
	削除した状態でシステムを再起動すると、システム初期値の Platform Key が
	再登録される。

# 3.4.10.3 [Save PK file]メニュー

[Save PK file]メニューでは、Platform Key を登録することができます。

表 3.46 Save	PK file メニュ-	-の表示内容
-------------	--------------	--------

項目	表示内容
PK のファイル名	選択された Platform Key のファイル名が表示される。
Commit Changes and Exit	ファイ ルを 保存後,本メニューを抜ける。
	X509 規格の証明書でない場合や、ファイル拡張子が [cer/der/crt]でない場
	合はエラーメッセージを表示する。
	エラーメッセージ: " ERROR: Unsupported file type!"
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	保存せずに、本メニューを抜ける。

### 3.4.10.4 [KEK Options]メニュー

[KEK Options]メニューでは、Key Exchange Key に関する設定を実施することができます。

項目	表示内容
Enroll KEK	Enroll KEK メニューが表示される。
Delete KEK	Delete KEK メニューが表示される。

## 3.4.10.5 [Enroll KEK]メニュー

[Enroll KEK]メニューでは、Key Exchange Key に関する設定を実施することができます。

項目	表示内容	
Enroll KEK using File	Key Exchange Key ファイルを選択する。	
ファイル名	選択された Key Exchange Key のファイル名が表示される。	
Signature GUID	GUIDを設定する。	
	0000000-0000-0000-0000000000000	
Commit Changes and Exit	ファイ ルを 保存後,本メニューを抜ける。	
	X509 規格の証明書でない場合や、ファイル拡張子が [cer/der/crt]でない場	
	合、もしくは、RSA2048 形式 でファイル拡張子が[pbk]でない場合 はエラ	
	ーメッセージを表示する。	
	エラーメッセージ:" ERROR: Unsupported file type!"	
	注意	
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and	
	Exit」からメニューを抜けること。	
Discard Changes and Exit	保存せずに、本メニューを抜ける。	

### 表 3.48 Enroll KEK メニューの表示内容

### 3.4.10.6 [Delete KEK]メニュー

[Delete KEK]メニューでは、Key Exchange Key に関する設定を実施することができます。

### 表 3.49 Delete KEK メニューの表示内容

項目	表示内容
KEK の Signature GUID	スペースで選択すると、削除される。 ・ [] ・ [X] Key Exchange Key が 1 つもない状態で、システムを再起動すると、システ ム初期値の Key Exchange Key が再登録される。

## 3.4.10.7 [DB Options]メニュー

[DB Options]メニューでは、DB に関する設定を実施することができます。

|--|

項目	表示内容
Enroll Signature	Enroll Signature メニューが表示される。
Delete Signature	Delete Signature メニューが表示される。

# 3.4.10.8 [Enroll Signature]メニュー

[Enroll Signature]メニューでは、DB に関する設定を実施することができます。

項目	表示内容
Enroll Signature Using File	DB ファイルを選択する。
ファイル名	選択された DB のファイル名が表示される。
Signature GUID	GUIDを設定する。
	0000000-0000-0000-000000000000000000000
Commit Changes and Exit	ファイ ルを 保存後,本メニューを抜ける。
	X509 規格の証明書でない場合や、ファイル拡張子が [cer/der/crt]でない場
	合にエラーメッセージを表示する。
	エラーメッセージ:" ERROR: Unsupported file type!"
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	保存せずに、本メニューを抜ける。

### 表 3.51 Enroll Signature メニューの表示内容

# 3.4.10.9 [Delete Signature]メニュー

[Delete Signature]メニューでは、DB に関する設定を実施することができます。

表 3.52	Delete Signature メニューの表示内容
--------	----------------------------

項目	表示内容
DB	スペースで選択すると、削除される。
	• []
	· [X]
	DB が 1 つもない状態で、システムを再起動すると、システム初期値の DB が
	再登録される。

# 3.4.10.10 [DBX Options]メニュー

[DBX Options]メニューでは、DBX に関する設定を実施することができます。

表 3.53 D	<b>BX</b> Options	メニューの	)表示内容
----------	-------------------	-------	-------

項目	表示内容
Enroll Signature	Enroll Signature メニューが表示される。
Delete Signature	Delete Signature メニューが表示される。

# 3.4.10.11 [Enroll Signature]メニュー

[Enroll Signature]メニューでは、DBX に関する設定を実施することができます。

項目	表示内容			
Enroll Signature Using File	DBX ファイルを選択する。			
ファイル名	選択された DBX のファイル名が表示される。			
Signature GUID	GUID を設定する。			
	0000000-0000-0000-0000000000000			
Commit Changes and Exit	ファイ ルを 保存後,本メニューを抜ける。			
	X509 規格の証明書でない場合や、ファイル拡張子が [cer/der/crt]でない場			
	合にエラーメッセージを表示する。			
	エラーメッセージ:" ERROR: Unsupported file type!"			
	注意			
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and			
	Exit」からメニューを抜けること。			
Discard Changes and Exit	保存せずに、本メニューを抜ける。			

#### 表 3.54 Enroll Signature メニューの表示内容

## 3.4.10.12 [Delete Signature]メニュー

[Delete Signature]メニューでは、DBX に関する設定を実施することができます。

表 3.55	Delete Signature メニューの表示内容
--------	----------------------------

項目	表示内容
DBX の Signature GUID	スペースで選択すると、削除される。
	· []
	· [X]
	DBX が 1 つもない状態で、システムを再起動すると、システム初期値の DBX
	が再登録される。

## 3.4.10.13 [DBT Options]メニュー

PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です。 [DBT Options]メニューでは、DBT に関する設定を実施することができます。

表 3.56 DBT Options メニューの表示内容	表 3.56	「Options メニューの表示内容
------------------------------	--------	--------------------

項目	表示内容
Enroll Signature	Enroll Signature メニューが表示される。
Delete Signature	Delete Signature メニューが表示される。

## 3.4.10.14 [Enroll Signature]メニュー

[Enroll Signature]メニューでは、DBT に関する設定を実施することができます。

表 3.5/ Enroll Signature メニューの表示内
----------------------------------

項目	表示内容		
Enroll Signature Using File	DBT ファイルを選択する。		
ファイル名	選択された DBT のファイル名が表示される。		
Signature GUID	GUID を設定する。		
	0000000-0000-0000-0000000000000		
Commit Changes and Exit	ファイ ルを 保存後,本メニューを抜ける。		
	X509 規格の証明書でない場合や、ファイル拡張子が [cer/der/crt]でない場		
	合にエラーメッセージを表示する。		
	エラーメッセージ:" ERROR: Unsupported file type!"		
	注意		
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and		
	Exit」からメニューを抜けること。		
Discard Changes and Exit	保存せずに、本メニューを抜ける。		

### 3.4.10.15 [Delete Signature]メニュー

[Delete Signature]メニューでは、DBT に関する設定を実施することができます。

表 3.58	Delete Signature メニューの表示内容
--------	----------------------------

項目	表示内容	
DBTの Signature GUID	スペースで選択すると、削除される。	
	・ [] ・ [X] DDT が 1 つた たい光能で、システノ 东西お教オスト、システノ 初期使の DDT	
	DBTがT つもない状態で、システムを再起動すると、システム初期値のDBT が再登録される。	

# 3.4.11 [Address Range Mirroring Configuration]メニュー

本機能は、PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で利用可能です。 本メニューでは, Address Range Mirroring に関する設定を行えます。

表 3.59	Address	Range Mi	rroring	Configuration	メニューの表示内容
		,		,	

項目	説明
Address Range Mirroring	Address Range Mirroring で、ミラーするメモリ量またはメモリ割合 を OS で設定するか、BIOS Menu 上で設定するかを選択する。 (*1) (*2) (*6) (*7) (*8) ・ OS Request ・ BIOS Menu Setting デフォルトは OS Request。

項目	説明
Partial Mirror Size SB#0-SKT#0	SB#0-SKT#0 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6)(*9) ・ 0-65535
	デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#0-SKT#1	SB#0-SKT#1 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#1-SKT#0	SB#1-SKT#0 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6)(*9) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#1-SKT#1	SB#1-SKT#1 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#2-SKT#0	SB#2-SKT#0 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6)(*9) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#2-SKT#1	SB#2-SKT#1 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#3-SKT#0	SB#3-SKT#0 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6)(*9) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Partial Mirror Size SB#3-SKT#1	SB#3-SKT#1 配下のメモリについて、ミラーするメモリ量を設定す る。(*3)(*4)(*5)(*6) ・ 0-65535 デフォルトは 0。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。 注意 設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

\*1: Address Range Mirroring 機能を利用するためには、MMB WebUI で Memory Operation Mode を Address Range Mirroring に設定する必要がある。MMB WebUI での設定に依存せず、本メニューは常に表示される。

- \*2: Address Range Mirroring 機能を利用するためには、OS で Address Range Mirroring をサポートする必要があ る。"OS Request"設定の場合は OS でミラーするメモリ量または割合を BIOS に通知する機能をサポートする必要 がある。
- \*3: パーティションの SB 構成、CPU 搭載数に依存せず、常に SB#0-CPU#0~SB#3-CPU#1 の項目が表示される。 Partition に含まれない、および搭載されていない SB/CPU については、メニューで設定できるが、実際には無視される。
- \*4: サイズは 64MB 単位で設定する。(「4」を設定した場合、4\*64=256MB がミラーするメモリ量になる。)
- \*5: 本項目は「BIOS Setting」を選択した場合に表示される。
- \*6: 拡張パーティションでは表示しない。(拡張パーティションでは、MMB の Web UI で Address Range Mirror を有効 にすると、拡張パーティションのファームウェアが使う領域が固定でミラーされる。)

\*7: BIOS メニューにおいてミラーするメモリ容量の指定を"BIOS Menu Setting"に指定している場合は、OS からのミ ラーするメモリ容量設定は反映されません。

\*8: VMware vSphere で使用する場合は"BIOS Menu Setting"を選択してください。

\*9: SB がパーティション内の Home SB の場合、メニューで設定できますが、実際には無視されます。

# 3.5 [Boot Maintenance Manager] メニュー

[Boot Maintenance Manager] メニューでは、ブートモードの設定、ブートオプションの追加や削除、ブート優先順位の変更、ドライバオプションの変更などを実施できます。操作するメニューにカーソルを合わせて[Enter] キーを押すことによって、各メニューへ移行します。

なお、BIOS の設定変更後には、[Boot Maintenance Manager] から[Reset System] を実行してください。

以下の画面は、[Boot Maintenance Manager] メニューの起動直後の画面です。

1)	Boot Maintenance Manager		
2)	<ul> <li>Boot Mode</li> <li>Boot Options</li> <li>Boot From File</li> <li>Boot From DVD/CD</li> <li>Set Boot Delay Time</li> <li>Reset System</li> </ul>		Select Boot Mode
3)	†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

### 図 3.30 [Boot Maintenance Manager] メニュー

### (1) ページ情報表示部

[Boot Maintenance Manager] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.60 メニュー選択部の表示内容」に示すメニューが表示されます。

表 3.60	メニュー選択部の表示内容
表 3.60	メニュー選択部の表示内容

項目	説明
Boot Mode	「3.5.1 [Boot Mode] メニュー」を表示する。
Boot Options	「3.5.2 [Boot Options] メニュー]」を表示する。
Boot From File	「3.5.3 [Boot From File] メニュー」を表示する。
Set Boot Delay Time	「3.5.5 [Set Boot Delay Time] メニュー」を表示する。
Reset System	システムをリセットする。
### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.61 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

項目	説明	
↑↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。	
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。	

### 表 3.61 操作ヘルプ表示部の表示内容

# 3.5.1 [Boot Mode] メニュー

[Boot Mode]メニューでは、ブートモードの設定が行えます。



ページ情報表示部
 [Boot Mode] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.62 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

|--|

項目	表示内容	
Boot Mode	Boot Mode を選択する。	
	・ UEFI and Legacy :UEFI と Legacy の両方のブートオプションが	
	有効になる。	
	・ Only UEFI :UEFI のブートオプションのみが有効になる。	
	・ Only Legacy :レガシーのブートオプションのみが有効になる。	
	デフォルトは UEFI and Legacy。	
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。	
	注意	
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes	
	and Exit」からメニューを抜けること。	
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。	

### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.63 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

### 表 3.63 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

# 3.5.2 [Boot Options] メニュー

[Boot Options] メニューでは、ブートオプションの追加、削除、および優先順位の変更が可能です。操作するメニュー ヘカーソルを合わせて[Enter] キーを押すことによって、各メニューを表示します。 以下の画面は、[Boot Options] メ ニューの起動時の画面です。



(1) ページ情報表示部

[Boot Options] と表示されます。

(2) メニュー選択部 「表 3.64 メニュー選択部の表示内容」に示すメニューが表示されます。

表 3.6	4 メニュ	ー選択部の表示内容
衣 3.0	+ メニュ	一選択部の表示内容

項目	説明
Go Back To Main Page	「3.5 [Boot Maintenance Manager] メニュー」を表示する。
Add Boot Option	「■[Add Boot Option] メニュー」を表示する。
Delete Boot Option	「■[Delete Boot Option] メニュー」を表示する。
Change Boot Order	「■[Change Boot Order] メニュー」を表示する。
Set Legacy Floppy Drive Order	「■[Set Legacy Floppy Drive Order] メニュー」を表示する。
Set Legacy HardDisk Drive Order	「■[Set Legacy HardDisk Drive Order] メニュー」を表示する。
Set Legacy CD-ROM Drive Order	「■[Set Legacy CD-ROM Drive Order] メニュー」を表示する。
Set Legacy NET Drive Order	「■[Set Legacy NET Drive Order] メニュー」を表示する。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.65 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

項目	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。	
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。	

### 表 3.65 操作ヘルプ表示部の表示内容

### ■ [Add Boot Option] メニュー

[Add Boot Option] は、新規ブートオプションを[Boot Manager] メニューに追加するためのものです。ブートオプショ ンとして追加する OS ブートローダを追加登録すると、以下の図に示すように[Boot Manager] メニューに登録したブー トオプションが表示されるようになります。新規に追加登録したブートオプションは、[Boot Manager] メニューの最 後尾に追加されます。

「図 3.33 [Boot Manager] メニューの表示例」では、Test Boot Option 1 を追加した例を示しています。

図 3.33	[Boot Manager] メニューの表示例
--------	-------------------------

Boot Manager	
Windows Boot Manager EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 1 EFI Network 2 Test Boot Option 1 † and 4 to change option, ENTER to select an option, ESC to exit	T Device Path : PcieRoot(0x0)/Pci(0x2, 0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci( 0x10,0x0)/Pci(0x0,0x0) /Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0, 0x0)/Pci(0x2,0x0)/Pci( 0x0,0x0)/MAC(2CD444F14 458,0x0)
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

「図 3.34 [Add Boot Option] メニューの表示例」は、[Add Boot Option] の起動直後の画面です。この図のように、 デバイスパス形式でデバイス一覧が表示されます。(デバイスパスについては、「3.6 デバイスパス」で詳述します。)



図 3.34 [Add Boot Option] メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[File Explorer] と表示されます。

- (2) メニュー選択部 UEFI が認識したストレージデバイス一覧が表示されます。
- (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.66 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

### 表 3.66 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓=Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

### ■ ブートオプションの追加

ブートオプションの追加は、以下の手順で実施します。

- 1. 「図 3.35 デバイス一覧」に示すデバイス一覧から、追加する起動ファイルが格納されているストレージデバイス にカーソルを合わせます。
  - 図 3.35 デバイス一覧

File Explorer
NO VOLUME LABEL. IPcieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x9,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x1,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Ctr1 (0x0) /Scsi (0x0,0x0) /HD (2,6PT,6EE 85883-5804-498C-BA6B-A4DBB20E3F44,0x96800,0x32000)] NO VOLUME LABEL. IPcieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x11,0 x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Fibre (0x2 40000E0000A80481,0x200000000000) /HD (1,6PT,23784BC2-6 B96-43CE-963E- LINSERU, IPcieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x11,0 x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Fibre (0x2
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc=Exit</enter>

2. [Enter] キーを押します。

「図 3.36 ファイル選択画面の表示例」に示すように、選択したストレージデバイス内のファイル一覧が表示されます。「<>」で囲まれたものは、ディレクトリです。以下は、Windows Server 2012 がインストールされたディスクを 選択した場合の表示例です。

Windows Server 2012 の場合、[\EFI\Microsoft\Boot\bootx64.efi] というファイルが OS ブートローダです。

RHEL の場合、以下のファイルが OS ブートローダになります。 Red Hat Enterprise Linux 6 の場合 [\EFI\redhat\grub.efi] Red Hat Enterprise Linux 7 の場合 [\EFI\redhat\shim.efi]

SLES の場合、[\EFI\sles\shim.efi]というファイルが OS ブートローダです。

	File Explorer	
<> <> <microsoft> <boot></boot></microsoft>		
†↓=Move Highlight	<enter≻=select entry<="" td=""><td>Esc=Exit</td></enter≻=select>	Esc=Exit

### 図 3.36 ファイル選択画面の表示例

以下に、このファイルを指定してブートオプションを作成する例を説明します。

備考	
-	Windows Server 2012/ 2012 R2/ 2016/ 2019 がインストールされたディスクのディレクトリ構造
	Windows Server 2012/ 2012 R2/ 2016/ 2019 がインストールされたディスクは、以下に示すディレクトリ構
	造を持っています。
	<efi></efi>
	<microsoft></microsoft>
	<boot></boot>
	bootx64.efi OS ブートローダ
-	Red Hat Enterprise Linux 6 がインストールされたディスクのディレクトリ構成 Red Hat Enterprise Linux 6 がインストールされたディスクは、以下に示すディレクトリ構造を持っています。 <efi></efi>
	<redhat></redhat>
	grub.efi OS ブートローダ
-	Red Hat Enterprise Linux 7 がインストールされたディスクのディレクトリ構成
	Red Hat Enterprise Linux 7 がインストールされたディスクは、以下に示すディレクトリ構造を持っています。 <efi></efi>
	<redhat></redhat>
	shim.efi OS ブートローダ
-	SLES がインストールされたディスクのディレクトリ構成 SLES がインストールされたディスクは、以下に示すディレクトリ構造を持っています。
	<pre><llis< pre=""></llis<></pre>

shim.efi OS ブートローダ

3. ディレクトリ構造をたどっていき、「図 3.37 Windows Server 2012 インストール済みディスクの画面」に示すように OS ブートローダである[bootx64.efi] を表示させます。

	File Explorer	
<> ► bootx64.efi		
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

図 3.37 Windows Server 2012 インストール済みディスクの画面

4. [↑] キー、[↓] キーを押し、追加登録する OS ブートローダである[bootx64.efi] を選択します。

5. [Enter] キーを押します。「図 3.38 ブートオプション名称変更画面の表示例」に示す画面が表示されます。

M	odify Boot Option Descrip	tion
Load File [PcieRoot(0x0)/Pci(0x2 0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x 0)/Pci(0x0,0x0)/MAC(20 Input the description Input Optional Data Commit Changes and Exi Discard Changes and Ex	2.0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x 9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0 D444F14458,0x0)] <u>Test Boot Option 1</u> TEST t	10,0x x2,0x
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit
		Configuration changed

ブートオプションの名称およびブート時のオプションを設定します。

a. ブートオプションの名称の設定

[Input the description] にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。入力用のポップアップ画面が表示 されるので名称を入力します。

b. ブート時のオプションの設定

[Input Optional Data] にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。入力用のポップアップ画面が表示 されるので名称を入力します。 ここでの入力可能文字数、文字種については、「表 3.67 入力できる文字 数、文字種」を参照してください。

- 6. 次の操作によって、本メニューから抜けます。
  - 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter]キーを押します。
  - 設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押します。

- 7. 「図 3.39 [Boot Manager] メニューの表示例」以下の手順で、ブートオプションが正常に追加されたことを確認 します。
  - a. Boot Manager フロントページから、[Boot Manager] メニューを開きます。
     「図 3.39 [Boot Manager] メニューの表示例」に示すメニューが表示されます。
  - b. 追加したブートオプションが、最下部に表示されていることを確認します。

### 図 3.39 [Boot Manager] メニューの表示例

Boot Manager	
Windows Boot Manager EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 2 Test Boot Option 1 † and 4 to change option, ENTER to select an option, ESC to exit	<pre>     Device Path :         PcieRoot(0x0)/Pci(0x2,         0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(         0x10,0x0)/Pci(0x0,0x0)         /Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,         0x0)/Pci(0x2,0x0)/Pci(         0x0,0x0)/MAC(2CD444F14         458,0x0) </pre>
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

### ■ 入力可能文字数、文字種

[Add Boot Option] メニューで入力できる文字数、文字種を「表 3.67 入力できる文字数、文字種」に示します。

表 3.67 入力できる文字数、文字種

項目	文字数	文字種
Input the description	6 - 75	0-9、A-Z、a-z、!"#\$%&'()*+、
		/ : ; < = > ? @ [ \ ] ^ _ ` {   } ~
Input Optional Data	0 - 120	0-9、A-Z、a-z、! " # \$ % & ' ( ) * + 、
		/ : ; < = > ? @ [ \ ] ^ _ ` {   } ~

備考

- 文字数の制限値を超えた入力はできません。仮に制限値を超えてキー入力をしても、制限値以上のキー入力は無 視され、画面には反映されません。
- 上記以外の文字種の入力はできません。仮に入力しようとしても無視され、画面には反映されません。
- [Input the description] で文字数が 0-5 のときは、「Please enter enough characters Press Enter to continue」というポップアップ画面が表示されます。

### ■ [Delete Boot Option] メニュー

[Delete Boot Option] メニューは、指定したブートオプションをブートオーダーから削除します。以下の画面は、 [Delete Boot Option] メニューの画面表示例です。



図 3.40 [Delete Boot Option] メニューの表示例

(1) ページ情報表示部

[Delete Boot Option] と表示されます。

(2) メニュー選択部

上から順に自動ブートの優先順位の高いブートオプションが表示されます。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.68 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

表 3.68   溧作ヘルノ表示部の表示P
-----------------------

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

### ■ ブートオプション削除

ブートオプションの削除は、以下の手順に従って実施します。

- 1. 削除するブートオプションにカーソルを合わせます。
- 2. [Space] キーを押します。「図 3.41 ブートオプションの削除画面(1)」に示すように、[ ] が[X] に変わります。

図 3.41 ブートオプションの削除画面(1)

	Delete Boot Option	
Windows Boot Manager EFI Internal Shell EFI: Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 Test Boot Option 1 Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
†↓=Move Highlight <	Ænter≻=Select Entry	Esc=Exit
		Configuration changed

#### 備考

削除をキャンセルする場合は、もう一度[Space] キーを押します。 再度、「Space」キーを押すと、[]が[X]に変わります。

- 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押します。
   設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter]キーを押します。
- 4. 以下の手順で、ブートオプションが正常に削除されたことを確認します。
   a. Boot Manager フロントページから[Boot Manager]メニューを開きます。
   「図 3.42 ブートオプションの削除画面(2)」に示すメニューが表示されます。
   b. 削除したブートオプションがないことを確認します。

図 3.42	ブートオプションの削除画面(2)
--------	------------------

Boot Manager	
Boot Option Menu <u>Jindows Boot Manager</u> EFI Internal Shell Legacy CD ROM Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI: Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 1 and 4 to change option. ENTER to select an option. ESC to exit	Device Path : PcieRoot(0x0)/Pci(0x2, 0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci( 0x10,0x0)/Pci(0x0,0x0) /Pci(0x10,0x0)/Pci(0x0, ,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci (0x0,0x0)/MAC(2CD444F0 0022,0x0)/IPv4(0.0.0.0, ,0x0,DHCP,0.0.0.0,0.0. 0.0,0.0.0.0)
†↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

# ■ [Change Boot Order] メニュー

[Change Boot Order] メニューは、ブートオーダーを変更するものです。 以下の画面は、[Change Boot Order] メニューの起動直後の画面です。





(1) ページ情報表示部

[Change Boot Order] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.69 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表 3.69	メニュー選択部の表示内容
1 J.0J	

項目	説明		
Change the order	ブートオプションが表示される。本項目を実行するとポップアップ画面が		
	表示され、そこでブートオーダーの設定変更ができる。レガシーブートオ		
	プションに関しては、各デバイスの最も優先順位の高いブートオプション		
	が表示される。レガシーデバイスには以下の4つがあります。		
	・ Floppy デバイス		
	・ HardDisk デバイス		
	・ DVD/CD-ROM デバイス		
	・ Network デバイス		
	変更方法は、このあとの「■優先順位の変更(Change Boot Order)」で詳		
	述する。		
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。		
	注意		
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and		
	Exit」からメニューを抜けること。		
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。		

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.70 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.70 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.71 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表 示部の表示内容」に示します。

### 表 3.71 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
+ =Move Selection Up	ブートオプションのブート優先順位を1つ上げる。
- =Move Selection Down	ブートオプションのブート優先順位を1つ下げる。
<enter>=Complete Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit Entry	ポップアップ画面から抜ける。

# ■ 優先順位の変更(Change Boot Order)

ブートオーダーの変更は、以下の手順に従って実施します。

1. 「図 3.44 優先順位の変更画面(Change Boot Order) (1)」に示すように[Change the order] に表示されているブ ートオプションにカーソルを合わせます。

Change Boot Order		
Change the order	<pre><windows boot="" manager=""> <efi internal="" shell=""> <fujitsu 1.00="" cdrom="" virtual=""> <efi device="" usb=""> <efi 1="" device="" usb=""> <efi 2="" device="" usb=""> <efi network=""> <efi 1="" network=""> <efi 2="" network=""> <test 1="" boot="" option=""></test></efi></efi></efi></efi></efi></efi></fujitsu></efi></windows></pre>	Change the order
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	t	
†↓=Move Highlight •	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit
		Configuration changed

図 3.44	優先順位の変更画面(Change Boot Order)	(1)
--------	------------------------------	-----

2. [Enter] キーを押します。「図 3.45 優先順位の変更画面(Change Boot Order) (2)」に示すポップアップ画面が表示されます。

Change Boot Order		
Change the order	Windows Boot Manager EFI Internal Shell Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 EFI USB Device EFI USB Device 1 EFI USB Device 2 EFI Network EFI Network 1 EFI Network 2 Test Boot Option 1	Change the order
+ =Move Selection Up	<enter>=Complete Entry</enter>	- =Move Selection Down Esc=Exit Entry
		Configuration changed

図 3.45 優先順位の変更画面(Change Boot Order) (2)

- 3. 順序を変更するブートオプションにカーソルを合わせます。
- 4. 優先順位を変更します。
  - 優先順位を上げる場合は、[+] キーを押します。
  - 優先順位を下げる場合は、[-]キーを押します。
- 5. 変更完了後、ポップアップ画面から抜けます。
  - 設定変更を保持したまま抜ける場合は、[Enter] キーを押します。
  - 設定変更を破棄して抜ける場合は、[Esc] キーを押します。

Change Boot Order			
Change the order	<pre><efi internal="" shell=""> <windows 1.00="" <fujitsu="" boot="" cdron="" manager?="" virtual=""> <efi device="" usb=""> <efi 1="" device="" usb=""> <efi 2="" device="" usb=""> <efi network=""> <efi 1="" network=""> <efi 2="" network=""> <test 1="" boot="" option=""></test></efi></efi></efi></efi></efi></efi></windows></efi></pre>	Change the order	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
†↓=Move Highlight <e< td=""><td>nter≻=Select Entry</td><td>Esc=Exit</td></e<>	nter≻=Select Entry	Esc=Exit	
		Configuration changed	

図 3.46 優先順位の設定変更後の画面(Change Boot Order) (3)

6. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押します。

設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、 [Discard Changes and Exit] を選択して [Enter] キーを押します。

# ■ [Set Legacy Floppy Drive Order]メニュー

[Set Legacy DVD/CD-ROM Drive Order] メニューは、DVD/CD ドライブが複数存在する場合に起動デバイスの優先順位を設定するものです。

[Set Legacy Floppy Drive Order] メニュー起動時の画面を、以下に示します。 画面には、フロッピードライブの情報が 表示されます。また、Floppy Drive #N に「Disable」が表示された場合は、Floppy Drive #N のブート機能が Disable であることを示します。





(1) ページ情報表示部

[Set Legacy Floppy Drive Order] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.72 メニュー選択部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

#### 表 3.72 メニュー選択部の表示内容

項目	説明
Floppy Drive #N	Floppy ブートのオーダー変更へ移行する。本項目を実行するとポップ
	アップ画面が表示され、そこで設定変更ができる。変更方法は、この
(N:0, 1,)	あとの「■優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order)」で詳述
	する。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.73 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す、このページを操作するためのヘルプが表示されます。

### 表 3.73 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.74 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容」に示します。

### 表 3.74 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Complete Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit Entry	ポップアップ画面を閉じる。

# ■ 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order)

ブートオーダーの変更は、以下の手順に従って実施します。

1. 「図 3.48 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (1)」に示す画面において、デバイスを変更したい Floppy Drive #N にカーソルを合わせます。「図 3.48 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (1)」で は、Floppy Drive #00 を選択しています。

Set Legacy Floppy Drive Order		
Floppy Drive #00 Floppy Drive #01	<mark><y-e 7.03="" datausb-fdu=""></y-e></mark> <fujitsu floppy0<br="" virtual="">1.00&gt;</fujitsu>	Select Floppy Drive #00
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry Esc</enter>	=Exit

図 3.48 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (1)

2. [Enter] キーを押します。「図 3.49 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (2)」に示すポップアップ画 面が表示されます。

Set Legacy Floppy Drive Order		
Floppy Drive #00 Floppy Drive #01	<mark><y-e 7.03="" datausb-fdu=""></y-e></mark> <fujitsu floppy0<br="" virtual="">1.00&gt;</fujitsu>	Select Floppy Drive #00
Commit Changes and Exit Discard Changes and Y-E DATAUSB-FDU 7.03 Fujitsu Virtual Floppy0 1.00 Disabled		
↑↓=Move Highlight <enter>=Complete Entry Esc=Exit Entry</enter>		

図 3.49 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (2)

- 3. Floppy Drive #N に設定したいブートオプションにカーソルを合わせます。「図 3.49 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (2)」では、Floppy Drive #00 に対するブートオプションを設定しています。
- 4. [Enter] キーを押します。「図 3.49 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (2)」では、Floppy Drive #00 のブートオプションを Y-E DATAUSB-FDU 7.03 から Fujitsu Virtual Floppy0 1.00 と変更しています。

「図 3.50 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (3)」は、HDD の優先順位を入れ替えた場合の画面例 です。Floppy Drive #N に設定したブートオプションが、設定前に別の Floppy Drive #M に設定されていた場合に は、Floppy Drive #M には変更前に Floppy Drive #N に設定されていたブートオプションが設定されます。「図 3.50 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (3)」では、 Fujitsu Virtual Floppy0 1.00 が設定されてい た Floppy Drive #01 には、Y-E DATAUSB-FDU 7.03 が設定されています。

Se	et Legacy Floppy Drive Order	
Floppy Drive #00 Floppy Drive #01 Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	<pre></pre>	Select Floppy Drive #00
†↓=Move Highlight <	<enter>=Select Entry Esc</enter>	=Exit

### 図 3.50 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (3)

- 5. Floppy Drive #NのEnable/Disableを設定します。
  - Disable にするには、「Disable」を選択します。
  - Enable にするには、ブートオプションを選択します。

「図 3.51 優先順位の変更(Set Legacy Floppy Drive Order) (4)」は、Floppy Drive #00 を Disable 設定している 画面例です。

Disable した Floppy Drive #N は「Disable」と表示されます。

	Set Legacy Floppy Drive Order	
Floppy Drive #00 Floppy Drive #01 Commit Changes and Discard Changes and	<fujitsu floppy0<br="" virtual="">1.00&gt; XY-E DATAUSB-FDU 7.03&gt; Exit Y-E DATAUSB-FDU 7.03 Fujitsu Virtual Floppy0 1.00 Disabled</fujitsu>	Select Floppy Drive #01
î↓=Move Highlight	<enter>=Complete Entry Esc:</enter>	=Exit Entry
		Configuration changed

6. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押しま す。設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押 します。

# ■ [Set Legacy HardDisk Order] メニュー

[Set Legacy HardDisk Drive Order] メニューでは、レガシーOS で起動する HDD を設定します。 [Set Legacy HardDisk Drive Order] メニュー起動時の画面を、以下に示します。 画面には、HDD の情報が表示されます。HardDisk Drive #00 から起動されます。また、HardDisk Drive # N に「Disable」が表示された場合は、HardDisk Drive #N のブート機能が Disable であることを示します。



(1) ページ情報表示部

[Set Legacy HardDisk Drive Order] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.75 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

	表	3.75	メニュ-	ー選択部の	)表示内容
--	---	------	------	-------	-------

項目	説明
HardDisk Drive #N (N:0, 1,)	以下を表示する。
	・ 電源投入後の初期化時に認識した HDD 情報
	・ Disable :Disable を選択した場合
	を表示する。
	初期化以降に構成変更したデバイスは表示しない。そのため、デバイス構成
	変更後は、システムリセットが必要。なおデバイスの構成変更とは、以下の
	操作を実行した場合を示す。
	・ USB デバイスの挿抜
	· ファイバチャネルまたは SAS RAID の設定表示および更新メニューの起
	動
	変更方法は、このあとの「■優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive
	Order)」で詳述する。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.76 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

### 表 3.76 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.77 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容」に示します。

### 表 3.77 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Complete Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit Entry	ポップアップ画面を閉じる。

### ■ 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order)

起動対象の HDD は、以下の手順のように設定します。

1. 「図 3.53 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (1)」に示す画面において、デバイスを変更したい HardDisk Drive #N にカーソルを合わせます。「図 3.53 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (1)」 では、HardDisk Drive #00 を選択しています。

Set Legacy HardDisk Drive Order				
HardDisk Drive #00 HardDisk Drive #01 Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	<pre>&lt;(Bus 08 Dev 00)PCI RAID Adapter&gt; <fujitsu handydrive100=""></fujitsu></pre>	Select HardDisk Drive #00		
†↓=Move Highlight <en< td=""><td>nter&gt;=Select Entry Esc</td><td>=Exit</td></en<>	nter>=Select Entry Esc	=Exit		

図 3.53 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (1)

2. [Enter] キーを押します。「図 3.54 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (2)」に示すポップアップ 画面が表示されます。

	Set Legacy HardDisk Drive Order	
HardDisk Drive #00 HardDisk Drive #01	<(Bus 08 Dev 00)PCI RAID Adapter> <fujitsu handydrive100=""></fujitsu>	Select HardDisk Drive #00
Commit Changes and Discard Changes an	Exit Disabled FUJITSU HandyDrive100 (Bus 08 Dev 00)PCI RAID Adapter	
†↓=Move Highlight	<enter>=Complete Entry Esc=</enter>	Exit Entry

図 3.54 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (2)

- 3. HardDisk Drive #N に設定したいブートオプションにカーソルを合わせます。「図 3.54 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (2)」では、HardDisk Drive #00 に対するブートオプションを設定しています。
- 4. [Enter] キーを押します。「図 3.54 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (2)」では、HardDisk Drive #00 のブートオプションを(Bus 08 Dev 00) PCI RAID Adapter から Fujitsu HandyDrive100 と変更しています。

「図 3.55 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (3)」は、HDD の優先順位を入れ替えた場合の画 面例です。HardDisk Drive Order #N に設定したブートオプションが、設定前に別の HardDisk Drive Order #M に 設定されていた場合には、HardDisk Drive Order #M には変更前に HardDisk Drive Order #N に設定されていたブ ートオプションが設定されます。「図 3.55 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (3)」では、 Fujitsu HandyDrive100 が設定されていた HardDisk Drive Order#01 には、(Bus 08 Dev 00) PCI RAID Adapter が 設定されています。

Set Legacy HardDisk Drive Order			
HardDisk Drive #00 HardDisk Drive #01	<pre><fujitsu handydrive100=""> &lt;(Bus 08 Dev 00)PCI RAID Adapter&gt;</fujitsu></pre>	Select HardDisk Drive #00	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exi	t it		
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry Es</enter>	sc=Exit	
		Configuration changed	

図 3.55 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (3)

- 5. HardDisk Drive #NのEnable/Disableを設定します。
  - Disable にするには、「Disable」を選択します。
  - Enable にするには、ブートオプションを選択します。

「図 3.56 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (4)」は、HardDisk Drive #00 を Disable 設定してい る画面例です。

Disable した HardDisk Drive #N は「Disable」と表示されます。

### 図 3.56 優先順位の変更(Set Legacy HardDisk Drive Order) (4)

	Set Legacy HardDisk Drive Order	
HardDisk Drive #00 HardDisk Drive #01	<(Bus 08 Dev 00)PCI RAID Adapter> <fujitsu handydrive100=""></fujitsu>	Select HardDisk Drive #00
Commit Changes and Discard Changes an	Exit (Bus 08 Dev 00) PCI RAID Adapter FUJITSU HandyDrive100 Disabled	
†↓=Move Highlight	<enter>=Complete Entry Esc</enter>	=Exit Entry

6. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押しま す。設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押 します。

# ■ [Set Legacy CD-ROM Drive Order] メニュー

[Set Legacy CD-ROM Drive Order] メニューは、DVD/CD ドライブが複数存在する場合に起動デバイスの優先順位を設定 するものです。

[Set Legacy CD-ROM Drive Order] メニュー起動時の画面を、以下に示します。 画面には、DVD/CD ドライブの情報が 表示されます。また、ATAPI CDROM Drive #N に「Disable」が表示された場合は、ATAPI CDROM Drive #N のブート機 能が Disable であることを示します。





(1) ページ情報表示部

[Set Legacy CD-ROM Drive Order] と表示されます。

### (2) メニュー選択部

「表 3.78 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表	3.7	78	メニュー	-選択部の	表示内容

項目	説明
ATAPI CDROM Drive #N (N:0, 1,)	DVD/CD ブートのオーダー変更へ移行する。本項目を実行するとポッ
	プアップ画面が表示され、そこで設定変更ができる。変更方法は、こ
	のあとの「■優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order)」で
	詳述する。
	また、
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.79 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.79 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.80 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容」に示します。

### 表 3.80 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Complete Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit Entry	ポップアップ画面を閉じる。

## ■ 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order)

ブートオーダーの変更は、以下の手順に従って実施します。

- 1. 「図 3.58 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (1)」に示す画面において、デバイスを変更したい ATAPI CDROM Drive #N にカーソルを合わせます。「図 3.58 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order)
  - (1)」では、ATAPI CDROM Drive #00 を選択しています。

図 3.58	優先順位の変更(Set Lega	cy CD-ROM Drive Order) (	1)
--------	------------------	--------------------------	----

Set Legacy CD-ROM Drive Order				
ATAPI CDROM Drive #00 ATAPI CDROM Drive #01	KOptiarc DVD RW AD-7543C 1-U1> KFujitsu Virtual CDROM0 1.00>	Select ATAPI CDROM Drive #00		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit				
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry Esc</enter>	=Exit		

### 2. [Enter] キーを押します。

「図 3.59 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (2)」に示すポップアップ画面が表示されます。



図 3.59 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (2)

- 3. ATAPI CDROM Drive #N に設定したいブートオプションにカーソルを合わせます。「図 3.59 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (2)」では、ATAPI CDROM #00 に対するブートオプションを設定しています。
- 4. [Enter] キーを押します。「図 3.59 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (2)」では、ATAPI CDROM Drive #00 のブートオプションを Optiarc DVD RW AD-7543C 1-U1 から Fujitsu VirtualCDROMO 1.00 と 変更しています。
「図 3.60 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (3)」は、DVD/CD の優先順位を入れ替えた場合の 画面例です。ATAPI CDROM Drive Order #N に設定したブートオプションが、設定前に別の HardDisk Drive Order #M に設定されていた場合には、ATAPI CDROM Drive Order #M には変更前に ATAPI CDROM Drive Order #N に 設定されていたブートオプションが設定されます。「図 3.60 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (3)」では、Fujitsu Virtual CDROM0 1.00 が設定されていた ATAPI CDROM Drive Order#01 には、Optiarc DVD RW AD-7543C 1-U1 が設定されています。

	Set Legacy CD-ROM Drive Orde	r
ATAPI CDROM Drive #00 ATAPI CDROM Drive #01 Commit Changes and Exi Discard Changes and Ex	<pre></pre>	Select ATAPI CDROM Drive #00 C
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry E</enter>	sc=Exit
		Configuration changed

図 3.60 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (3)

- 5. ATAPI CDROM Drive #Nの Enable/Disable を設定します。
  - Disable にするには、「Disable」を選択します。
  - Enable にするには、ブートオプションを選択します。 「図 3.61 優先順位の変更(Set Legacy CD-ROM Drive Order) (4)」は、ATAPI CDROM Drive #00 を Disable 設定 している画面例です。

Disable した ATAPI CDROM Drive #N は「Disable」と表示されます。



	Set Legacy CD-ROM Drive Order	[
ATAPI CDROM Drive #0 ATAPI CDROM Drive #0	00 < <u>Optiarc DVD RW AD-7543C</u> <u>1-U1&gt;</u> 01 <fujitsu cdrom0<br="" virtual="">1.00&gt;</fujitsu>	Select ATAPI CDROM Drive #00
Commit Changes and Discard Changes and	<mark>Disabled</mark> Fujitsu Virtual CDROMO 1.00 Optiarc DVD RW AD-7543C 1-U1	
41 Marca 10-211-214	(Technic) Consolition Estation - Esta	East Eatur
T∔=Move Highlight -	<enter>=Complete Entry Esc=</enter>	Exit Entry

6. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押しま す。

設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter]キーを押します。

## ■ [Set Legacy NET Drive Order] メニュー

[Set Legacy NET Drive Order] メニューは、ネットワークポートが複数存在する場合の起動デバイスの優先順位を設定 するものです。

[Set Legacy NET Drive Order] メニューの起動時の画面を、以下に示します。 画面には、ネットワークポートの情報が 表示されます。また、NET Drive #N に「Disable」が表示された場合は、NET Drive #N のブート機能が Disable であ ることを示します。





(1) ページ情報表示部

[Set Legacy NET Drive Order] と表示されます。

(2) メニュー選択部

「表 3.81 メニュー選択部の表示内容」に示す項目が表示されます。

表 3.81 メニュー選択部の表示内容

項目	説明
NET Drive #N	NET ブートのオーダー変更へ移行する。本項目を実行するとポップアップ画
(N:0, 1,)	面が表示され、そこで設定変更ができる。変更方法は、このあとの「■優先
	順位の変更(Set Legacy NET Drive Order)」で詳述する。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後、本メニューから抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後、本メニューから抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.82 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.82 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.83 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容」に示します。

#### 表 3.83 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Complete Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit Entry	ポップアップ画面を閉じる。

## ■ 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order)

ブートオーダーの変更は、以下の手順に従って実行します。

1. 「図 3.63 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (1)」に示す画面において、デバイスを変更したい NET Drive #N にカーソルを合わせます。「図 3.63 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (1)」では、NET Drive #00 を選択しています。

図 3.63	優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order)(1)	
--------	--	--

Si	et Legacy NET Drive Order	
NET Drive #00 NET Drive #01 Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	<mark>≮IBA GE Slot 0900 v1372</mark> ≺IBA GE Slot 0901 v1372	NET Drive #00
†↓=Move Highlight <1	Enter>=Select Entry Es	sc=Exit

#### 2. [Enter] キーを押します。

「図 3.64 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (2)」に示すポップアップ画面が表示されます。

	Set Legacy NET Drive Order	
NET Drive #00 NET Drive #01	<pre><iba 0900="" ge="" slot="" v1372=""> <iba 0901="" ge="" slot="" v1372=""></iba></iba></pre>	NET Drive #00
Commit Changes and Exi Discard Changes and Ex	t it	
	Disabled IBA GE Slot 0901 v1372 IBA GE Slot 0900 v1372	
†↓=Move Highlight	<enter>=Complete Entry Esc</enter>	c=Exit Entry
		Configuration changed

図 3.64 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (2)

- 3. NET Drive #N に設定したいブートオプションにカーソルを合わせます。「図 3.64 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (2)」では、NET Drive #00 に対するブートオプションを設定しています。
- 4. [Enter] キーを押します。「図 3.64 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (2)」では、NET Drive #00の ブートオプションを IBA GE Slot 0900 v1372 から IBA GE Slot 0901 v1372 と変更しています。

「図 3.65 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (3)」は、ネットワークポートの優先順位を入れ替えた 場合の画面例です。NET Drive #N に設定したブートオプションが、設定前に別の NET Drive #M に設定されていた 場合には、NET Drive #M には変更前に NET Drive #N に設定されていたブートオプションが設定されます。「図 3.65 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (3)」では、IBA GE Slot 0901 v1372 が設定されていた NET Drive #01 には、IBA GE Slot 0900 v1372 が設定されています。

Se	t Legacy NET Drive Order	
NET Drive #00 NET Drive #01 Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	<u><iba 0901="" ge="" slot="" ∪1372=""></iba></u> <iba 0900="" ge="" slot="" ∪1372=""></iba>	NET Drive #00
†↓=Move Highlight <f< td=""><td>nter&gt;=Select Entry Esc</td><td>=Exit</td></f<>	nter>=Select Entry Esc	=Exit

#### 図 3.65 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (3)

- 5. NET Drive #NのEnable/Disableを設定します。
  - Disable にするには、「Disable」を選択します。
  - Enable にするには、ブートオプションを選択します。

「図 3.66 優先順位の変更(Set Legacy NET Drive Order) (4)」は、NET Drive #01 を Disable 設定している画 面例です。

Disable した NET Drive #N は「Disable」と表示されます。



	Set Legacy NET Drive Order	
NET Drive #00 NET Drive #01 Commit Changes and Exi Discard Changes and Ex	<pre><iba 0900="" ge="" slot="" v1372=""> <iba 0901="" ge="" slot="" v1372=""> t it Disabled IBA GE Slot 0901 v1372 IBA GE Slot 0900 v1372</iba></iba></pre>	NET Drive #01
†↓=Move Highlight	<enter>=Complete Entry Esc</enter>	=Exit Entry
		Configuration changed

6. 設定変更を保存して本メニューから抜けるには、[Commit Changes and Exit] を選択して[Enter] キーを押します。

設定変更を保存せずに本メニューから抜けるには、[Discard Changes and Exit] を選択して[Enter]キーを押します。

# 3.5.3 [Boot From File] メニュー

[Boot From File] メニューは、UEFI が認識したストレージデバイス内の OS ブートローダファイルを指定して直接ブートするためのものです。

以下の画面は、[Boot From File] メニューの起動直後の画面です。UEFI が認識したストレージデバイス一覧が表示されます。





(1) ページ情報表示部

[File Explorer] と表示されます。

(2) メニュー選択部

UEFI が認識したストレージデバイス一覧が表示されます。

(3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.84 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.84 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

# ■ ブートファイルの指定(Boot From File)

1. 「図 3.68 ブートファイルの指定(1)」に示す画面のデバイス一覧から、ブートする OS ブートローダファイルが 格納されているストレージデバイスにカーソルを合わせます。

义	3.68	ブートファイルの指定(1)	ブート
---	------	---------------	-----

File Explorer
NO VOLUME LABEL. IPc ieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x9,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x1,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Ctrl (0x0) /Scsi (0x0,0x0) /HD (2,6PT,6EE 35883-5B04-49BC-BA6B-A4DBB20E3F44,0x96800,0x32000) I NO VOLUME LABEL. IPcieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x11,0 x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Fibre (0x2 40000E0000A80481,0x200000000000) /HD (1,6PT,23784BC2-A B96-43CE-963E- LINSERV. IPcieRoot (0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x10,0x 0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x2,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x11,0 x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x11,0 x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc=Exit</enter>

2. [Enter] キーを押します。

「図 3.69 ブートファイルの指定(2)」に示すように、ストレージデバイス内のファイル一覧が表示されます。 「< >」で囲まれたものは、ディレクトリです。以下に示す図は、Windows Server 2012 がインストールされたディスクを選択した場合の表示例です。

	File Explorer	
<> <microsoft> ≮Boot&gt;</microsoft>		
†↓=Move Highlight	<enter≻=select entry<="" td=""><td>Esc=Exit</td></enter≻=select>	Esc=Exit

#### 図 3.69 ブートファイルの指定(2)

3. ディレクトリ構造をたどっていき、「図 3.70 ブートファイルの指定(3)」に示すようにブートする OS ローダファ イルを表示させます。

-	File Explorer	
<pre>K.&gt; K&gt; </pre>		
• 000004-eri		
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit

図 3.70 ブートファイルの指定(3)

- 4. [↑] キー、[↓] キーを押して、ブートする OS ローダファイルを選択します。
- 5. [Enter] キーを押します。 ファイルがローディングされ、OS が起動されます。

# 3.5.4 [Boot From DVD/CD] メニュー

本メニューを選択すると以下の動作を行います。

- システムに接続した DVD/CD Drive に挿入された媒体から起動します。このとき、システムに接続された Hard Disk Drive および Net Drive からは起動しません。
- 本メニューは保守用媒体の起動用です。このメニューを使用した OS のインストールはサポートしていません。
- DVD/CD Drive を接続していない、または、媒体を挿入していない場合は、以下のメッセージを表示します。

図 3.71 Boot From DVD/CD メッセージ



上記のメッセージ表示中に DVD/CD Drive を接続し、媒体を挿入し、キー入力することで再度 DVD/CD Drive の媒体より 起動されます。

# 3.5.5 [Set Boot Delay Time] メニュー

[Set Boot Delay Time] メニューは、UEFI の診断処理の完了時から OS 起動処理移行までの待ち時間を、秒単位で設定す るものです。デフォルトは、10 秒の設定になっています。本メニューで設定した時間が、 キー入力の待ち時間となりま す。このキー入力待ち時間中は、「図 3.72 ロゴ画面」に示すようにロゴ画面が表示されています。このキー入力の待 ち時間中に、[Enter] キー以外のキー入力をすると Boot Manager フロントページに移行します。また、[Enter] キーを 入力すると、ただちに OS 起動処理に移行します。



図 3.72 ロゴ画面

以下の画面は、[Set Boot Delay Time] メニューの画面例です。

	Set Boot Delay Time	
Boot Delay Time Commit Changes and E Discard Changes and	xit Exit	Range: 0 to 65535 seconds, 0 means no wait, 65535 means waiting for key
)		
)         =Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit



(1) ページ情報表示部

[Set Boot Delay Time] と表示されます。

(2) メニュー選択部 「表 3.85 メニュー選択ヘルプ表示部の表示内容」に示す選択メニューが表示されます。

表 3.85	メニュー選択ヘルプ表示部の表示内容
表 3.85	メニュー選択ヘルプ表示部の表示内容

カーソル位置	表示内容
Boot Delay Time	ロゴ画面のタイムアウト時間を設定する。単位は秒。
	· 0~65535
	デフォルトは 10。
Commit Changes and Exit	設定変更した内容を保存後,本メニューを抜ける。
	注意
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes
	and Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定変更した内容をキャンセル後,本メニューを抜ける。

#### (3) 操作ヘルプ表示部

「表 3.86 操作ヘルプ表示部の表示内容」に示す操作キーの説明が表示されます。

#### 表 3.86 操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

ポップアップ画面が表示された場合の表示内容を、「表 3.87 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容」に示します。

表 3.87 ポップアップ画面が表示された場合の操作ヘルプ表示部の表示内容

項目	説明
0123456789 are valid inputs	タイムアウト時間設定は、数字キーのみ有効である。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択する。
Esc=Exit	「3.1 Boot Manager フロントページ」へ戻る。

# 3.6 デバイスパス

デバイスパスとは、デバイスの物理的な接続を示すもので、PCIルートブリッジからの接続関係を表しています。

# 3.6.1 デバイスパスのパラメーター

表示されるデバイスパスの各パラメーターは、「表 3.88 デバイスパスのパラメーター」に示すとおりです。

な 3.00 ノハイスハスのハフメーター	表 3.88	デバイスパスのパラメーター
----------------------	--------	---------------

表示	説明	
Acpi (HID、UID)	ACPI デバイスパス	
	HID とは、Hardware ID の略。ACPI 仕様に準拠した ID で、以下の ID がある。	
	UID とは、Unique ID の略。(省略可)	
Pci(Device、Function)	) PCI デバイス	
	Device とは、PCI デバイスのデバイス番号のこと。0-31 を 16 進数で表す。	
	Function とは、PCI デバイスのファンクション番号のこと。0-7の数字で表す。	
Scsi(PUN、LUN)	SCSIコントローラー	
	PUN とは、Physical Unit Number の略。SCSI ID の意。0-65535 を 16 進数で表す。	
	LUN とは、Logical Unit Number の略。0-65535 を 16 進数で表す。	
Fibre(WWN、LUN)	Fibre コントローラー	
	WWN とは、World Wide Name の略。64bit 数値で表す。	
	LUN とは、Logical Unit Number の略。64bit 数値で表す。	
MAC(MacAddr、	Network	
lfType)	MacAddr とは、Mac Address の略。	
	IfType とは、Interface Type の略。(省略可)  0-255 を 16 進数で表す。	
HD(Partition、 Type、	Hard Drive	
Signature、Start、	Partitionとは、パーティション番号を表す。	
Size)	Type とは、パーティションタイプを表す。(省略可)(以下のタイプがある。	
	GPT:GUID Partition Table の略。	
	MBR:Master Boot Record の略。	
	Signature は、パーティションタイプにより以下のような意味を持つ。	
	GPT: GUID を表す。	
	MBR: 数值。	
	Start は、パーティションの先頭位置を示し、64bit 数値で表す。	
	Size は、パーティションのサイズを示し、64bit 数値で表す。	
CDROM(Entry、Start、	CD/DVD メディア	
Size)	Entry は、ブートエントリー番号を表す。(省略可) 通常は 0 を示す。	
	Start は、ブートエントリーの先頭セクタを表し、64bit 数値で表す。	
	Size は、ブートエントリーのサイズを示し、64bit 数値で表す。	
USB(Port、Interface)	USB	
	Port は、USB のポート番号を示し、0-255 を 16 進数で表す。	
	Interface は、インターフェース番号を示し、0-255 を 16 進数で表す。	
Ctrl(Controller)	コントローラー	
	Controllerには整数が入る。	

## 3.6.2 **デバイスパスの識別**

SB 内蔵 SAS ディスク、DU 内の SAS ディスク、Fibre カードからのディスク、および GigaLAN のデバイスパスの識別方 法について、以下に説明します。

### ■ SB 内蔵 SAS ディスク

例として SB に内蔵される SAS ディスクの特定方法について説明します。 CPU から SB 内蔵 SAS ディスクまでの接続関係を示すと「図 3.74 SB 内蔵 SAS ディスクの特定」のようになります。 □内はデバイスパスノードを表しています。

CPU	PCH	SASコントローラ	
	SW#O	SW#O	
Pcieroot 0x0	PCI 0×1C, 0×0 0x0, 0x0	Ctrl Scsi 0x0 0x0,0x0	HD (SASディスク) 1,GPT,83B59636-996C- 4550-A27A- EBEAA43820D0,0x800,0x32 000

図 3.74 SB 内蔵 SAS ディスクの特定

デバイスパスは以下となります。

PcieRoot(0x0)/Pci(0x1C,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Ctrl(0x0)/Scsi(0x0,0x0)/HD(1,GPT,83B59636-996C-4550-A27A-EBEAA43820D0,0x800,0x32000)

## ■ DU 内蔵 SAS ディスク

例として、DU#0に内蔵された SAS ディスクの特定方法について説明します。



#### 図 3.75 DU#0 内の SAS ディスクの特定

SAS デバイスのデバイスパスは、以下のとおりです。

Pcieroot(0x0)/PCI(0x02,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x10,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x09,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI (0x01,0x0)/PCI(0x0,0x0)/CtrI(0x0,0x0)/Scsi(0x3,0x0)/PCI(0x0,0x0)/HD(1,GPT,83B59636-996C-4550-A27A-EBEAA43820D0,0x800,0x32000)

### ■ Fibre カードからのディスク特定

例として IOU の PCIe Slot に Fibre カードを挿した場合の、Fibre 接続からのディスク特定方法について説明します。



図 3.76 Fibre カードからのディスクの特定

Fibre カードのデバイスパスは、以下のとおりです。

Pcieroot(0x0)/PCI(0x02,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x10,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x09,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI (0x11,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0xC,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Fibre(0x240000E000A80481,0x200000000000)

## GigaLAN

例として IOU に内蔵された GigaLAN の特定方法について説明します。



図 3.77 GigaLAN の特定

GigaLAN のデバイスパスは、以下のとおりです。

Pcieroot(0x0)/PCI(0x02,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x10,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x09,0x0)/PCI(0x0,0x0)/PCI(0x2,0x0)/PCI(0x0,0x0)/P

# 第4章 UEFI のコマンド操作

本章では、UEFI のコマンド操作について説明します。

# 4.1 UEFI シェルと UEFI コマンド

PRIMEQUEST 2000 シリーズの UEFI は、コンソールからのコマンドの実行が可能な UEFI シェル機能をサポートします。UEFI シェルが起動したときのイメージを、「図 4.1 UEFI Shell 起動直後の画面表示例」に示します。

図 4.1 UEFI Shell 起動直後の画面表示例



## 4.1.1 自動起動ファイル

UEFI シェルが起動すると、最初に、定義された実行パスに startup.nsh ファイルが存在するかをチェックします。存在 する場合には、このファイルに書き込まれたコマンドを実行した後、コンソールからのコマンド入力状態となります。 ここでは、startup.nsh ファイルは特になくてもかまいません。

#### 備考

実行パスとは、シェル環境変数の path 変数に設定されたディレクトリパスです。このディレクトリパスは、set コマンドで表示、変更できます。

# 4.1.2 UEFI シェルのコマンドシンタックス

シェルの環境変数は、set コマンドによって設定、または参照できます。

シェルコマンドへの引数として環境変数の値にアクセスするためには、以下に示すように変数名の前後に"%"の文字を付けることによって可能となります。

%myvariable% シェルは、lasterror という特別な変数をもっています。この変数は、最後に実行したシェルコマンドの 復帰値を保持しています。

"\*"、"?"、"["、"]"の文字は、シェルコマンドに対するファイル名の引数の中で、ワイルドカードとして使います。

文字列	意味
*	ファイル名で0個以上の文字にマッチする。
?	ファイル名で正確に1文字にマッチする。
[文字列]	[]の中に置かれた文字のいずれかとマッチする。例、[a-zA-Z]など。

#### 表 4.1 UEFI シェルのワイルドカード

# 4.1.3 出力リダイレクション

UEFI シェルコマンドの出力は、ファイルにリダイレクトできます。このシンタックスを以下に示します。

Command	>	unicode_output_file_pathname
Command	>a	ascii_output_file_pathname
Command	1>	unicode_output_file_pathname
Command	1>a	ascii_output_file_pathname
Command	2>	unicode_output_file_pathname
Command	2>a	ascii_output_file_pathname
Command	>>	unicode_output_file_pathname
Command	>>a	ascii_output_file_pathname
Command	1>>	unicode_output_file_pathname
Command	1>>a	ascii output file pathname

「表 4.2 出力リダイレクション」に、出力リダイレクションやアペンドの種別を示します。

#### 表 4.2 出力リダイレクション

文字列	意味
>	標準出力をユニコードファイルにリダイレクトする。
>a	標準出力をアスキーファイルにリダイレクトする。
1>	標準出力をユニコードファイルにリダイレクトする。
1>a	標準出力をアスキーファイルにリダイレクトする。
2>	標準エラー出力をユニコードファイルにリダイレクトする。
2>a	標準エラー出力をアスキーファイルにリダイレクトする。
>>	標準出力をユニコードファイルにアペンドする。
>>a	標準出力をアスキーファイルにアペンドする。
1>>	標準出力をユニコードファイルにアペンドする。
1>>a	標準出力をアスキーファイルにアペンドする。

#### 備考

標準出力、標準エラー出力を同じファイルにリダイレクトすることはできます。複数のファイルに、同時にリダイレクトすることはできません。

# 4.1.4 UEFI シェルコマンド一覧

PRIMEQUEST 2000 シリーズの UEFI では、「表 4.3 UEFI シェルコマンド一覧」に示す UEFI シェルコマンドをサポートしています。

表 4.3	UFFI シェルコマンド―皆
т. т. J	しし ノエルコ、ノー 見

項番	コマンド名	説明
1	cd	カレントディレクトリの表示、変更をする。
2	connect	UEFI ドライバをデバイスにバインドし、ドライバを起動する。
3	ср	ひとつ、または複数のファイルやディレクトリを別の場所にコピーする。
4	date	システムの現在の日付の表示、または設定をする。
5	disconnect	デバイスからひとつ、またはそれ以上のドライバをディスコネクトする。
6	drvcfg	ドライバコンフィグレーションプロトコルを実行する。 *1
7	echo	メッセージの表示、またはコマンドエコーのオン、オフの設定をする。
8	edit	フルスクリーンでアスキー、またはユニコードファイルの編集をする。
9	exit	UEFI シェルから抜ける。
10	help	コマンドリストの表示、またはコマンドのヘルプを表示する。
11	ls	ディレクトリ内のファイルとサブディレクトリを表示する。
12	map	マッピングを表示し定義する。
13	mkdir	ひとつ、または複数のディレクトリを作成する。
14	mount	ファイルシステムをブロックデバイスにマウントする。
15	mν	ひとつ、または複数のファイルを移動する。
16	рсі	PCI デバイス、または PCI コンフィグレーション空間を表示する。
17	reconnect	ひとつ、または複数のドライバをリコネクトする。
18	reset	システムをリセットする。
19	ſM	ひとつ、または複数のファイルまたはディレクトリを削除する。
20	set	UEFI 環境変数を表示、作成、変更、または削除する。
21	time	現在の時刻を表示する。またはシステム時刻を設定する。
22	type	ファイルの内容を表示する。
23	ver	バージョン情報を表示する。
24	vol	ファイルシステムのボリューム情報を表示する。

\*1:本コマンドを実行前に"connect -r"を実行してください

# 第5章 Dynamic Reconfiguration 操作

本章では、DR(Dynamic Reconfiguration)機能で使用される OS のコマンドとホットプラグ連携機能について説明します。

# 5.1 DR のコマンド操作

本章では、DR(Dynamic Reconfiguration)機能で使用される OS のコマンドについて説明します。 OS のシェル上から実行するコマンド(OS CLI コマンド)を示します。 OS CLI コマンドの実行には、root 権限が必要で す。

## 5.1.1 dr コマンド (共通部)

## 5.1.1.1 書式

/opt/FJSVdr-util/sbin/dr [--version] [--help] COMMAND [ARGS]

#### 5.1.1.2 説明

DR 関連操作を行うための基本となるコマンドです。引数にサブコマンドをとります。 コマンドが完了すると復帰します。

#### 5.1.1.3 オプション

引数	意味
version	バージョンを表示する。
help	コマンドの構文、サブコマンドの一覧を表示する。
COMMAND	サブコマンドを指定する。
ARGS	サブコマンドのオプションを指定する。

#### 5.1.1.4 終了コード

終了コード	意味
0	正常終了
1	異常終了
128+シグナル番号 s	シグナル番号 s のシグナルを受信したため異常終了

## 5.1.2 デバイスのホットアッド・ホットリムーブ操作(add/rm サブコマン ド)

## 5.1.2.1 書式

/opt/FJSVdr-util/sbin/dr [--help] <add | rm> Device

#### 5.1.2.2 説明

IOU や PCI カードのホットアッド、ホットリムーブを行うためのコマンドです。このコマンドを実行すると、指定した デバイスをシステムに組み込んだり、システムから切り離したりすることができます。

## 5.1.2.3 オプション

引数	意味
Device	ホットプラグ対象のデバイス。IOUx, PClex
	ー度に指定できるデバイスは一つのみ。x はスロットの番号を示す。
help	add/rm サブコマンドのコマンド構文を表示する。

## 5.1.2.4 例

#### 例:IOU3 を追加する場合

# /opt/FJSVdr-util/sbin/dr add IOU3	
#	

# 5.1.3 スロットの状態表示(stat サブコマンド)

### 5.1.3.1 書式

/opt/FJSVdr-util/sbin/dr stat DeviceType

#### 5.1.3.2 説明

IOU、pcie のスロットの状態表示するコマンドです。 出力されるデバイスの後に表示される数字はスロット番号を表します。

OU type の表示される状態の意味を以下に示します。

- empty : IOU が OS に組み込まれていない状態
- offline :IOU が OS に組み込まれており、スロットの電源がオフである状態(IOU が無効)

- online : IOU が OS に組み込まれており、スロットの電源がオンである状態(IOU が有効)

- pcie type の表示される状態の意味を以下に示します。
  - empty:スロットに PCI カードが存在しない状態
  - offline :スロットの電源がオフである状態(PCI カードが無効)
  - online :スロットの電源がオンである状態(PCI カードが有効)

## 5.1.3.3 オプション

引数	意味
DeviceType	状態表示対象のデバイスタイプ。IOU, pcie
	一度に指定できるデバイスは一つのみ。
help	stat サブコマンドのコマンド構文を表示する。

## 5.1.3.4 **例**

例:スロット番号 20の PCI スロットに PCI カードを組み込んだ場合

# /opt/FJSVdr-util/sbin/dr stat pcie pcie20: online pcie21: offline pcie22: empty

# 5.1.4 デバイス配下の資源表示(show サブコマンド)

## 5.1.4.1 書式

/opt/FJSVdr-util/sbin/dr show Device [--possible]

## 5.1.4.2 説明

デバイス配下の資源を表示するコマンドです。

- 指定したデバイスが IOU の場合、IOU 上に搭載されている PCI デバイス表示します。
- 指定したデバイスが pcie の場合、PCI デバイスの名前を表示します。

## 5.1.4.3 オプション

引数	意味
Device	資源表示対象のデバイス。IOUx, pciex
	一度に指定できるデバイスは一つのみ。x はスロットの番号を示す。
help	show サブコマンドのコマンド構文を表示する。

#### 5.1.4.4 例

#### 例: IOU1 上の資源を表示する場合

# /opt/FJSVdr-util/sbin/dr show IOU1 04:00.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 05:09.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 06:00.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:01.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:02.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:08.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:09.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:10.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 07:11.0 PCI bridge: PLX Technology, Inc. Device 8748 (rev ba) 09:00.0 Ethernet controller: Intel Corporation I350 Gigabit Network Connection (rev 01) 09:00.1 Ethernet controller: Intel Corporation I350 Gigabit Network Connection (rev 01) Oc:00.0 Ethernet controller: Intel Corporation I350 Gigabit Network Connection (rev 01) Oc:00.1 Ethernet controller: Intel Corporation I350 Gigabit Network Connection (rev 01) 0f:00.0 Fibre Channel: Emulex Corporation Saturn-X: LightPulse Fibre Channel Host Adapter (rev 03) Of:00.1 Fibre Channel: Emulex Corporation Saturn-X: LightPulse Fibre Channel Host Adapter (rev 03)

# 5.1.5 **情報収集(report サブコマンド)**

## 5.1.5.1 書式

/opt/FJSVdr-util/sbin/dr [--help] report

## 5.1.5.2 説明

DR に関するシステムログ、デバイス構成など、DR 実行時のトラブル対処に必要な資料を採取するコマンドです。

## 5.1.5.3 オプション

引数	意味
help	report サブコマンドのコマンド構文を表示する。

## 5.1.5.4 例

# /opt/FJSVdr-util/sbin/dr report Create report file at /tmp/drreport-localhost-20130101-123456.tar.bz2 #

# 5.2 ホットプラグ連携機能

## 5.2.1 連携機能概要

DR 機能により、SB や IOU 単位で資源(CPU,メモリ、IO リソース)が増減します。 これらの資源の量や位置を意識し ている外部ソフトウェアは、この DR 機能によって影響を受けます。外部ソフトウェアが対処できるように、ホットプ ラグ連携機能は、OS が資源の追加・削除する(CPU やメモリの onlining / offlining や、 IOU の Power on/off など)前後 に、各外部ソフトウェアにより登録されたプログラム(以降、連携プログラムと記述)を実行します。

## 5.2.2 連携プログラム実行タイミング

本機能は、以下のホットプラグイベントのタイミングで連携プログラムを実行します。

- SB ホットアッド
- SBホットアッドが MMBから実行され SB上の CPU、メモリを有効化する前(以降、SB追加事前と記述)
- SB上の CPU、メモリを有効化した後(以降、SB 追加事後と記述)
- SB上の CPU、メモリの有効化に失敗したとき(以降、SB 追加失敗時と記述)
- SB ホットリムーブ
- SB ホットリムーブコマンドの投入後 SB 上の CPU、メモリを無効化する前(以降、SB 削除事前と記述)
- SB がシステムから削除された後(以降、SB 削除事後)
- SBのシステムからの削除に失敗したとき(以降、SB削除失敗時と記述)
- IOU ホットアッド
- IOU ホットアッドコマンドの投入後 IOU 上の PCI デバイスを有効化する前(以降、IOU 追加事前と記述)
- IOU 配下のデバイスを有効化した後(以降、IOU 追加事後と記述)
- IOU 配下のデバイスの有効化に失敗したとき(以降、IOU 追加失敗時と記述)
- IOU ホットリムーブ
- IOU ホットリムーブコマンドの投入後 IOU 配下の PCI デバイスを無効化する前(以降、IOU 削除事前と記述)
- IOU の電源断をした後(以降、IOU 削除事後と記述)
- IOUの電源断に失敗したとき(以降、IOU 削除失敗時と記述)

本機能は、各実行タイミングで、指定ディレクトリ配下に格納されている連携プログラムを順次実行します。 SB 追加事前、SB 追加事後、SB 削除事前、SB 削除事後、IOU 追加事前、IOU 追加事後、IOU 削除事前、IOU 削除事後の連携スクリプトは、各連携プログラムのファイル名の「昇順」に実行します。

SB 追加失敗時、SB 削除失敗時、IOU 追加失敗時、IOU 削除失敗時の連携プログラムは、各連携プログラムのファイル 名の「降順」に実行します。

連携プログラムを格納するべきディレクトリについては「5.2.4 連携プログラムの格納ディレクトリ」で、連携プログラムの名前については「5.2.5 連携プログラムの命名規約」で説明します。

## 5.2.3 連携プログラムのタイムアウト

連携プログラムがどのような処理をするのか不明であるため、DR コマンドは資源の枯渇を未然に防ぐため連携プログ ラムを逐次実行します。連携プログラムが何らかの理由で異常終了する可能性があるため、連携プログラムが一定の待 ち時間内に終わらない場合は以下の対処を実施します。

(1) 連携プログラムに対し SIGTERM を発行します。

(2) SIGTERM 発行後、1 分待っても連携プログラムが終了しない場合は SIGKILL を発行します。

この待ち時間は、設定ファイルにより変更できます。 設定可能な値を以下に示します。デフォルトの待ち時間は5分とします。

設定値	動作
5-1024	連携プログラムの完了を指定時間待つ。単位は分。
0	連携プログラムの完了を時間無制限で待つ。
-1以下	設定可能範囲外の値であるため、連携プログラムの完了をデフォルトの5分待つ。
1-4	設定可能範囲外の値であるため、連携プログラムの完了をデフォルトの5分待つ。
1025 以上	設定可能範囲外の値であるため、連携プログラムの完了をデフォルトの5分待つ。

DR を継続するにあたり必ず処理を完了させる場合など待ち時間を指定したくない場合は、待ち時間に0を指定してください。ただし、連携プログラムの完了を待つ間 DR 機能の処理は進行しないので注意してください。

# 5.2.4 連携プログラムの格納ディレクトリ

連携プログラムは、以下の格納ディレクトリに配置してください。

/opt/FJSVdr-util/user\_command

連携プログラムの設定ファイルは、以下の格納ディレクトリに配置してください。

/opt/FJSVdr-util/etc

格納ディレクトリ配下に新たなディレクトリを作成しないでください。

## 5.2.5 連携プログラムの命名規約

連携プログラム名の命名規約を以下に示します。

#### nn-XXXXX

- nn

10 から 90 までの 2 ケタの半角数字です。本機能は、連携プログラムを昇順に実行するため、他の連携プログ ラムよりも早く実行される必要がある場合には、それらよりも小さい数字を、遅く実行される必要がある場合は それらよりも大きい数字を設定してください。

XXXXX

連携プログラムの識別子は英字、数字およびハイフン(-)の半角 ASCII 文字の文字列です。 連携プログラムの内 容が推測可能な名前であることが望ましい。連携プログラム名の重複を避けるため、 識別子の先頭にはパッケ ージ名を付加してください。

#### 注意

nn と XXX の間の"-"のハイフン(-)は省いかないでください。

連携プログラムの設定ファイル名の命名規約を以下に示します。

#### XXXXX.conf

- XXXXX 連携プログラムの識別子として指定した文字列です。 連携プログラムの名前の"nn-"は、設定ファイル名に書かないでください。

以下に連携プログラムの命名例を示します。

例:パッケージ名が FJSVxxxの get-cpu-info、get-node-info 連携プログラムの場合

[連携プログラム名] 10-FJSVxxx-get-cpu-info 20-FJSVxxx-get-node-info [連携プログラムの設定ファイル] FJSVxxx-get-cpu-info.conf FJSVxxx-get-node-info.conf

## 5.2.6 連携プログラムの設定ファイル記述方法

設定ファイルの記述方法は以下のとおりです。

#### <設定項目> = <設定値>

設定項目	設定値		
verbose	冗長モードの設定		
	true または false true が設定された場合に限り、連携プログラムの呼び出し時の引数に冗長		
	モードを示す"-v" が設定される。		
	デフォルト値は false		
timeout	連携プログラムのタイムアウト時間		
	設定可能な値については「5.2.3 連携プログラムのタイムアウト」を参照のこと。		

冗長モードで呼び出された場合に限り、連携プログラムの標準出力と標準エラー出力は専用のログファイルに出力され ます。それ以外は DR コマンドのログと同様システムログへ出力されます。連携プログラムのログ出力については後述 の「5.2.10 連携プログラムの出力」を参照してください。

連携プログラムの設定ファイルの配置は必須ではありません。設定ファイルが存在しない場合は、ホットプラグ連携機能のデフォルト値を使用し連携プログラムを実行します。

#### 注意

- 設定ファイル内の空白行、#で始まる行は無視されます。
- # 行には日本語を使用してもよいが、その場合はファイルの文字コードは UTF-8 形式で保存してください。
- 1つの設定項目は、1行に収まるようにしてください。
- 設定行の先頭、末尾、および"="の前後に空白を挿入しても可です。

設定ファイルの記述例を以下に示します。

例:連携プログラム"nn-FJSVxxx-get-info"が冗長モード、かつ、タイムアウト時間 10 分の場合

# FJSVxxx-get-cpu-info

verbose = true timeout = 10

## 5.2.7 連携プログラムの権限

DR コマンドは root 権限で実行されます。 ホットプラグ連携機能は DR コマンドの一機能として実行されため、連携プログラムは root 権限に設定する必要があります。root 権限が設定されない連携プログラムは実行されません。

# 5.2.8 連携プログラムへ渡される引数

連携プログラムを実行する際、連携プログラムにどの呼び出しタイミングであるかをオプションとして渡すものとします。SB, IOU それぞれの追加事後、追加失敗時、削除事後、削除失敗時のタイミングで呼び出される場合には、ホットプラグの成功、失敗の結果について、また追加・削除される資源についてもあわせてオプションとして渡されます。

#### 連携プログラムに渡される引数の一覧を以下に示します。

オプション	引数	オプションの意味
-р	ホットプラグ対象デバイス	どのデバイスに対するコマンド呼び出しなのかを示す(必須)。
	SBx	x, y ともに-1, 0-3 のいずれかが設定される。
	IOUy	
-е	呼び出しタイミング	どのタイミングに対するコマンド呼び出しなのかを示す(必須)。
	ADD_PRE ADD_POST	ADD_PRE :ホットアッド前の呼び出し
	RM_PRE RM_POST	ADD_POST:ホットアッド後の呼び出し
		RM_PRE: ホットリムーブ前の呼び出し
		RM_POST:ホットリムーブ後の呼び出し
-r	ホットプラグの結果	ホットプラグの結果を示す。
	SUCCESS	このオプションは呼び出しタイミングが ADD_POST もしくは
	FAILURE	RM_POST の場合にのみ指定される
-V	なし	冗長モードでの呼び出しであることを示す。呼び出されたプログラム
		は必要に応じデバッグメッセージを出力しても良い。
-c	CPU 番号	これから追加・削除される CPU 番号の一覧を示す。
		このオプションはホットプラグ対象デバイスが SBx、かつ、呼び出し
		タイミングが ADD_PRE もしくは RM_PRE の場合にのみ指定される。
		指定される CPU 番号の例を以下に示す。カンマで区切られた CPU 番
		号のリストになる。ハイフンで区切られている場合は、その最初と最
		後の番号の範囲すべてが含まれていることを意味する。 None は CPU
		が一つもないことを意味する。
		1-10
		2,3
		1-10,12-19
		None
-m	メモリ量	これから追加・削除されるメモリ量の概算を示す。
		このオプションはホットプラグ対象デバイスが SBx、かつ、呼び出し
		タイミングが ADD_PRE もしくは RM_PRE の場合にのみ指定される。
		メモリ量の単位は kB。指定されるメモリ量の例を以下に示す。
		8388608
-N	NUMA Node 番号	追加された・削除される NUMA Node 番号の一覧を示す。
		このオプションはホットプラグ対象が SBx、かつ、呼び出しタイミン
		グが ADD PRE もしくは RM PRE の場合にのみ指定される。指定され
		るノード番号の例を以下に示す。カンマで区切られたノード番号のリ
		ストになる。ハイフンで区切られている場合は、その最初と最後の番
		号の範囲すべてが含まれていることを意味する。 None はノードがー
		つもないことを意味する。
		2,3
		4
		5-7
		None

オプション	引数	オプションの意味
-d	PCIアドレス	削除される PCI デバイス(ただし PCI ブリッジを除く)のバス番号:デ
		バイス番号:ファンクション番号(PCI アドレス)の一覧を示す。この
		オプションはホットプラグ対象が IOU、かつ、呼び出しタイミングが
		RM_PRE の場合にのみ指定される。 指定される PCI アドレスの例を以
		下に示す。
		01:23.4
		01:23.4,56:78:9,ab:cd.e
		PCI アドレスの例は lspci コマンドの出力を参照。

本機能が連携プログラムを呼び出す例を以下に示します。

/path/to/program1 -p SB1 -e ADD\_PRE -c 10-19 -m 12345678 - n 2-3 /path/to/program2 -e ADD\_POST - r SUCCESS -p SB2 /path/to/program3 -v -p IOU1 -e RM\_PRE -d 00:01.2,03:04.5 /path/to/program4 -e RM\_POST - v - p IOU2 - r FAILURE

# 5.2.9 連携プログラムの終了ステータス

連携プログラムを実行した結果、DR の処理を継続する場合は 0 で、DR の処理を継続できないと判断した場合はそれ以 外で連携プログラムを復帰させてください。 DR コマンドは連携プログラムの復帰値を確認し、0 以外が帰ってきた場合 にその時点で DR の処理を停止させます。

## 5.2.10 連携プログラムの出力

連携プログラムからの標準出力(stdout)および標準エラー出力(stderr)はシステムログへ出力されます。 ただし、冗長モードの場合に限り標準出力と標準エラー出力は以下のディレクトリにファイルとして出力されます。その際のファイル名は、「スクリプト名.log」となります。システムログへは出力されません。

/opt/FJSVdr-util/var/log

これらの出力は以下の形式としてください。

<時間>:dr-util:<スクリプト名>:::<スクリプトの出力>

以下に出力例を示します。

例:標準エラー出力(1行目)、標準出力への出力(2行目)の場合

Jul 12 22:05:00 dr-util : 10-FJSVxxx-get-cpu-info : ERR : Invalid Option Jul 12 22:06:00 dr-util : 15-FJSVxxx-get-mem-info : INFO : Good news, memory will be added 1 YB :)
### 5.2.11 連携プログラムを実行する処理の流れ



図 5.1 SB 追加処理開始



図 5.2 SB 削除処理開始



図 5.3 IOU 追加処理開始







図 5.5 逮携プログラムの昇順実行(1/2)



図 5.6 連携プログラムの昇順実行(2/2)

# 第6章 sadump 環境の設定

本章では、sadump 環境の設定方法について説明します。

sadump 環境の設定は、UEFI 構成情報に保存されます。このため、設定内容を復旧するためにバックアップを実施して ください。UEFI 構成情報のバックアップ・リストアのについて詳しくは、『PRIMEQUEST2000 シリーズ運用管理マニュ アル』(CA92344-0527)の「8.1.1 UEFI 構成情報のバックアップ・リストア」を参照してください。

## 6.1 sadump 環境設定のメニュー構成

sadump 環境を設定するには、UEFIの[Device Manager] メニューから sadump を設定するためのメインメニューを選 択します。以下に説明するメインメニューおよびサブメニューでそれぞれ値を入力し、 sadump の環境を設定します。 メニュー構成は、以下のとおりです。

PCI Subsystem Configuration メニューの「PCI ROM Priority」設定が「EFI Compatible ROM」の時に、Sadump を設 定するメニューが表示されます。



図 6.1 sadump 環境設定のメニュー構成(1)





### 6.1.1 画面構成

sadump環境を設定するメニューは、4つの領域で構成されています。以下に各領域を説明します。

①タイトル	
②メニュー選択部 XXXXXXX YYYYYYY ZZZZZZZ	③メニュー選択ヘルプ
④操作ヘルプ	

図 6.4 sadump 環境設定の画面構成

番号	項目	意味
1	タイトル	メニューのタイトルが表示される。
2	メニュー選択部	操作を行うメニューが表示される。
		[Enter] キーなどで操作する。選択した項目は反転表示される。
3	メニュー選択ヘルプ	メニュー選択部で選択しているメニューの詳細説明が表示される。
4	操作ヘルプ	画面を操作するためのヘルプ情報が表示される。

# 6.2 メインメニュー

[Device Manager] メニューで[sadump Configuration] を選択すると、メインメニューが表示されます。このメニューから、sadump 環境またはダンプデバイスを設定できます。

#### 備考

「PCI Subsystem Configuration」メニューの「PCI ROM Priority」設定が「EFI Compatible ROM」の時に表示されます。



図 6.5 メインメニュー

表 6.1 メインメニューのメニュー項目

メニュー	説明
Set up Manager	sadump セットアップメニューに遷移する。
Dump device Manager	ダンプデバイスメンテナンスメニューに遷移する。
Exit	設定操作を終了する。

表 6.2 メインメニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択し実行する。

注意

# 6.3 sadump セットアップメニュー

メインメニューで[Setup Manager] を選択すると、sadump セットアップメニューが表示されます。 このメニューに は、sadump 環境構築のために設定する項目が一覧表示されます。sadump が設定されていないシステム導入初期状態 では、以下のように表示されます。

図 6.6 sadump セットアップメニュー

Set up Manager		
Set up of sadump Item ENABLE COMPRESS RECYCLE REBOOT Restore to factory s Commit changes and I Discard changes and	Setting <enable> <uncompress> <enable> IOI settings Exit Exit</enable></uncompress></enable>	Commit the changes and exit.
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

<b></b>	説明	
sadump	sadumpの有効・無効を選択する。	
	・ Enabled:有効	
	・ Disabled:無効	
	デフォルトは Disabled。	
COMPRESS	sadump ダンプ出力処理でダンプデバイスに書きこむ形式を指定する。	
	・ Uncompress:圧縮しない	
RECYCLE	ダンプデバイスを再利用するか否かを指定する。再利用する場合、一番古いダ	
	ンプを破棄してダンプ出力する。	
	・ Enabled:有効	
	・ Disabled:無効	
	デフォルトは Enabled。	
REBOOT	sadump ダンプ出力処理後の動作を指定する。	
	・ 0:HALTする	
	<ul> <li>1-3600:指定した秒後に再起動する。</li> </ul>	
	デフォルトは 0。	
SKIPZEROPAGE	ダンプを採取する際、"0"のみを含むメモリは採取しないことによりダンプ	
	採取時間を短縮する。	
[PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/	・ Enable: 有効	
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で	・ Disable:無効	
利用可能です]	デフォルトは Disable。	
TIMEOUT	ダンプの採取を中断する時間を指定する。	
	・ 0 : 中断なし	
[PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/	・ 1-255:タイムアウト時間(単位は時(hour))	
2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で	デフォルトは 0。	
利用可能です]		
Restore to factory settings	全項目をデフォルトに戻す。	
Commit Changes and Exit	変更を更新してメイン画面へ戻る。	
	注意	
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and Exit」	
	からメニューを抜けること。	
Discard Changes and Exit	変更を破棄してメイン画面へ戻る。	

### 表 6.3 sadump セットアップメニューのメニュー項目

### 表 6.4 sadump セットアップメニューの操作ヘルプ

操作	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択し実行する。	
	ENABLE、COMPRESS、RECYCLE の場合、選択項目がポップアップで表示され	
	ිං	
	REBOOT の場合、指定値が入力可能となる。	
	指定値を設定し、 [Enter] キーで設定する。	

#### 注意

# 6.4 ダンプデバイスメンテナンスメニュー

メインメニューで [Dump device Manager] を選択すると表示されます。 このメニューから、ダンプデバイスの構築、 設定、破棄の操作を開始できます。

図 6.7 ダンプデバイスメンテナンスメニュー		
F2=Previous Page	Dump device Manager	
laintain the dump device lumber of created dump dev lumber of dump device in o create a dump device Select a dump device Discard a dump device Cxit	vice:0 use:0	Create a dump device.
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

#### 表 6.5 ダンプデバイスメンテナンスメニューのメニュー項目

-L=K	説明	
表示部分	現在の作成済みのダンプデバイスおよび設定済みのダンプデバイスの数を表示	
	する。	
Create a dump device	ダンプデバイス構築メニューに遷移する。	
Select a dump device	ダンプデバイス設定メニューに遷移する。	
Discard a dump device	破棄ダンプデバイス選択メニューに遷移する。	
Exit	メインメニューへ遷移する。	

#### 表 6.6 ダンプデバイスメンテナンスメニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択し実行する。

#### 注意

# 6.5 ダンプデバイス構築メニュー

ダンプデバイスメンテナンスメニューで[Create a dump device] を指定すると表示されます。 ダンプデバイスを作成するか、作成したダンプデバイスを選択するかいずれかの操作を指定します。

义	6.8	ダンプデバイス構築メニュー
---	-----	---------------

F2=Previous Page	Create a dump device	
Create a dump device Create mode Disk selection Exit	<mark>≮Single&gt;</mark>	Please select the dump devices configuration. Single: Create a dump device with a single device or partition. Multiple: Create a dump device with multiple devices.
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

#### 表 6.7 ダンプデバイス構築メニューのメニュー項目

-L=X	説明
Create mode	ダンプデバイスの作成モードを選択する。
	・ Single:単一のディスクまたはパーティションで作成する。冗長化構成を
	とる場合は"Single"で複数の sadump デバイスを作成する。
	・ Multiple:複数のディスクで作成する。大容量メモリでディスクが1つで
	は足りない場合に使用する。
	デフォルトは Single。
Disk selection	ダンプデバイス選択メニューに遷移する。
Exit	ダンプデバイスメンテナンスニューまたはマルチダンプデバイス選択メニュー
	へ戻る。

#### 表 6.8 ダンプデバイス構築メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>=Select Entry</enter>	項目を選択し実行する。

#### 注意

# 6.6 ダンプデバイス選択メニュー

ダンプデバイス構築メニューで [Create Mode] に[Single] を指定すると表示されます。 ダンプデバイスを構築するディ スクまたはディスクパーティションを選択して、ダンプデバイスを作成します。



(データ破壊) ダンプデバイスを選択するさい、ディスクの選択が正しいか、再確認してください。 選択を誤ったまま実行すると、データが破壊されます。

Select device Select device Please press <Enter> to configure a dump Exit device with the selected deivce. Please select upper Acpi (PNP0A08,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0, exit and press <Enter> 0x0) /Pci(0x0,0x0) /Pci(0x3,0x0) /Pci(0x0,0x0) /Scsi(0x2 to cancel this menu. ,0x0) Acpi (PNP0A08,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Scsi (0x2 ,0x0) /HD (1,MBR,0x335881D8,0x3F,0x32F8E) Acpi (PNP0A08,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Scsi (0x2 ,0x0) /HD (2,MBR,0x335881D8,0x32FCD,0x4E1EE2B) †↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save

図 6.9 ダンプデバイス選択メニュー

表 6.9 ダンプデバイス選択メニューのメニュー項目

メニュー	説明	
Exit	ダンプデバイス構築メニューへ戻る。	
ディスク/ディスクパーティションの	ダンプデバイスを作成するディスクまたはディスクパーティションを指定す	
ACPI 名	る。	

備考

- ディスクまたはディスクパーティションを表す ACPI 名については、「3.6 デバイスパス」を参照してください。
- ETERNUS 上のデバイスをダンプデバイスに設定する場合、事前に UEFI ドライバの設定を実施する必要があります。設定手順について詳しくは、『PRIMEQUEST 2000 シリーズ SAN ブート環境構築マニュアル』 (C122-E206)を 参照してください。

#### 表 6.10 ダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>= Select Entry</enter>	選択したディスクまたはディスクパーティションでダンプデバイスを構築し、
	ダンプデバイス構築メニューに遷移する。Exit を選択した場合、ダンプデバイ
	スを構築せずにダンプデバイス構築メニューに戻る。

#### 注意

- [Esc] キーは画面に表示されますが、操作しないでください。
- ダンプデバイスを作成するさい、ダンプデバイスが初期化されます。選択したディスクまたはディスクパーティションの大きさに応じて、初期化に必要な時間は異なります。場合によっては、初期化に時間がかかり、次の画面へ切り替わるのに数分以上かかることがあります。

# 6.7 ダンプデバイス設定メニュー

ダンプデバイスメンテナンスメニューで[Select a dump device] を指定すると表示されます。 構築したダンプデバイス から sadump で使用するものを設定します。

Setting dump device	
Select the dump device used [1] Acpi (PNP0A08,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0 x0,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Pci (0x3,0x0) /Pci (0x0,0x0) /Scsi ( 0x2,0x0) /HD (4,MBR,0x335881D8,0x52518BD,0xBFA5C9D) /HD (3,MBR,0x00000000,0x7972A76,0x253EA80) [2] [3] Clear setting Commit changes and Exit Discard changes and Exit	The 1st dump device is selected. < Enter > Then, it moves to the dump device list.
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

図 6.10 ダンプデバイス設定メニュー

メニュー	説明
1 番目のダンプデバイス	1 番目のダンプデバイスを指定する。指定がない場合は、[1] のみ表示される。
2 番目のダンプデバイス	2 番目のダンプデバイスを指定する。指定がない場合は、[2] のみ表示される。
3 番目のダンプデバイス	3 番目のダンプデバイスを指定する。指定がない場合は、[3] のみ表示される。
Clear setting	すべてのダンプデバイスの指定をクリアする。
Commit Changes and Exit	設定を更新して、ダンプデバイスメンテナンスメニューに戻る。 <b>注意</b>
	設定を変更した場合は「Esc」ではなく、必ず「Commit Changes and
	Exit」からメニューを抜けること。
Discard Changes and Exit	設定を破棄して、ダンプデバイスメンテナンスメニューに戻る。

表 6.12 ダンプデバイス設定メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>= Select Entry</enter>	[1] ~ [3]を指定した場合、ダンプデバイス一覧メニューに遷移する。
	その他の項目を選択した場合、その処理を実行する。

注意

[F2] キーは操作しないでください。[Esc] キーは画面に表示されますが、操作しないでください。

- [Commit Changes and Exit] を実行すると、すでに指定しているデバイスを含めて、指定されているすべてのデ バイスのチェックが行われます。そのさい、指定しているデバイスが存在しない場合は、そのデバイスの指定は 自動的にクリアされます。

#### 【留意】

"Clear setting"操作時の振る舞いについて、以下の留意事項があります。

- 2番目のダンプデバイスまたは3番目のダンプデバイスが指定済みの状態で、
- システムを起動してから2回以上"Clear setting"を行ったとき

"Clear setting" 実施後もダンプデバイスの指定はクリアされずそのまま残り、以降、ダンプデバイスの指定変更および"Clear setting" の操作が出来なくなることがあります。

この場合、MMB の WebUI から、"Reset" もしくは"PowerCycle"の操作を行ってシステムを再起動させてください。 再起動後のダンプデバイス設定メニューでは、指定がクリアされた状態になり、ダンプデバイス指定の操作が出来る ようになります。

# 6.8 ダンプデバイス一覧メニュー

ダンプデバイス設定メニューで [1]、[2]、または[3] を指定すると表示されます。 自システムのダンプデバイスの一覧 が表示されます。ダンプデバイスを設定できます。 複数のディスクでダンプデバイスを構築している場合、先頭のディ スクを指定します。

図 6.11 ダンプデバイス一覧メニュー

Select device	
Select device Exit Acpi (PNP0A08.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Scsi (0x2 .0x0) Acpi (PNP0A08.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Scsi (0x2 .0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Scsi (0x2 .0x0) /HD (1.MBR.0x335881D8.0x3F.0x32F8E) Acpi (PNP0A08.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (	Please press <enter> to configure a dump device with the selected deivce. Please select upper exit and press <enter> to cancel this menu.</enter></enter>
,0x0)/HD(2,MBR,0x335881D8,0x32FCD,0x4E1EE2B)	
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry 3</enter>	Esc=Exit without Save

#### 表 6.13 ダンプデバイス一覧メニューのメニュー項目

メニュー	説明
ダンプデバイスの ACPI 名	ダンプデバイスを構築したディスクまたはディスクパーティションの ACPI
	名が表示される。
	選択したダンプデバイスは反転される。

#### 表 6.14 ダンプデバイス一覧メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>= Select Entry</enter>	選択したダンプデバイスを確定し、使用ダンプデバイス設定メニューに遷移す る。

注意

[Esc] キーは画面に表示されますが、操作しないでください。

# 6.9 破棄ダンプデバイス選択メニュー

ダンプデバイスメンテナンスメニューで [Discard a dump device] を指定すると表示されます。 不要となったダンプデ バイスを破棄します。以下のメニューで破棄したいダンプデバイスを指定します。 複数のディスクでダンプデバイスを 構築している場合、先頭のディスクを指定してすべてのディスクをダンプデバイスから破棄します。

図 6.12 破棄ダンプデバイス選択メニニ	ı—
-----------------------	----

Select discard dump device			
Select discard dump device Discard all dump devices Exit Acpi(PNPOAO8,0x0)/Pci(0x3 0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x3 ,0x0)/HD(4,MBR,0x335881D8 MBR,0x00000000,0x7972A76,	es and Exit ,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x0, ,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Scsi(0x2 ,0x52518BD,0xBFA5C9D)/HD(3, 0x253EA80)	dump device type:Single dump device size:1868 The dump device is discarded by < Enter >. One or more devices can be selected.	
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save	

表 6.15 破棄ダンプデバイス選択メニューのメニュー項目

メニュー	説明
Discard all dump device and Exit	すべてのダンプデバイスを破棄し、ダンプデバイスメンテナンスメニューへ
	遷移する。
Exit	ダンプデバイスを破棄せず、ダンプデバイスメンテナンスメニューへ遷移す
	る。
ダンプデバイスの ACPI 名	ダンプデバイスを選択する。

#### 表 6.16 破棄ダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ

操作	説明	
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。	
<enter>= Select Entry</enter>	ダンプデバイスを指定した場合、選択したダンプデバイスを破棄する。	
	その他の場合、項目を選択し実行する。	

注意

# 6.10 マルチダンプデバイス選択メニュー

ダンプデバイス構築メニューで[Create mode] に[Multiple] を指定すると表示されます。 ダンプデバイスを構成するディスクを複数選択します。

Select multiple devices			
Selection devices So to create dump device Exit		The dump device can be constructed with two or more devices. Please select the	
)cpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x3, )x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x0, )x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x3, )x0)/Pci(0x0,0x0)/Scsi(0x2, 0x0)	[X]	device of the object and press <enter>. Please select upper exit and press &lt; Enter &gt; when you do not make the dump device.</enter>	
icpi (PNPOAO8,0x0)/Pci (0x3, )x0)/Pci (0x0,0x0)/Pci (0x0, )x0)/Pci (0x0,0x0)/Pci (0x3, )x0)/Pci (0x0,0x0)/Scsi (0x2		•	
†↓=Move Highlight	<spacebar>Toggle Checkbox</spacebar>	Esc=Exit without Save	

#### 図 6.13 マルチダンプデバイス選択メニュー

表 6.17 マルチダンプデバイス選択メニューのメニュー項目

<b>س</b> ב_۲	説明
Go to create dump device	マルチダンプデバイス確認メニューへ遷移する。
Exit	ダンプデバイスを構築せずに、ダンプデバイス構築メニューへ戻る。
ダンプデバイスの ACPI 名	ダンプデバイスを作成するディスクの ACPI 名が表示される。
	[Space] キーで選択すると、ACPI 名の[ ] が[X] となる。

#### 備考

ディスクを表す ACPI 名については、「3.6 デバイスパス」を参照してください。

#### 表 6.18 マルチダンプデバイス選択メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<spacebar>= Toggle checkbox</spacebar>	ディスクを選択する。選択したディスクには、[x]が表示される。再度[Space]
	キーを操作すると選択が解除される。

#### 注意

[Esc] キーは画面に表示されますが、操作しないでください。

# 6.11 マルチダンプデバイス確認メニュー

マルチダンプデバイス選択メニューでダンプデバイスを指定し、 [Enter] キーを押すと表示されます。 複数指定したディスクを確認し、ダンプデバイスを構築します。

図614	マルチダンプデバイス確認メニュー
四 0.14	

Confirmation	
Selected devices Acpi (PNP0A08.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x0. 0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Scsi (0x2 .0x0) Acpi (PNP0A08.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x0. 0x0) /Pci (0x0.0x0) /Pci (0x3.0x0) /Pci (0x0.0x0) /Scsi (0x2 .0x0) /HD (1.MBR.0x335881D8.0x3F.0x32F8E) Create dump device and Exit Exit	Please select "Create dump device and Exit" or "Exit" at the bottom.
↑↓=Move Highlight	Esc=Exit without Save

表 6.19 マルチダンプデバイス確認メニューのメニュー項目

メニュー	説明
Create dump device and Exit	ダンプデバイスを構築し、ダンプデバイス構築画面へ遷移する。
Exit	ダンプデバイスを構築せずに、ダンプデバイス構築画面へ遷移する。
表示部分	マルチダンプデバイス選択メニューで選択したディスクが表示される。

#### 表 6.20 マルチダンプデバイス確認メニューの操作ヘルプ

操作	説明
↑ ↓ =Move Highlight	カーソルを上下に移動する。
<enter>= Select Entry</enter>	項目を選択し、実行する。

#### 注意

[Esc] キーは画面に表示されますが、操作しないでください。

# 付録 A 設定項目の一覧

設定項目の初期値および設定可能値一覧で示します。

# A.1MMB Web-UI の設定項目

MMB Web-UI の設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- A.1.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.4 [System Information] 画面の設定項目
- A.1.5 [System Setup] 画面の設定項目
- A.1.6 [System Power Control] 画面の設定項目
- A.1.7 [Power Control] 画面の設定項目
- A.1.8 [Schedule Control] 画面の設定項目
- A.1.9 [Add Schedule] / [Edit Schedule] 画面の設定項目
- A.1.10 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目
- A.1.11 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目
- A.1.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目
- A.1.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目
- A.1.14 [ASR Control] 画面の設定項目
- A.1.15 [Console Redirection] 画面の設定項目
- A.1.16 [Mode] 画面の設定項目
- A.1.17 [Add User]/[Edit User] 画面の設定項目
- A.1.18 [Change Password] 画面の設定項目
- A.1.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目
- A.1.20 [Date/Time] 画面の設定項目
- A.1.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目
- A.1.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目
- A.1.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目
- A.1.24 [Network Protocols] 画面の設定項目
- A.1.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目
- A.1.26 [SNMP Community] 画面の設定項目
- A.1.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目
- A.1.28 [SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目
- A.1.29 [Create CSR] 画面の設定項目
- A.1.30 [Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目
- A.1.31 [Edit User] 画面の設定項目
- A.1.32 [Add Filter] / [Edit Filter] 画面の設定項目
- A.1.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目
- A.1.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

## A.1.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Severity	すべてオン	<ul> <li>Error</li> <li>Warning</li> <li>Info</li> <li>Monitor</li> <li>(複数選択可)</li> </ul>	Monitor は、CE 権限でログインした場合のみ表示。
Partition	<ul> <li>Partition Operator 以 外の場合: All</li> <li>Partition Operator の 場合: Specified (管理 対象のパーティション が選択)</li> </ul>	<ul> <li>All</li> <li>Specified</li> </ul>	All、Specified の切替えで、Specified 側のチェックボックスの選択データは 保持。
Unit	All	<ul><li> All</li><li> Specified</li></ul>	All、Specified の切替えで、Specified 側のチェックボックスの選択データは 保持。
Source	All	<ul><li>All</li><li>Specified</li></ul>	All、Specified の切替えで、Specified 側のチェックボックスの選択データは 保持。
Sort by Date/Time	New event first	<ul> <li>New event first</li> <li>Old event first</li> </ul>	
Start Date/Time	First event	<ul> <li>First event</li> <li>Specified Time</li> </ul>	Specified Time を選択した場合、開始 時間を入力できる。 First event、Specified Time の切替え で、Specified Time 側の時間データは 保持。
End Date/Time	Last event	<ul> <li>Last event</li> <li>Specified Time</li> </ul>	Specified Time を選択した場合、終了 時間を入力できる。 Last event、Specified Time の切替え で、Specified Time 側の時間データは 保持。
Number of events to display	100 件	0 以上、表示されている 分数の分母部分の数以下 の整数(最大 3000 件)	表示されている分数の分母は、記録さ れているイベントの総数。

### 表 A.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

## A.1.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Operation	All	• All	All、Specified の切替えで、Specified
		• Specified	側のチェックボックスの選択データは保
			持。
Sort by Date/Time	New event first	• New event first	
		• Old event first	
Start Date/Time	First event	• First event	Specified Time を選択した場合、開始時
		<ul> <li>Specified Time</li> </ul>	間を入力できる。
			First event、Specified Time の切替え
			で、Specified Time 側の時間データは保
			持。
End Date/Time	Last event	• Last event	Specified Time を選択した場合、終了時
		<ul> <li>Specified Time</li> </ul>	間を入力できる。
			Last event、Specified Time の切替え
			で、Specified Time 側の時間データは保
			持。
Number of events	100件	0 以上、表示されている分	表示されている分数の分母は、記録され
to display		数の分母部分の数以下の整	ているイベントの総数。
		数(最大 1000 件)	

	表 A.2	[Operation	Log Filtering	Condition]	画面の設定項目
--	-------	------------	---------------	------------	---------

## A.1.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition	• Partition Operator 以	• All	All、Specified の切替えで、Specified
	外の場合:All	• Specified	側のチェックボックスの選択データは保
	· Partition Operator ${\cal O}$		持。
	場合:Specified (管理		
	対象のパーティション		
	が選択)		
Number of events	100件	0 以上、表示されている分	表示されている分数の分母は、記録され
to display		数の分母部分の数以下の整	ているイベントの総数。
		数(最大 1000 件)	

表 A.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

## A.1.4 [System Information] 画面の設定項目

[System Information] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
System Name	"PRIMEQUEST" + Product	最大 64 文字入力可能	SNMPの System Name としても使用。
	Serial Number	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~ \ @	
		`[]{}:;*+?<>./_	
Asset Tag	なし	最大 32 文字入力可能	
		(Administrator 権限のみ)	

### 表 A.4 [System Information] 画面の設定項目

# A.1.5 [System Setup] 画面の設定項目

[System Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Power Feed Mode	Single	<ul><li>Single</li><li>Dual</li></ul>	
Power Restoration Policy	Restore	<ul> <li>Always off</li> <li>Always on</li> <li>Restore</li> <li>Schedule Sync</li> </ul>	
Partition Power On	0秒	0~99999秒	
Delay			
Altitude	Altitude < 1000 m	<ul> <li>Altitude &lt; 1000 m</li> <li>1000 m &lt;= Altitude &lt; 1500 m</li> <li>1500 m &lt;= Altitude &lt; 2000 m</li> <li>2000 m &lt;= Altitude</li> </ul>	高度条件の設定誤差は、±100 m まで 可能
PSU Redundancy Mode	Non-Redundant (Power Feed Mode が Single の場合)	<ul> <li>Multi-redundant *1</li> <li>Redundant</li> <li>Non-redundant</li> </ul>	Power Feed Mode が Dual の場合、 Redundant で固定。 *1: PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/ 2400S Lite/2400S/2400E/2400L の時の み表示される。また、PSU_S 100V を使 用していない場合はグレーアウトされ る。
Reserved SB	10分	0~99分	
Force Power Off			
Wait			
System Power Save Control	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	PSU_P 200V 使用時のみ設定可能。
System Power	PRIMEQUEST	PRIMEQUEST 2400531 ite/2400521 ite/24005	[System Power Save Control]が [Disate 1]
Saving Threshold	2400S3 Lite/2400S2 Lite/	Lite の場合	[DISADIE] 時はグレーアウト。
	2400S Lite の場合 5760W	最小值~5760W PRIMEQUEST	
	PRIMEQUEST	2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/2400S2/	
	2400S3/2400E3/2400L3/	2400E2/2400L2/2800E2/	
	2800E3/2800L3/2400S2/	2800L2/2400S/2400E/ 2400L/2800E/2800Lの場合	
	2400E2/2400L2/2800E2/	最小值~8640W	
	2800L2/2400S/2400E/	最小值:"800W * PSU 搭載	
	2400L/2800E/2800L の場合 8640W	台数"または"800W * PSU 必 要数"のどちらか大きい方の 値	

### 表 A.5 [System Setup] 画面の設定項目

## A.1.6 [System Power Control] 画面の設定項目

[System Power Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
System Power	なし	<ul> <li>Power On all partition(s)</li> </ul>	
Control		Power Off all	
		partition(s) (all partitions(s) will	
		be automatically shutdown)	
		Force Power Off	

### 表 A.6 [System Power Control] 画面の設定項目

### A.1.7 [Power Control] 画面の設定項目

[Power Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期 値	設定可能値	備考
Power Control	なし	<ul> <li>Power On</li> <li>Power Off</li> <li>Power Cycle</li> <li>Reset</li> <li>NMI</li> <li>Force Power Off</li> <li>sadump</li> <li>(Not Specified)</li> </ul>	Power Status が「Standby」の場合のみ 「Power On」の設定が可能。 Power Status が「On」の場合のみ、 「Power On」以外の設定が可能。
Force Power Off Delay	オフ	オンの場合は、時間指定 (1~9 分) が可能	
Boot Selector	No Override	<ul> <li>No Override</li> <li>Force boot into EFI</li> <li>Boot Manager</li> <li>Force PXE/iSCSI</li> <li>Force boot from DVD</li> </ul>	

### 表 A.7 [Power Control] 画面の設定項目

## A.1.8 [Schedule Control] 画面の設定項目

[Schedule Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

#### 表 A.8 [Schedule Control] 画面の設定項目

設定項目	初期値		設定可能値	備考
Schedule Control	Off	•	On	
		•	Off	

## A.1.9 [Add Schedule] / [Edit Schedule] 画面の設定項目

[Add Schedule] / [Edit Schedule] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition	定義されている最も小さい	[PRIMEQUEST 2400S3 Lite/	定義されているパーティション
	番号のパーティション	2400S3/2400S2 Lite/	が「#n:パーティション名」の形
		2400S2/2400S Lite/ 2400S モデル	式で選択可能
		の場合]	
		0~1 パーティション	
		[PRIMEQUEST	
		2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/	
		2400E2/2400L2/2800E2/	
		2800L2/2400E/2400L/	
		2800E/2800L モデルの場合]	
		0~11 パーティション	
Туре	未選択	• Daily	
		• Weekly	
		• Monthly	
		• Special	
Pattern	Weekly:未選択	<ul> <li>Weekly : Sun, Mon, Tue, Wed,</li> </ul>	
	Monthly : From 1 to 1	Thu, Fri, Sat	
	Special : Jan/1	• Monthly : 1~31	
		Special : Jan/1~Dec/31	
Term	・Daily:From:Jan/1	• Daily : Jan/1~Dec/31	
	To : Jan/1	• Weekly : Jan~Dec	
	• Weekly : From : Jan	• Monthly : Jan~Dec	
	To : Jan		
	• Monthly : From : Jan		
	To : Jan		
On Time	Hour : 0	Hour: 24時間指定	
	Min : O	lime:10分単位で指定	
Off Time	Hour : 0	Hour: 24 時間指定	
	Min : 0	Time:10 分単位で指定	

### 表 A.9 [Add Schedule] / [Edit User] 画面の設定項目

## A.1.10 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目

[IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
IP Address	0.0.0.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-	
		255	
Subnet Mask	255.255.255.255	0-255, 0-255, 0-255, 0-	
		255	
Video Redirection	Disable	• Enable	
		• Disable	
Virtual Media	Disable	• Enable	
		• Disable	

### A.1.11 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目

[IPv6 Console Redirection] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
IP Address	無し	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	
Prefix Length	無し(0)	1~128	
KVM Redirection	Disable	• Enable	
		• Disable	
Virtual Media	Disable	• Enable	
		• Disable	

表 A.11	[Pv6 Console Redirection Setu	p] 画面の設定項目
--------	-------------------------------	------------

### A.1.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目

[Partition Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.12	[Partition Configuration]	画面の設定項目
--------	---------------------------	---------

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition Name	なし	最大 16 文字入力可能。	
		英数字、半角スペース、	
		#	

## A.1.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目

[Power Management Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.13	[Power Management Setup]	画面の設定項目
--------	--------------------------	---------

設定項目	初期値	設定値	備考
Power Save Control	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	[System Setup] 画面の [System Power Save Control]が[Disable]時はグ レーアウト。
Power Save Grace Period	5分	0~99分	パーティションの[Power Save Control]が[Disable]時 はグレーアウト。
Action reaching Power Save	Partition Power Off	<ul> <li>Continue</li> <li>Partition Power Off</li> <li>Partition Force Power Off</li> </ul>	パーティションの[Power Save Control]が[Disable]時 はグレーアウト。

## A.1.14 [ASR Control] 画面の設定項目

[ASR Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
ASR			-
Number of	5回	0~10回	
Restart		0:リトライしない	
Tries			
Action after	Stop rebooting and	Stop rebooting and Power Off	
exceeding Restart	Power Off	Stop rebooting	
tries		Diagnostic Interrupt assert	
Boot Watchdog	-		
Boot Watchdog	Disable	• Enable	
		• Disable	
Timeout	6000 秒	1 秒~6000 秒	
time(seconds)			
Action when	Continue	• Continue	
watchdog expires		• Reset	
		Power Cycle	
Software Watchdo	g		
Software	Disable	• Enable	
Watchdog		• Disable	
Timeout	300秒	1 秒~6000 秒	
time(seconds)			
Action when	Continue	• Continue	
watchdog expires		• Reset	
		Power Cycle	
		· NMI	

### 表 A.14 [ASR Control] 画面の設定項目

### A.1.15 [Console Redirection] 画面の設定項目

[Console Redirection] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Operation	BC19071、BB19071、	BC19071、BB19071、	[Console Redirection Setup] 画面で
	BA19071 以降のファーム	BA19071 以降のファームウェ	[Video Redirection] が[Enable] の場
	ウェア版数の場合	ア版数の場合	合にのみ、選択可能。
	Video Redirection	Video Redirection	
		• Video	
	BC19051、BB19051、	Redirection(HTML5)	
	BA19051 以前のファーム		
	ウェア版数の場合	BC19051、BB19051、	
	なし	BA19051 以前のファームウェ	
		ア版数の場合	
		<ul> <li>Video Redirection</li> </ul>	

### 表 A.15 [Console Redirection] 画面の設定項目

## A.1.16 [Mode] 画面の設定項目

[Mode] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Extended Partitioning Mode(setting)	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	PRIMEQUEST 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400E2/2400L2/2800E2/2800L2/ 2400E/2400L/2800E/2800L で利用 可能です
Memory Operation Mode (setting)	Normal Mode	<ul> <li>Performance Mode</li> <li>Normal Mode</li> <li>Partial Mirror Mode</li> <li>Full Mirror Mode</li> <li>Spare Mode</li> <li>Address Range Mirror Mode</li> </ul>	Address Range Mirror Mode は PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/2800L3 で 利用可能です
Memory Mirror RAS Mode (setting)	Mirror Keep Mode	<ul> <li>Mirror Keep Mode</li> <li>Capacity Keep Mode</li> </ul>	
PCI Address Mode (setting)	PCI Segment Mode	<ul> <li>PCI Bus Mode</li> <li>PCI Segment Mode</li> </ul>	
Dynamic Reconfiguration (setting)	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	
On board LAN Mode(setting)	Enabled (WOL disabled)	<ul> <li>Enabled (WOL enabled)</li> <li>Enabled (WOL disabled)</li> <li>Disabled</li> </ul>	

### 表 A.16 [Mode] 画面の設定項目

## A.1.17 [Add User]/[Edit User] 画面の設定項目

[Add User] / [Edit User] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
User Name	なし	3 文字以上 32 文字以下。	
		[0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」、「_」ただ	
		し、最初の1文字は[a-z] [A-Z] であるこ	
		と。	
Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、	
		[A-Z]、 特殊文字:! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~	
		\@`[]{}:*;+?<.>,/_	
Confirm Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、	
		[A-Z]、 特殊文字:! " # \$ % & ' ( ) = - ^ ~	
		\@'[]{}:*;+?<.>,/_	
Privilege	Add User の場合:Admin	• Admin	
	Edit User の場合:現在の	• Operator	
	Privilege	• User	
		· CE	
		Partition Operator	
Status	Add User の場合:	• Enabled	
	Enabled	• Disabled	
	Edit User の場合:現在の		
	Status		
Full Name	なし	最大 32 文字入力可能。	
Operable	なし	・ オン:操作可能	Privilege が Partition
Partition		・ オフ:操作不可	Operator 以外の場合
(for Partition			は、グレーアウト表
Operator)			示。

### 表 A.17 [Add User] / [Edit User] 画面の設定項目

## A.1.18 [Change Password] 画面の設定項目

[Change Password] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Current Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、 [A-Z]、 特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@'[] {}:*;+?<.>,/_	
New Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、 [A-Z]、 特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@`[] {}:*;+?<.>,/_	
Confirm New Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、 [A-Z]、 特殊文字:! " # \$ % & '() = - ^ ~ \ @'[] { } : * : + ? < . > ./ ]	

### 表 A.18 [Change Password] 画面の設定項目

## A.1.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目

[Directory Service Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
LDAP	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	
LDAP SSL	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	
Directory Server Type	Active Directory	<ul> <li>Active Directory</li> <li>Novell eDirectory</li> <li>OpenLDAP</li> <li>Open DS / Open DJ</li> </ul>	
Primary LDAP Server		1	
LDAP Server	なし	DNS 名は 64 文字以下とする。	
LDAP Port	389		
LDAP SSL Port	636		
Backup LDAP Server	I		
LDAP Server	なし	DNS 名は 64 文字以下とする。	
LDAP Port	389		
LDAP SSL Port	636		
Domain Name	なし	DNS 名は 64 文字以下とする。	Directory Server Type が Active Directory の場合に 入力可能。
Base DN	なし	DN は 127 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合は 入力不可。
Groups Directory as sub-tree from base DN	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type に Active Directory 以外を選 択した場合、省略不可。
User Search Context	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type に Active Directory 以外を選 択した場合、省略不可。

### 表 A.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目
設定項目	初期値	設定可能値	備考
LDAP Group Scheme	groupOfNames	設定は 64 文字以下	Directory Server Type が
			Active Directory の場合も
			入力可能。
LDAP Member Scheme	member	設定は 04 文于以下	ית Directory Server Type
			Active Directory の場合も
			入力可能。
I DAP Auth User Name	なし	3 文字以上 32 文字以下。	Directory Server Type が
		[0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」、「_」た だし、最初の1文字は[a-7] [A-7] であ	Active Directory の場合に
		ること。	入力可能。
LDAP Auth Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。 [0-9]、[a-	
		、[^]、 特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@	
		'[]{}:*;+?<.>,/_	
Confirm Password	なし	8 又子以上、32 又子以下。 [0-9]、 [a-  z]、 [A-Z]、	
		特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@	
Principal User DN	なし	[] (]・・・・、・・・」   設定は 64 文字以下	Directory Server Type が
			Active Directory の場合は
			入力不可。
Append Base DN to	Disable	• Enable	Directory Server Type が
Principal User DN			Active Directory の場合は
			入力不可。
	<u>なし</u>		この項目は表示のみ。
Enhanced User Login	Disable	• Enable	Directory Server Type が
			Active Directory の場合も
			入力可能。
llear Login Soorch	なし	  設定は 64 文字以下	Directory Server Type か
Filter			Active Directoryの場合も
			マインコピコ 田尼。

## A.1.20 [Date/Time] 画面の設定項目

[Date/Time] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.20	[Date/Time] 画面の設定項目
--------	---------------------

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Date	サーバの時計での日付を表	YYYY-MM-DD	NTP が Disable の場合のみ、
	示	・ YYYY:西暦	設定可能。
		・ MM:月	
		・ DD:日	
Time	サーバの時計での時刻を表	・ Modify the Time がオン:時刻	NTP が Disable の場合のみ、
	示	を設定する。	設定可能。
		時:分:秒:24 時間形式	
		・ Modify the Time がオフ:時刻	
		を設定しない。	
Time zone	なし	プルダウンメニューから選択	
NTP	Disable	• Enable	
		• Disable	
NTP Time	Step	• Step	NTP が Enable の場合のみ、設
Correction Mode		• Slew	定可能。
NTP Server1	なし	IPv4 の場合	NTP が Enable の場合のみ、設
		0-255, 0-255, 0-255, 0-255	定可能。
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	
NTP Server2	なし	IPv4 の場合	NTP が Enable の場合のみ、設
		0-255, 0-255, 0-255, 0-255	定可能。
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	
NTP Server3	なし	IPv4 の場合	NTP が Enable の場合のみ、設
		0-255, 0-255, 0-255, 0-255	定可能。
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	

## A.1.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目

[IPv4 Interface] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Virtual IP Address	Hostname	"PRIMEQUEST"+	FQDN 形式でホスト名を	・先頭文字は英字でなければ
		Product Serial	設定。	ならない。
		Number	[a-z], [A-Z], [0-9], 「-」	・- (ハイフン)、. (ドット)を
			(ハイフン),「.」(ドッ	先頭文字、末尾文字として指
			ト)	定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
MMR#0 ID	Interface	Disable	· Enable	
Address	Intenace	DISODIE	• Disable	
	Hostname	なし	FQDN形式でホスト名を	・先頭文字は英字でなければ
	(optional)		設定。	ならない。
			[a-z], [A-Z], [0-9], [-J	・- (ハイフン)、. (ドット)を
			(ハイフン),「.」(ドッ	先頭文字、末尾文字として指
			►)	定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
MMB#1 IP	Interface	Disable	• Enable	
Address			• Disable	
	Hostname	なし	FQDN 形式でホスト名を	・先頭文字は英字でなければ
	(optional)		設定。	ならない。
			[a-z], [A-Z], [0-9], 「-」	・- (ハイフン)、. (ドット)を
			(ハイフン),「.」(ドッ	先頭文字、末尾文字として指
			۲)	定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
DNS (optional)	DNS	Disable	• Enable	
			Disable	
	DNS Server1	なし	Primary DNS サーバの	
			IP アドレスを設定。	
	DNS Server2	なし	Secondary DNS サーバ	
			の IP アドレスを設定。	
	DNS Server3	なし	Ihird DNS サーバの IP	
			アドレスを設定	

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Management LAN	Dualization	Disable	• Enable	
			• Disable	
Maintenance IP	Interface	PRIMEQUEST	• Enable	
Address		2400S3 Lite/	• Disable	
		2400S3/2400E3/		
		2400L3/2800E3/		
		2800L3/		
		2400S2 Lite/		
		2400S2/2400E2/		
		2400L2/2800E2/		
		2800L2 の場合		
		Enable		
		PRIMEQUEST		
		24005 LILE/		
		24003/2400E/ 24001/2800E/		
		28001/20001/		
		BA15072 以降のフ		
		ァートウェアの		
		場合		
		Enable		
		PRIMEQUEST		
		2400S Lite/		
		2400S/2400E/240		
		0L/2800E/2800L		
		で BA15065 以前		
		のファームウェア		
		の場合		
		Disable		

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	IP Address	PRIMEQUEST	0-255, 0-255, 0-255,	
		2400S3 Lite/	0-255	
		2400S3/2400E3/		
		2400L3/2800E3/		
		2800L3/		
		2400S2 Lite/		
		2400S2/2400E2/		
		2400L2/2800E2/		
		2800L2 の場合		
		192.168.1.1		
		DDUAEQUECT		
		PRIMEQUEST		
		2400S Lite/		
		24005/2400E/		
		2400L/2800E/		
		DA15072 以降のノ マームウェアの		
		物口 197 168 1 1		
		192.100.1.1		
		PRIMEQUEST		
		2400S Lite/		
		2400S/2400E/240		
		0L/2800E/2800L		
		で BA15065 以前		
		のファームウェア		
		の場合		
		なし		

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	воделя и политически политиче Политически политически политически политически политически политически политически политически политически поли Политически политически политически политически политически политически политически политически политически поли	1000000000000000000000000000000000000	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	SMTP address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
Internal IP Address	Interface	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	
	IP Address	172.30.0.1	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Subnet Mask	255.255.255.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	

## A.1.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目

[IPv6 Interface] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Virtual IP Address	Hostname	"PRIMEQUEST"+	FQDN 形式でホスト名を	・先頭文字は英字でなければ
		Product Serial	設定。	ならない。
		Number	[a-z], [A-Z], [0-9], 「-」	・- (ハイフン)、. (ドット)を
			(ハイフン),「.」(ドッ	先頭文字、末尾文字として
			ト)	指定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1~128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
MMB#0 IP	Interface	Disable	• Enable	
Address			• Disable	
	Hostname	なし	FQDN 形式でホスト名を	・先頭文字は英字でなければ
	(optional)		設定。	ならない。
			[a-z], [A-Z], [0-9], 「-」	・- (ハイフン)、. (ドット)を
			(ハイフン),「.」(ドッ	先頭文字、末尾文字として指
			ト)	定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1~128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
MMB#1 IP	Interface	Disable	• Enable	
Address			Disable	
	Hostname	なし	FQDN形式でホスト名を	・ 先頭 又字 は 英字 で な けれ は
	(optional)			ならない。
			[a-z], [A-Z], [0-9], [-]	
			(ハイノン), 1.1 (ドッ	先頭乂子、木尾乂子として指
				定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			U-FFFF, U-FFFF,	
		+-1	U-FFFF, U-FFFF	
	Prefix Length	ふし	1~128	

#### 表 A.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
	-		0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
DNS (optional)	DNS	Disable	• Enable	
			• Disable	
	DNS Server1	なし	Primary DNS サーバの	
			IP アドレスを設定。	
	DNS Server2	なし	Secondary DNS サーバ	
			の IP アドレスを設定。	
	DNS Server3	なし	Third DNS サーバの IP	
			アドレスを設定	
Management LAN	Dualization	Disable	• Enable	
			• Disable	
Maintenance IP	Interface	Disable	• Enable	
Address			• Disable	
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1~128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	
	SMTP address	なし	0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
			0-FFFF, 0-FFFF	

## A.1.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目

[Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Speed/Duplex for	User port	Auto	• Auto	
MMB#0	Maintenance port		• 100M/Full	
	REMCS port		• 100M/Half	
			• 10M/Full	
			• 10M/Half	
Speed/Duplex for	User port	Auto	• Auto	
MMB#1	Maintenance port		• 100M/Full	
	REMCS port		• 100M/Half	
			• 10M/Full	
			• 10M/Half	

表 A.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目

## A.1.24 [Network Protocols] 画面の設定項目

[Network Protocols] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Web (HTTP/	HTTP	Disable	• Enable	
HTTPS)			• Disable	
	HTTP Port#	8081	80、1024~65535	
	HTTPS	Disable	• Enable	
			• Disable	
	HTTPS Port#	432	432、1024~65535	
	HTTP/HTTPS	600 秒	60~9999 秒	
	Timeout (sec)		0:タイムアウトなし	
		2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/ 2400L3/2800E3/	• Disable	
		2800L3/ 2400S2 Lite/		
		240052/2400E2/ 2400L2/2800E2/ 2000L2		
		2800L2 の場合 Enable		
		PRIMEQUEST		
		24003 Lite/ 24005/2400F/		
		2400L/2800E/		
		2800Lで		
		BA15072 以降のフ		
		ァームウェアの		
		場合		
		Enable		
		PRIMEQUEST		
		24005 LICE/		
		UL/28UUE/28UUL ズ DA15065 以前		
		の提合		
		Disable		
	Telnet Port#	23	23. 1024~65535	
	Telnet Timeout	600秒	60~9999秒	
	(sec)		0:タイムアウトなし	
SSH	SSH	Disable	• Enable	
			• Disable	
	SSH Port#	22	22、1024~65535	
	SSH Timeout (sec)	600秒	60~9999秒	
	. ,		0:タイムアウトなし	

#### 表 A.24 [Network Protocols] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
SNMP	SNMP Agent	Disable	• Enable	
			• Disable	
	Agent Port#	161	161、1024~65535	
	SNMP Trap	Disable	• Enable	SNMP Trap を送信するには、
			• Disable	SNMP Agent と SNMP Trap の
				機能を Enable にする必要があ
				ります。
	Trap Port#	162	162、1024~65535	

## A.1.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目

[Refresh Rate] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.25	[Refresh Rate] 画面の設定項目
--------	------------------------

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Refresh Rate	Disable	・ Enable - 秒:5~999 秒	
		• Disable	

## A.1.26 [SNMP Community] 画面の設定項目

[SNMP Community] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.26	[SNMP Community] 画面	の設定項目
--------	---------------------	-------

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
System	System Location	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	・#と半角スペースは先頭文
Information			特殊文字:! " # \$ % & '	字として使用できない。
			()	・半角スペースは最後の文字
			= - ^ ~ \ @ `[] {}:*;	として使用できない。
			+?<.>,/_	
	System Contact	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	・#と半角スペースは先頭文
			特殊文字:! " # \$ % & '	字として使用できない。
			() = - ^ ~ \ @ `[] {}:	・半角スペースは最後の文字
			*;+?<.>,/_	として使用できない。
Community	Community/User	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	" # ''は、先頭文字として使
			特殊文字:! " # \$ % &	用できない。
			'( ) * + , / @ [ ] ^_`	
			{   } ~	
	IP Address/MASK	なし	IPv4 の場合	
			0-255, 0-255, 0-255,	
			0-255	
			IPv6 の場合	
			0-FFFF, 0-FFFF,	
	SNMP Version	1	· 1	
			· 2	
			· 3	
	Access	Read Only	• Read Only	
			Read Write	
	Auth	なし	• noauth	SNMP バージョン3が選択さ
			• auth	れた場合のみ設定可能とな
			• priv	る。SNMP バージョンに1、
				2が選択されている場合は、
				「noauth」と同等となる。

## A.1.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目

[SNMP Trap] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Community/User	なし	SNMP v1、v2 の場合は、 SNMP	SNMP Trap を送信するに
		Community ストリングを設定。	は、[Network Protocols]
		SNMP v3 の場合は、User 名を指定。	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
			SNMP Trap の機能を
			Enable にする必要があり
			ます。
IP Address	なし	IPv4 の場合	
		0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	
SNMP Version	1	· 1	
		· 2	
		· 3	
Auth	なし	• noauth	
		• auth	
		• priv	
Auth Type	なし	• MD5	
		· SHA	
Auth passphrase	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@	
		`[]{}:*;+?<.>,/_	
Priv passphrase	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		特殊文字:!"#\$%&'()=-^~\@	
		`[]{}:*;+?<.>,/	

#### 表 A.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目

## A.1.28 [SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目

[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Engine ID	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
-		特殊文字:! " # \$ % & ' ()	
		= - ^ ~ \ @ `[] { } : * ; + ? < . > , / _	
User Name	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		特殊文字:! " # \$ % & ' ( )	
		= - ^ ~ \ @ `[] { } : * ; + ? < . > , / _	
Auth Type	MD5	· MD5	
		· SHA	
Auth passphrase	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		特殊文字:! " # \$ % & ' ( )	
		= - ^ ~ \ @ `[] { } : * ; + ? < . > , / _	
Priv passphrase	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、	
		特殊文字:! " # \$ % & ' ( )	
		= - ^ ~ \ @ `[] { } : * ; + ? < . > , /	

表 A.28	[SNMP v3 Configuration]	画面の設定項目
20,020	[ormin is connightenon]	

## A.1.29 [Create CSR] 画面の設定項目

[Create SCR] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Key length	1024	· 1024	
		· 2048	
Country Name	なし	ISO 国コード(英字 2 文字)	例:日本「JP」
			USA TUSJ
State or Province	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Locality Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Organization Unit	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Common Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
E-Mail Address	なし	E-Mail アドレス。	
		最大 40 文字入力可能	

表 A.29 [Create CSR] 画	面の設定項目
-----------------------	--------

## A.1.30 [Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目

[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Key length	1024	· 1024	
		· 2048	
Term	なし	1~4095日	
Country Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
State or Province	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Locality Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Organization Unit	なし	最大 56 文字入力可能。	
Name			
Common Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
E-Mail Address	なし	E-Mail アドレス。	
		最大 40 文字入力可能	

表 A.30	[Create Selfsigned Certificate]	画面の設定項目
10,00	[cicule sensigned certificate]	

## A.1.31 [Edit User] 画面の設定項目

[Edit User] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
User Name	なし	3 文字以上、16 文字以下。	
		[0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Password	なし	8 文字以上、16 文字以下。	
		[0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Confirm Password	なし	8 文字以上、16 文字以下。	
		[0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Privilege	Add User の場合:	• Admin	
	Admin	• Operator	
	Edit User の場合:	• User	
	現在の Privilege	· CE	
		No Access	
Status	Disabled	• Enabled	
		• Disabled	

#### 表 A.31 [Edit User] 画面の設定項目

## A.1.32 [Add Filter] / [Edit Filter] 画面の設定項目

[Add Filter]/[Edit Filter] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Protocol	SSH	• HTTP	*) RMCP は、BC20011、BB20011、
		• HTTPS	BA20011 以降のファームウェア版数
		• Telnet	から利用可能です。
		• SSH	
		• SNMP	
		・ RMCP (*)	
Access Control	Disable	• Enable	
		• Disable	
IP Address	なし	IPv4 の場合	
		0-255, 0-255, 0-255, 0-	
		255	
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	
Subnet Mask/	なし	IPv4 の場合	
Prefix Length		0-255, 0-255, 0-255, 0-	
		255	
		IPv6 の場合	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
		0-FFFF, 0-FFFF	

#### 表 A.32 [Add Filter] / [Edit Filter] 画面の設定項目

## A.1.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目

[Alarm E-Mail] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Alarm E-Mail	Disable	<ul><li>Enable</li><li>Disable</li></ul>	
From	なし	E-Mail アドレス	[Use envelope "from" address] チェッ クボックスをオンにすると、[From:] の アドレスを送信元の E-Mail アドレスと して設定し、メールを送信する。デフォ ルトはオフ。
То	なし	E-Mail アドレス	複数指定する場合は「,」(カンマ) で区 切る。
SMTP Server	なし	SMTP サーバの IP アドレ スまたは FQDN1	
Subject	なし	[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字:! # " \$ % & ' ( ) * + / _ ~ スペース	

#### 表 A.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目

### A.1.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Severity	すべてオン	• Error	
		• Warning	
		• Info	
		(複数選択可)	
Partition	All	· All	Specified を選択した場合は、表示する
		• Specified	Partition をオンにする。
		(複数選択可)	
Unit	All	· All	Specified を選択した場合は、表示する
		• Specified	Unit をオンにする。
Source	All	· All	Specified を選択した場合は、表示する
		• Specified	· Source をオンにする。

#### 表 A.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

# A.2 UEFIの設定項目

UEFIの設定項目の初期値と設定可能値を一覧で示します。

- A.2.1 [LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目
- A.2.2 [CPU Configuration] 画面の設定項目
- A.2.3 [PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目
- A.2.3.1 [OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目
- A.2.3.2 [I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目
- A.2.4 [iSCSI Configuration] 画面の設定項目
- A.2.4.1 [Attempt Configuration] 画面の設定項目
- A.2.5 [Memory Configuration] 画面の設定項目
- A.2.6 [USB Configuration] 画面の設定項目
- A.2.7 [Security Configuration] 画面の設定項目

## A.2.1 [LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目

[LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
(ネットワークポート情報)	Disabled	• UEFI(PXE/iSCSI)	
		<ul> <li>Legacy PXE</li> </ul>	
		<ul> <li>Legacy ISCSI</li> </ul>	
		• Disabled	

#### 表 A.35 [LAN Remote Boot Configuration] 画面の設定項目

## A.2.2 [CPU Configuration] 画面の設定項目

[CPU Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値		設定値	備考
Hyper-threading (*1)	Enabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
Active Processor Cores (*2)	PRIMEQUEST	•	All	
	2400S3Lite/2400S3/	•	0	
	2400E3/2400L3/2800E3/	•	1	
	2800L3/	•	2	
	2400S2Lite/2400S2/	•	3	
	2400E2/2400L2/2800E2/	•	4	
	2800L2 の場合	•	5	
		•	6	
	0	•	7	
		•	8	
	PRIMEQUEST	•	9	
	2400SLite/2400S/2400E/	•	10	
	2400L/2800E/2800Lの場合	•	11	
		•	12	
	All	•	13	
		•	14	
		•	15	
		•	16	
		•	17	
		•	18	
Hardware Prefetcher	Enabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
Adjacent Cache Line	Enabled	•	Disabled	
Prefetch		•	Enabled	
DCU Streamer Prefetcher	Enabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
DCU Ip Prefetcher	Enabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
Execute Disable Bit	Enabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
Intel Virtualization	Enabled	•	Disabled	
Technology (*3)		•	Enabled	

#### 表 A.36 [CPU Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値		設定値	備考
Intel(R) VT-d (*3)(*6)	PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/ 2800L3/ 2400S2Lite/2400S2/ 2400E2/2400L2/2800E2/ 2800L2 の場合 Enabled PRIMEQUEST 2400SLite/2400S/2400E/ 2400L/2800E/2800L の場合 Disabled	•	Disabled Enabled	
Power Technology (*4)	Energy Efficient	•	Disabled Energy Efficient Custom	
Enhanced SpeedStep (*1)	Enabled	•	Disabled Enabled	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
Turbo Mode (*1)	Enabled	•	Disabled Enabled	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
Energy Performance (*1)	Performance	•	Performance Balanced Performance Balanced Energy Energy Efficient	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
P-State Coordination (*1)	HW ALL	•	HW_ALL SW_ALL SW_ANY	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
Enable CPU HWPM(*1)	Disabled	•	Disabled HWPM NATIVE MODE HWPM OOB MODE	「Power Technology」で 「Custom」を選択し、かつ 「Enhanced Speed Step」 で「Enabled」を選択した場 合に表示される。 PRIMEQUEST 2400S3Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です

設定項目	初期値	設定値	備考
CPU C1E Support (*1)	Enabled	<ul><li>Disabled</li><li>Enabled</li></ul>	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
			PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/ 2800L2 では
			BB15074 版以降で利用可能 です
CPU C3 Report	Disabled	<ul><li>Disabled</li><li>Enabled</li></ul>	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
CPU C6 report	Enabled	<ul><li>Disabled</li><li>Enabled</li></ul>	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
CPU C7 report	Enabled	<ul><li>Disabled</li><li>Enabled</li></ul>	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
Package C State limit	No Limit	<ul> <li>C0</li> <li>C2</li> <li>C6</li> <li>C7</li> <li>No Limit</li> </ul>	「Power Technology」で 「Custom」を選択した場合 に表示される。
QPI Link Frequency Select (*1)	Auto	<ul> <li>Auto</li> <li>9.6GT/s</li> <li>8.0GT/s</li> <li>7.2GT/s</li> <li>6.4GT/s</li> </ul>	9.6GT/s は PRIMEQUEST 2400S3Lite/2400S3/ 2400E3/2400L3/2800E3/ 2800L3/ 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/ 2400L2/2800E2/2800L2の 場合のみ
Frequency Floor Override (*1)(*5)	Disabled	<ul><li>Disabled</li><li>Enabled</li></ul>	PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/ 2800E/2800L で利用可能で す
Uncore Frequency Override(*1)(*5)	Disabled	<ul> <li>Disabled</li> <li>Enabled</li> </ul>	PRIMEQUEST 2400S3Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 で利用可能 です
Perfmon and DFX devices (*1)	Disabled	Disabled     Enabled	

設定項目	初期値		設定値	備考
ACPI MSCT	Enabled	•	Disabled Enabled	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 では BA15064 版以降で利用可能 です
x2APIC Mode(*3)(*10)	Enabled 拡張パーティションの場合 Disabled	•	Disabled Enabled	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 では BC19012 版以降で利用可能 です PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 で利用可能 です
EMCA Gen2 (*1)(*7)(*8)(*9)	Enabled	•	Disabled Enabled	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/2 800E2/2800L2 では BB15067 版以降で利用可能 です

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみ。

\*2: 拡張パーティションでは表示しない。

\*3: 拡張パーティションでは固定表示。

\*4: 物理パーティションでは"Disabled"および"Energy Efficient"を選択した場合, "Custom"を選択した場合に表示されるサブメニューが表示されず固定設定となるが, 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を一部引き継ぐため, 物理パーティションの固定設定とは異なる設定になる場合がある。

\*5 Frequency Floor Override(FFO)の後継機能として PRIMEQUEST 2400S2 Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/ 2800L2 以降は Uncore Frequency Scaling(UFS)があり、Uncore の周波数が CPU コアの周波数とは別個に制御されま す。

\*6 x2APIC モードの場合、設定値を無視して Enable になります。

- \*7 EMCA Gen2 は OS が EMCA Gen2 をサポートしているかどうかに無関係に Enabled に設定できます。
- \*8 EMCA Gen2 を Enabled に設定しても MMB の設定で拡張パーティションまたは Dynamic Reconfiguration を有効 に設定した場合は、EMCA Gen2 の設定は自動的に Disabled になります。自動的に Enabled に戻ることありません。

\*9 EMCA Gen2 は PRIMEQUEST 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 の BB15062 で追加されるメ ニュー項目であり、かつ、デフォルトが Enabled です。

\*10 次の構成の物理パーティションは、 メニューの設定値に依存せず x2APIC モードが有効になります。

- ・Dynamic Reconfiguration の有効時
- ・Memory Scale-up Board を含む構成
- ・SB#2、または、SB#3 を含む SB 枚数が 2 枚以上の構成

## A.2.3 [PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目

[PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値		設定値	備考
PCI ROM Priority	EFI Compatible ROM	•	Legacy ROM	
		•	EFI Compatible ROM	
ASPM Support	Disabled	•	Disabled	
		•	Auto	
	1	•	Limit to LOs	
Number of bus# Padded to	1	•	 	
SIOL			2	
Above 4G decoding	Disabled		 Disabled	PRIMEOUEST 2400S3 Lite/
hove reaccoung			Enabled	2400S3/2400E3/2400L3/
			2	2800E3/2800L3/
				2400S2 Lite/2400S2/
				2400E2/2400L2/2800E2/
				2800L2 で利用可能です
				PRIMEQUEST 2400S Lite/
				2400S/2400E/2400L/
				2800E/2800L では
				BA14063 版以降で利用可能
	E 11 1			です PRIMEOUECT 2 ( 2002 L V) (
Oprom MMIO Assignment	Enabled	•	Disabled	PRIMEQUEST 240053 Lite/
		•	Enabled	240053/2400E3/2400L3/
				2000E3/2000L3/ 2600S21ito/2600S2/
				240052 Eller240052/ 2400F2/2400I 2/2800F2/
				2800L2 で利用可能です
				PRIMEQUEST 2400S Lite/
				2400S/2400E/2400L/
				2800E/2800L では
				BA14081 版以降で利用可能
				です
Internal LAN *1	Enabled	•	Disabled	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
		•	Enabled	2400S3/2400E3/2400L3/
				2800E3/2800E3 で利用可能
				240032/240012/240012/ 280052/28001.2 では
				2000に272000に2 C16 BB15074版以降で利用可能
				です
				PRIMEQUEST 2400S Lite/
				2400S/2400E/2400L/
				2800E/2800L では
				BA15072 版以降で利用可能
				です

#### 表 A.37 [PCI Subsystem Configuration] 画面の設定項目

\*1: 拡張パーティションでは表示しない。また、拡張パーティションでは Enabled で動作します。

### A.2.3.1 [OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目

[OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
Onboard RAID OpROM	Enabled	• Enabled	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Disabled	
DUSlot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	DU#0 Slot#0 に対する設定
		Disabled	
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#0のPCI Express スロ
		Disabled	ット#0 に対する設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#0のPCI Express スロ
		• Disabled	ット#1 に対する設定
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#0のPCI Express スロ
		Disabled	ット#2 に対する設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#0のPCI Express スロ
		Disabled	ット#3 に対する設定
DUSlot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	DU#0 Slot#1 に対する設定
		Disabled	
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#1のPCI Express スロ
		Disabled	ット#0 に対する設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#1のPCI Express スロ
		Disabled	ット#1 に対する設定
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#1のPCI Express スロ
		Disabled	ット#2 に対する設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#1のPCI Express スロ
		Disabled	ット#3 に対する設定
DUSlot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	DU#1 Slot#0 に対する設定
		Disabled	
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#2のPCI Express スロ
		Disabled	ット#0 に対する設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#2のPCI Express スロ
		Disabled	ット#1 に対する設定
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	IOU#2のPCI Express スロ
		• Disabled	
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	100#2のPCI Express スロ
		Disabled	
DUSIOt#3 OpROM	Disabled	• Enabled	DU#1 Slot#1 に対する設定
Slot#U UpRUM	Disabled		100#3のPCI Express スロ
	Dischlad		
SIOC# Г ОРКОМ	Disabled		IUU#3のPCI Express 人口
	Displad		
	Disabled		IUU#3のPULEXPIESS 人口
	Dischlad		
SIOC#3 ОРКОМ	usabled		IUU#3のPULEXPRESS 人口
		<ul> <li>Disabled</li> </ul>	ツ ト# 3 に 刈 9 る 設 正

#### 表 A.38 [OpROM Scan Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#0 に対す
			る設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#1 に対す る設定
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#2 に対す る設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#3 に対す る設定
Slot#4 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#4 に対す る設定
Slot#5 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#5 に対す る設定
Slot#6 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#6 に対す る設定
Slot#7 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#7 に対す る設定
Slot#8 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#8 に対す る設定
Slot#9 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#9 に対す る設定
Slot#10 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#10 に対 する設定
Slot#11 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#0 の PCI
		• Disabled	Express スロット#11 に対 する設定
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#0 に対す る設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#1 に対す
			る設定
Slot#2 OpROM	Disabled	Enabled	
		• Disabled	Express スロット#2 に対す る設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	
		Disabled	Express スロット#3 に対す る設定
Slot#4 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#4 に対す る設定
Slot#5 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#5 に対す る設定
Slot#6 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#6 に対す
			る設定

	表 A.39	[OpROM Scan	Configuration]	画面の設定項目(続き)
--	--------	-------------	----------------	-------------

設定項目	初期値	設定値	備考
Slot#7 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#7 に対す
			る設定
Slot#8 OpROM	Disabled	Enabled	
		• Disabled	Express スロット#8 に対す る設定
Slot#9 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#9 に対す る設定
Slot#10 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#10 に対 する設定
Slot#11 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#1 の PCI
		• Disabled	Express スロット#11 に対 する設定
Slot#0 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#0 に対す ろ設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	<u>の設定</u> PCI ボックス#2 の PCI
		<ul> <li>Disabled</li> </ul>	Express スロット#1 に対す
			る設定
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#2 に対す る設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#3 に対す
		F 11 1	
Slot#4 OpROM	Disabled	Enabled     Disabled	PCI ホックス#2 の PCI Everges フロット#4 に対す
		• Disabled	Expless スロット#4 に対す る設定
Slot#5 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#5 に対す る設定
Slot#6 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#6 に対す る設定
Slot#7 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#7 に対す る設定
Slot#8 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
•		• Disabled	Express スロット#8 に対す
			る設定
Slot#9 OpROM	Disabled	Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#9 に対す る設定
Slot#10 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#10 に対 する設定
Slot#11 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#2 の PCI
		• Disabled	Express スロット#11 に対 する設定
Slot#0.0pR0M	Disabled	• Enabled	<u> </u>
		• Disabled	Express スロット#0 に対す
			る設定
Slot#1 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#1 に対す る設定

設定項目	初期値	設定値	備考
Slot#2 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		Disabled	Express スロット#2 に対す
			る設定
Slot#3 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		Disabled	Express スロット#3 に対す
			る設定
Slot#4 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		Disabled	Express スロット#4 に対す
			る設定
Slot#5 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#5 に対す
			る設定
Slot#6 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#6 に対す
			る設定
Slot#7 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#7 に対す
			る設定
Slot#8 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#8 に対す
			る設定
Slot#9 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#9 に対す
			る設定
Slot#10 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#10 に対
			する設定
Slot#11 OpROM	Disabled	• Enabled	PCI ボックス#3 の PCI
		• Disabled	Express スロット#11 に対
			する設定

### A.2.3.2 [I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目

[I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

#### 表 A.40 [I/O Space Assignment Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Slot# (*1)	Auto	• Force	
		• Auto	
		• Disabled	

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみです。

### A.2.4 [iSCSI Configuration] 画面の設定項目

[iSCSI Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

#### 表 A.41 [iSCSI Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
iSCSI Initiator Name	-	iSCSI Initiator Name	入力できる文字数は,4 - 223 文字。

### A.2.4.1 [Attempt Configuration] 画面の設定項目

[Attempt Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
iSCSI Mode	Disabled	• Enabled for MPIO	
		Enabled	
Internet Dretecal			
	IP4	• IP4 • ID6	
		Autoconfigure	
Connection Retry Count	5	· 0~16	
Connection Establishing	1000		単位はミリ秒。
Timeout			
ISID	MAC アドレスから生成	ISID の下 6 ケタを入力す	
	これる。	<u>රං</u>	
Enable DHCP		· [] · [X]	
Initiator IP Address	0.0.0.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-	[Internet Protocol] が
		255	[Autoconfigure]の時には
			表示されない。
Initiator Subnet Mask	0.0.0.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-	[Internet Protocol] が
		255	[IP4]/[IP6]の時で、かつ
			DHLP 有効の場合に衣小さ れる
Gateway	0.0.0.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-	「Internet Protocol」 か
Gaterio		255	[IP4]/[IP6]の時で、かつ
			DHCP 有効の場合に表示さ
			れる。
Get Target info via DHCP		· []	[Internet Protocol] が
		· [X]	[IP4]/[IP6]の時で、かつ DUCD 右効の場合にまテナ
			DHCP 有別の場面に衣小で れる。
Target Name	-	入力できる文字数は 4~	[Internet Protocol] が
5		223文字。ここでの入力可	[IP4]/[IP6]の時で、かつ
		能文字種は、以下のとお	[Get Target info via
			DH(P」が無効の場合に表 ニャャマ
		U-9、A-Z、∂-Z、! # ♪ % &'() * + _ /··< - > ?	示される。
		$[a()]^{(-, -)}$	
Target Port	3260	· 0~65535	[Internet Protocol] が
5			[IP4]/[IP6]の時で、かつ
			[Get Target info via
			DHCP」が無効の場合に表
Boot I UN	0	$\cdot$ $v \sim v v v v v v v v v v v v v v v v v $	示される。 [Internet Dretece]] が
	U	xxxx(16 谁数)	[IP4]/[IP6]の時で、かつ
			[Get Target info via
			DHCP] が無効の場合に表
			示される。
Authentication Type	СНАР	• None	[Internet Protocol] が
		· CHAP	[IP4]/[IP6]の時で、かつ [Cot Target info via
			[uet laiget IIII0 VIa DH(P] が無効の場合に実
			示される。
СНАР Туре	One way	• One way	[Authentication Type] が
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	• Mutual	[None]の場合には表示さ
			れない。

#### 表 A.42 [Attempt Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
CHAP Name	-	入力できる文字数は 125	[Authentication Type]が
		文字。	[None]の場合には表示さ
		ここでの入力可能文字種	れない。
		は、以下のとおり。	
		0-9、A-Z、a-z、!"#\$%	
		&'() *+、/:;<=>?	
		@[\]^_`{ }~	
CHAP Secret	-	入力できる文字数は 12~	[Authentication Type]が
		16 文字。	[None]の場合には表示さ
		ここでの入力可能文字種	れない。
		は、以下のとおり。	
		0-9、A-Z、a-z、!"#\$%	
		&'() *+、/:;<=>?	
		@[\]^_`{ }~	
Reverse CHAP Name	-	入力できる文字数は 125	[CHAP Type]が[One way]
		文字。	の場合には表示されな
		ここでの入力可能文字種	い。また、
		は、以下のとおり。	[Authentication Type]が
		0-9、A-Z、a-z、!"#\$%	[None]の場合には表示さ
		&'() *+、/:;<=>?	れない。
		@[\]^_'{ }~	
Reverse CHAP Secret	-	入力できる文字数は 12~	[CHAP Type]が[One way]
		16 文字。	の場合には表示されな
		ここでの入力可能文字種	い。また、
		は、以下のとおり。	[Authentication Type]が
		0-9、A-Z、a-z、!"#\$%	[None]の場合には表示さ
		&'() *+、/:;<=>?	れない。
		@[\]^_'{ }~	

## A.2.5 [Memory Configuration] 画面の設定項目

[Memory Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
DIMM Speed (*1)	Normal Mode	<ul> <li>Performance Mode</li> <li>Normal Mode</li> </ul>	PRIMEQUEST 2400S3Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 の場合は表 示されない
Patrol Scrub (*1)	Disabled	<ul> <li>Disabled</li> <li>Enabled</li> </ul>	
Refresh Rate (*1)	Auto	<ul> <li>∙ Auto</li> <li>• 1x</li> </ul>	
Memory Power States (*1)	Default	<ul> <li>Default</li> <li>Performance Mode</li> </ul>	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/2400S2/ 2400E2/2400L2/2800E2/ 2800L2 で利用可能です PRIMEQUEST 2400S Lite/ 2400S/2400E/2400L/ 2800E/2800L では BA14063 版以降でのファー ムウェアから利用可能です
DDR4 Command/Address Parity Check and Retry (*1)	Enabled	<ul> <li>Disabled</li> <li>Enabled</li> </ul>	PRIMEQUEST 2400S3Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3/ 2400S2 Lite/ 2400S2/2400E2/2400L2/ 2800E2/2800L2 で利用可能 です
Address Range Mirroring (*7)	OS Request	<ul> <li>OS Request</li> <li>BIOS Menu Setting</li> </ul>	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です (*2)(*3)(*8)
Mirror Size on SB#0-SKT#0 (64MB unit) (*7)	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です(*4)(*5)(*6)(*9)
Mirror Size on SB#0-SKT#1 (64MB unit) (*7)	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/ 2400S3/2400E3/2400L3/ 2800E3/2800L3 で利用可能 です(*4)(*5)(*6)

#### 表 A.43 [Memory Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Mirror Size on SB#1-SKT#0	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			ですで利用可能です
			(*4)(*5)(*6)(*9)
Mirror Size on SB#1-SKT#1	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			です(*4)(*5)(*6)
Mirror Size on SB#2-SKT#0	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			です(*4)(*5)(*6)(*9)
Mirror Size on SB#2-SKT#1	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			です(*4)(*5)(*6)
Mirror Size on SB#3-SKT#0	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			です(*4)(*5)(*6)(*9)
Mirror Size on SB#3-SKT#1	4	· 0~65535	PRIMEQUEST 2400S3 Lite/
(64MB unit) (*7)			2400S3/2400E3/2400L3/
			2800E3/2800L3 で利用可能
			です(*4)(*5)(*6)

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみです。

- \*2: Address Range Mirroring 機能を利用するためには、MMB Web-UI で Memory Operation Mode を Address Range Mirroring に設定する必要があります。MMB Web-UI の設定に依存せず、本メニューは常に表示されます。
- \*3: Address Range Mirroring 機能を利用するためには、OS で Address Range Mirroring がサポートされている必要が あります。"OS Request"の設定の場合、ミラーするメモリ量または割合を BIOS に通知する機能が OS でサポート されている必要があります。
- \*4: パーティションの SB 構成、CPU 搭載数に依存せず、常に SB#0-CPU#0~SB#3-CPU#1 の項目が表示されます。パ ーティションに含まれない、および搭載されていない SB/CPU については、メニューで設定できますが、実際には無 視されます。
- \*5: サイズは 64MB 単位で設定します。(「4」を設定した場合、4\*64=256MB がミラーするメモリ量になります)
- \*6: 本項目は「Address Range Mirroring」で「BIOS Setting」を選択した場合に表示されます。
- \*7: 拡張パーティションでは表示しません。(拡張パーティションでは、MMB の Web-UI で Address Range Mirroring を有効にすると、拡張パーティションのファームウェアが使う領域が固定でミラーされます)
- \*8: BIOS メニューにおいてミラーするメモリ容量の指定を"BIOS Menu Setting"に指定している場合は、OS からのミ ラーするメモリ容量設定は反映されません。
- \*9: SB がパーティション内の Home SB の場合、メニューで設定できますが、実際には無視されます。

## A.2.6 [USB Configuration] 画面の設定項目

[USB Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定値	備考
Legacy USB Support	Enabled	• Disabled	
		• Enabled	
		• Auto	
Mass Storage Devices:	Auto	• Auto	
		• Floppy	
		<ul> <li>Forced FDD</li> </ul>	
		<ul> <li>Hard Disk</li> </ul>	
		· CD-ROM	
USB Port Disable (*1)	Enabled	• Enable	
		• Disable	

#### 表 A.44 [USB Configuration] 画面の設定項目

\*1: 拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため、表示のみです。

### A.2.7 [Security Configuration] 画面の設定項目

[Security Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。 拡張パーティションでは TPM を使用できないため、本メニューは表示されません。

設定項目	初期値		設定値	備考
TPM Support	Disabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
TPM State	Disabled	•	Disabled	
		•	Enabled	
Pending TPM operation	None	•	None	
		•	Enable Take Ownership	
		•	Disable Take Ownership	
		•	TPM Clear	

#### 表 A.45 [Security Configuration] 画面の設定項目

# A.3 ビデオリダイレクションの設定項目

BMCの設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- A.3.1 [Video] 画面の設定項目
- A.3.2 [Keyboard] 画面の設定項目
- A.3.3 [Mouse] 画面の設定項目
- A.3.4 [Options] 画面の設定項目

## A.3.1 [Video] 画面の設定項目

[Video] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.46	[Video]	画面の設定項目
--------	---------	---------

設定項目	初期値	設定値	備考
Low Bandwidth Mode	Normal	<ul> <li>Normal</li> <li>8bpp</li> <li>8bpp B&amp;W</li> <li>16bpp</li> </ul>	

### A.3.2 [Keyboard] 画面の設定項目

[Keyboard] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Host Physical	Auto Detect	• Auto Detect	
Keyboard		• English (United States)	
		• French	
		• German (Germany)	
		• Spanish	
Soft Keyboard		• English (United States)	
		• English (United	
		Kingdom)	
		• Spanish	
		• French	
		• German (Germany)	
		• Italian	
		• Danish	
		• Finnish	
		<ul> <li>German (Switzerland)</li> </ul>	
		<ul> <li>Norwegian (Norway)</li> </ul>	
		<ul> <li>Portuguese</li> </ul>	
		• Swedish	
		• Hebrew	
		<ul> <li>French (Belgium)</li> </ul>	
		• Dutch (Belgium)	
		• Russian (Russia)	
		• Japanese	
		• Turkish - F	
		• Turkish - Q	

表 A.47	[Keyboard] 画面の設定項目
--------	--------------------

## A.3.3 [Mouse] 画面の設定項目

[Mouse] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.48	[Mouse]	画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Mouse Mode	Absolute mouse mode	<ul> <li>Absolute mouse mode</li> <li>Relative mouse mode</li> <li>Hide mouse mode</li> </ul>	

### A.3.4 [Options] 画面の設定項目

[Options] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.49	[Options] 画面の設	定項目
--------	----------------	-----

設定項目	初期値	設定値	備考
GUI Languages	EN-English	・ DE - Deutsch	
		• EN - English	
		・ JA - 日本語	
# A.4 ビデオリダイレクション(HTML5)の設定項目

BMCの設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- A.4.1 [Video] 画面の設定項目
- A.4.2 [Mouse] 画面の設定項目
- A.4.3 [Options] 画面の設定項目
- A.4.4 [Keyboard] 画面の設定項目
- A.4.5 [Video Record] 画面の設定項目

## A.4.1 [Video] 画面の設定項目

[Video] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.50	[Video] 画面の設定項目
--------	-----------------

設定項目	初期値	設定値	備考
Host Display	Display ON	• Display ON	
		Display OFF	

### A.4.2 [Mouse] 画面の設定項目

[Mouse] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.51 [Mou	ıse] 画面の設定項目
-------------	--------------

設定項目	初期値	設定値	備考
Show Client Cursor	Checked(Enabled)	<ul> <li>Checked(Enabled)</li> </ul>	
		<ul> <li>No checked(Disabled)</li> </ul>	

# A.4.3 [Options] 画面の設定項目

[Options] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.52	[Options] 画面の設定項目
--------	-------------------

設定	E項目	初期値	設定値	備考
Block	Partial	No checked	$\cdot$ Checked(Enabled)	
Privilege	Permission		<ul> <li>No checked(Disabled)</li> </ul>	
Request	No	No checked	$\cdot$ Checked(Enabled)	
	Permission		<ul> <li>No checked(Disabled)</li> </ul>	

# A.4.4 [Keyboard] 画面の設定項目

[Keyboard] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

#### 表 A.53 [Keyboard] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Keyboard Layout	English U.S	・ English U.S	
		• German	
		• Japanese	

## A.4.5 [Video Record] 画面の設定項目

[Video Record] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

#### 表 A.54 [Video Record] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Record Settings			
Video Length Seconds	20	1-1800	

# A.5 UEFI の推奨設定

PRIMEQUEST2000 シリーズは、工場出荷時点で最も一般的なアプリケーションシナリオ向けにパフォーマンスとエネ ルギー効率の最適な比率を提供する標準の UEFI が設定されています。ただし、可能な限り最大のスループット(パフォ ーマンス)、可能な限り最小のレイテンシ(低レイテンシ)、または可能な限り最大の省エネ(エネルギー効率)という要件 に応じて、サーバを設定する際に標準設定からの逸脱が必要な状況になる可能性があります。

以下の表 A.50 に最大のパフォーマンス、低レイテンシ、または最大のエネルギー効率のいずれかを実現するために PRIMEQUEST2000 シリーズを最適化する場合の UEFI メニューで設定可能な項目の推奨設定を示します。

ここに記載されている UEFI オプションの多くは、互いに依存関係があります。そのため、どのオプションの変更が望 ましくないシステムの動作を発生させ、また望ましいシステムの動作を発生させるかを明らかにするには、他のオプシ ョンも同時に変更してみるしかありません。よって、以下の表に示されている UEFI オプションの設定を変更する前に、 本マニュアル 3.4 章 [Device Manager]メニューに記載されている内容を確認することをお勧めします。また、すべて の変更を実稼動環境に適用する前に、必要な効果が有効かどうかテスト環境で検証することをお勧めします。

UEFI セットアップメ	UEFI オプション	設定(*1)	パフォー	低	エネルギー
ニュー			マンス	レイテンシ	効率
[Device Manager] $ imes$	Hyper-threading	Enabled	Enabled	Disabled	Enabled
	(*7)	Disabled			
> [CPU	Active Processor	<b>0</b> - 24 (*2)	0 (*2)	1 - 24(*2)	0 (*2)
Configuration] メニ	Cores (*8)				
<b>_</b> _		All	All (*3)	1 -14(*3)	All (*3)
		1 - 14 (*3)			
	Hardware	Enabled	Enabled	Enabled	Disabled
	Prefetcher	Disabled			
	Adjacent Cache	Enabled	Enabled	Enabled	Disabled
	Line Prefetch	Disabled			
	DCU Streamer	Enabled	Enabled	Enabled	Disabled
	Prefetcher	Disabled			
	DCU Ip Prefetcher	Enabled	Enabled	Enabled	Disabled
		Disabled			
	Execute Disable	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled
	Bit (*4) (*13)	Disabled			
	Intel Virtualization	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled
	Technology (*9)	Disabled			
	Intel(R) VT-d (*9)	Enabled	Enabled	Enabled	Disabled
		Disabled			
	Power Technology	Disabled	Custom	Custom	Custom
	(*10)	Energy Efficient			
		Custom			
	Enhanced Speed	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled
	Step (*5)(*7)	Disabled			
	Turbo Mode	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled
	(*5)(*7)	Disabled			
	Energy	Performance	Performance	Performance	Energy
	Performance	Balanced Performance			Efficient
	(*5)(*7)	Balanced Energy			
		Energy Efficient			

#### 表 A.55 UEFI の推奨設定

UEFI セットアップメ ニュー	UEFI オプション	設定(*1)	パフォー マンス	低 レイテンシ	エネルギー 効率
	P-State Coordination	HW_ALL SW_ALL	HW_ALL	HW_ALL	HW_ALL
	(*5)(*7) (*14) Enable CPU	SW_ANY Disabled	Disabled	Disabled	Disabled
	HWPM(*7)	HWPM NATIVE MODE HWPM OOB MODE			
	CPU C1E Support (*5)(*7)	<b>Enabled</b> Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
	CPU C3 Report (*5)	Enabled <b>Disabled</b>	Disabled	Disabled	Enabled
	CPU C6 Report (*5)	<b>Enabled</b> Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
	CPU C7 report (*5)	<b>Enabled</b> Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
	Package C State limit (*5)	CO C2 C6 C7	CO	CO	No Limit
	QPI Link Frequency	Auto	Auto	Auto	6.4GT/s
	Select (*7)	9.6GT/s 8.0GT/s 7.2GT/s 6.4GT/s(*2)			
		<b>Auto</b> 8.0GT/s 7.2GT/s 6.4GT/s(*3)			
	Frequency Floor Override (*3) (*7)	Enabled <b>Disabled</b>	Disabled	Enabled	Disabled
	Uncore Frequency Override (*2)(*7) (*11)	Enabled Disabled	Disabled	Enabled	Disabled
	Perfmon and DFX devices (*7)	Enabled <b>Disabled</b>	Disabled	Disabled	Disabled
	ACPI MSCT (*13)	<b>Enabled</b> Disabled	Enabled	Enabled	Enabled
	x2APIC Mode (*13)(*9)	Enabled Disabled	Enabled	Enabled	Enabled
	EMCA Gen2 (*2)(*12)(*7)	<b>Enabled</b> Disabled	Disabled	Disabled	Enabled

UEFI セットアップメ ニュー	UEFI オプション	設定(*1)	パフォー マンス	低 レイテンシ	エネルギー 効率
[Device Manager] メ ニュー > [PCI Subsystem	PCI ROM Priority (*13)	Legacy ROM <b>EFI Compatible ROM</b>	EFI Compatible ROM	EFI Compatible ROM	EFI Compatible ROM
Configuration]メニ ュー	ASPM Support (*6)	<b>Disabled</b> Auto Limit to L0s	Disabled	Disabled	Auto
	Number of bus# Padded to slot (*13)	<b>1</b> 2 3	1	1	1
	Above 4G decoding (*13)	Enabled <b>Disabled</b>	Disabled	Disabled	Disabled
	OpROM MMIO Assignment (*13)	<b>Enabled</b> Disabled	Enabled	Enabled	Enabled
[Device Manager] メ ニュー	DIMM Speed (*3)(*7)	Performance Mode Normal Mode	Performance Mode	Performance Mode	Normal Mode
> [Memory Configuration] メニ	Patrol Scrub (*7)	Enabled <b>Disabled</b>	Disabled	Disabled	Enabled
<u>а</u> —	Refresh Rate (*7) (*14)	<b>Auto</b> 1x	Auto	Auto	Auto
	Memory Power States (*7)	<b>Default</b> Performance Mode	Performance Mode	Performance Mode	Default
	DDR4 Command/Address Parity Check and Retry (*14)(*7)	<b>Enabled</b> Disabled	Enabled	Enabled	Enabled
[Device Manager] メ ニュー > [USB	Legacy USB Support (*13)	Disabled <b>Enabled</b> Auto	Enabled	Enabled	Enabled
Configuration]メニ ュー	USB Port Disable (*7) (*13)	<b>Enabled</b> Disabled	Enabled	Enabled	Enabled
	Mass Storage Devices: "接続デバイス名" (*13)	<b>Auto</b> Floppy Forced FDD Hard Disk CD-ROM	Auto	Auto	Auto

\*1:太字で示している設定がデフォルトの設定

\*2: PRIMEQUEST 2400S3 Lite/2400S3/2400E3/2400L3/2800E3/2800L3/ 2400S2Lite/2400S2/2400E2/2400L2/2800E2/2800L2の場合

\*3: PRIMEQUEST 2400SLite/2400S/2400E/2400L/2800E/2800Lの場合

- \*4: OS がサポートしている場合のみ有効となります
- \*5:「Power Technology」で「Custom」を選択した場合のみ表示されます
- \*6: ASPM が有効になっていても、PCI Express アダプタまたはオンボードコントローラが ASPM をサポート していなければリンクが有効になりません
- \*7:拡張パーティションでは物理パーティションの設定を引き継ぐため設定できません
- \*8:拡張パーティションでは表示されません
- \*9: 拡張パーティションでは固定表示で設定できません

- \*10:物理パーティションでは"Disabled"および"Energy Efficient"を選択した場合、"Custom"を選択した場合に 表示されるサブメニューが表示されず固定設定となるが、拡張パーティションでは物理パーティションの設定を 一部引き継ぐため、物理パーティションの固定設定とは異なる設定になる場合があります
- \*11: Uncore の周波数が CPU コアの周波数とは別個に制御されます
- \*12: Disabled にすることで性能・レスポンスは向上しますが、RAS 機能は低下します
- \*13:性能や電力には効果が無い項目であるため、Default 値が推奨値になります
- \*14:変更することが推奨されていない項目であるため、Default値が推奨値になります

